

奄美群島観光振興基礎調査回答票の集計及び分析
業 務 報 告 書

令和 3 年 3 月

一般社団法人 奄美群島観光物産協会

はしがき

奄美群島における年間入込客数は近年増加傾向にあり、国が世界自然遺産登録のための推薦書をユネスコに再度提出した結果、令和3年7月に、ユネスコでの認定を待つ状態となっている。

このような中、奄美群島への来訪者の居住地域、来訪目的、群島内での活動等を把握し、観光受入体制の整備等に資することを目的に、平成29年から「奄美群島観光振興基礎調査」を実施してきている。同調査は、奄美群島への来訪者を対象としたアンケート調査を年4回実施するものであり、その結果は群島内の観光関係者で共有するとともに、国の調査業務や検討会議においても分析結果が活用されるなど、奄美群島の観光の状況を総合的かつ経年的に把握できる貴重な基礎情報として活用されているところである。同調査のさらなる活用を図る観点からは、群島全体に加えて島ごとの集計・分析を行い、群島内の市町村や各島の観光関係団体に提供していくことが重要となっている。

本業務においては、同調査の過去の実査の結果及び今年度実施した実査の結果について、群島全体及び主要な島単位での詳細なクロス集計を行うことにより、奄美群島における観光の動向を的確に把握・分析する資料とするものである。

平成29、30、令和元年度に実施された同調査及び今年度中に実施した同調査の結果について、一般社団法人奄美群島観光物産協会が提供する回答結果の個票が入力された電子データを用いて、群島全体及び主要な島（奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島）ごとに、集計と詳細分析（回答者の属性、来訪方法、滞在中の活動、支出行動等についてのクロス集計）を年度単位で行い、分析する。結果は、群島内の行政主体、観光関係者等にわかりやすいグラフ等で表示してとりまとめた。

令和3年3月

一般社団法人 奄美群島観光物産協会

目 次

はしがき

第1章	平成29、30、令和元、2年度奄美群島観光振興基礎調査結果の集計	1
1-1	集計の方針・方法	1
1-2	奄美群島全体における単純集計結果	11
1-3	島別の集計結果	48
	1. 奄美大島	48
	2. 喜界島	70
	3. 徳之島	89
	4. 沖永良部島	108
	5. 与論島	127
第2章	奄美群島観光振興基礎調査結果のクロス集計	144
2-1	クロス集計項目	144
2-2	FSCとLCCの比較	145
2-3	渡航費・滞在費・活動費の比較	158
2-4	「観光・レジャー」の「初めて」と「6回以上」の比較	165
2-5	若い女性の傾向について	169
2-6	長期滞在者について	174
第3章	活用に向けた課題と留意点	181
資料編	調査票、電子データ一覧	183

第1章 平成29、30、令和元、2年度奄美群島観光振興基礎調査結果の集計

1-1 集計の方針・方法

1. アンケート調査スケジュールと回収状況

奄美群島観光振興基礎調査は、平成29年8月からスタートし、令和3年2月まで、以下の日程で実施された。令和2年5月分の全島中止を除いて、集計分析対象はすべてである。なお、令和3年2月調査の沖永良部島での配布分については、コロナ禍のため調査を中止している。

		集計分析対象	
平成29年度	2017年 8月	↑	
	11月		
	2018年 2月		
平成30年度	5月		
	8月		
	11月		
2019年 2月	↓		
平成31年度 (令和元年度)		5月	
		8月	
		11月	
2020年 2月		↓	
令和2年度			5月
	8月		
	11月		
2021年 2月	沖永良部島はコロナの為中止		

※年度単位で集計

調査票（資料編にサンプル）の配布場所に対する回収結果は、次頁のとおりであった。

アンケートの回答数は、調査票を配布し、調査票を返送していただく方法と回答を指定のウェブサイトで回答していただく方法を設けていたが、圧倒的に紙での回答が多かった。その理由は、紙に記入して回答する方法が慣れているからと考えられる。しかし、回答された生データには、誤記入も多かった。誤記入データが多いのは、手書きでの紙による回答だったからである。現在は、若い人だけでなく、60代でもスマホ、パソコンを使える時代となってきているので、ウェブサイトでの回答のしやすさを今後考えていくことが、課題としてあげられる。

集計に際して、回答者によるウェブサイトからの記入データは、集計業務を受託していたネット調査会社が、データ整理を行っていた。紙による回答の場合は、回答用紙に記入後、郵送され、奄美群島観光物産協会において、データの転記入力を行い、ネット調査会社で全体を集計された。

調査実施ごとのアンケート回答数

実施日 年 月 日	総数	アンケート回答数														
		配布場所別														
		奄美大島			喜界島			徳之島			沖永良部島			与論島		
合計	紙	WEB	合計	紙	WEB	合計	紙	WEB	合計	紙	WEB	合計	紙	WEB		
平成29年(2017年) 年度合計	1,749	955	743	212	109	101	8	370	330	40	140	121	19	175	143	32
平成29年(2017年) 08月	617	344	258	86	36	33	3	108	89	19	62	50	12	67	44	23
平成29年(2017年) 11月	554	294	227	67	32	31	1	144	132	12	27	24	3	57	49	8
平成30年(2018年) 02月	578	317	258	59	41	37	4	118	109	9	51	47	4	51	50	1
平成30年(2018年) 年度合計	2,077	1,323	1,061	262	115	95	20	385	339	46	192	159	33	62	52	10
平成30年(2018年) 05月	445	275	227	48	27	25	2	86	79	7	47	44	3	10	10	0
平成30年(2018年) 08月	524	337	269	68	23	20	3	106	96	10	40	31	9	18	13	5
平成30年(2018年) 11月	559	360	285	75	39	31	8	90	75	15	61	50	11	9	6	3
令和元年(2019年) 02月	549	351	280	71	26	19	7	103	89	14	44	34	10	25	23	2
令和元年(2019年) 年度合計	1,585	1,043	763	280	79	62	17	163	125	38	188	159	29	112	91	21
令和元年(2019年) 05月	464	316	240	76	26	19	7	62	53	9	48	35	13	12	12	0
令和元年(2019年) 08月	341	227	151	76	14	12	2	21	15	6	35	30	5	44	28	16
令和元年(2019年) 11月	359	217	155	62	20	19	1	42	29	13	52	50	2	28	24	4
令和2年(2020年) 02月	421	283	217	66	19	12	7	38	28	10	53	44	9	28	27	1
令和2年(2020年) 年度合計	875	570	381	189	57	33	24	90	71	19	74	58	16	84	58	26
令和2年(2020年) 05月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年(2020年) 08月	224	129	91	38	16	9	7	31	23	8	25	18	7	23	12	11
令和2年(2020年) 11月	476	332	226	106	30	20	10	19	15	4	49	40	9	46	37	9
令和3年(2021年) 02月	175	109	64	45	11	4	7	40	33	7	0	0	0	15	9	6

2. 調査票の設問

調査票は、平成29年度から令和元年度と令和2年度では、飛行機の就航等のアクセス条件が変わったため、一部異なっている。変更箇所を、以下に明示した。

設問番号	設問内容	2017年度～2019年度配付アンケート 選択肢・自由記載	2020年度配付アンケート 設問・選択肢・変更内容
【1】	性別	①：男性 ②：女性	■変更なし
【2】	年齢	①：20歳未満 ②：20代 ③：30代 ④：40代 ⑤：50代 ⑥：60代 ⑦：70歳以上	■変更なし
【3】	職業	①：会社役員 ②：会社員 ③：公務員 ④：自営業 ⑤：自由業 ⑥：派遣社員 ⑦：パート・アルバイト ⑧：専業主婦 ⑨：学生 ⑩：無職 ⑪：その他	■変更なし
【4】	居住地方・地域	①：北海道 ②：東北 ③：関東 ④：中部 ⑤：近畿 ⑥：中国 ⑦：四国 ⑧：九州 ⑨：奄美大島 ⑩：加計呂麻島 ⑪：請島 ⑫：与路島 ⑬：喜界島 ⑭：徳之島 ⑮：沖永良部島 ⑯：与論島 ⑰：沖縄 ⑱：国外	■変更なし
	アンケート実施同島の方は最終Q.フリー意見へ	●次の回答設問先の指示 ①アンケート実施場所に居住がある回答者はQ19へ ②上記以外はQ1へ	■変更なし
Q1.	群島への往復に利用された交通機関をお選びください	<<往路>> ①：航空機（JALグループ） ②：（バニラエア） ③：船舶 ④：その他 <<復路>> ①：航空機（JALグループ） ②：（バニラエア） ③：船舶 ④：その他	■単一選択から複数選択に変更 ■変更有<<往路>> ①：航空機（JALグループ） ②：（ピーチ航空） ③：スカイマーク ④：船舶 ⑤：その他 ■単一選択から複数選択に変更 ■変更有<<復路>> ①：航空機（JALグループ） ②：（ピーチ航空） ③：スカイマーク ④：船舶 ⑤：その他

Q2.	群島に移動されるまでに経由（乗り換え等）した地域をお選びください	①経由をしていない ②関東 ③近畿 ④九州 ⑤沖縄 ⑥その他_____	■変更なし
Q3.	奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか	①初めて ②2回目 ③3回目 ④4回目 ⑤5回目 ⑥6回以上	■変更なし
Q4-1.	今回のご来訪の主な目的をお選びください	①観光・レジャー ②ビジネス ③帰省 ④親族・友人訪問 ⑤休養 ⑥冠婚葬祭 ⑦介護・見舞い ⑧その他_____	■変更なし
	⇒「①観光・レジャー」を選ばれた方は、「Q4-2」へ		■変更なし
	⇒「①観光・レジャー」以外を選ばれた方は、「Q5」へ		■変更なし
Q4-2.	（「①観光・レジャー」を選ばれた方） 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください（1つ〇）	①以前訪問した際の自身の経験 ②家族・友人・知人の紹介 ③個人ブログ・SNS ④旅行会社のウェブサイト ⑤自治体や観光協会のwebサイト ⑥旅行雑誌・ガイドブック ⑦テレビ・映画 ⑧特にない ⑨その他_____	■変更なし
Q5.	今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか（1つ〇）	① 1泊 ② 2泊 ③ 3泊 ④ 4泊 ⑤ 5泊 ⑥ 6泊以上 ⑦ 日帰り	■変更有 設問順序が変更 ① 日帰り ② 1泊 ③ 2泊 ④ 3泊 ⑤ 4泊 ⑥ 5泊 ⑦ 6泊以上
Q6.	今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか（複数回答可）	① 単身 ② 夫婦・パートナー ③ 子ども連れ家族 ④ その他家族（両親兄弟等） ⑤ 友人・知人 ⑥ 職場の同僚 ⑦ 地域・趣味・サークル ⑧ その他	■変更なし
Q7.	今回のご来訪中に訪れた（訪れる予定の）島・地域をお選びください（複数回答可）	① 奄美大島北部 ② 奄美大島南部 ③ 加計呂麻島・請島・与路島 ④ 喜界島 ⑤ 徳之島 ⑥ 沖永良部島 ⑦ 与論島	■変更なし
Q8.	今回の来訪で最も印象に残った場所（観光地等）を3つお答えください	3つ記入	■変更なし
Q9.	今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください	3つ記入	■変更なし
Q10.	今回の来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください（複数回答可）	① 路線バス ② 観光バス ③ レンタカー ④ タクシー ⑤ 自家用車・社用車・公用車等の送迎 ⑥ バイク ⑦ 自転車 ⑧ 航空機（群島内） ⑨ 船舶（群島内） ⑩ その他_____	■変更なし

Q11.	今回のご来訪中に行っ た活動や体験をお答え ください（複数回答 可）	①観光地めぐり ③サーフィン ⑤海水浴 ⑦ケイビング ⑨グラウンドゴルフ ⑪ガイドツアー ⑬イベント・祭り ⑮文化体験（三味線・シマ唄等） ⑯文化鑑賞（観光施設・郷土資料館等） ⑰集落めぐり ⑲黒糖焼酎を堪能 ⑳保養・休養 ㉑友人・知人の訪問 ㉒その他_____	②ダイビング ④釣り ⑥その他マリンレジャー ⑧ゴルフ ⑩その他スポーツ ⑫自然散策 ⑭伝統行事への参加 ⑯郷土料理を堪能 ⑰仕事・会議・研修 ⑱帰省・親戚等の訪問 ㉑スポーツキャンプの見学	■変更なし
Q12.	今回はどのような形態 で来訪されましたか。 下記から一つ選択し、 1人当たりの費用をご 記入ください	①団体旅行 約_____円 ②観光付きのパッケージ旅行 約_____円 ③フリープラン型のパッケージ旅行 約_____円 ④個人旅行・来訪 約_____円 ※航路・航空運賃のみ記入 <input type="checkbox"/> 個人旅行でマイレージポイントを利用された方はこちら にもチェックしてください		■変更なし
Q13.	奄美群島内でお支払い になった1人当たりの 金額を、それぞれの費 目ごとにご記入くださ い。なお、Q12の「団 体旅行・パッケージ旅 行」の費用に含まれて いるものを除きます （複数回答可）	①宿泊費 約_____円 ②群島内での交通費 約_____円 ③飲食費 約_____円		■変更なし
Q14.	奄美群島内でお支払い になった、お土産品・ 買い物代や娯楽・入場 費などそれぞれの品目 について金額をご記入 ください。なお、Q12 の「団体旅行・パッ ケージ旅行」の費用に 含まれているものを除 きます（複数回答可）	1：農産物 3：お酒・飲料 5：伝統工芸品 7：テーマパーク・レジャーランド等 8：観光施設・資料館・植物園等 9：ゴルフ場・グラウンドゴルフ場 10：スポーツ観戦・コンサート等 11：遊漁船 13：サーフィン 15：ガイドツアー 17：レンタル料 19：郵便・宅急便	2：水産物 4：その他食料品・菓子 6：その他製造品 12：ダイビング 14：ケイビング 16：その他ガイド料・体験料 18：エステ・マッサージ 20：その他	■変更なし
Q15.	今回のご来訪でSNSに 投稿した（投稿する予 定の）場所や物をお答 えください（複数回答 可）	①海の風景 ④地元の住民 ⑦イベント ⑩史跡 ⑫その他_____	②森林の風景 ⑤街並み ⑧観光地 ⑨島の動植物 ③食べ物 ⑥スポーツ・レジャー ①投稿していない	■変更なし
Q16.	今回のご来訪の満足度 をお答えください（複 数回答可）	《大変満足・満足・やや満足・どちらでもない・やや不 満・不満・大変不満・利用なし》 選択 旅行全体 料理・食事 接客対応・もてなし 観光情報・案内板 公共交通の利便性 街の清潔さ 名産品・土産品 トイレ施設	自然・風景 宿泊施設 観光施設 スポーツ・レジャー 伝統文化 買い物 通信環境(Wi-Fi等)	■変更なし
Q17.	あなたは今後も奄美群 島を訪れたいと思いま すか	①ぜひ訪れたい ②訪れたい ③どちらとも言えない ④訪れたくない		■変更なし
Q18.	あなたは奄美群島への 旅行等を他の人にも勧 めたいと思えますか （1つ〇）	①ぜひ勧めたい ②勧めたい ③どちらとも言えない ④勧めたくない		■変更なし
Q19.	来訪者の方⇒今回の来 訪を通して感じたご意 見等がございましたら おきかせください 居住者の方⇒奄美群島 の観光についてご意見 等がございましたらお 聞かせください			■変更なし

3. 生データのクリーニング

調査票の回答は、集計を行う前に、回答者の誤記入および手入力時の誤入力等と思われる生データについては、発注者と協議し、次のような方針でデータチェックおよび整理を行った。

データクリーニング方針

設問番号	設問内容	回答票クリーニング方針
Q0-1	性別	
Q0-2	年齢	
Q0-3	職業	
Q0-4	居住地方・地域	<p>■無回答者は無効とする。 回答欄は無効と表記する。 該当回答票はQ1からQ18までの設問を集計対象から除外する。</p> <p>■居住地別に下記の通り回答者の属性を分類する。 群島外居住者：①～⑧、及び⑪、⑫ 訪問者：⑨～⑬のうち、配付元ではない地域の居住者 居住者：アンケート配布元の居住者</p>
Q1-1	群島への往復に利用された交通機関をお選びください（往路）	<p>■令和2年から複数選択で集計 ■無回答は空欄として記述</p>
Q1-2	群島への往復に利用された交通機関をお選びください（復路）	<p>■令和2年から複数選択で集計 ■無回答は空欄として記述</p>
Q2	奄美群島に移動されるまでに経由（乗り換え等）した地域をお選びください。	
Q3	奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか。	
Q4-1	今回のご来訪の主な目的をお選びください。	
Q4-2	Q4-1.で「観光・レジャー」を選ばれた方に伺います。 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください。 (1つ〇)	<p>■若い方の番号を「正」として集計に算入する。</p>
Q5	今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか。 (1つ〇)	<p>■Q5の回答で「日帰り」と回答した回答票のうち、Q7で訪問箇所を4か所以上の地域選択した回答者はアイランドホッピングの可能性も考慮し、逐次照会を行う。判断結果に基づき、「日帰り」「6泊以上」(19年までは選択肢⑥、20年以降は選択肢⑦)のいずれかに入力値を修正する。</p> <p>⇒2020年度からは選択肢の順序が変更。2020年度以降は番号を⑦を選択したものと集計する。</p>
Q6	今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか。 (複数回答可)	
Q7	今回のご来訪中に訪れた(訪れる予定の)島・地域をお選びください。 (複数回答可)	<p>■Q5の回答で「日帰り」と回答した回答票のうち、Q7で訪問箇所を4か所以上の地域選択した回答者はアイランドホッピングの可能性も考慮し、逐次照会を行う。判断結果に基づき、「日帰り」「6泊以上」(19年までは選択肢⑥、20年以降は選択肢⑦)のいずれかに入力値を修正する。</p> <p>⇒2020年度からは選択肢の順序が変更。2020年度以降は番号を⑦を選択したものと集計する。</p>

Q8	今回の来訪で最も印象に残った場所(観光地等)を3つお答えください。	■ぐーんと奄美提供による対照表を基に集計ワードで変換する。 対照表にないものについては、逐次照会し判断を仰ぐ。
Q9	今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理などを3つお答えください。	■ぐーんと奄美提供による対照表を基に集計ワードで変換する。 対照表にないものについては、逐次照会し判断を仰ぐ。
Q10	今回のご来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください。 (複数回答可)	
Q11	今回のご来訪中に行った活動や体験をお答えください。 (複数回答可)	
Q12-1	今回はどのような形態で来訪されましたか。下記のあてはまるもの1つに、1人あたりの費用をご記入ください。(おおよその金額で構いません。)	■複数回答者は無効とする。 回答欄には無効と表記する。 本設問の集計及び関連する集計の集計対象から除外する。 ■0円と記入した欄は空欄と読み代える。 ■1000円未満の金額を記入した欄は無効とする。 回答欄には無効と表記する。 本設問の集計及び関連する集計の集計対象から除外する。 ■過大金額を記入した回答者は個別に照会し判断を仰ぐ
Q12-2	「個人旅行・来訪」の方でマイレージポイントを利用された方はこちらもチェックしてください。	
Q13	奄美群島内でお支払いになった1人当たりの金額を、それぞれの費目ごとにご記入ください。なお、Q18の「団体旅行・パッケージ旅行」の費用に含まれているものを除きます。 (おおよその金額で構いません。) (複数回答可)	■0円と記入した欄は空欄と読み代える。 ■0円以上かつ100円未満の過少金額を金額を記入した欄は無効とする。 回答欄には無効と表記する。 本設問の集計及び関連する集計の集計対象から除外する。 ■過大金額を記入した回答者は個別に照会し判断を仰ぐ
Q14	奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。なお、Q18の「団体旅行・パッケージ旅行」の費用に含まれているものを除きます。(おおよその金額で構いません。) (複数回答可)	■0円と記入した欄は空欄と読み替える。 ■0円以上かつ100円未満の過少金額を記入した欄は無効とする。但し、回答項目19: 宅急便・郵便では10円未満の金額を記入し回答者を無効とする。 回答欄には無効と表記する。 本設問の集計及び関連する集計の集計対象から除外する。 ■過大金額を記入した回答者は個別に照会し判断を仰ぐ ■過大金額及び過少金額の範囲は、個票クリーニングのエクセル票の各項目の表題に記載する。

Q15	今回のご来訪でSNSに投稿した(投稿する予定の)場所やものをお答えください。 (複数回答可)	
Q16-1	今回のご来訪の全体の満足度をお答えください	
Q16-2	今回のご来訪の下記項目の満足度をお答えください (複数回答可)	
Q17	あなたは今後も奄美群島に訪れたいと思いますか。 (1つ〇)	
Q18	あなたは奄美群島への旅行等を他の人にも勧めたい と思いますか。 (1つ〇)	
Q19	自由意見欄	

4. 回答結果の集計方針

生データのクリーニング後、エクセルで集計を行い、図表表示を含めて年度単位で一括ファイル化した。

集計方針とクロス集計内容およびグラフ内容は、協議の上、以下のようにした。

設問番号	設問内容	2020年度業務分析依頼内容	集計方針	クロス集計内容	グラフ内容
【1】	性別	総計及びクロス集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・円グラフ
【2】	年齢	総計及びクロス集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・棒グラフ
【3】	職業	総計及びクロス集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・円グラフ
【4】	居住地方・地域	総計及びクロス集計	■項目別集計 ■居住地別に下記の通り回答者の属性を分類する。 ●群島外居住者：①～⑧、及び⑰、⑱ ●訪問者：⑨～⑱のうち、配付元ではない地域の居住者 ●居住者：アンケート配布元の居住者	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・棒グラフ
【5】	アンケート実施同島の方は最終Q.フリー意見へ				不要

Q1.	群島への往復に利用された交通機関をお選びください	総計及び【1】【5】の要素でクロス集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別 ●属性別	■項目別・円グラフ
Q2.	群島に移動されるまでに経由（乗り換え等）した地域をお選びください	集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・棒グラフ
Q3.	奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか	回数別合計及び属性別クロス集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別 ●属性別	■項目別・円グラフ
Q4-1.	今回のご来訪の主な目的をお選びください	①②⑧はクロス集計 ③～⑦は親戚友人イベントと一括して集計	■項目別集計 ■項目③、④、⑥、⑦を親戚友人イベントとして一括集計する。 ⇒複数項目に該当する場合、まとめて1件として扱う。	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・円グラフ
Q4-2.	（「①観光・レジャー」を選ばれた方） 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください（1つ〇）	通常集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・棒グラフ
Q5.	今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか（1つ〇）	総計及び中央値	■項目別集計 ■最頻値算出	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・円グラフ
Q6.	今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか（複数回答可）	属性とのクロス集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別 ●属性別	■項目別・棒グラフ
Q7.	今回のご来訪中に訪れた（訪れる予定の）島・地域をお選びください（複数回答可）	アンケート実施地域とそれ以外を明確にする	■項目別集計 ■訪問箇所数別集計 ■平均訪問箇所数算出	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・棒グラフ ■訪問箇所数別・円グラフ
Q8.	今回の来訪で最も印象に残った場所（観光地等）を3つお答えください	島別中央値 集計にあたっては地名の重複をチェック（ササント=宮古崎）	■項目別集計。 ■集計数上位5項目程度を抽出。		
Q9.	今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください	島別中央値	■項目別集計。 ■集計数上位5項目程度を抽出。		
Q10.	今回の来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください（複数回答可）	個別集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・棒グラフ
Q11.	今回のご来訪中に行った活動や体験をお答えください（複数回答可）	属性別のクロス集計	■項目別集計 ■カテゴリー別集計 ■カテゴリー分類は次のとおりとする。 【1】 散策・トレッキング：①、⑫、⑰ 【2】 マリンアクティビティ：②～⑥ 【3】 探検・ガイドツアー：⑦、⑪ 【4】 ゴルフ・スポーツ：⑧～⑩ 【5】 イベント・祭・行事：⑬、⑭ 【6】 体験・味覚：⑮、⑱、⑲ 【7】 見学・鑑賞：⑯、⑳ 【8】 業務・研修：㉑ 【9】 保養・休養：㉒ 【10】 親戚友人イベント：㉓～㉔ 【11】 その他：㉕	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別・棒グラフ ■カテゴリー別・棒グラフ

Q12.	今回はどのような形態で来訪されましたか。下記から一つ選択し、1人当たりの費用をご記入ください	各金額の中央値 突出した金額を省いた平均値 属性とのクロス集計	■項目別中央値算出 ■項目別平均値算出（最大金額と最小金額を除いたもの） ■合計値の中央値算出 ■合計値の平均値算出（最大金額と最小金額を除いたもの）	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別 ●属性別	■項目別：中央値＋平均値＋最大値＋最小値＋回答票割合・複合グラフ
Q13.	奄美群島内でお支払いになった1人当たりの金額を、それぞれの費目ごとにご記入ください。なお、Q12の「団体旅行・パッケージ旅行」の費用に含まれているものを除きます（複数回答可）	集計 平均額又は中央値	■項目別中央値算出 ■項目別平均値算出（最大金額と最小金額を除いたもの） ■合計値の中央値算出 ■合計値の平均値算出（最大金額と最小金額を除いたもの）	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別：中央値＋平均値＋最大値＋最小値＋回答票割合・複合グラフ
Q14.	奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。なお、Q12の「団体旅行・パッケージ旅行」の費用に含まれているものを除きます（複数回答可）	集計 平均額又は中央値	■項目別中央値算出 ■項目別平均値算出（最大金額と最小金額を除いたもの） ■カテゴリー別中央値算出 ■カテゴリー別平均値算出（最大金額と最小金額を除いたもの） ■合計値の中央値算出 ■合計値の平均値算出（最大金額と最小金額を除いたもの） ■カテゴリー別の分類は次のとおりとする。 ●お土産品・買い物代 【1】 生鮮品類：①、② 【2】 加工食品類：③、④ 【3】 その他製造品類：⑤、⑥ ●娯楽・入場費 【4】 施設入場・観覧・見学：⑦～⑩ 【5】 ガイド、ツアー、体験：⑪～⑬ 【6】 レンタル料：⑭ 【7】 エステ・マッサージ：⑮ ●その他 【8】 その他：⑯、⑰	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■項目別：中央値＋平均値＋最大値＋最小値＋回答票割合・複合グラフ ■カテゴリー別：中央値＋平均値＋最大値＋最小値＋回答票割合・複合グラフ ■カテゴリー別：支払金額帯・帯グラフ ■Q12～Q14及びその合計：中央値＋平均値＋最大値＋最小値＋回答票割合・複合グラフ ■Q12～Q14及びその合計：金額帯比較・棒グラフ
Q15.	今回のご来訪でSNSに投稿した（投稿する予定の）場所や物をお答えください（複数回答可）	属性別クロス集計	■項目別集計	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別 ●属性別	■項目別・棒グラフ
Q16.	今回のご来訪の満足度をお答えください（複数回答可）	7段階評価 集計	■7段階評価として選択項目を下記の通りに点数換算する。 大変満足=7 満足=6 やや満足=5 どちらでもない=4 やや不満=3 不満=2 大変不満=1 利用なし=0 ■項目別集計を行う。 ■換算点数に基づく平均評価を求める。 ■Q19へ添付する3段階評価への変換 7～5：G「満足」 4：N「普通」 3～1：B「不満」	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別	■全体評価・円グラフ ■項目別・帯グラフ
Q17.	あなたは今後も奄美群島を訪れたいと思いますか	③④を回答した方の自由意見をチェックしたい	■項目別集計 ■③および④を選択した回答者の自由意見を別途まとめる。	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別 ■③④回答者意見チェック	■項目別・円グラフ
Q18.	あなたは奄美群島への旅行等を他の人にも勧めたいと思いますか（1つ〇）	③④を回答した方の自由意見をチェックしたい	■項目別集計 ■③および④を選択した回答者の自由意見を別途まとめる。	■単純集計 ■配付元島別集計 ■クロス集計 ●訪問先島別 ■③④回答者意見チェック	■項目別・円グラフ
Q19.	来訪者の方⇒今回の来訪を通して感じたご意見等がございましたらおきかせください 居住者の方⇒奄美群島の観光についてご意見等がございましたらお聞かせください	文書をデータベース化する Q17・Q18に紐づけして分類16通りに分類ストック 文書データベース化	■自由意見本文、性別、年齢、性別×年代、職業、居住地、Q13及びQ14の消費金額の合計、Q16の旅行全体の満足度を示した表にまとめる。 ■自由意見本文、性別、年齢、性別×年代、職業、居住地、Q13及びQ14の消費金額の合計、Q16の旅行全体の満足度を示した表にまとめる。	■分類掲載 ■文書データベース化	

5. 集計結果の図化の表示方針について

1-2では、アンケート調査票（資料編）への回答集計結果の単純集計について、奄美群島全体の結果を設問ごとに4年間分をできるだけまとめて、併記することとした。その理由は、年度ごとに大きな変化が見られないため、一括して4年分をまとめて併記し図化した上で、変化を含めての考察を加えることとした。なお、データとしては、回別の集計も行っている。

1-3では、配布先島別ではなく、訪問先島別集計について、各島の特徴が現れていると考えられる集計結果を中心に、図化したものを掲載した。なお、データとしては、配布先別、回別の集計も行っている。

第2章のクロス集計については、回答数が一番多かった平成30年度の結果を主な代表値として考察を行った。本来であれば、直近の令和2年度の集計結果を使うほうがよいが、コロナ禍で緊急事態宣言が実施されたこともあり、例年の来訪者の動向と異なること、また回答数が著しく小さく、さらに年度当初の5月分は実施できなかったため、集計結果の主たる考察からは外している。

なお、集計に際しての生データのクリーニングに関する課題、集計での留意点、今後の活用については、第3章で記載した。

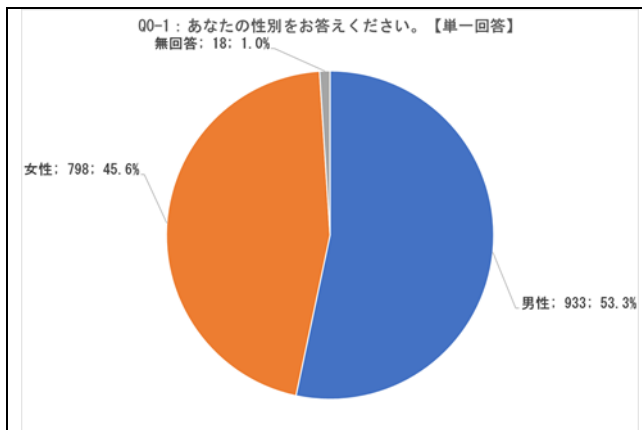
資料編には、調査票のみを掲載し、エクセルによる集計表は大部となるため、付録の電子データに収録した。

1-2 奄美群島全体における単純集計結果

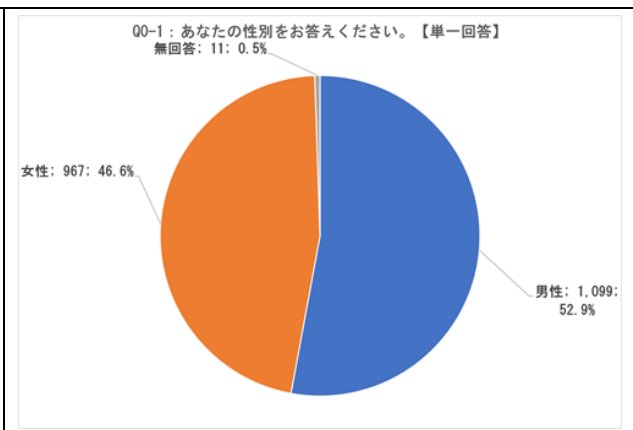
1. 回答者性別

(Q0-1 あなたの性別をお答えください。)

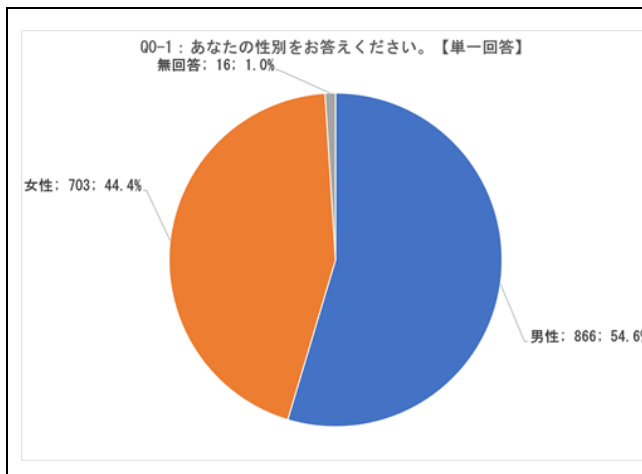
H29 (2017)



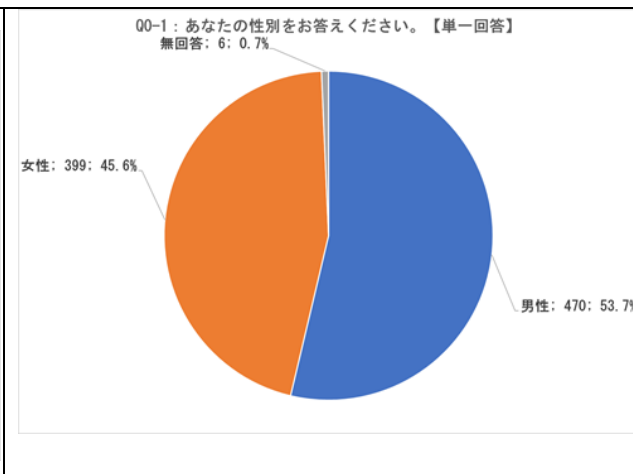
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

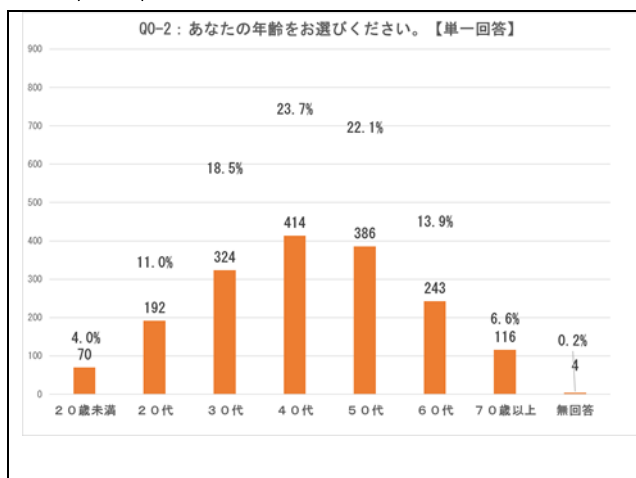


回答者の属性で、性別については、4年間とも、女性よりもやや男性が多く、53%前後であった。

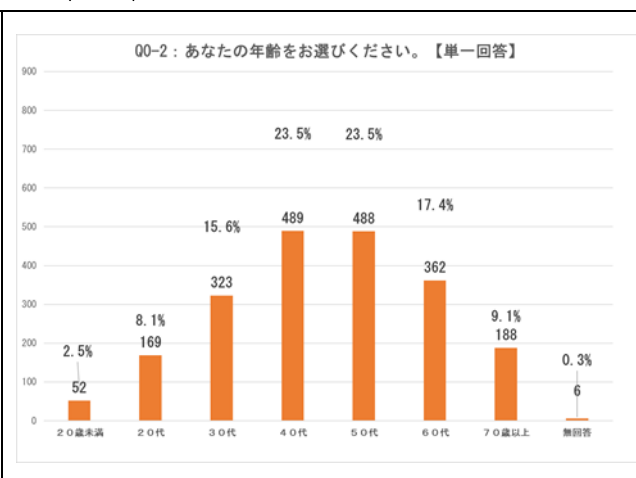
2. 回答者年齢

(Q0-2 あなたの年齢をお選びください。)

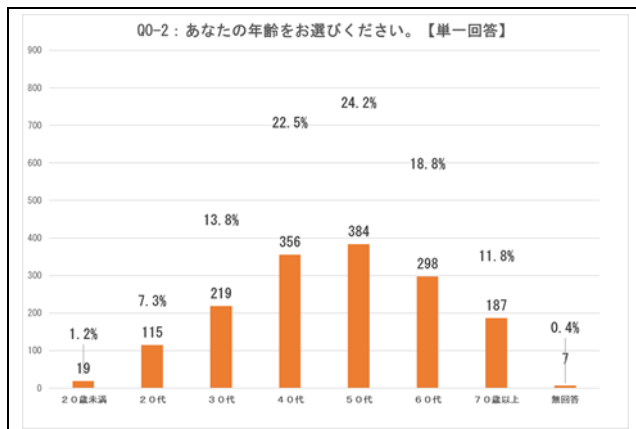
H29 (2017)



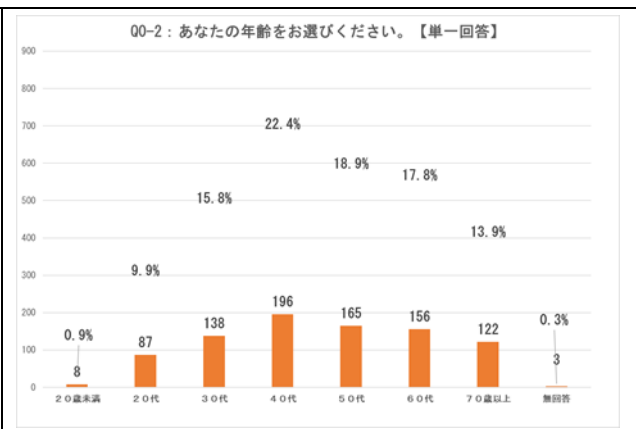
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

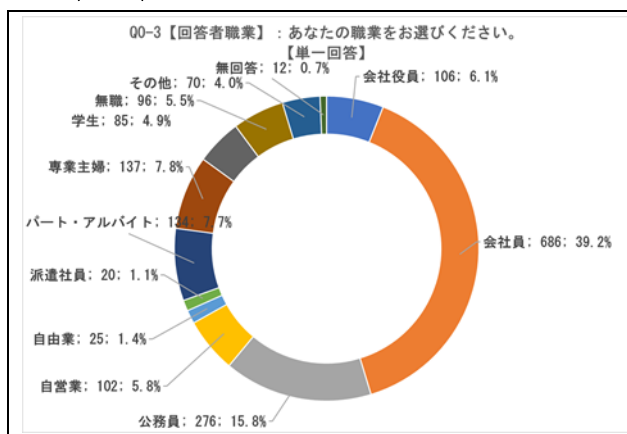


回答者の属性で、年齢については、40代および50代が多い。

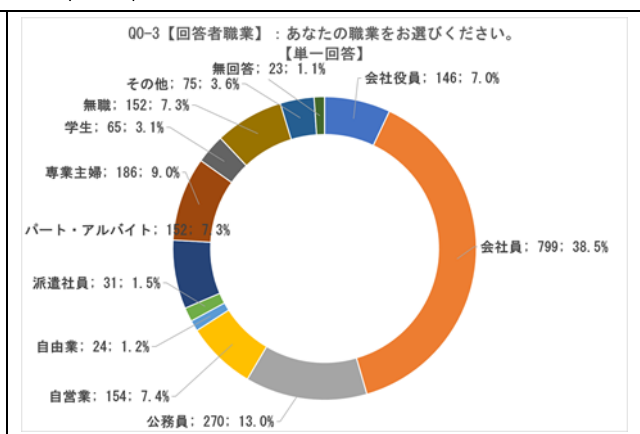
3. 回答者職業

(Q0-3 あなたの職業をお選びください。)

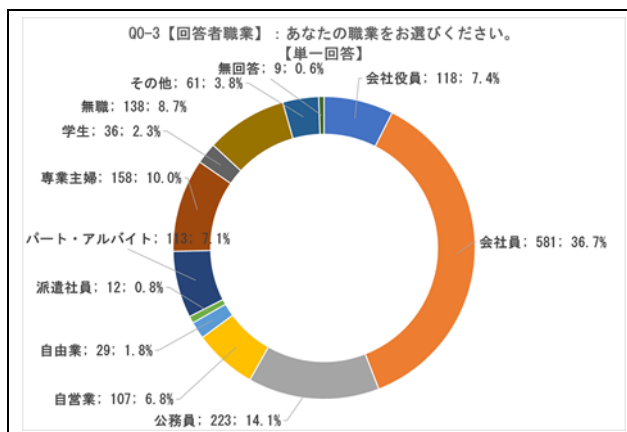
H29 (2017)



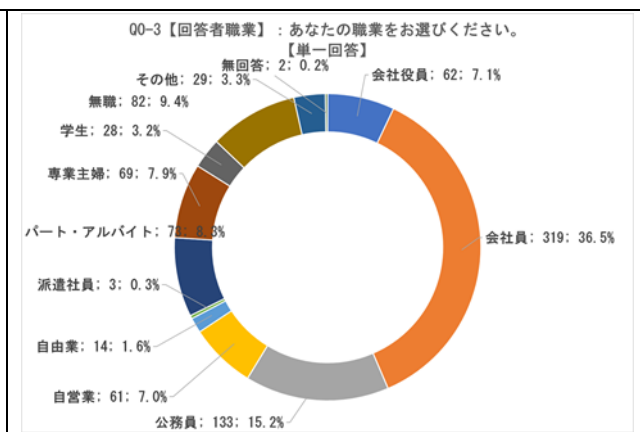
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

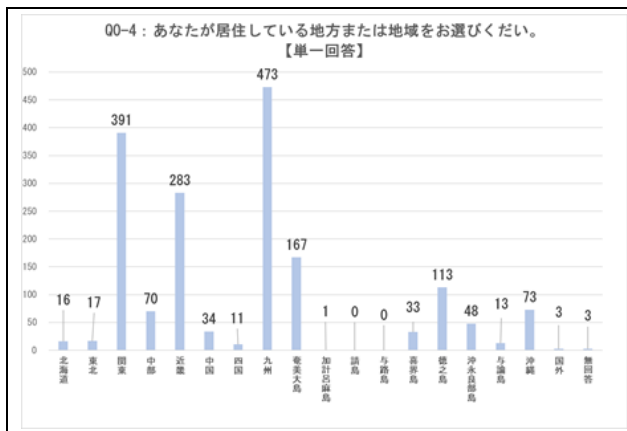


回答者の属性で、職業については、圧倒的に会社員が多く、次に、公務員が多い。次に、時間あるいは資金に余裕のあると思われる会社役員、自営業、無職が一定数来訪していることがわかる。

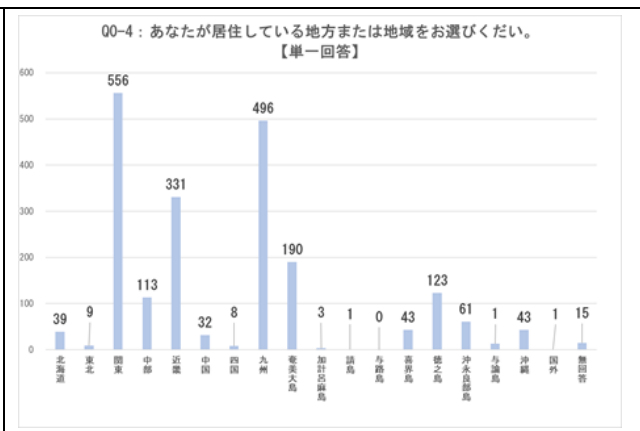
4. 回答者居住地

(Q0-4 あなたが居住している地方または地域をお選びください。)

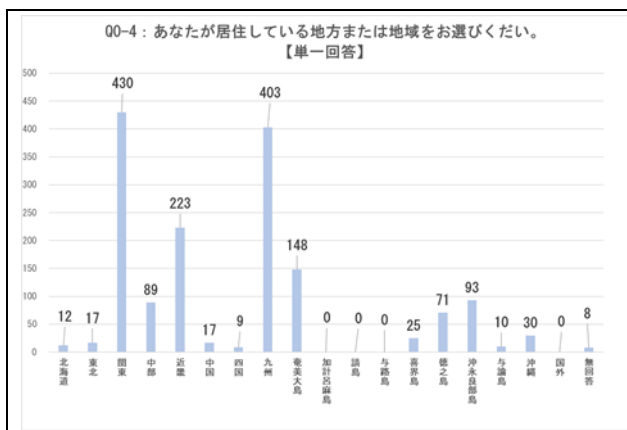
H29 (2017)



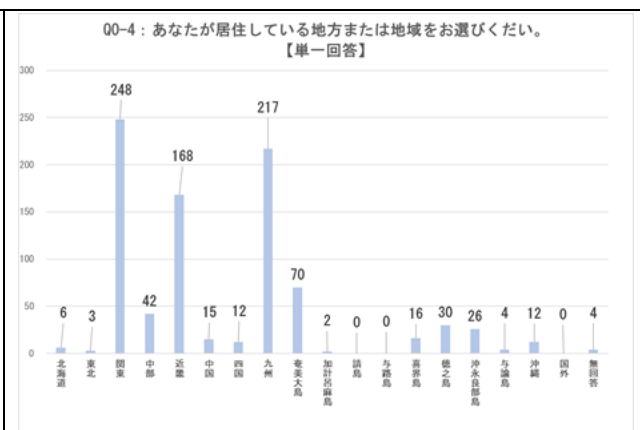
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



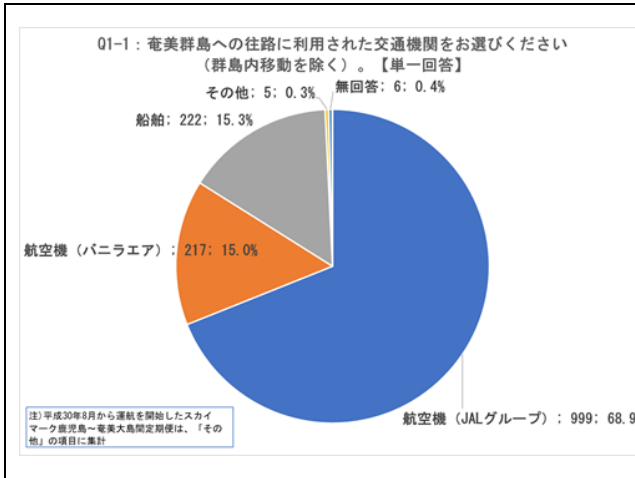
回答者の属性で、居住地域については、関東、九州が多い。次に、近畿地方となっている。直行便がないためか中部地域は、意外と少ない。

奄美群島内の居住者は、居住者の島以外の場合には来訪者としてカウントされているため、比較的人口の多い奄美大島や徳之島、沖永良部島の方が回答されていることがわかる。

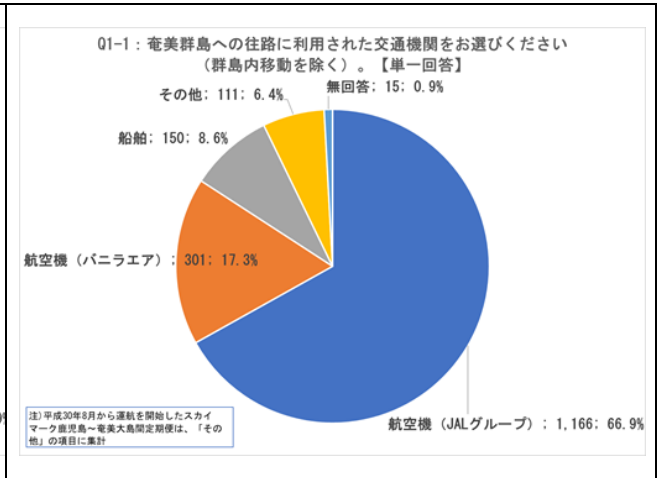
5. 往路交通手段

(Q1-1 奄美群島への往路に利用された交通機関をお選びください (群島内移動を除く。))

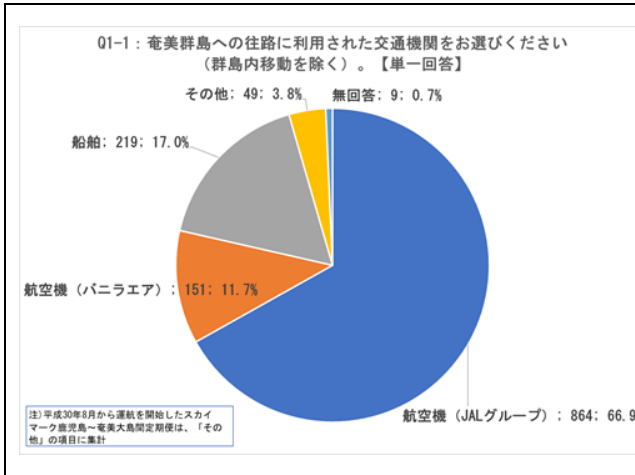
H29 (2017)



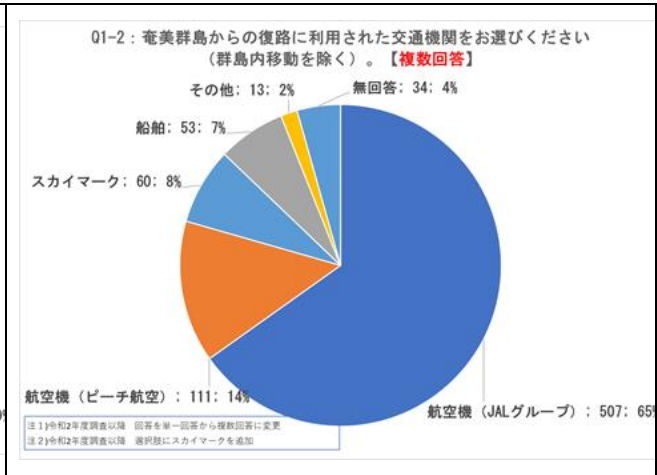
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



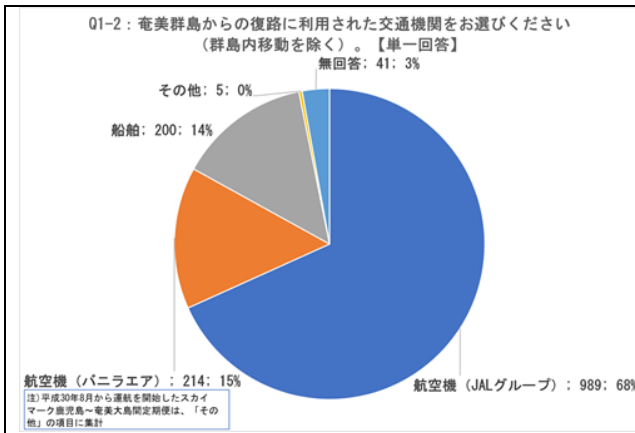
往路の交通手段については、奄美空路は JAL グループが担っているため、航空機の JAL グループが、7割弱を占めている。次に、ANA グループの LCC のバニラ・エア、ピーチアビエーションとなっている (2019 年 11 月、バニラはピーチと統合)。また船舶による移動も一定数が利用していることがわかる。船舶は、鹿児島～奄美大島航路と考えられる。船舶では長時間船内に籠もることとなるため、2020 年はコロナ禍により割合が減少していると考えられる。

2018 年 8 月に再就航したスカイマーク (鹿児島～奄美) は、2020 年度調査で、選択肢に加えたことにより数字となって現れてきている (7.4%)。なお 2020 年度は、複数回答としている。

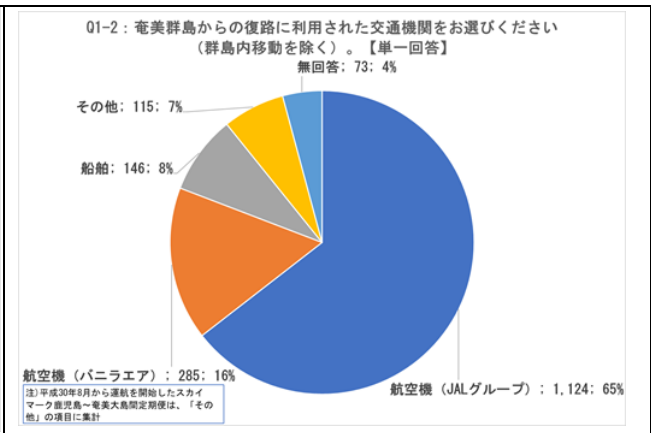
6. 復路交通手段

(Q1-2 奄美群島からの復路に利用された交通機関をお選びください (群島内移動を除く。))

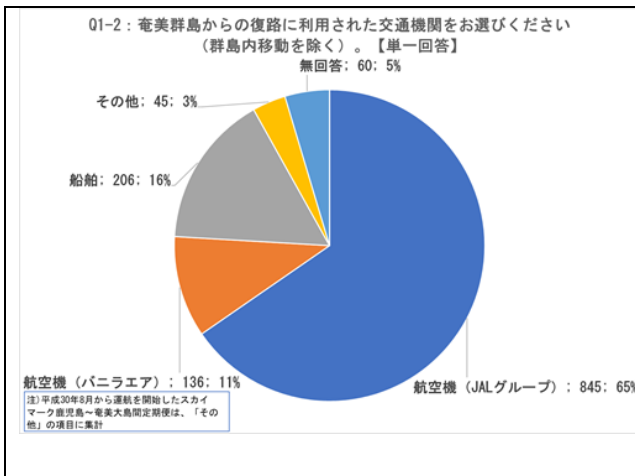
H29 (2017)



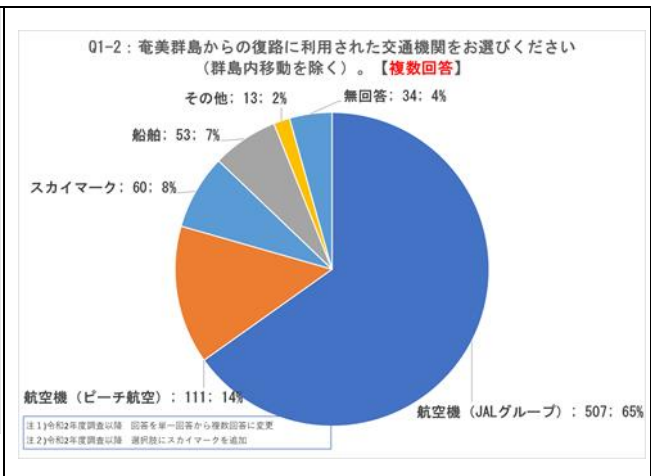
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

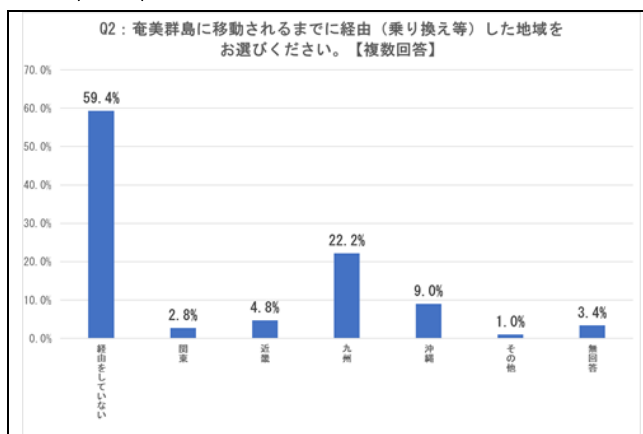


復路の交通手段は、往路とほぼ同様の数字となっていることから、往復路とも同じ交通手段を利用していることが伺われる。

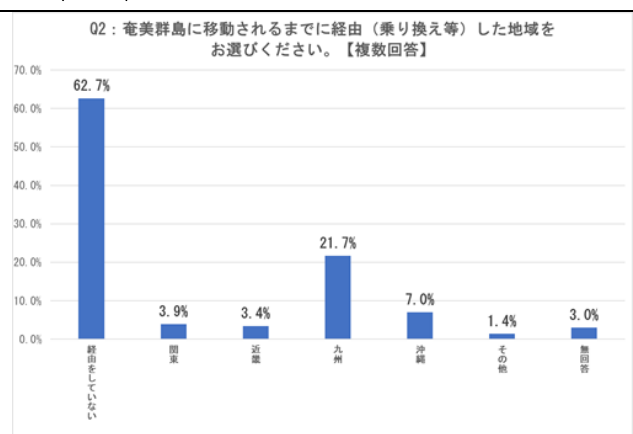
7. 渡航経由地

(Q2 奄美群島に移動されるまでに経由（乗り換え等）した地域をお選びください。【複数回答】)

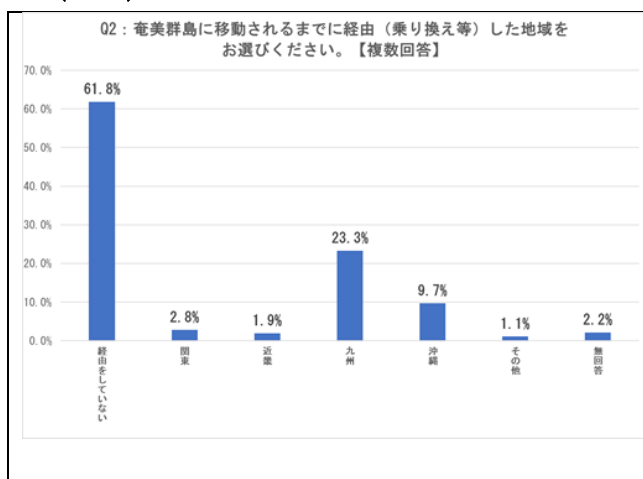
H29 (2017)



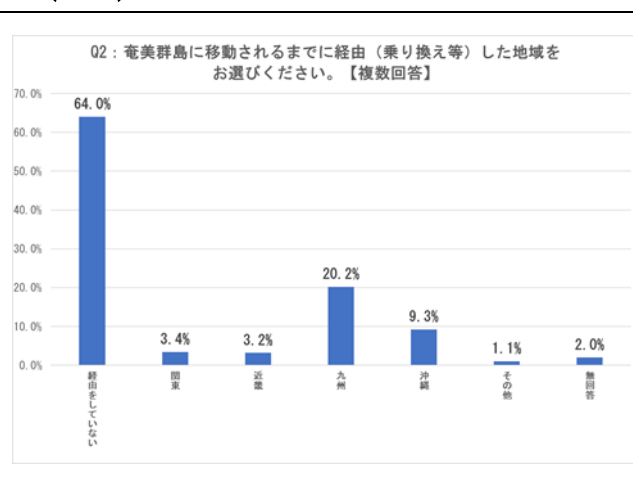
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

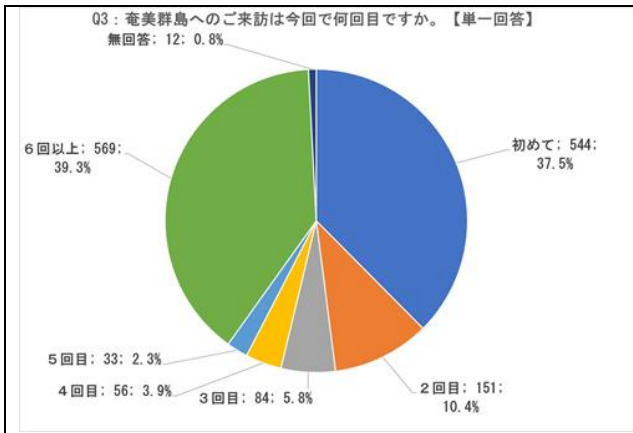


渡航経由地については、多くの回答者が「経由をしていない」と回答し、直行便で奄美を訪問していることがわかる。九州経由（鹿児島乗り換え）の人も2割強いることがわかる。また、一部の人は、沖縄経由の人もいる。

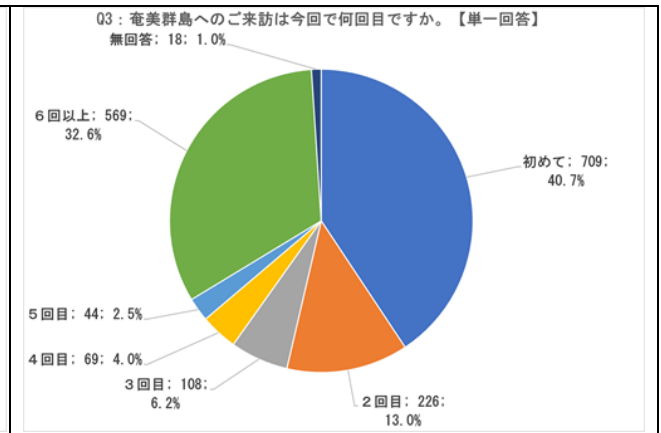
8. 来訪回数

(Q3 奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか。)

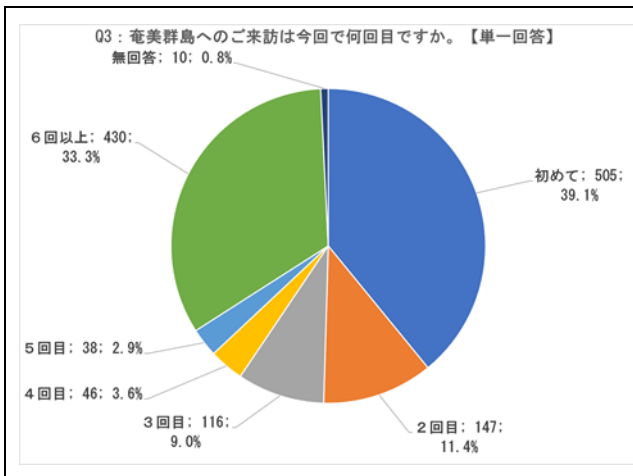
H29 (2017)



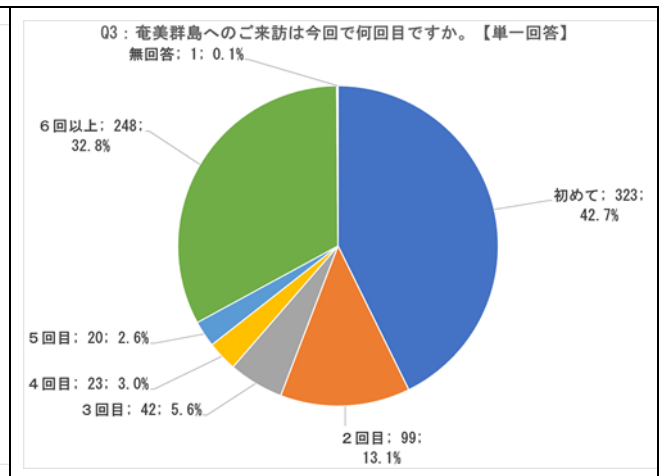
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

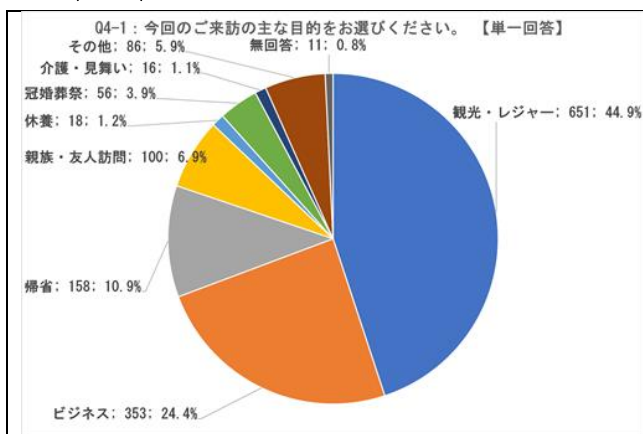


来訪回数としては、初めての人が、約4割はいることがわかる、2回目も約1割はいる。他方で、6回以上というリピーターも3割いることがわかる。

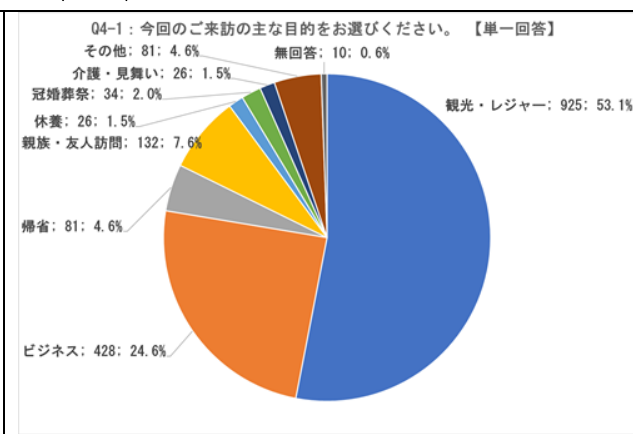
9. 来訪目的

(Q4-1 今回のご来訪の主な目的をお選びください。)

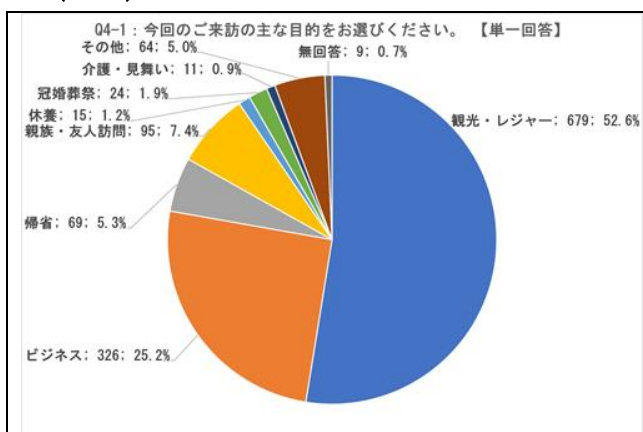
H29 (2017)



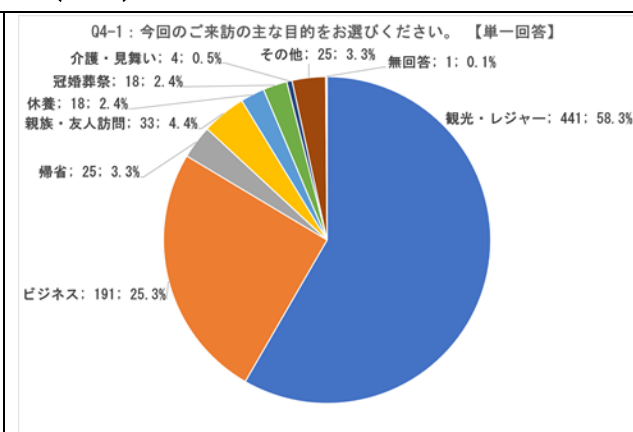
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

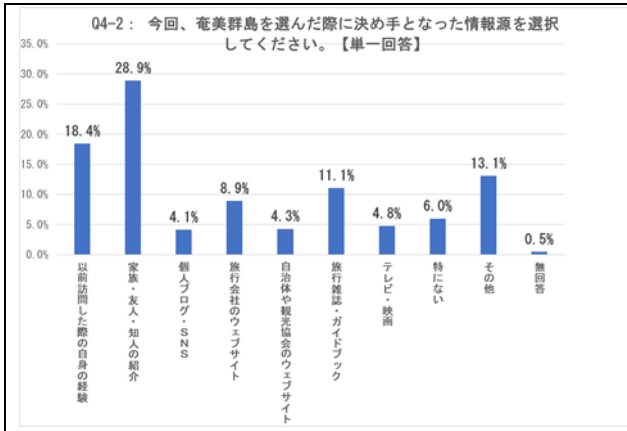


来訪目的については、「観光・レジャー」が1位で、年々高まりを見せており、直近では5割を超えている。次に、ビジネス目的が、約4分の1となっている。2020年度は、コロナ禍で、帰省その他は、行動を控えたことが、逆に、観光・レジャーの割合を押し上げているとも考えられる。

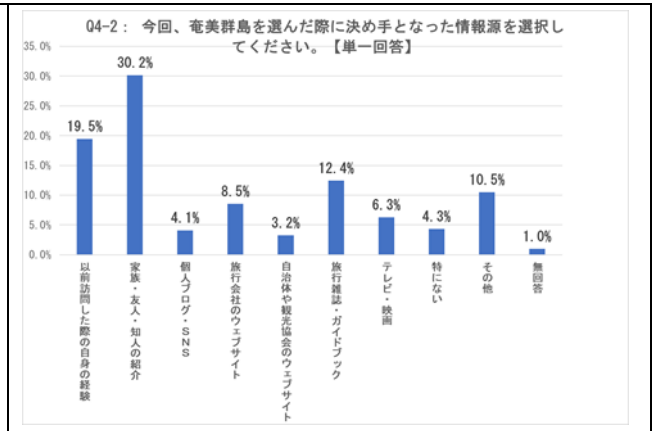
10. 情報源

(Q4-2 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください。)

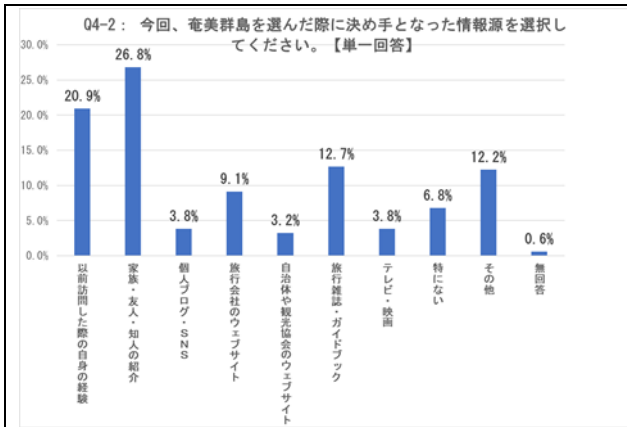
H29 (2017)



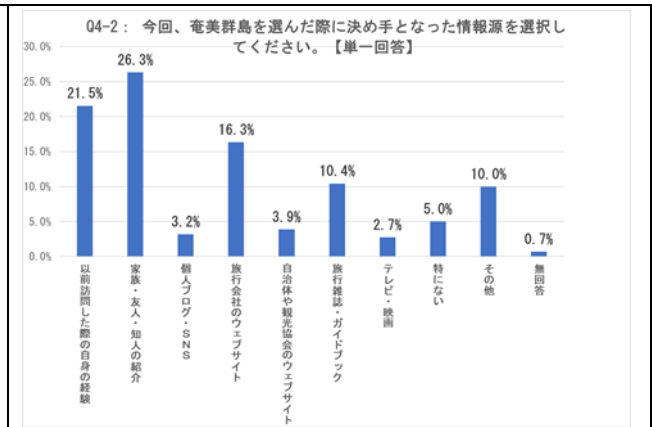
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



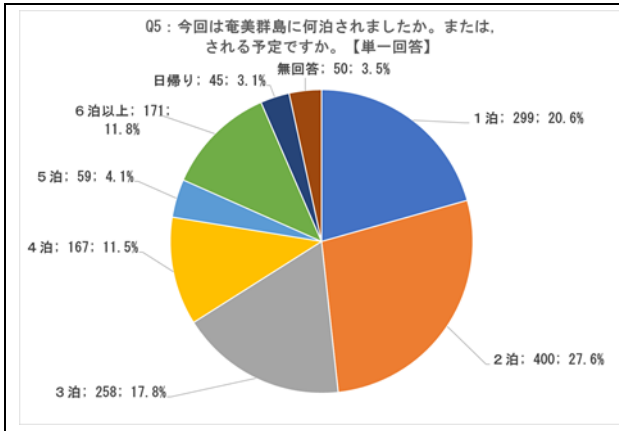
奄美行きのきっかけとなった情報源については、多い回答は、『口コミ』とも言える「家族・友人・知人の紹介」となっている。次に、再訪者にとっては、自身の過去の訪問経験からの回答が多いと考えられる。それ以外は、旅行雑誌および旅行会社のサイトの情報で、判断していることが伺われる。

このことから、情報媒体の利用・発信も重要であるが、現地で得た口コミや体験が、リピーターとなる要因ともなっていることが伺われる。

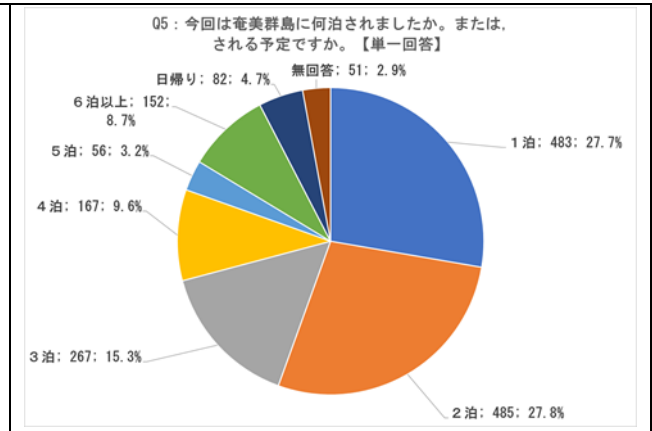
11. 宿泊日数

(Q5 今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか。)

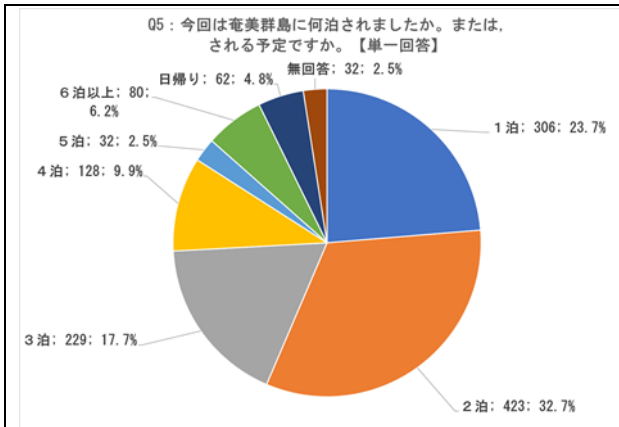
H29 (2017)



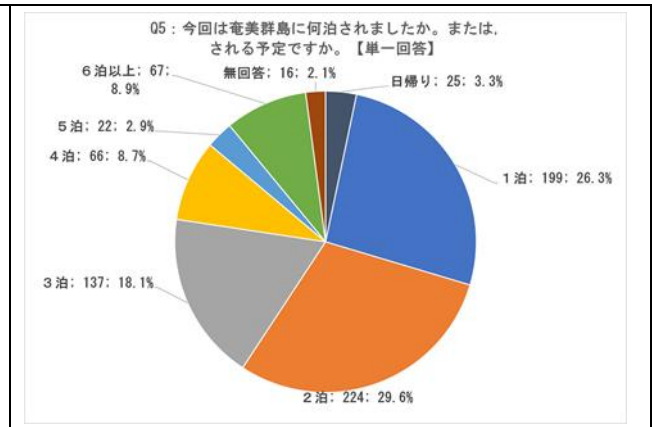
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



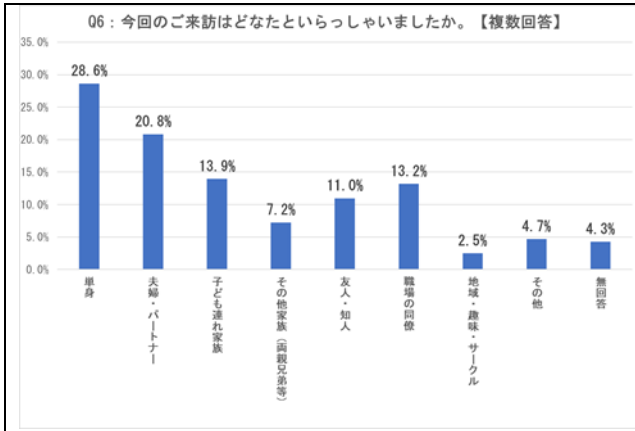
宿泊数については、2泊という回答が一番多く、30%前後である。次には、25%前後で、1泊となっている。3泊は、約18%となっている。

H29(2017)年は、6泊以上は、11%以上あったが、減りつつあるようだ。

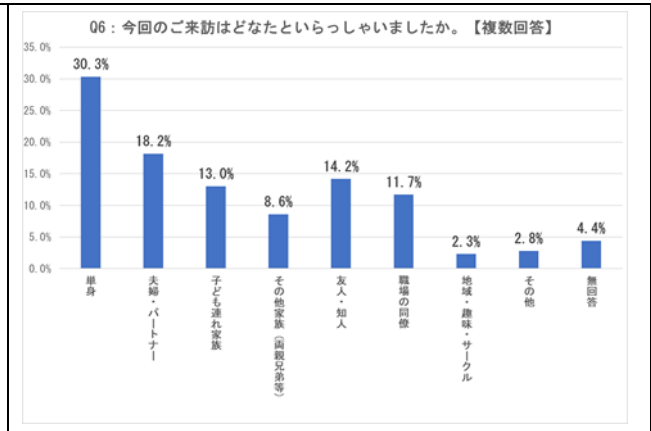
12. 同行者属性

(Q6 今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか。)

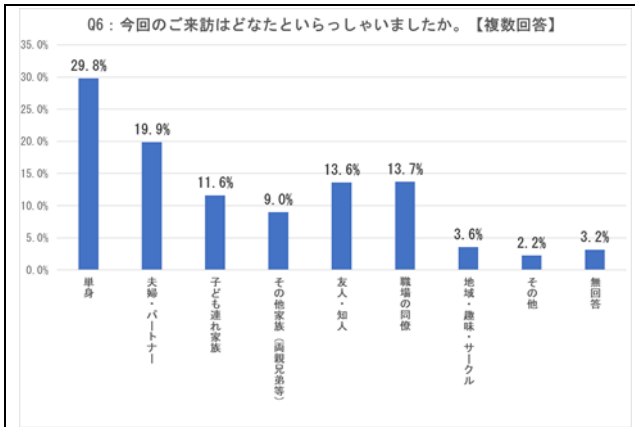
H29 (2017)



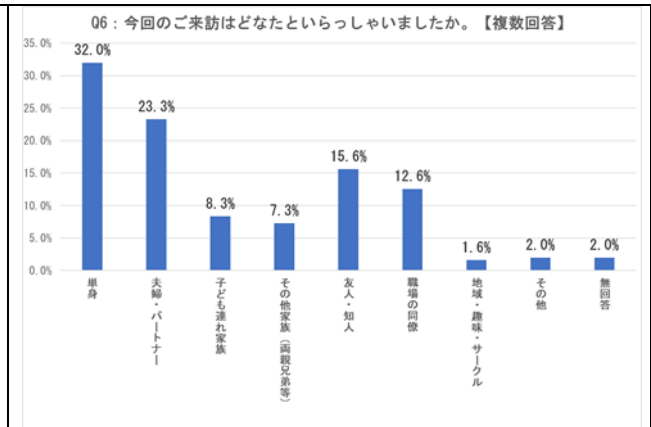
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



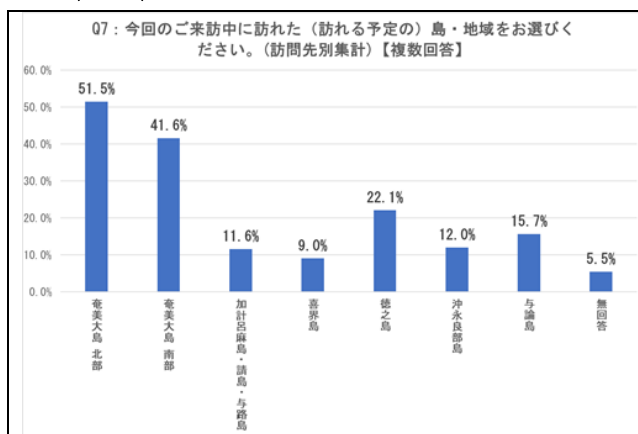
同行者の属性としては、まず、「単身」、本人のみが一番多く、3割程度である。次は、「夫婦・パートナー」で、2割程度である。その次が、「友人・知人」といったグループあるいは「職場の同僚」といったグループが、13%程度となっている。さらに、「子ども連れ家族」や「その他家族」で、それぞれ10%、8%程度となっている。

4年間を通して、客層（旅行形態）は大きく変化しているとは見受けられない。

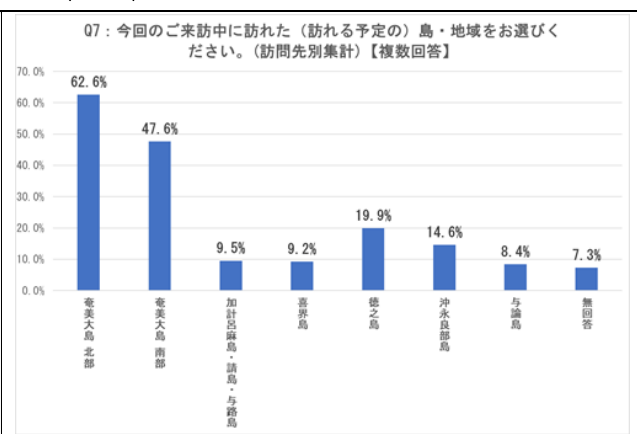
13. 群島内訪問先

(Q7 今回のご来訪中に訪れた（訪れる予定の）島・地域をお選びください。)

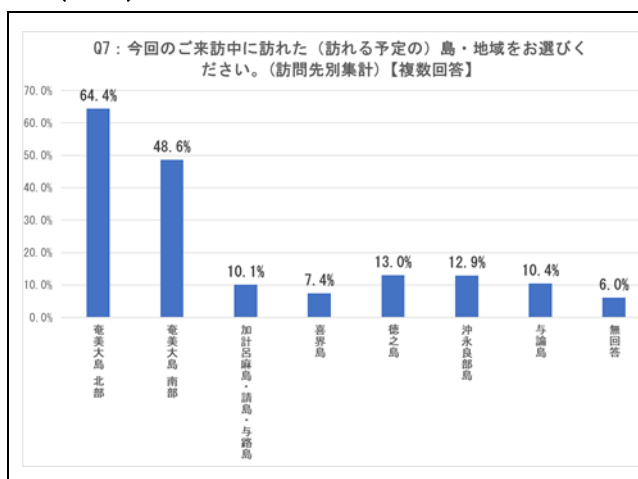
H29 (2017)



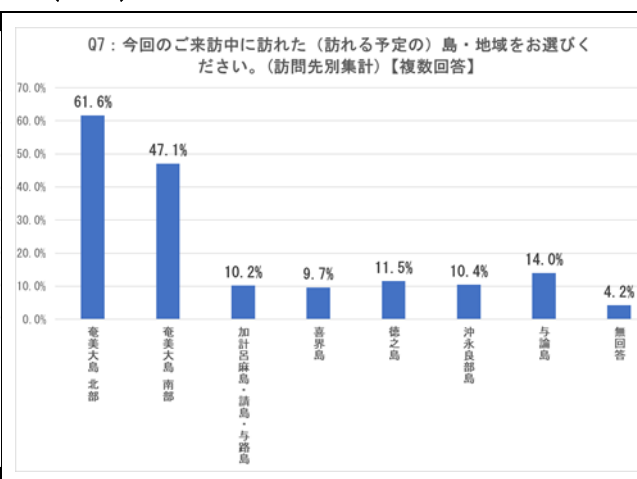
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

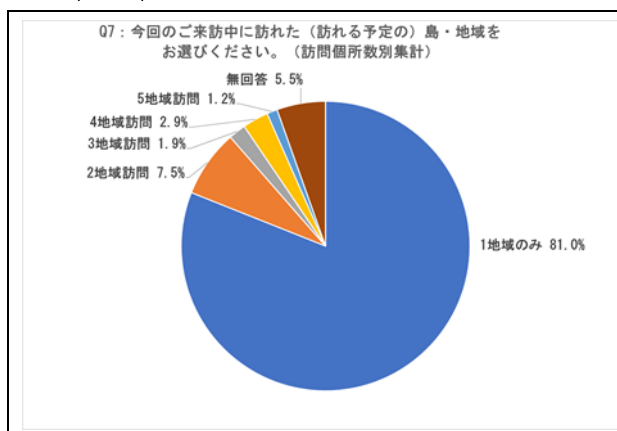


群島内訪問先としては、圧倒的に奄美大島が多い。人口規模、面積規模、観光資源の量、ビジネスニーズ等から当然であろう。それ以外では、徳之島、沖永良部島と続く。双方とも、ビジネス客、農業・土木関係に加えて、観光が続くと考えられる。それに続いて、観光の与論島であるが、R2(2020)年は、コロナ禍でも一定需要はあった可能性がある。

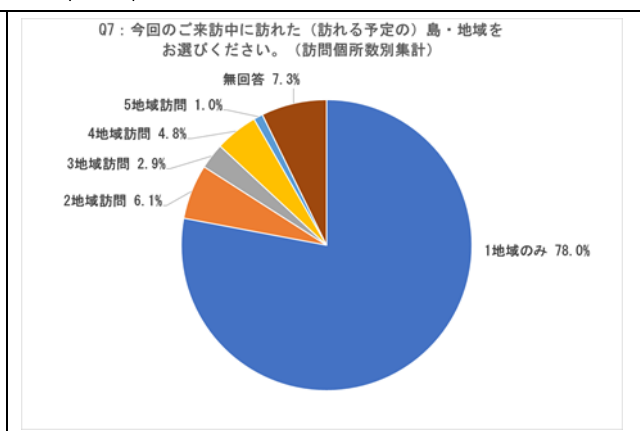
14. 訪問箇所数

(Q7 今回のご来訪中に訪れた(訪れる予定の)島・地域をお選びください。)

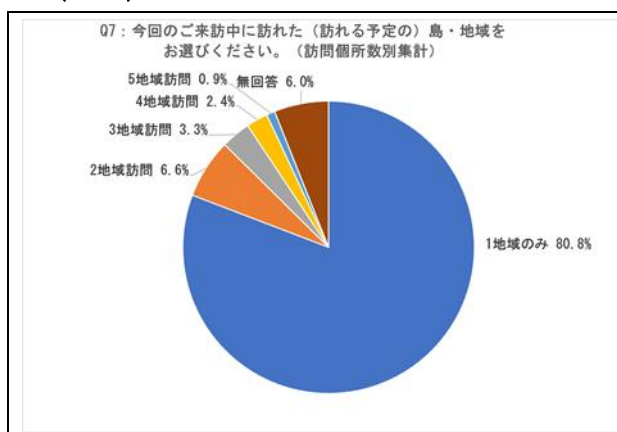
H29(2017)



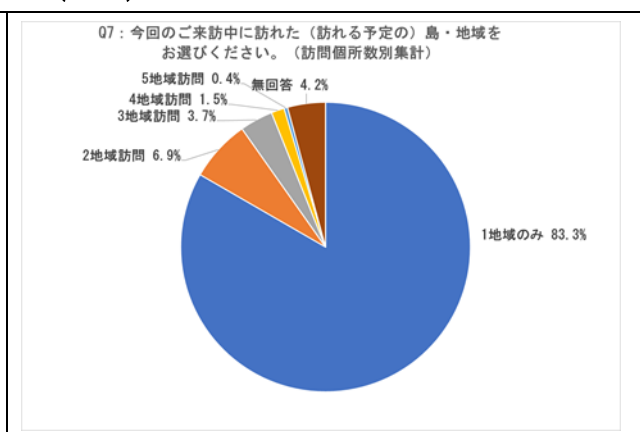
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



訪問箇所数としては、1地域という回答が、8割程度となった。2地域が7%程度となっている。島を複数に渡って訪問・滞在することは極めて少ないといえる。

15. 印象場所、印象特産物・料理等

(Q8 今回の来訪で最も印象に残った場所（観光地等）を3つお答えください。)

(Q9 今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください。)

自由回答のため、用語を整えて、上位5位までを列挙した。

Q8

H29(2017)	複数回答（記述回答）	数	%
1	マングローブ	171	11.80%
2	あやまる岬	130	8.97%
3	加計呂麻島	82	5.66%
4	奄美パーク・田中一村美術館	79	5.45%
5	ハートロック	52	3.59%

H30(2018)	複数回答（記述回答）	数	%
1	あやまる岬	238	13.65%
2	マングローブ	212	12.16%
3	奄美パーク・田中一村美術館	164	9.41%
4	ハートロック	89	5.11%
5	加計呂麻島	78	4.48%

R1(2019)	複数回答（記述回答）	数	%
1	あやまる岬	193	14.94%
2	マングローブ	178	13.78%
3	奄美パーク・田中一村美術館	128	9.91%
4	ハートロック	76	5.88%
5	ホノホシ海岸	60	4.64%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	あやまる岬	101	13.36%
2	マングローブ	80	10.58%
3	奄美パーク・田中一村美術館	49	6.48%
4	ホノホシ海岸	42	5.56%
5	加計呂麻島	36	4.76%

Q9

H29(2017)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	599	41.34%
2	黒糖焼酎	259	17.87%
3	黒糖	143	9.87%
4	もずく・もずく料理	132	9.11%
5	油そうめん	114	7.87%

H30(2018)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	756	43.37%
2	黒糖焼酎	342	19.62%
3	黒糖	173	9.93%
4	油そうめん	137	7.86%
5	もずく・もずく料理	107	6.14%

R1(2019)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	582	45.05%
2	黒糖焼酎	251	19.43%
3	黒糖	118	9.13%
4	油そうめん	91	7.04%
5	もずく・もずく料理	88	6.81%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	318	42.06%
2	黒糖焼酎	117	15.48%
3	もずく・もずく料理	62	8.20%
4	黒糖	59	7.80%
5	油そうめん	46	6.08%

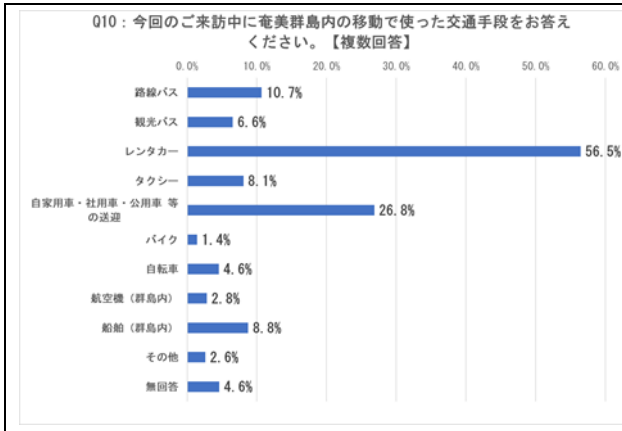
上位5位をみると、あやまる岬、マングローブが、常に上位1，2位となっている。また、奄美パーク・田中一村美術館、加計呂麻島、ハートロック、ホノホシ海岸がそれに次ぐ、人気場所となっており、評価は定まっている。群島全体では、アンケートの多くが奄美大島での回答が多いため、また他4島の訪問者数・回答数が相対的に少ないために、ランキング上位には奄美大島の観光資源名があがっている。

特産品、料理等については、4年間での上位5位は、変わらなかった。鶏飯、黒糖焼酎、黒糖、もずく・もずく料理、油そうめんである。

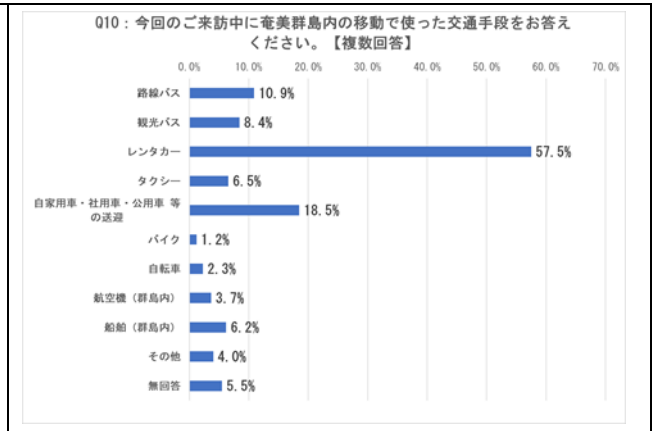
16. 群島内交通手段

(Q10 今回のご来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください。【複数回答】)

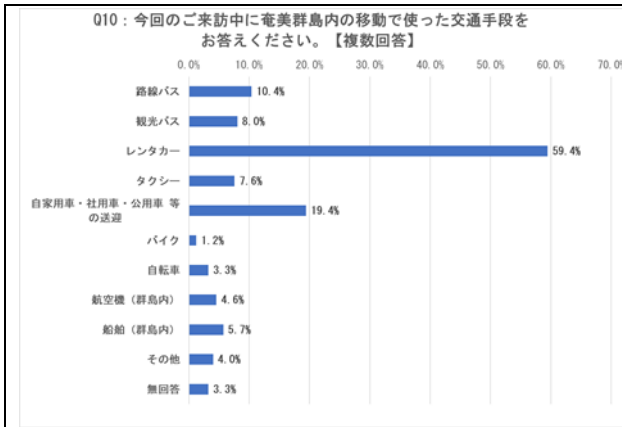
H29 (2017)



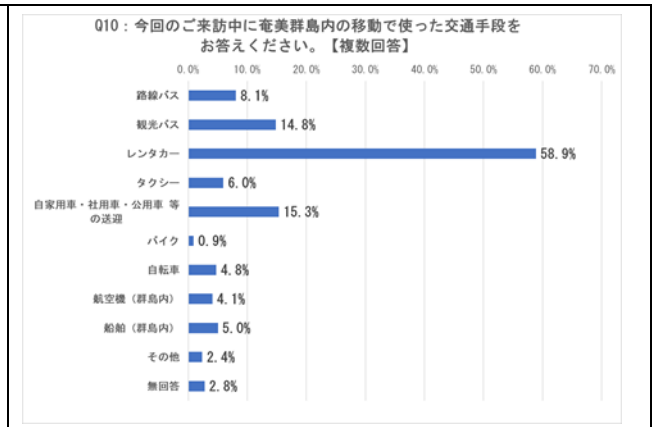
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

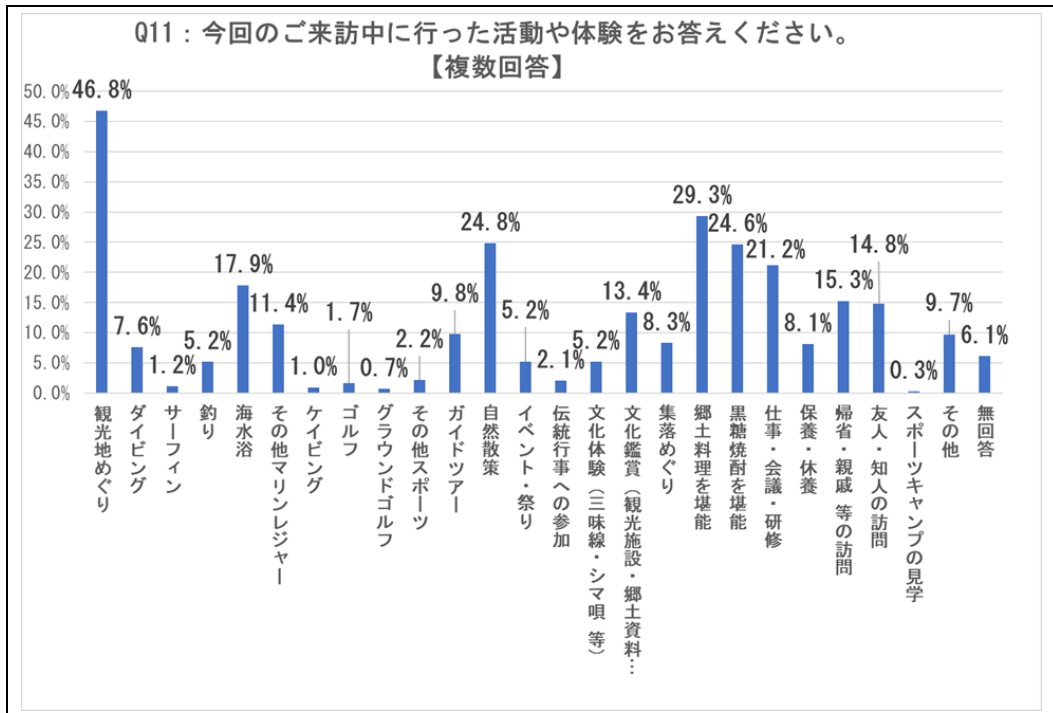


群島内交通手段としては、複数回答ではあるが、「レンタカー」が6割弱と群を抜いている。逆に言えば、公共交通機関が充実していないということでもある。「自家用車・社用車・公用車等の運搬」は、2割前後であり、利用者はビジネス客と理解できる。これらは自由に島内を移動できる魅力がある。他方、路線バス、観光バス、タクシーは、一定程度の需要はあるものの15%に達するまでの利用にはなっていない。

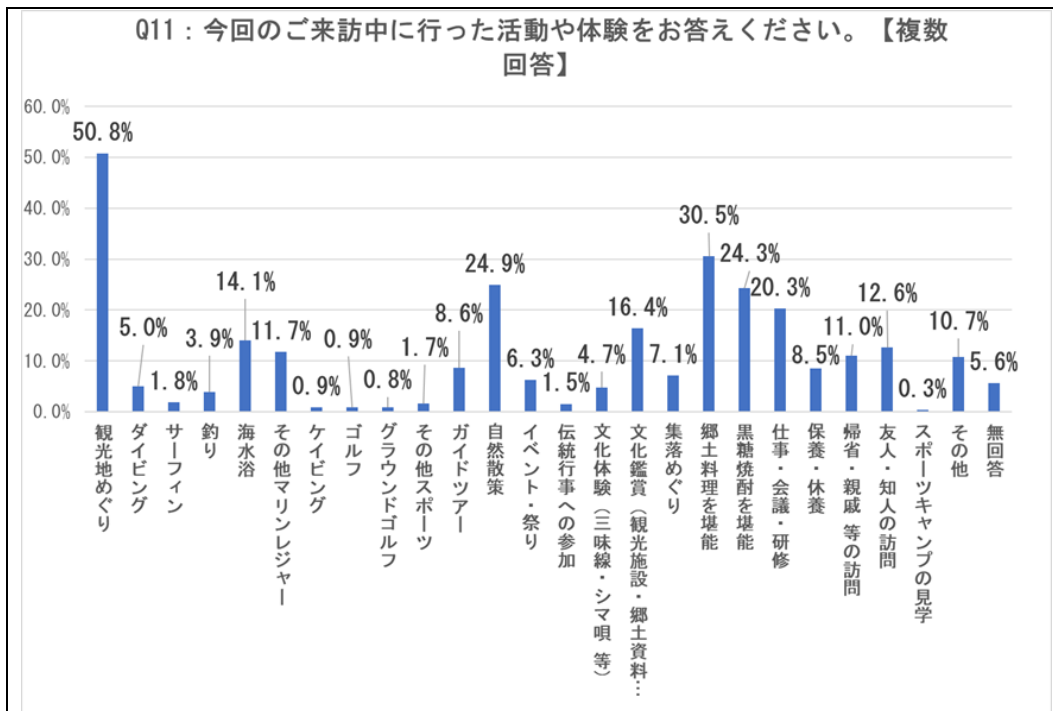
17. 活動・体験

(Q11 今回のご来訪中に行った活動や体験をお答えください。【複数回答】)

H29(2017)

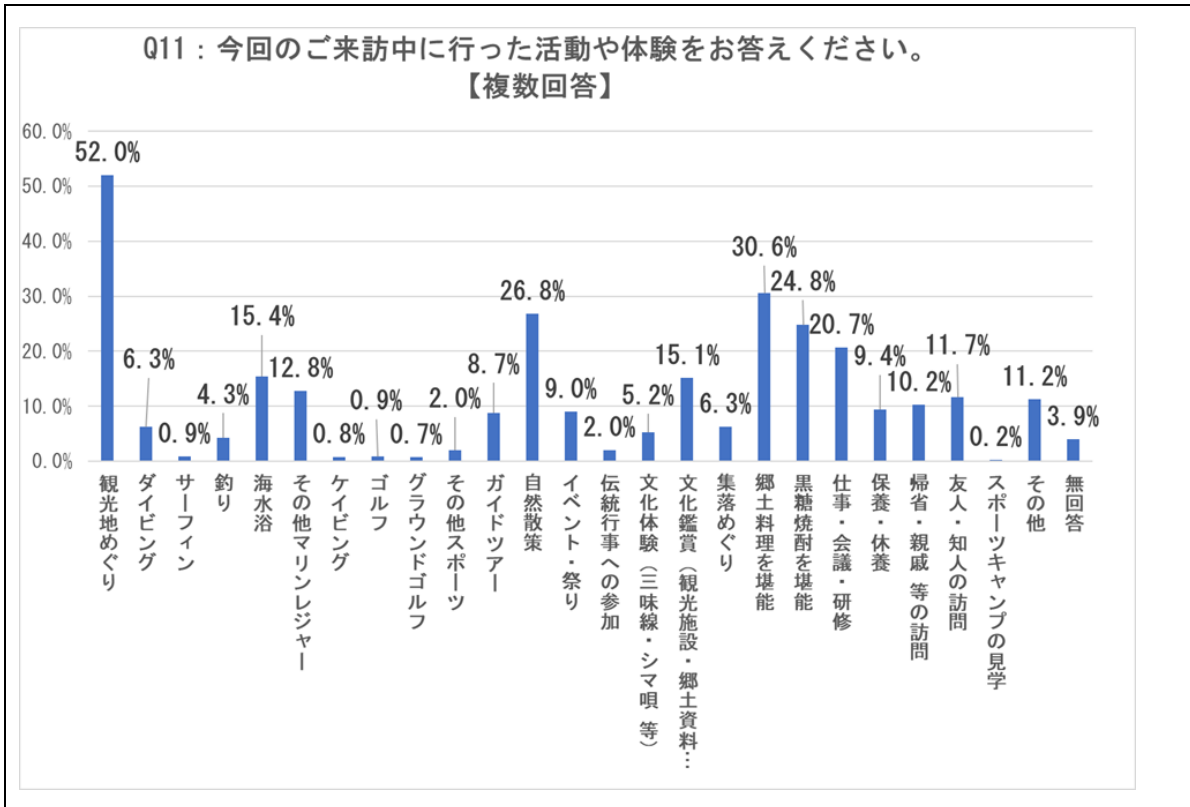


H30(2018)

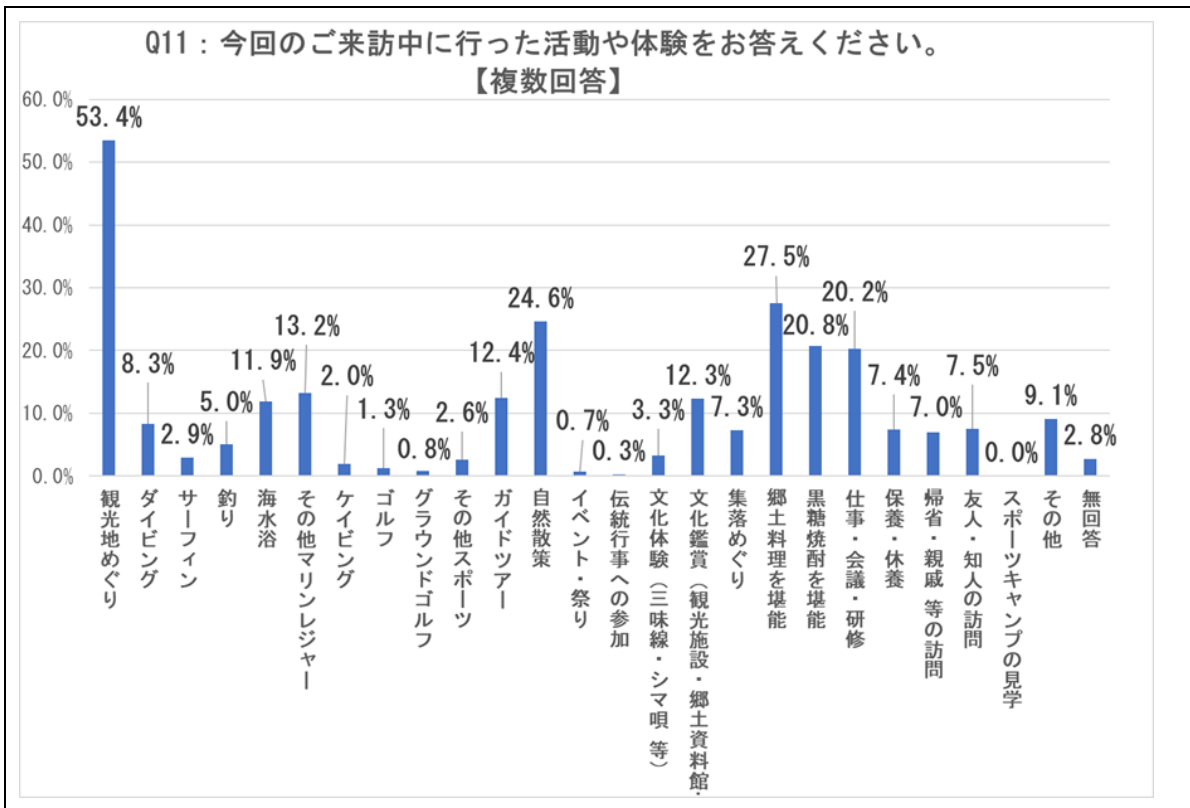


来訪中の活動・体験については、設問にはさまざまな活動を選択肢にあげているが、圧倒的に多いのは、「観光地めぐり」であり、似た活動としては、「自然散策」がある。次には、郷土料理および黒糖焼酎が多い。その他の活動は概して少ない。ビジネス目的である「仕事・会議・研修」が一定割合で回答されている。

R1 (2019)



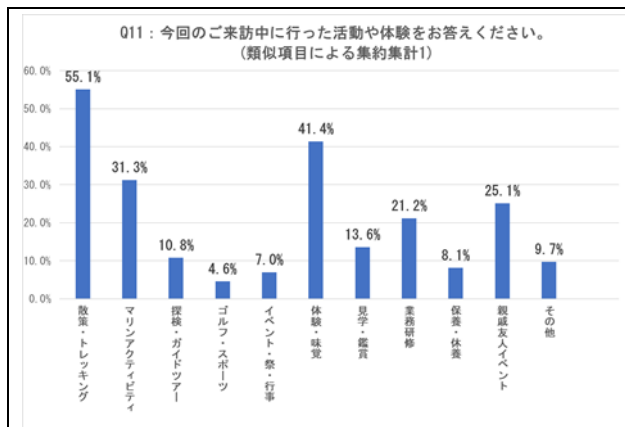
R2 (2020)



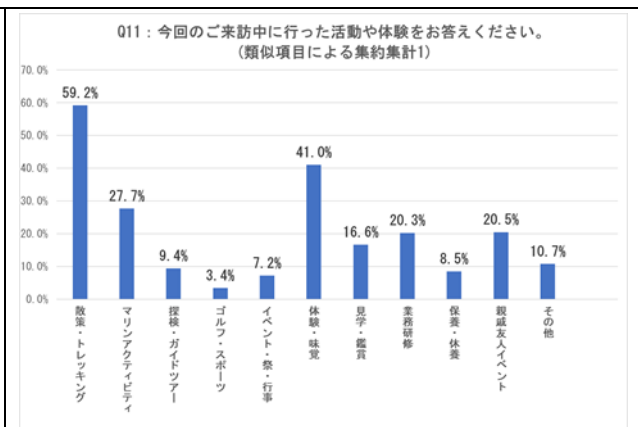
さらに、観光施設等の見学が続いている。全体で見れば、マリトレジャーは少ない。むしろ、帰省や友人訪問が一定程度ある。

※集約集計（類似項目別）

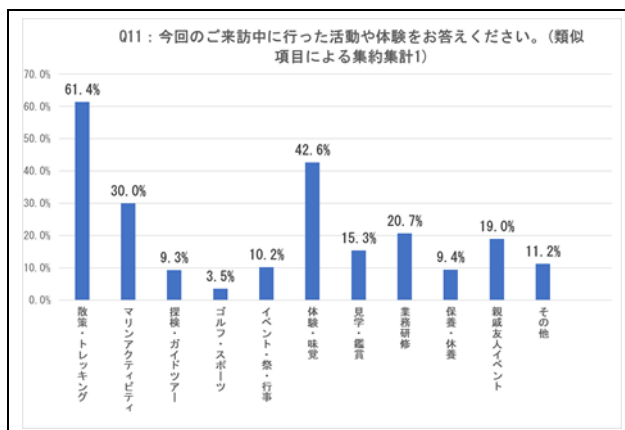
H29 (2017)



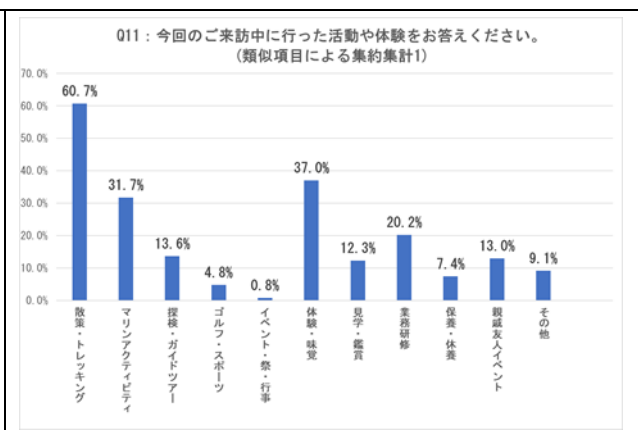
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



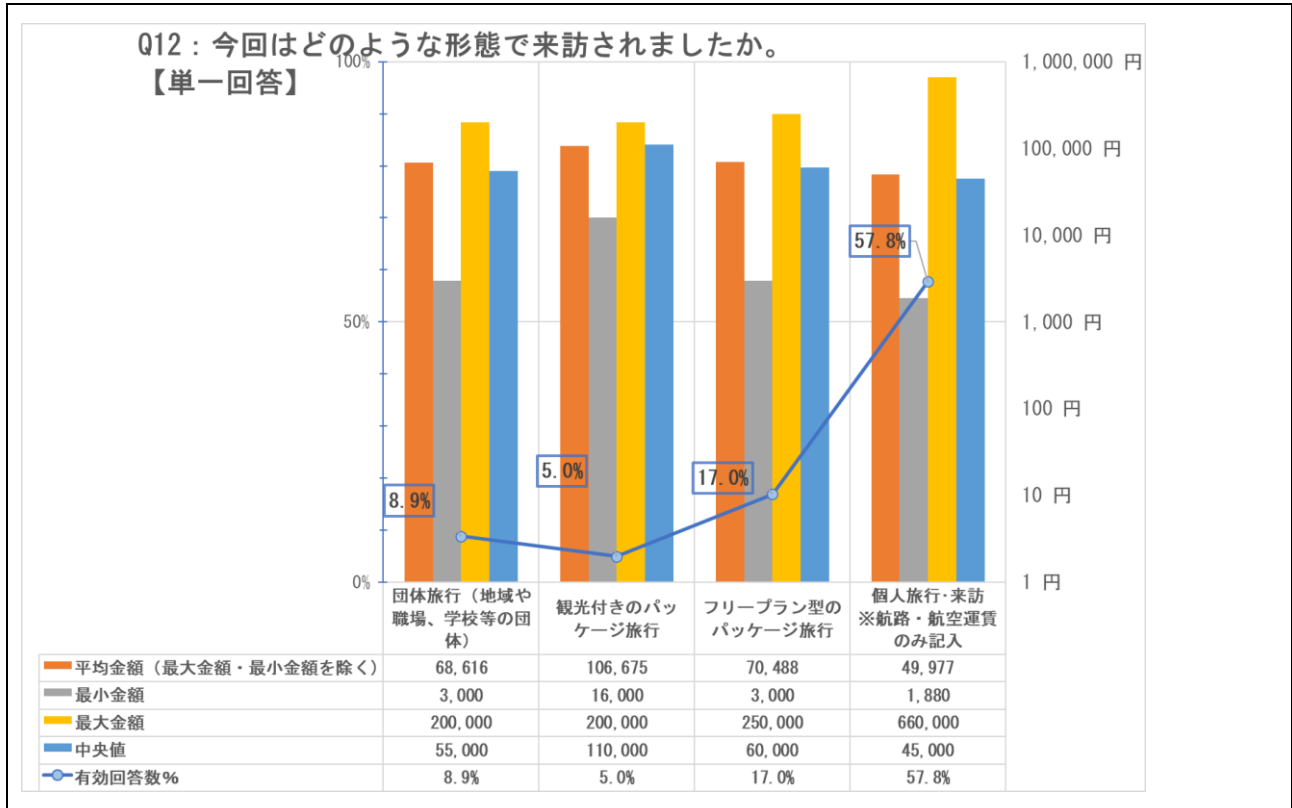
Q11 の設問項目が多く、回答の数値が分散してしまうため、類似の活動・体験を括り直して、表示してみた。すると、「散策・トレッキング」が一番多く、次に、「体験・味覚」となり、次に、「マリンアクティビティ」となった。他方、ビジネス目的の「業務研修」は、一定程度あることがわかる。同様に、帰省や知人と会うものも同程度であることがわかる。

探検・ガイドツアーも1割程度となっており、世界自然遺産認定を想定すれば、今後はこの分野の成長が期待されているかもしれない。

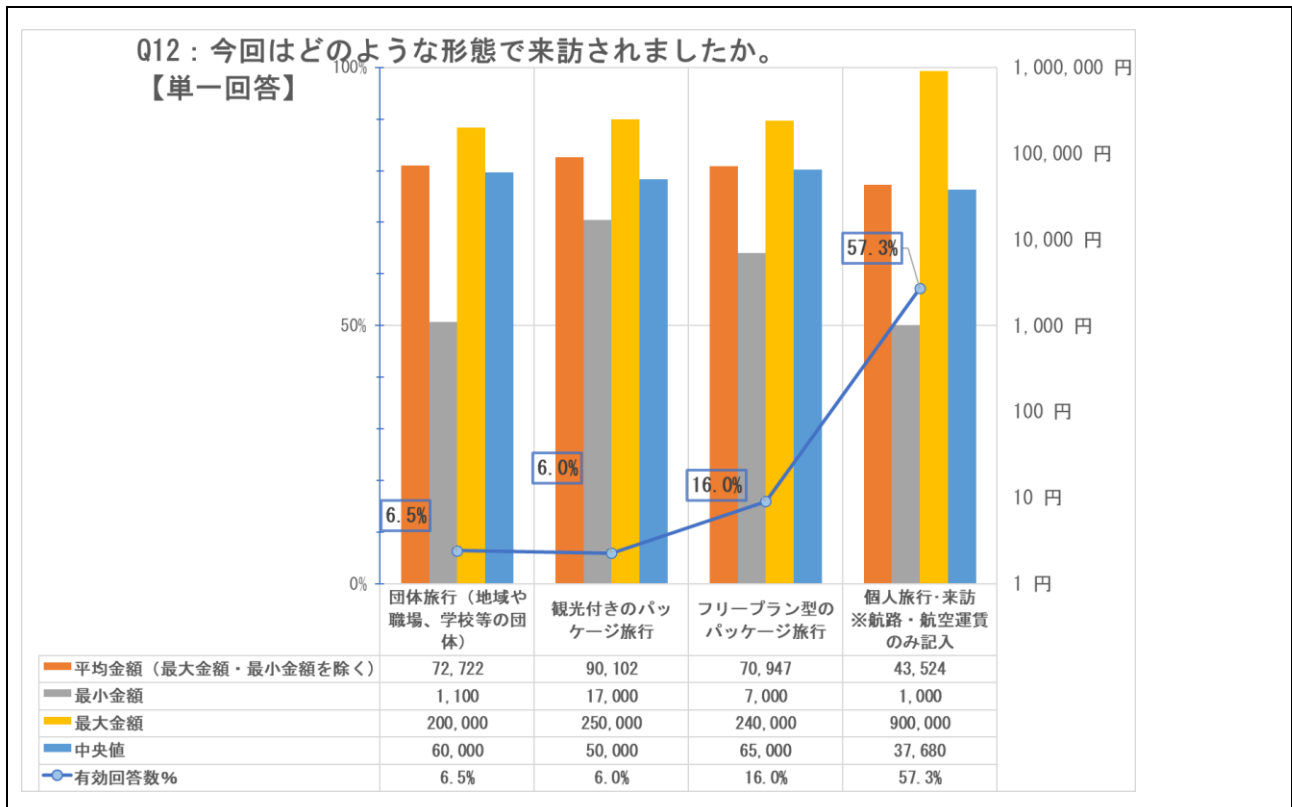
18. 渡航形態と費用

(Q12 今回はどのような形態で来訪されましたか。)

H29(2017)



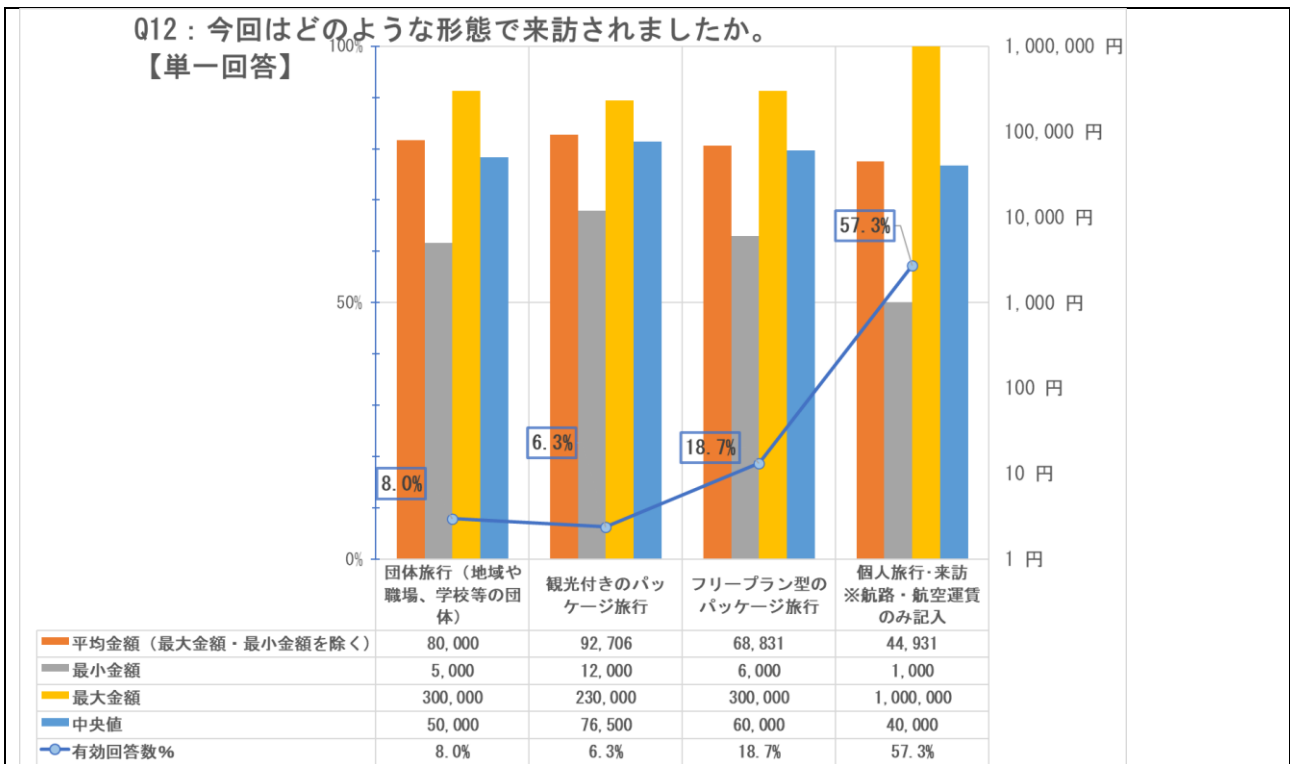
H30(2018)



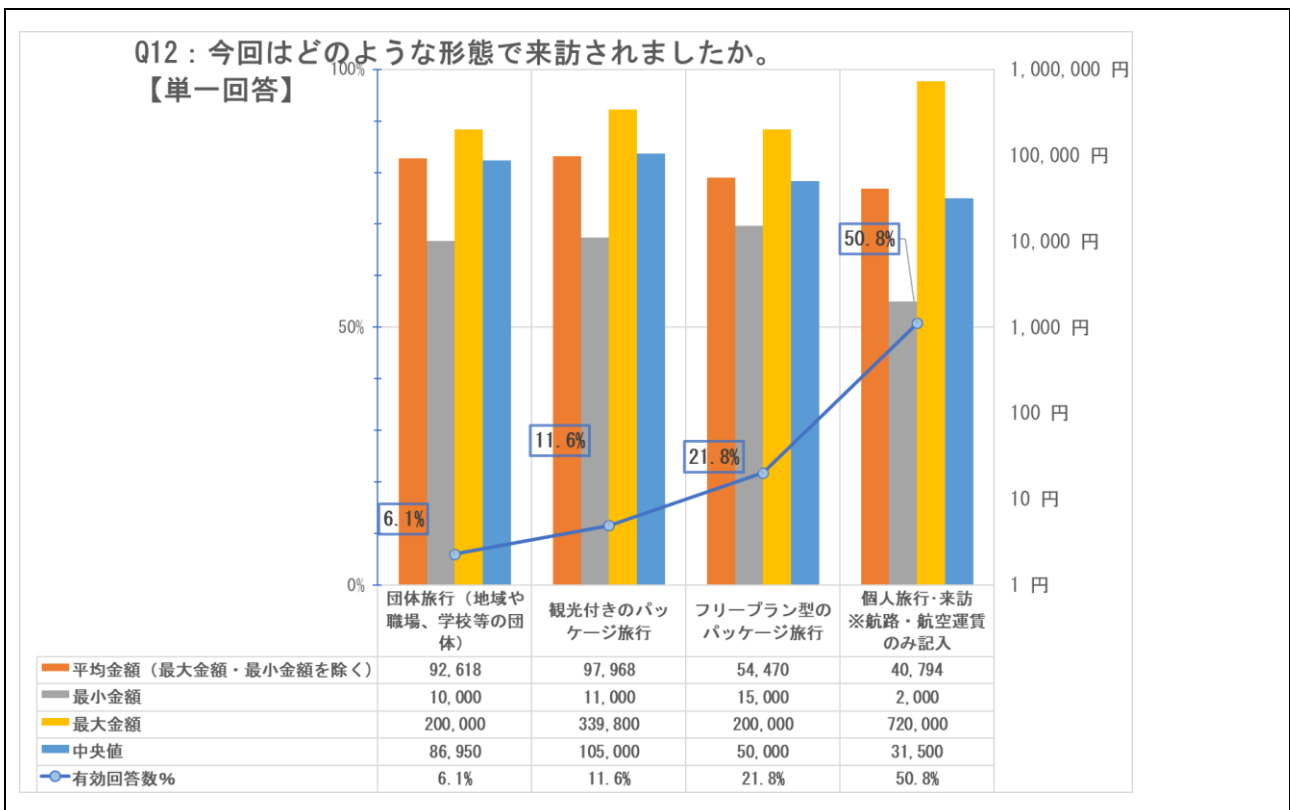
渡航形態については、「個人旅行・来訪」がもっとも多く、6割近くとなっている。次が、「フリープ

ラン型パッケージ旅行」となっている。通常の団体旅行や観光付きのパッケージ旅行も一定数はある。

R1 (2019)



R2 (2020)

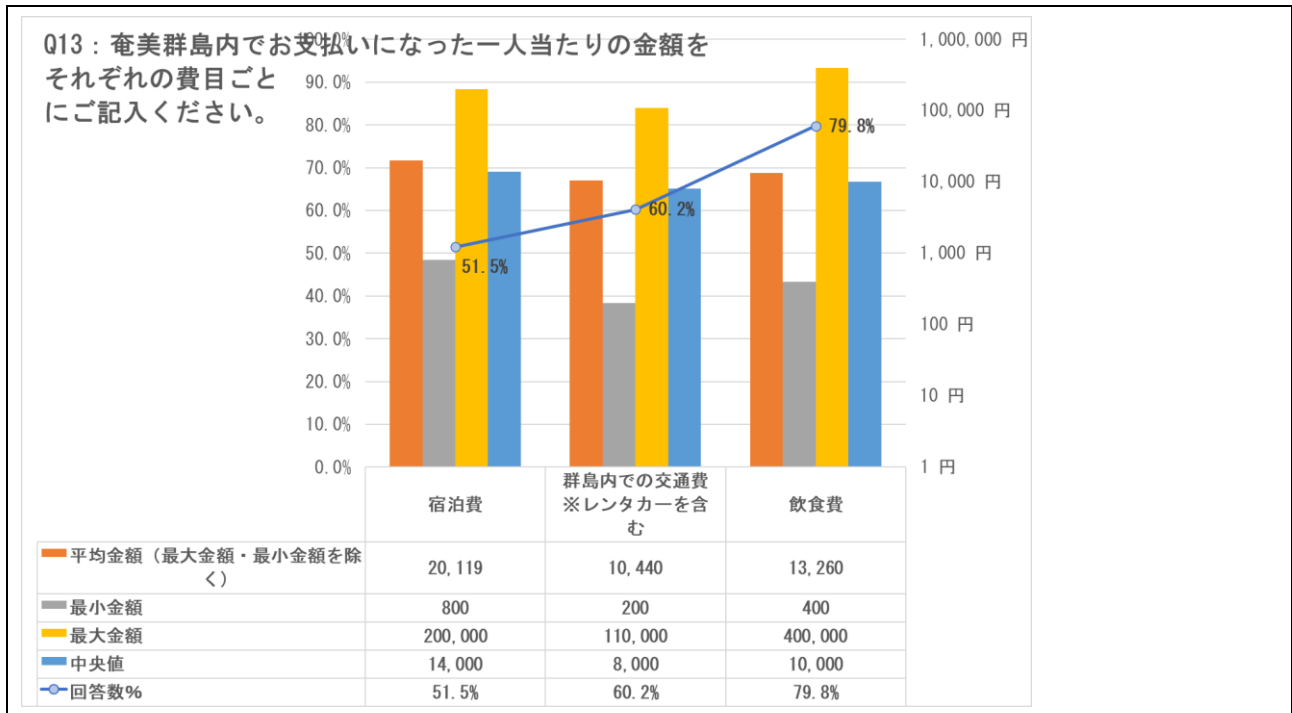


金額については、中央値での比較が現実的と考えられる。個人旅行は航路・航空運賃代のみの記載となっているため一番少ない。しかしながら、最大金額が一番大きい、これは何らかの特別仕様のためであろうか。団体旅行とフリープランは概ね同じ水準と思われるが、「観光付きパッケージ旅行」では幅があることがわかる。

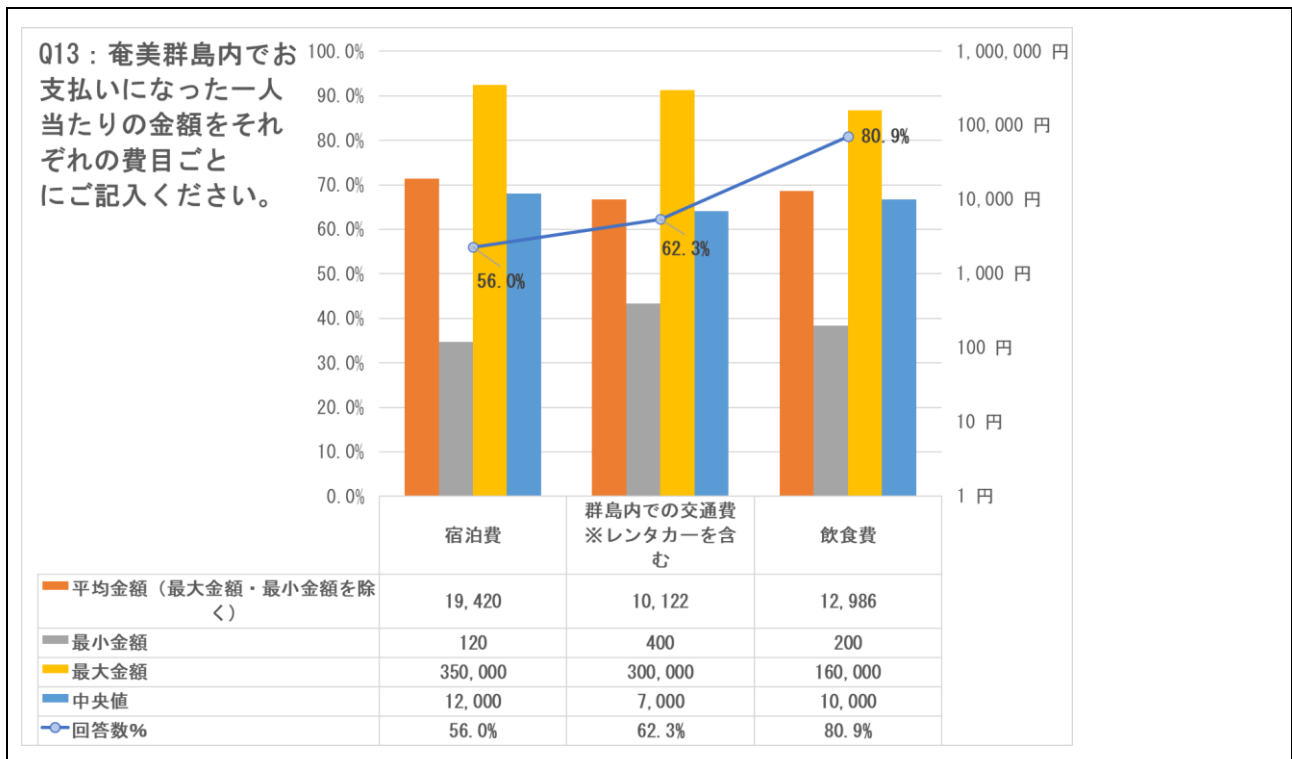
19. 滞在費用

(Q13 奄美群島内でお支払いになった一人当たりの金額をそれぞれの費目ごとにご記入ください。)

H29(2017)

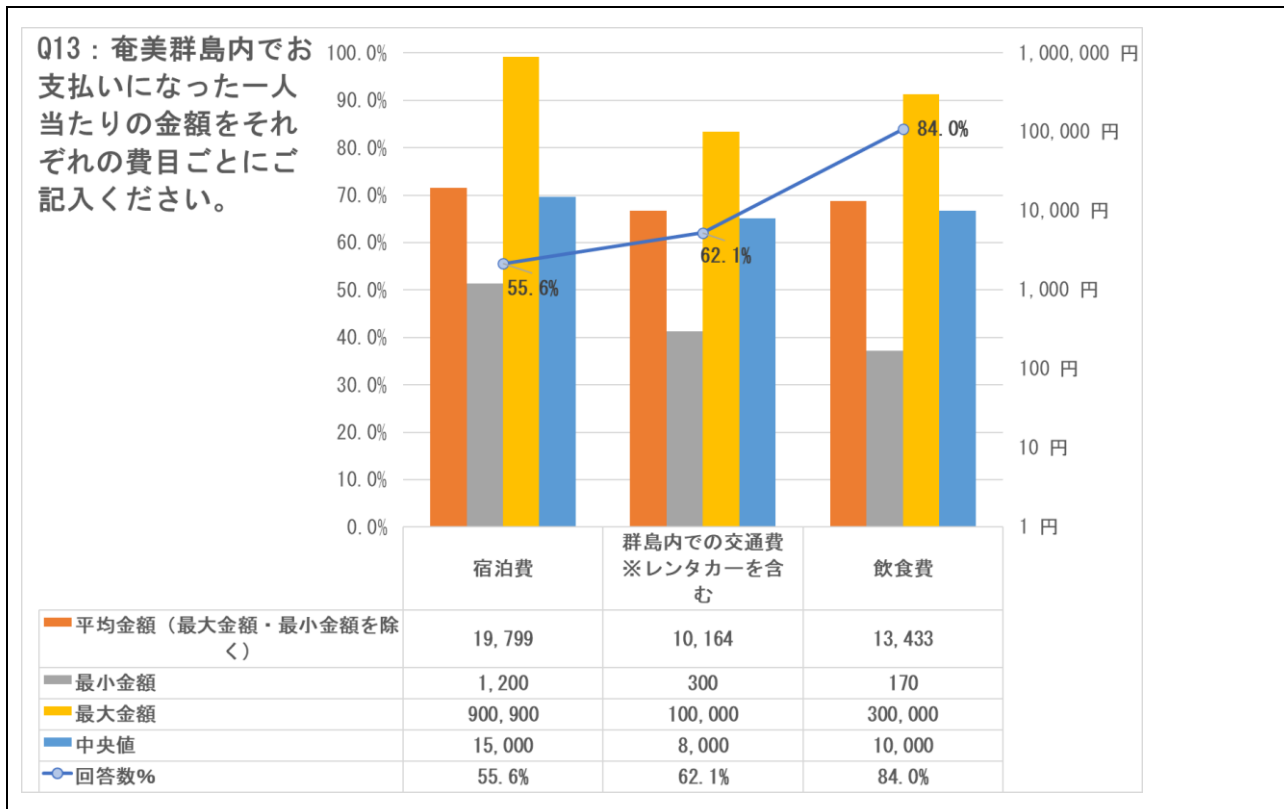


R2(2020)

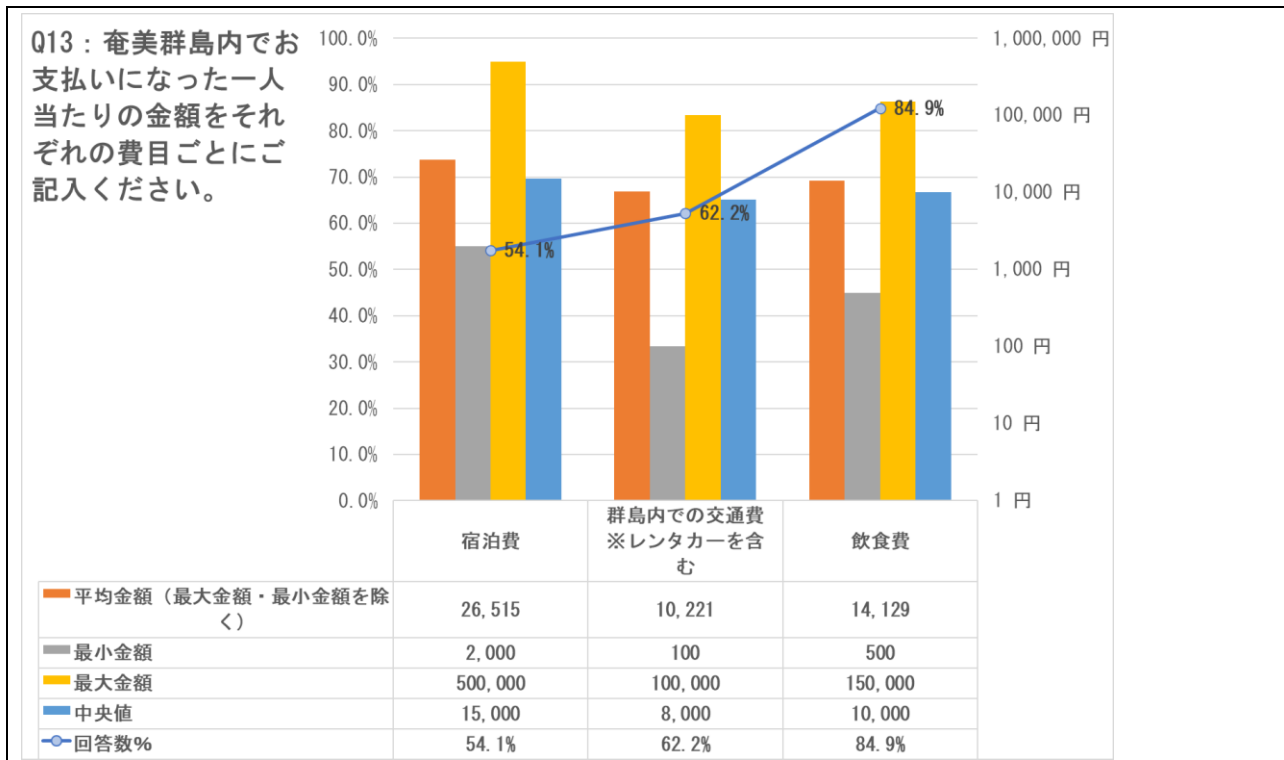


滞在費用については、飲食費、交通費、宿泊費の順で回答率が高かった。中央値で、4年間を見ると概ね同じ水準と思われる。宿泊費約13,000円、交通費約8,000円、飲食費約10,000円というレベルであろう。平均金額では、当然ながら中央値を上回る金額となっており、宿泊費約20,000円、交通費約10,000円、飲食費約13,000円という水準となっている。

R1 (2019)



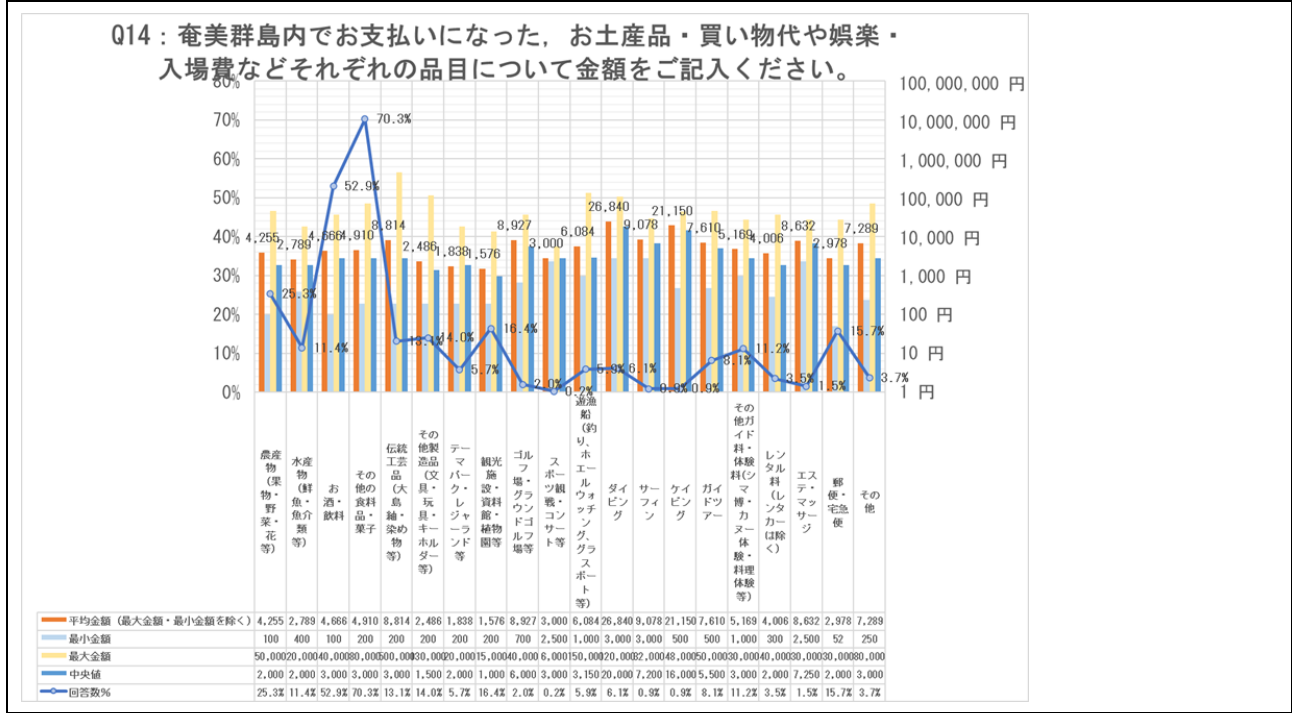
R2 (2020)



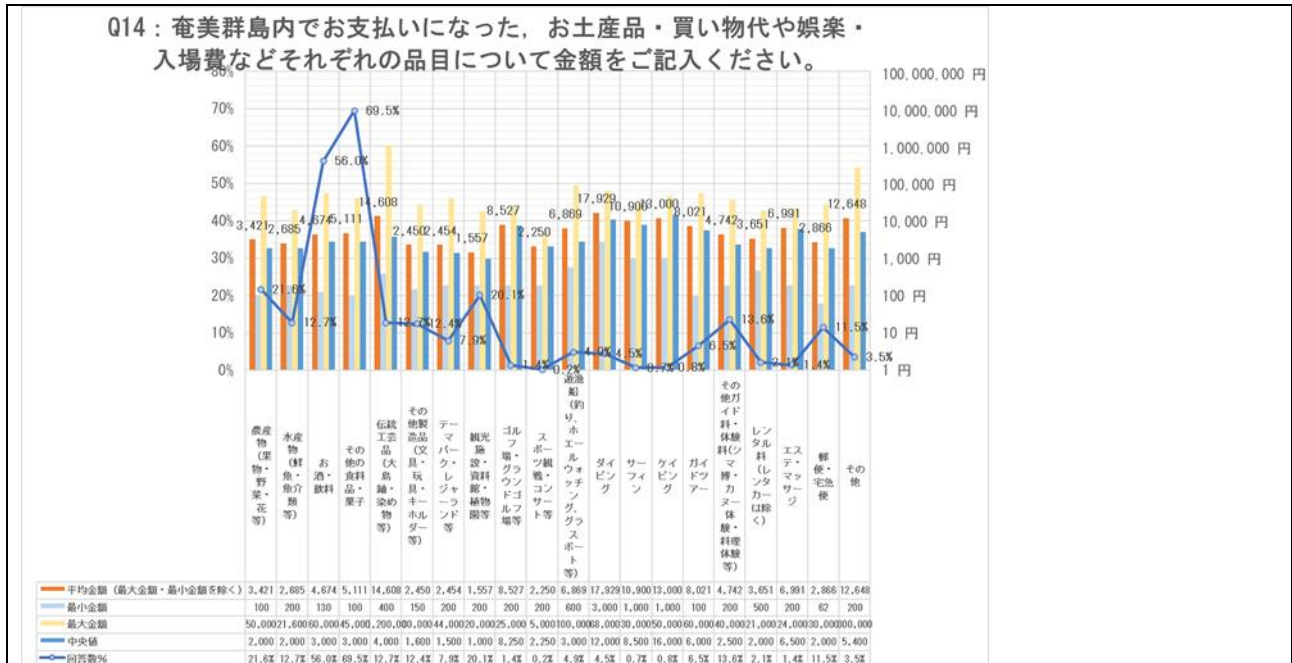
20. 活動・購買費用

(Q14 奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。)

H29(2017)

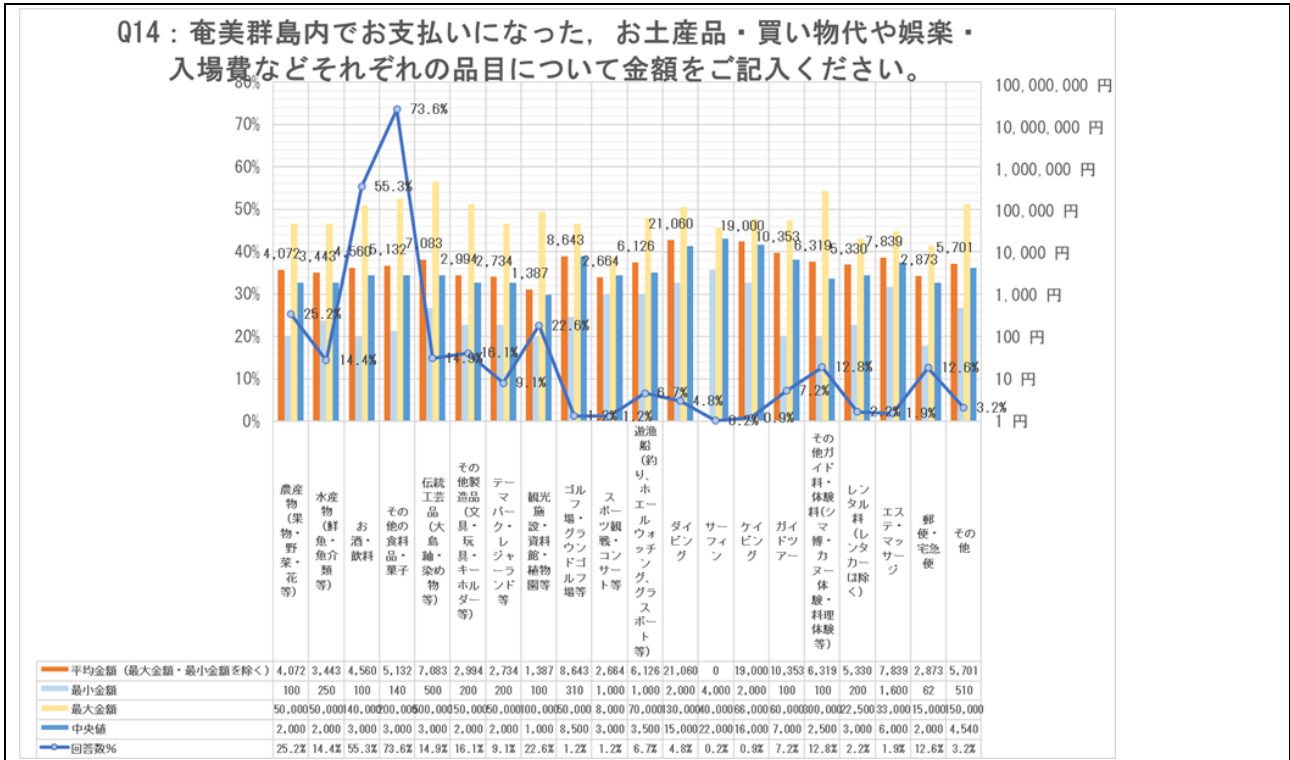


H30(2018)

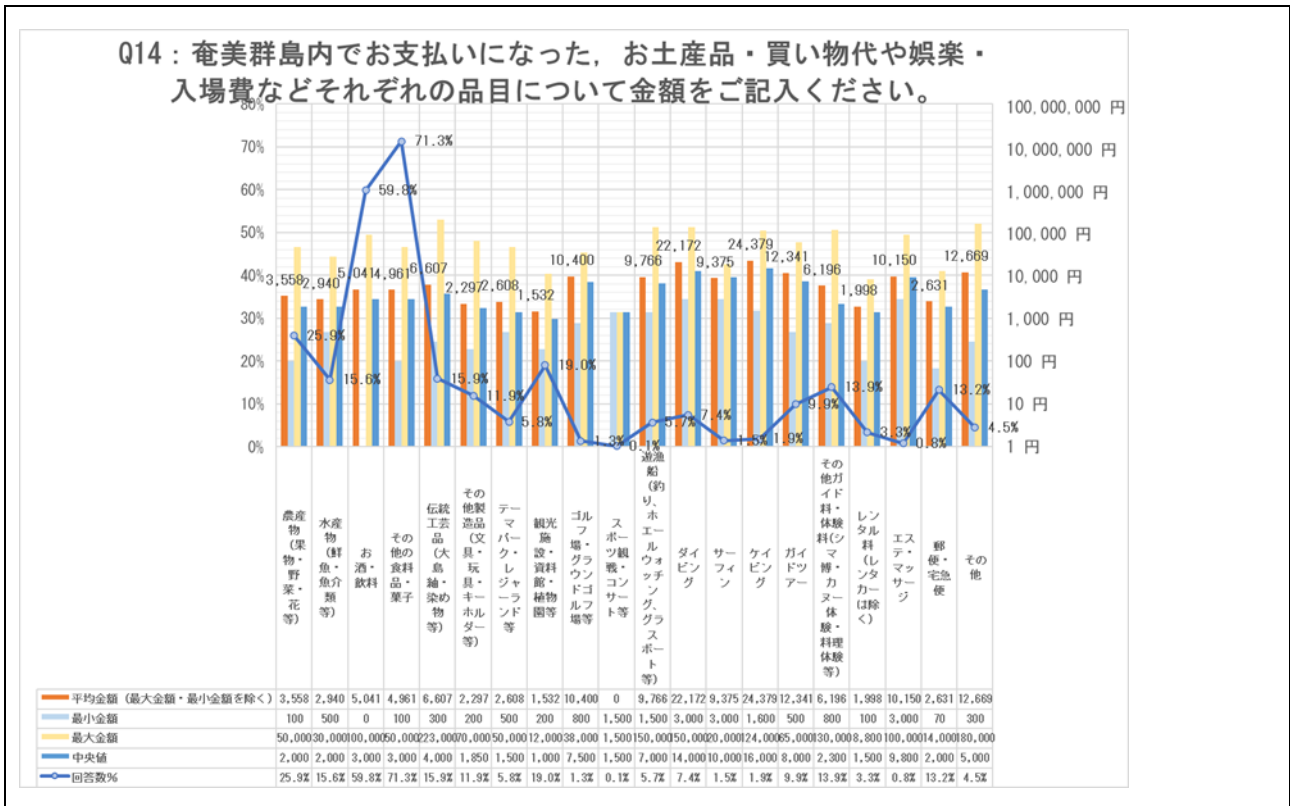


活動・購買費用については、設問に対応する選択肢を多くしている(注. 拡大図は、資料編に掲載)。やはり、回答率で突出しているのは、「その他の食品・菓子」であり、続いて「お酒・飲料」である。中央値では、それぞれ3,000円程度となっている。最大金額をみると、単価の高い伝統工芸品が突出しているのがわかる。

R1 (2019)

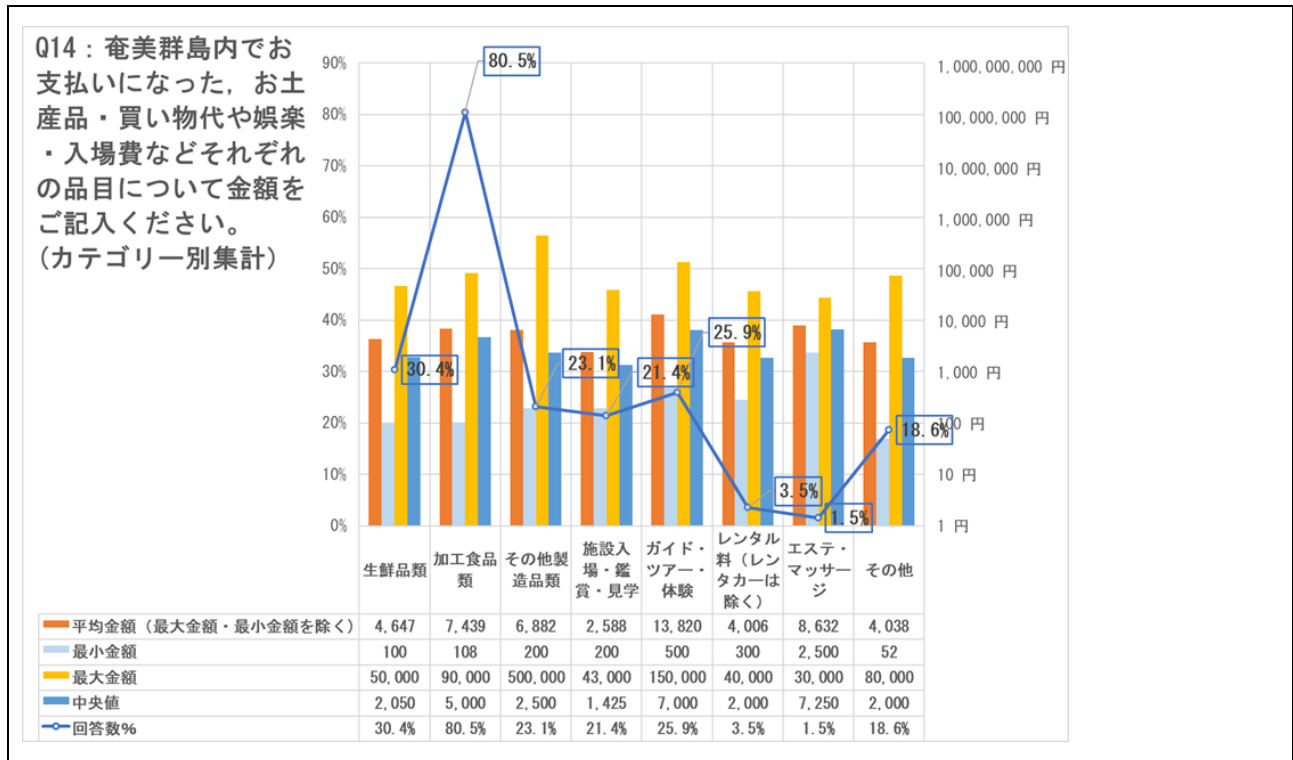


R2 (2020)

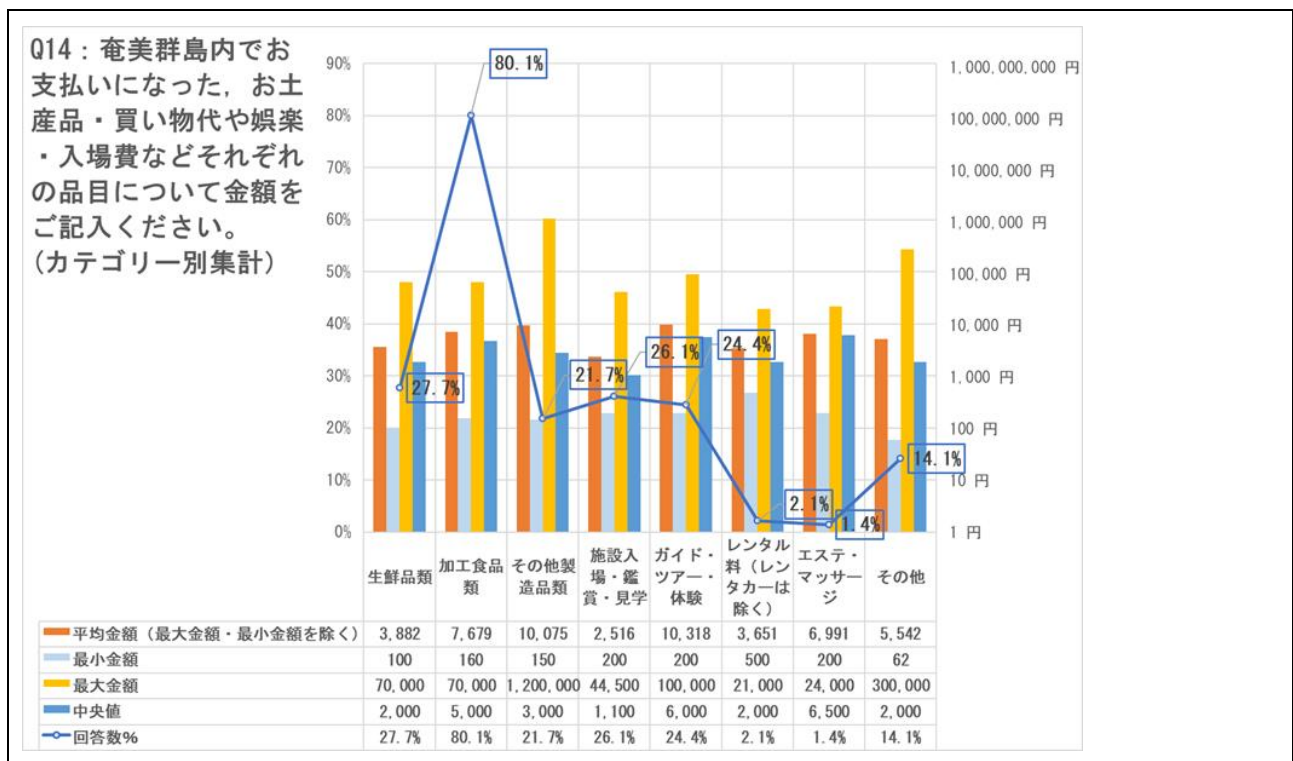


※集約集計（カテゴリー別）

H29(2017)

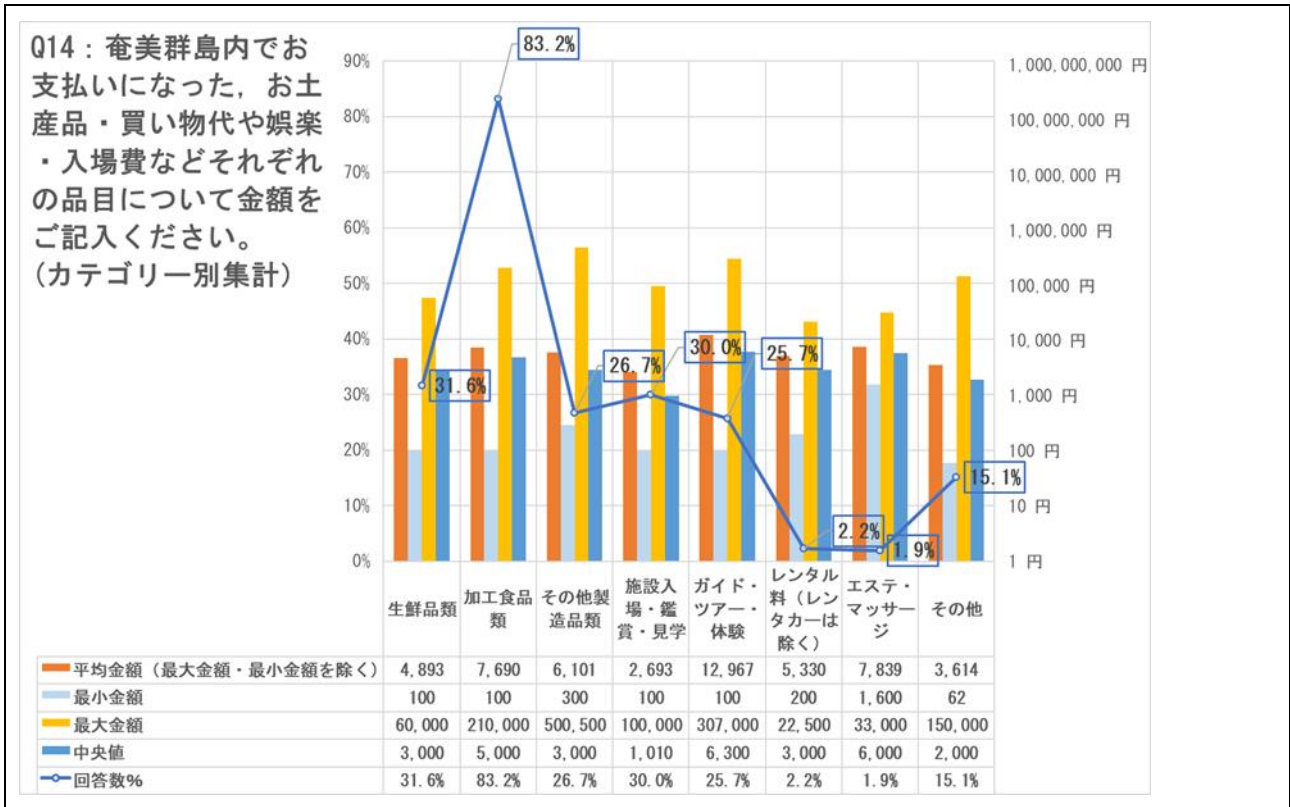


H30(2018)

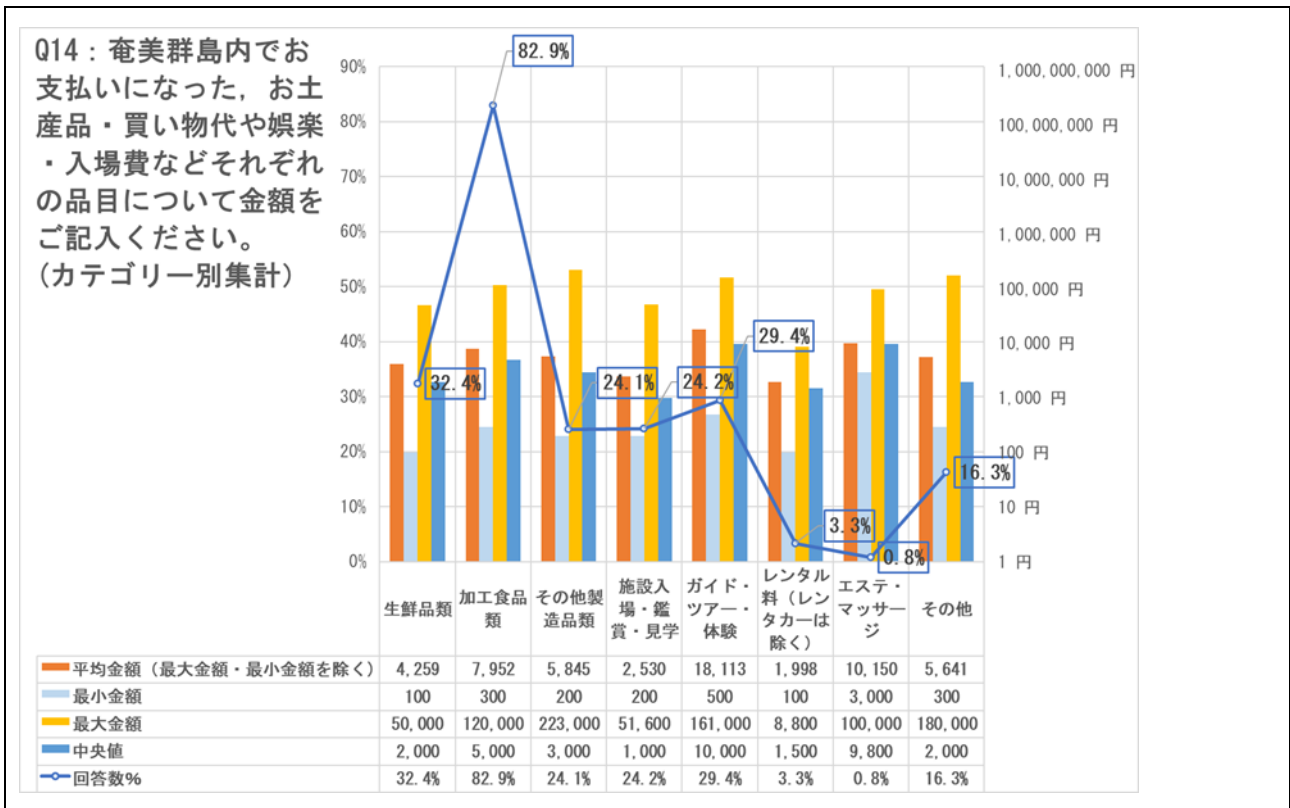


活動・購入費用が、細かい回答項目になっているため、カテゴリー別に集約して集計し直すと、傾向が把握しやすくなる(注. カテゴリー別集計では、個別の集計項目をひとまとまりにして、それを1件とカウントした)。回答数としては、8割強で、加工食品類を回答している。いわゆるお土産(酒、菓子・食品)に相当するものと考えられ、中央値で5,000円、平均金額で8,000円弱となっている。

R1 (2019)



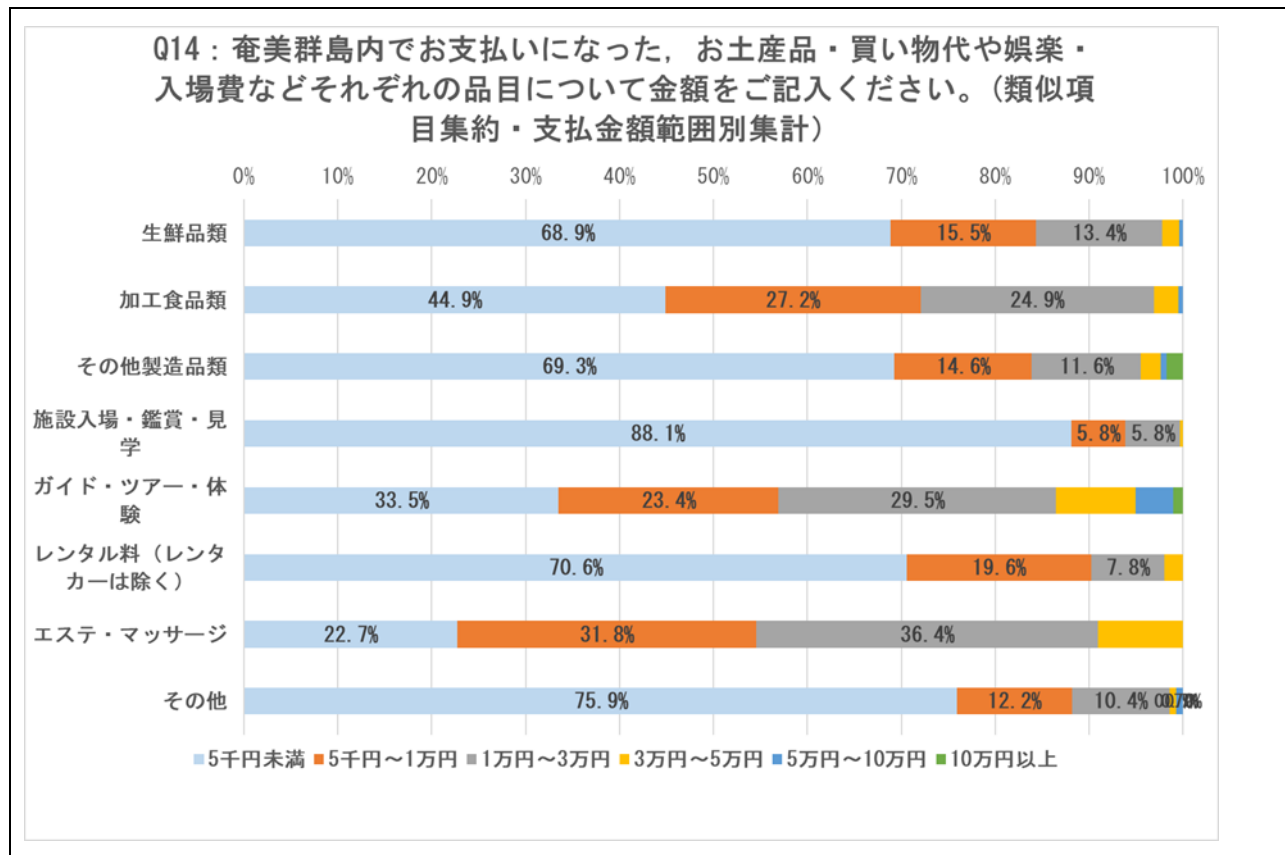
R2 (2020)



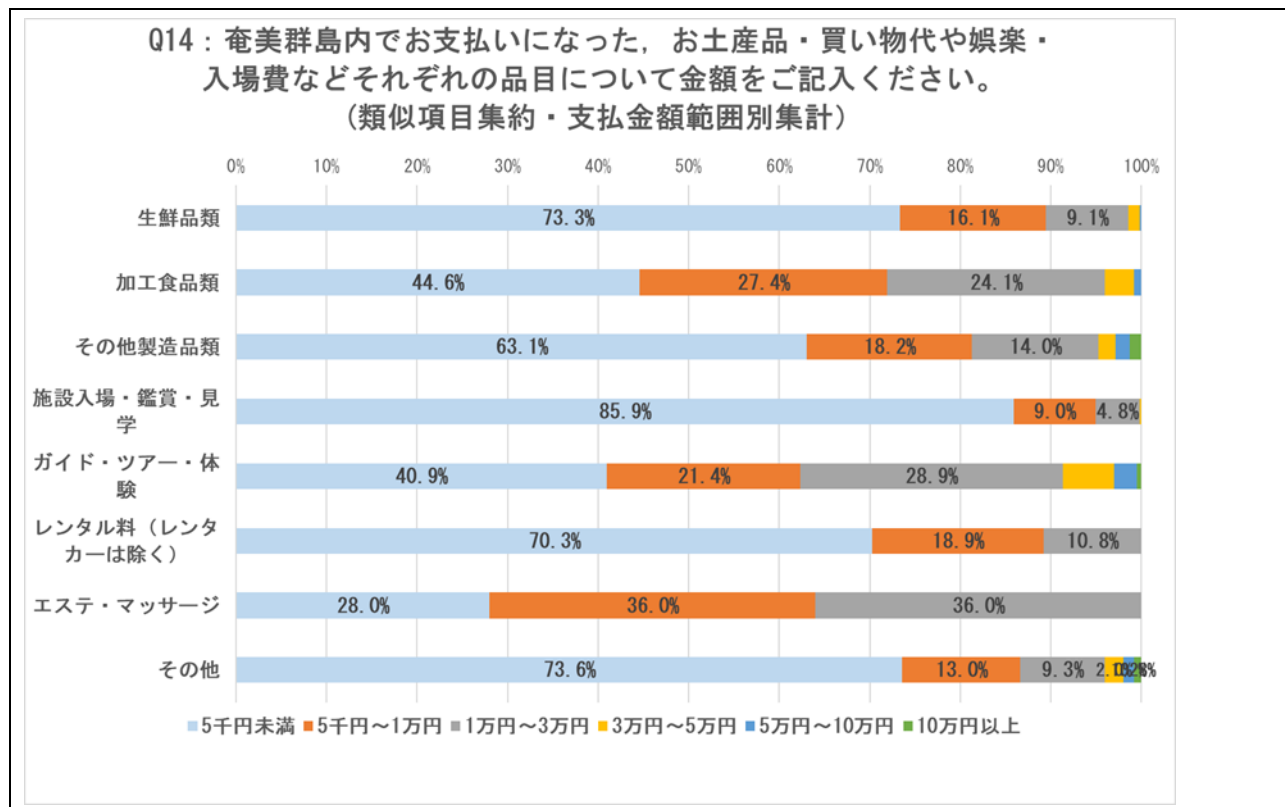
次に、回答が多いのが、「生鮮品類」で、中央値で2,000円、平均金額で4~5,000円となっている。また、「ガイドツアー・体験」は、単価も高く、中央値で6~7,000円、平均金額で12,000円前後となっていることがわかる。

※集約集計（支払金額範囲別集計）

H29(2017)

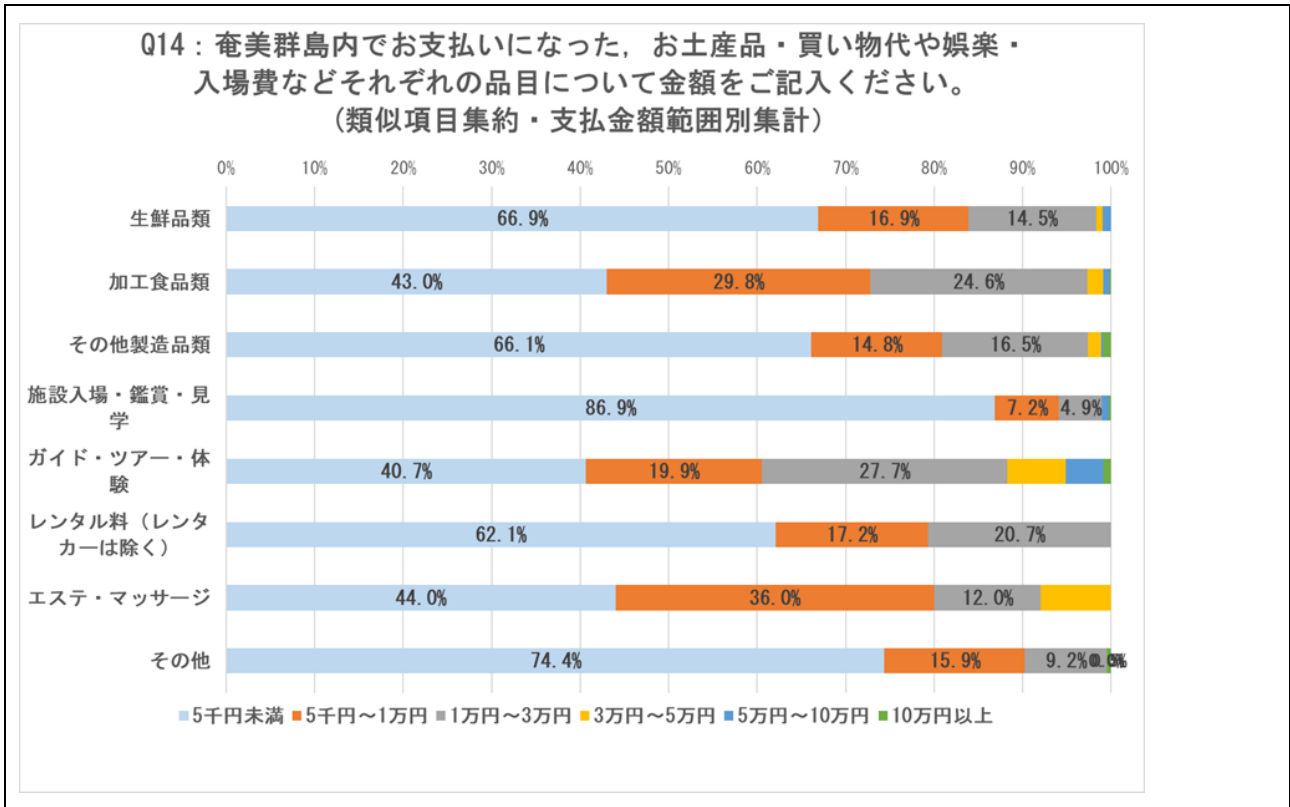


H30(2018)

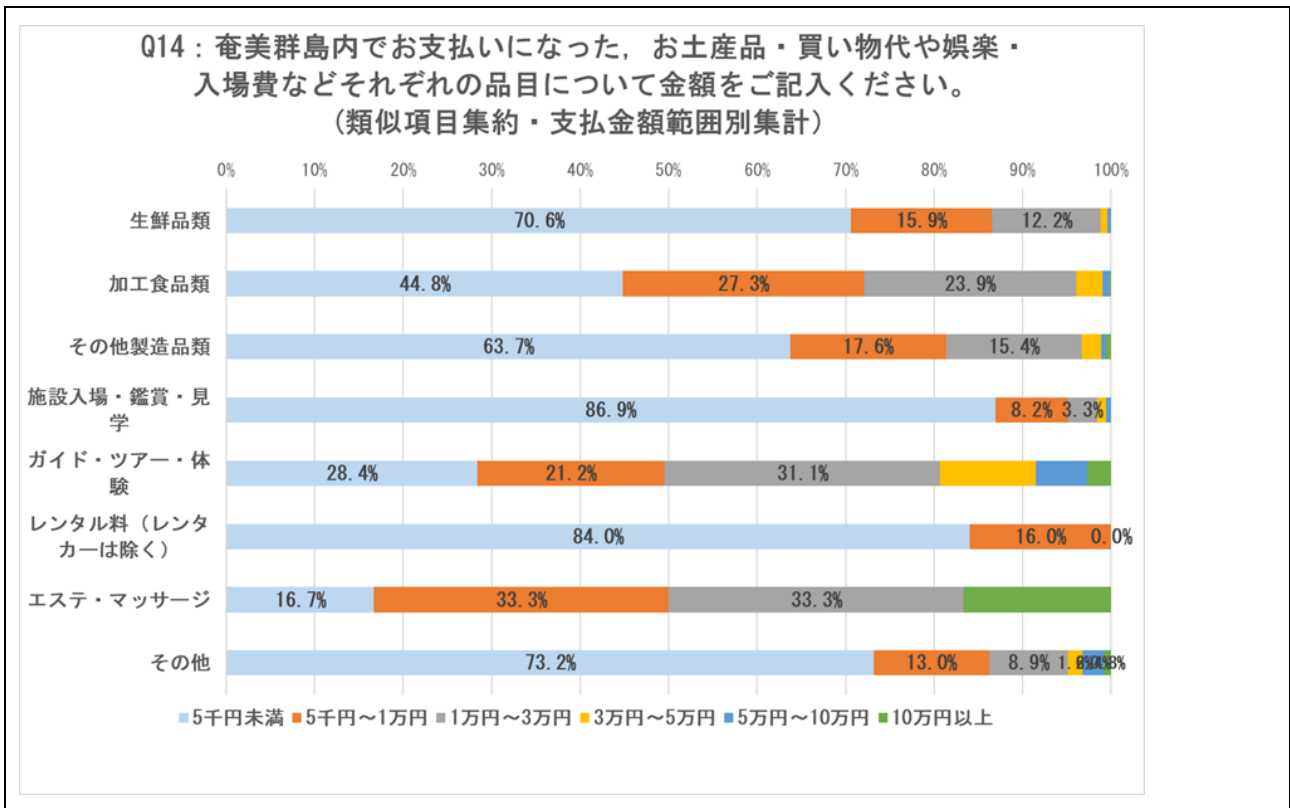


Q14の回答を、活動・購買での品目と費用の関係が分かるように表示した。

R1 (2019)



R2 (2020)

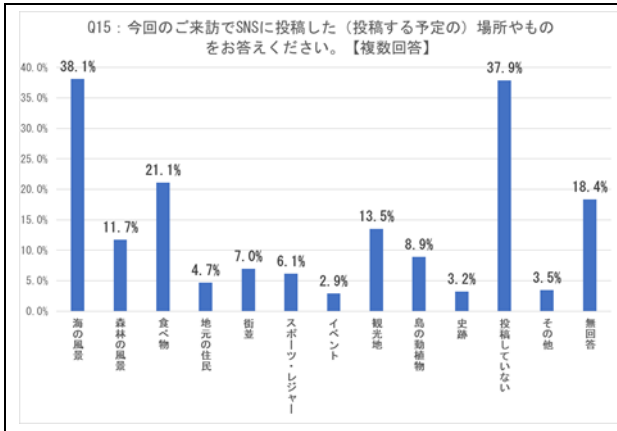


類似項目をまとめて、購入品目・サービスと支払金額を6段階に分けて、購入品目・サービスごとに内訳を表現してみた。いわゆるお土産品に相当するものは、5,000円未満が多いことがわかる。現地での「ガイドツアー・体験」や「エステ・マッサージ」は、単価が高いこともあり、1万円を超える場合が多いことがわかる。

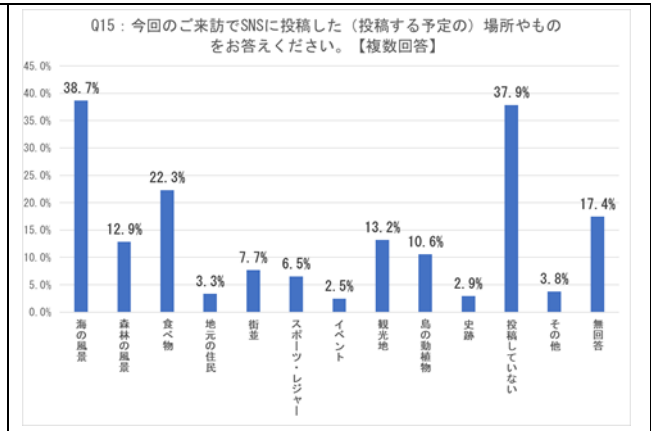
21. 情報発信

(Q15 今回のご来訪でSNSに投稿した(投稿する予定の)場所やものをお答えください。【複数回答】)

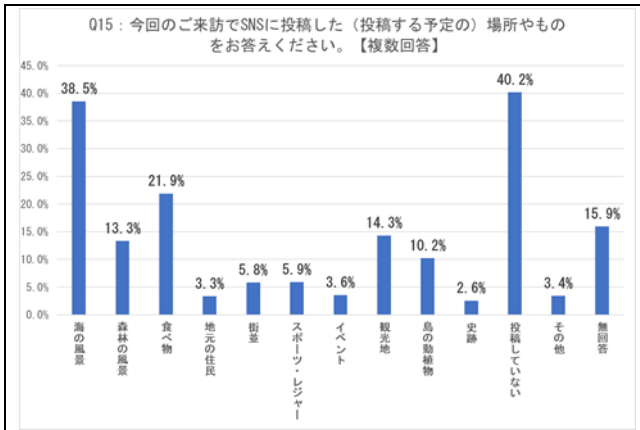
H29(2017)



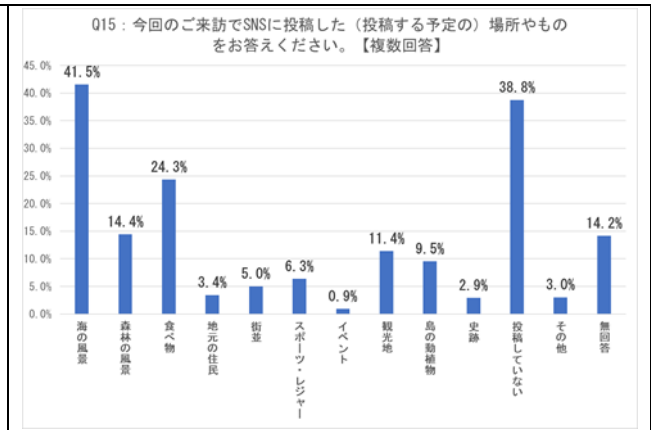
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



SNS への投稿といった情報発信をする場合の場所・ものについての設問では、「海の風景」という回答が多い。次に「食べ物」となった。なお、4割くらいは、投稿しないと回答された。

こうした回答から、奄美の観光資源は海が中心であり、地元料理が人気であることが確認できる。

「島の動植物」には一定数の関心はあるが、決して多いとは言えない。世界自然遺産に認定されれば、見学できる施設やインタープリターの力量次第で、発信数は増える可能性がある。

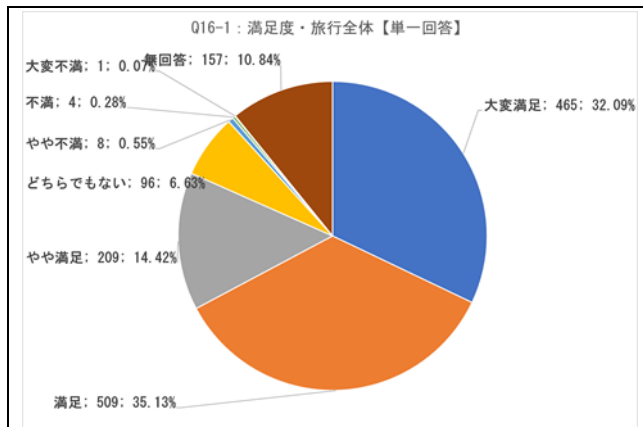
また、SNS を投稿したくなる工夫が必要とされているかもしれない。

22. 満足度

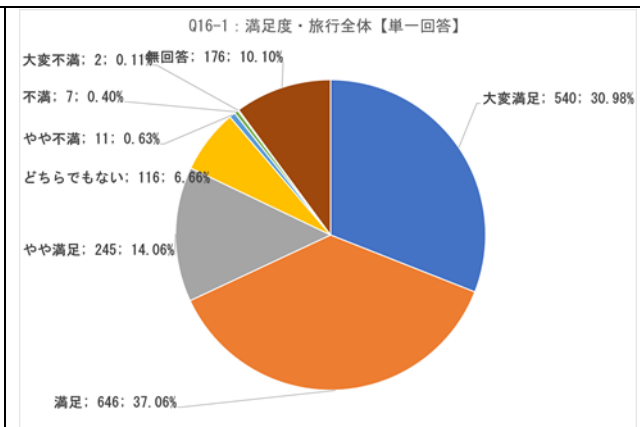
(Q16 今回のご来訪の満足度をお答えください。)

旅行全体

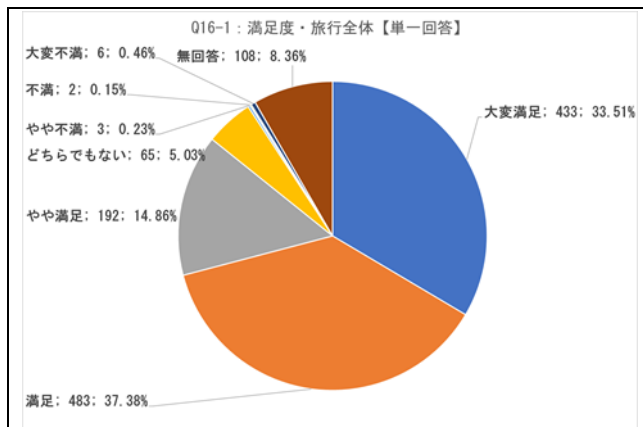
H29 (2017)



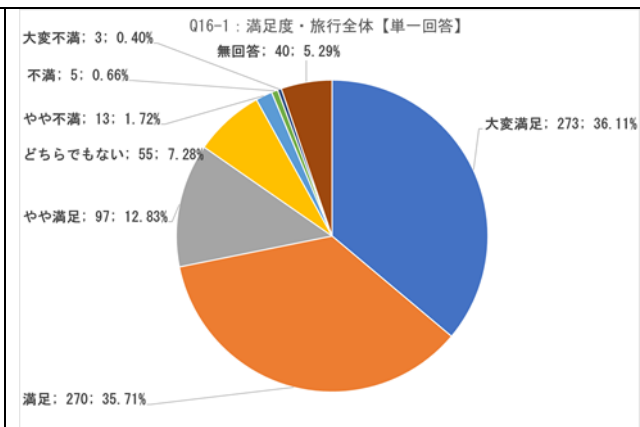
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



来訪の満足度で、旅行全体については、4年間通して1/3が大変満足、1/3強が満足と回答し、やや満足を加えると、8割が満足しているという回答である。なお、1割弱は無回答。

奄美群島全体としては、満足度の高い地域と言えるであろう。なお、個々の項目別満足度については、次頁に、まとめて表示した。

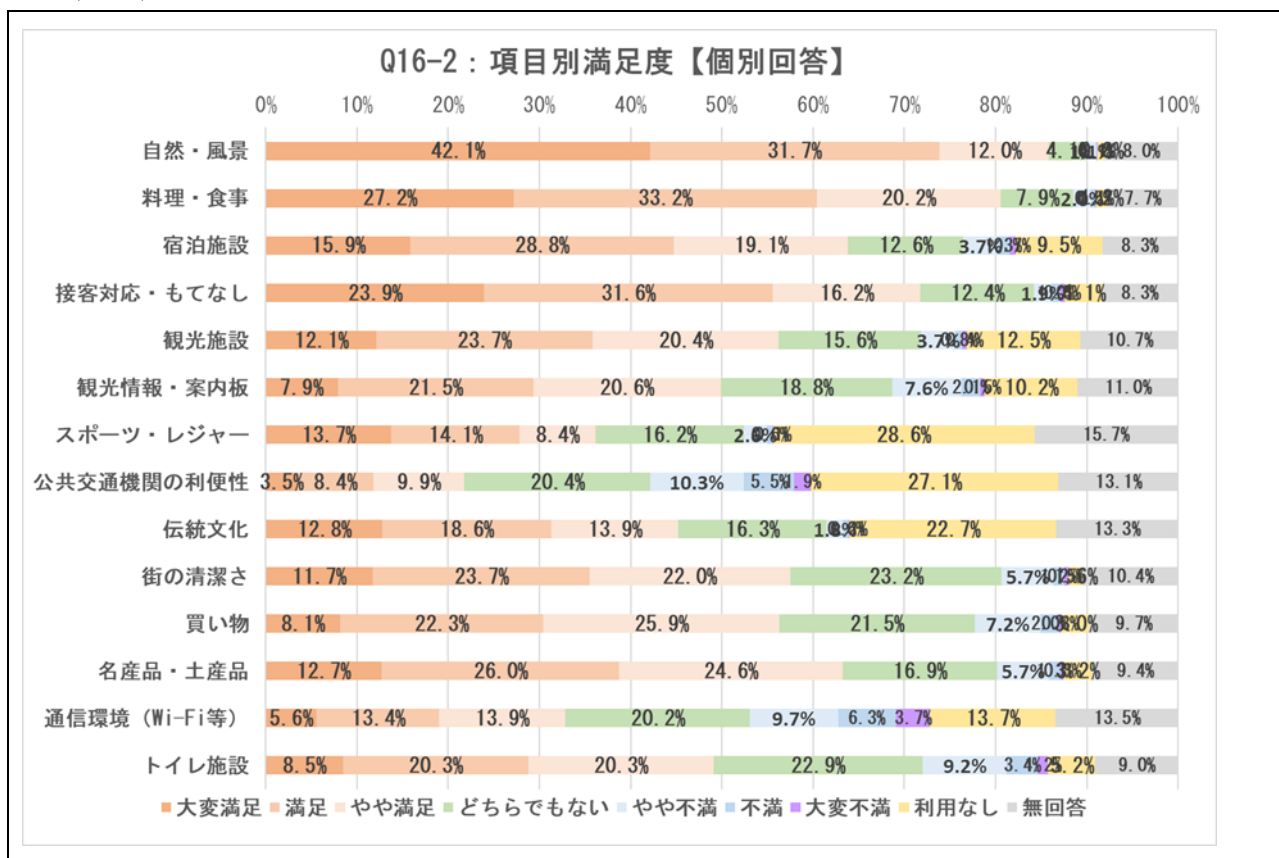
次頁の項目別満足度については、今までの設問と同様に、「自然・風景」、「料理・食事」に、満足度が高いことがわかる。また、「名産品・土産品」への満足度も高い。

ここで注目すべきは、群島全体として、「接客対応・もてなし」についても、かなり満足度が高いことが伺える。

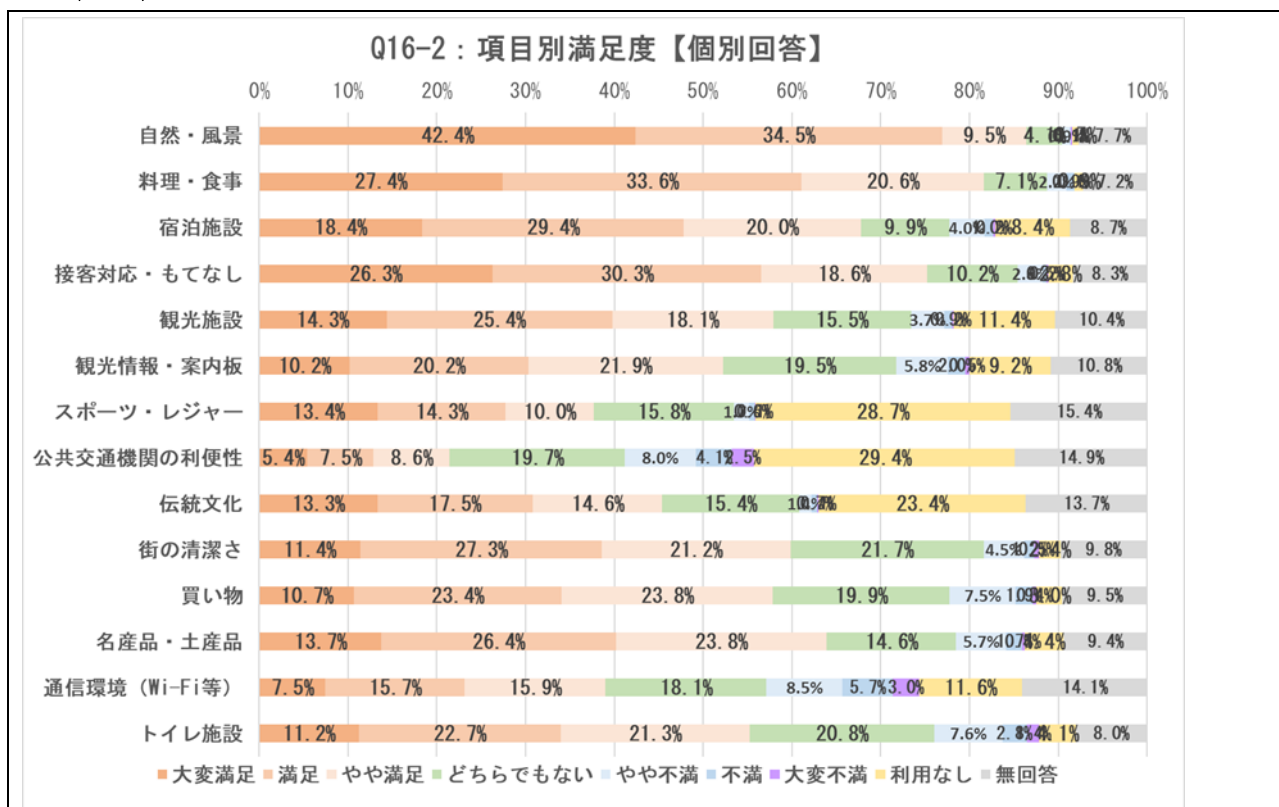
一方で、課題も見えている。満足度の低い項目としては、「公共交通機関の利便性」が挙げられている。空港から市街地に向けた一定のバス交通等しかないことは、観光レジャー客にとっては不満の種になっている。また、「通信環境 (Wi-Fi 等)」では、電話が繋がらない地域や Wi-Fi 利用地点が少ないことでの不満と考えられる。

項目別

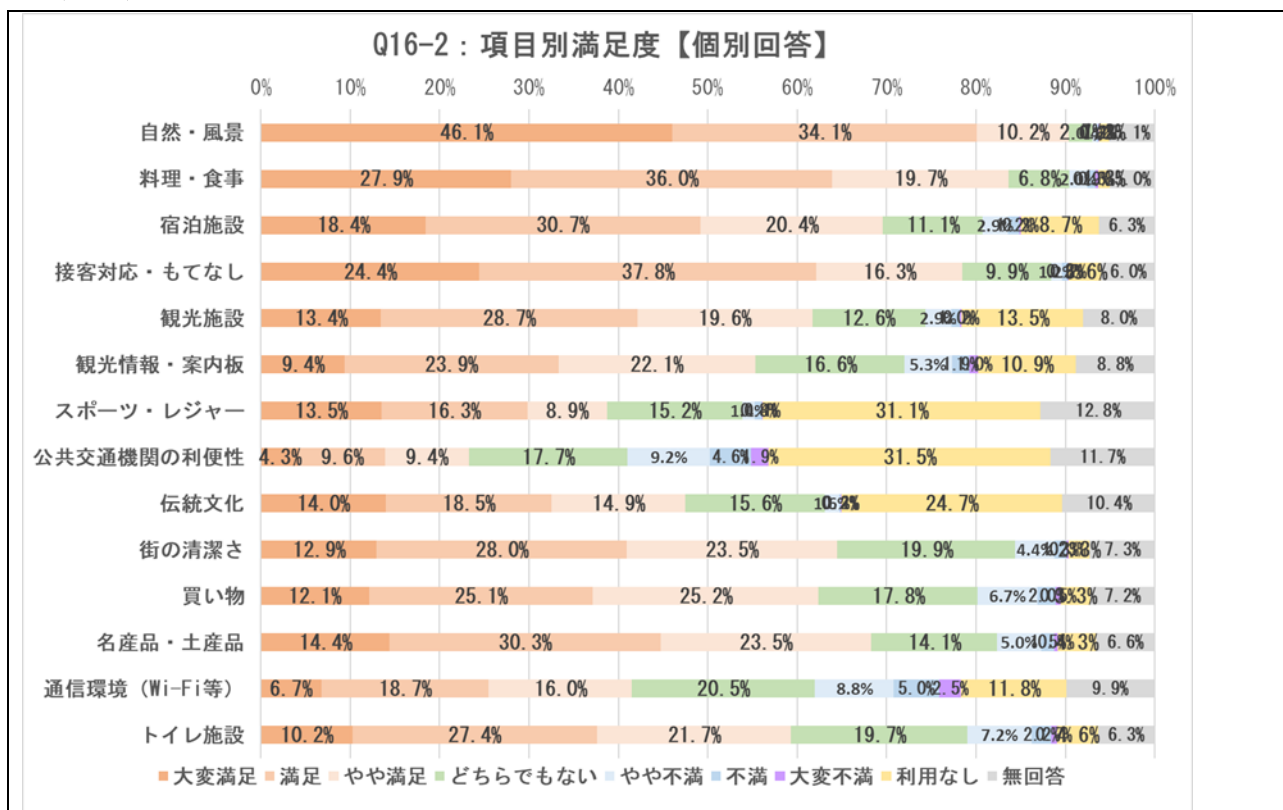
H29(2017)



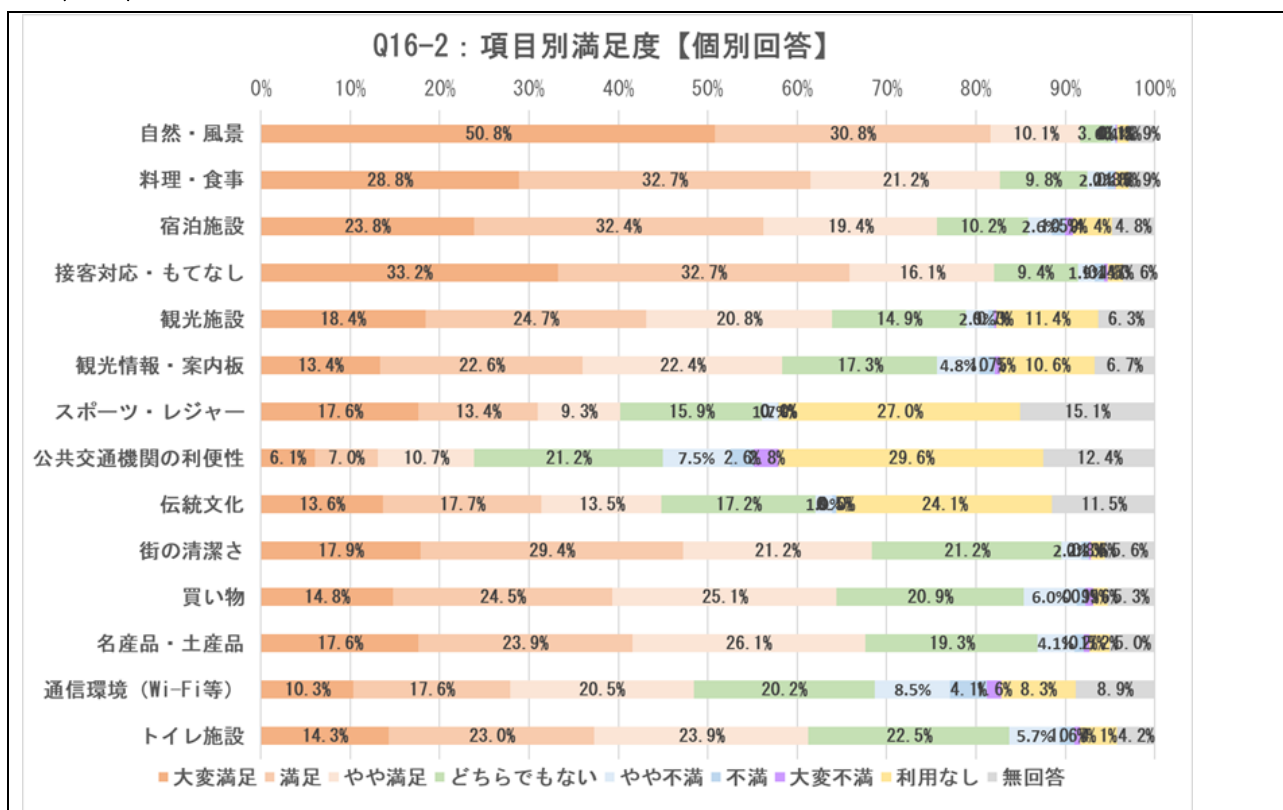
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



旅行全体および項目別を7段階評価（大変満足：7、満足：6、やや満足：5、どちらでもない：4、やや不満：3、不満：2、大変不満：1、利用なし：0）で、平均評価を求めると、次のようになった。

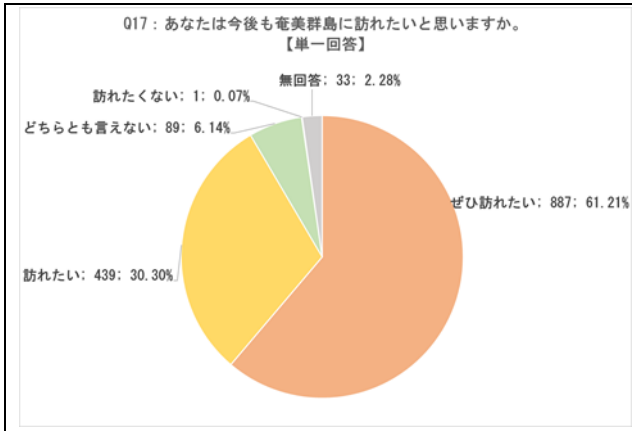
換算点数に基づく平均評価					
	項目の満足度	2017年	2018年	2019年	2020年
0	旅行全体	6.01	5.99	6.05	5.99
1	自然・風景	6.14	6.18	6.22	6.24
2	料理・食事	5.73	5.75	5.74	5.68
3	宿泊施設	4.85	5.03	5.03	5.36
4	接客対応・もてなし	5.41	5.56	5.57	5.75
5	観光施設	4.53	4.67	4.63	4.80
6	観光情報・案内板	4.37	4.50	4.46	4.60
7	スポーツ・レジャー	3.52	3.53	3.48	3.75
8	公共交通機関の利便性	2.87	2.81	2.77	2.90
9	伝統文化	3.95	3.92	3.92	3.89
10	街の清潔さ	4.99	5.02	5.09	5.30
11	買い物	4.78	4.86	4.93	5.07
12	名産品・土産品	5.03	5.00	5.08	5.15
13	通信環境（Wi-Fi等）	3.64	3.93	4.00	4.35
14	トイレ施設	4.51	4.72	4.80	4.89

平均評価から、「公共交通機関の利便性」、「通信環境（Wi-Fi等）」、「スポーツ・レジャー」といった4以下は、急いで改善すべき項目と考えられる。

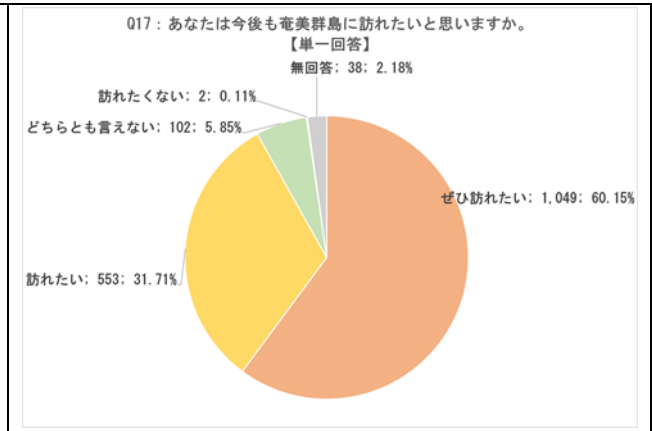
23. 再来訪意向

(Q17 あなたは今後も奄美群島に訪れたいと思いますか。)

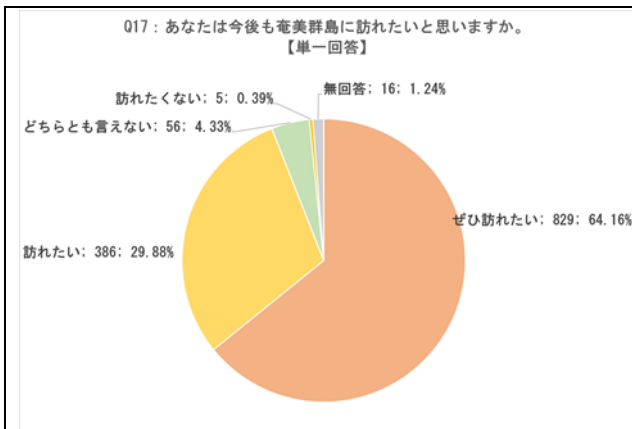
H29 (2017)



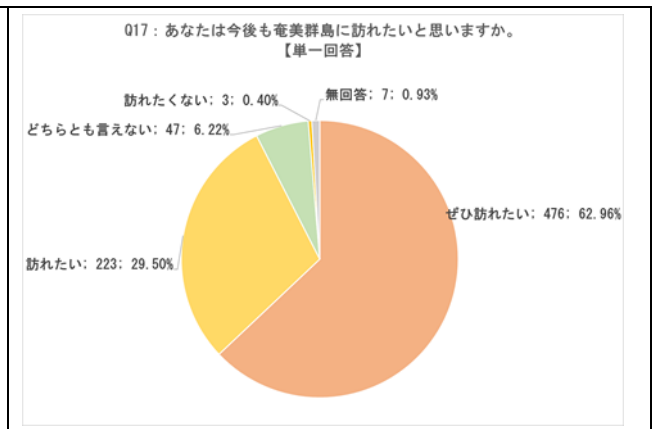
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



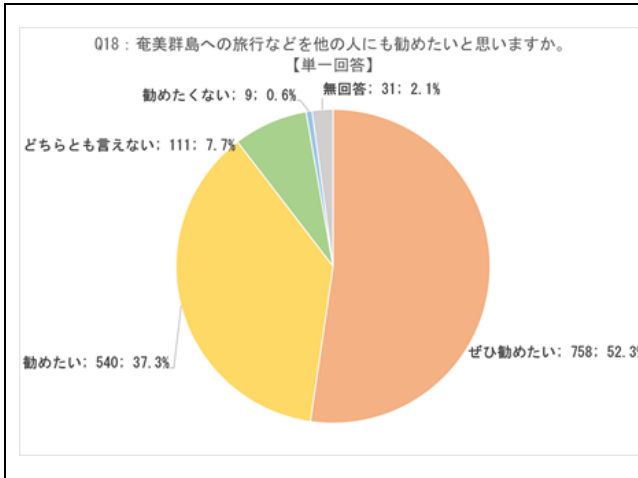
再来訪意向については、4年通して、「ぜひ訪れたい」が6割を越えている。「訪れたい」を加えると9割となり、極めて観光地としての魅力が高いことが伺われる。

魅力となっている観光資源を保全しつつ、課題となっている箇所を改善していくことで、魅力は維持できるかもしれない。

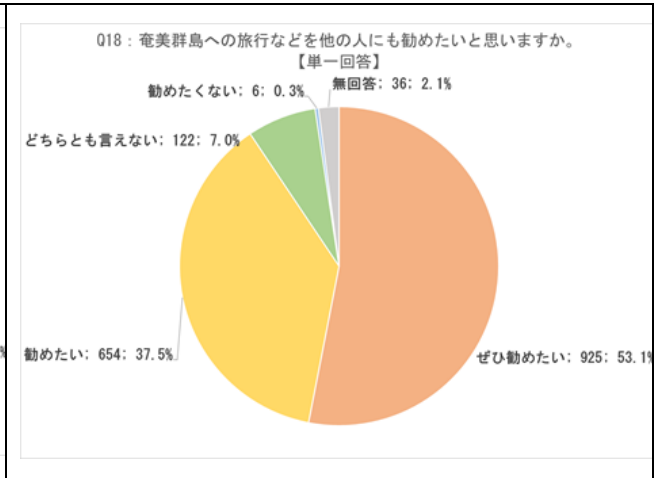
24. 推薦意向

(Q18 奄美群島への旅行などを他の人にも勧めたいと思いますか。)

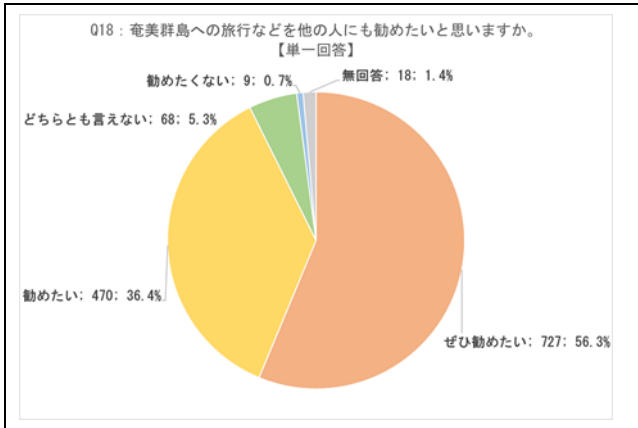
H29 (2017)



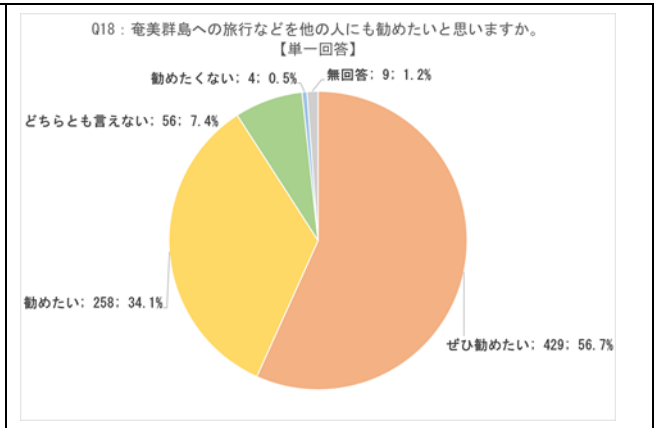
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



奄美旅行を他の人にも勧めるかという設問について、「ぜひ勧めたい」は、回答者の再来訪よりも若干少ない回答となっている。「勧めたい」を加えれば、9割となっている。

25. ご意見

(Q19 来訪者の方⇒今回の来訪をとおして感じたご意見等がございましたらお聞かせください。
居住者の方⇒奄美群島の観光について、ご意見等がございましたらお聞かせください。)

自由記述のため、H29(2017)の一部を以下に列挙する(電子データ参照)。

なお、集計表には、記述内容の参考となる属性や消費金額、満足度を併記した。

H30(2018) 回答数 1278

コメント内容	性別	年齢	職業	居住地	消費金額	満足度
観光スポットがあるが、特産物を活かしたお土産商材が少ないと感じる	女性	30代	会社員	奄美大島	-	-
晴れていないと、楽しめない観光体験ばかり。雨が降ったら、楽しめなくなるので、観光客がかわいそう。冬の観光の魅力が弱い。ホエールウォッチングなどを大々的にうたうなどしても良いと思う。四季の奄美の観光の楽しみ方の提案もあったらよいと思います。車以外の移動手段が不便。	男性	30代	自営業	奄美大島	-	-
観光客用の施設、宿泊施設、遊戯施設がまだ足りないですかね。美観という観点から、道路沿いの草刈りの回数を増やした方がよいと思います。	男性	60代	会社員	奄美大島	-	-
世界自然遺産登録に向けて手付かずの自然を守るのはいいが、それだけでは、観光誘致としての受け皿としての環境整備は変わらない。沖縄のような魅力的な開発も必要だと思う。	男性	40代	公務員	奄美大島	-	-
特に与論島の観光が今後伸びてくると考えています。	男性	40代	公務員	奄美大島	-	-
分かりやすいウェブページの作成 複数言語による標識の設置 wifiの整備 地域貨幣を発行し、地元にお金を消費していく仕組みを作る クレジットカードの普及 大規模な集客による生態系への影響を十分に配慮した上での観光振興の推進	女性	40代	公務員	奄美大島	-	-
今回初めて来たがシーズン外のため施設が休みの所が見られたため次回はシーズン中に訪れたい。	男性	30代	会社員	九州	¥17,000	「満足」
奄美群島へ来訪する度に感心させられるのは 大自然が素晴らしいことと そこに住む人々が上手に自然と調和しながら暮らしていることです 世界自然遺産登録となっても この大自然だけは壊す事なく住民の生活が活性化していけたらと思います	男性	60代	会社員	九州	¥172,000	「満足」
今回は2月で、寒い時期だったので次回は暖かいときにきたいです。でも、島の人たちはとても親切で、千葉にいたつかれがとてもとれて、ゆっくり癒されました。	女性	40代	会社員	関東	¥71,500	「満足」
ダイビングをするために訪れたが、運悪くかなり寒いものとなってしまい少し残念だったが、海の綺麗さなどは大変感動しました。最終日の観光では晴れて、奄美の良い雰囲気を感じられ、大変満足できました。	男性	20代	学生	東北	¥65,000	「満足」
ご飯が美味しく、鹿児島市よりあったかくてよかったです	女性	20代	公務員	九州	¥19,700	「満足」
島の雰囲気がとても良かった。今回は個人的に自分のルーツを探して訪れたのだが、偶然にもそれを知る人と出会って、手厚いもてなしを受け、島の人の温かさを感じることができた。現地に住もう人々が観光地化することを複雑な思っているかもしれないけれど(自身も大阪→京都と観光地化しているところに住んでいるため多少はわかるつもりです)、島の良さを残しながらも盛り上げてほしいと思います。観光地化したために、住民の暮らしが脅かされるのは悲しいので。	女性	30代	会社員	近畿	¥67,200	「満足」

H30(2018) 回答数 1249

自由記述省略

R1(2019) 回答数 1180

自由記述省略

R2(2020) 回答数 656

自由記述省略

1-3 島別の集計結果

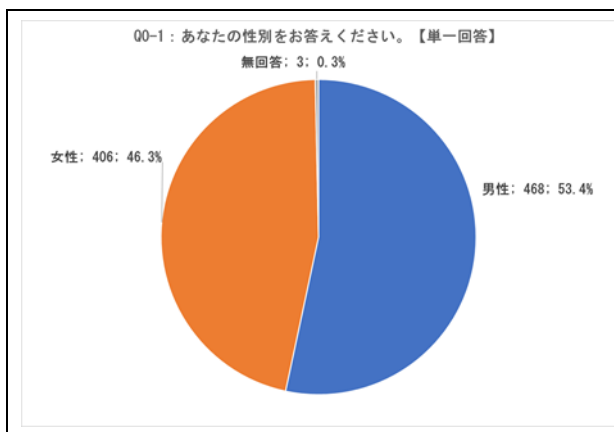
ここでは、訪問先の島ごとの集計結果から、それぞれの島の特徴を表す部分について、記述することとする。なお、調査票は、各島の空港、港で配布し、回答票は、訪問先の島ごとに集計している。そのため複数地域に渡って移動した来訪者は、回答内容がそれぞれの島ごとに集計されていることに留意する必要がある。また、ここでの奄美大島は、奄美大島北部、奄美大島南部、加計呂麻島・請島・与路島を合計したもので結果を出している。

1. 奄美大島

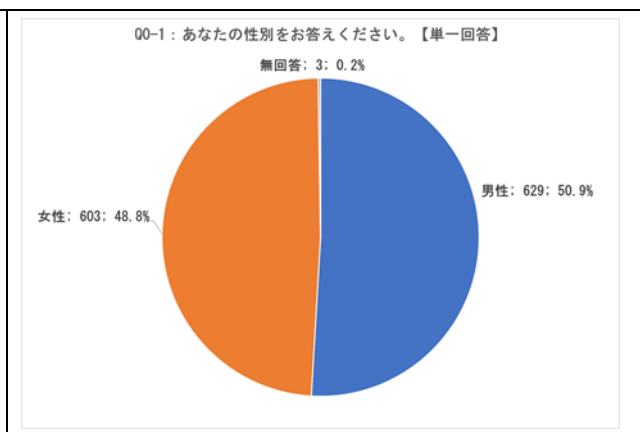
1. 回答者性別

(Q0-1 あなたの性別をお答えください。)

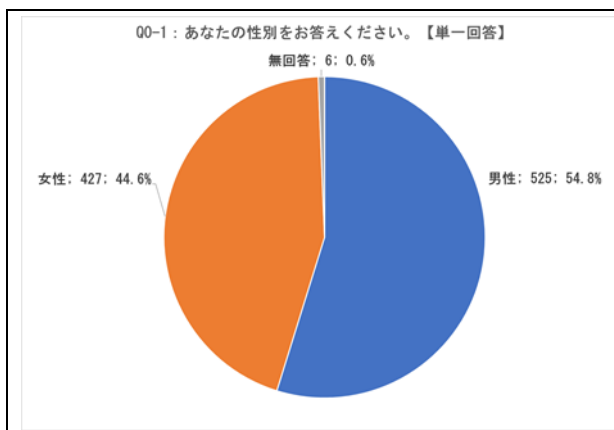
H29(2017)



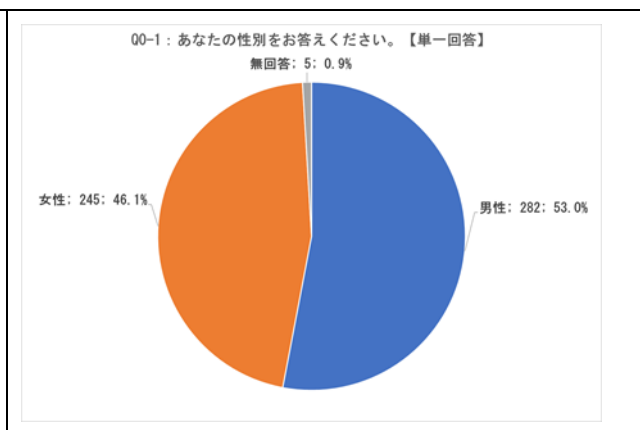
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)

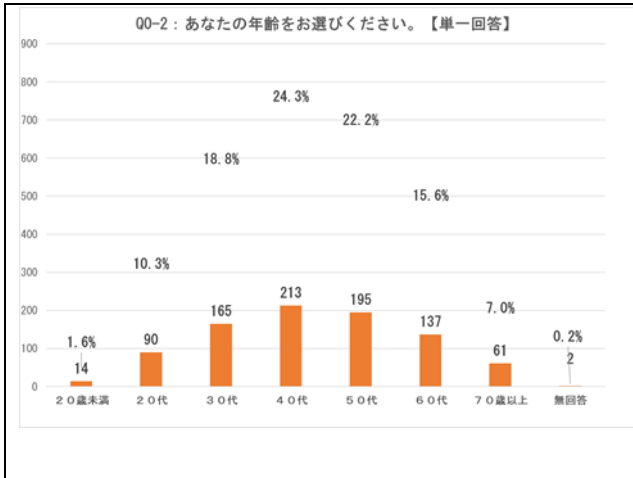


奄美大島を来訪した回答者の性別では、女性が男性よりも若干多い。

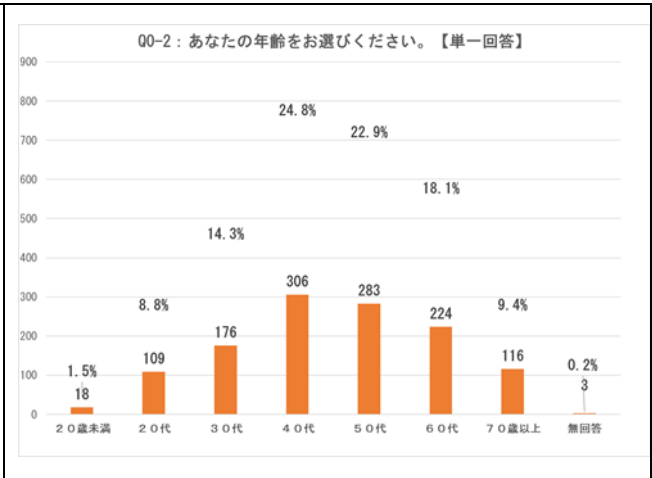
2. 回答者年齢

(Q0-2 あなたの年齢をお選びください。)

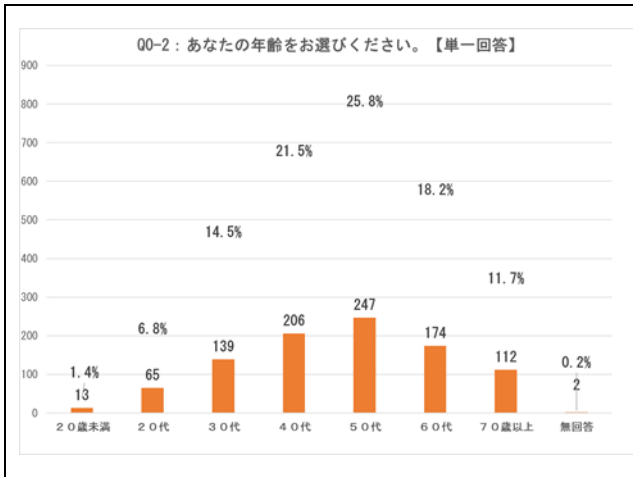
H29 (2017)



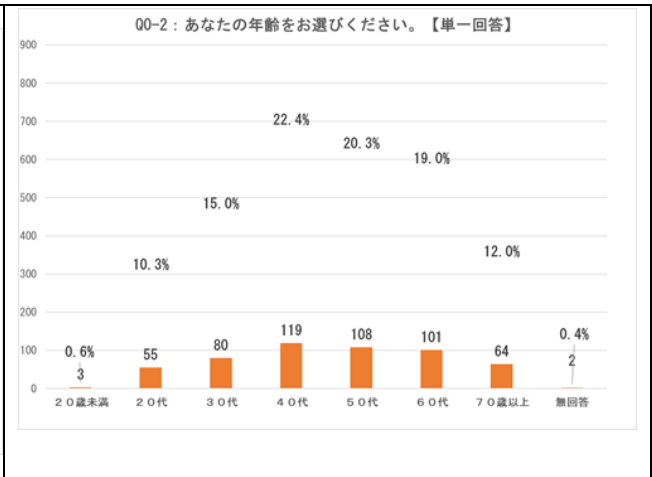
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

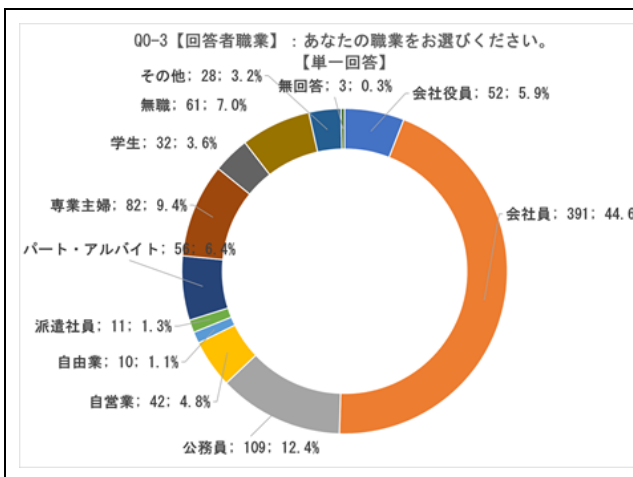


年齢については、40、50代が比較的多い。

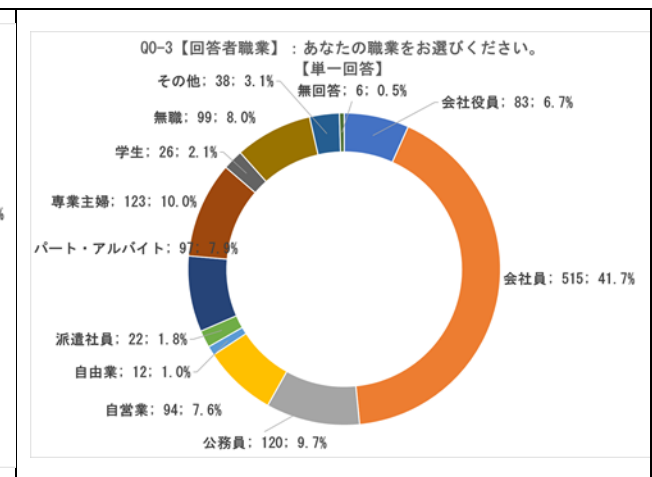
3. 回答者職業

(Q0-3 あなたの職業をお選びください。)

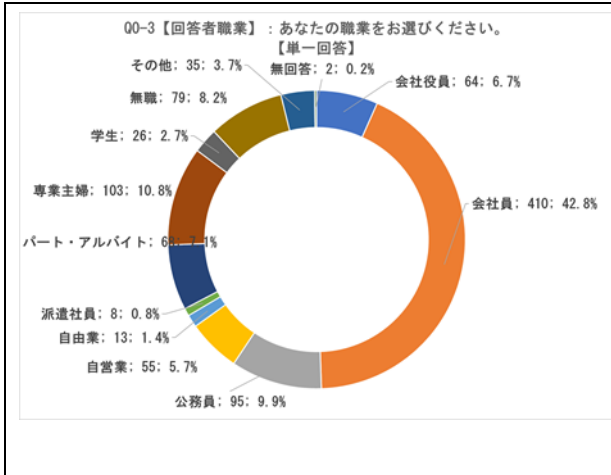
H29 (2017)



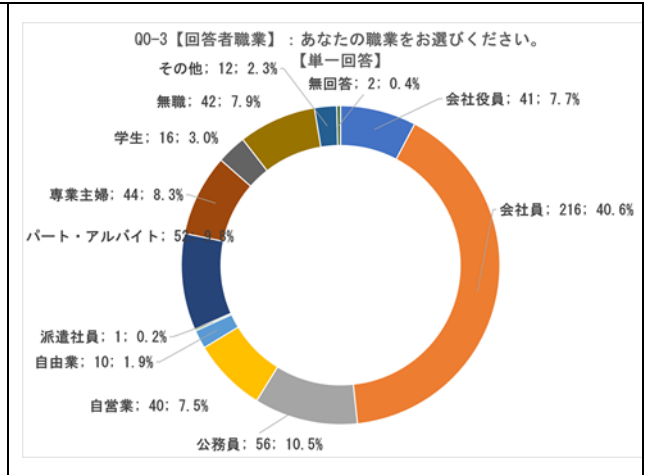
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

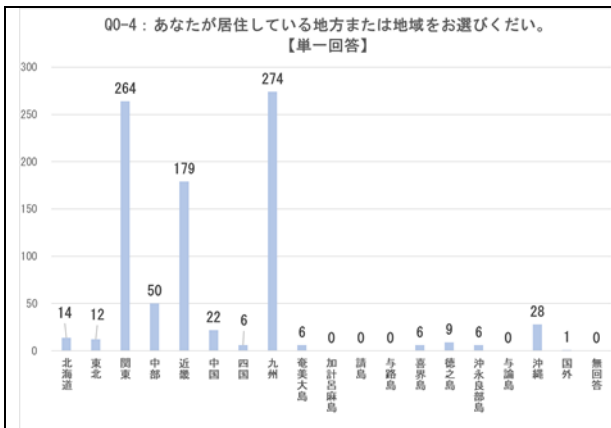


職業については、会社員が最も多い。会社役員、公務員、自営業、パート・アルバイト、専業主婦、無職（高齢者と想定）は、それぞれ一定数来訪している。

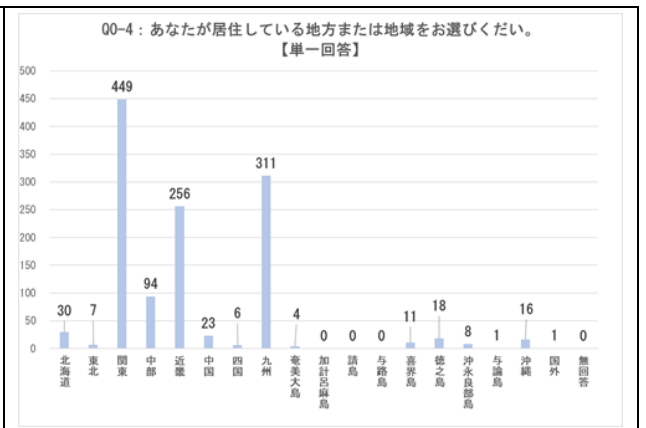
4. 回答者居住地

(Q0-4 あなたが居住している地方または地域をお選びください。)

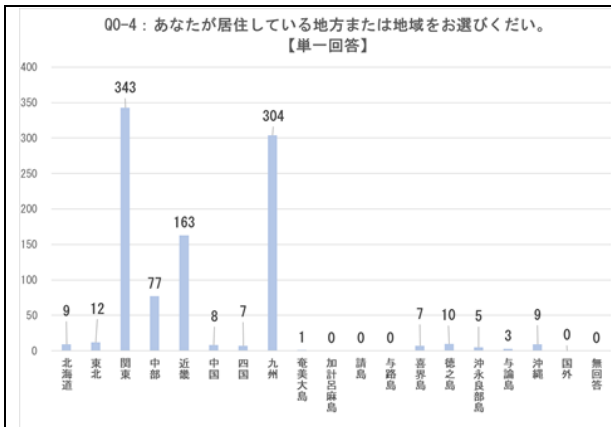
H29 (2017)



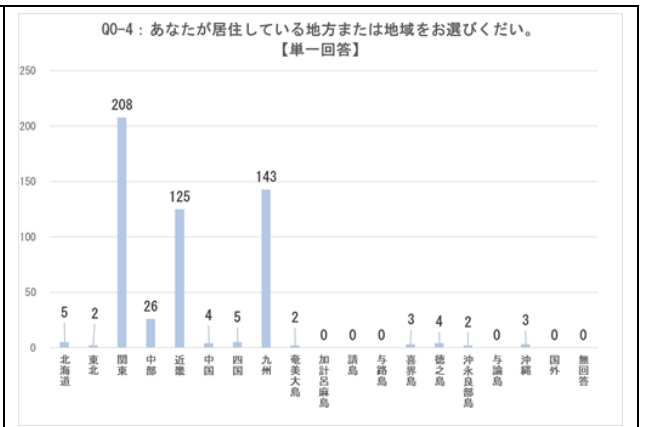
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

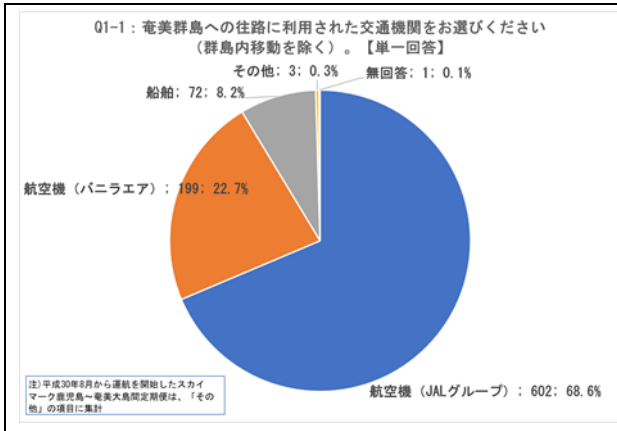


居住地については、関東および九州が多い。次が近畿となっている。

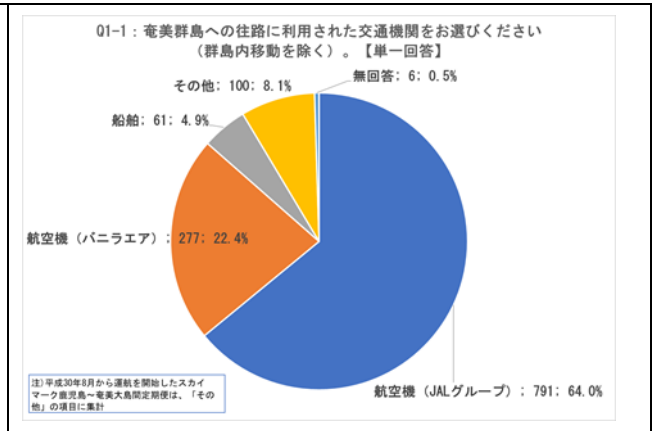
5. 往復路交通手段

(Q1-1 奄美群島への往路に利用された交通機関をお選びください (群島内移動を除く。))

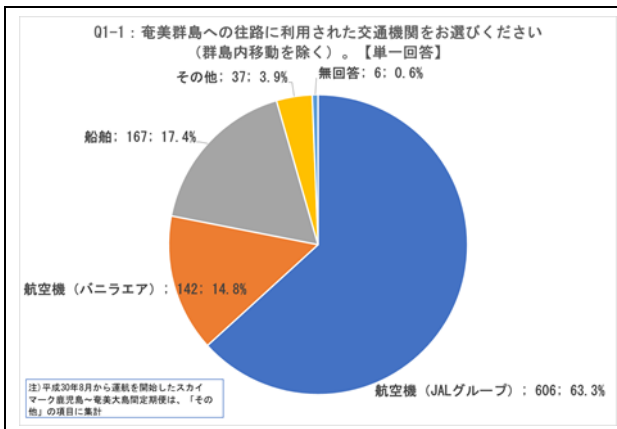
H29 (2017)



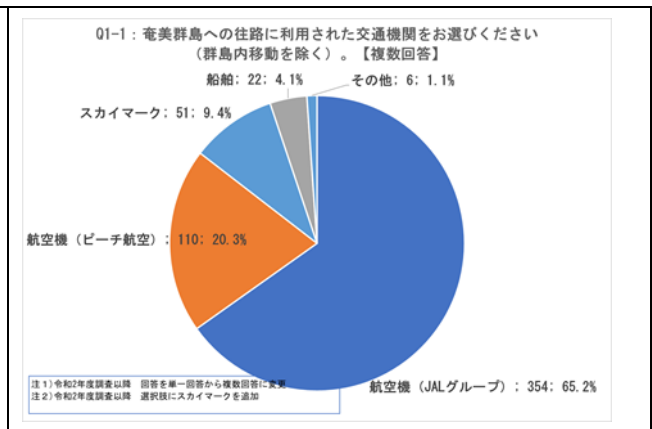
H30 (2018)



R1 (2019)

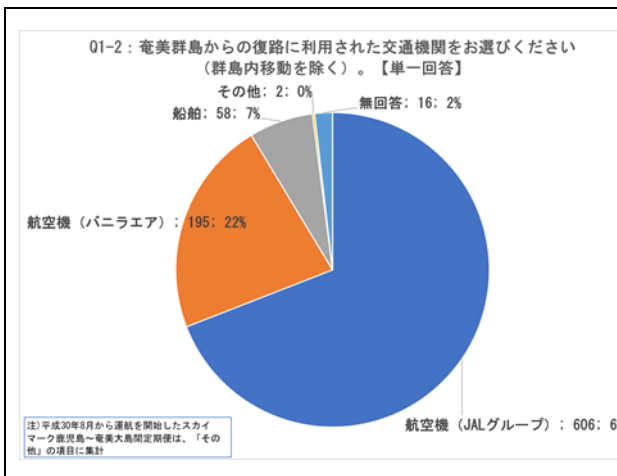


R2 (2020)

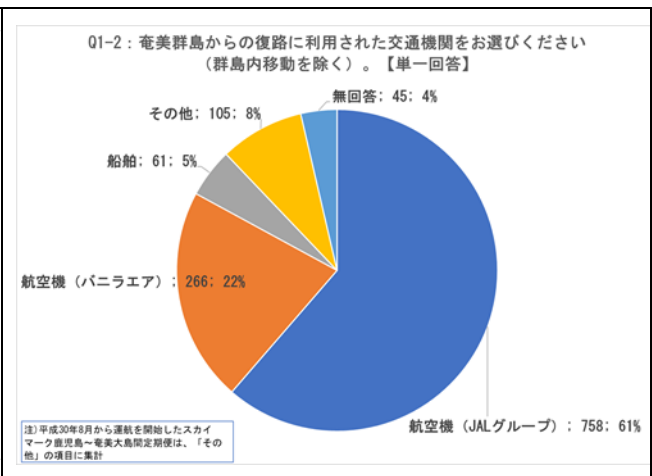


奄美大島への交通手段としては、多くが飛行機であるが、船舶も年により割合が高くなる。H30(2018)年からのスカイマーク就航は、その他になるが、2020年では、選択肢としたので回答となった。なお、復路も同様である。

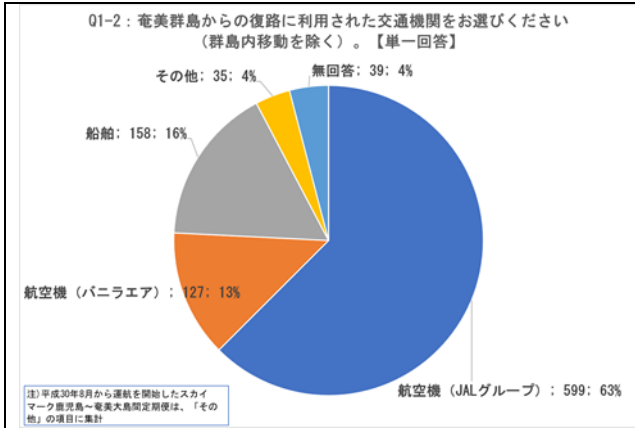
H29 (2017)



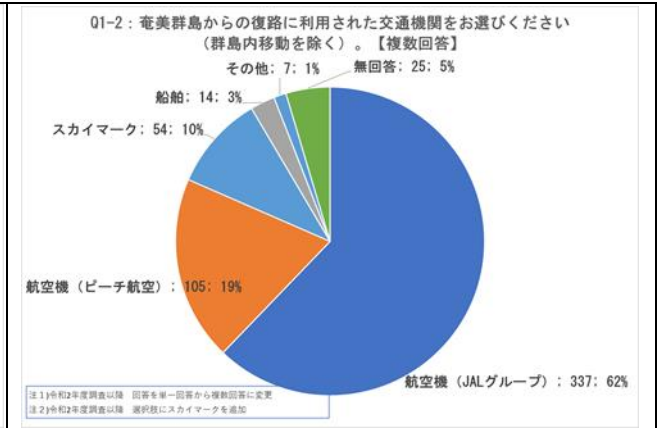
H30 (2018)



R1 (2019)



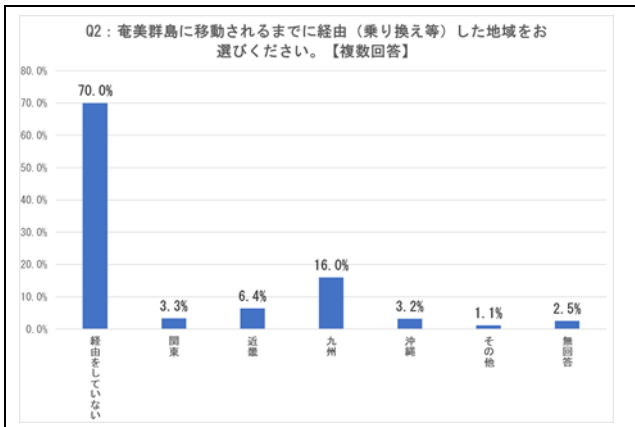
R2 (2020)



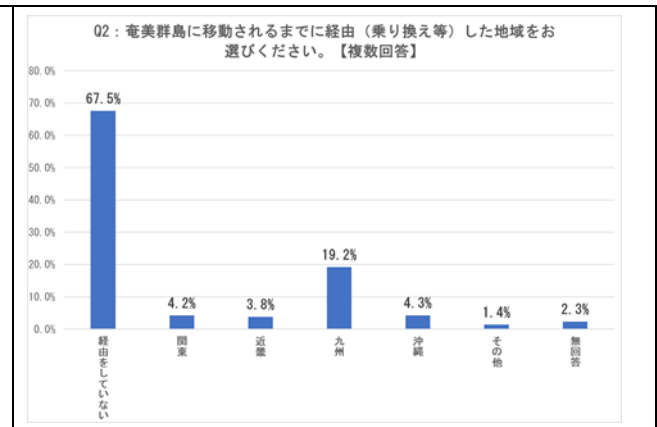
6. 渡航経由地

(Q2 奄美群島に移動されるまでに経由 (乗り換え等) した地域をお選びください。【複数回答】)

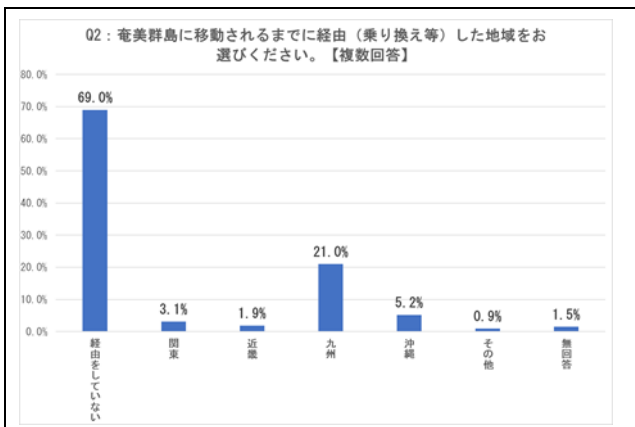
H29 (2017)



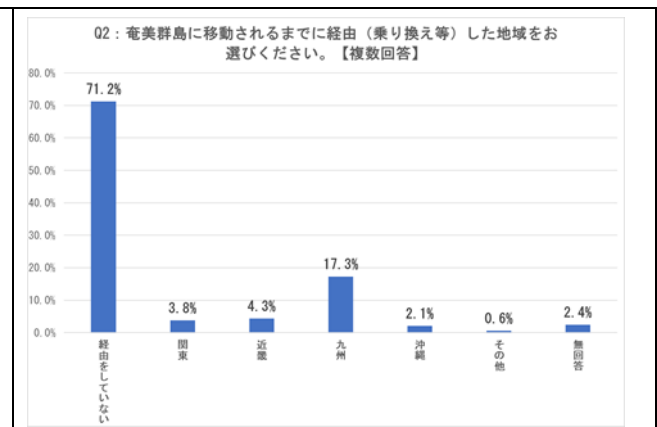
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

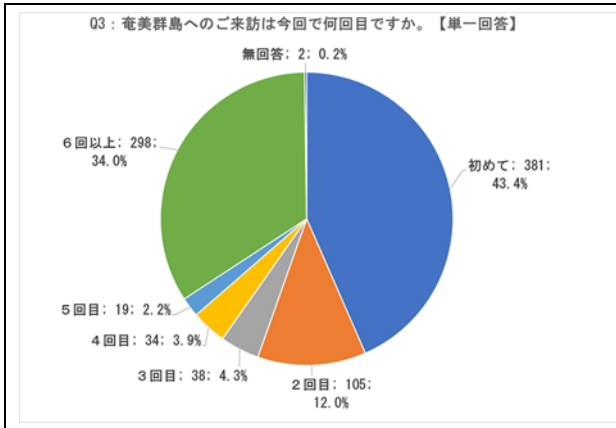


奄美大島には、経由地で見ると、経由地なしが最も多く、九州経由が次になっている。

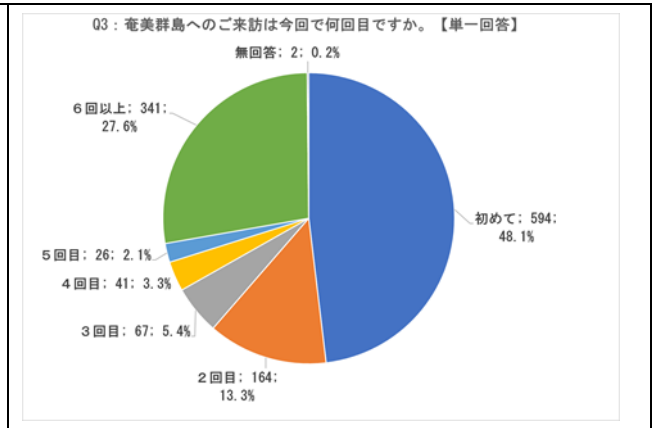
7. 来訪回数

(Q3 奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか。)

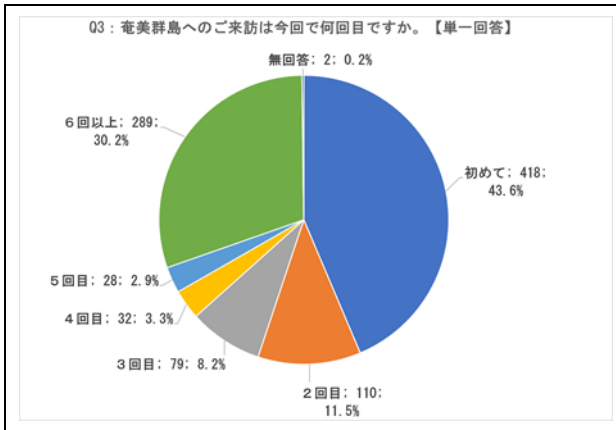
H29 (2017)



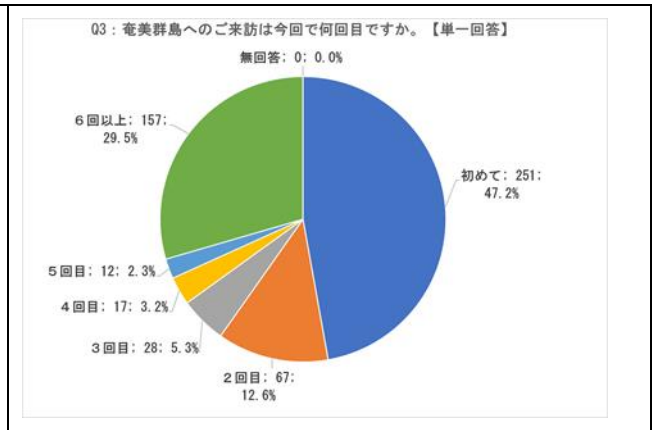
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

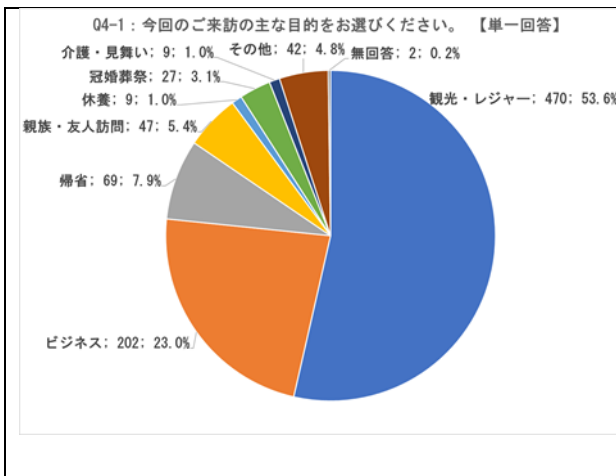


来訪回数としては、初めての人が4割強である。2回目をいれて6割程度。6回以上の人が、3割程度になっている。

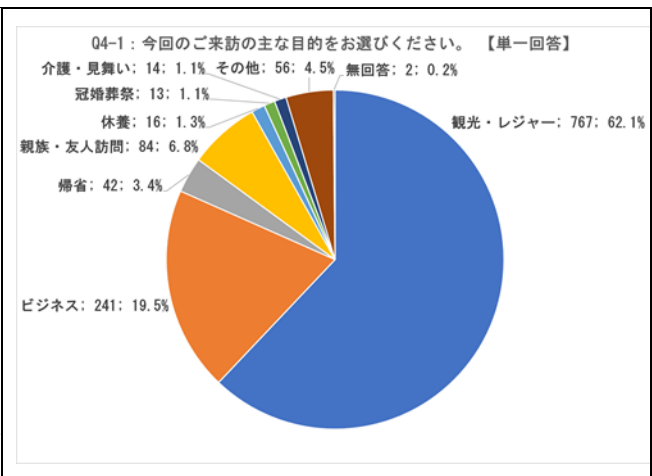
8. 来訪目的

(Q4-1 今回のご来訪の主な目的をお選びください。)

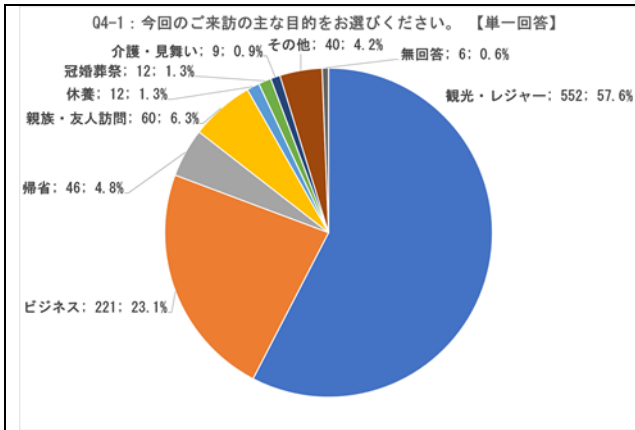
H29 (2017)



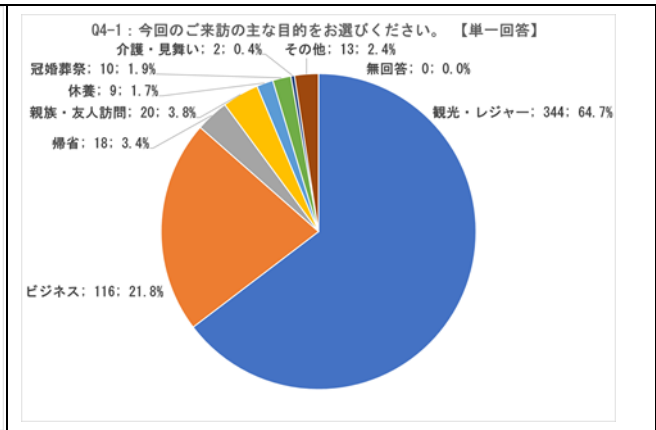
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

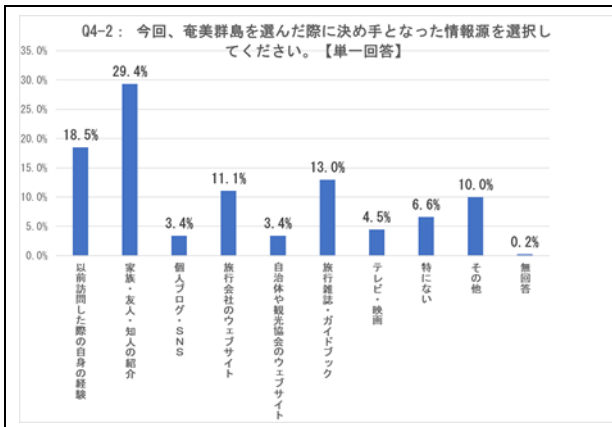


来訪目的は、「観光・レジャー」が多いが、同様に「ビジネス」も多い。

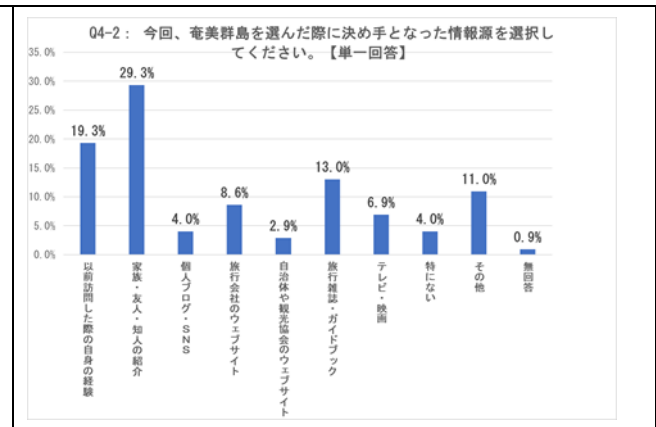
9. 情報源

(Q4-2 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください。)

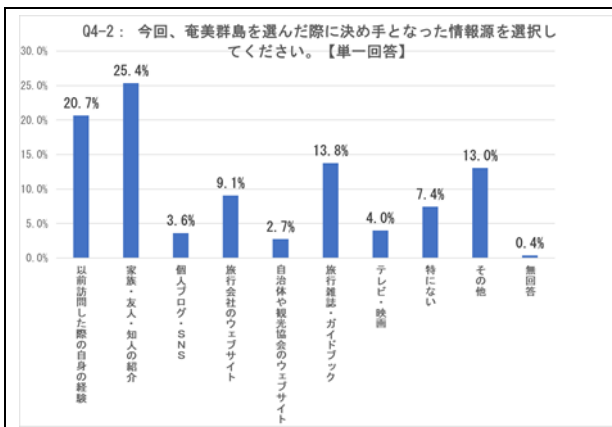
H29 (2017)



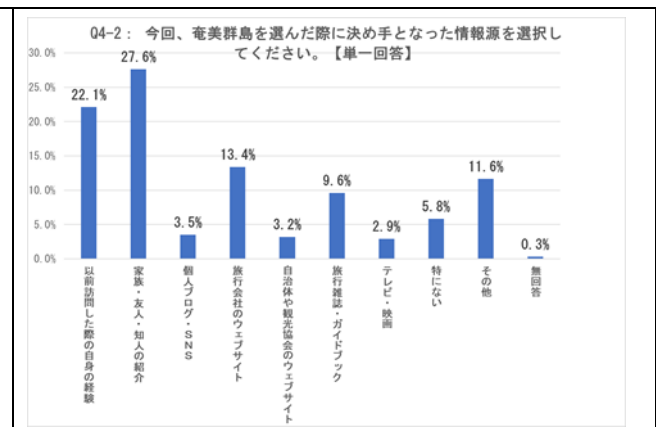
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

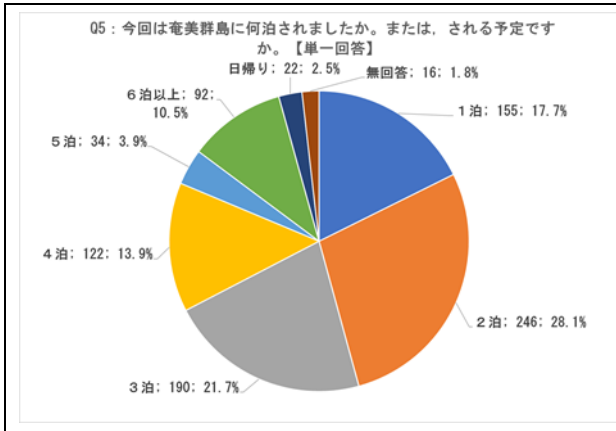


情報源としては、「家族・友人・知人の紹介」が最も多く、次が「自身の経験」となった。次が、「旅行会社のウェブサイト」や「旅行雑誌・ガイドブック」となっている。

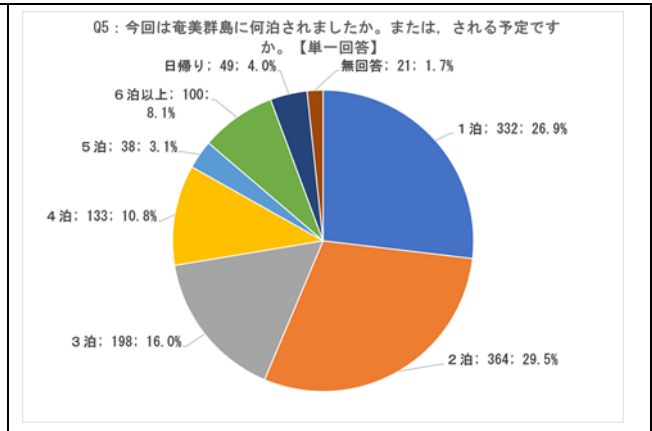
10. 宿泊日数

(Q5 今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか。)

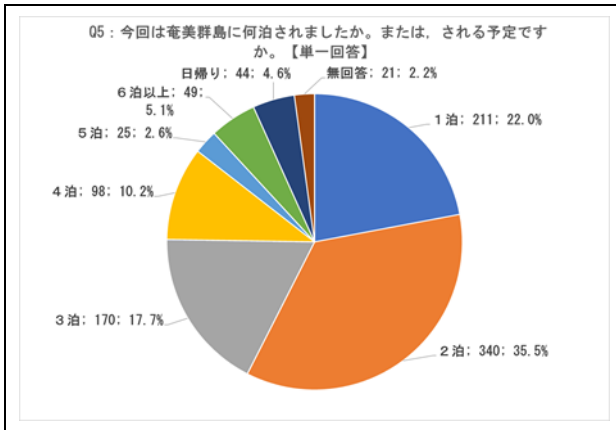
H29 (2017)



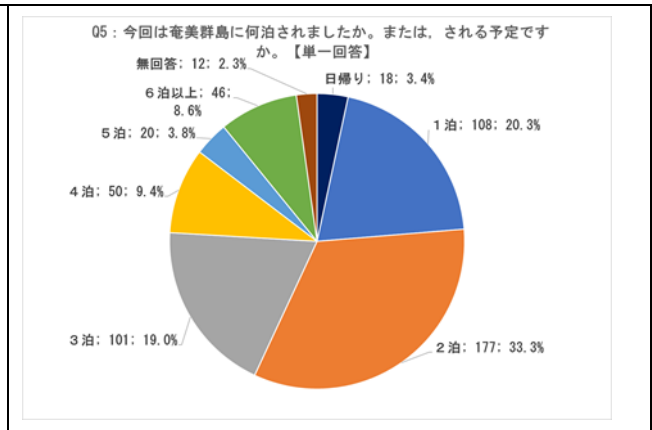
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

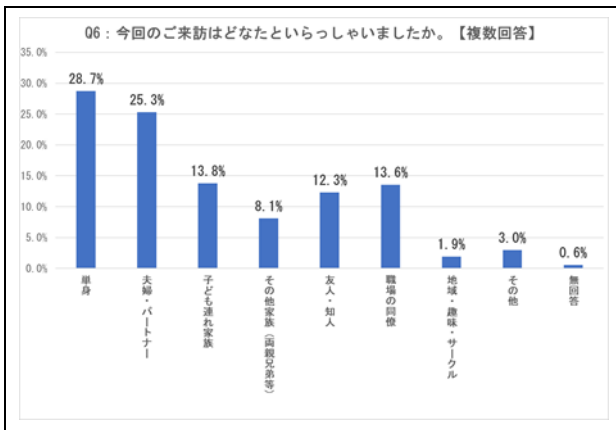


宿泊数については、まちまちである。4泊までは、それぞれ一定数あるが、2泊が一番多く、観光・レジャーのプランと考えられる。

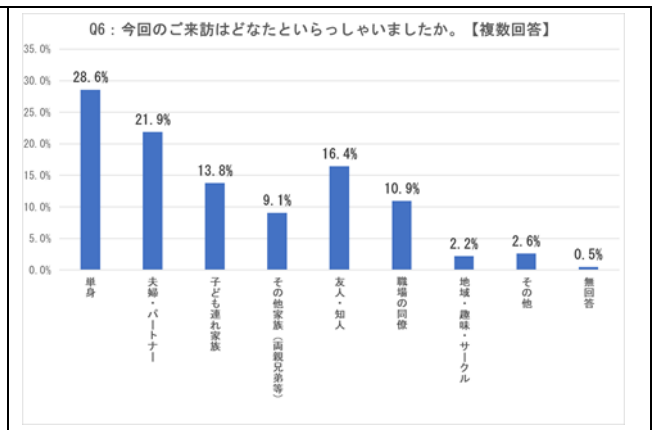
11. 同行者属性

(Q6 今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか。【複数回答】)

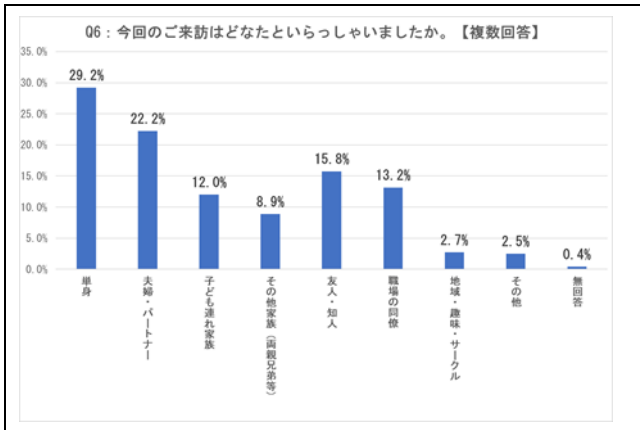
H29 (2017)



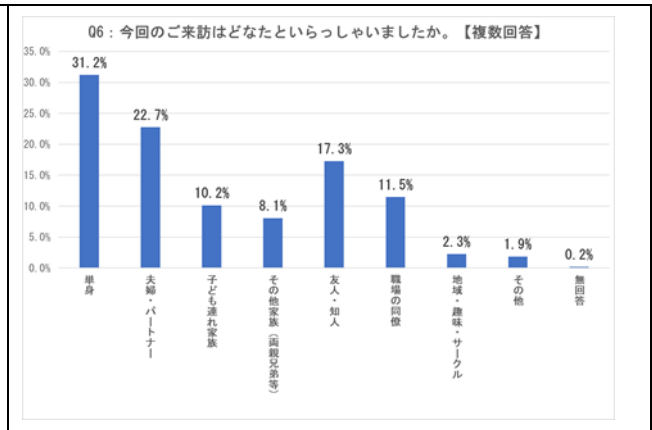
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

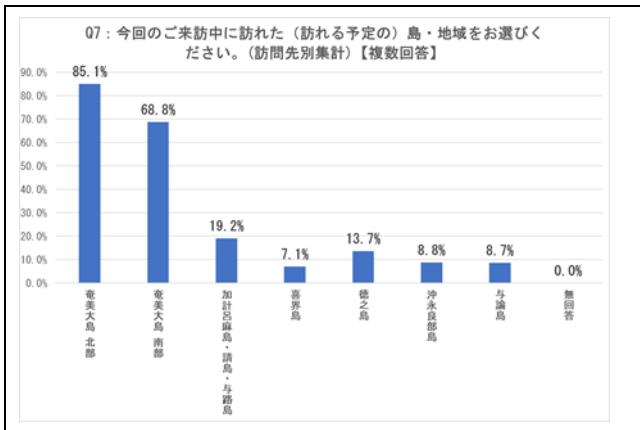


同行者属性については、「単身」が最も多く、次に「夫婦・パートナー」、「友人・知人」となっており、4年通して変わっていない。また、ビジネスと考えられる「職場の同僚」も多い。

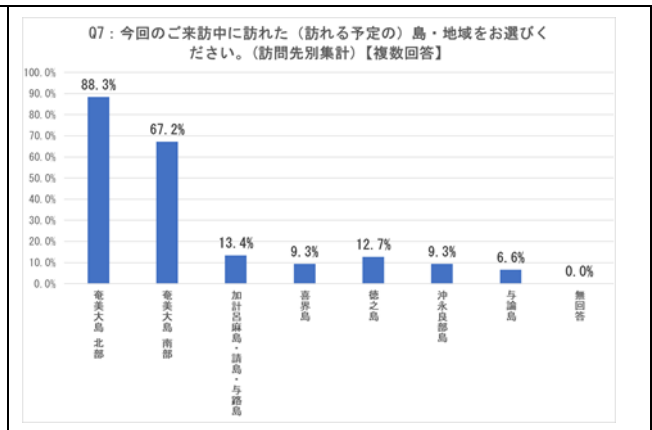
12. 群島内訪問先

(Q7 今回のご来訪中に訪れた (訪れる予定の) 島・地域をお選びください。【複数回答】)

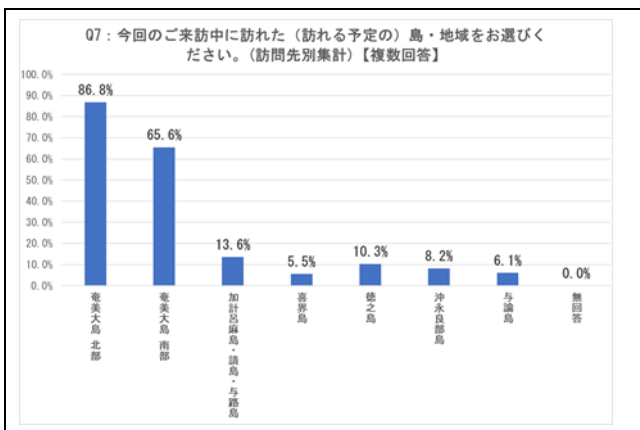
H29 (2017)



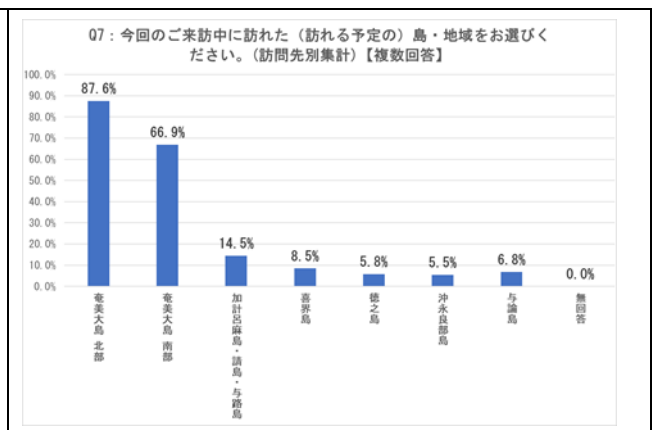
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

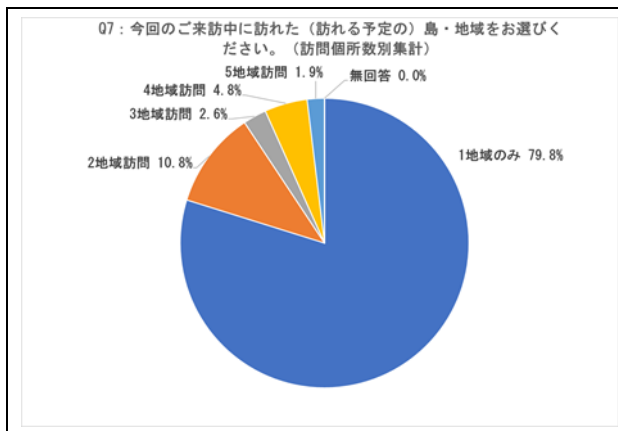


群島内訪問先としては、奄美大島の北部、次に南部で、他地域は少ない。

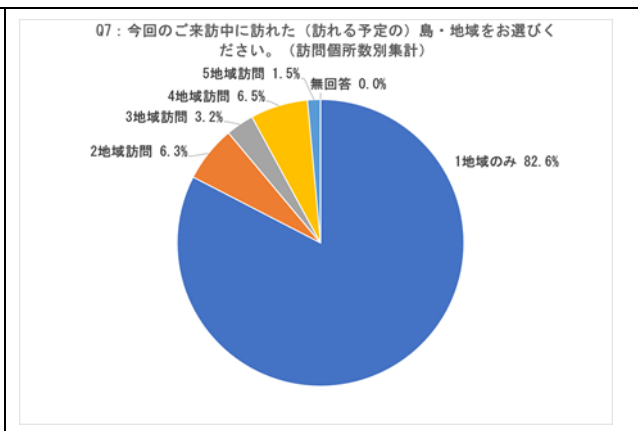
13. 訪問箇所数

(Q7 今回のご来訪中に訪れた(訪れる予定の)島・地域をお選びください。)

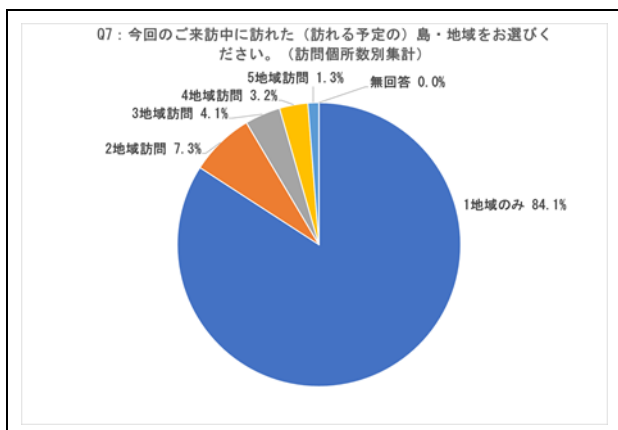
H29(2017)



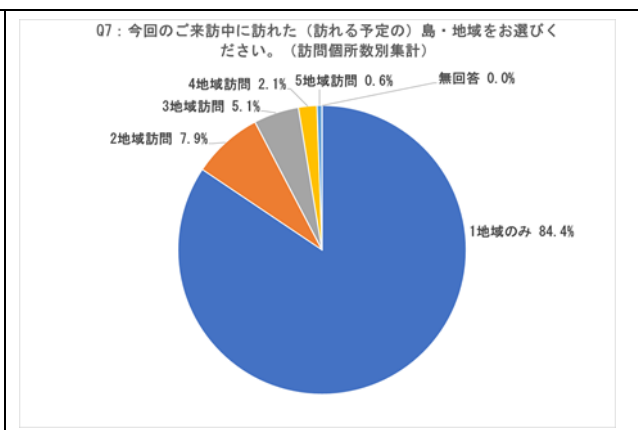
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



訪問箇所数としては、1地域で、奄美大島の北部もしくは南部のみとなっている。2, 3地域もおそらく、奄美大島の他の地域および加計呂麻島の可能性が高いと考えられる。

14. 印象場所、印象特産物・料理等

(Q8 今回の来訪で最も印象に残った場所(観光地等)を3つお答えください。)

(Q9 今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください。)

Q8

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	マングローブ	170	19.38%
2	あやまる岬	128	14.60%
3	加計呂麻島	80	9.12%
4	奄美パーク・田中一村美術館	78	8.89%
5	ハートロック	50	5.70%

Q9

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	鶏飯	508	57.92%
2	黒糖焼酎	183	20.87%
3	油そうめん	92	10.49%
4	黒糖	88	10.03%
5	もずく・もずく料理	63	7.18%

H30(2018)	複数回答（記述回答）	数	%
1	あやまる岬	232	18.79%
2	マングローブ	209	16.92%
3	奄美パーク・田中一村美術館	159	12.87%
4	ハートロック	86	6.96%
5	加計呂麻島	76	6.15%

H30(2018)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	674	54.57%
2	黒糖焼酎	271	21.94%
3	黒糖	121	9.80%
4	油そうめん	106	8.58%
5	飲物 ミキ	89	7.21%

R1(2019)	複数回答（記述回答）	数	%
1	あやまる岬	185	19.31%
2	マングローブ	173	18.06%
3	奄美パーク・田中一村美術館	124	12.94%
4	ハートロック	75	7.83%
5	ホノホシ海岸	58	6.05%

R1(2019)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	515	53.76%
2	黒糖焼酎	207	21.61%
3	黒糖	89	9.29%
4	油そうめん	77	8.04%
5	もずく・もずく料理	60	6.26%

R1(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	あやまる岬	99	18.61%
2	マングローブ	79	14.85%
3	奄美パーク・田中一村美術館	48	9.02%
4	ホノホシ海岸	41	7.71%
5	加計呂麻島	36	6.77%

R1(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	277	52.07%
2	黒糖焼酎	84	15.79%
3	油そうめん	39	7.33%
4	黒糖	32	6.02%
5	もずく・もずく料理	30	5.64%

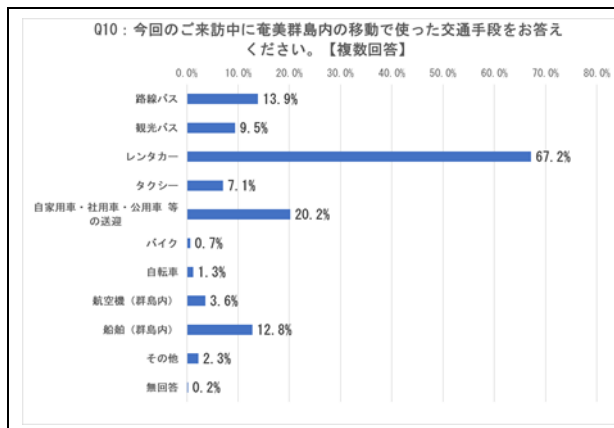
印象に残った場所としては、奄美大島としては、あやまる岬、マングローブ、奄美パーク・田中一村美術館が、定番となっている。それ以外には、ハートロック、加計呂麻島があがっている。

印象に残った特産物・料理等としては、鶏飯、黒糖焼酎、黒糖、油そうめんが定番となっている。次に、もずく・もずく料理となっている。

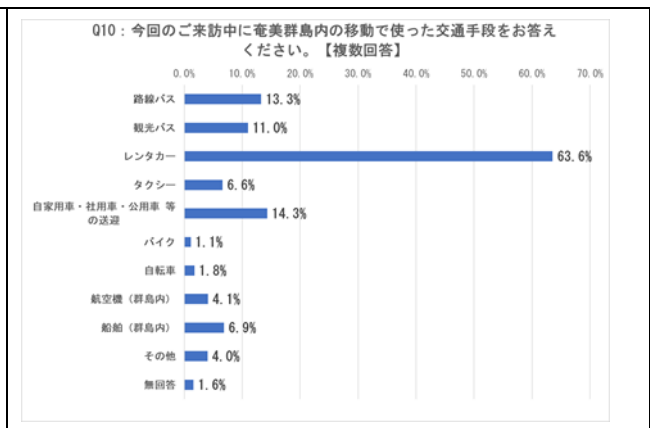
15. 群島内交通手段

（Q10 今回のご来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください。【複数回答】）

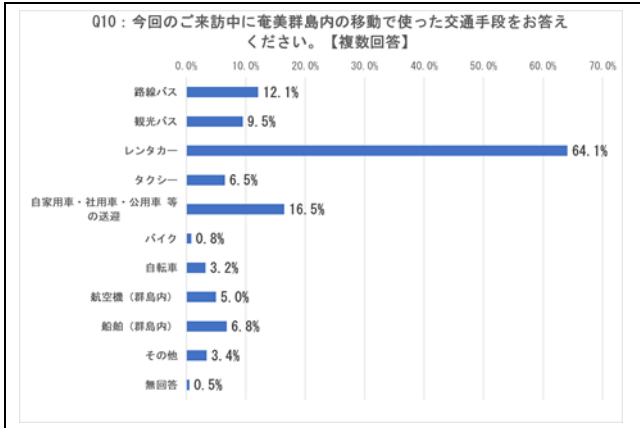
H29(2017)



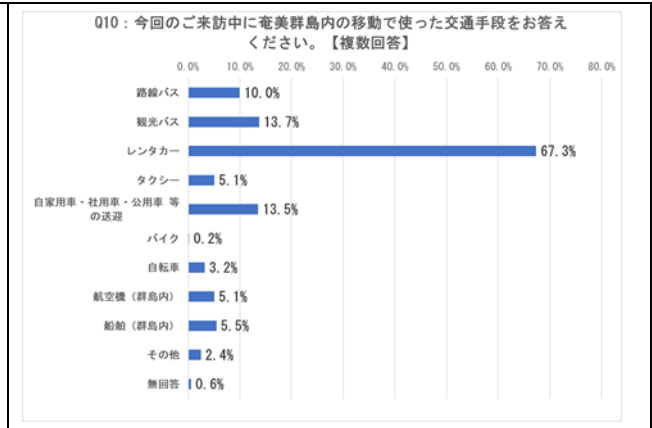
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



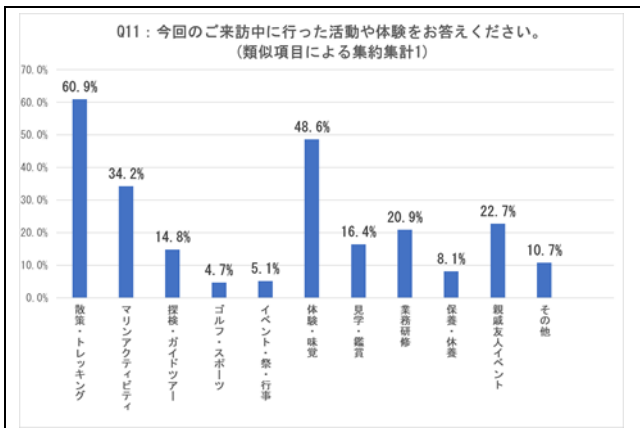
群島内交通手段としては、最もレンタカーが多い。次に、自家用車・社用車・公用車等であり、路線バス、観光バスも一定数ある。

16. 活動・体験

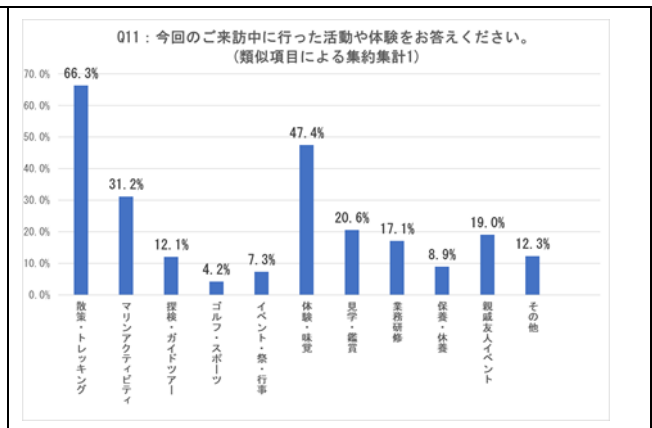
(Q11 今回のご来訪中に行った活動や体験をお答えください。)

※集約集計（類似項目別）

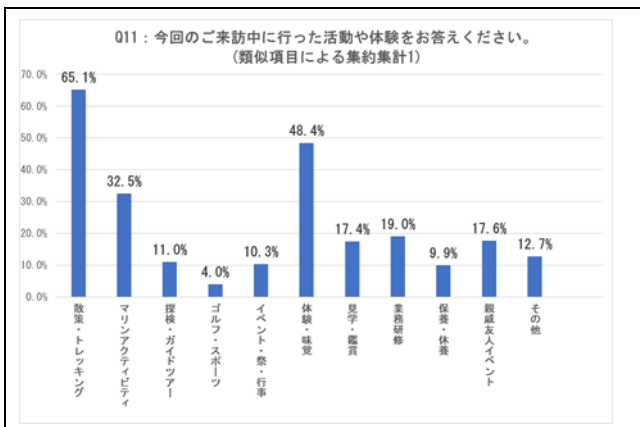
H29 (2017)



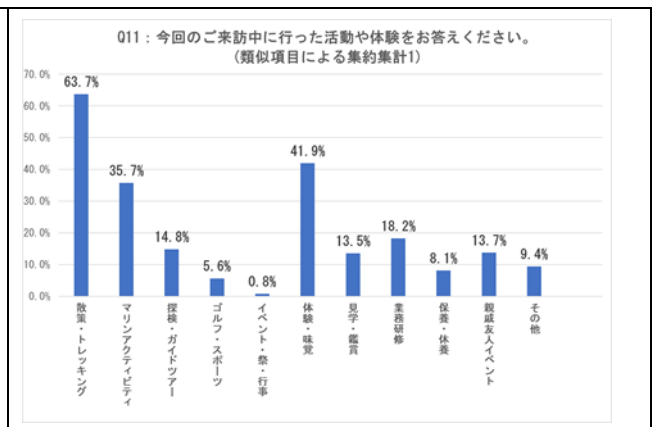
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



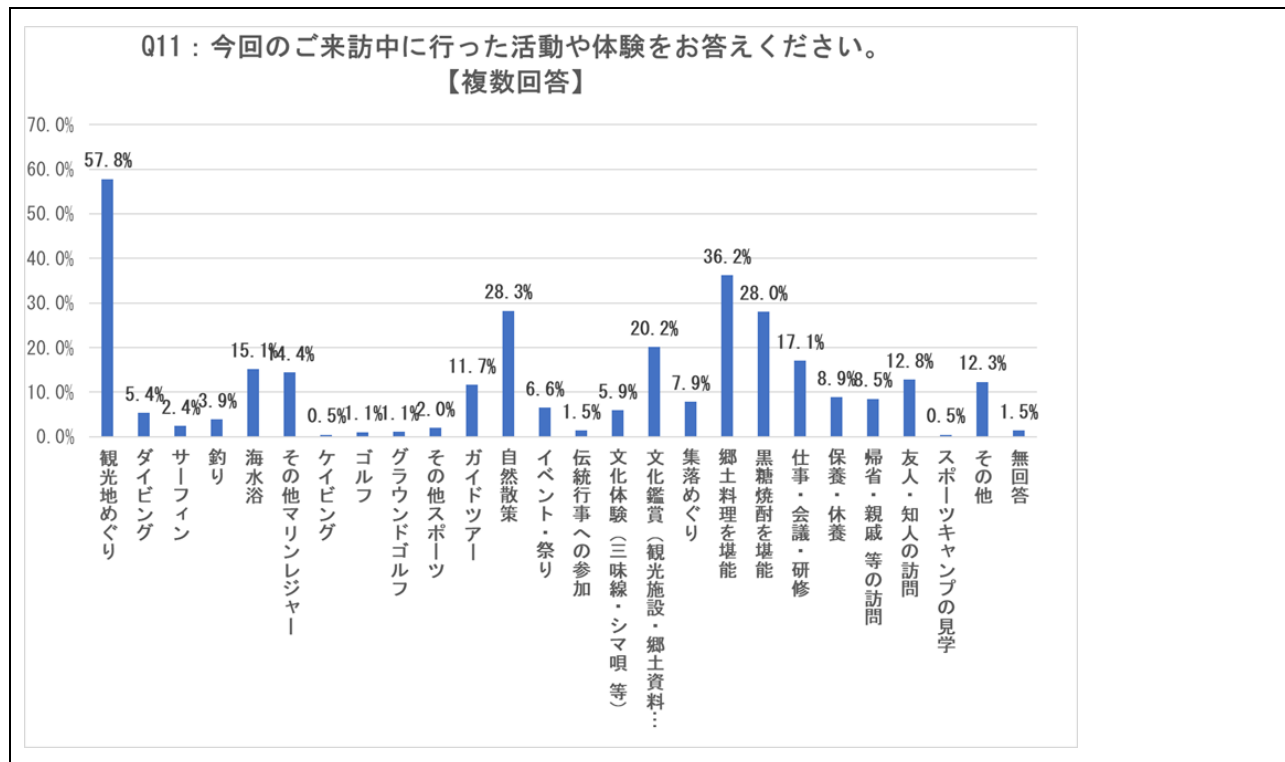
活動・体験については、設問をカテゴリーで集約したものを掲載する。

一番多いのは、「散策・トレッキング」であり、次に「体験・味覚」となっている。その次に、マリナクティビティとなっている。ビジネス目的で、「業務研修」も一定程度の数字となっている。「親戚友

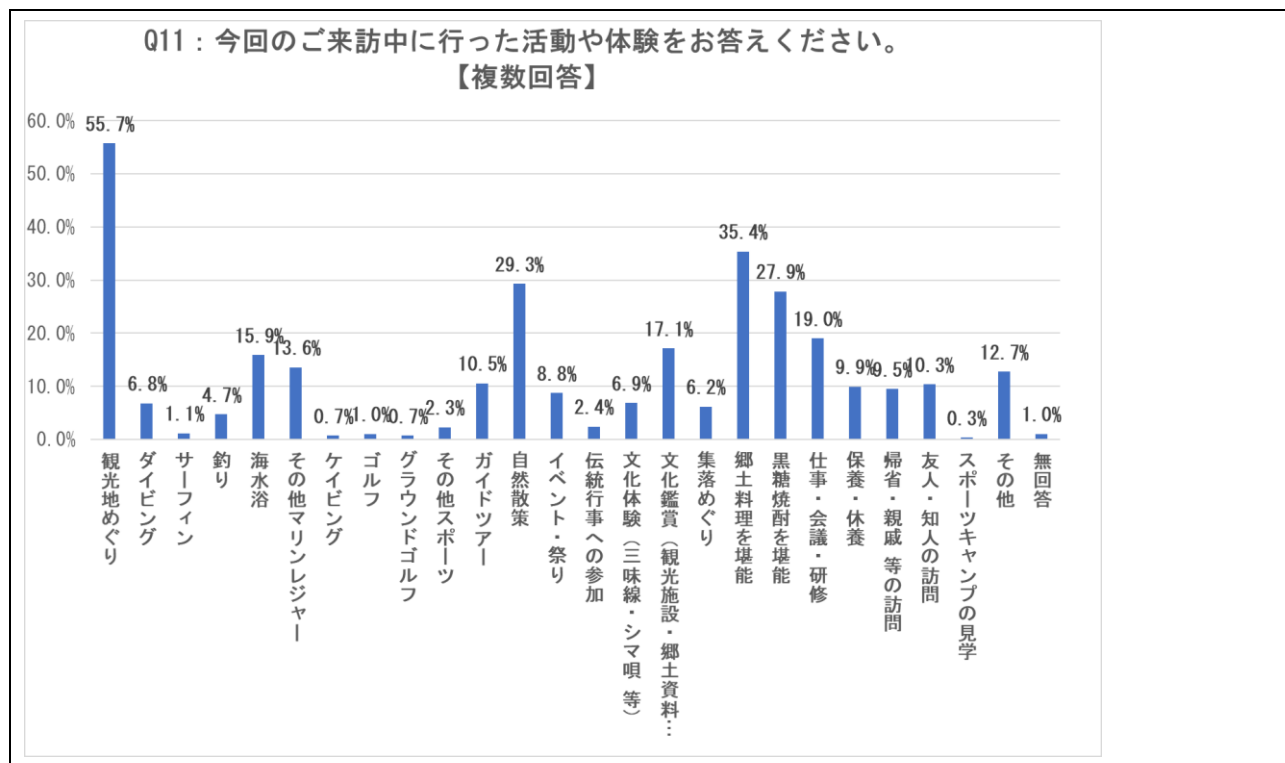
人イベント」も同様に一定数ある。

次に、設問ごとにもみると次のようになっている。代表的な H30(2018)、R1(2019)を表示した。

R1(2019)



R1(2019)



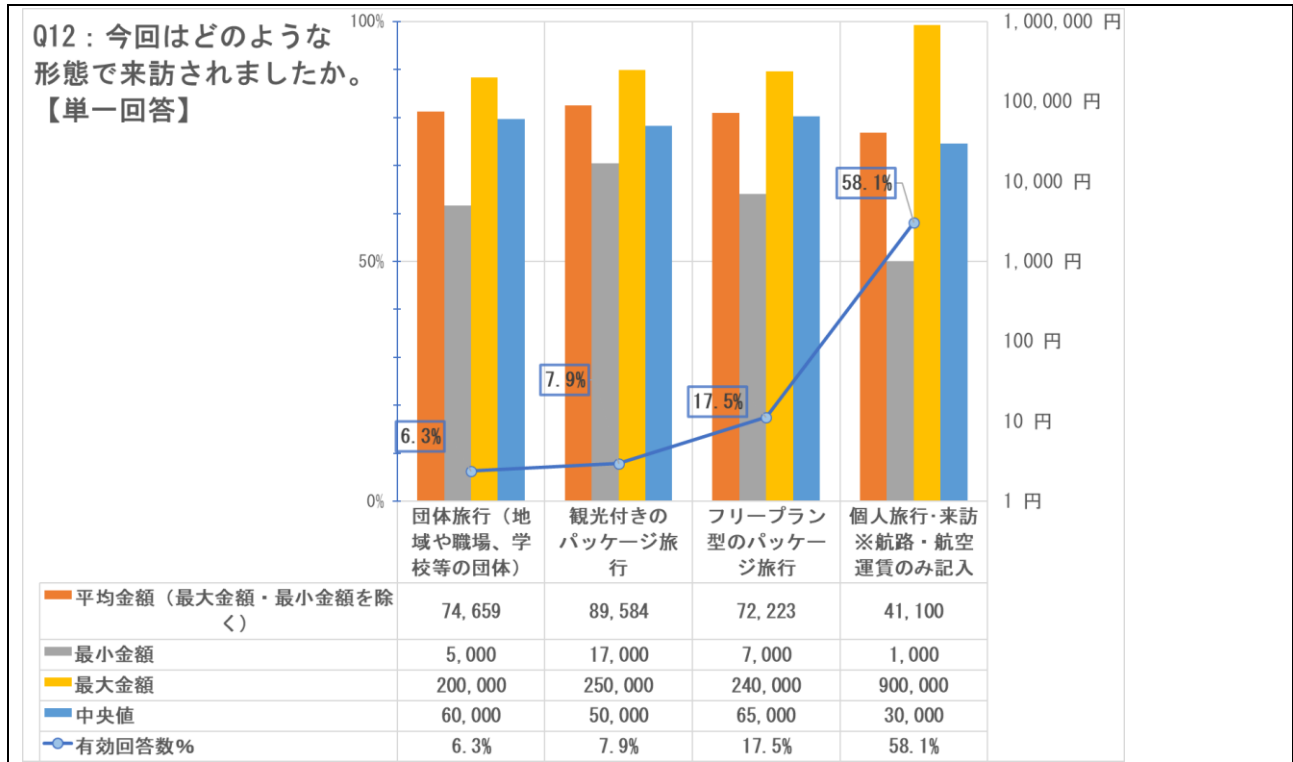
マリナクティビティでは、海水浴がメインで、その他が次となっている。体験・味覚では、郷土料理が多い。

17. 渡航形態と費用

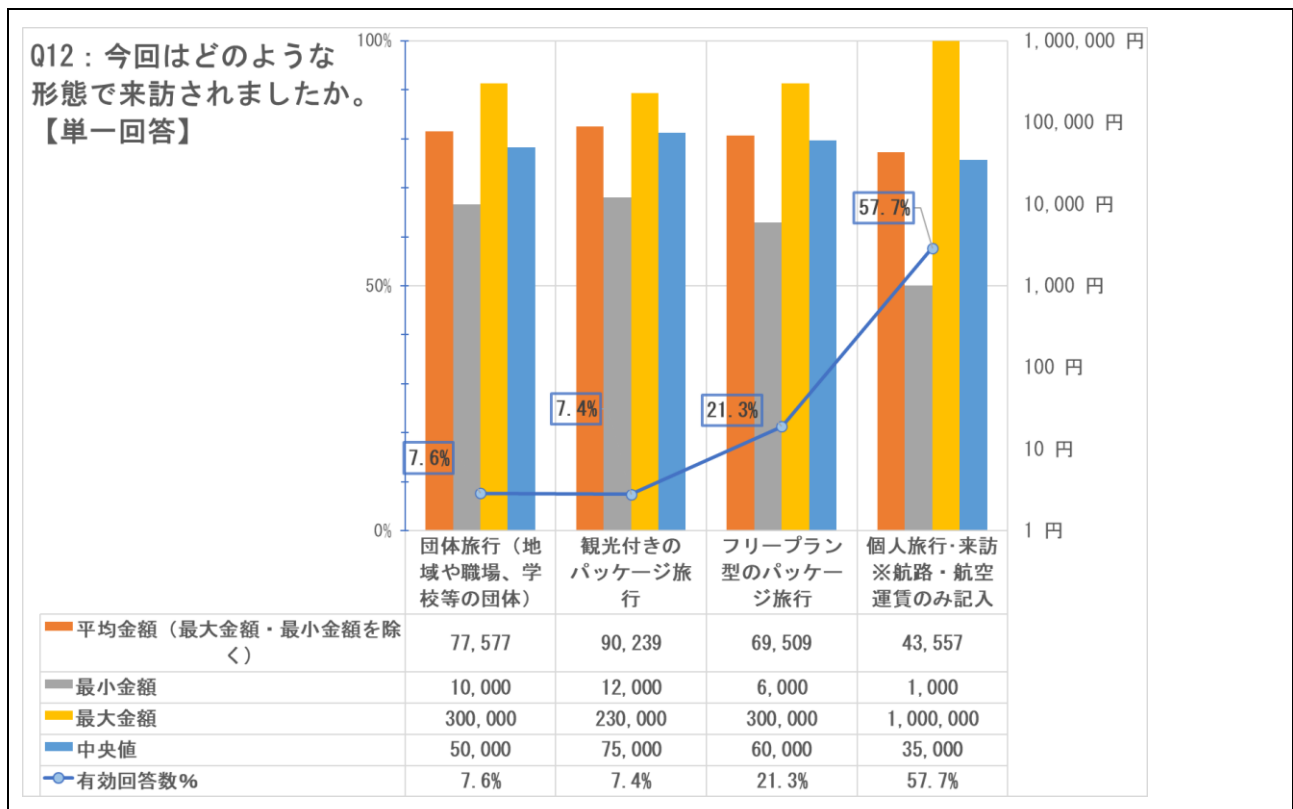
(Q12 今回はどのような形態で来訪されましたか。)

傾向は同じなので、H30(2018)とR1(2019)を取り上げる。

H30(2018)



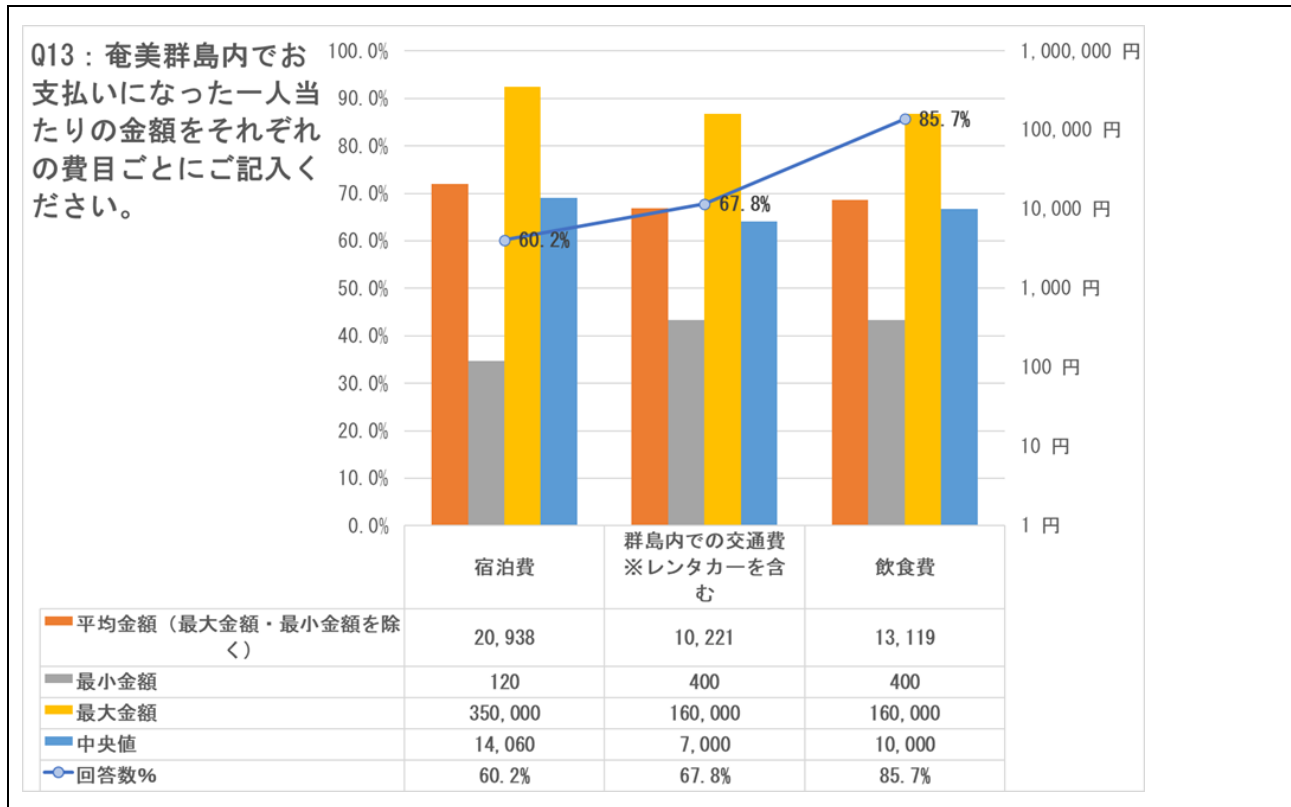
R1(2019)



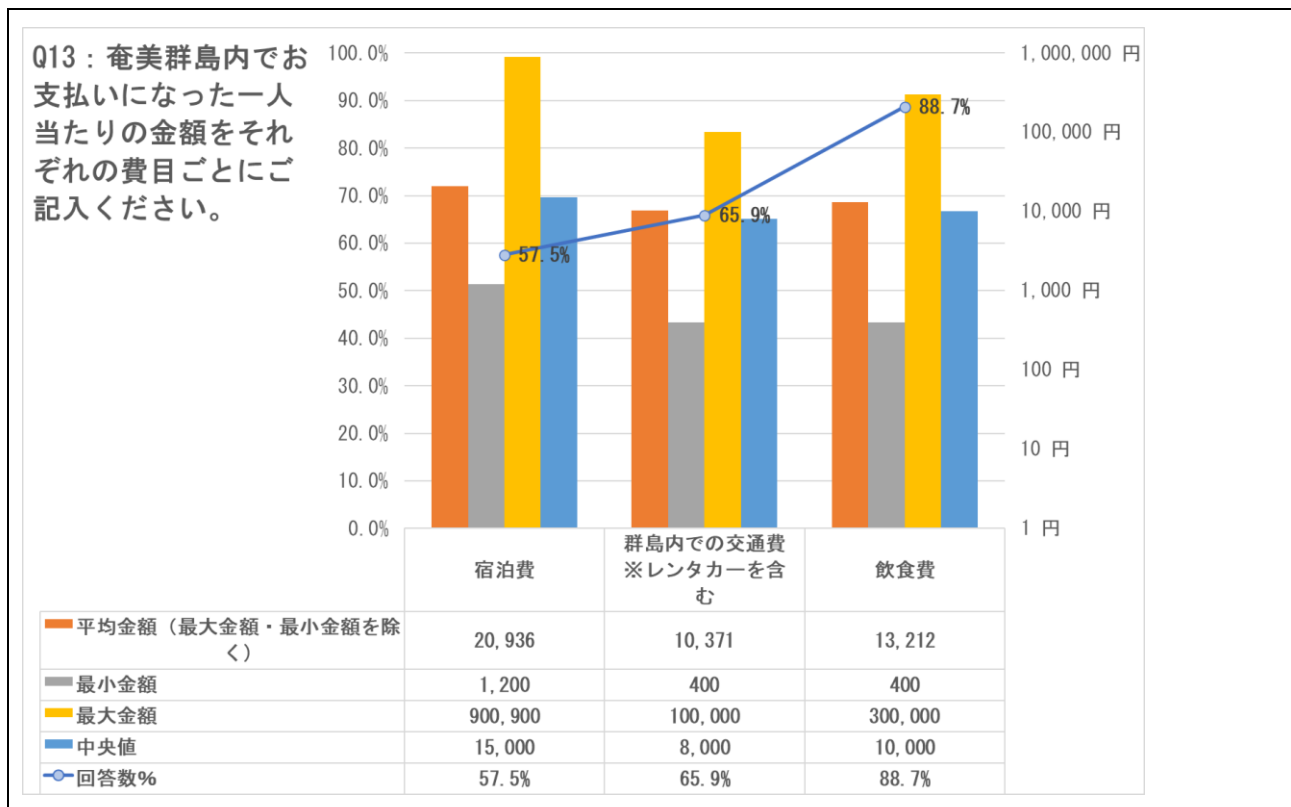
18. 滞在費用

(Q13 奄美群島内でお支払いになった一人当たりの金額をそれぞれの費目ごとにご記入ください。)

H30(2018)



R1(2019)



滞在費用は、中央値が、宿泊費で15000円程度、交通費8000円程度、飲食費10,000円程度となっている。しかし、人によってばらつきがある。宿泊費は、最大の回答が90万円となっている。

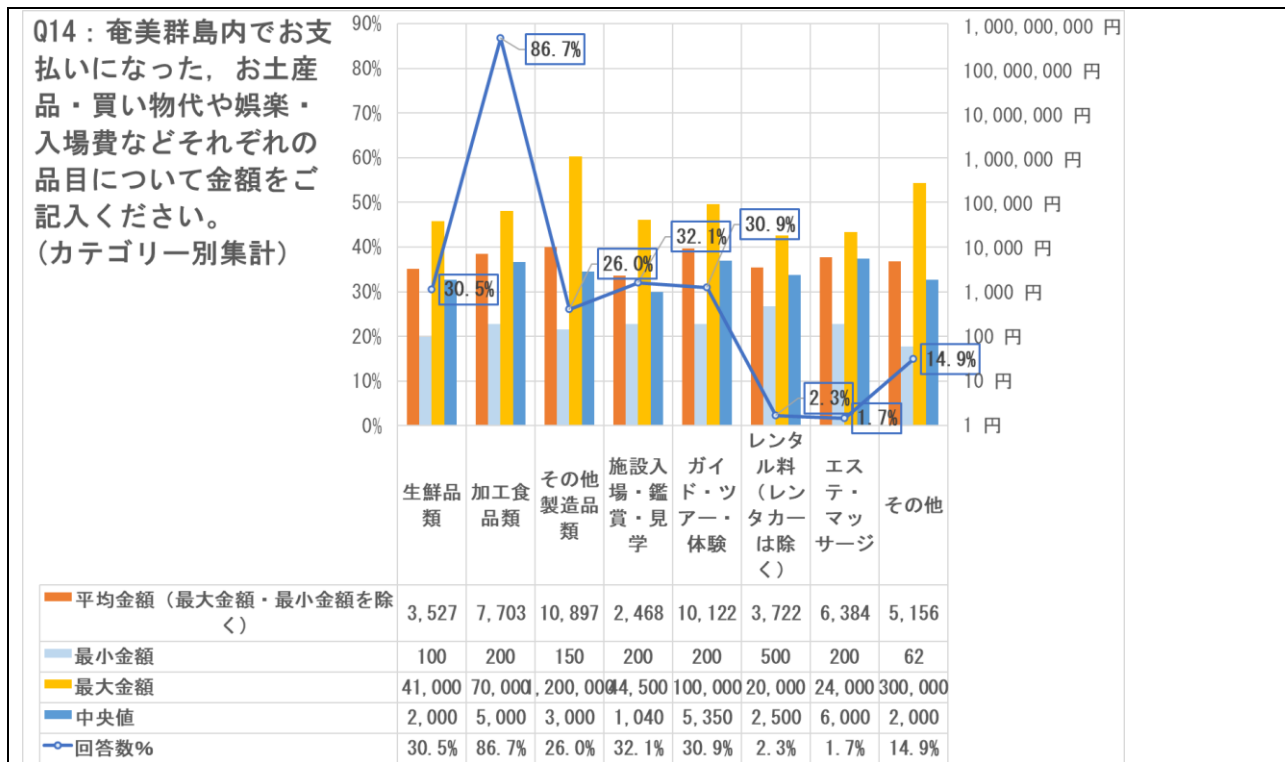
19. 活動・購買費用

(Q14 奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。

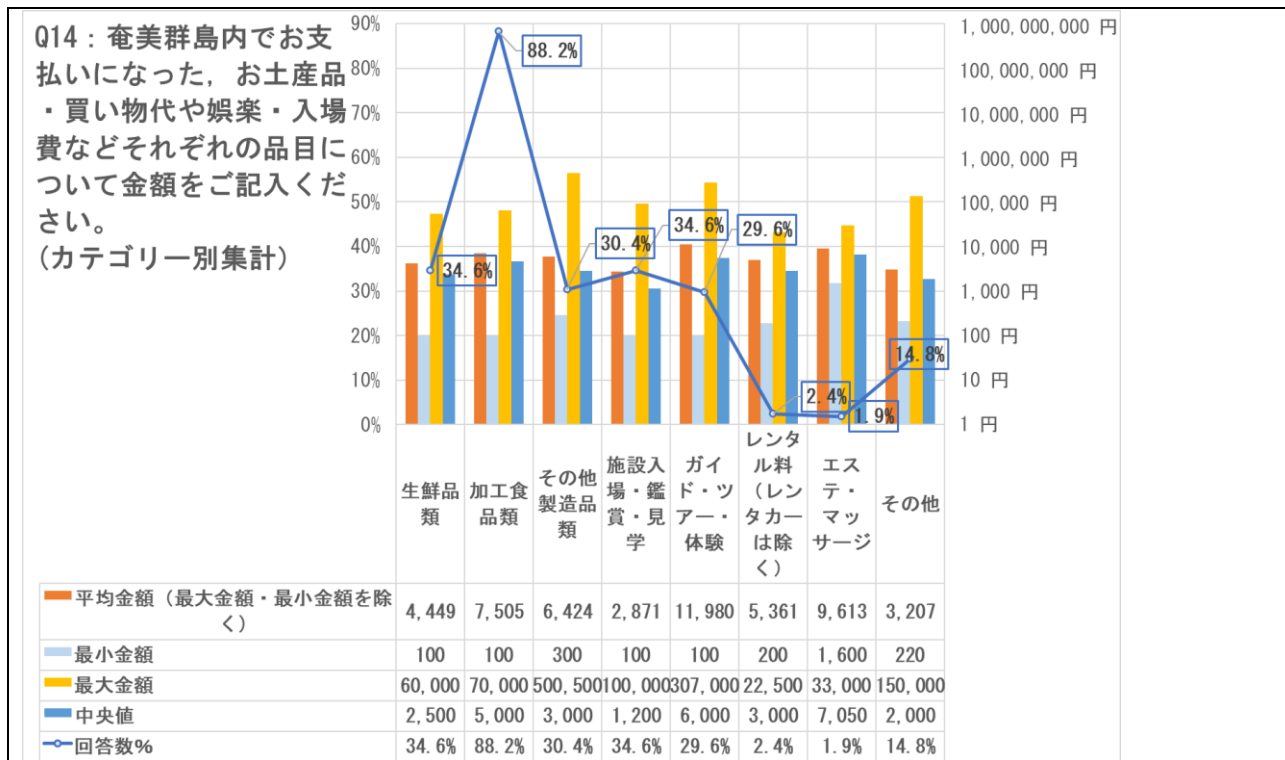
※集約集計 (カテゴリー別)

活動・購買費用については、カテゴリーでまとめた図を掲載する。

H30(2018)



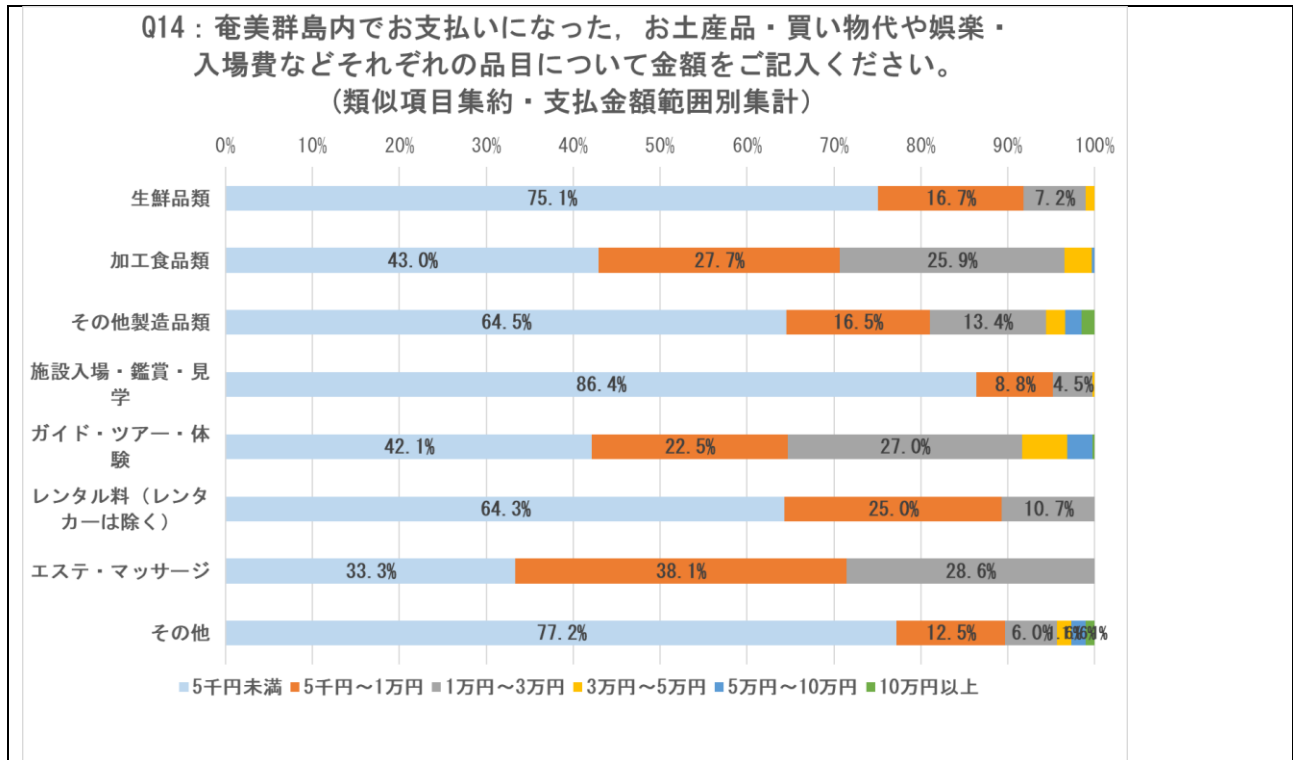
R1(2019)



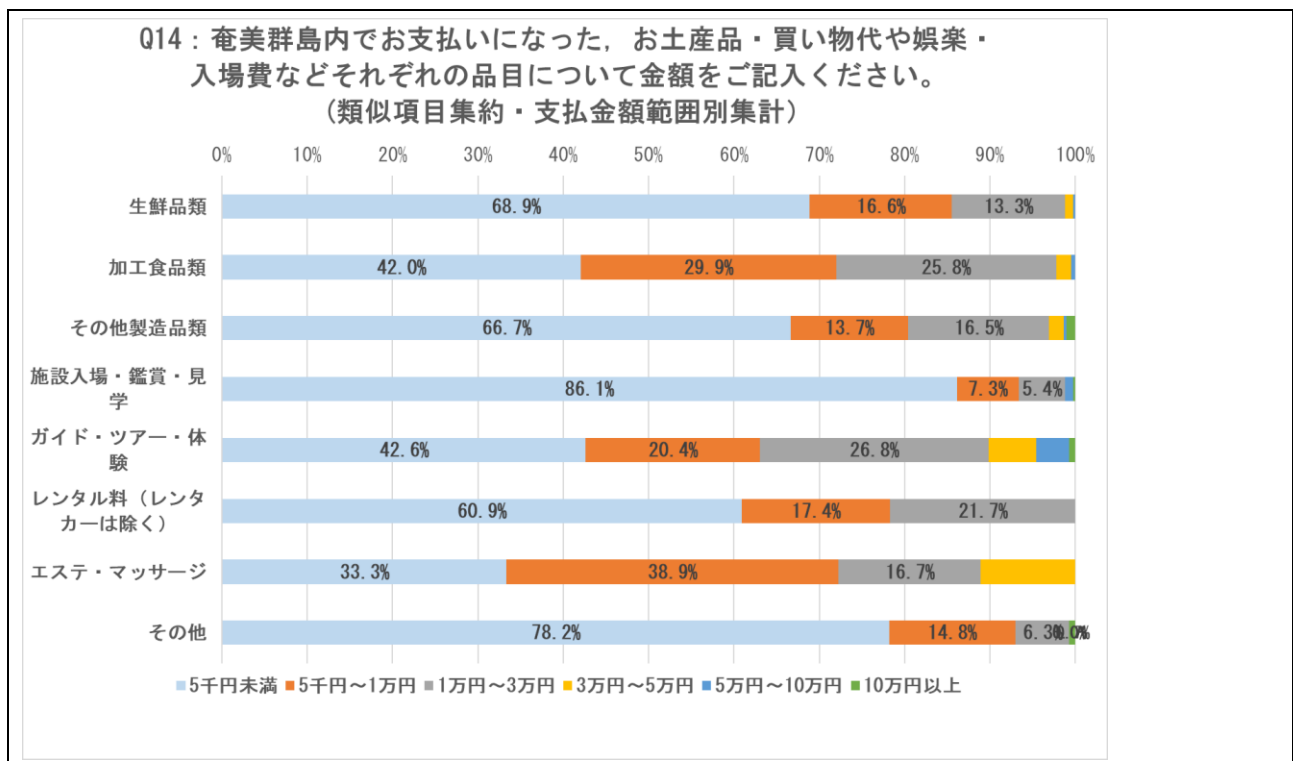
※集約集計（類似項目・支払金額範囲別）

さらに、カテゴリー別で支払金額範囲別の集計の図を掲載する。

H30(2018)



R1(2019)



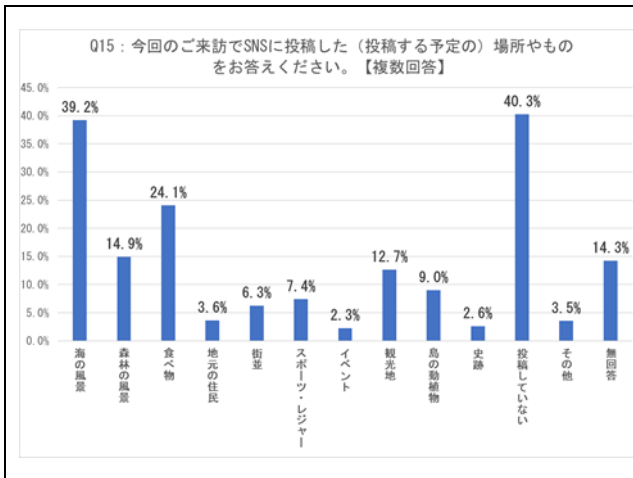
多くは、数千円規模の消費となっている。加工食品類は、1万円前後消費する方もかなりいることがわかる。

さらに、「ガイド・ツアー・体験」は、単価が高いので、別格と考えられる。また、エステ・マッサージについても、単価が高く、数万円のサービスニーズもある。

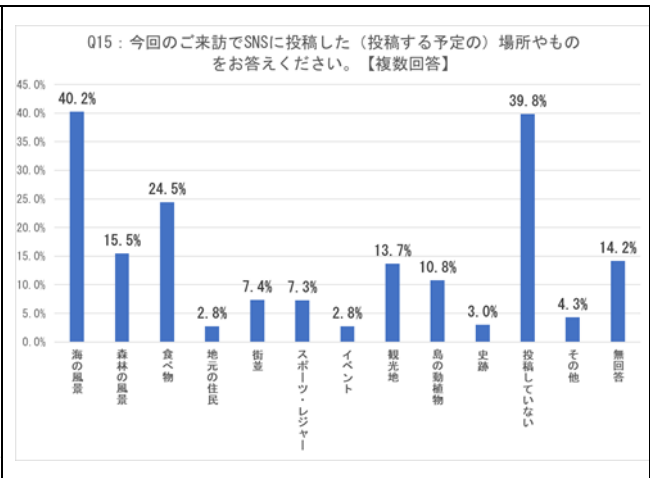
20. 情報発信

(Q15 今回のご来訪でSNSに投稿した(投稿する予定の)場所やものをお答えください。【複数回答】)

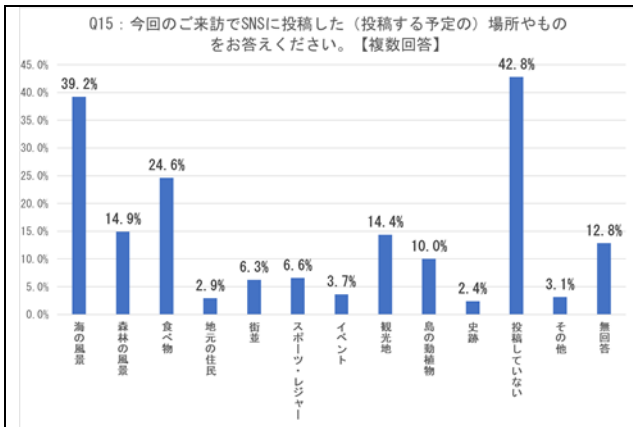
H29(2017)



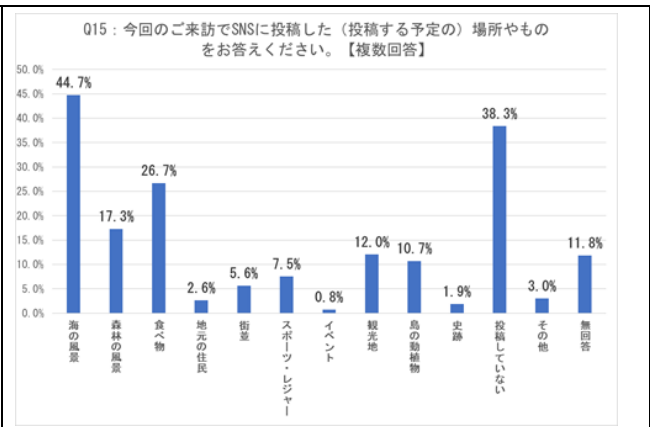
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



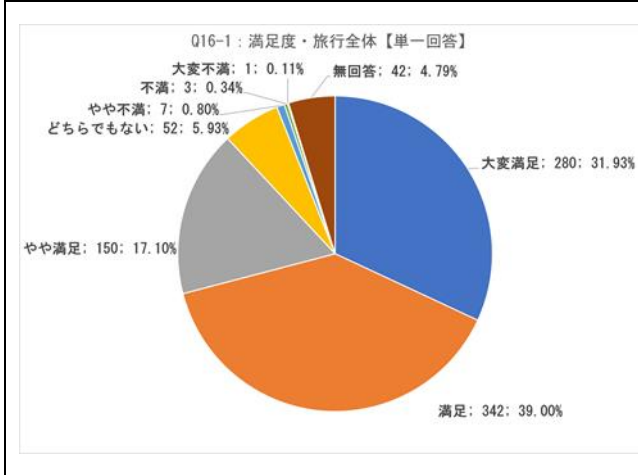
情報発信については、「投稿していない」が多い。投稿としては、海の風景、食べ物となっている。

21. 満足度

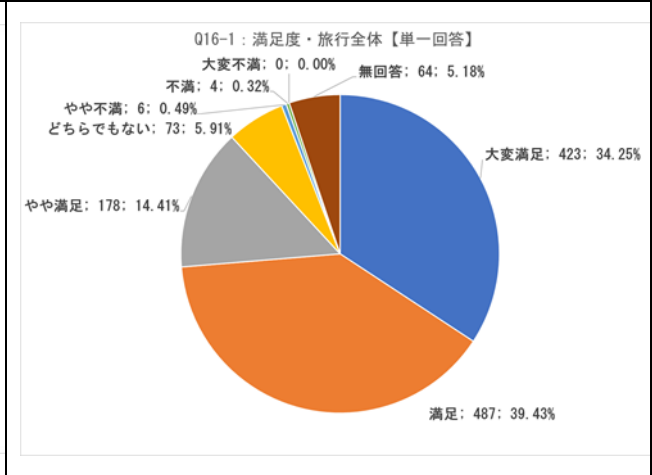
(Q16 今回のご来訪の満足度をお答えください。)

旅行全体

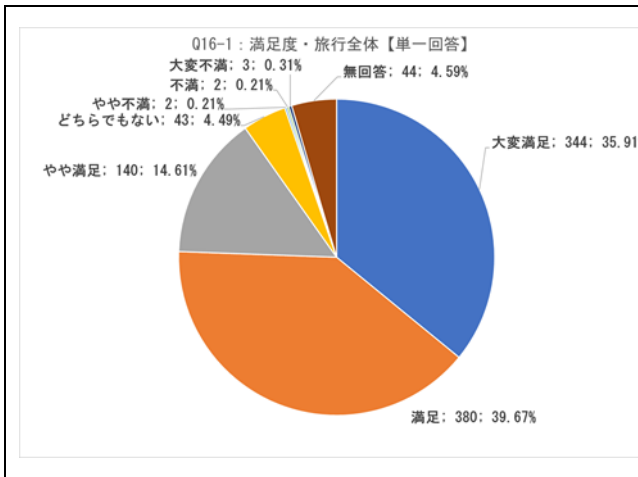
H29 (2017)



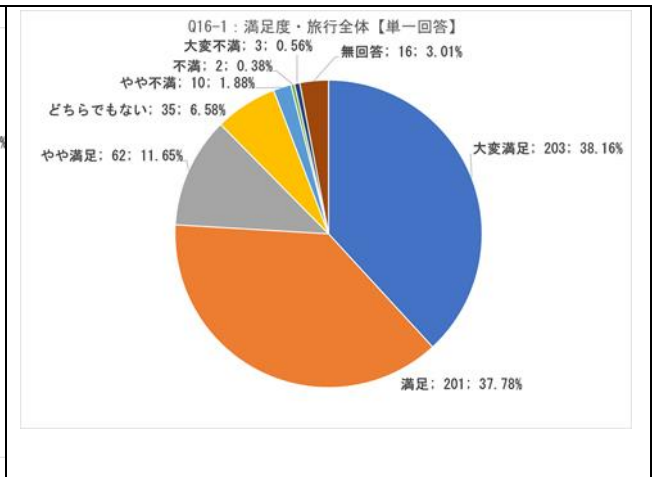
H30 (2018)



R1 (2019)



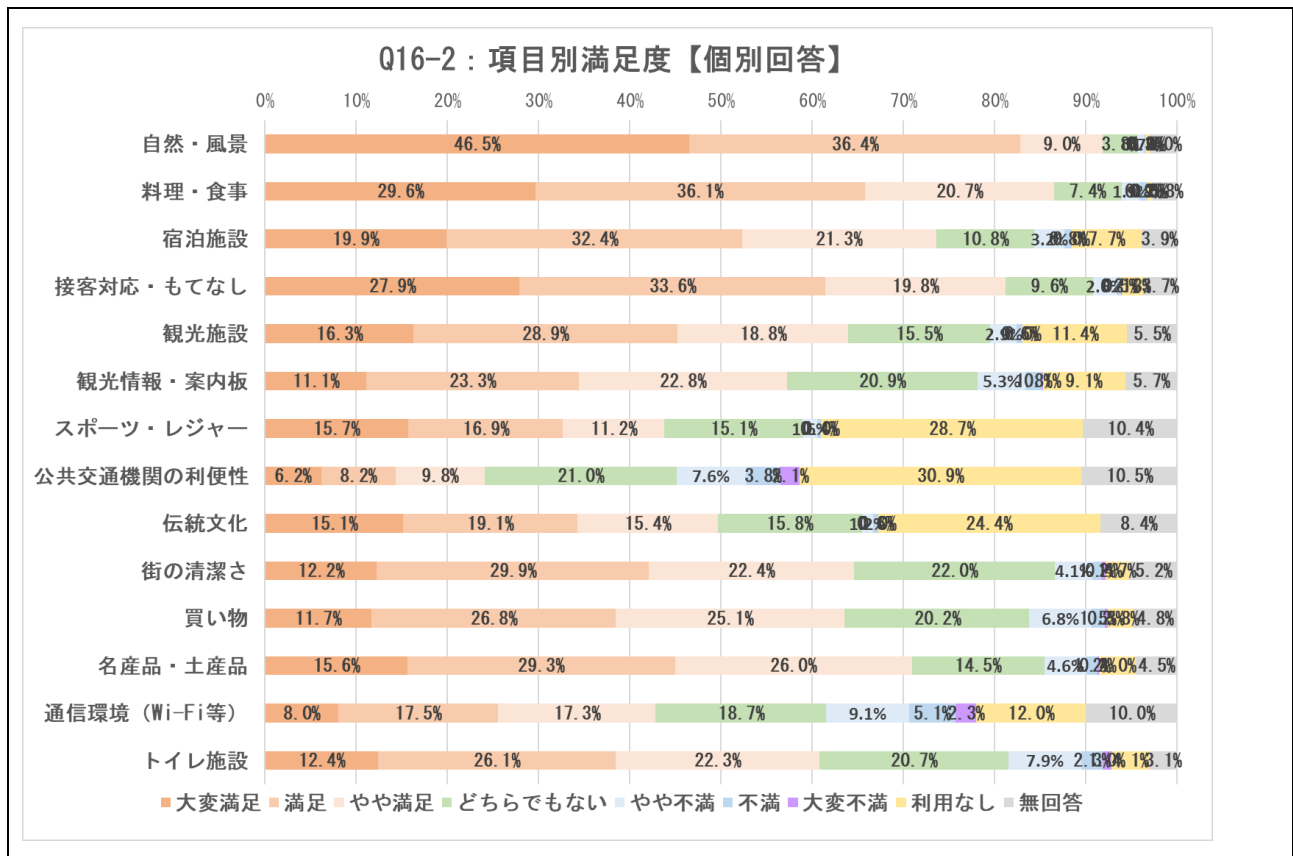
R2 (2020)



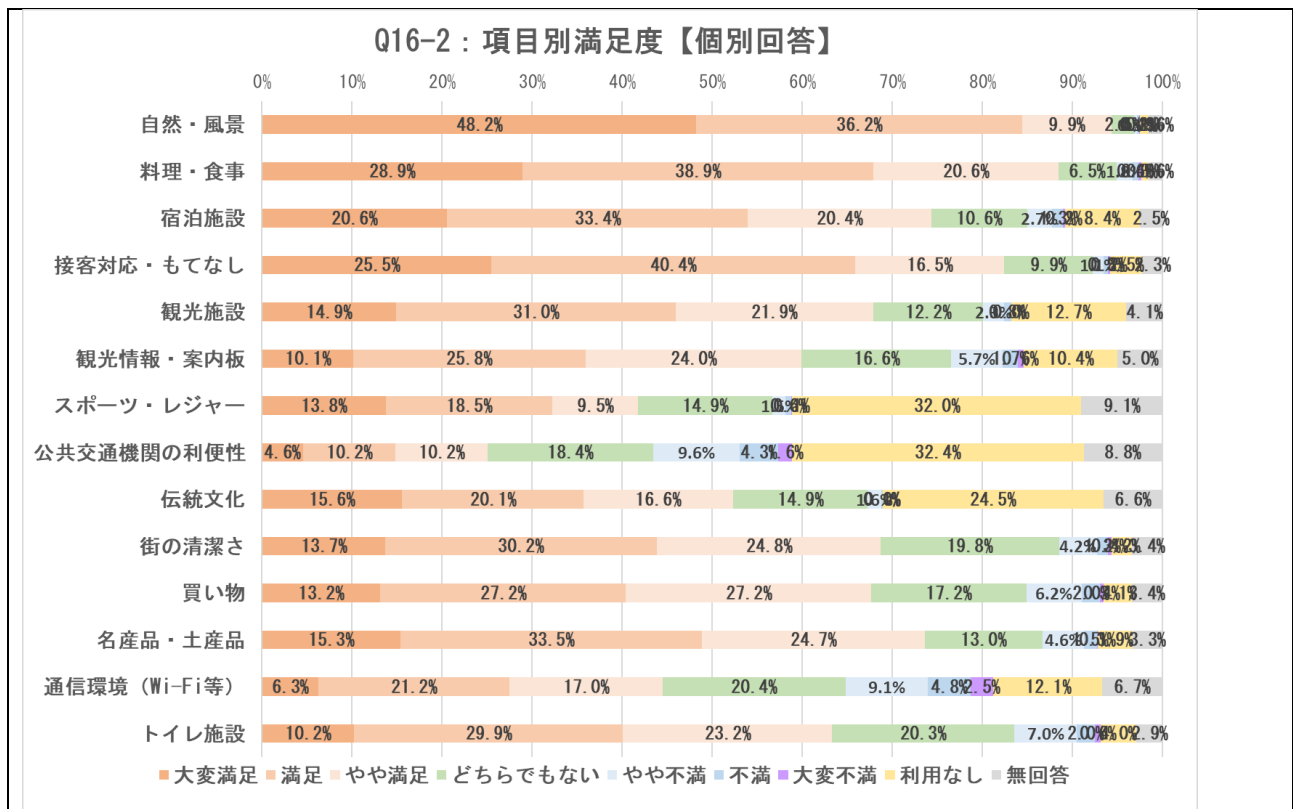
旅行全体について、奄美大島の全体の満足度は、極めて高いと言える。

項目別

H30(2018)



R1(2019)



奄美大島では、「自然・風景」や「料理・食事」への満足度は、非常に高い。「宿泊施設」や「接客対応・もてなし」も同様に高い。しかしながら、交通の利便性、通信環境 (Wi-Fi 等) は、不満が多い。

旅行全体および項目別を7段階評価（大変満足：7、満足：6、やや満足：5、どちらでもない：4、やや不満：3、不満：2、大変不満：1、利用なし：0）で、平均評価を求めると、次のようになった。

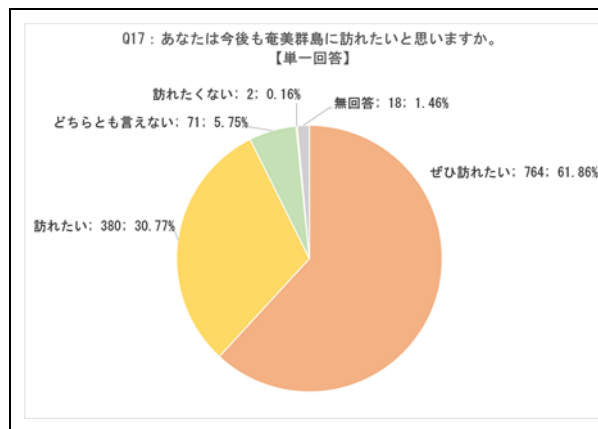
奄美大島 換算点数に基づく平均評価				
項目の満足度	2017年	2018年	2019年	2020年
0 旅行全体	5.99	6.06	6.10	6.03
1 自然・風景	6.16	6.25	6.26	6.25
2 料理・食事	5.81	5.81	5.81	5.74
3 宿泊施設	4.98	5.15	5.12	5.39
4 接客対応・もてなし	5.46	5.63	5.60	5.76
5 観光施設	4.58	4.80	4.77	4.86
6 観光情報・案内板	4.33	4.61	4.56	4.65
7 スポーツ・レジャー	3.51	3.72	3.52	3.86
8 公共交通機関の利便性	2.81	2.88	2.82	2.86
9 伝統文化	3.84	3.99	4.04	3.93
10 街の清潔さ	5.05	5.06	5.13	5.32
11 買い物	4.88	4.96	5.01	5.10
12 名産品・土産品	5.15	5.13	5.18	5.23
13 通信環境（Wi-Fi等）	3.61	4.03	4.04	4.41
14 トイレ施設	4.53	4.82	4.87	4.92

平均評価の低いのは、「公共交通機関の利便性」、「スポーツ・レジャー」、そして、「伝統文化」となっている。

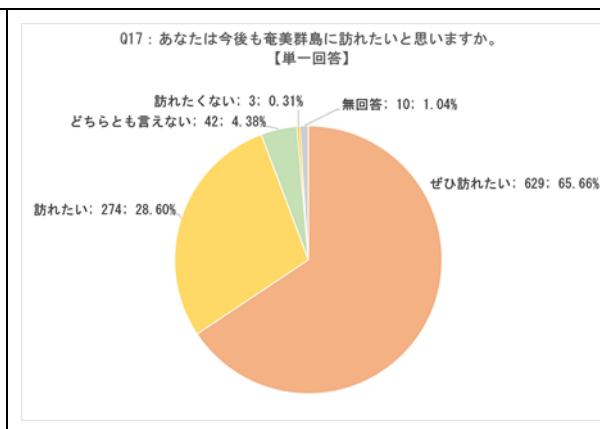
22. 再来訪意向

(Q17 あなたは今後も奄美群島に訪れたいと思いますか。)

H30(2018)

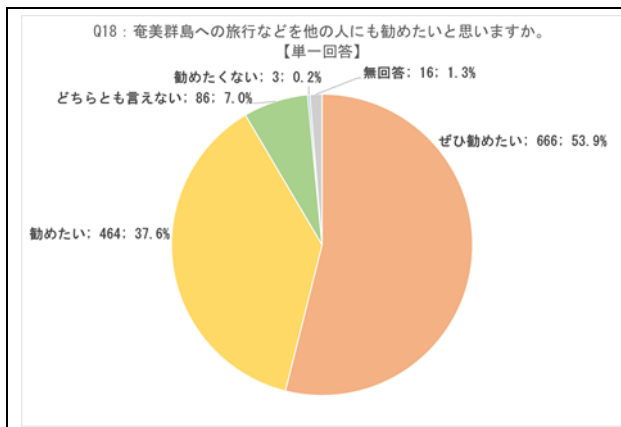


R1(2019)

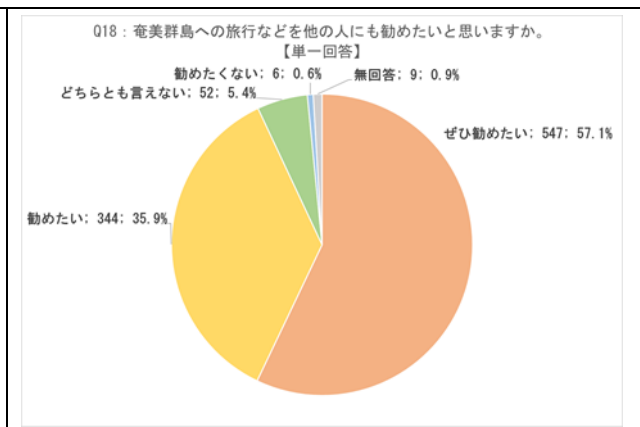


(Q18 奄美群島への旅行などを他の人にも勧めたいと思いますか。)

H30(2018)



R1(2019)



満足度や再来訪意向等は、極めて高い。

23. 再来訪意向

(Q19 来訪者の方⇒今回の来訪をとおして感じたご意見等がございましたらお聞かせください。

居住者の方⇒奄美群島の観光について、ご意見等がございましたらお聞かせください。【単一回答】)

自由記述のため、省略(データ参照)。なお、内容の参考となる属性や消費金額、満足度を併記した。

H29(2017) 回答数 672

H30(2018) 回答数 938

R1(2019) 回答数 735

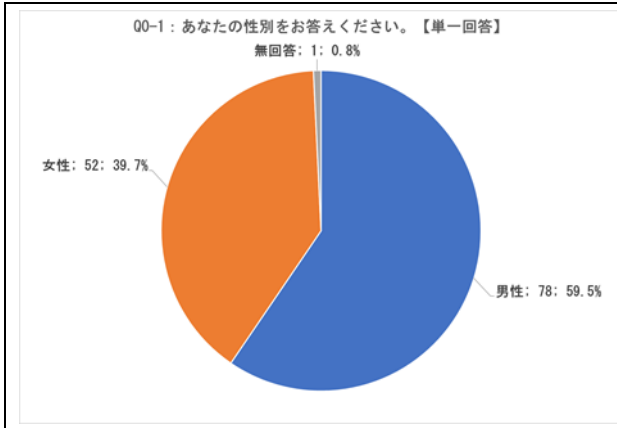
R2(2020) 回答数 394

2. 喜界島

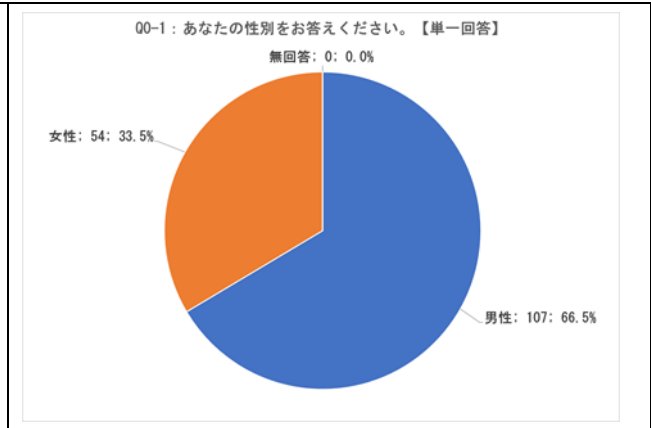
1. 回答者性別

(Q0-1 あなたの性別をお答えください。)

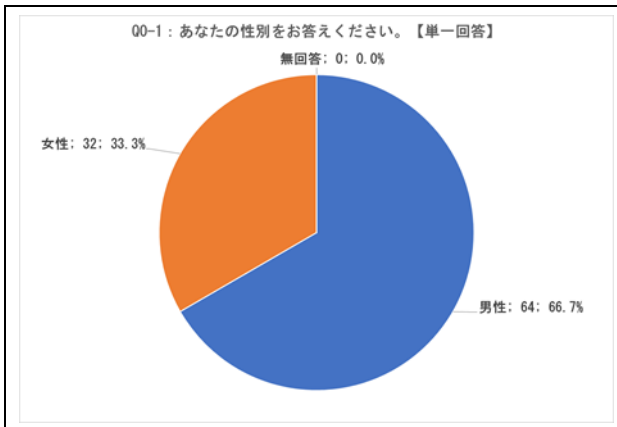
H29(2017)



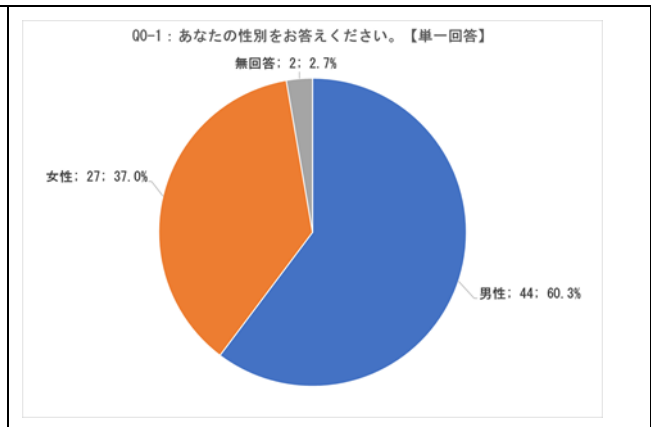
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)

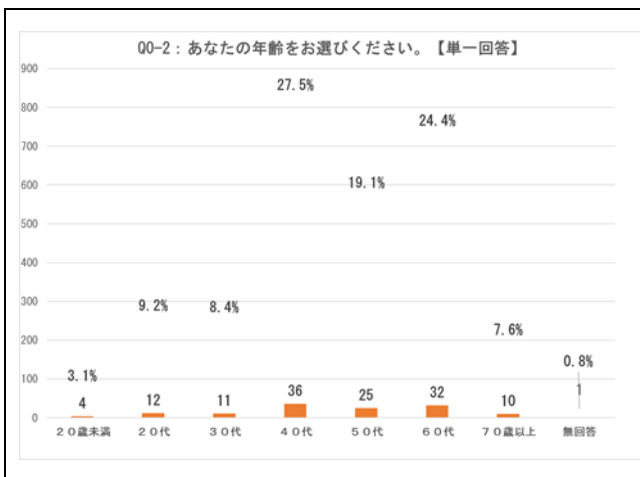


喜界島を来訪した回答者の性別では、女性よりも男性がかなり多い。

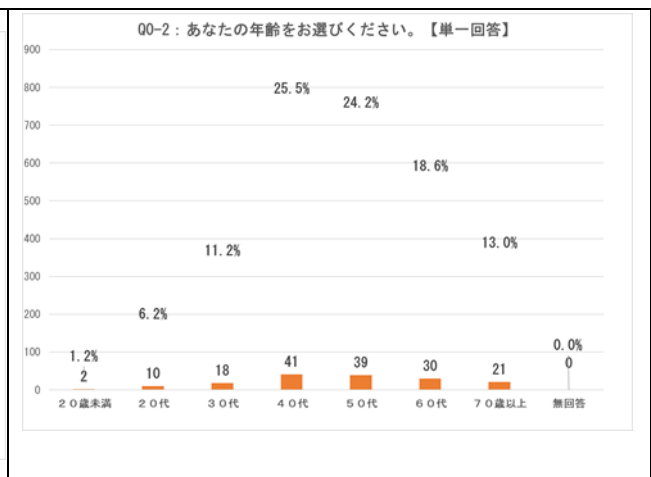
2. 回答者年齢

(Q0-2 あなたの年齢をお選びください。)

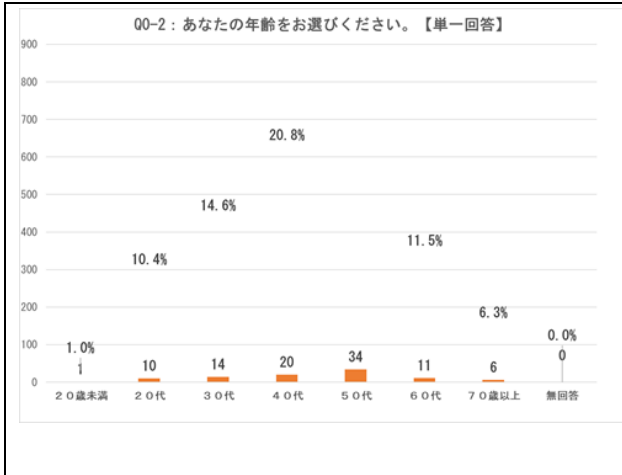
H29(2017)



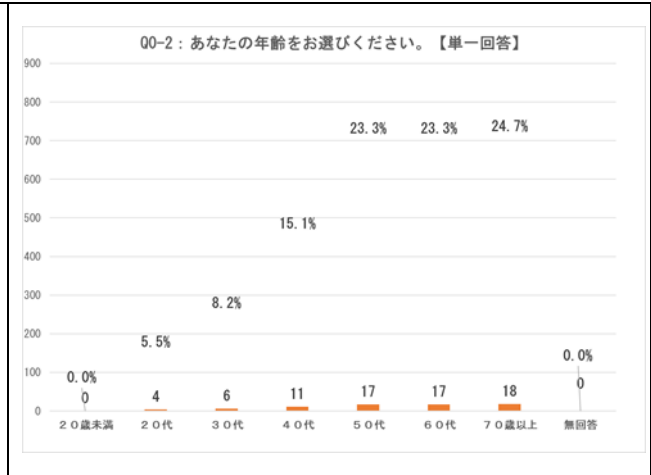
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

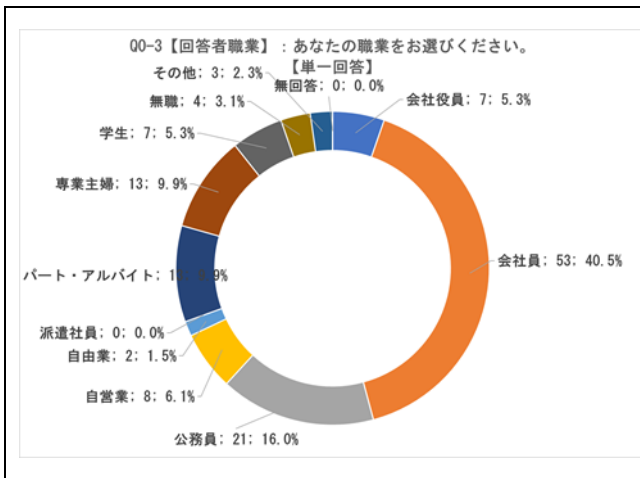


年齢については、40、50代が比較的多い。2020年に、70歳以上が一番多くなっているのは、コロナと関連あるかもしれない。

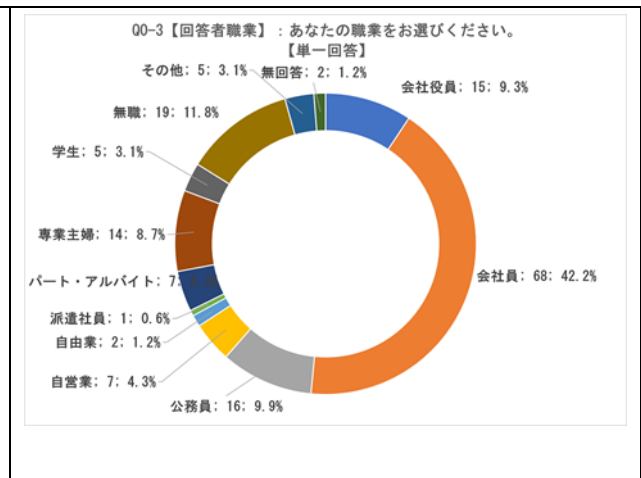
3. 回答者職業

(Q0-3 あなたの職業をお選びください。)

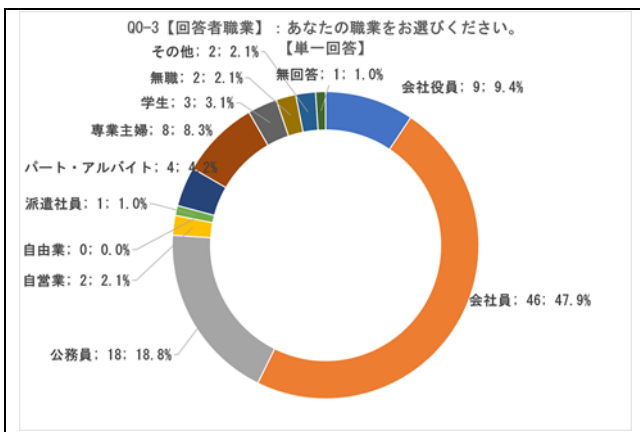
H29 (2017)



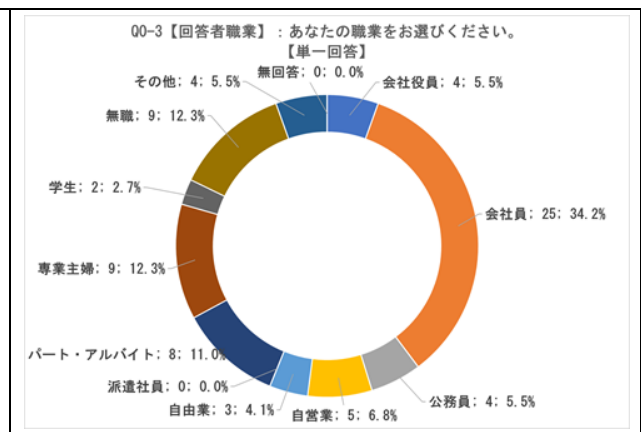
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

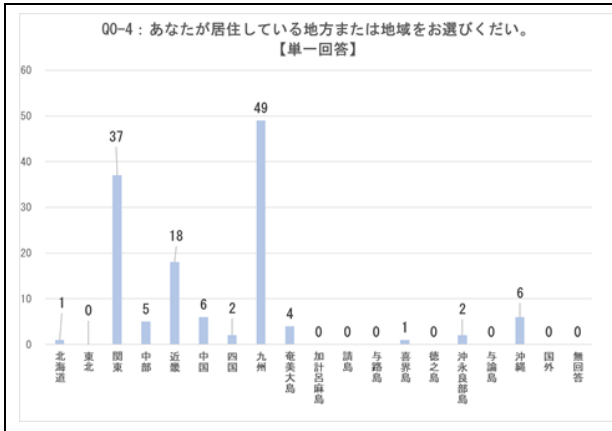


職業については、毎年ばらつきが大きい。会社員が常に多いが、年によっては公務員が多くなる年もある。コロナ禍で、R2(2020)年は高齢者と思われる無職が多い。

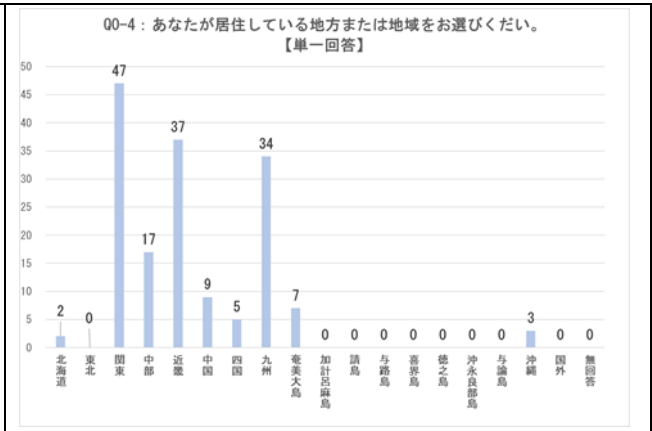
4. 回答者居住地

(Q0-4 あなたが居住している地方または地域をお選びください。)

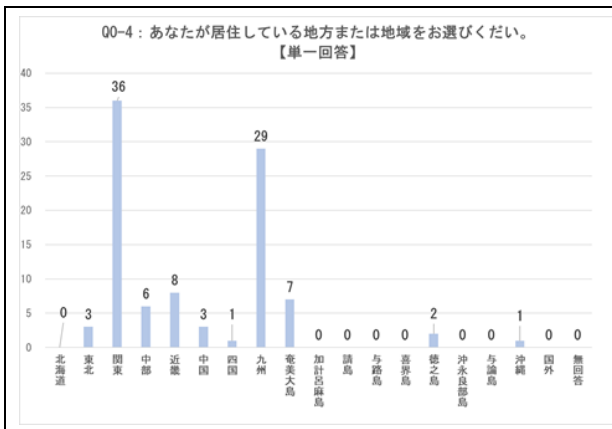
H29 (2017)



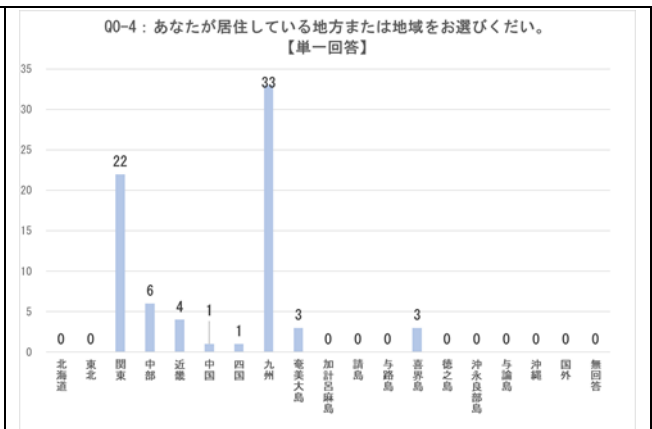
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

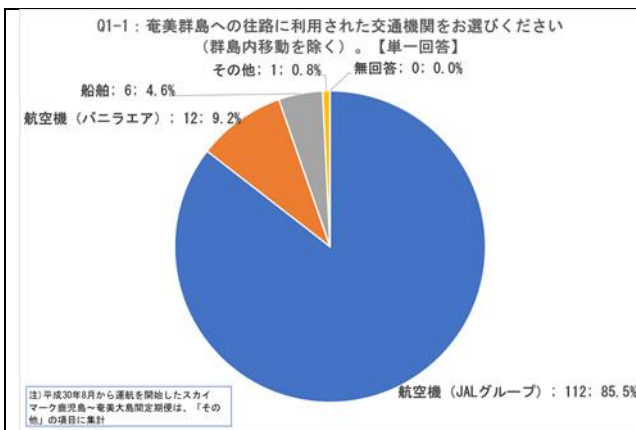


居住地については、関東および九州が多い。H30(2018)年には、近畿も多くなっており、イベント等の可能性がある。

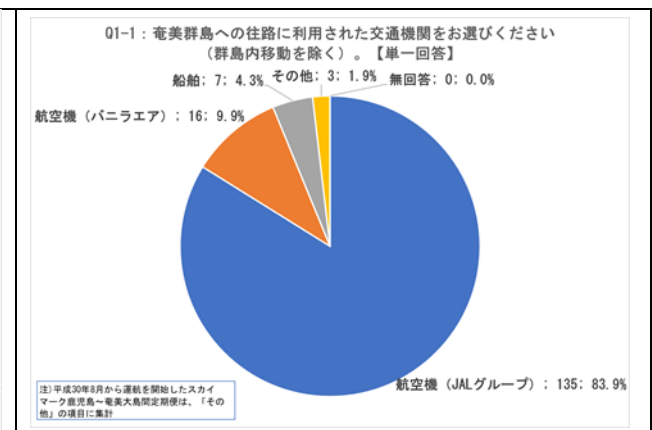
5. 往路交通手段

(Q1-1 奄美群島への往路に利用された交通機関をお選びください (群島内移動を除く。))

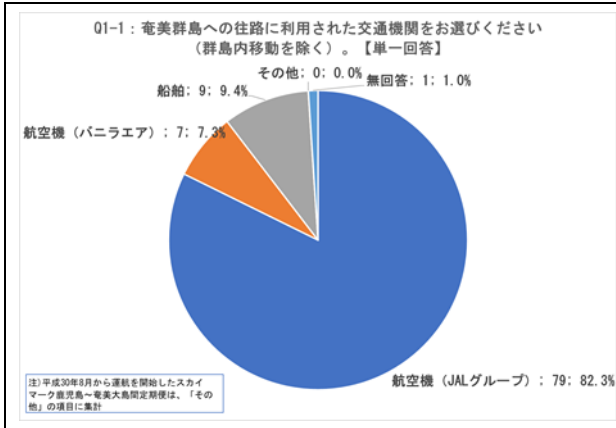
H29 (2017)



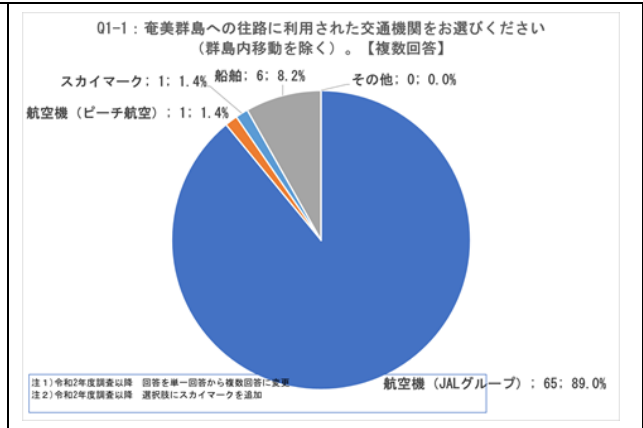
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

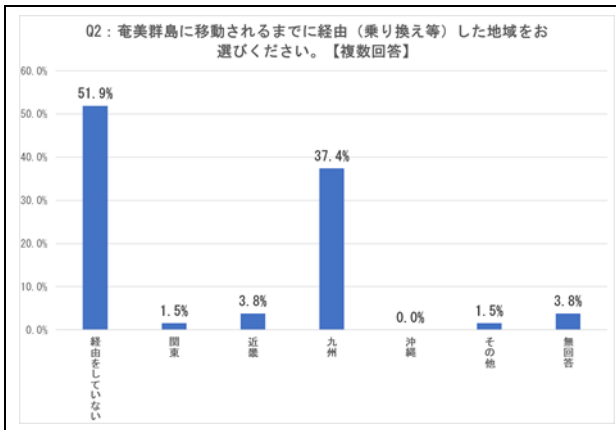


喜界島への交通手段としては、多くが飛行機であるが、船舶も年により割合が高くなる。なお、復路も同様である (図省略)。

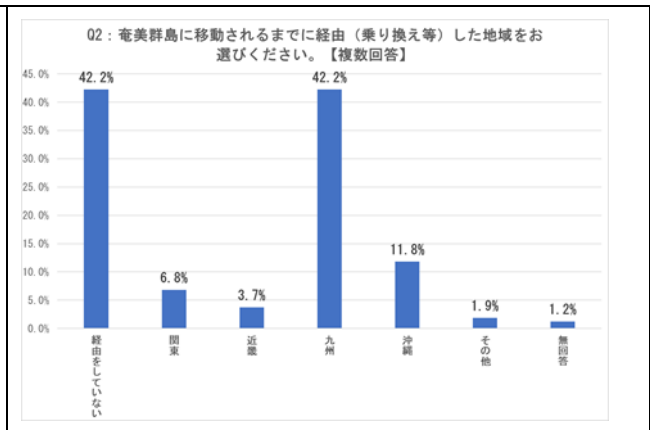
6. 渡航経由地

(Q2 奄美群島に移動されるまでに経由 (乗り換え等) した地域をお選びください。【複数回答】)

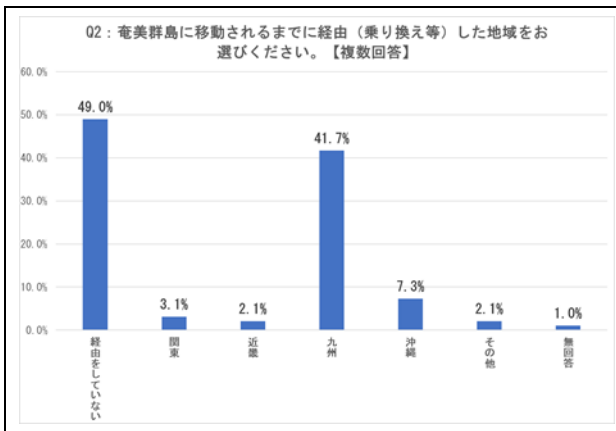
H29 (2017)



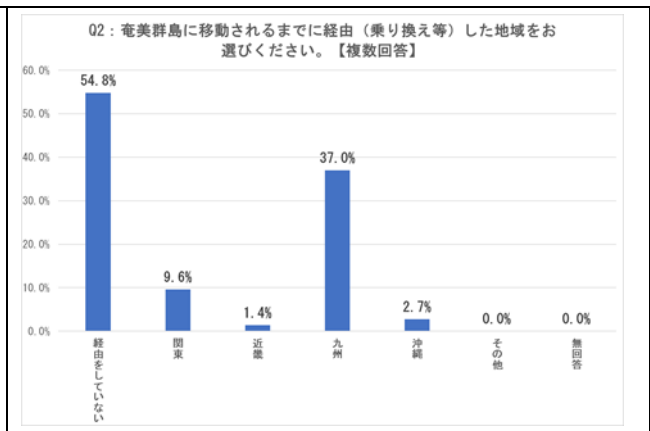
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

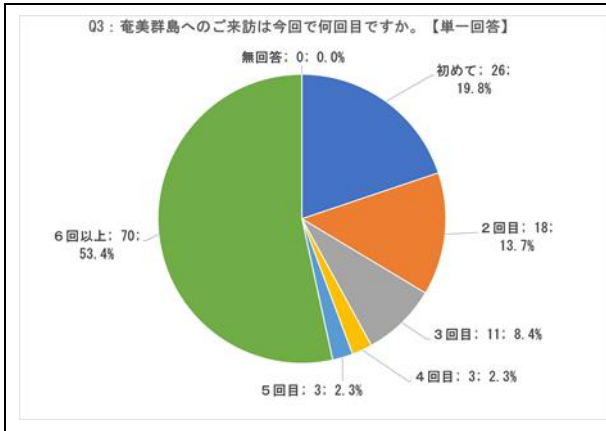


喜界島には、経由地で見ると、経由地なしが最も多く、九州経由が次になっている。沖縄経由も年によって若干ある。

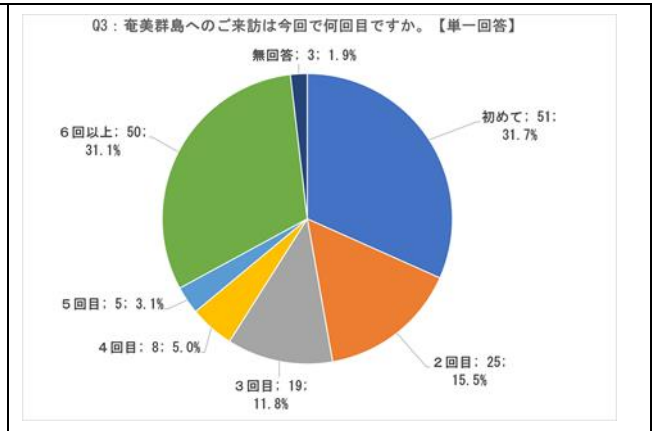
7. 来訪回数

(Q3 奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか。)

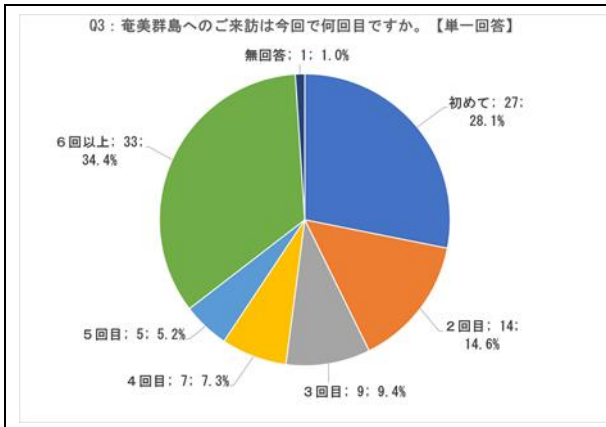
H29 (2017)



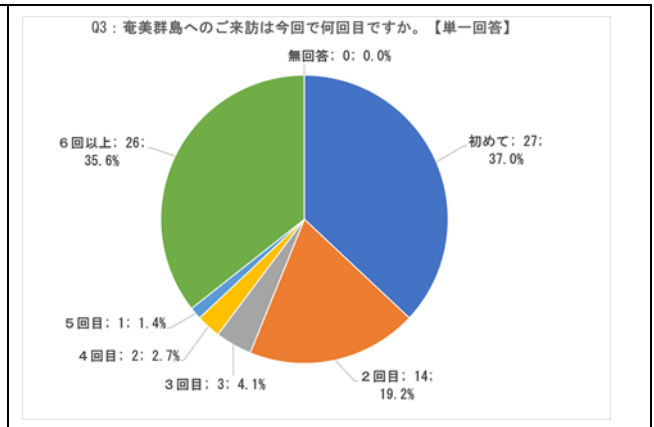
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

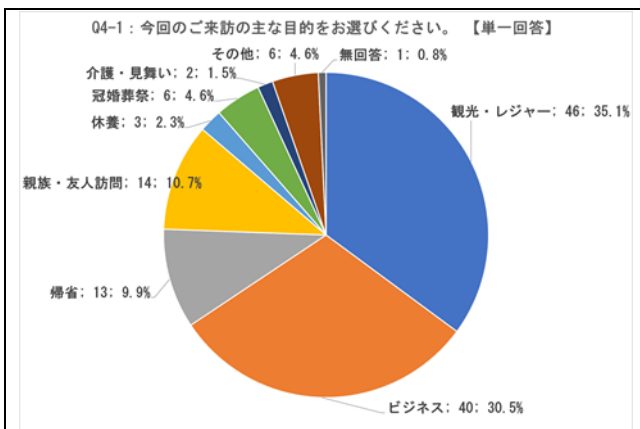


来訪回数としては、初めての人が3割程度である。2回目をいれて4割程度。特徴的なのは、6回以上の人が、4割程度になっていることである。

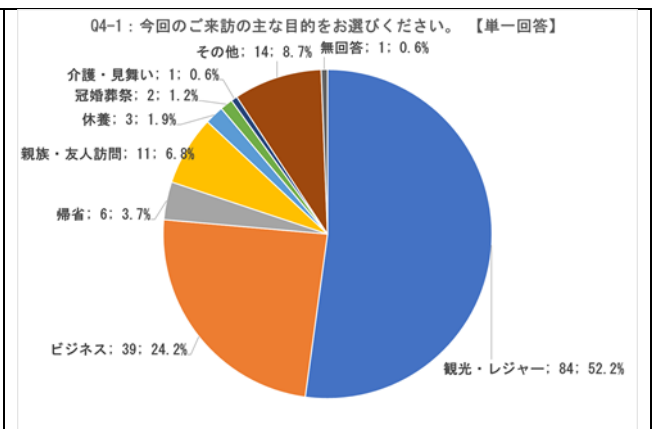
8. 来訪目的

(Q4-1 今回のご来訪の主な目的をお選びください。)

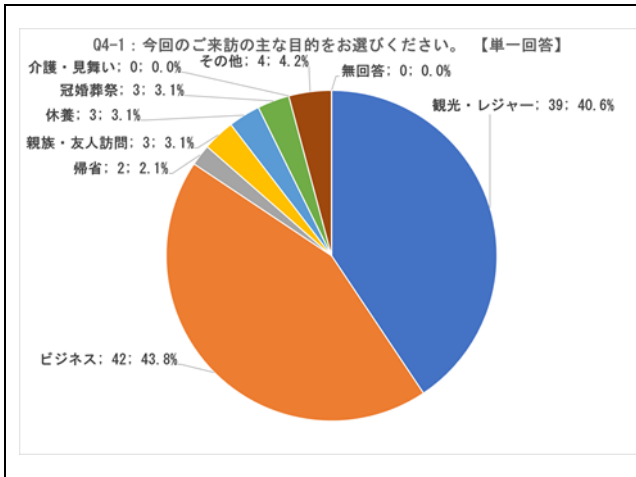
H29 (2017)



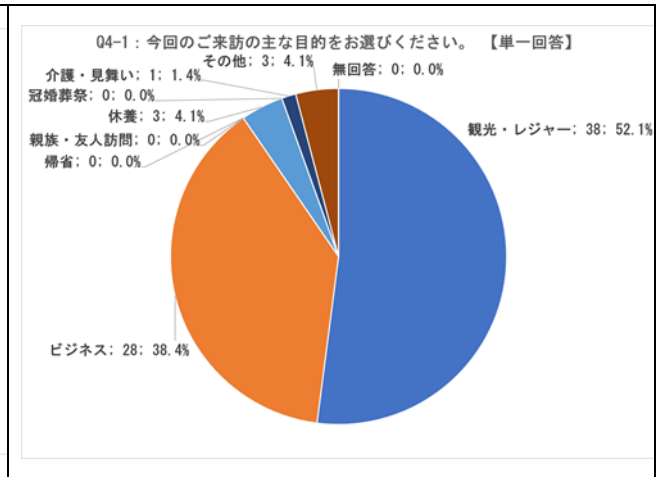
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

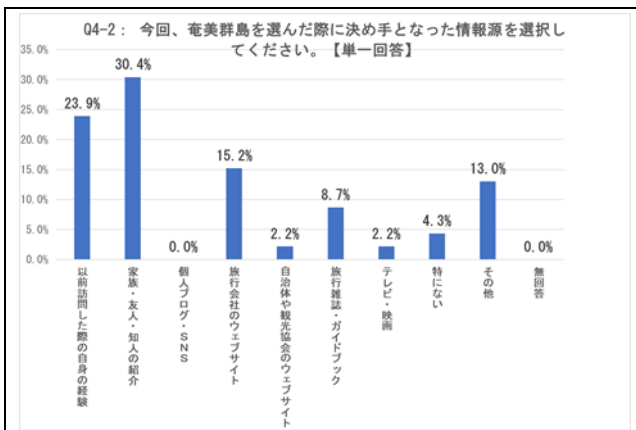


来訪目的は、「観光・レジャー」が多いが、同様に「ビジネス」も多い。

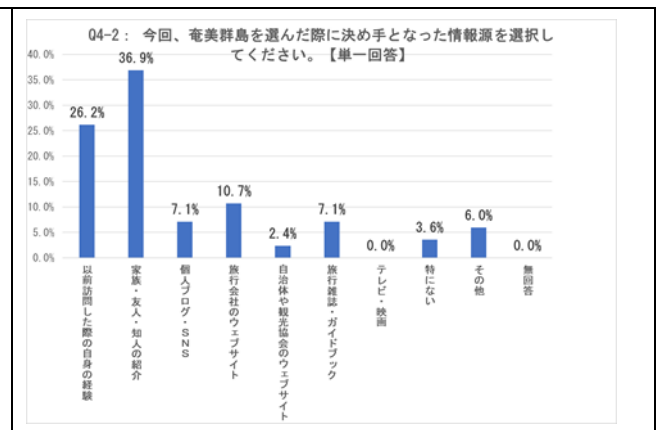
9. 情報源

(Q4-2 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください。)

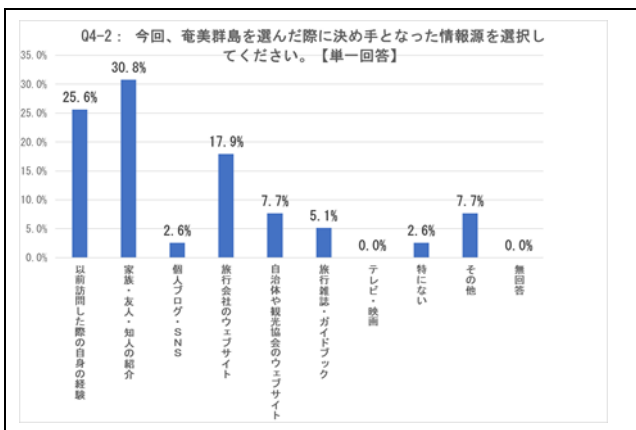
H29 (2017)



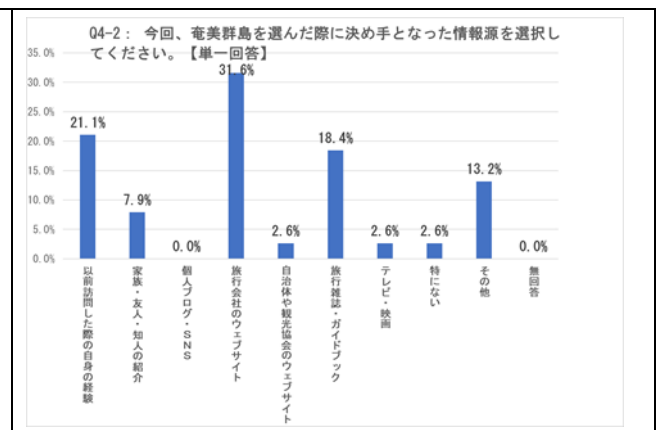
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

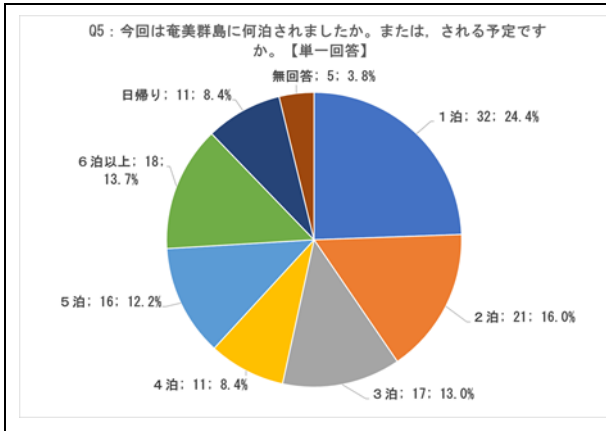


情報源としては、年によってばらつきがある。「家族・友人・知人の紹介」が多いが、「自身の経験」も多い。R2(2020)年、「旅行会社のウェブサイト」や「旅行雑誌・ガイドブック」の利用も多く、観光目的と考えられる。

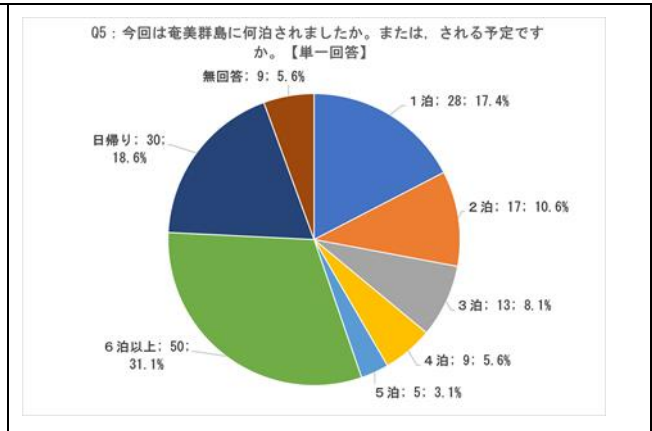
10. 宿泊日数

(Q5 今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか。)

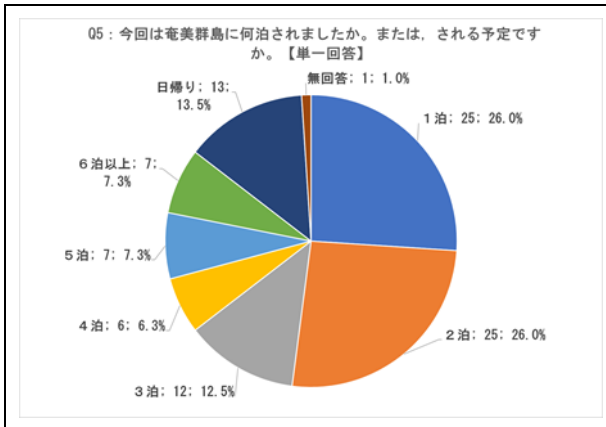
H29 (2017)



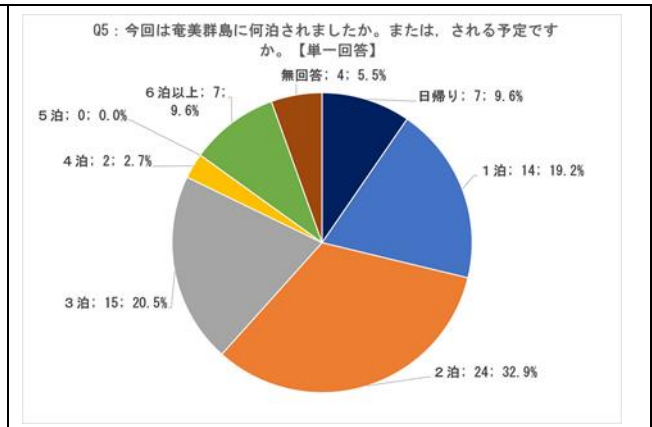
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

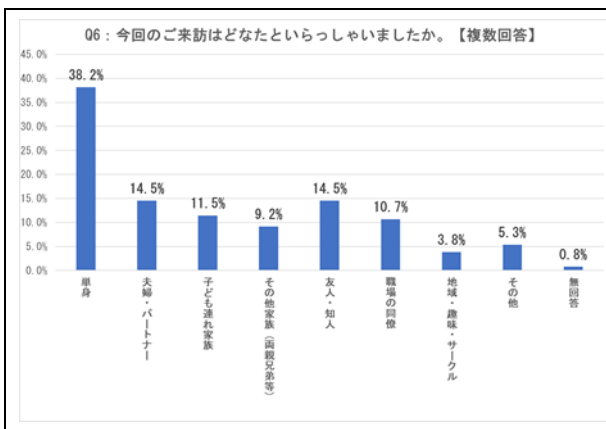


宿泊数については、まちまちである。4泊までは、それぞれ一定数ある。それ以上の長期滞在および日帰りは、ビジネスかもしれない。

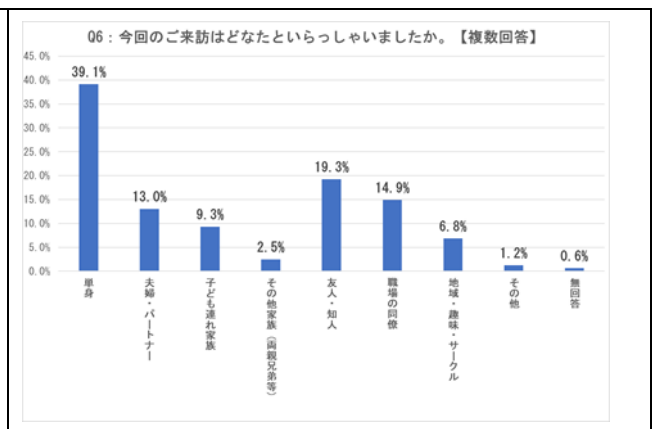
11. 同行者属性

(Q6 今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか。【複数回答】)

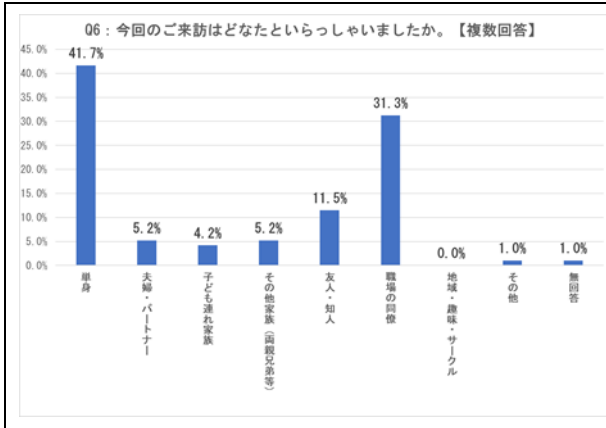
H29 (2017)



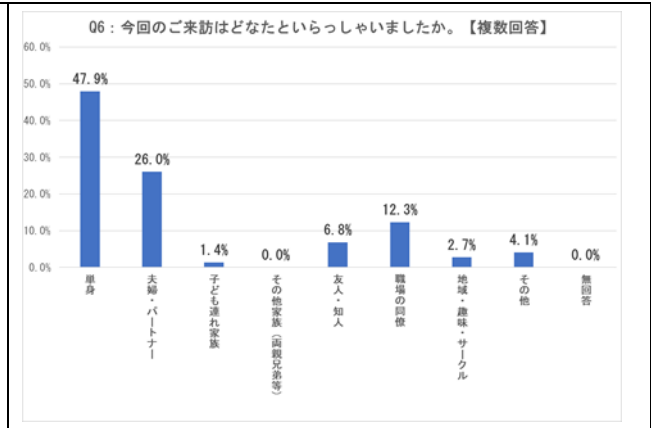
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

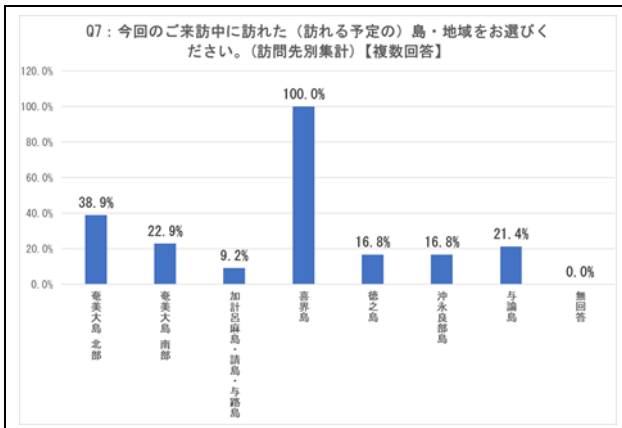


同行者属性については、「単身」が最も多く、「夫婦・パートナー」、「友人・知人」も一定程度ある。また、ビジネスと考えられる「職場の同僚」も多い。

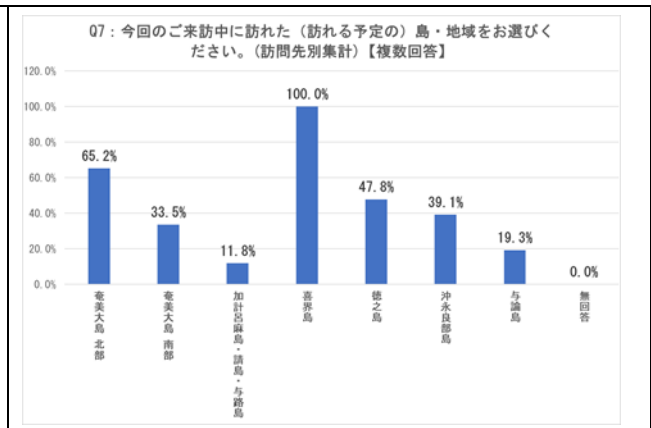
12. 群島内訪問先

(Q7 今回のご来訪中に訪れた (訪れる予定の) 島・地域をお選びください。【複数回答】)

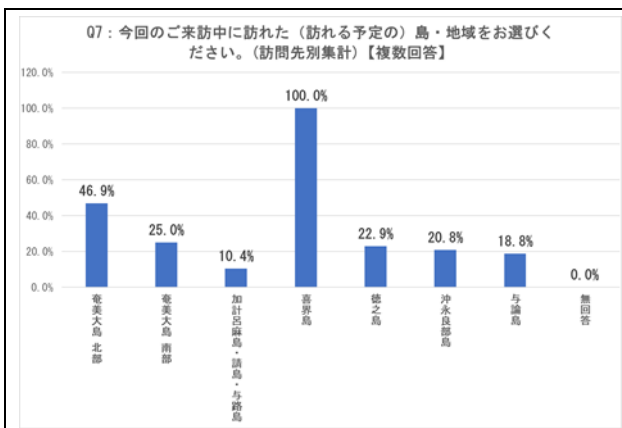
H29 (2017)



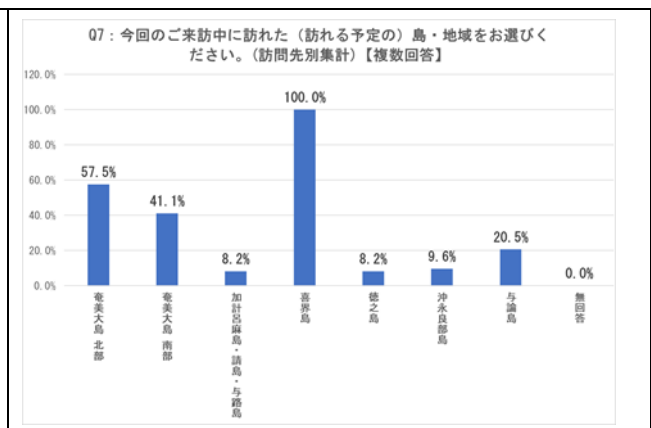
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

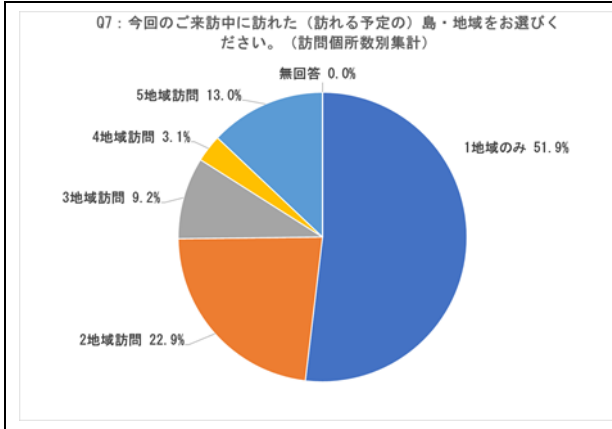


群島内訪問先としては、喜界島に加え、奄美大島にも宿泊していることが伺われる。

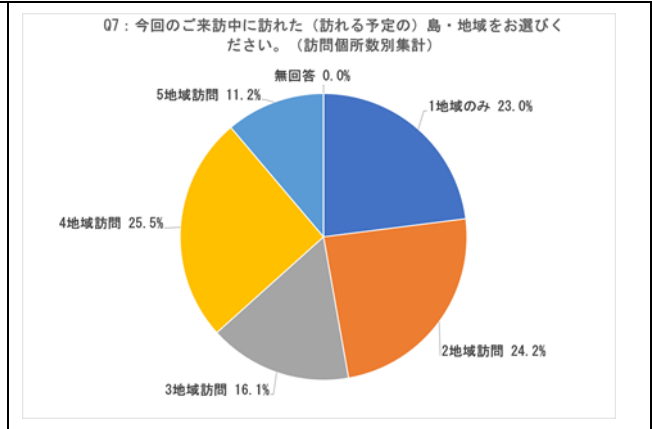
13. 訪問箇所数

(Q7 今回のご来訪中に訪れた(訪れる予定の)島・地域をお選びください。)

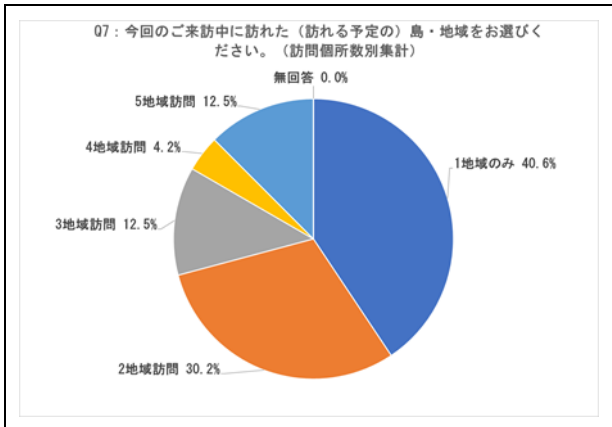
H29(2017)



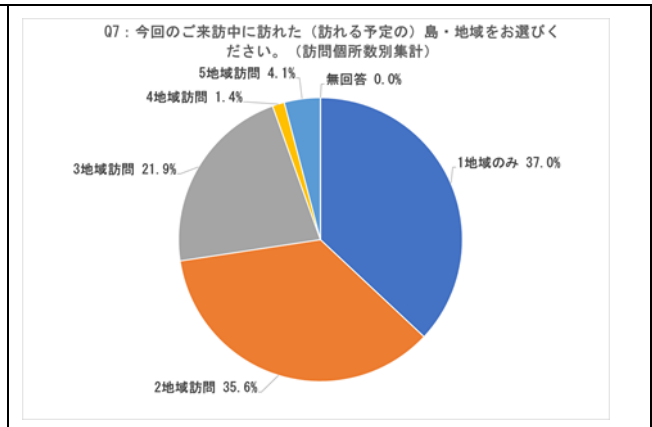
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



訪問箇所数としては、喜界島だけの1地域が一番多いが、複数地域の割合も多い。

14. 印象場所、印象特産物・料理等

(Q8 今回の来訪で最も印象に残った場所(観光地等)を3つお答えください。)

(Q9 今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください。)

Q8

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	スギラビーチ	29	22.14%
2	さとうきびの一本道	12	9.16%
3	ハワイビーチ	11	8.40%
4	昇竜洞	7	5.34%
5	ガジュマル	4	3.05%

Q9

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	鶏飯	35	26.72%
2	黒糖	26	19.85%
3	黒糖焼酎	24	18.32%
4	胡麻	16	12.21%
5	油そうめん	13	9.92%

H30(2018)	複数回答（記述回答）	数	%
1	スギラビーチ	25	15.53%
2	さとうきびの一本道	13	8.07%
3	あやまる岬	11	6.83%
4	喜界島空港	10	6.21%
5	海の景色	9	5.59%

H30(2018)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	56	34.78%
2	黒糖焼酎	34	21.12%
3	ヤギ料理	24	14.91%
4	黒糖	22	13.66%
5	油そうめん	19	11.80%

R1(2109)	複数回答（記述回答）	数	%
1	スギラビーチ	19	19.79%
2	さとうきびの一本道	7	7.29%
3	ハートロック	6	6.25%
4	あやまる岬	5	5.21%
5	ハワイビーチ	5	5.21%

R1(2109)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	34	35.42%
2	ヤギ料理	18	18.75%
3	黒糖焼酎	15	15.63%
4	黒糖	11	11.46%
5	油そうめん	8	8.33%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	スギラビーチ	13	17.81%
2	さとうきびの一本道	9	12.33%
3	あやまる岬	6	8.22%
4	ガジュマル	5	6.85%
5	サンゴ	5	6.85%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	20	27.40%
2	胡麻	12	16.44%
3	黒糖焼酎	11	15.07%
4	黒糖	9	12.33%
5	ヤギ料理	9	12.33%

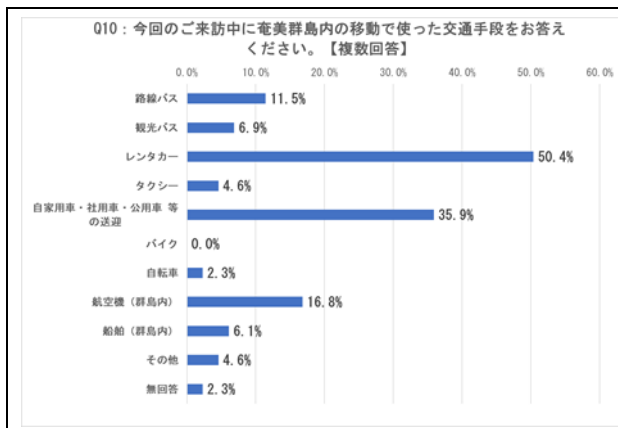
印象に残った場所としては、喜界島としては、スギラビーチ、さとうきびの一本道が人気といえる。それ以外では、ハワイビーチがある。島外のあやまる岬他があがっている。

印象に残った特産物・料理等としては、奄美に共通のものが多いが、鶏飯、黒糖焼酎、黒糖は定番となっている。喜界島としては、ヤギ料理や胡麻があがっている。

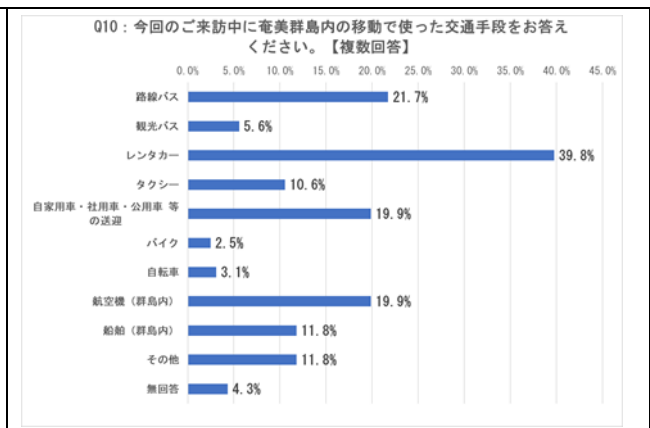
15. 群島内交通手段

(Q10 今回のご来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください。【複数回答】)

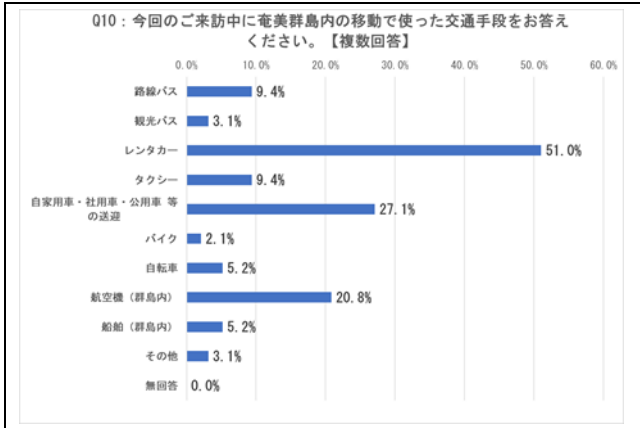
H29(2017)



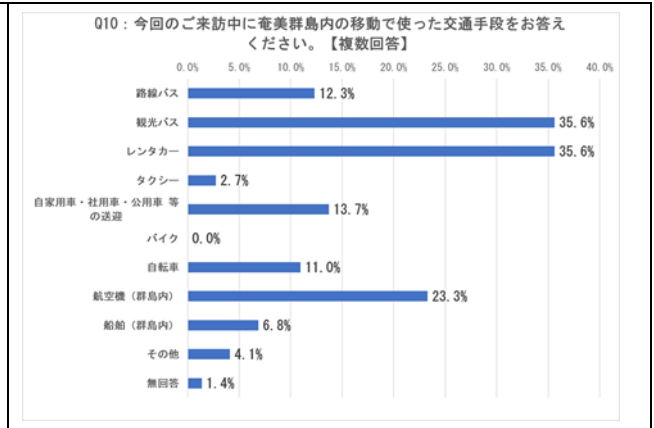
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



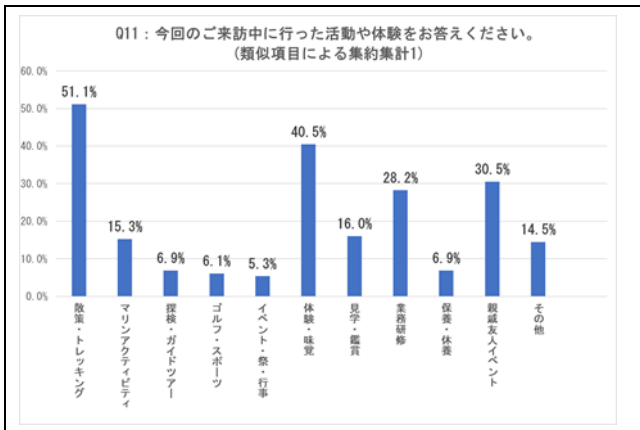
群島内交通手段としては、もちろんレンタカーが多いが、自家用車・社用車・公用車等も多い。またR2(2020)年では、観光バス利用者が増えている。

16. 活動・体験

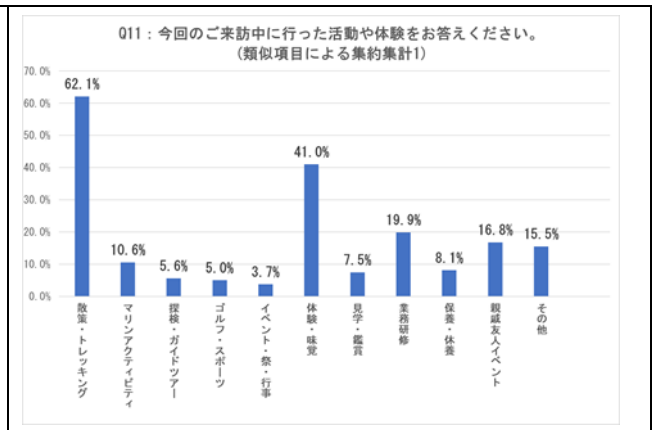
(Q11 今回のご来訪中に行った活動や体験をお答えください。)

※集約集計(類似項目別)

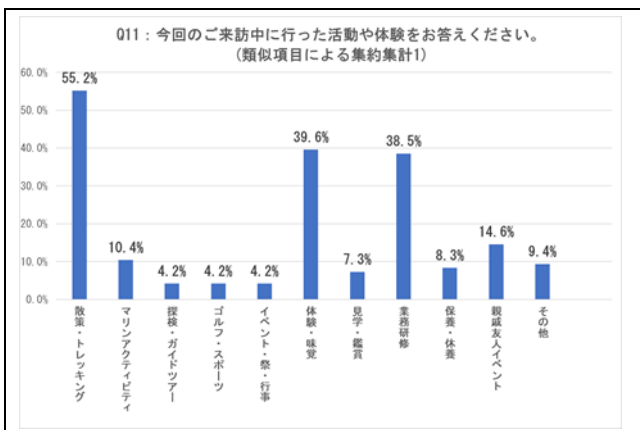
H29 (2017)



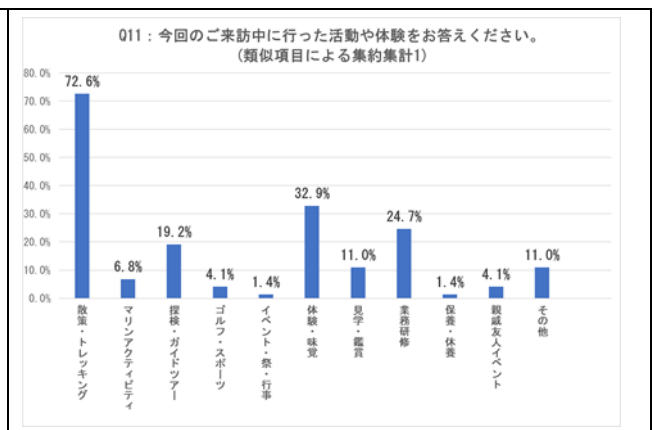
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



活動・体験については、設問をカテゴリーで集約したものを掲載する。

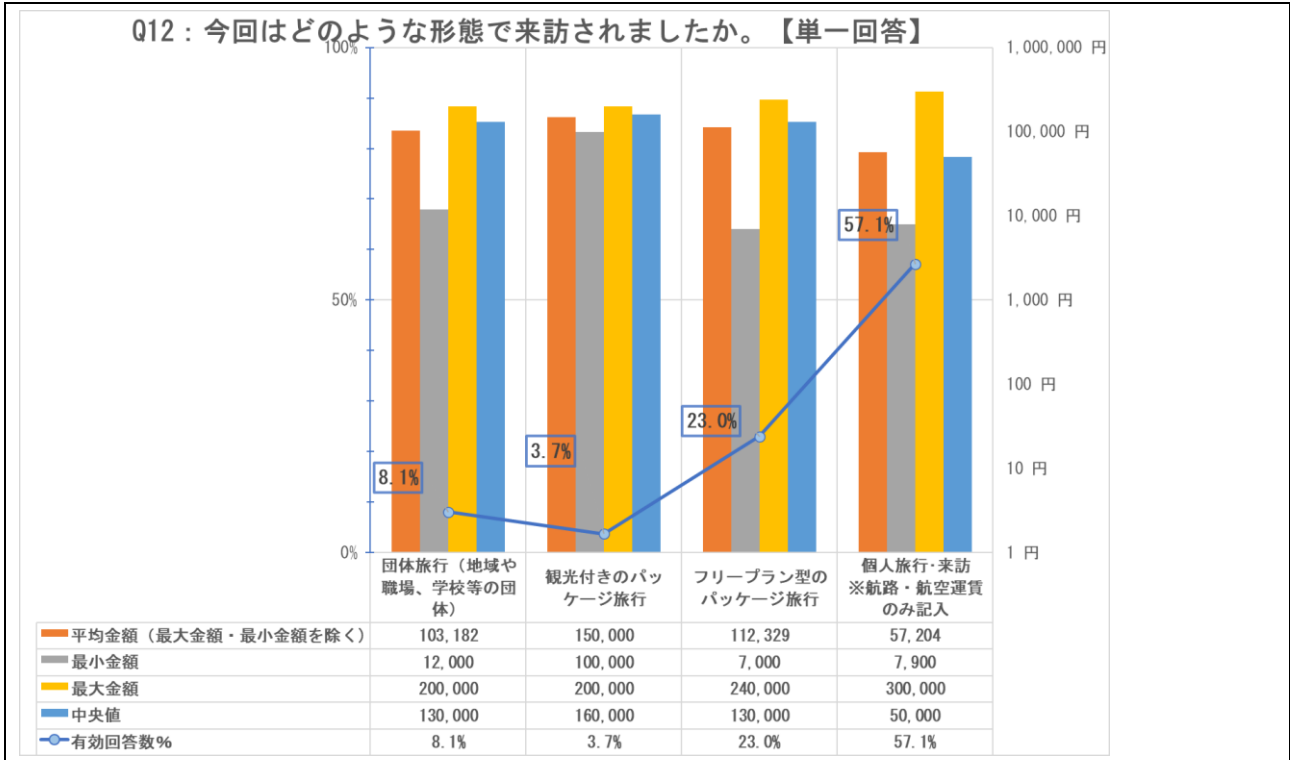
一番多いのは、「散策・トレッキング」であり、次に「体験・味覚」である。ビジネス目的で、「業務研修」も一定程度の数字となっており、R1(2019)年はかなり多くなっている。

17. 渡航形態と費用

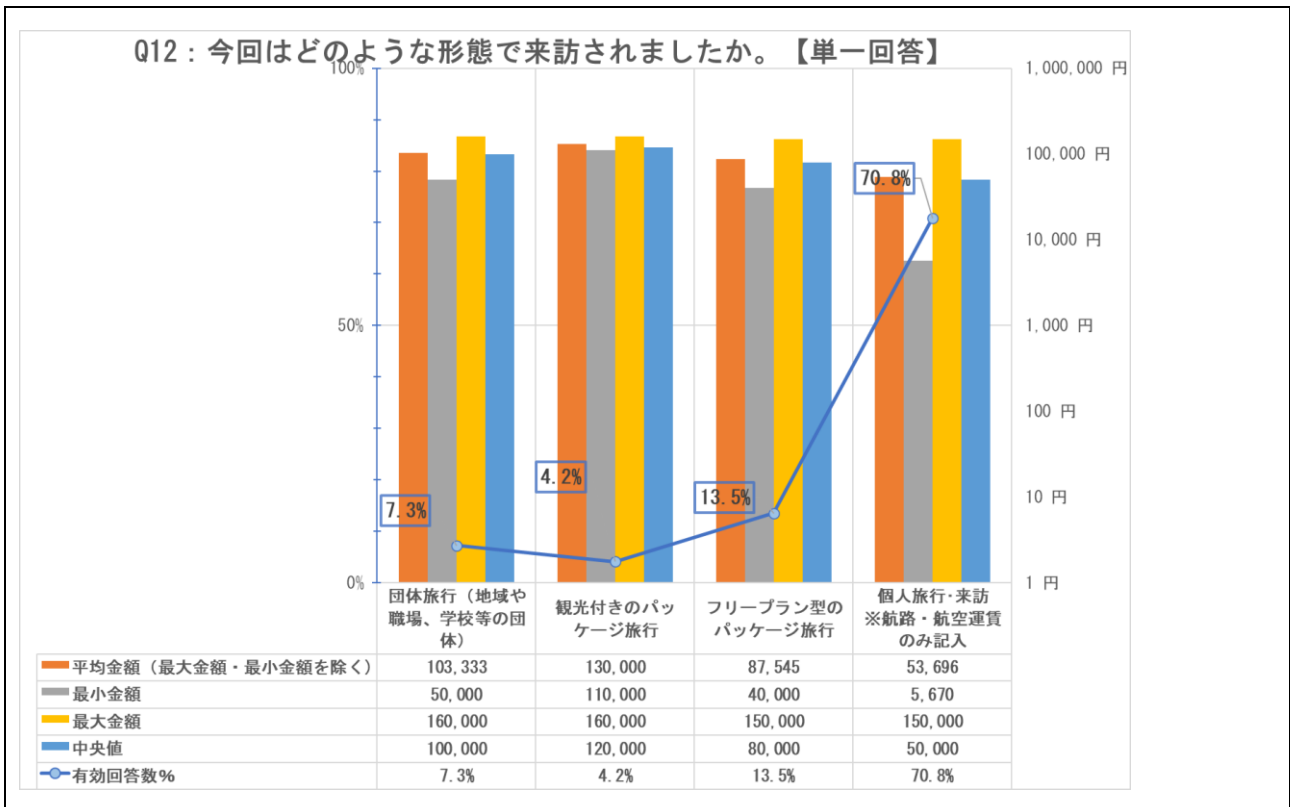
(Q12 今回はどのような形態で来訪されましたか。)

傾向は同じなので、H30(2018)とR1(2019)を取り上げる。

H30(2018)



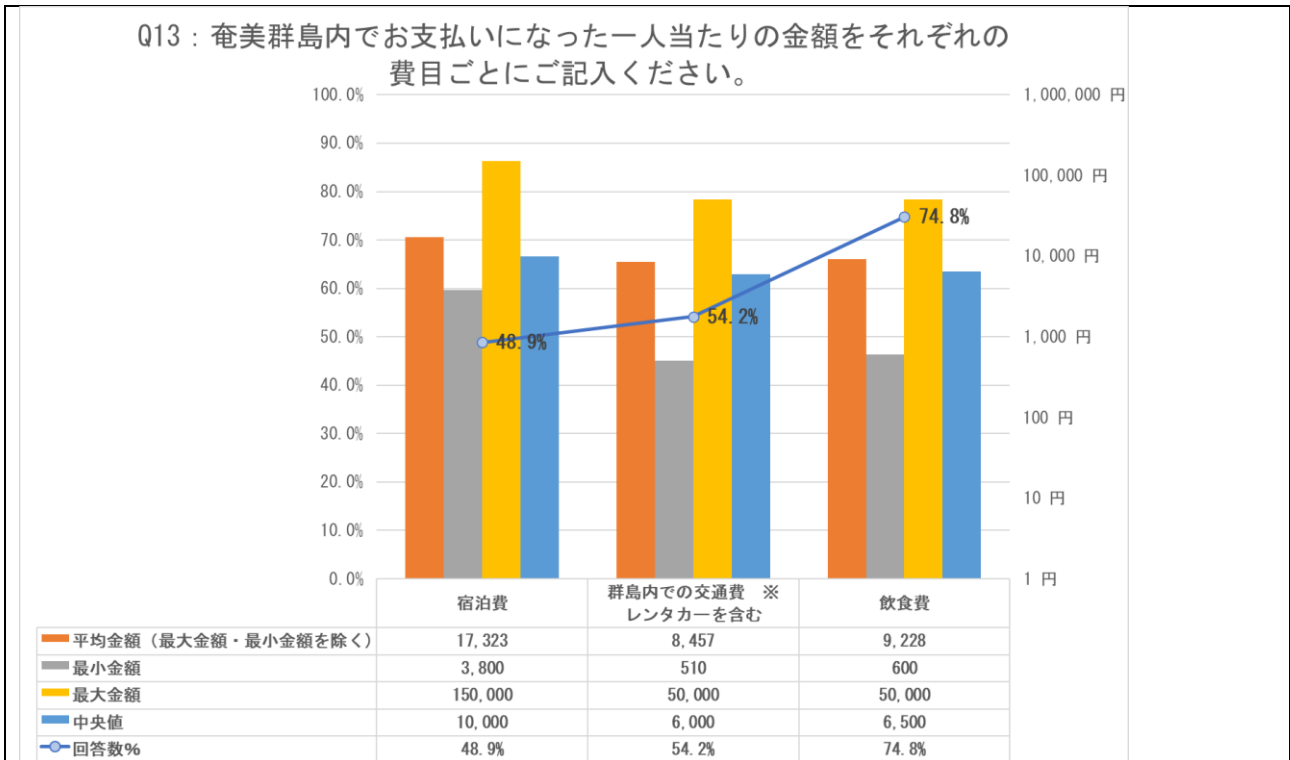
R1(2019)



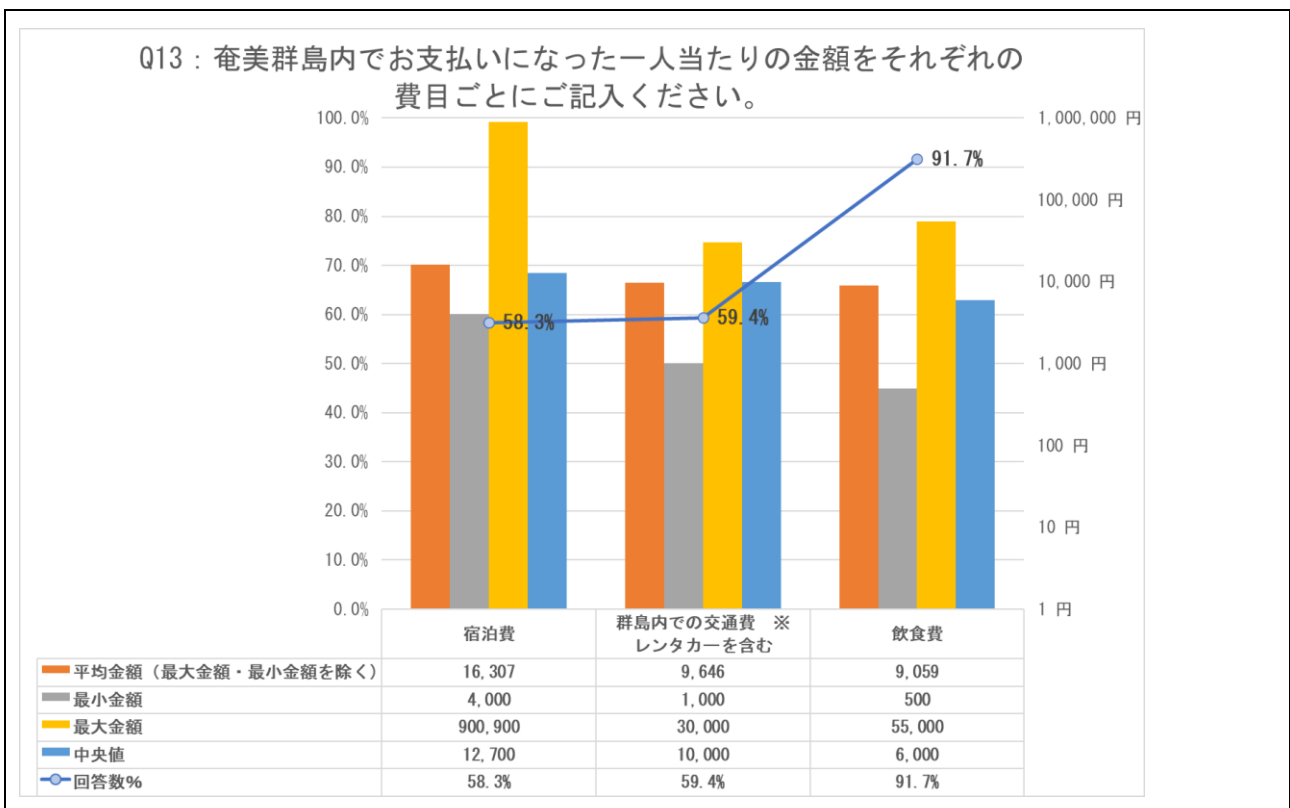
18. 滞在費用

(Q13 奄美群島内でお支払いになった一人当たりの金額をそれぞれの費目ごとにご記入ください。)

H30(2018)



R1(2019)



滞在費用は、宿泊費で1.1万円程度、交通費約8千円、飲食費で6千円となっている。しかし、人によってばらつきがある。宿泊費は、最大の回答が90万円とあるが、回答者は、島内だけでなく旅行全体で費用としての数字と考えられる。

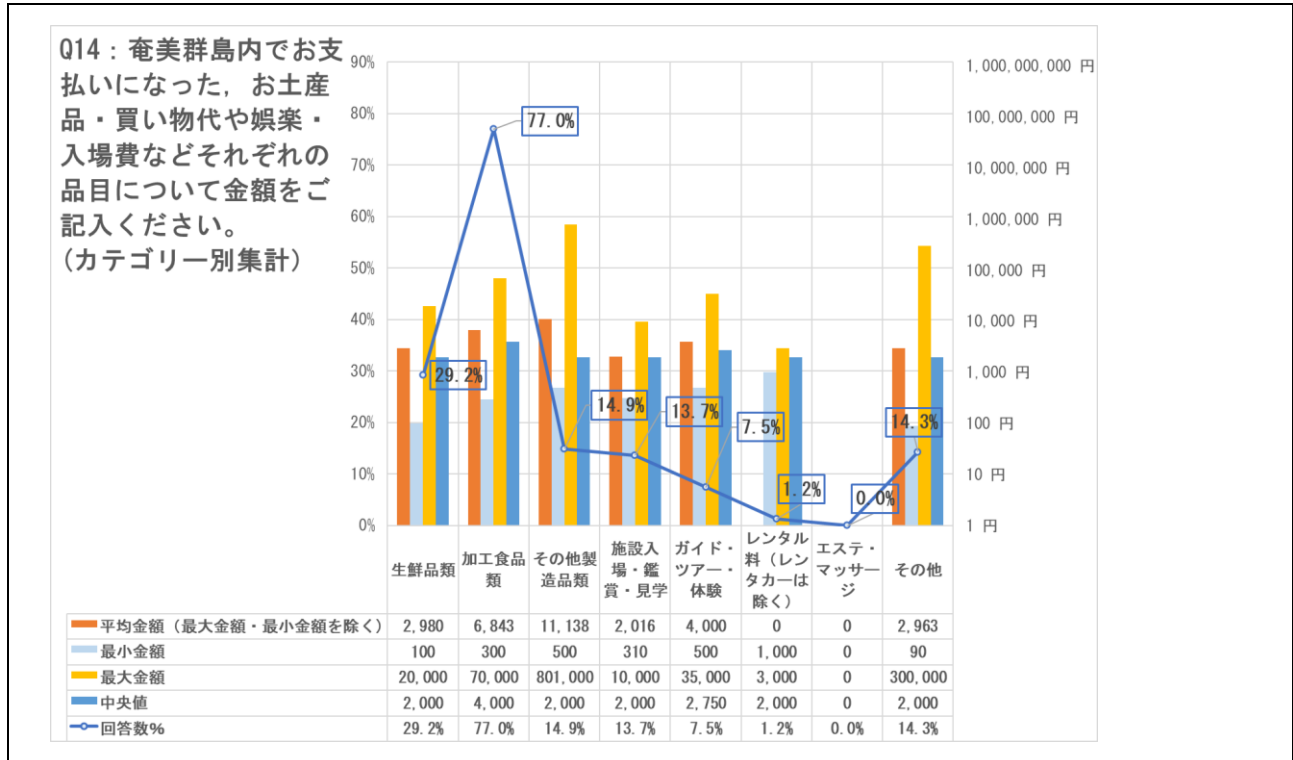
19. 活動・購買費用

(Q14 奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。

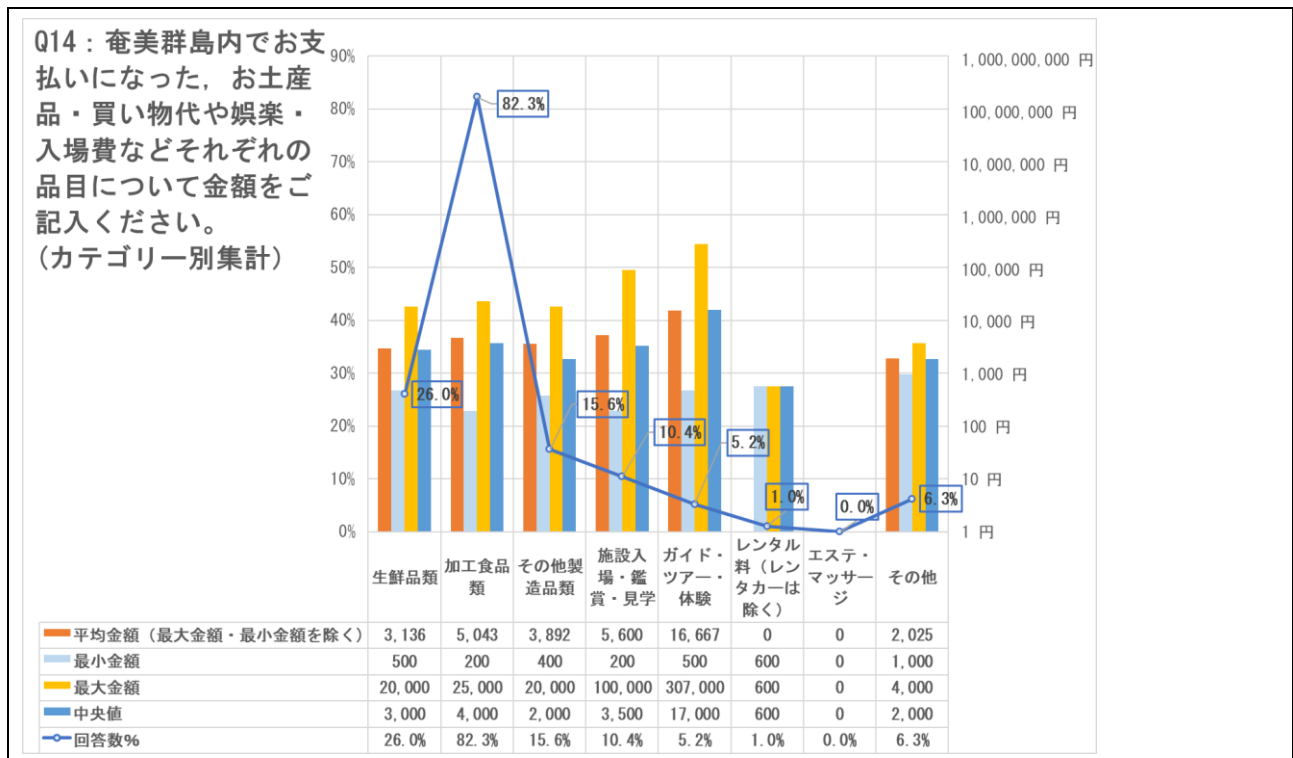
※集約集計 (カテゴリー別)

活動・購買費用については、カテゴリーでまとめた図を掲載する。

H30(2018)



R1(2019)

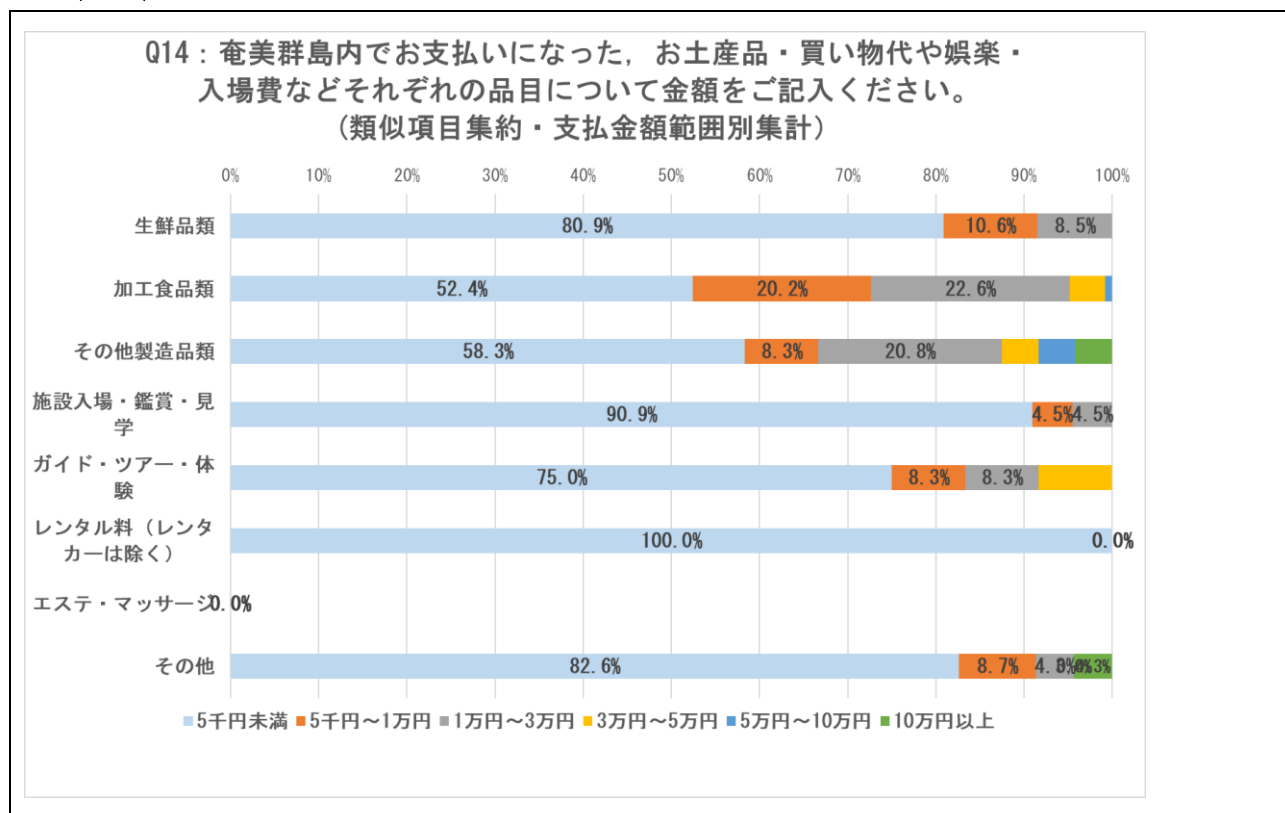


注) 集計対象となる回答件数が少ない集計項目については、最大値、最小値、中央値の金額が示され

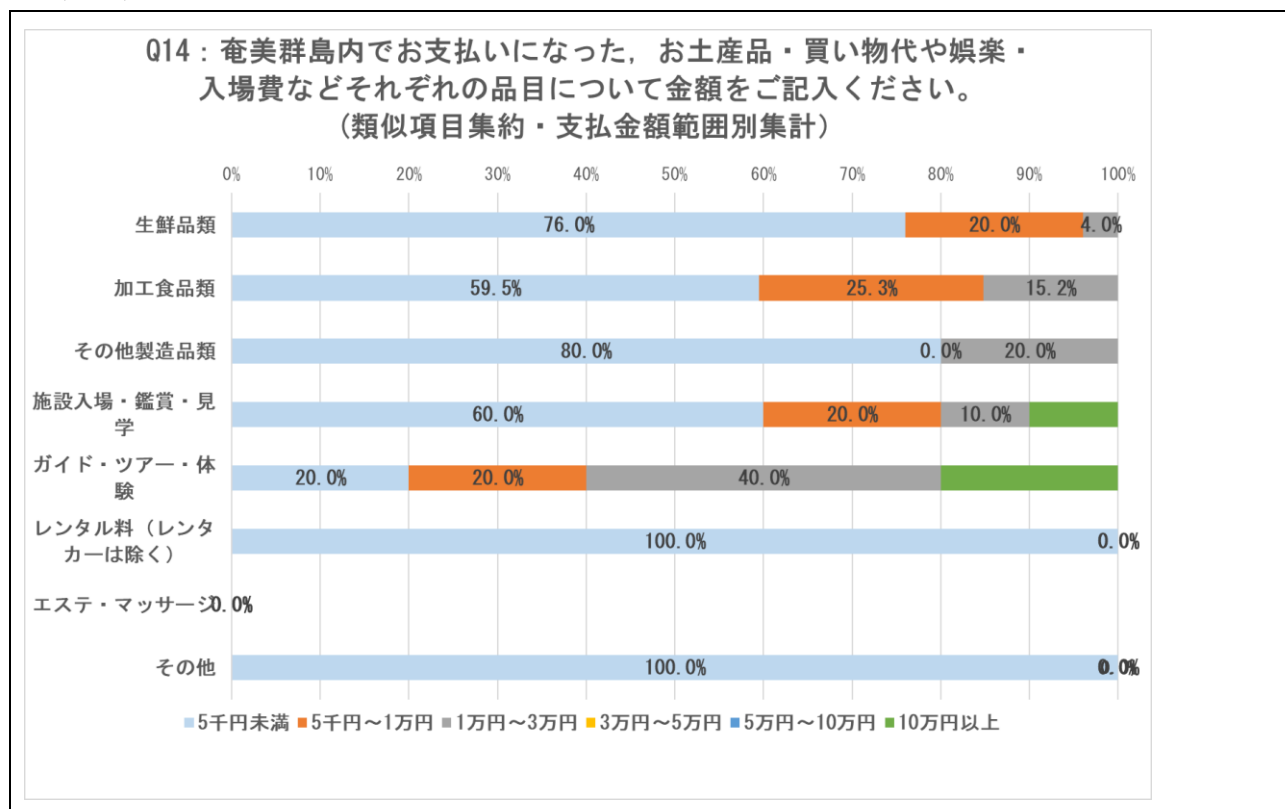
ていても、平均値（最大金額・最小金額を除く）が0となる場合がある（以下、同様）。

※集約集計（類似項目・支払金額範囲別）

H30(2018)



R1(2019)



多くは、数千円規模の消費となっている。しかしその中でも、「ガイドツアー・体験」は、単価が高い

ので、別格と考えられる。

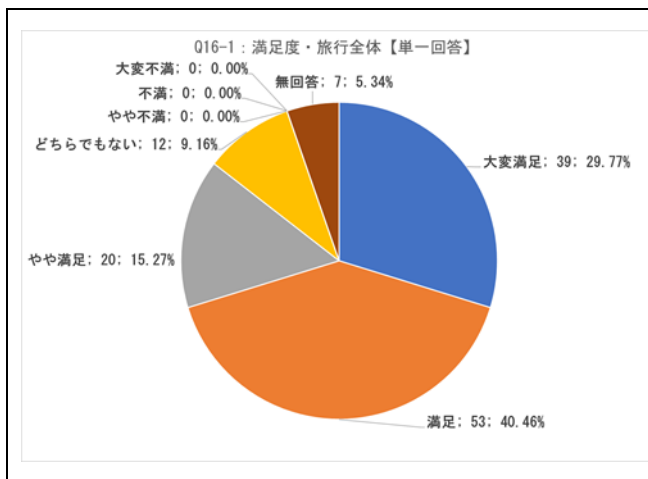
Q15 の情報発信については、投稿していないが一番多い。投稿としては、海の風景、食べ物となっている。

20. 満足度

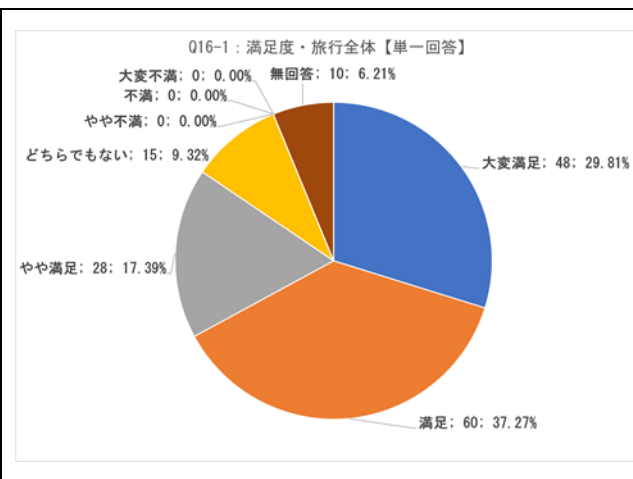
(Q16 今回のご来訪の満足度をお答えください。)

旅行全体

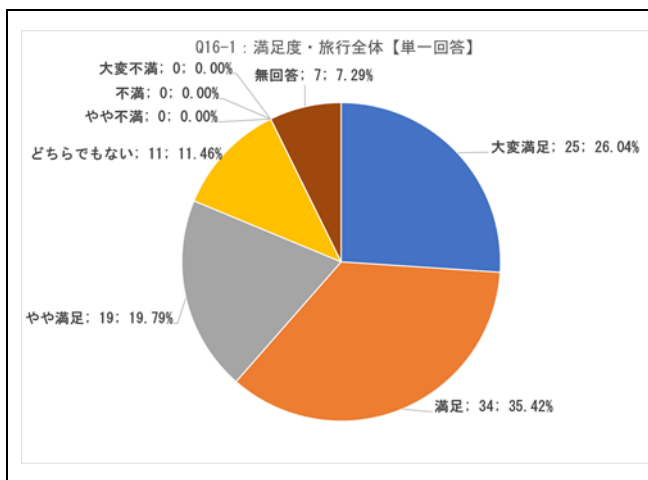
H29 (2017)



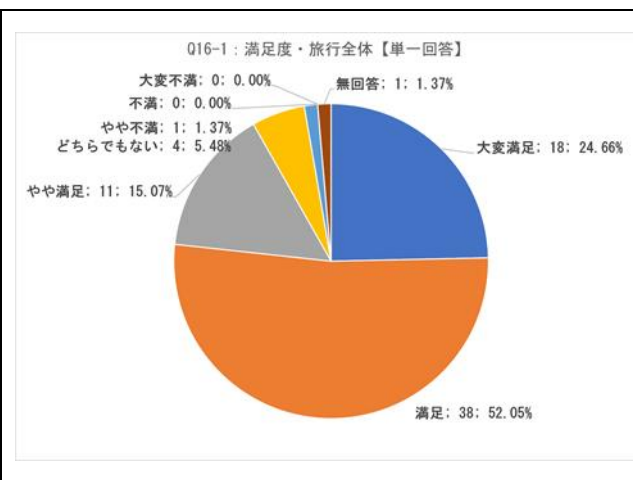
H30 (2018)



R1 (2019)



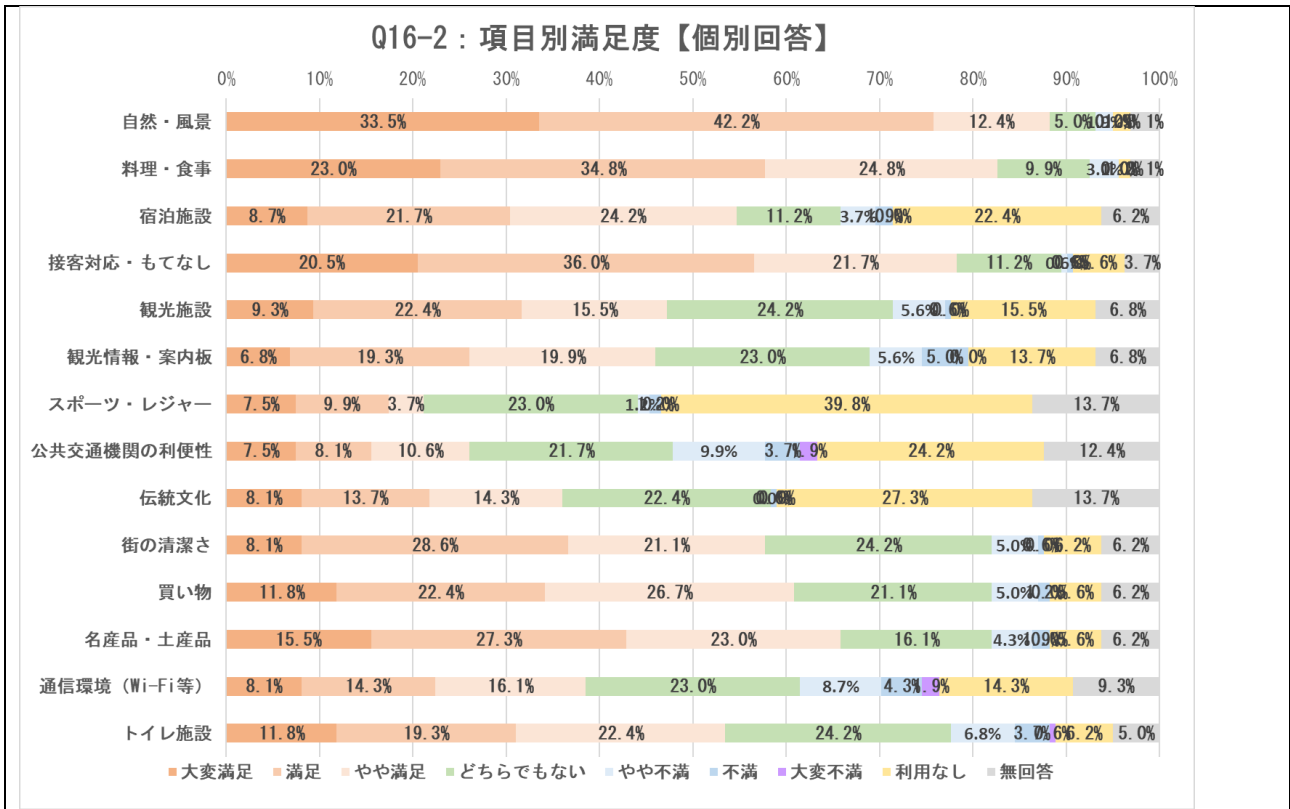
R2 (2020)



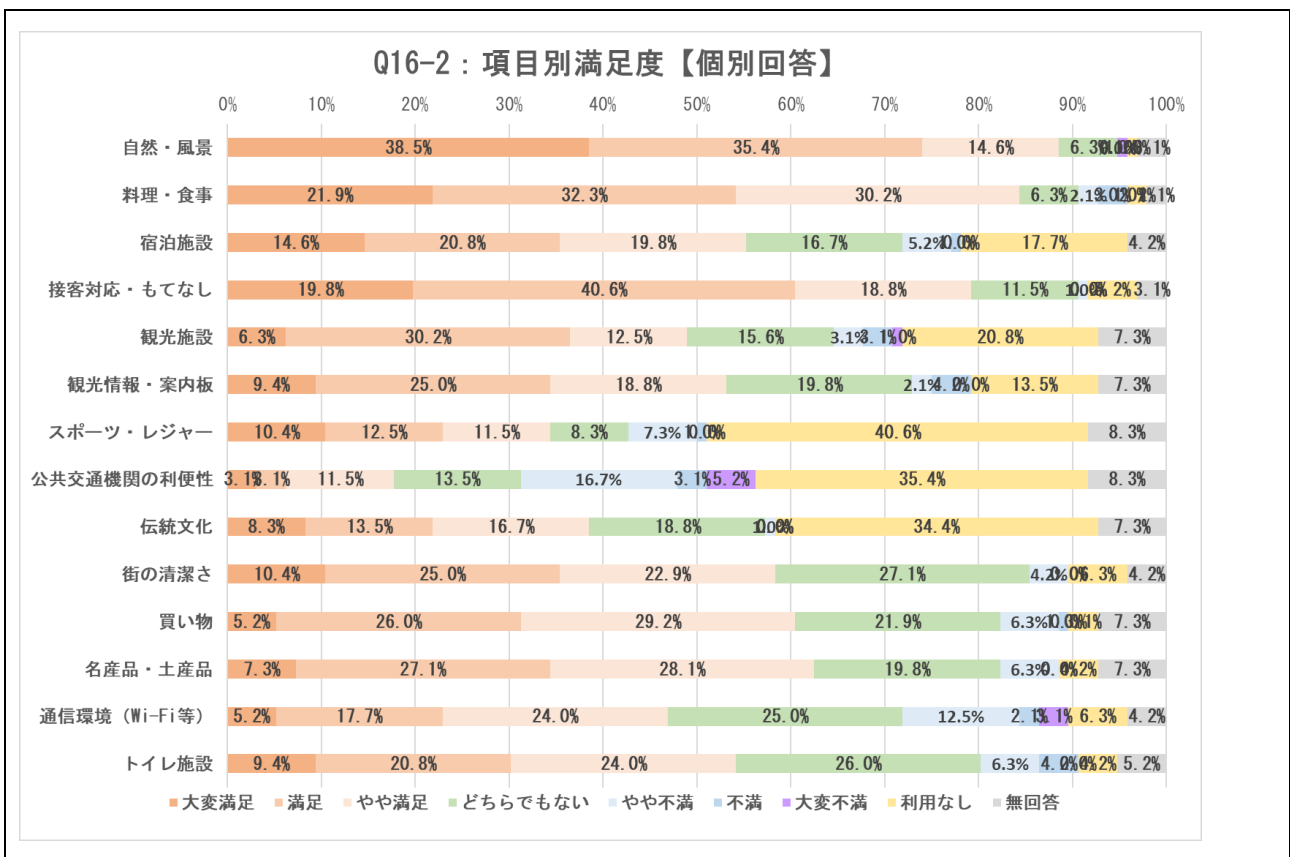
喜界島の全体の満足度は、かなり高いことがわかる。

項目別

H30(2018)



R1(2019)



喜界島でも自然・風景や料理・食事への満足度は、非常に高い。もてなしも同様であるが、宿泊施設は、ケースバイケースと伺える。しかしながら、スポーツ・レジャー、交通の利便性、通信環境 (Wi-Fi

等) は、不満が多い。

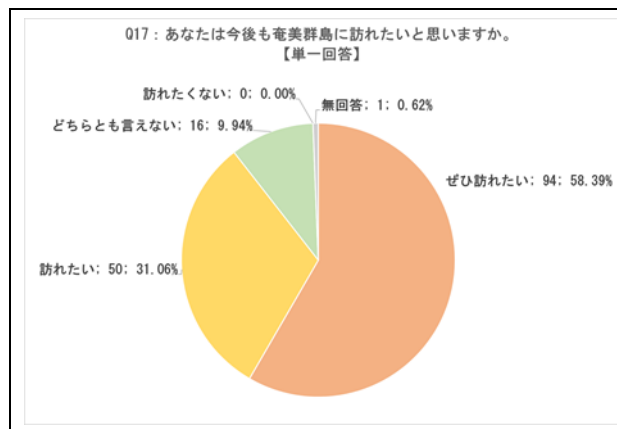
旅行全体および項目別を7段階評価(大変満足:7、満足:6、やや満足:5、どちらでもない:4、やや不満:3、不満:2、大変不満:1、利用なし:0)で、平均評価を求めると、次のようになった。

喜界島 換算点数に基づく平均評価				
項目の満足度	2017年	2018年	2019年	2020年
0 旅行全体	5.96	5.93	5.82	5.94
1 自然・風景	6.14	5.94	6.00	6.10
2 料理・食事	5.74	5.60	5.47	5.49
3 宿泊施設	4.53	3.97	4.28	4.99
4 接客対応・もてなし	5.32	5.36	5.42	5.68
5 観光施設	4.42	4.21	3.96	4.49
6 観光情報・案内板	4.45	4.09	4.35	4.41
7 スポーツ・レジャー	2.63	2.65	2.86	2.42
8 公共交通機関の利便性	3.06	3.19	2.33	2.77
9 伝統文化	3.97	3.48	3.25	3.59
10 街の清潔さ	5.01	4.76	4.78	5.43
11 買い物	4.83	4.82	4.82	4.81
12 名産品・土産品	5.07	5.00	4.88	4.89
13 通信環境 (Wi-Fi等)	3.32	3.88	4.25	3.52
14 トイレ施設	4.57	4.58	4.66	4.92

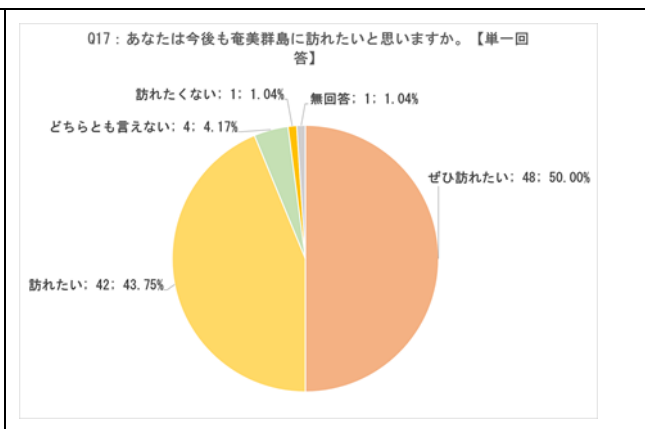
21. 再来訪意向

(Q17 あなたは今後も奄美群島に訪れたいと思いますか。)

H30(2018)

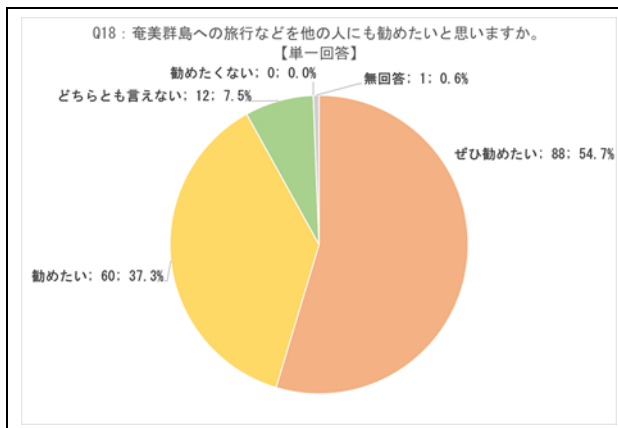


R1(2019)

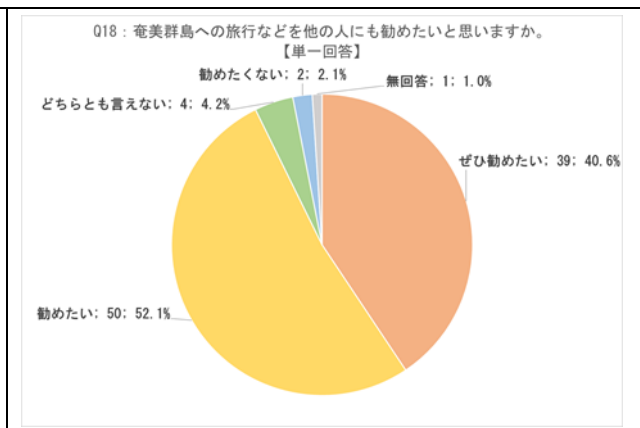


(Q18 奄美群島への旅行などを他の人にも勧めたいと思いますか。)

H30(2018)



R1(2019)



満足度や再来訪意向等は、極めて高いが、年によって多少変わるようだ。

22. 再来訪意向

(Q19 来訪者の方⇒今回の来訪をとおして感じたご意見等がございましたらお聞かせください。
居住者の方⇒奄美群島の観光について、ご意見等がございましたらお聞かせください。)

自由記述のため、省略(データ参照)。なお、内容の参考となる属性や消費金額、満足度を併記した。

H29(2017) 回答数 87

H30(2018) 回答数 103

R1(2019) 回答数 66

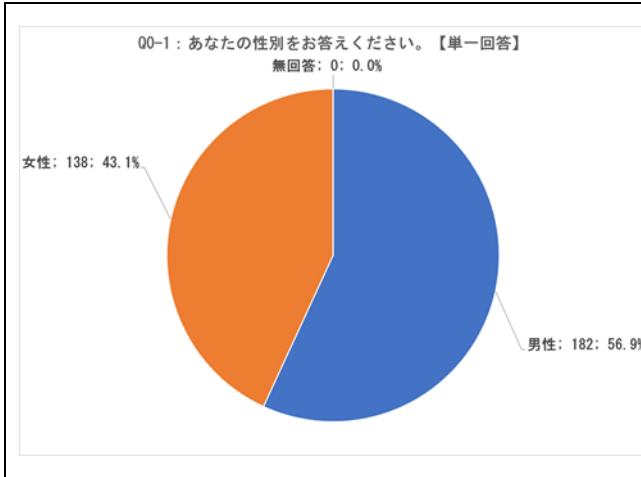
R2(2020) 回答数 52

3. 徳之島

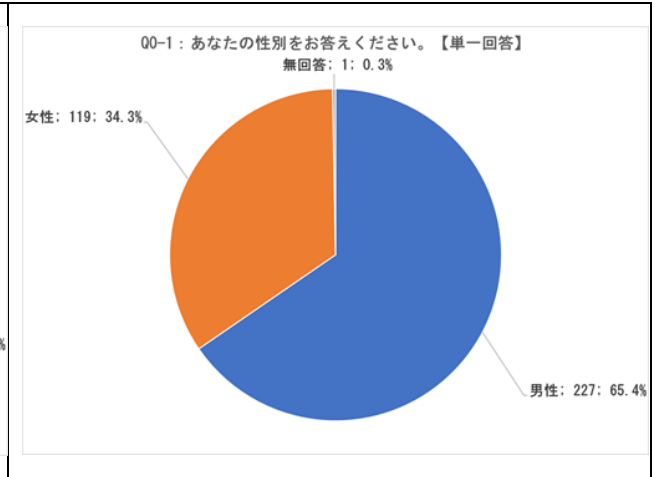
1. 回答者性別

(Q0-1 あなたの性別をお答えください。)

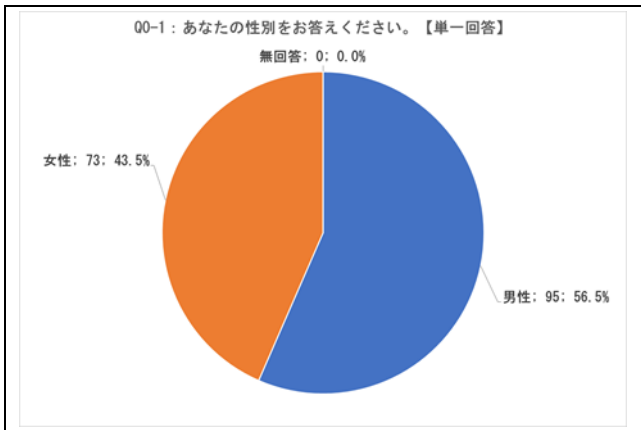
H29(2017)



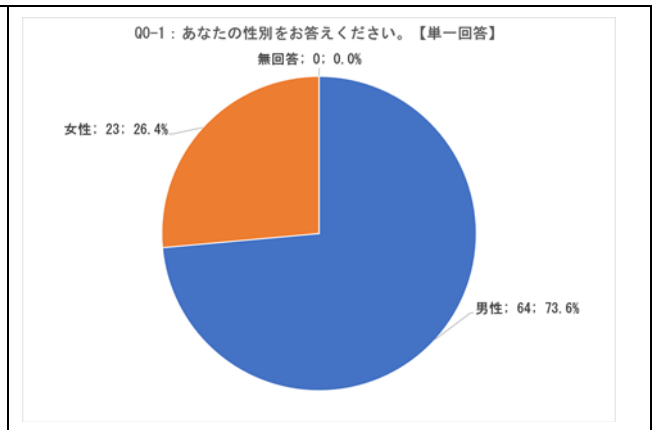
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)

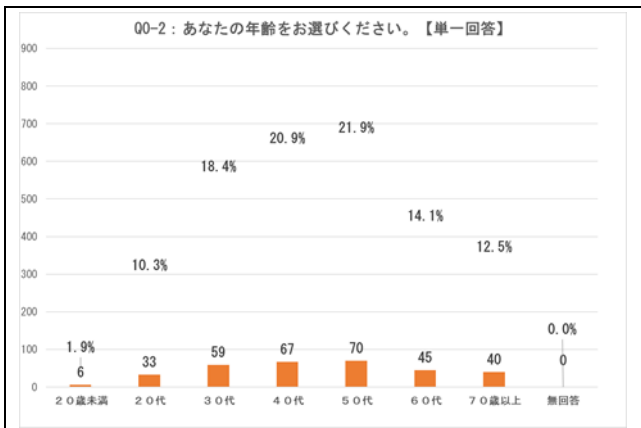


徳之島を来訪した回答者の性別では、女性よりも男性がかなり多い。

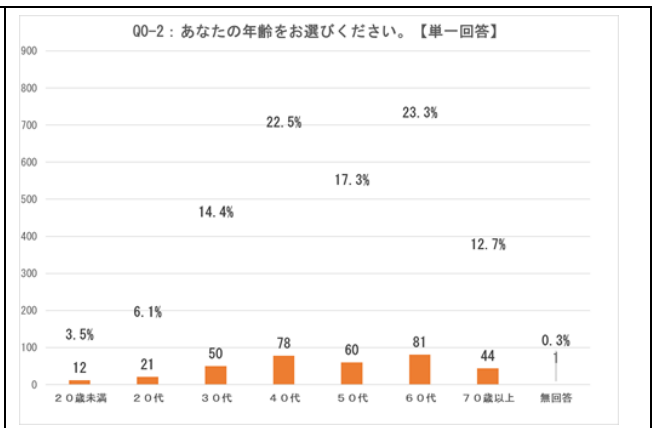
2. 回答者年齢

(Q0-2 あなたの年齢をお選びください。)

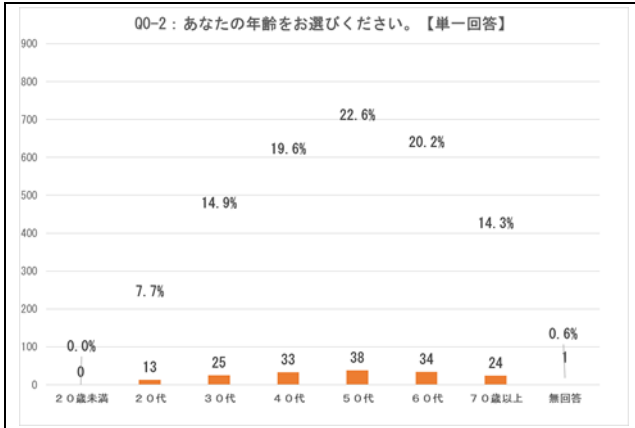
H29(2017)



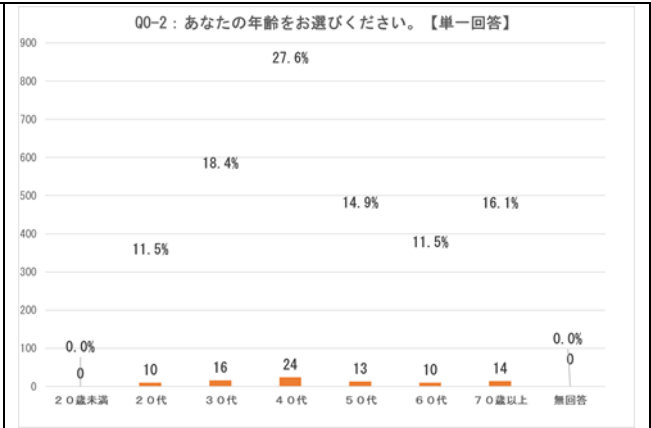
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

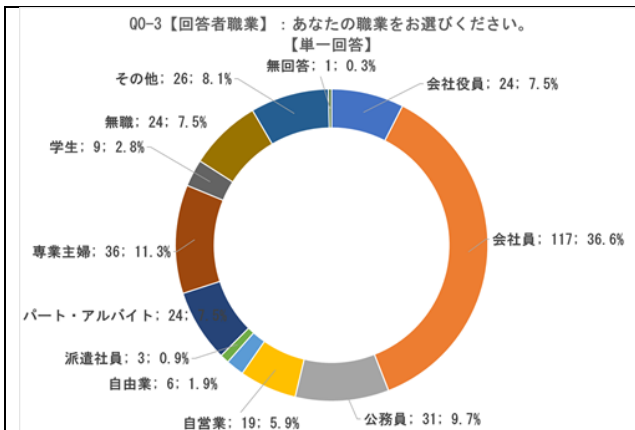


年齢については、40、50代が比較的多い。2018年に、60代が一番多くなっているのは、イベント関連かもしれない。

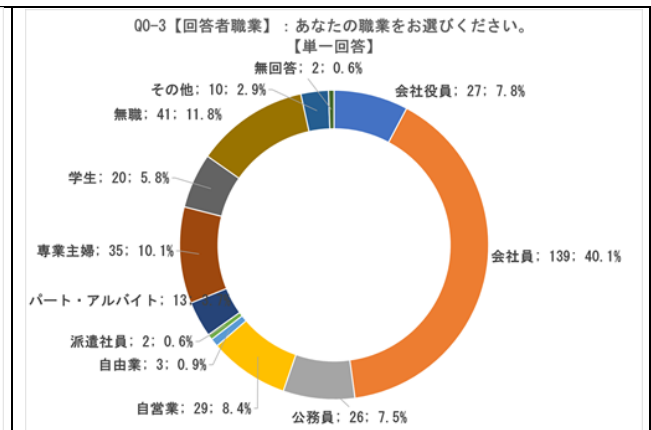
3. 回答者職業

(Q0-3 あなたの職業をお選びください。)

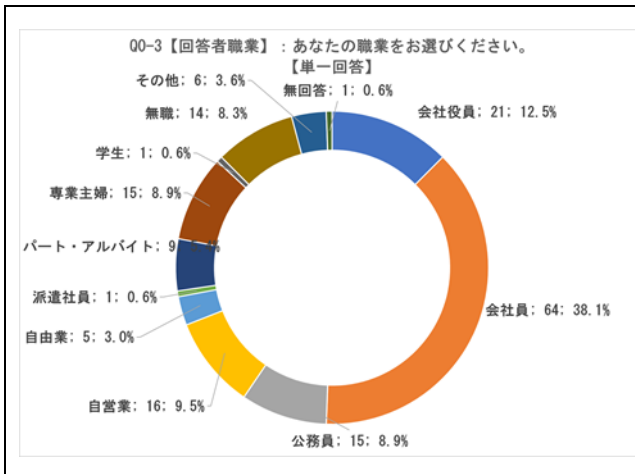
H29 (2017)



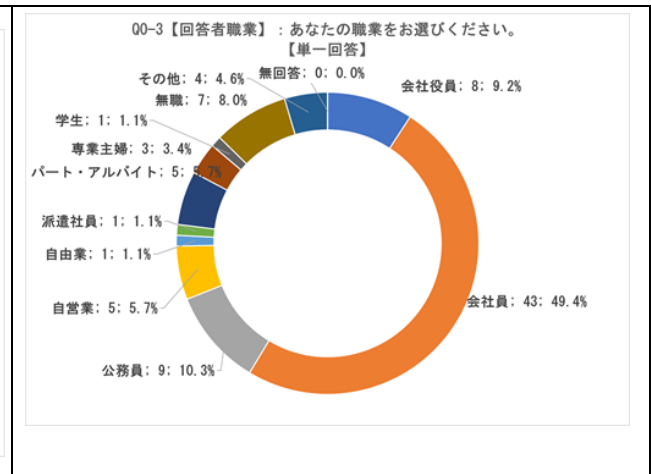
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

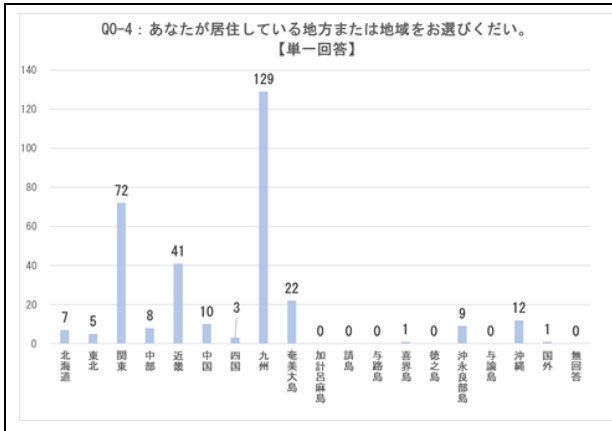


職業については、毎年ばらつきが大きい。会社員が常に多いが、年によっては専業主婦が多くなる年もあるが、コロナ禍で、2020年は少ない。高齢者と思われる無職も多い。

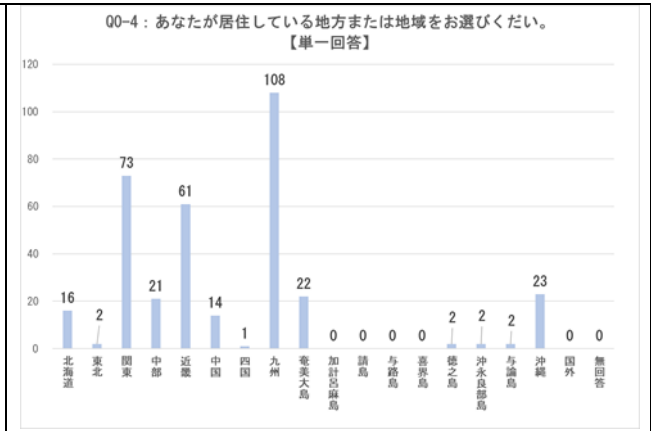
4. 回答者居住地

(Q0-4 あなたが居住している地方または地域をお選びください。)

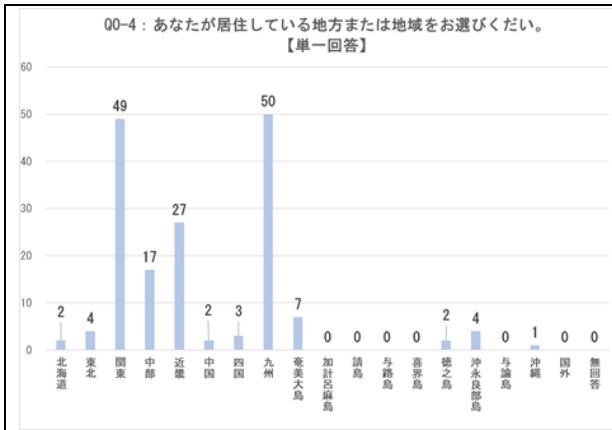
H29 (2017)



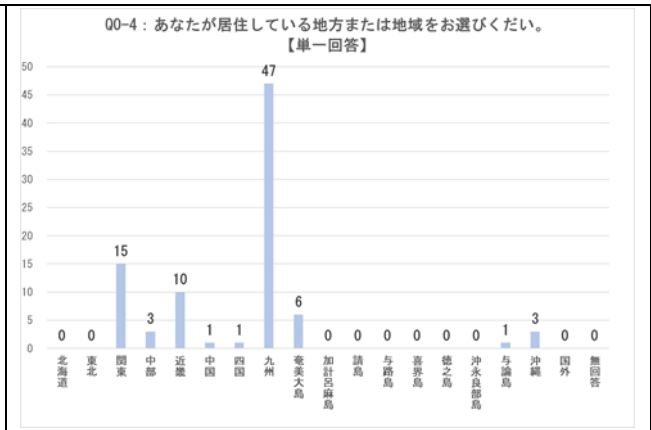
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

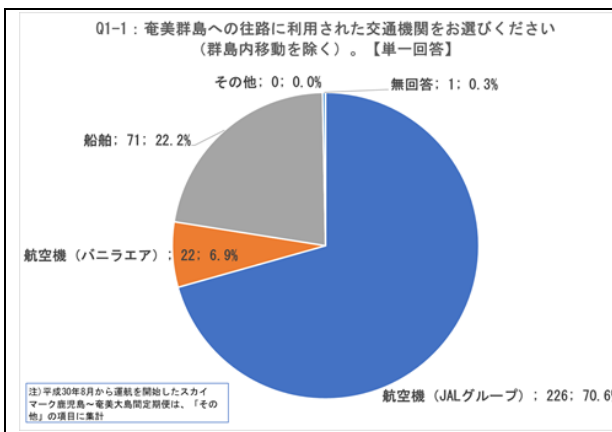


居住地については、九州が一番多い。次に、関東、近畿となっている。

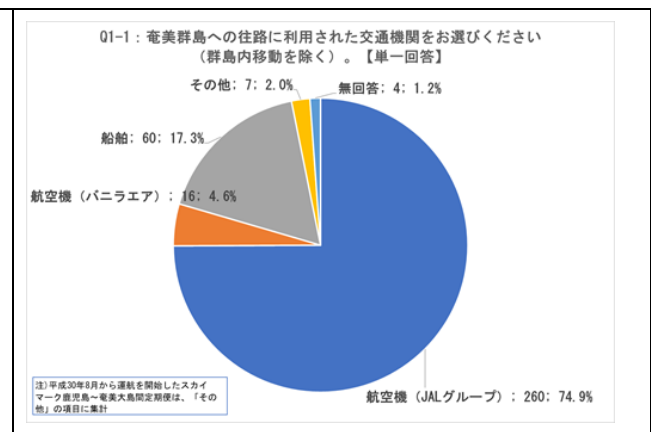
5. 往路交通手段

(Q1-1 奄美群島への往路に利用された交通機関をお選びください (群島内移動を除く。))

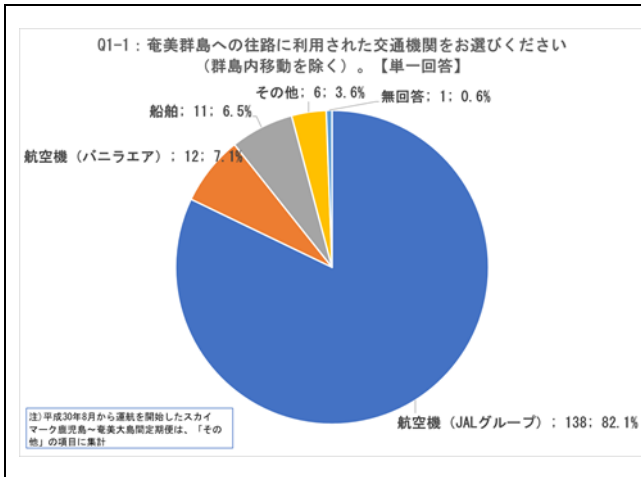
H29 (2017)



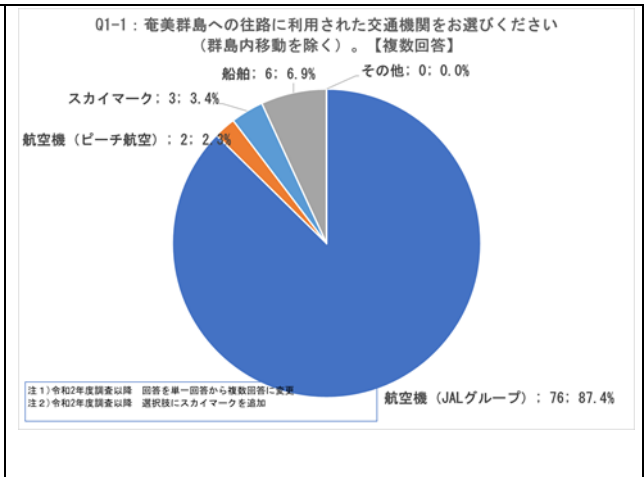
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

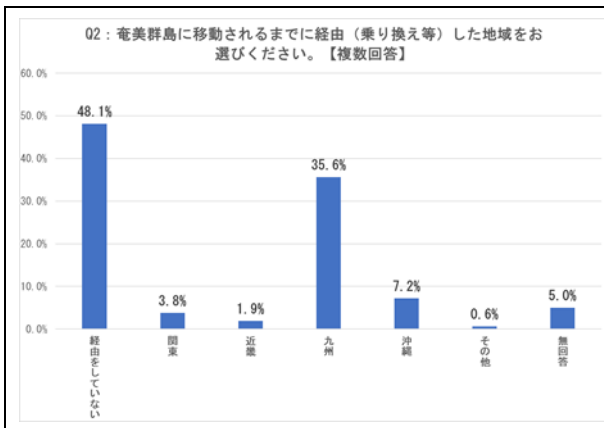


徳之島への交通手段としては、多くが飛行機であるが、船舶も年により割合が高くなる。なお、復路も同様である (図省略)。

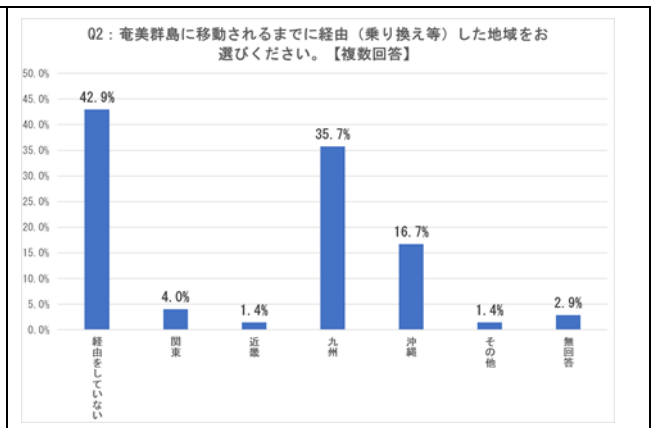
6. 渡航経由地

(Q2 奄美群島に移動されるまでに経由 (乗り換え等) した地域をお選びください。【複数回答】)

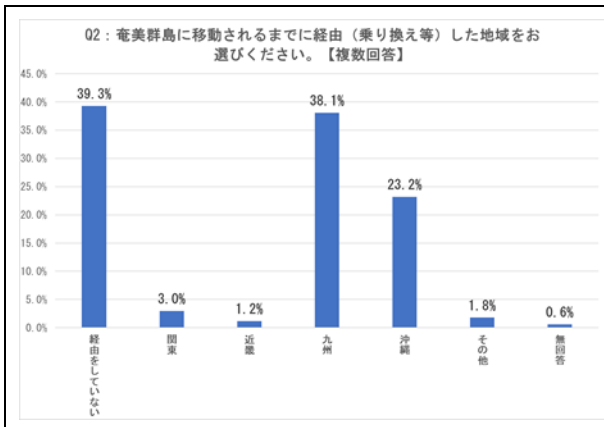
H29 (2017)



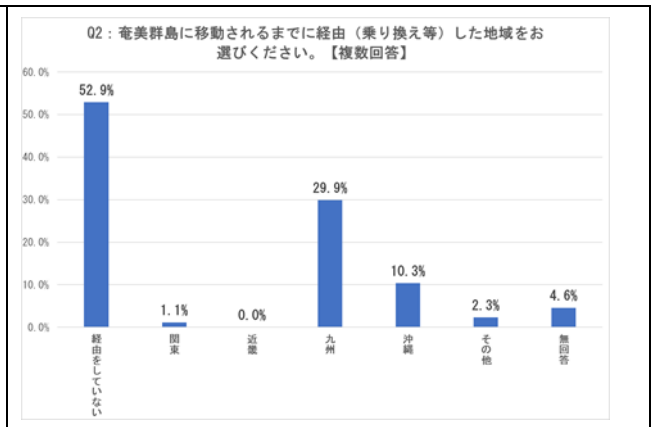
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

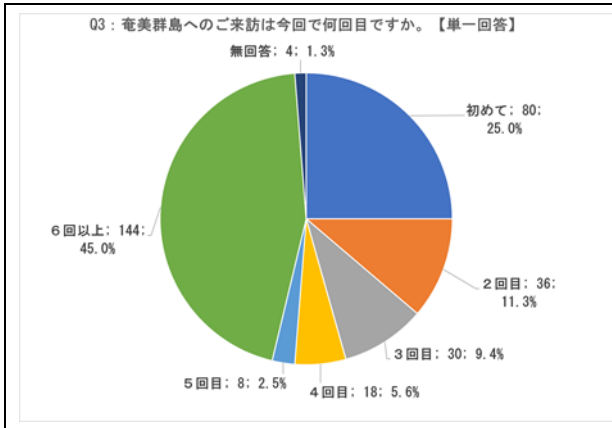


徳之島には、経由地で見ると、経由地なしが最も多く、九州経由が次になっている。沖縄経由も年によって多い。

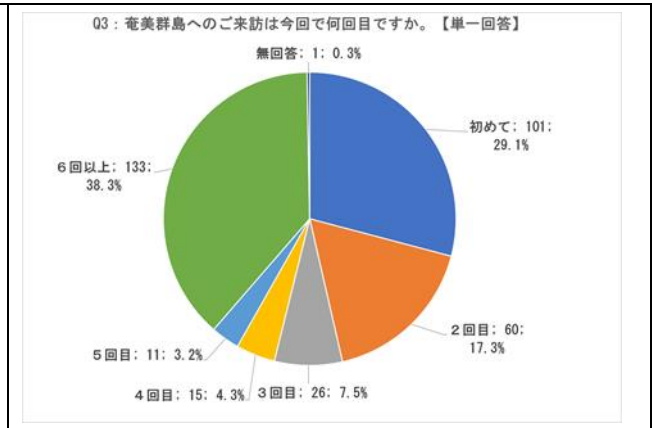
7. 来訪回数

(Q3 奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか。)

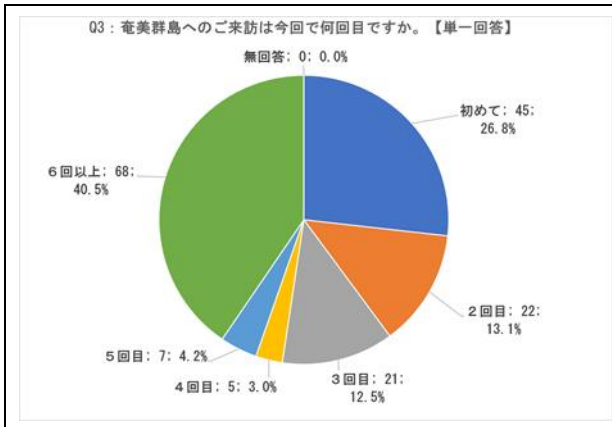
H29 (2017)



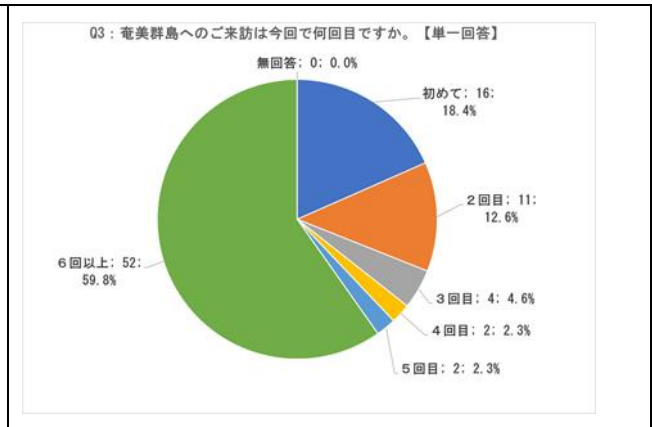
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

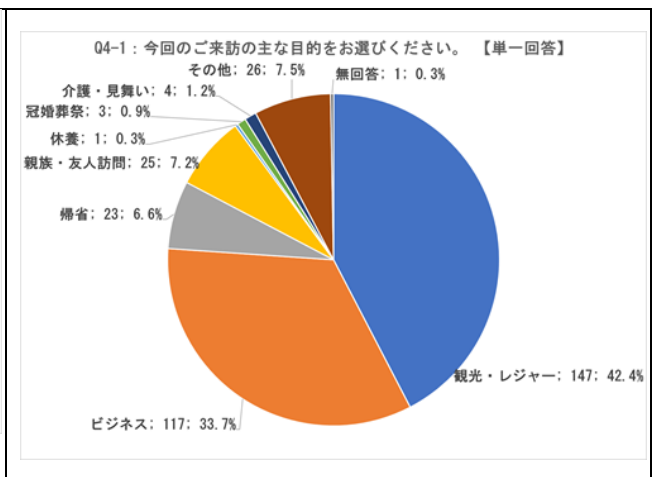
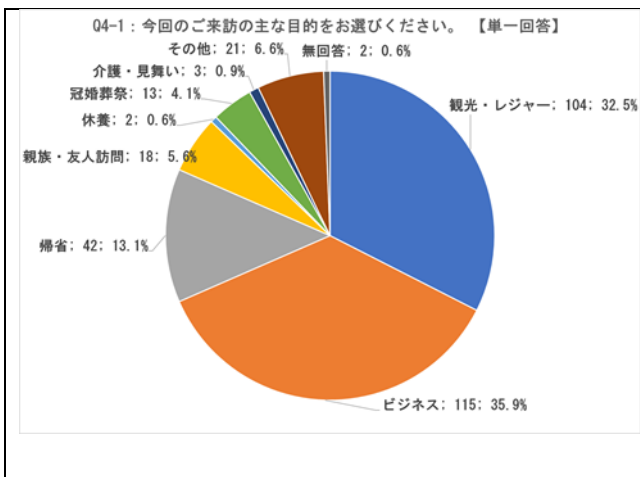


来訪回数としては、初めての人が1/4程度である。2回目をいれて1/3程度。特徴的なのは、6回以上の人が、半数近くになっており、R2(2020)は、さらに増えた。

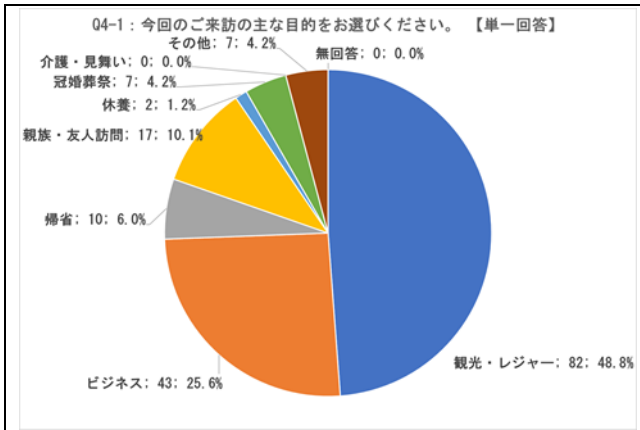
8. 来訪目的

(Q4-1 今回のご来訪の主な目的をお選びください。)

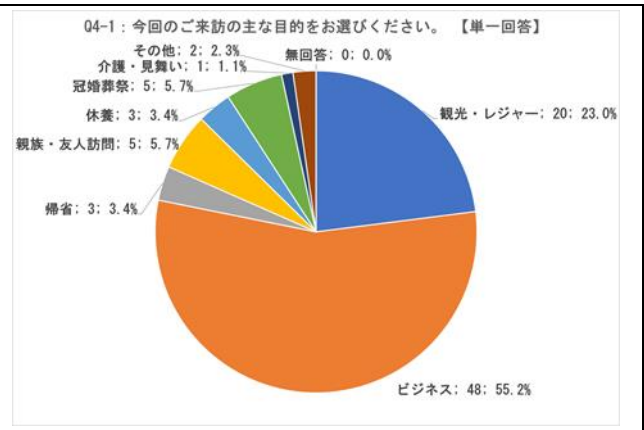
2017 左上, 2018 右上, 2019 左下, 2020 右下



R1 (2019)



R2 (2020)

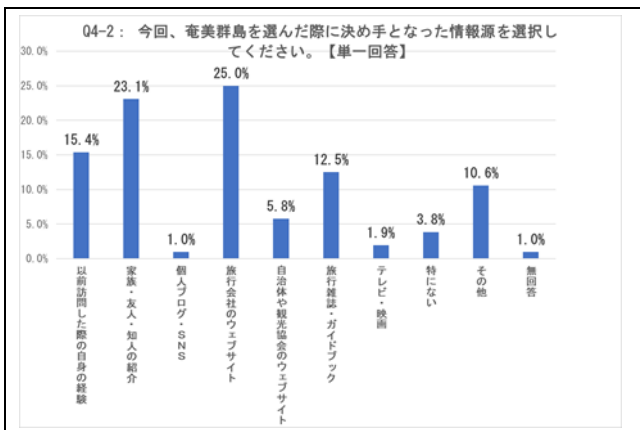


来訪目的は、「観光・レジャー」が多いが、同様に「ビジネス」も多い。2020年はコロナ禍のためか、観光・レジャーが減ったため、ビジネスが割合としては増えている。

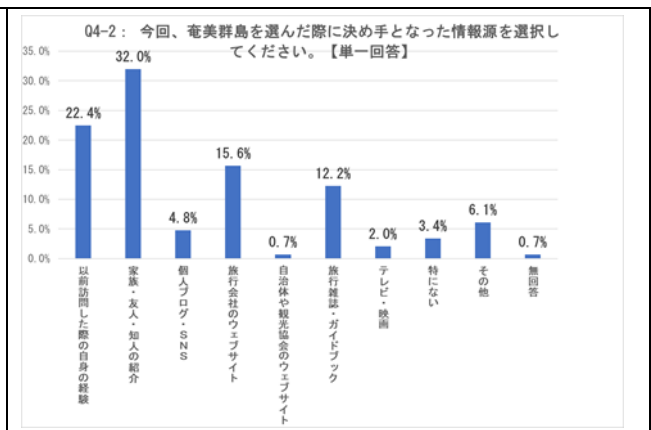
9. 情報源

(Q4-2 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください。)

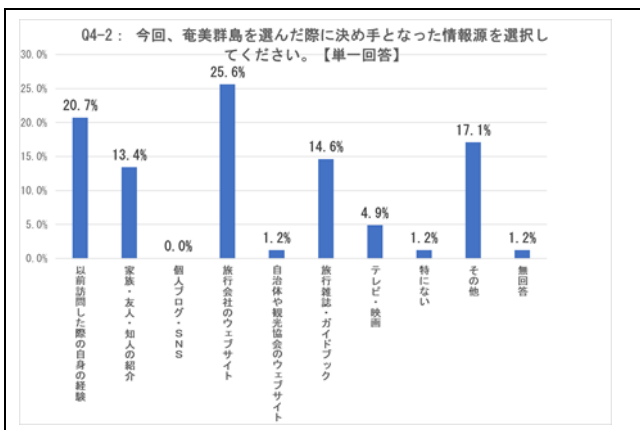
H29 (2017)



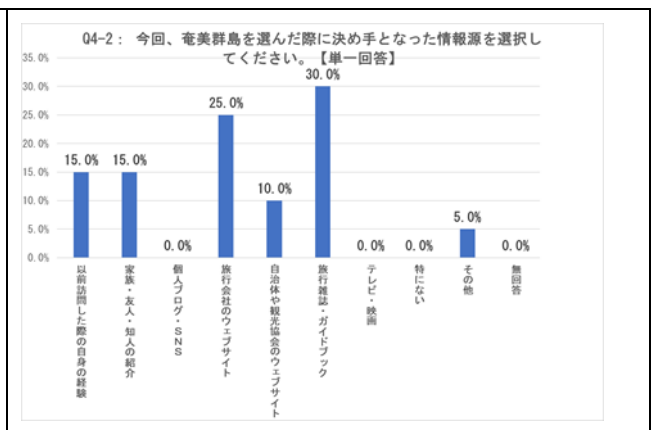
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

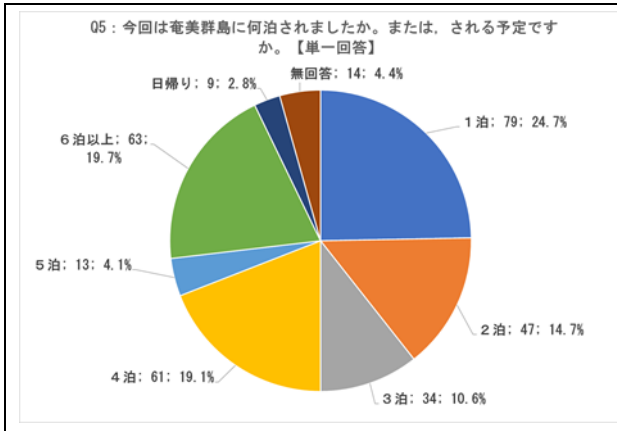


情報源としては、年によってばらつきがある。「家族・友人・知人の紹介」が多いが、観光・レジャー目的の場合は、「旅行会社のウェブサイト」や「旅行雑誌・ガイドブック」の利用も多い。

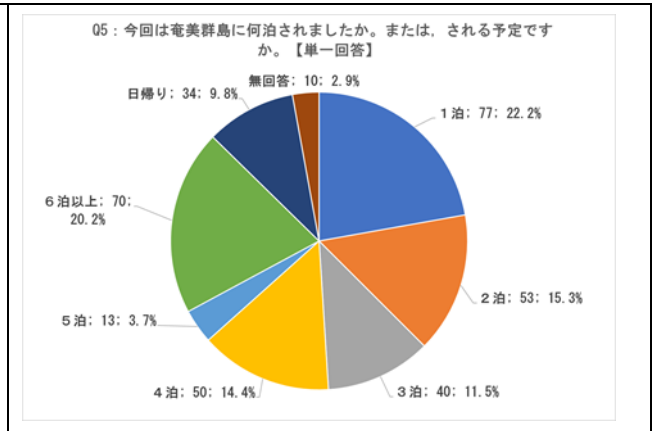
10. 宿泊日数

(Q5 今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか。【単一回答】)

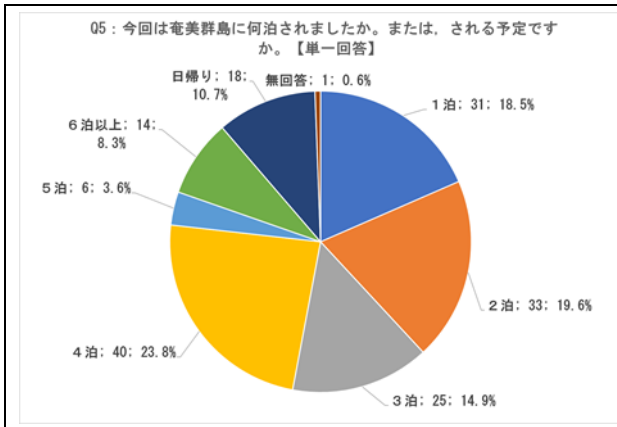
H29 (2017)



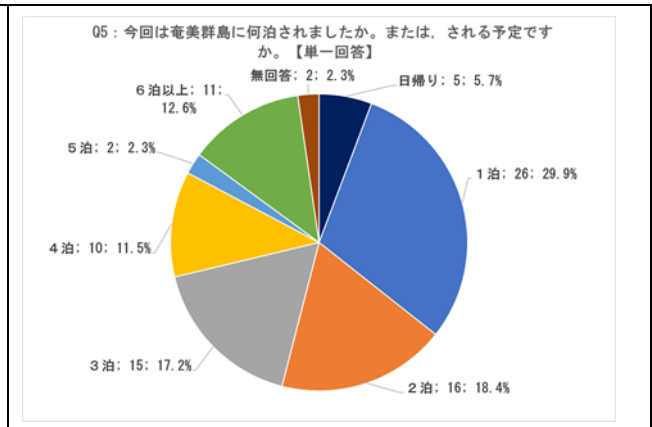
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

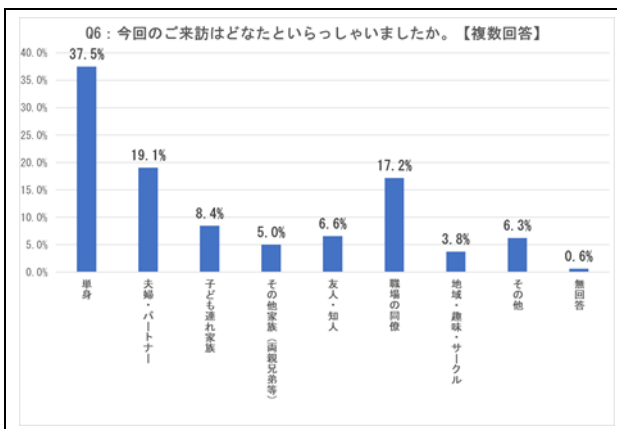


宿泊数については、まちまちである。4泊までは、それぞれ一定数ある。それ以上の長期滞在および日帰りは、ビジネスかもしれない。

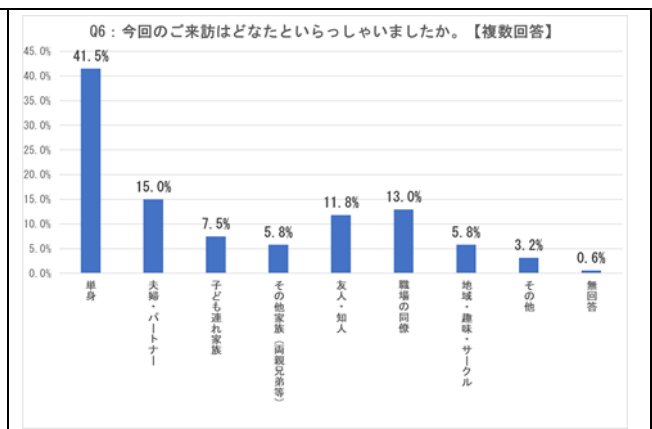
11. 同行者属性

(Q6 今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか。【複数回答】)

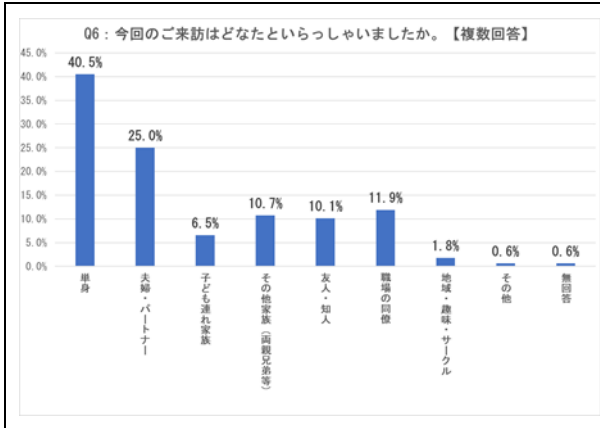
H29 (2017)



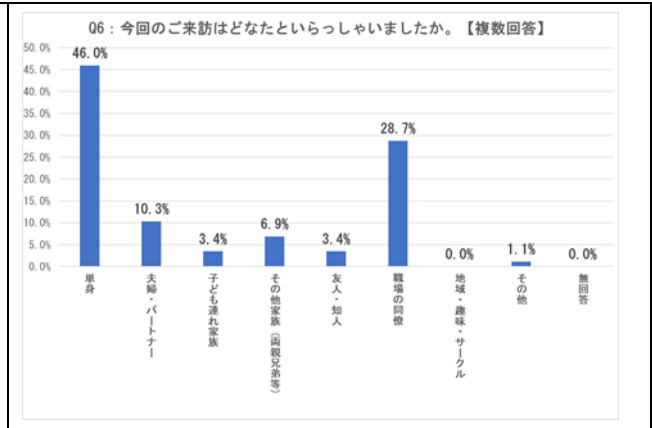
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

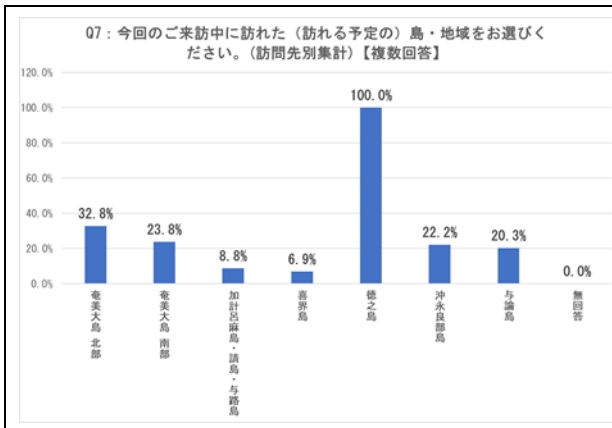


同行者属性については、「単身」が最も多く、「夫婦・パートナー」の場合もかなり多い。また、ビジネスと考えられる「職場の同僚」も多い。

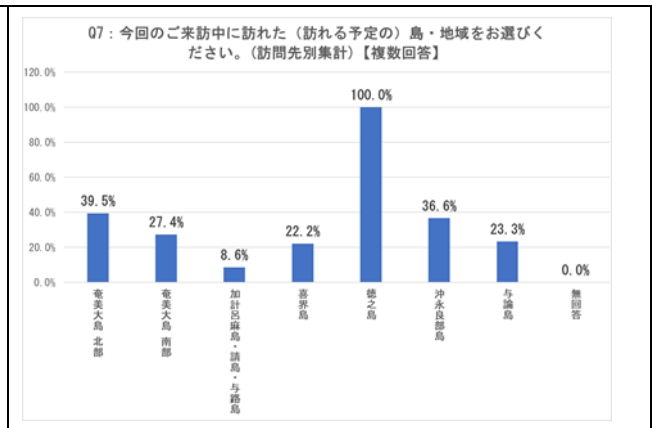
12. 群島内訪問先

(Q7 今回のご来訪中に訪れた (訪れる予定の) 島・地域をお選びください。【複数回答】)

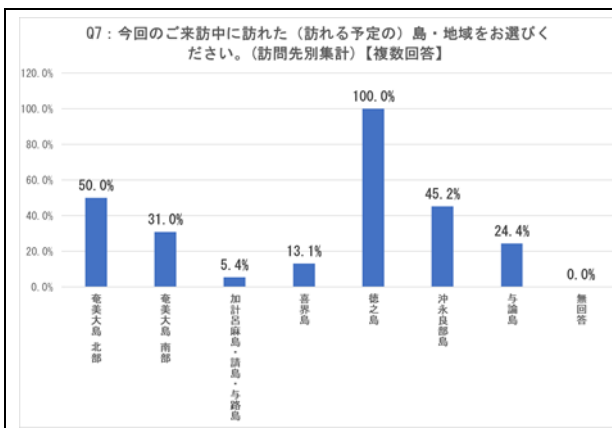
H29 (2017)



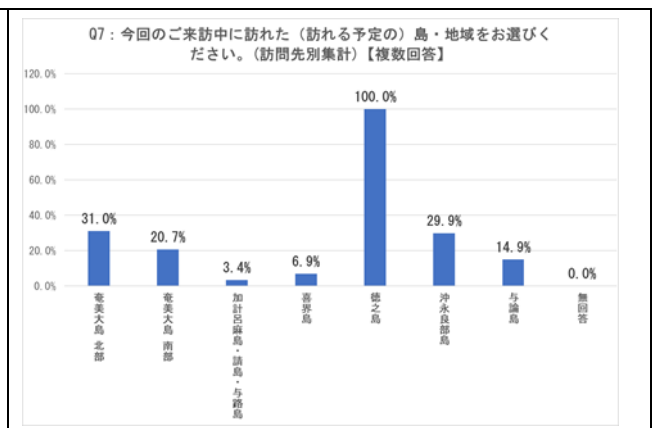
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

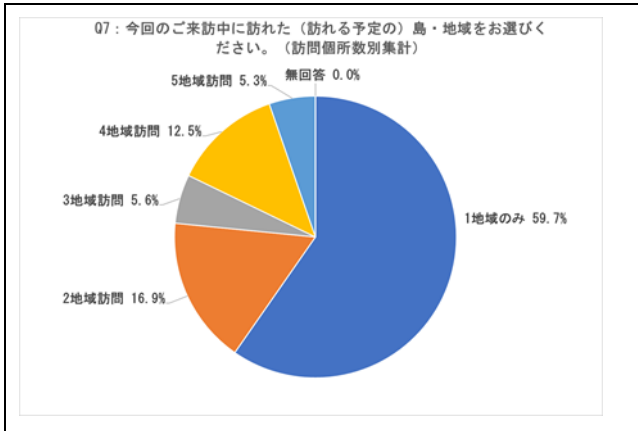


群島内訪問先としては、徳之島だけでなく、奄美大島、沖永良部島にも宿泊していることが伺われる。

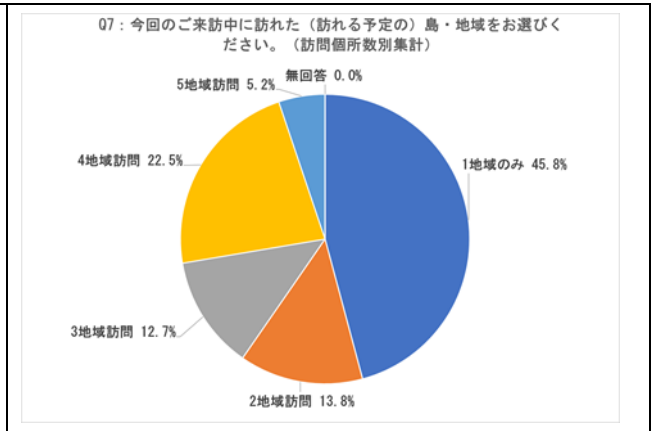
13. 訪問箇所数

(Q7 今回のご来訪中に訪れた(訪れる予定の)島・地域をお選びください。)

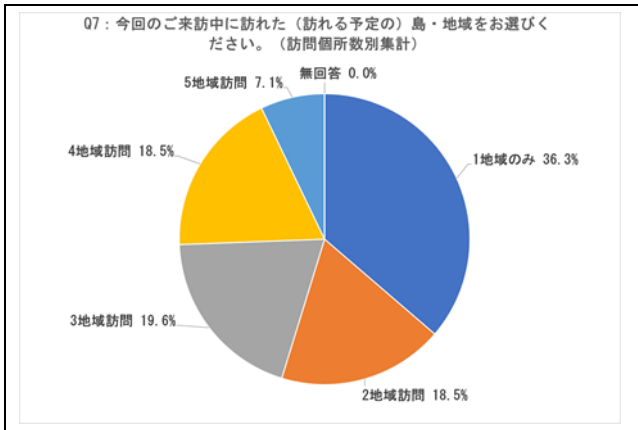
H29(2017)



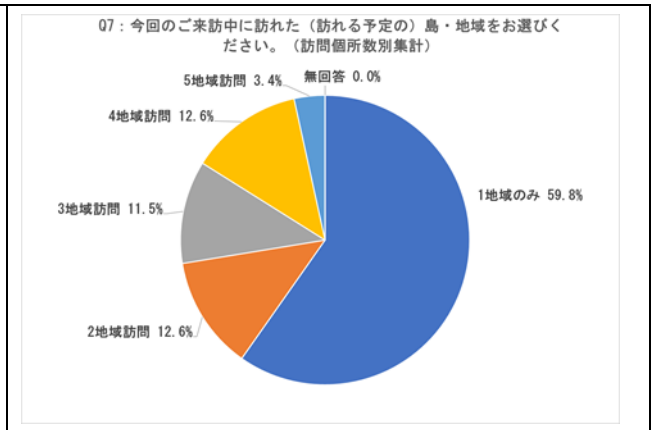
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



訪問箇所数としては、徳之島だけの1地域が一番多いが、複数地域の割合も多い。

14. 印象場所、印象特産物・料理等

(Q8 今回の来訪で最も印象に残った場所(観光地等)を3つお答えください。)

(Q9 今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください。)

Q8

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	犬の門蓋(インノジョウフタ)	49	15.31%
2	犬田布岬	47	14.69%
3	ムシロ瀬	39	12.19%
4	畦プリンスビーチ	19	5.94%
5	与名間ビーチ	14	4.38%

Q9

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	鶏飯	93	29.06%
2	黒糖焼酎	52	16.25%
3	黒糖	43	13.44%
4	油そうめん	28	8.75%
5	刺身	27	8.44%

H30(2018)	複数回答(記述回答)	数	%
1	犬の門蓋(インノジョウフタ)	62	17.87%
2	犬田布岬	51	14.70%
3	ムシロ瀬	42	12.10%
4	与名間ビーチ	27	7.78%
5	昇竜洞	22	6.34%

H30(2018)	複数回答(記述回答)	数	%
1	鶏飯	93	26.80%
2	黒糖焼酎	71	20.46%
3	黒糖	48	13.83%
4	油そうめん	28	8.07%
5	刺身	16	4.61%

R1(2109)	複数回答（記述回答）	数	%
1	昇竜洞	22	13.10%
2	犬田布岬	21	12.50%
3	犬の門蓋(インノジョウフタ)	18	10.71%
4	ウンブキ	15	8.93%
5	ムシロ瀬	13	7.74%

R1(2109)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	43	25.75%
2	黒糖焼酎	32	19.16%
3	黒糖	18	10.78%
4	きくらげ	17	10.18%
5	刺身	11	6.59%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	犬田布岬	14	16.09%
2	犬の門蓋(インノジョウフタ)	12	13.79%
3	昇竜洞	7	8.05%
4	与名間ビーチ	7	8.05%
5	ムシロ瀬	6	6.90%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	21	24.14%
2	黒糖焼酎	13	14.94%
3	黒糖	9	10.34%
4	島おにぎり	5	5.75%
5	たんかん	5	5.75%

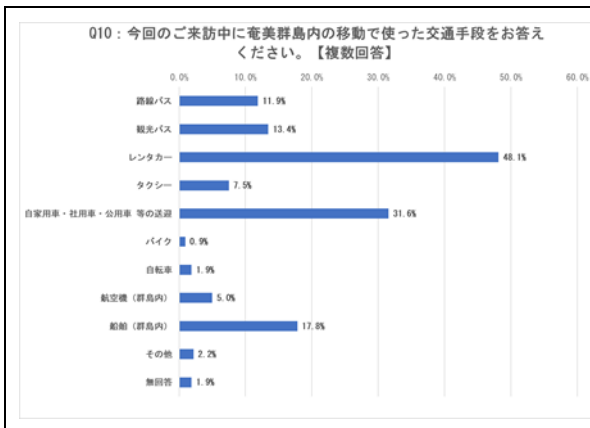
印象に残った場所としては、徳之島としては、犬田布岬、犬の門蓋、ムシロ瀬が人気といえる。それ以外では、与名間ビーチがある。島外の昇竜洞もあがっている。

印象に残った特産物・料理等としては、奄美に共通のものが多いが、鶏飯、黒糖焼酎、黒糖は定番となっている。

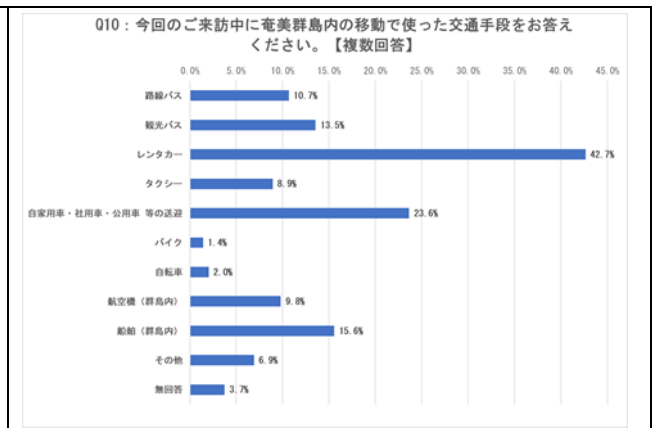
15. 群島内交通手段

(Q10 今回のご来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください。【複数回答】)

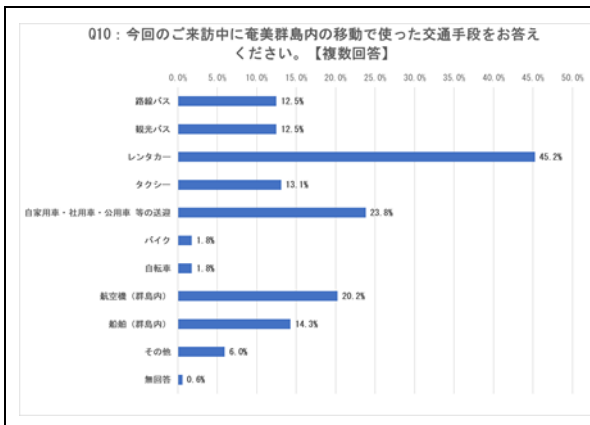
H29(2017)



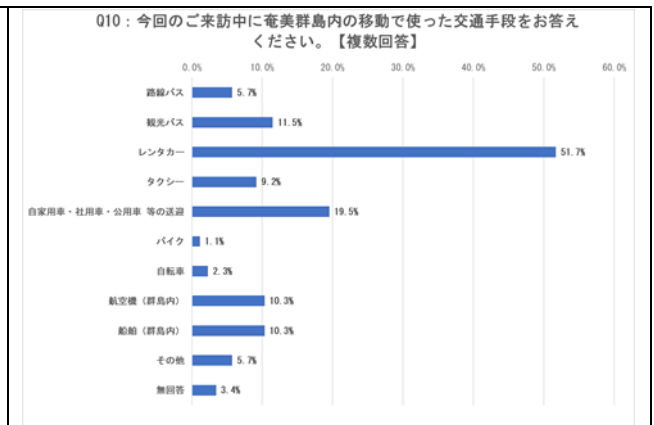
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



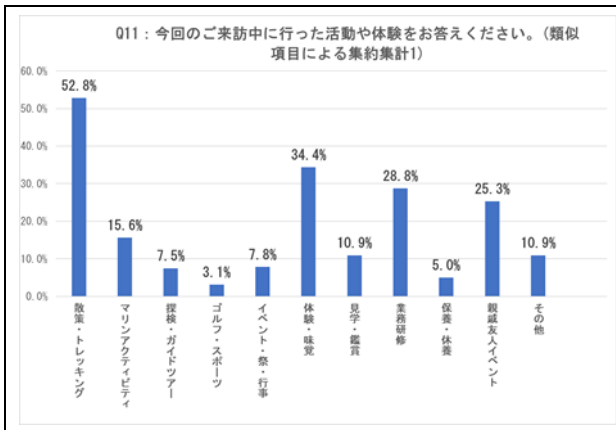
群島内交通手段としては、もちろんレンタカーが多いが、自家用車・社用車・公用車等も多い。また観光バスも多い。

16. 活動・体験

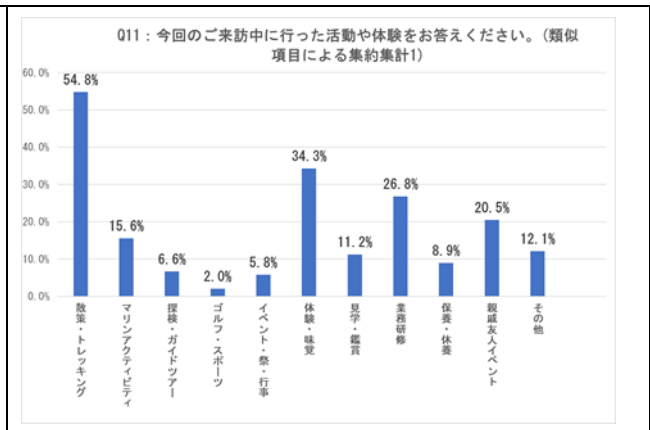
(Q11 今回のご来訪中に行った活動や体験をお答えください。)

※集約集計（類似項目別）

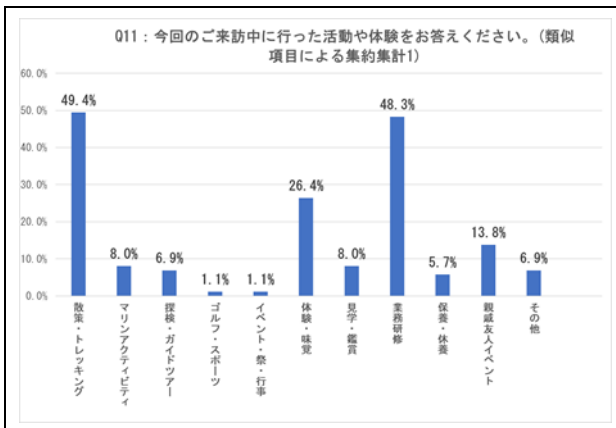
H29(2017)



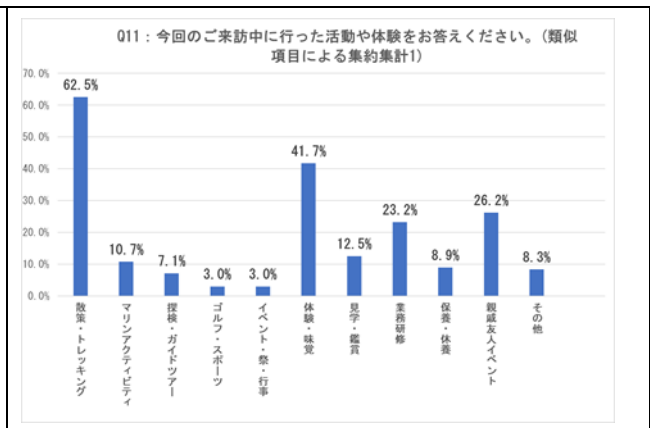
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



活動・体験については、設問をカテゴリーで集約したものを掲載する。

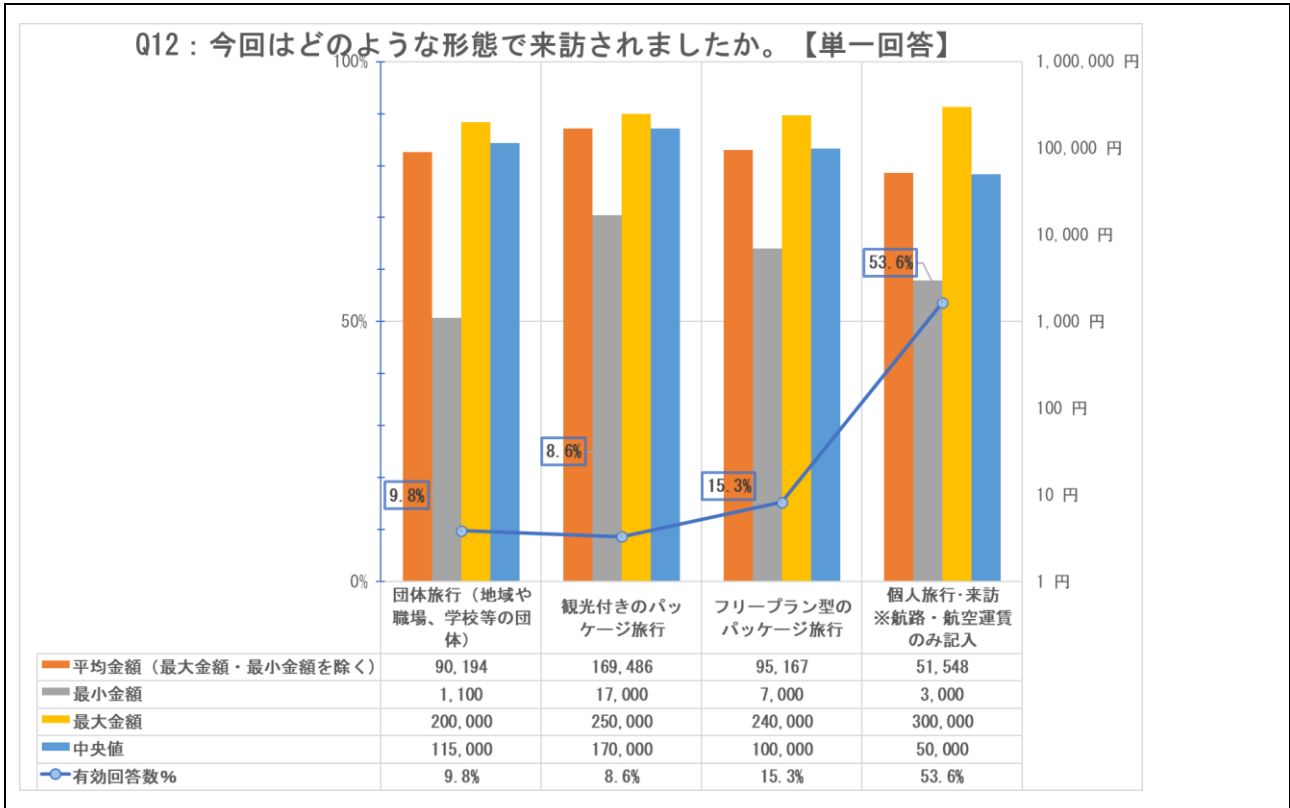
一番多いのは、「散策・トレッキング」であり、次に「体験・味覚」である。ビジネス目的で、「業務研修」も一定程度の数字となっており、2019 はかなり多くなっている。

17. 渡航形態と費用

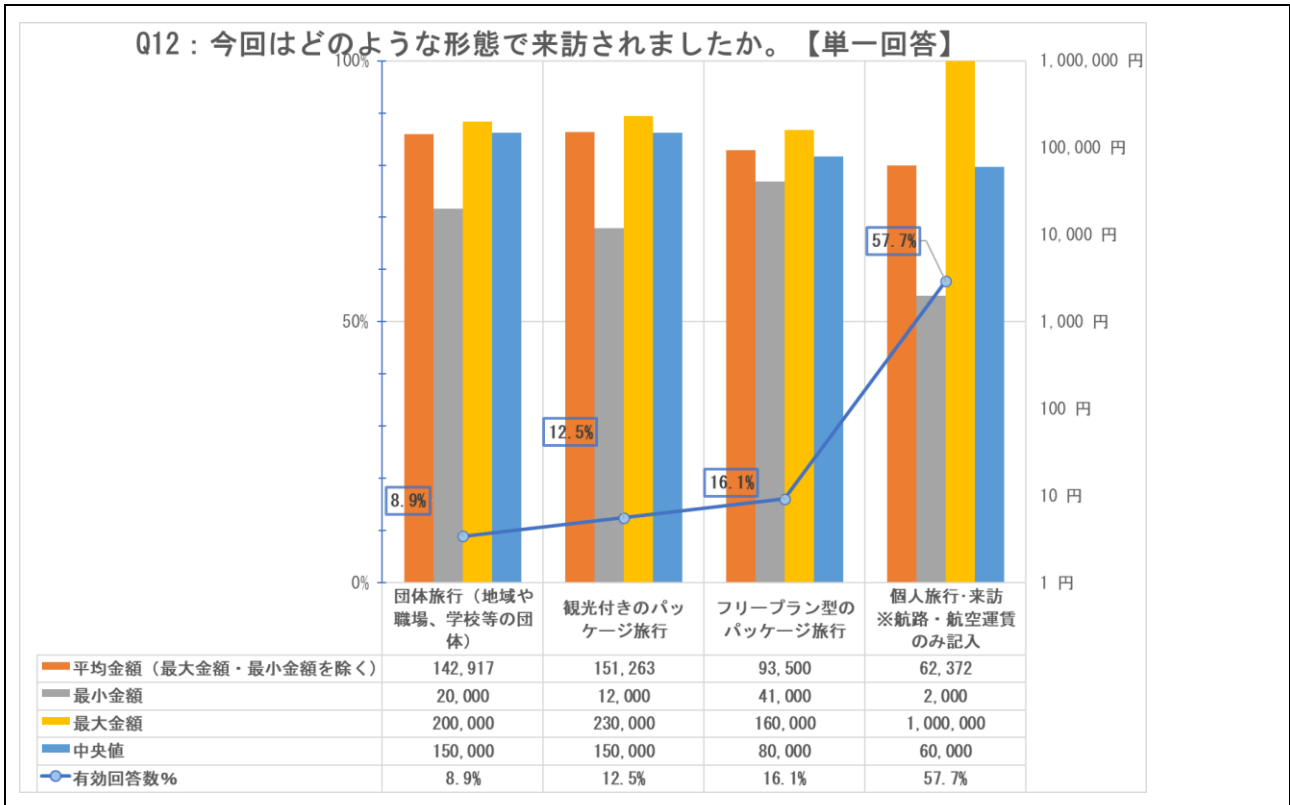
(Q12 今回どのような形態で来訪されましたか。)

傾向は同じなので、H30(2018)とR1(2019)を取り上げる。

H30(2018)



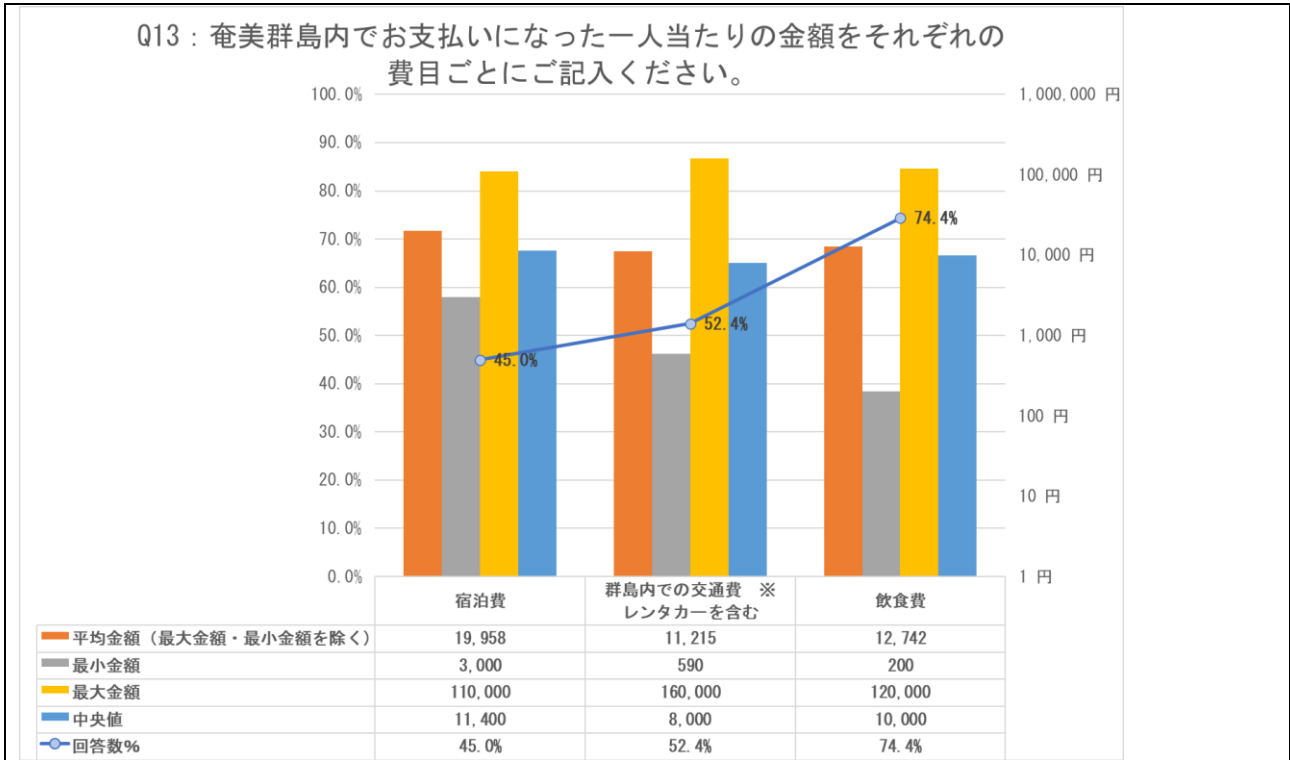
R1(2019)



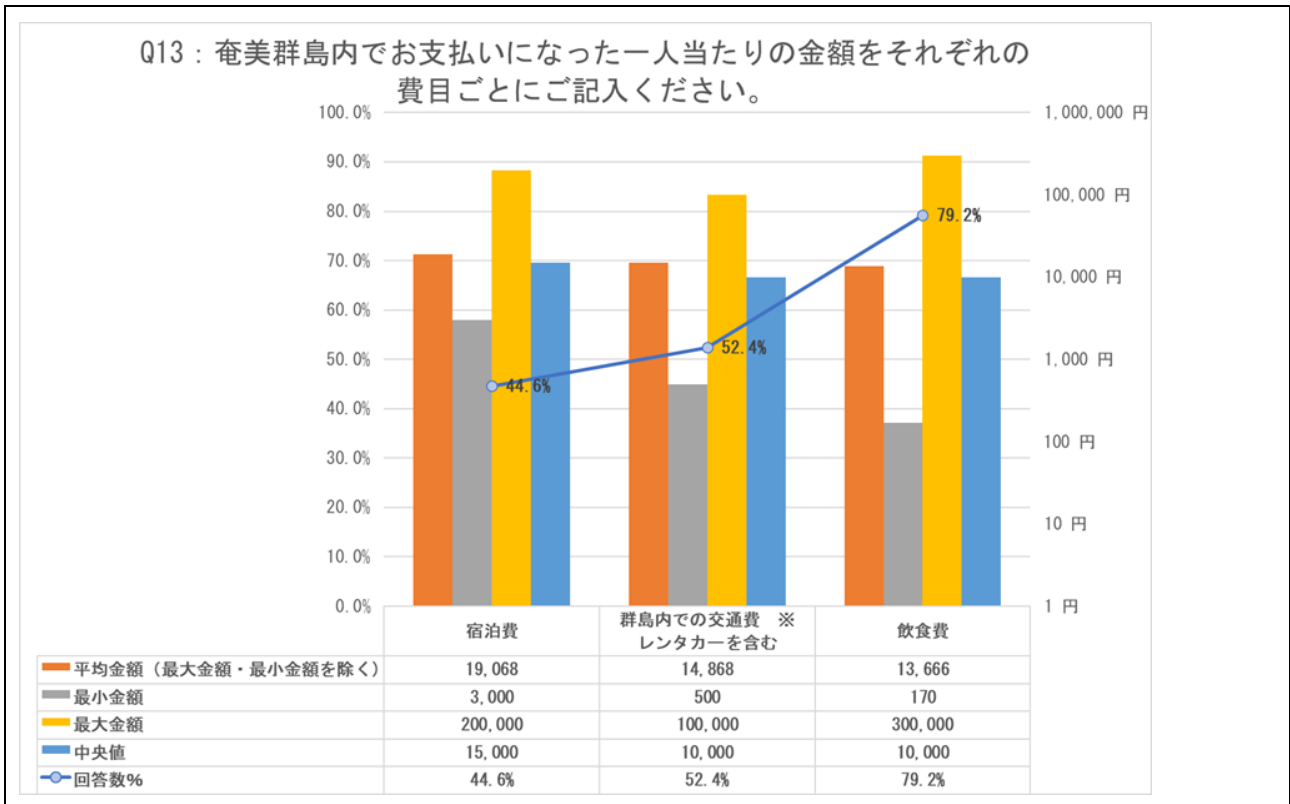
18. 滞在費用

(Q13 奄美群島内でお支払いになった一人当たりの金額をそれぞれの費目ごとにご記入ください。)

H30(2018)



R1(2019)



滞在費用は、宿泊費で1.3万円程度、交通費約9千円、飲食費で1万円となっている。しかし、人によってばらつきがあり、多い人は、交通費16万円、飲食費で30万円と多い。

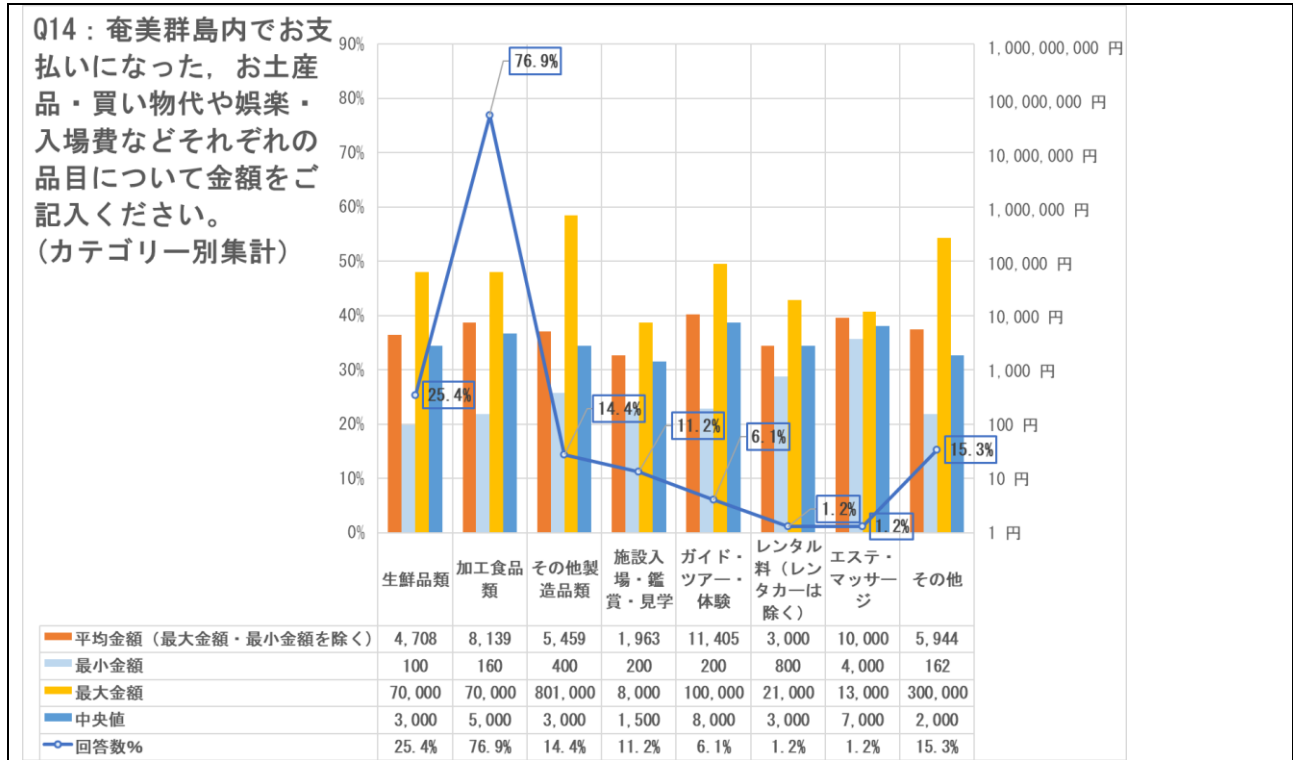
19. 活動・購買費用

(Q14 奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。)

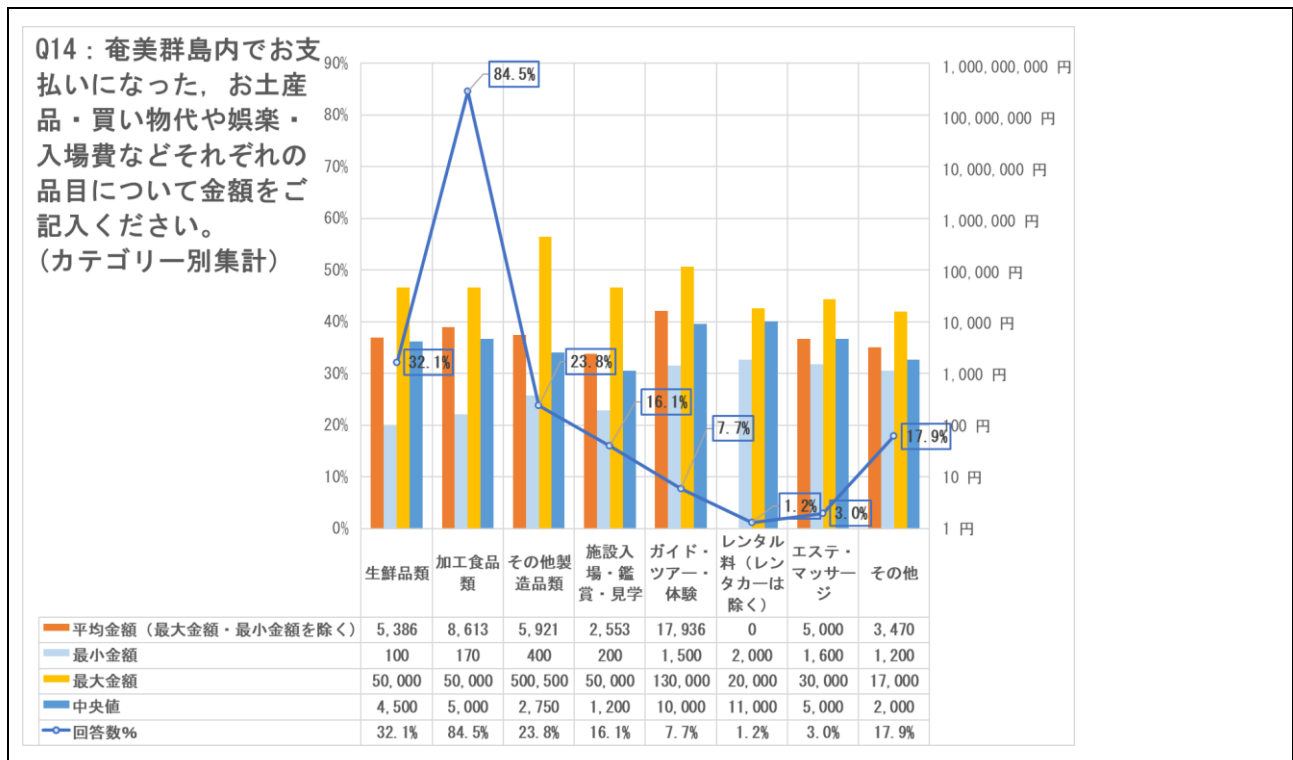
活動・購買費用については、カテゴリー別でまとめた図を掲載する。

※集約集計 (カテゴリー別)

H30(2018)

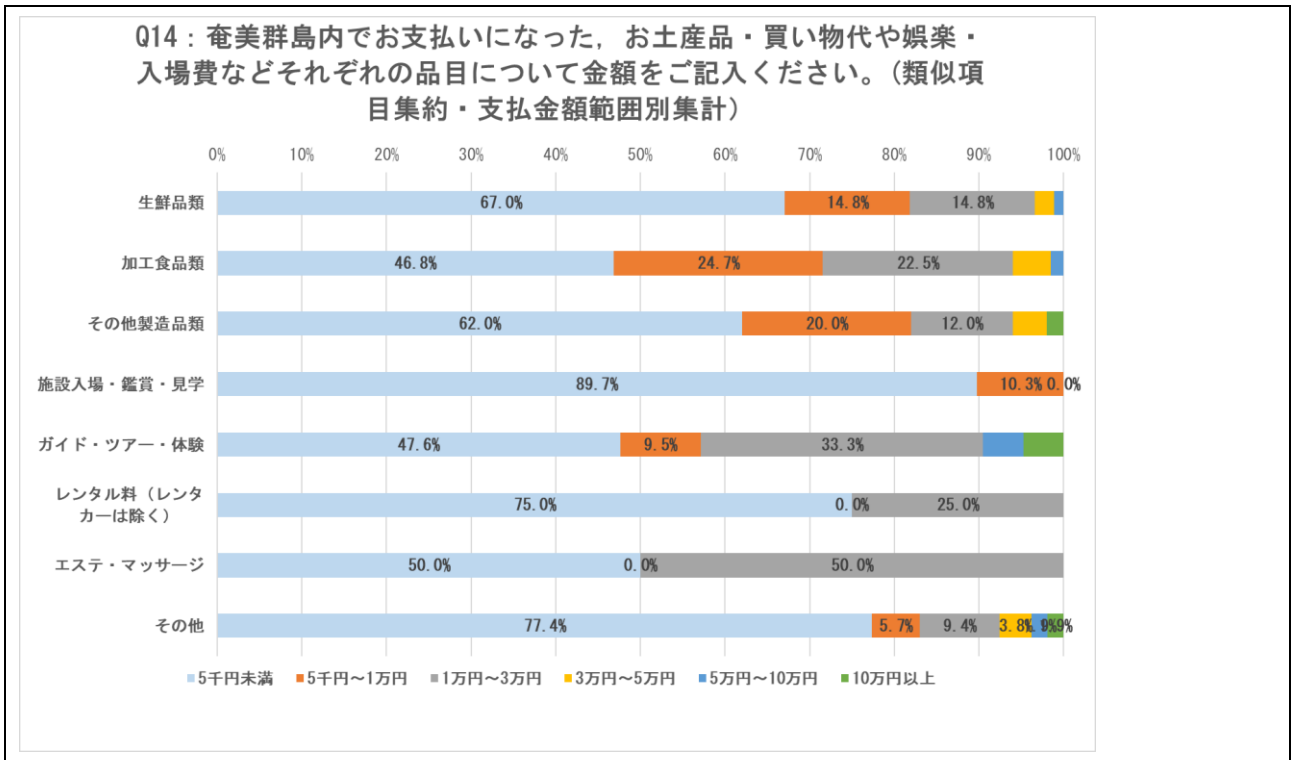


R1(2019)

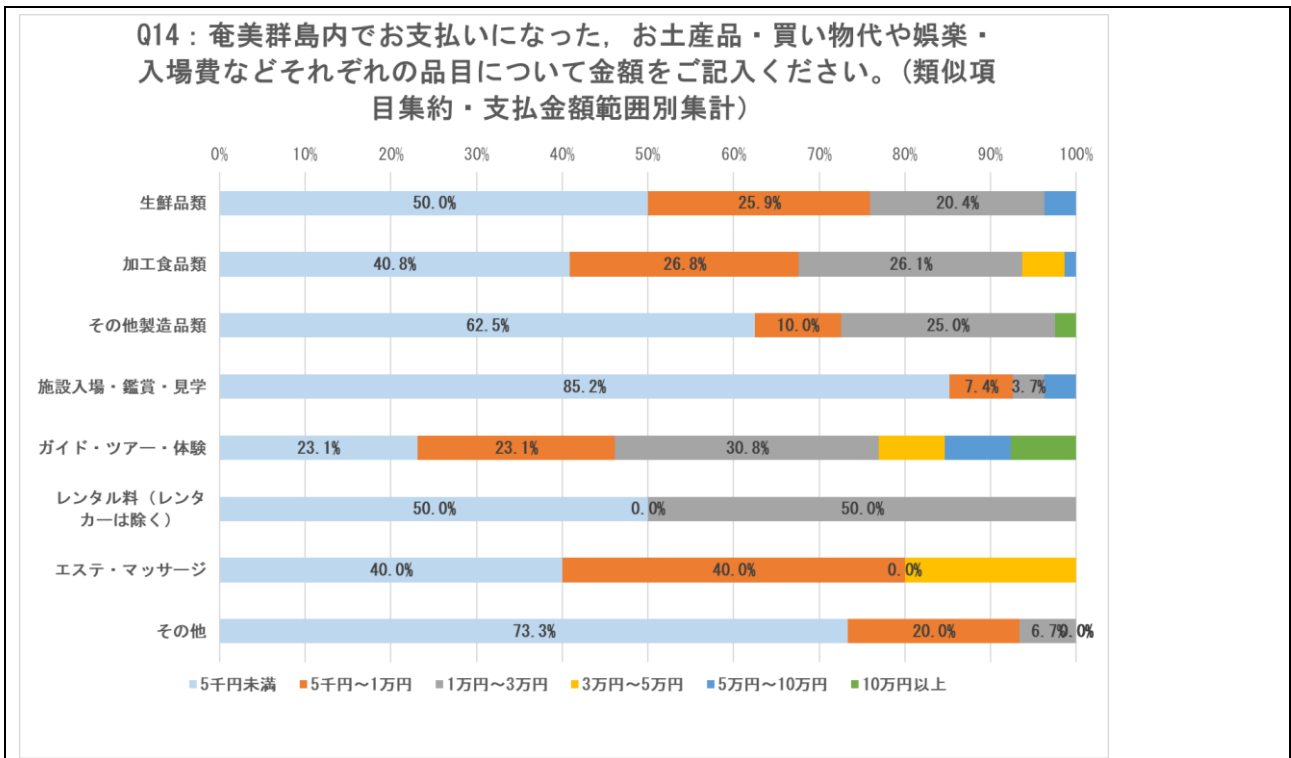


※集約集計（類似項目・支払金額範囲別）

H30(2018)



R1(2019)



高額な消費をされる方もいるが、多くは、数千円規模の消費となっている。しかしその中でも、「ガイドツアー・体験」は、単価が高いので、別格と考えられる。

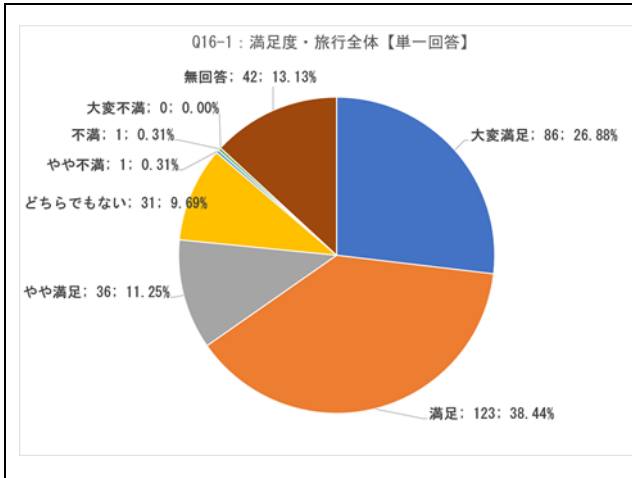
Q15のSNSについては、海の風景が多い。あるいは、同規模で投稿しない、となっている。

20. 満足度

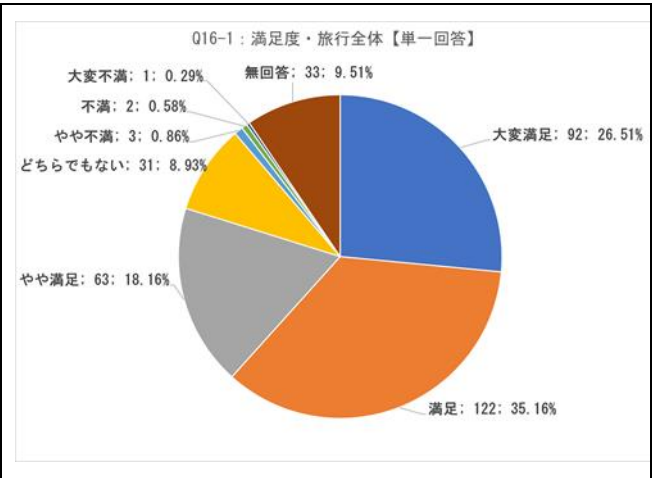
(Q16 今回のご来訪の満足度をお答えください。)

旅行全体

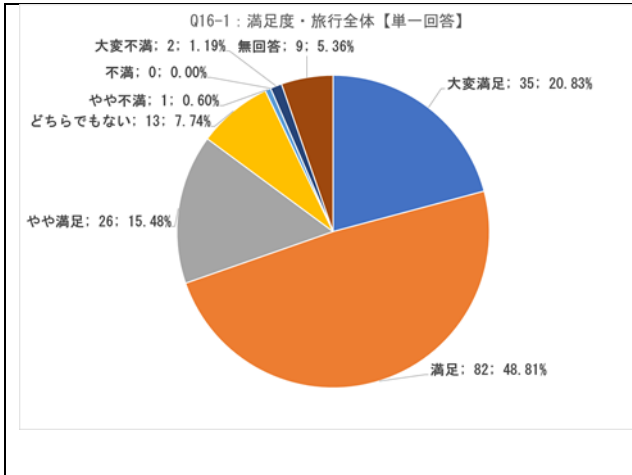
H29 (2017)



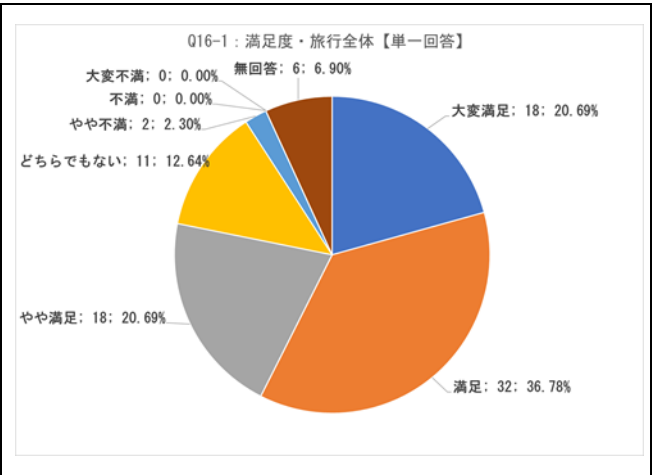
H30 (2018)



R1 (2019)



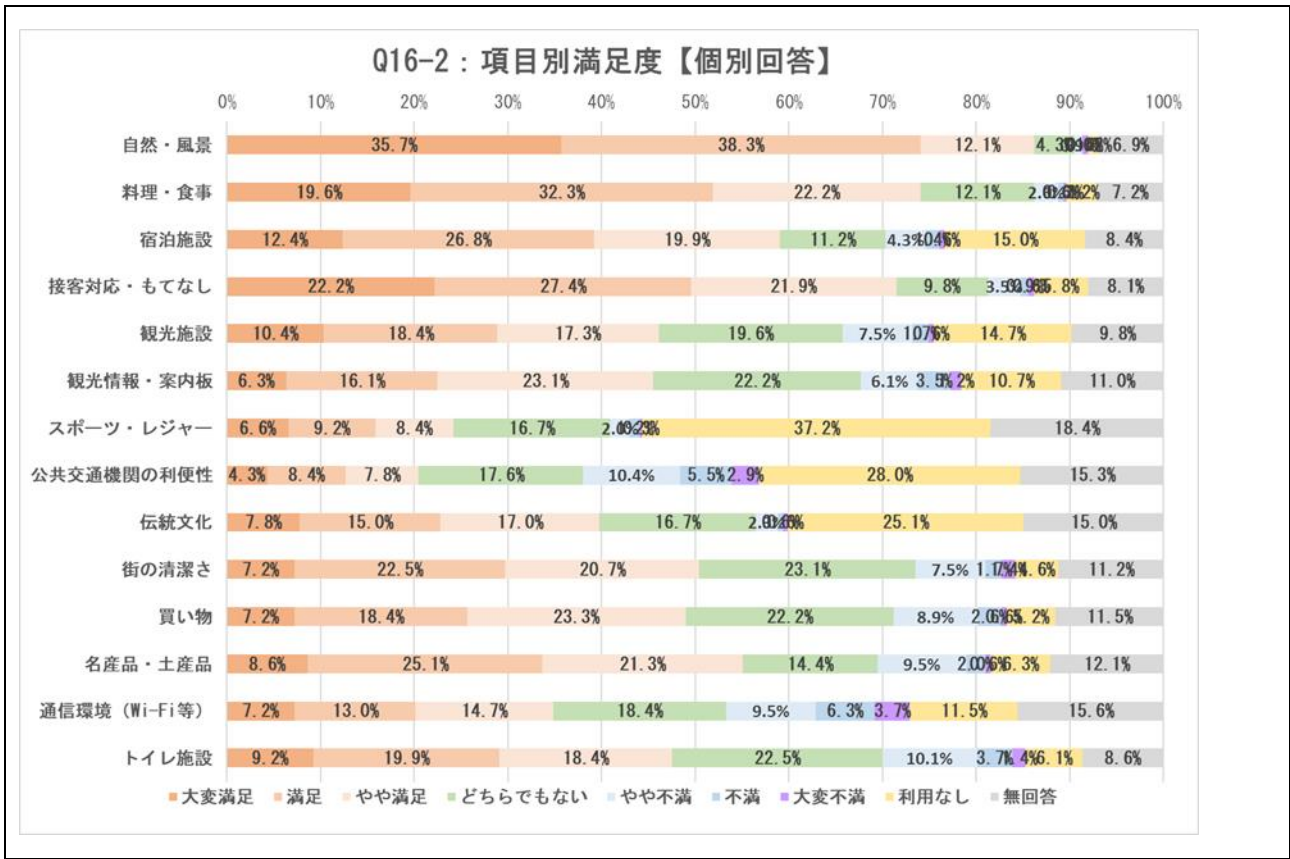
R2 (2020)



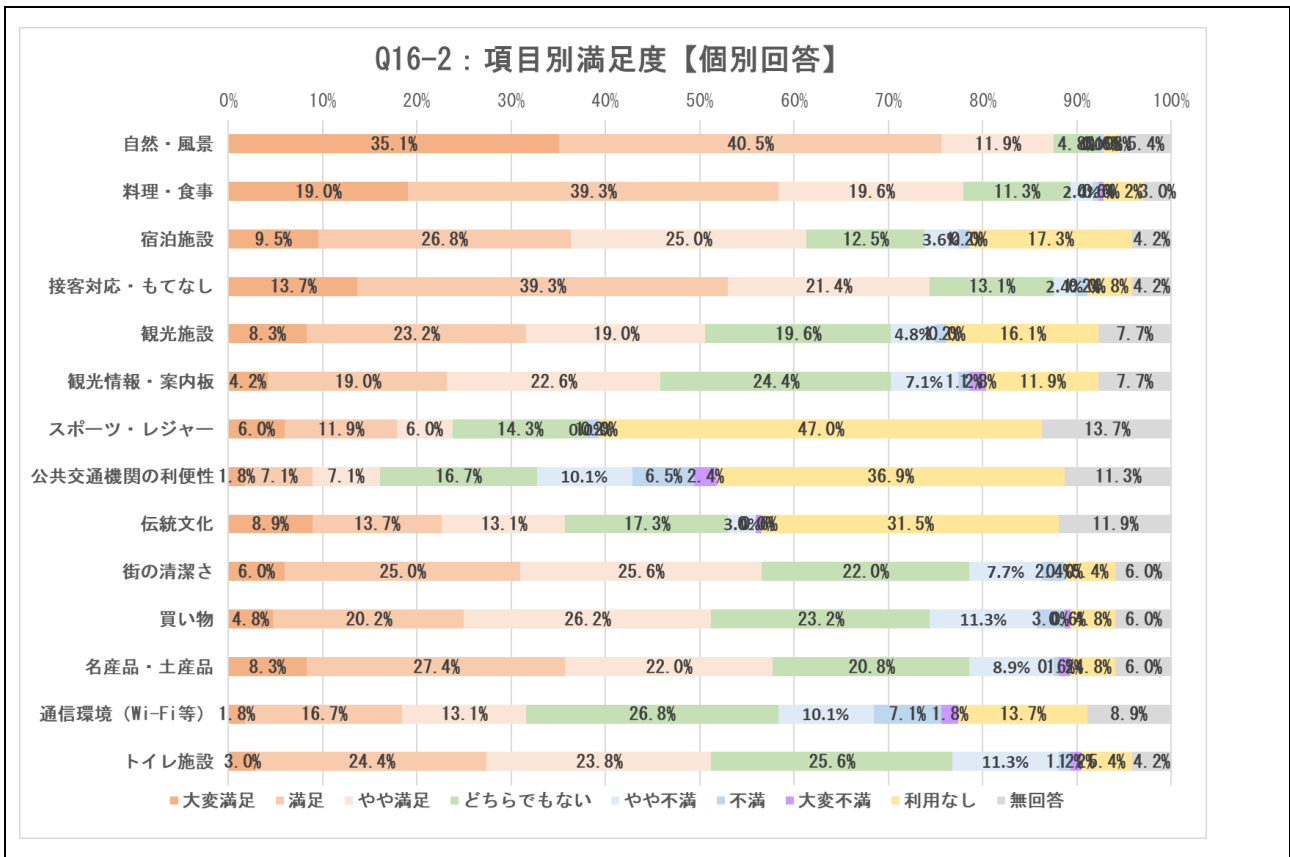
徳之島の満足度も、高いが、大変満足がやや低く、全体としての評価も低めである。

項目別

H30(2018)



R1(2019)



徳之島でも自然・風景や料理・食事への満足度は、非常に高い。宿泊施設やもてなしも同様である。

—徳之島—

しかしながら、交通の利便性、通信環境（Wi-Fi等）は、不満が多い。

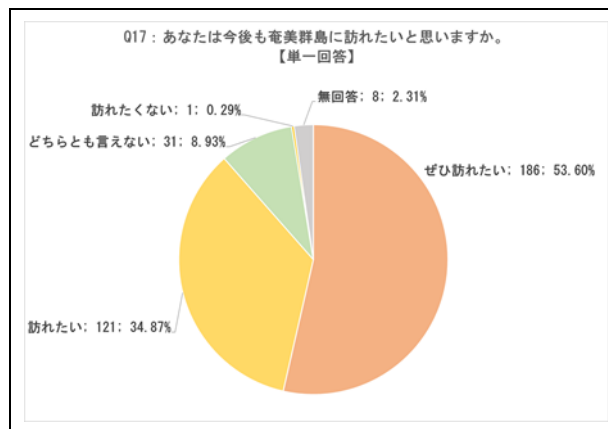
旅行全体および項目別を7段階評価（大変満足：7、満足：6、やや満足：5、どちらでもない：4、やや不満：3、不満：2、大変不満：1、利用なし：0）で、平均評価を求めると、次のようになった。

徳之島 換算点数に基づく平均評価				
項目の満足度	2017年	2018年	2019年	2020年
0 旅行全体	5.93	5.82	5.81	5.65
1 自然・風景	6.04	6.03	6.01	6.14
2 料理・食事	5.63	5.38	5.37	5.46
3 宿泊施設	4.73	4.46	4.34	4.96
4 接客対応・もてなし	5.30	5.23	5.22	5.51
5 観光施設	4.36	4.15	4.21	4.57
6 観光情報・案内板	4.24	4.17	4.12	4.32
7 スポーツ・レジャー	2.95	2.69	2.34	3.28
8 公共交通機関の利便性	2.80	2.77	2.30	3.31
9 伝統文化	3.63	3.59	3.28	3.89
10 街の清潔さ	4.82	4.60	4.63	4.98
11 買い物	4.57	4.51	4.46	4.80
12 名産品・土産品	4.79	4.65	4.73	4.85
13 通信環境（Wi-Fi等）	3.66	3.80	3.64	4.50
14 トイレ施設	4.60	4.44	4.45	4.85

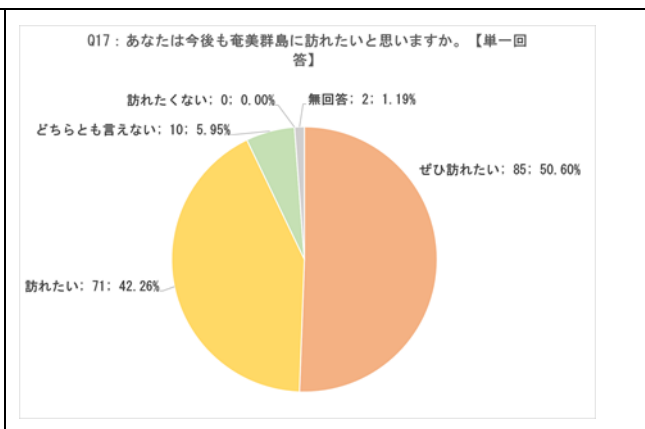
21. 再来訪意向

(Q17 あなたは今後も奄美群島に訪れたいと思いますか。)

H30(2018)

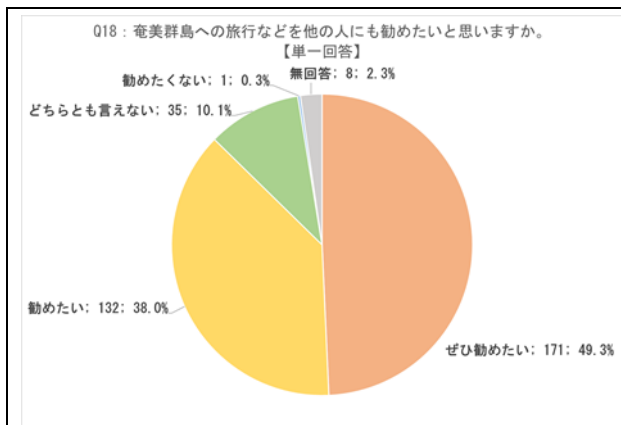


R1(2019)

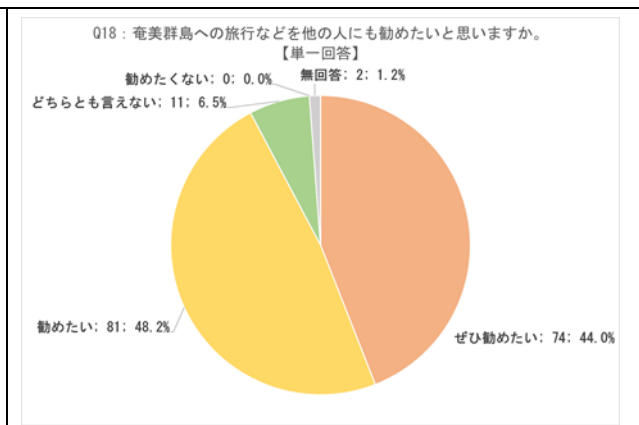


(Q18 奄美群島への旅行などを他の人にも勧めたいと思いますか。)

H30(2018)



R1(2019)



満足度や再来訪意向等は、極めて高いが、年によって多少変わるようだ。

22. 再来訪意向

(Q19 来訪者の方⇒今回の来訪をとおして感じたご意見等がございましたらお聞かせください。
居住者の方⇒奄美群島の観光について、ご意見等がございましたらお聞かせください。)

自由記述のため、省略(データ参照)。なお、内容の参考となる属性や消費金額、満足度を併記した。

H29(2017) 回答数 222

H30(2018) 回答数 217

R1(2019) 回答数 121

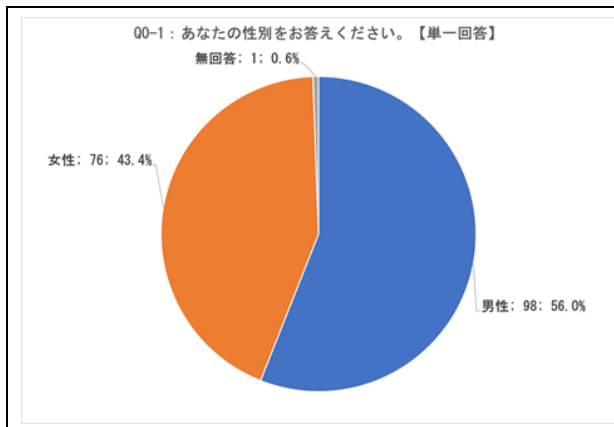
R2(2020) 回答数 55

4. 沖永良部島

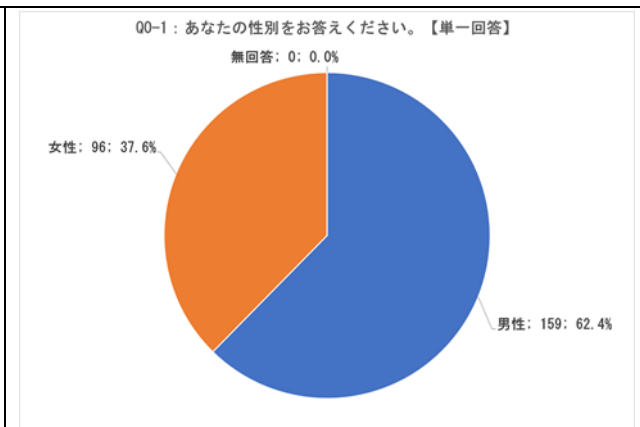
1. 回答者性別

(Q0-1 あなたの性別をお答えください。)

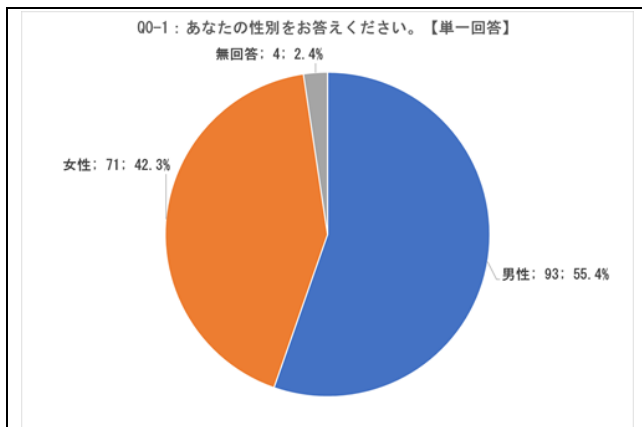
H29(2017)



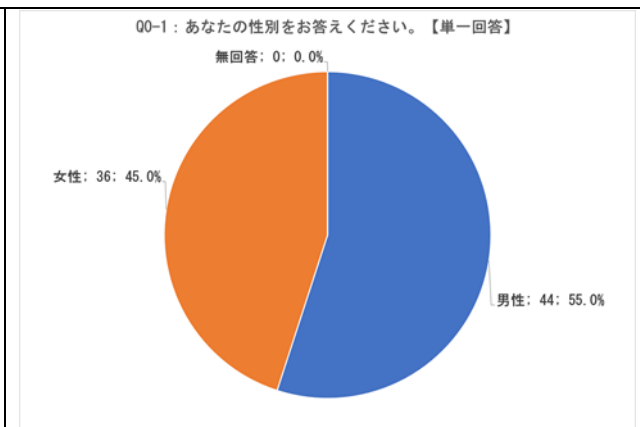
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)

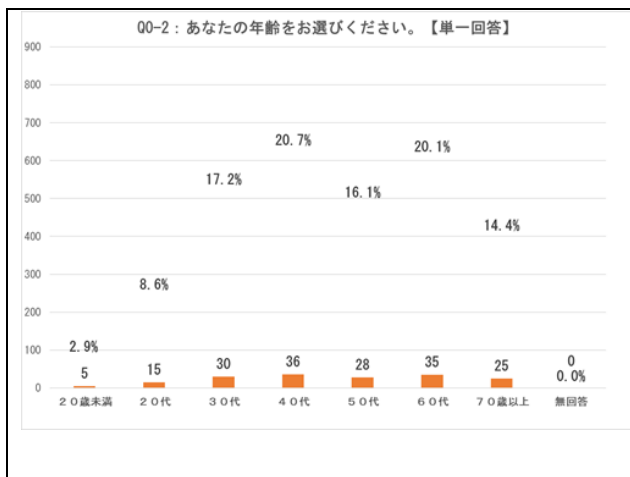


沖永良部島を来訪した回答者の性別では、女性よりも男性が少し多い。

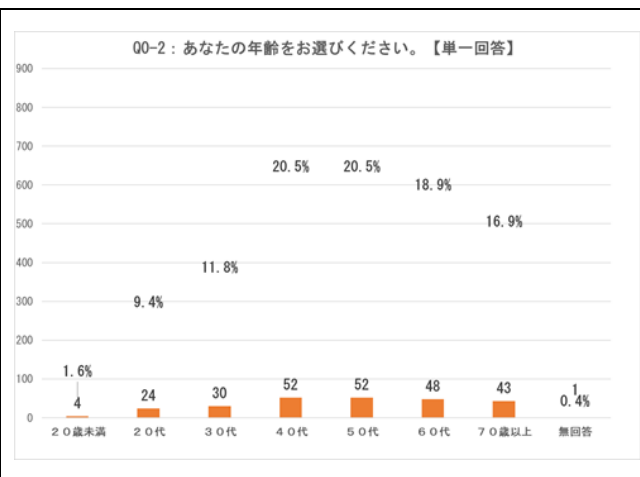
2. 回答者年齢

(Q0-2 あなたの年齢をお選びください。)

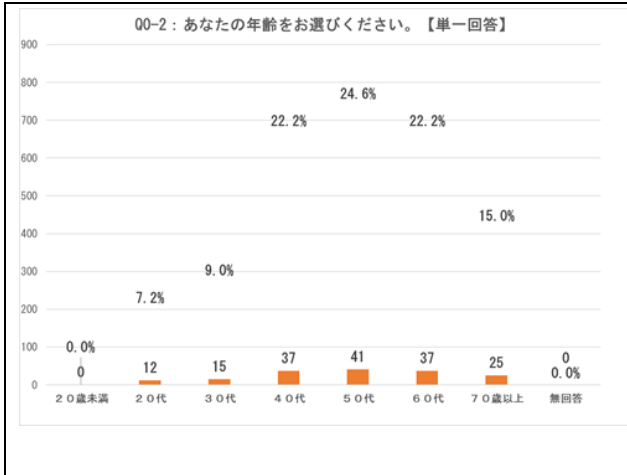
H29(2017)



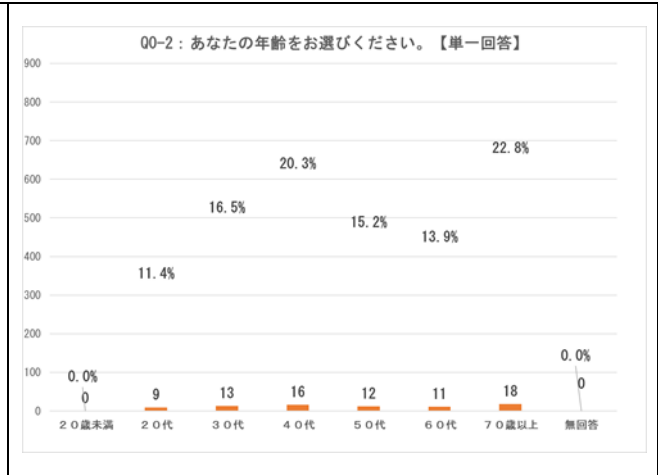
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

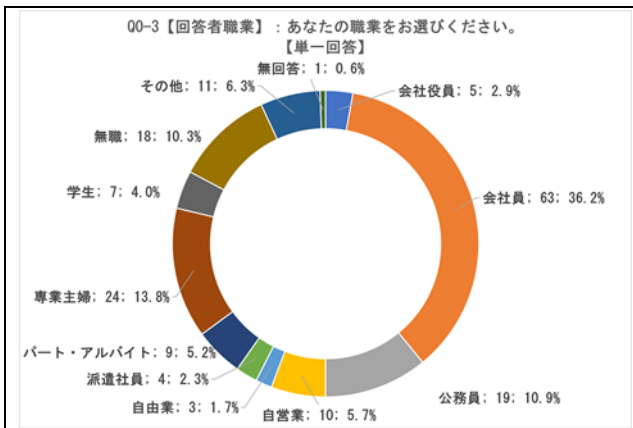


年齢については、40、50代が比較的多い。2020年に、70歳以上が一番多くなっているのは、コロナが関係しているかもしれない。

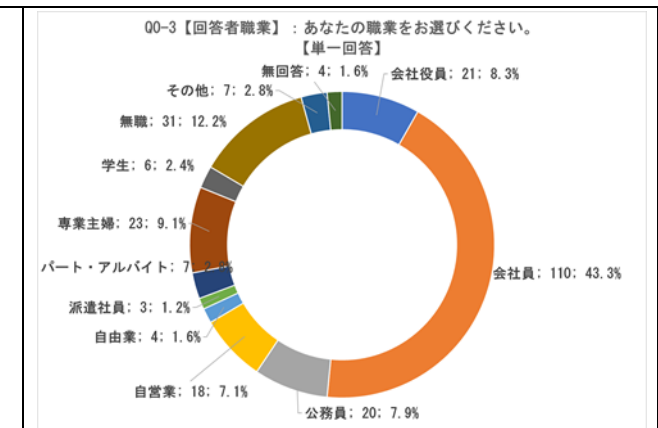
3. 回答者職業

(Q0-3 あなたの職業をお選びください。)

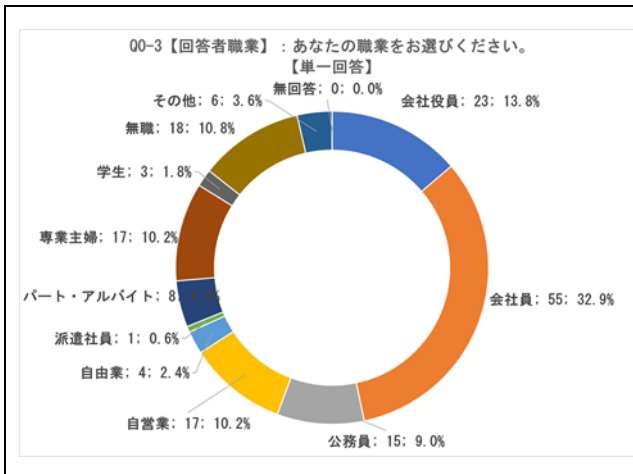
H29 (2017)



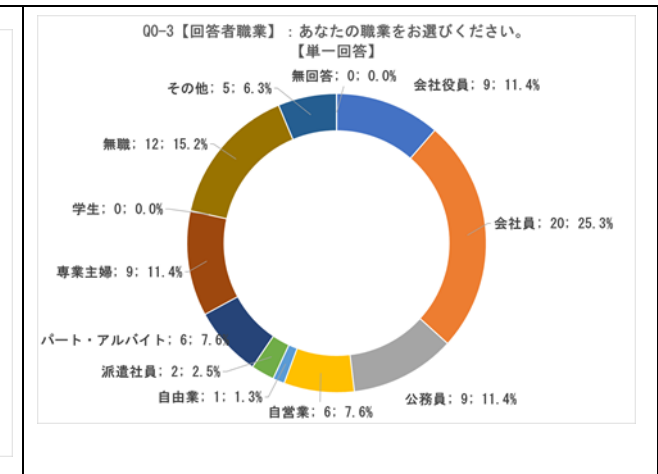
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



職業については、毎年ばらつきが大きい。会社員が常に多いが、年によっては公務員が多くなる年もある。主婦層が比較的多い。2020年は、無職が多くなっているが、コロナ禍で、70歳以上の方が割合と

—沖永良部島—

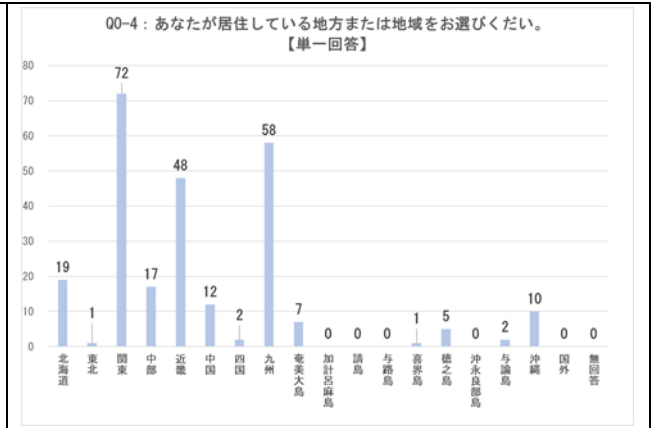
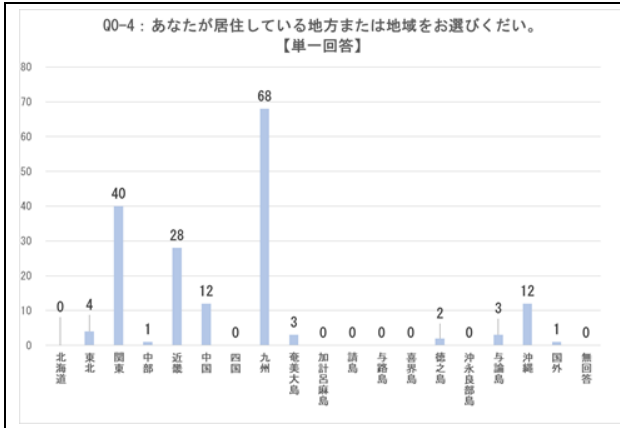
して増えているためと思われる。

4. 回答者居住地

(Q0-4 あなたが居住している地方または地域をお選びください。)

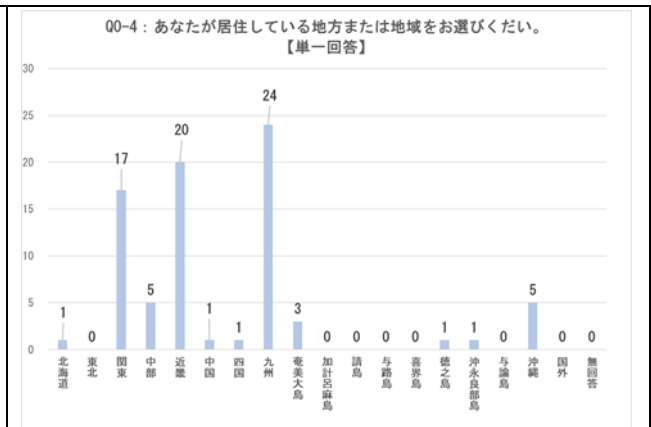
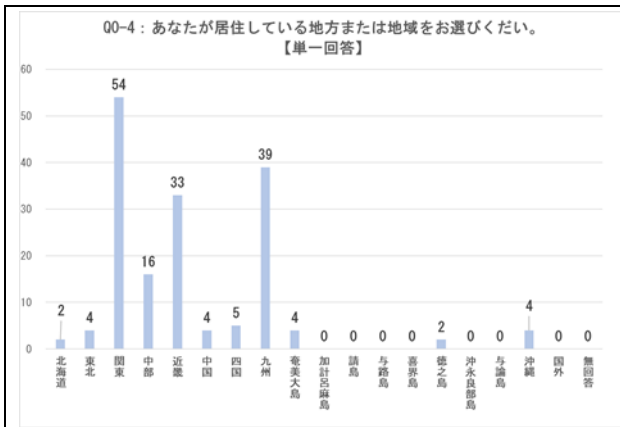
H29(2017)

H30(2018)



R1(2019)

R2(2020)



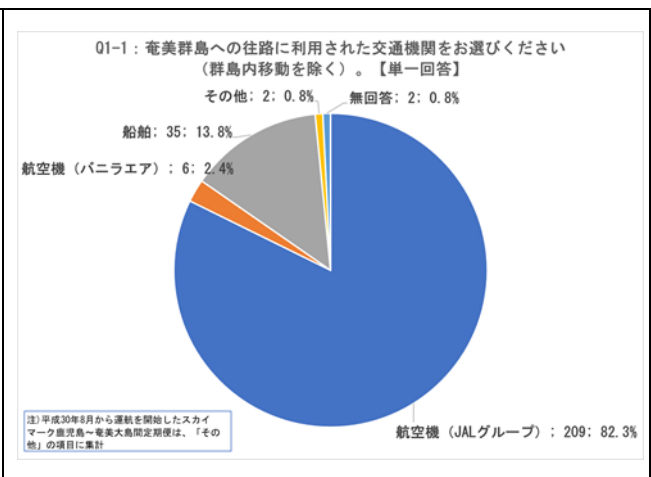
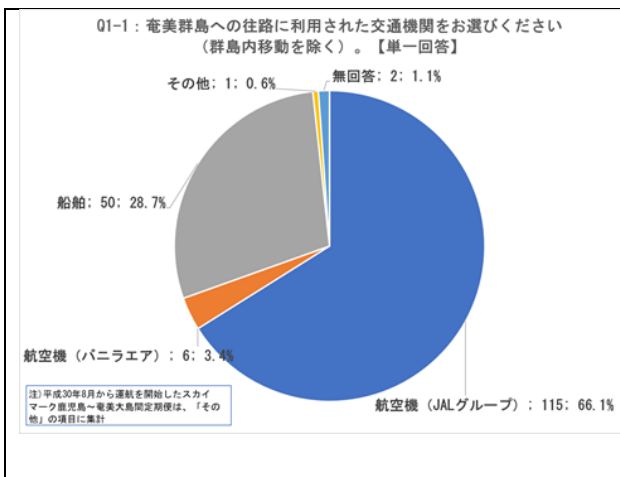
居住地については、年に応じて変化するが、関東が一番多い。次いで、九州となっている。

5. 往路交通手段

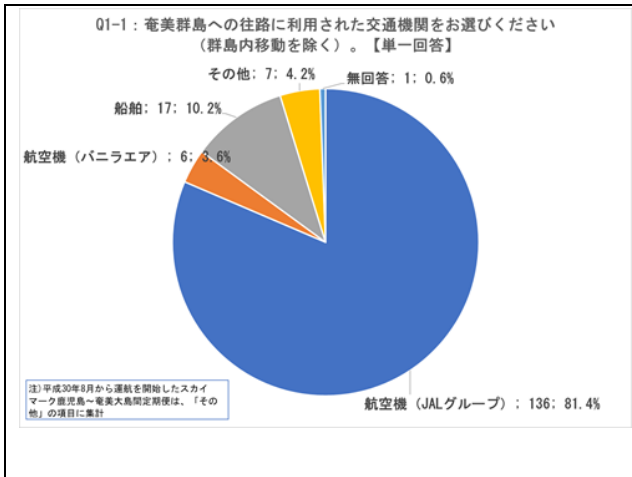
(Q1-1 奄美群島への往路に利用された交通機関をお選びください(群島内移動を除く。))

H29(2017)

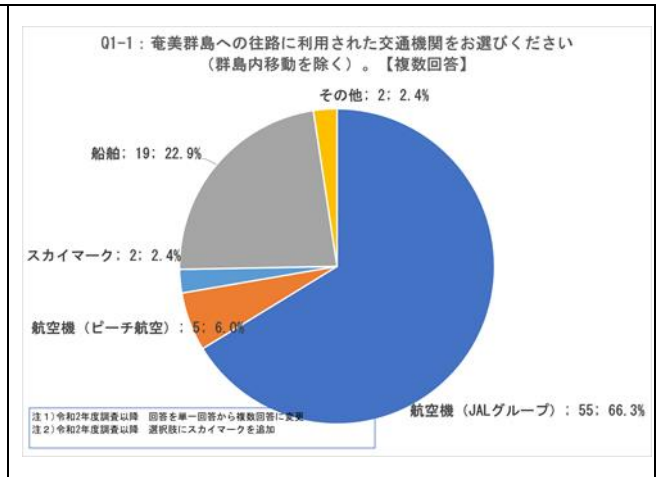
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

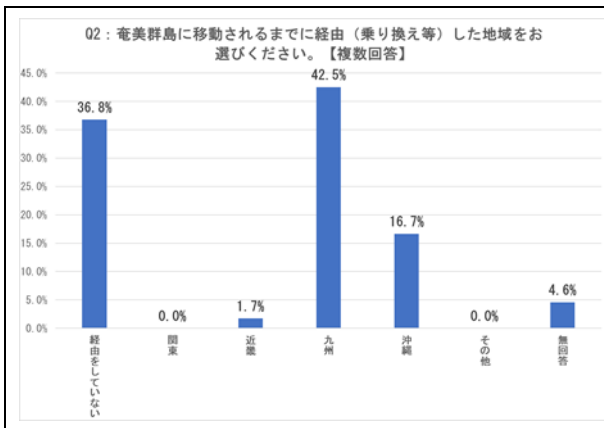


沖永良部島への交通手段としては、多くが飛行機であるが、船舶も年により割合が高くなる。なお、復路も同様である (図省略)。

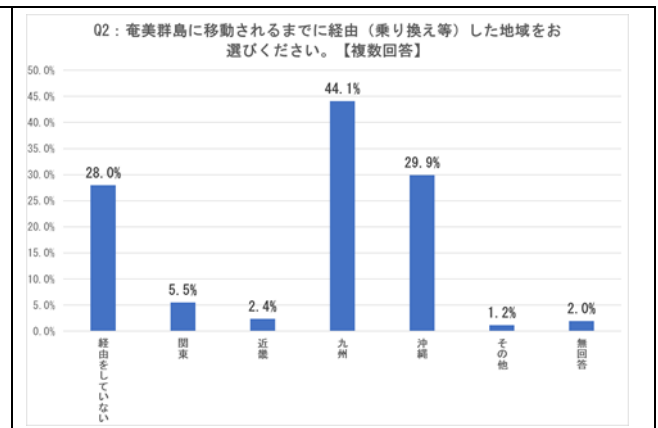
6. 渡航経由地

(Q2 奄美群島に移動されるまでに経由 (乗り換え等) した地域をお選びください。【複数回答】)

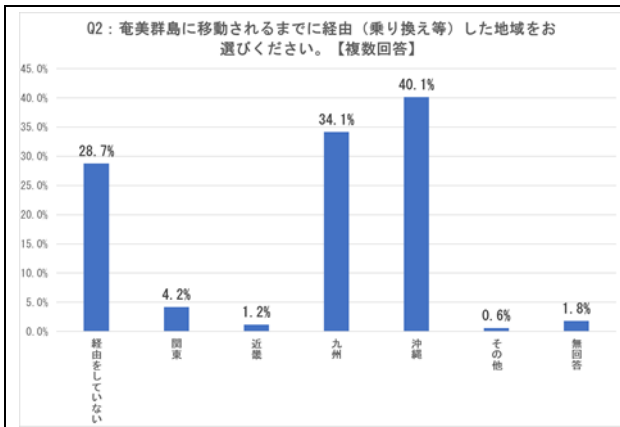
H29 (2017)



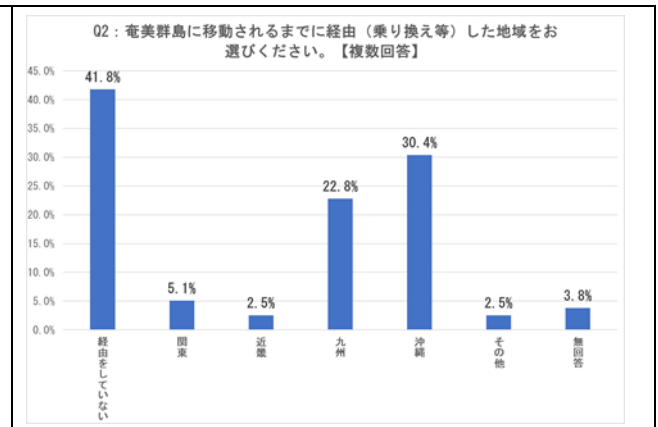
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

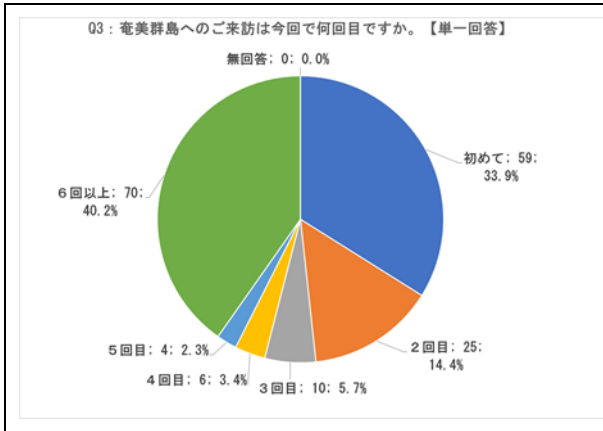


沖永良部島には、経由地で見ると、九州経由もしくは沖縄経由であり、経由なしは、九州、奄美、沖縄居住者ということになる。

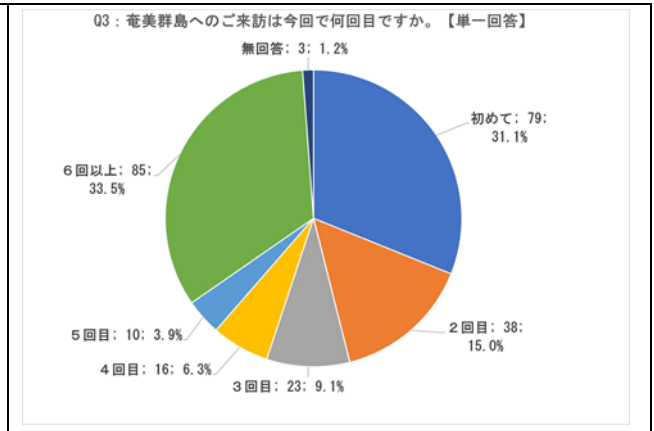
7. 来訪回数

(Q3 奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか。)

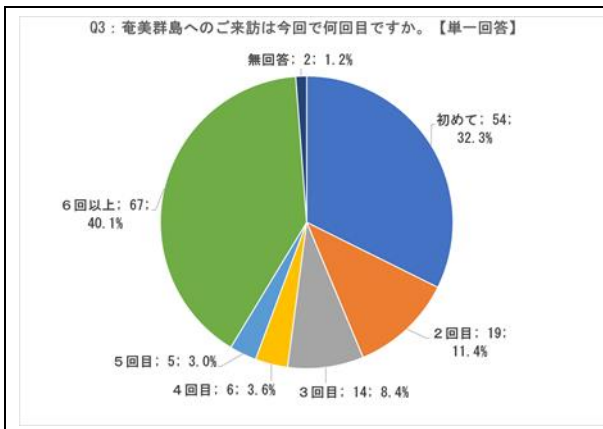
H29 (2017)



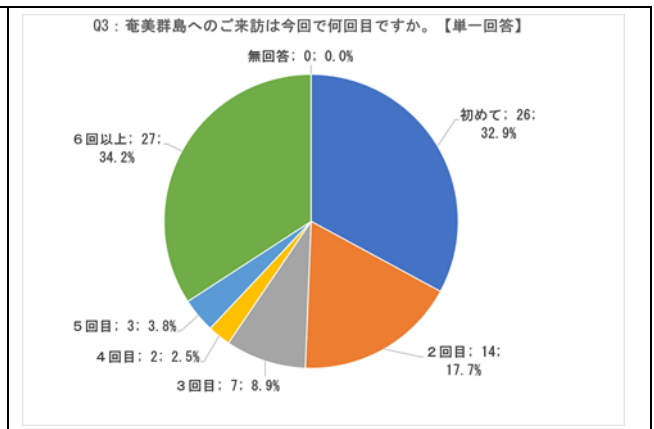
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

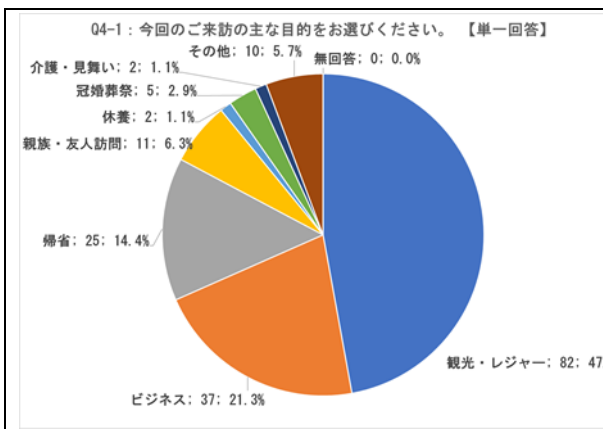


来訪回数としては、初めての人が1/3近くいる。そして、2回目も多い。6回以上のリピーターは、1/3以上となっている。

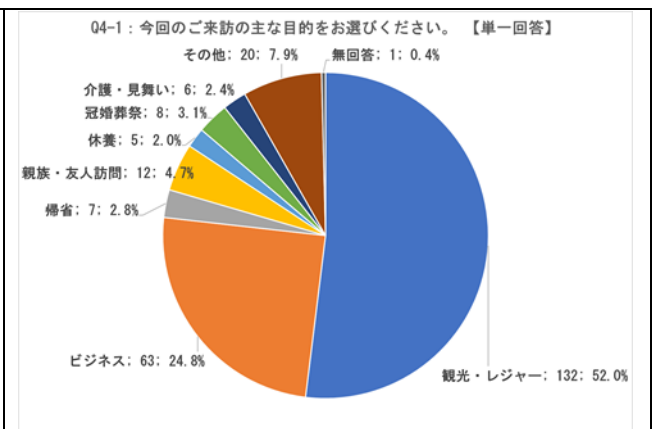
8. 来訪目的

(Q4-1 今回のご来訪の主な目的をお選びください。)

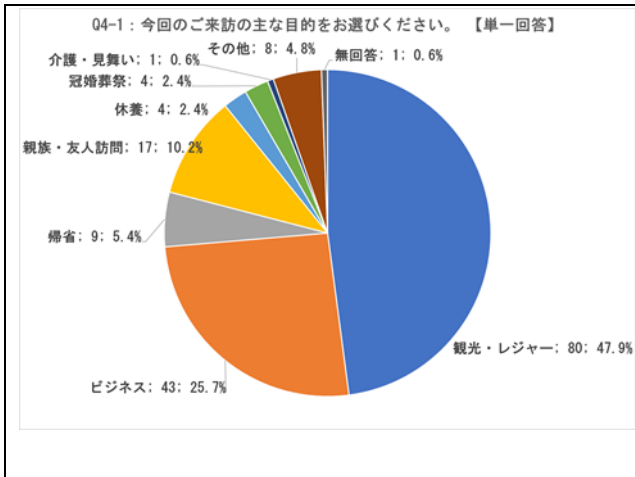
H29 (2017)



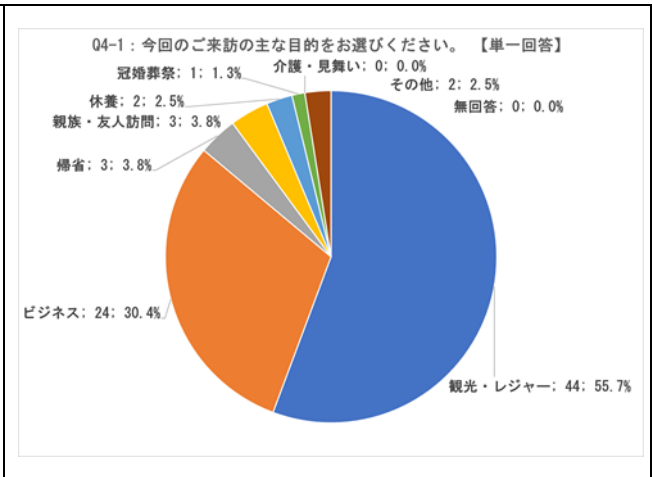
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

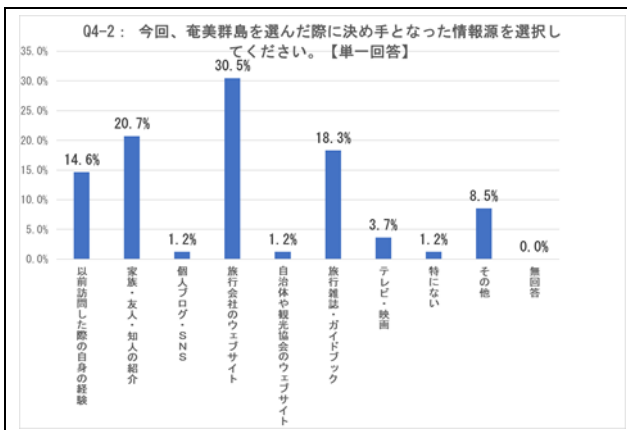


来訪目的は、半数が、「観光・レジャー」である。また、ビジネスも多く、1/4を占めている。

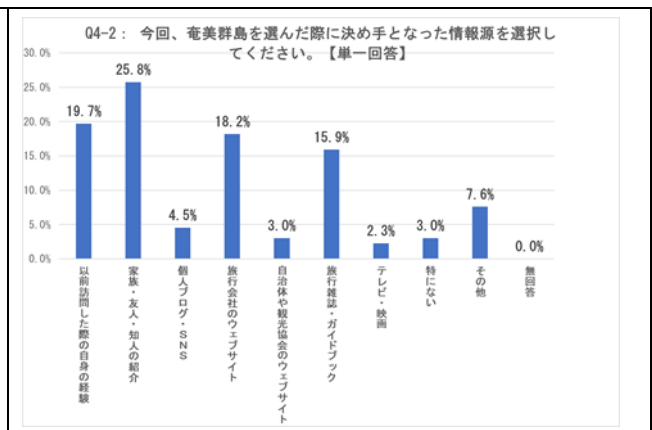
9. 情報源

(Q4-2 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください。)

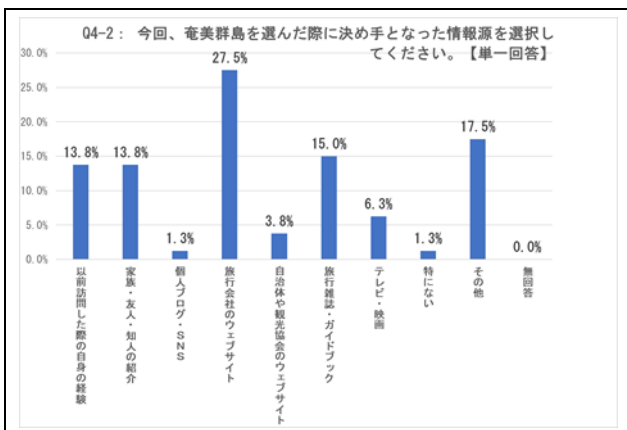
H29 (2017)



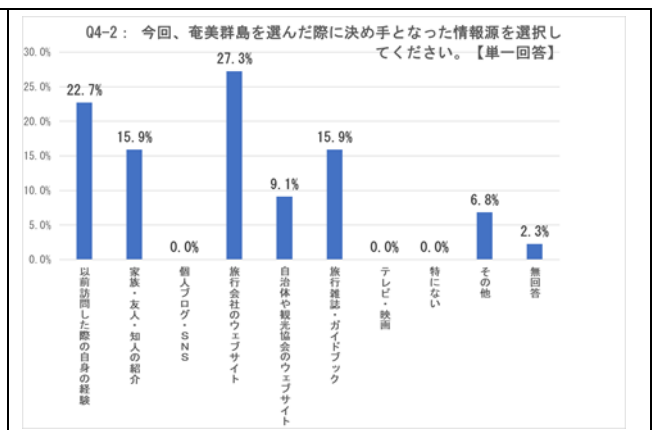
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

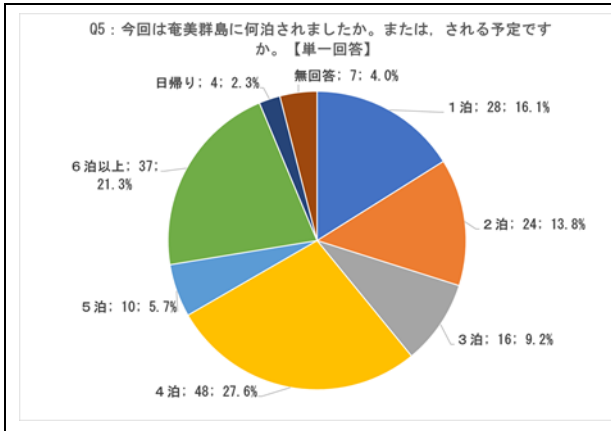


情報源としては、「家族・友人・知人の紹介」が多いが、観光・レジャー目的の場合は、「旅行会社のウェブサイト」を多く利用していることが伺われる。

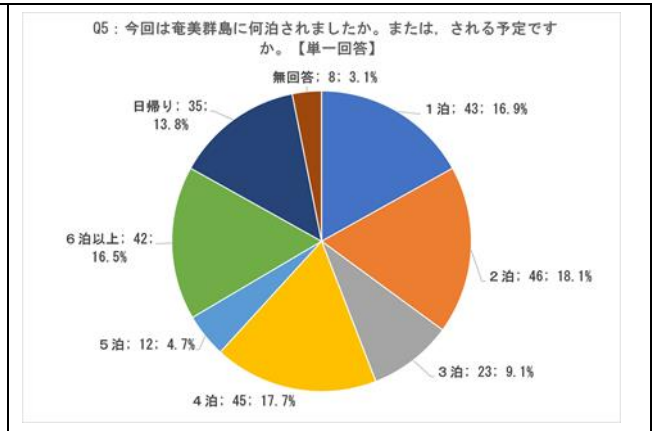
10. 宿泊日数

(Q5 今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか。)

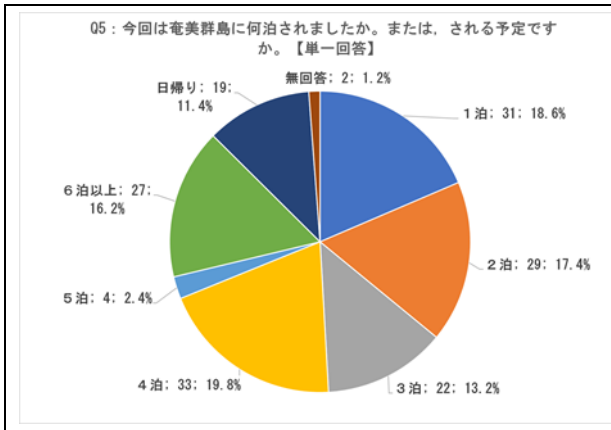
H29 (2017)



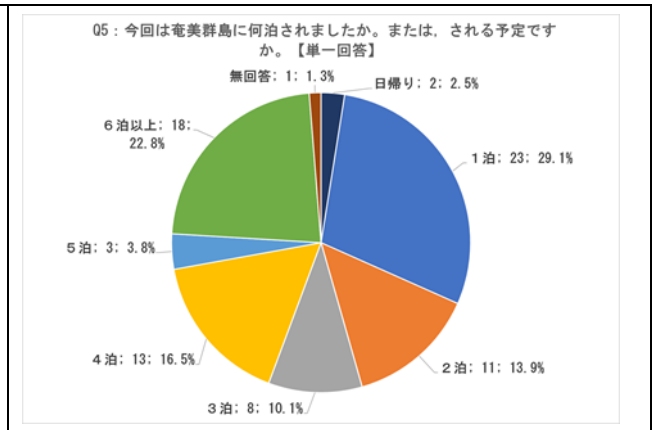
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

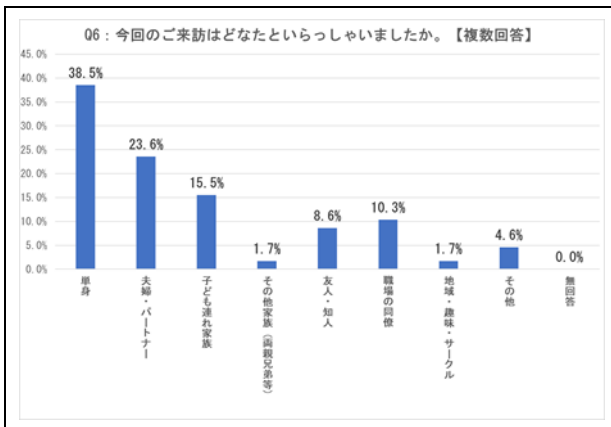


宿泊数については、まちまちである。4泊までは、それぞれ一定数ある。それ以上の長期滞在および日帰りは、ビジネスかもしれない。

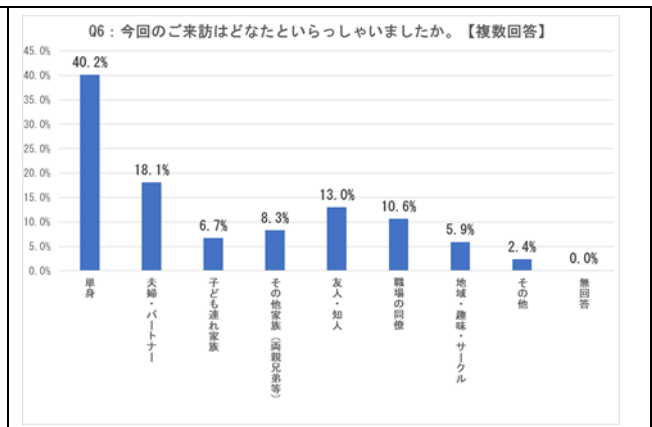
11. 同行者属性

(Q6 今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか。【複数回答】)

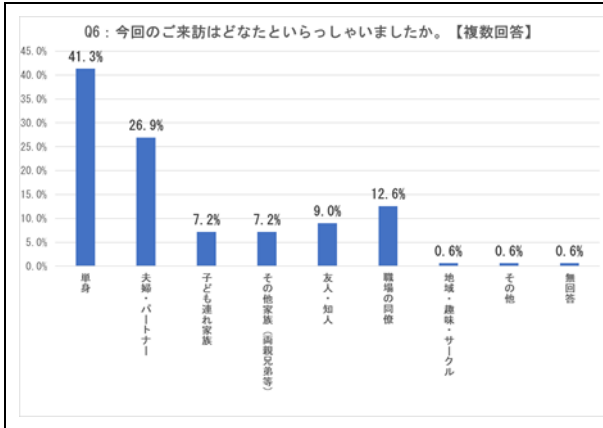
H29 (2017)



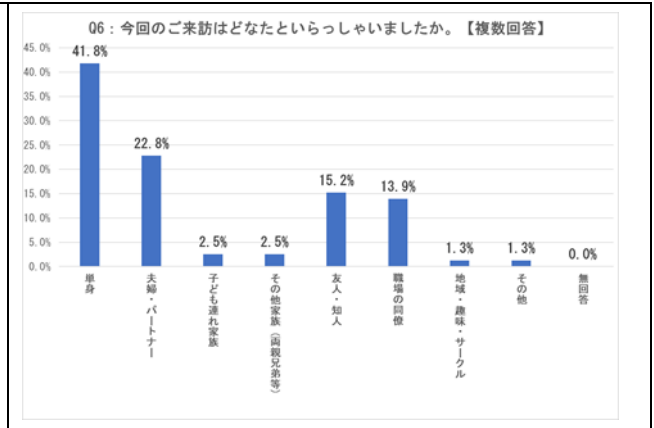
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

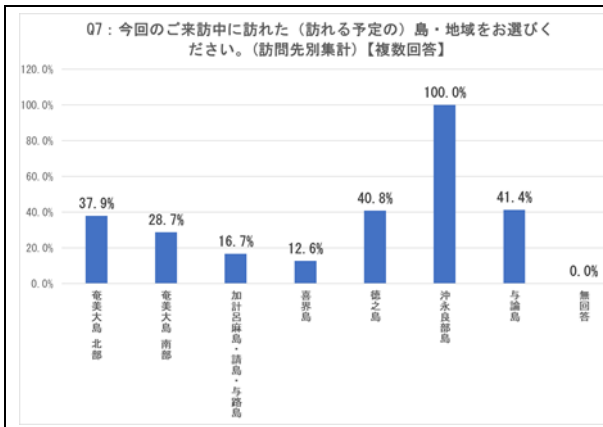


同行者属性については、「単身」が多く、「夫婦・パートナー」の場合もかなり多い。

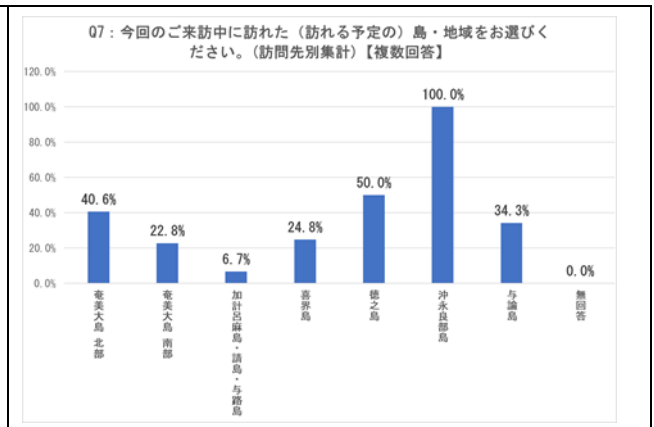
12. 群島内訪問先

(Q7 今回のご来訪中に訪れた (訪れる予定の) 島・地域をお選びください。【複数回答】)

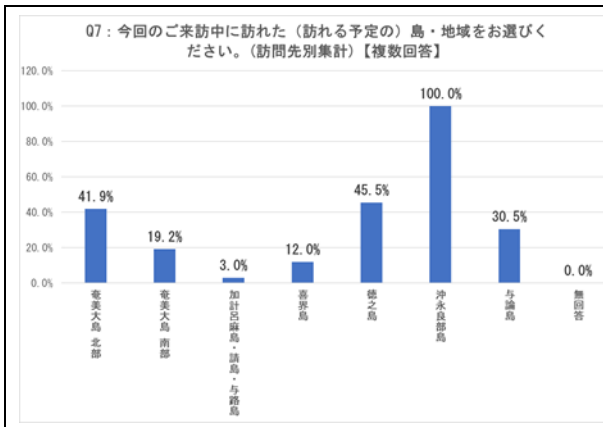
H29 (2017)



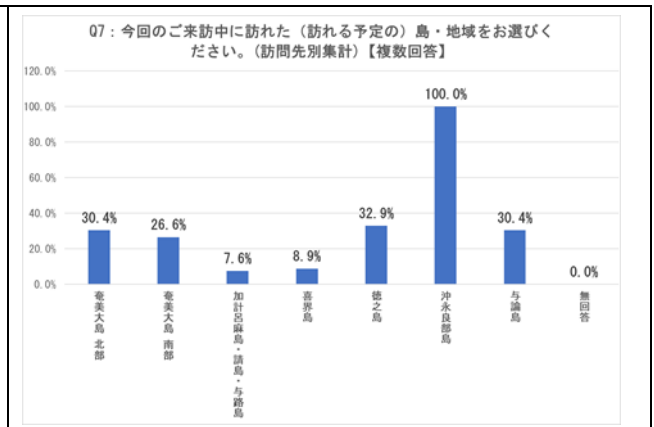
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

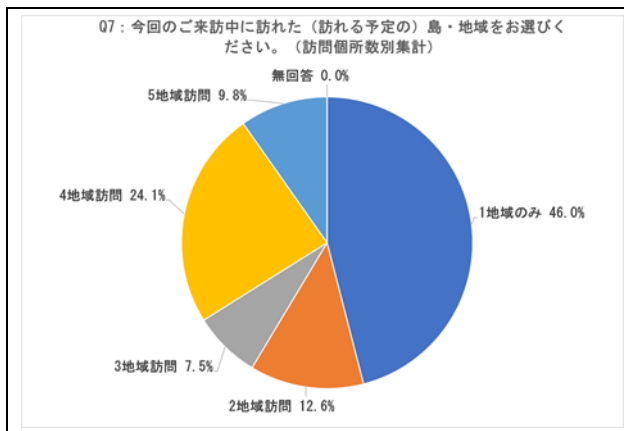


群島内訪問先としては、沖永良部島だけでなく、奄美大島、徳之島にも宿泊していることが伺われる。

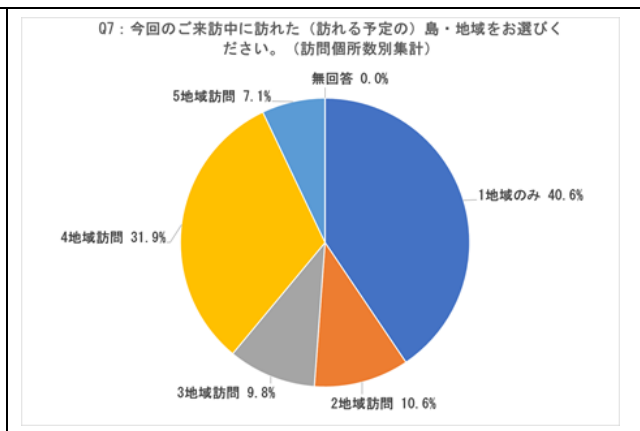
13. 訪問箇所数

(Q7 今回のご来訪中に訪れた(訪れる予定の)島・地域をお選びください。)

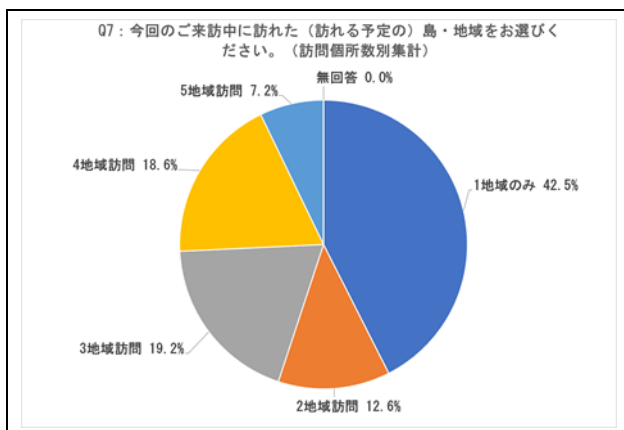
H29(2017)



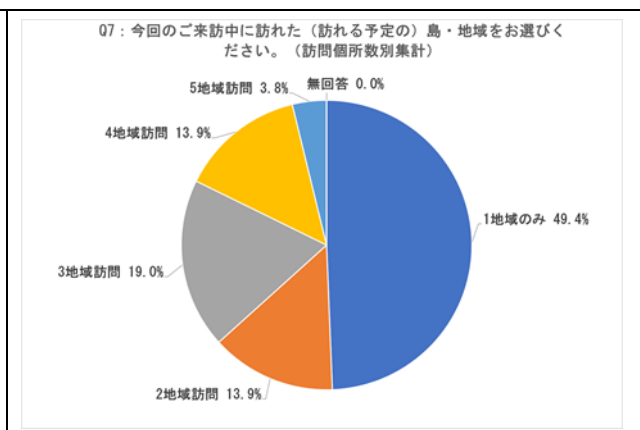
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



訪問箇所数としては、沖永良部島だけが一番多いが、意外と複数の島を訪問している。

14. 印象場所、印象特産物・料理等

(Q8 今回の来訪で最も印象に残った場所(観光地等)を3つお答えください。)

(Q9 今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください。)

Q8

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	フーチャ	43	24.71%
2	昇竜洞	26	14.94%
3	ワンジョビーチ	13	7.47%
4	犬の門蓋(インノジョウフタ)	11	6.32%
5	国頭ガジュマル	11	6.32%

Q9

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	鶏飯	47	27.01%
2	黒糖焼酎	33	18.97%
3	きくらげ	19	10.92%
4	もずく・もずく料理	18	10.34%
5	マンゴー	17	9.77%

H30(2018)	複数回答(記述回答)	数	%
1	フーチャ	51	20.08%
2	昇竜洞	33	12.99%
3	海の景色	18	7.09%
4	ワンジョビーチ	18	7.09%
5	あやまる岬	11	4.33%

H30(2018)	複数回答(記述回答)	数	%
1	鶏飯	76	29.92%
2	黒糖焼酎	47	18.50%
3	きくらげ	26	10.24%
4	黒糖	22	8.66%
5	もずく・もずく料理	22	8.66%

R1(2109)	複数回答（記述回答）	数	%
1	昇竜洞	36	21.56%
2	フーチャ	26	15.57%
3	ワンジョビーチ	12	7.19%
4	国頭ガジュマル	11	6.59%
5	ウジジ浜	10	5.99%

R1(2109)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	43	25.75%
2	黒糖焼酎	32	19.16%
3	黒糖	18	10.78%
4	きくらげ	17	10.18%
5	刺身	11	6.59%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	フーチャ	24	30.38%
2	昇竜洞	17	21.52%
3	ウジジ浜	5	6.33%
4	国頭ガジュマル	4	5.06%
5	ワンジョビーチ	3	3.80%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	16	20.25%
2	黒糖焼酎	16	20.25%
3	きくらげ	10	12.66%
4	マンゴー	6	7.59%
5	刺身	5	6.33%

印象に残った場所としては、沖永良部島としては、フーチャ、昇竜洞が多い。次に、海岸のワンジョビーチ、ウジジ浜が挙げられている。国頭ガジュマルも人気のスポットである。

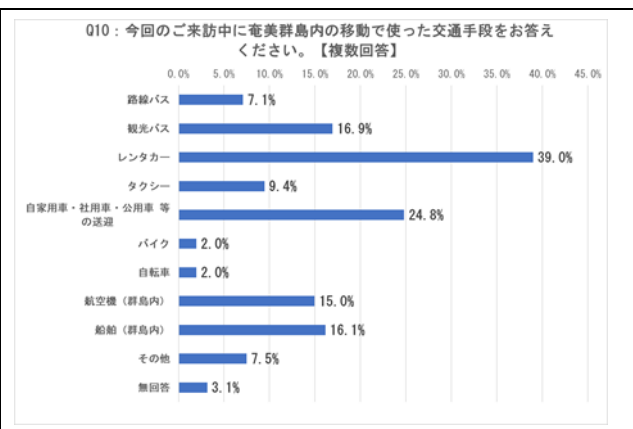
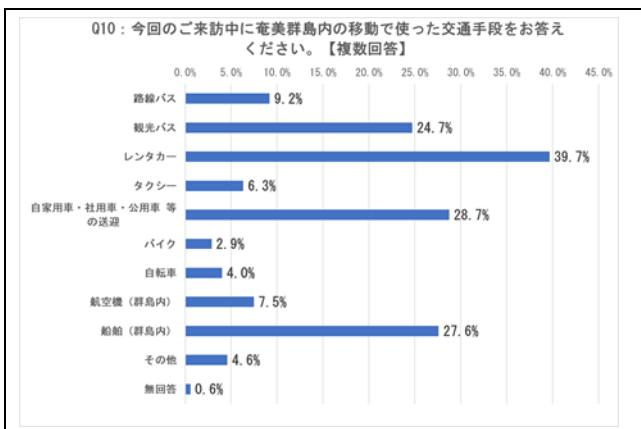
印象に残った特産物・料理等としては、奄美に共通のものが多いが、鶏飯、黒糖焼酎は人気である。また、きくらげもあがっている。

15. 群島内交通手段

（Q10 今回のご来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください。【複数回答】）

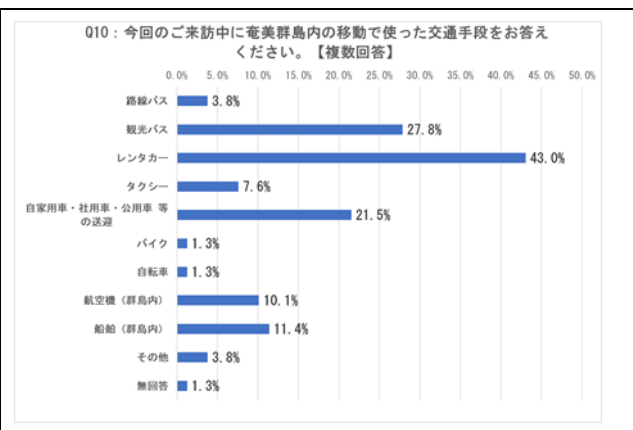
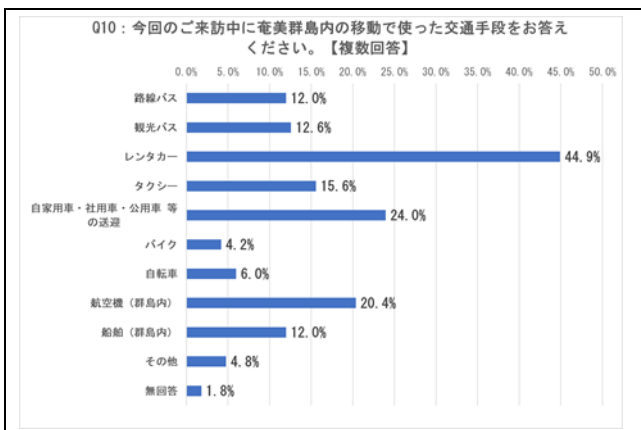
H29(2017)

H30(2018)



R1(2019)

R2(2020)



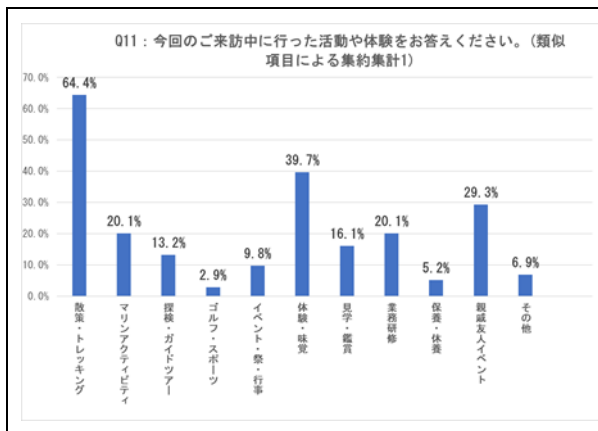
群島内交通手段としては、もちろんレンタカーが多いが、自家用車・社用車・公用車等も多い。また観光バスも多い。

16. 活動・体験

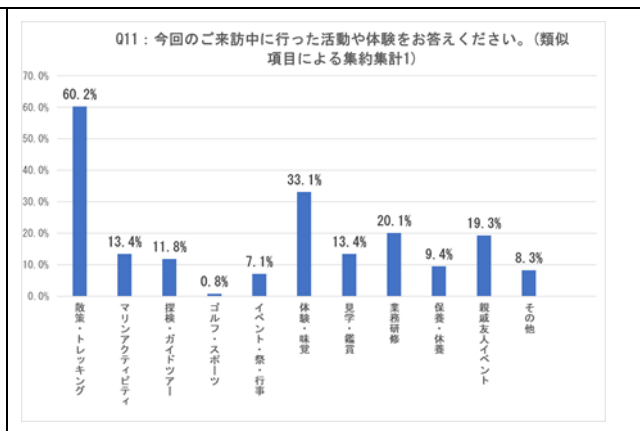
(Q11 今回のご来訪中に行った活動や体験をお答えください。)

※集約集計 (類似項目別)

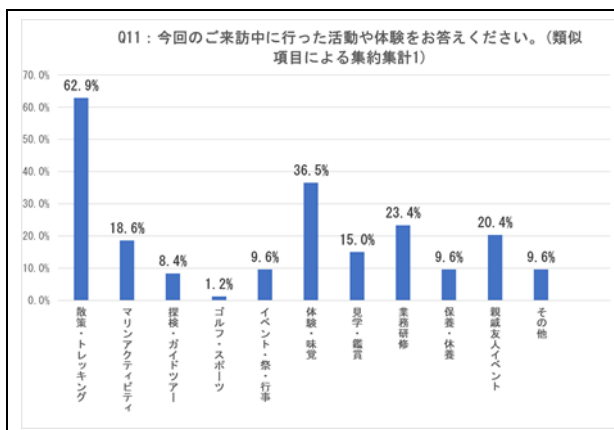
H29 (2017)



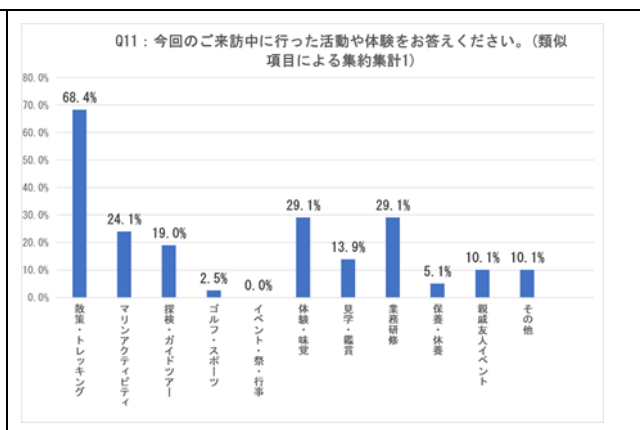
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



活動・体験については、設問をカテゴリーで集約したものを掲載する。

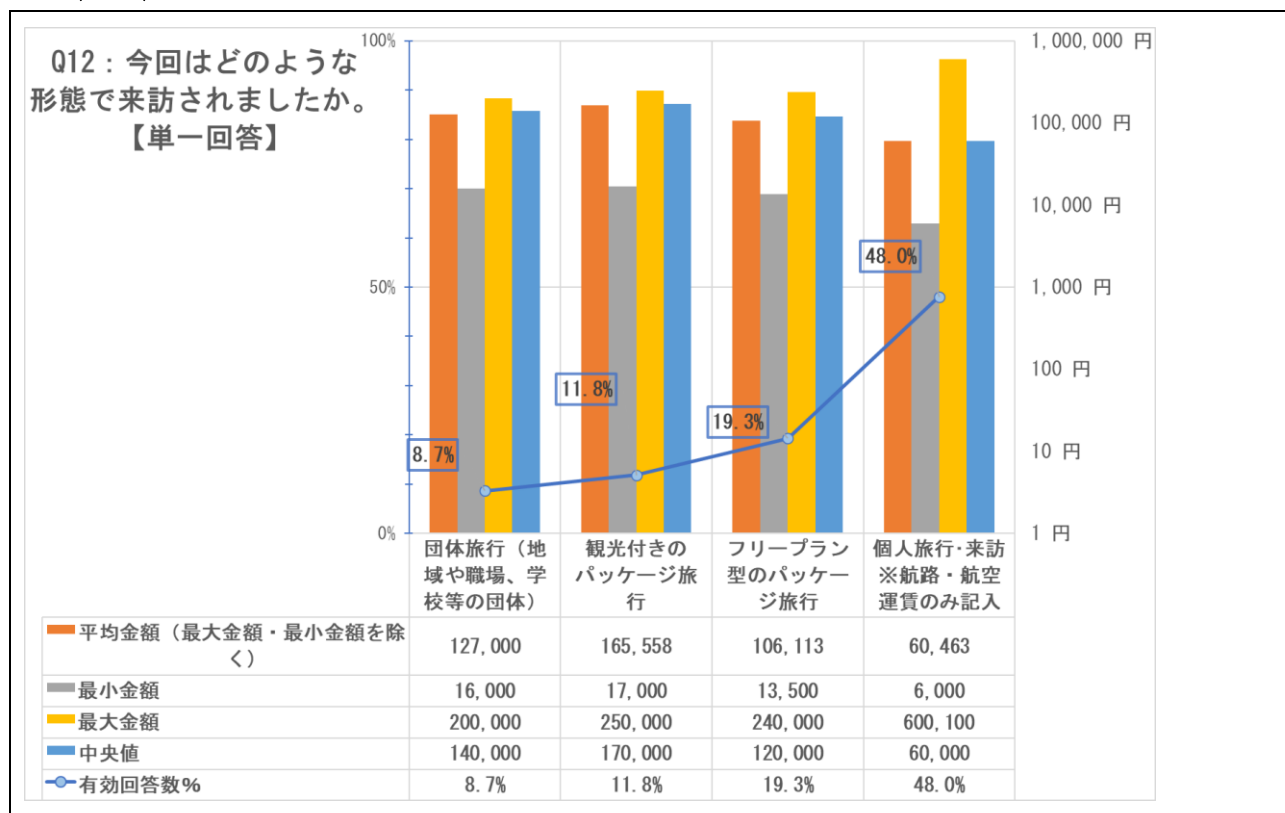
一番多いのは、「散策・トレッキング」であり、次に「体験・味覚」である。ビジネス目的で、「業務研修」も一定程度の数字となっている。

17. 渡航形態と費用

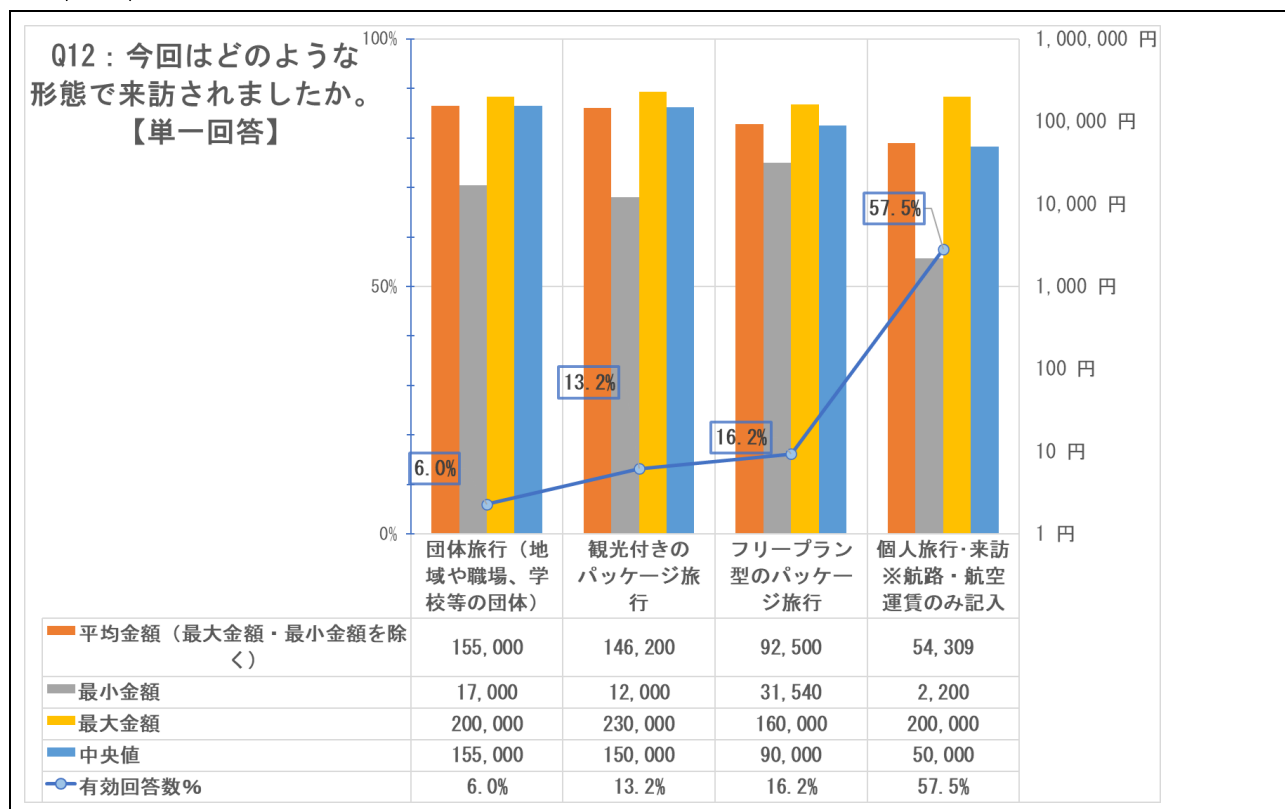
(Q12 今回はどのような形態で来訪されましたか。)

傾向は同じなので、H30(2018)とR1(2019)を取り上げる。

H30(2018)



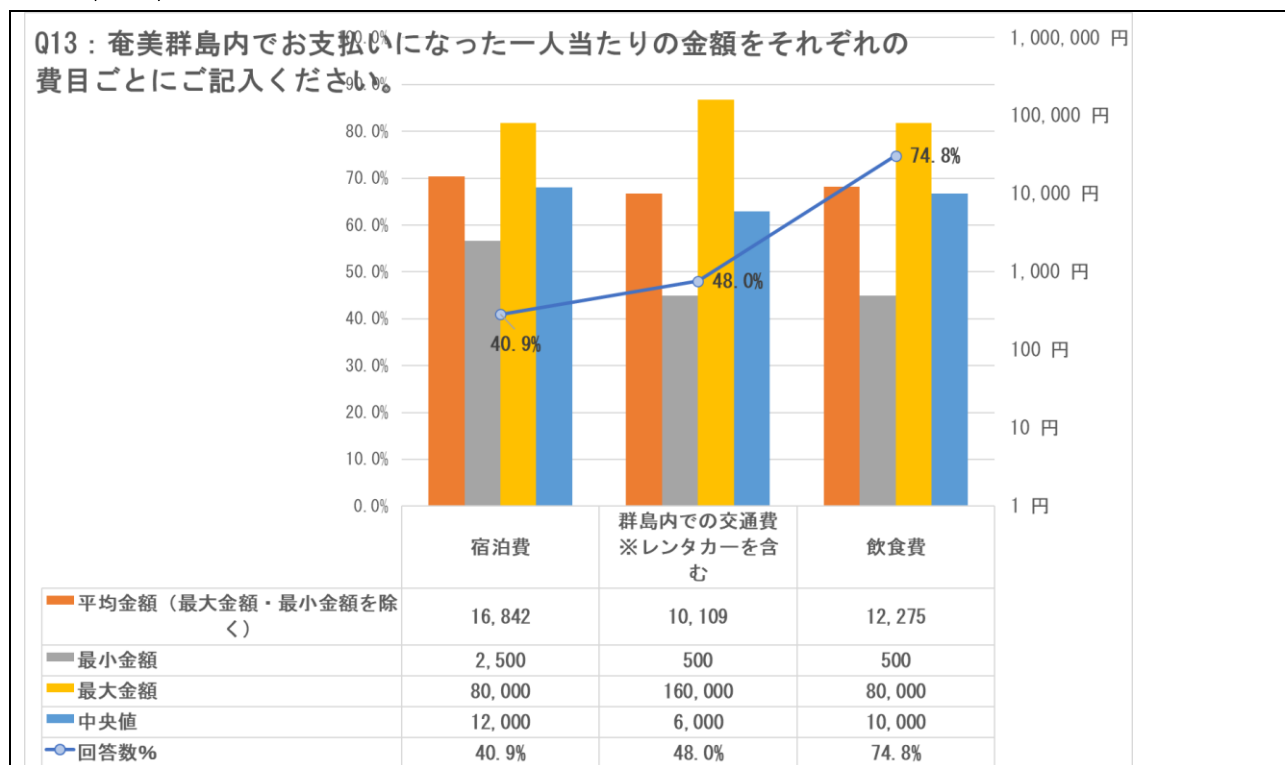
R1(2019)



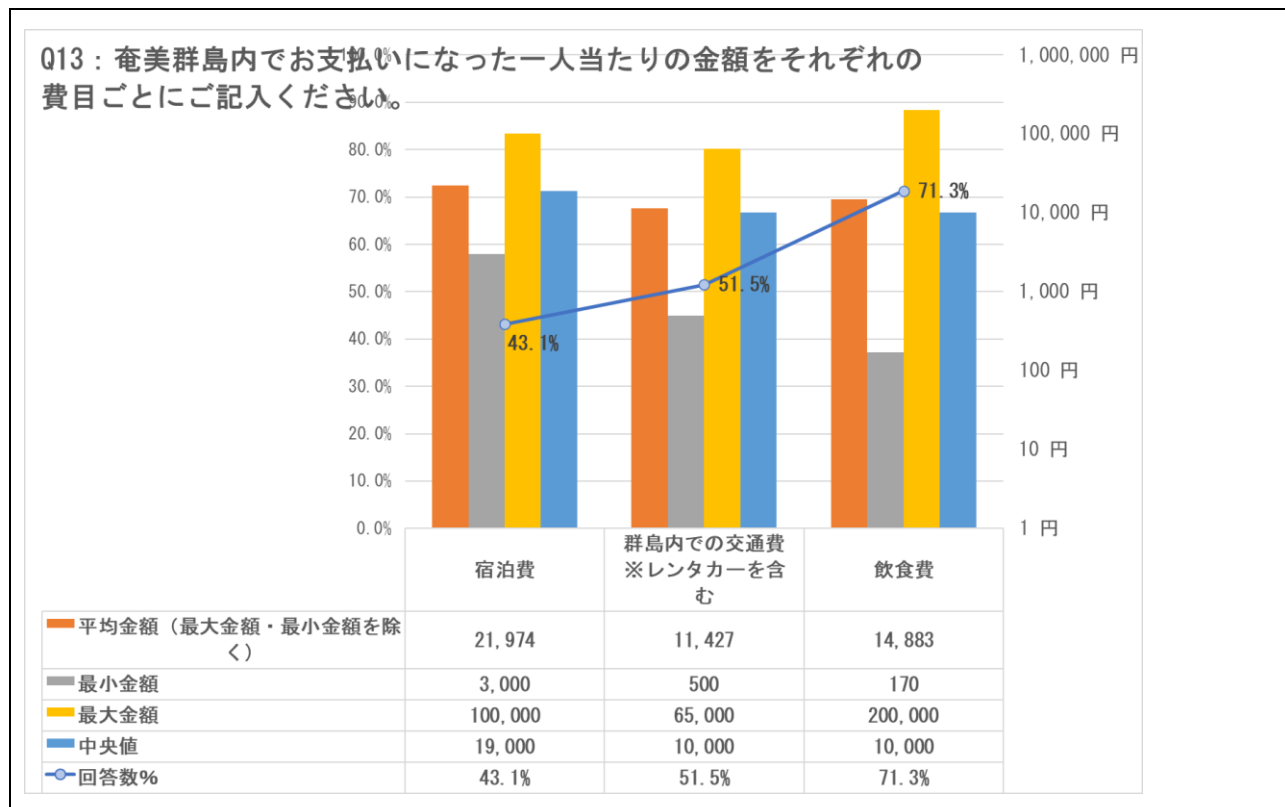
18. 滞在費用

(Q13 奄美群島内でお支払いになった一人当たりの金額をそれぞれの費目ごとにご記入ください。)

H30(2018)



R1(2019)



滞在費用は、宿泊費で2万円程度、交通費約8千円、飲食費で、1万円となっている。しかし、人によってばらつきがあり、多い人は、交通費16万円、飲食費で20万円と多い。

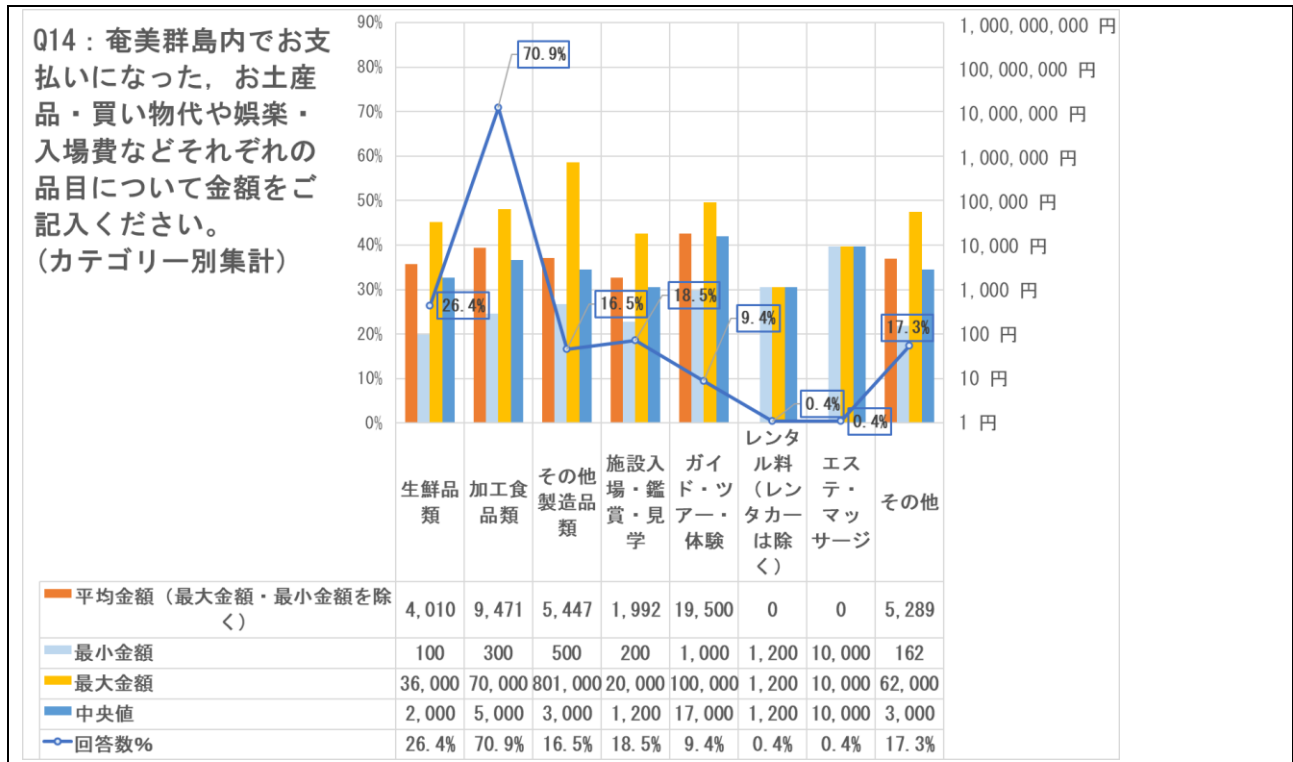
19. 活動・購買費用

(Q14 奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。)

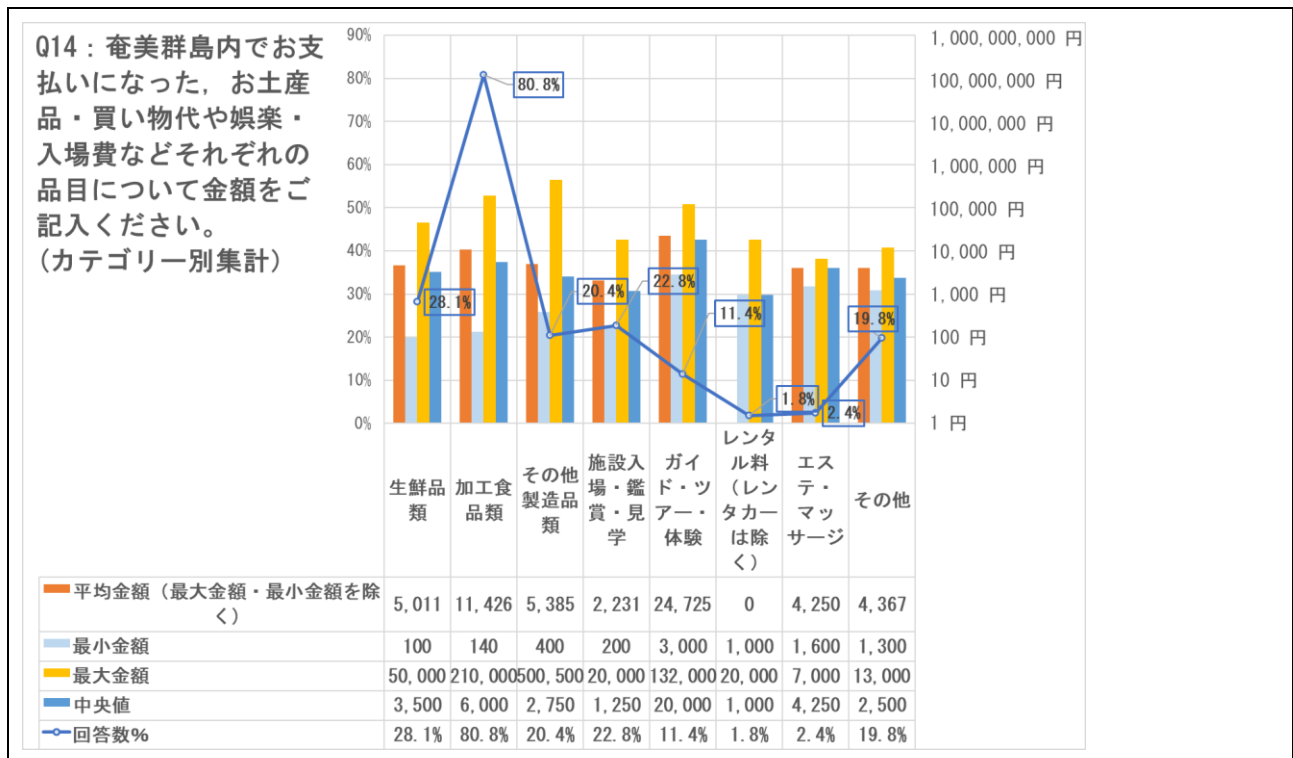
活動・購買費用については、カテゴリーでまとめた図を掲載する。

※集約集計（カテゴリー別）

H30(2018)



RI(2019)

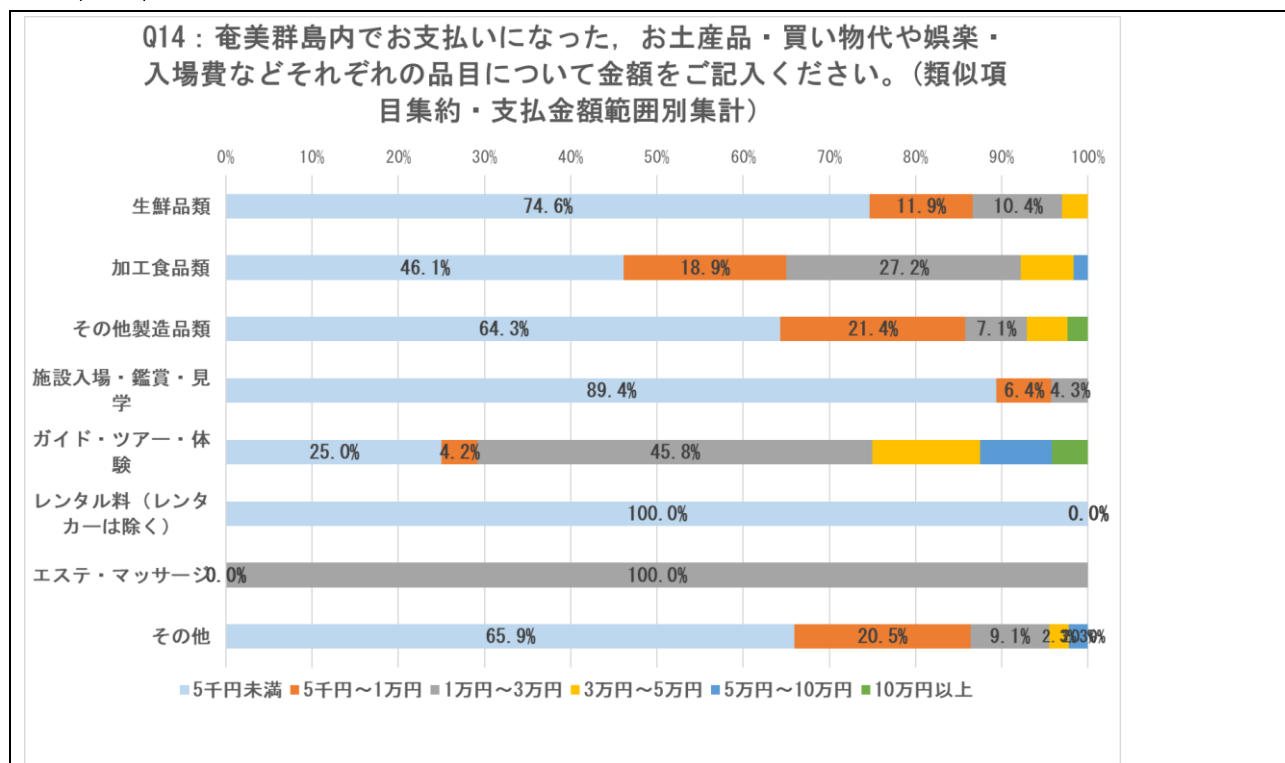


注) 集計対象となる回答件数が少ない集計項目については、最大値、最小値、中央値の金額が示され

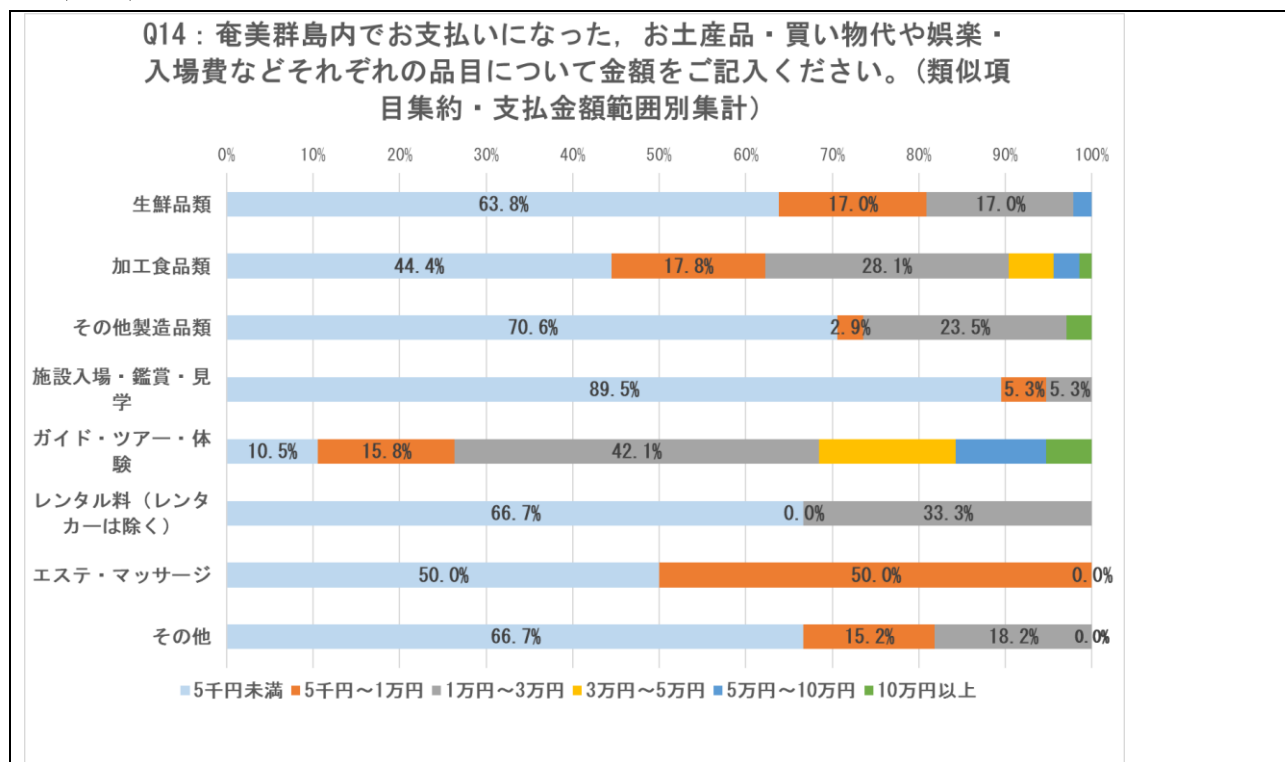
ていても、平均値（最大金額・最小金額を除く）が0となる場合がある（以下、同様）。

※集約集計（類似項目・支払金額範囲別）

H30(2018)



R1(2019)

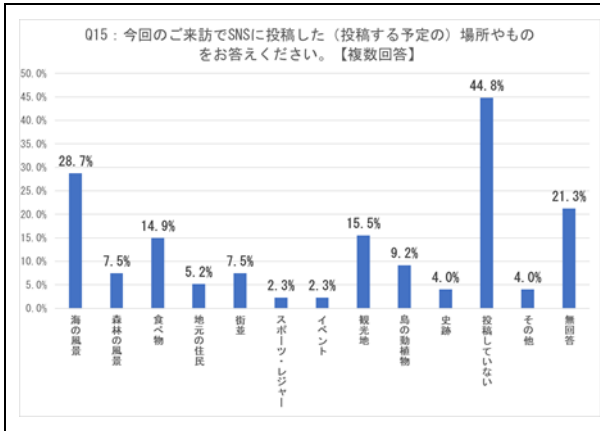


高額な消費をされる方もいるが、多くは、数千円規模の消費となっている。しかしその中でも、「ガイドツアー・体験」は、単価が高いので、別格と考えられる。

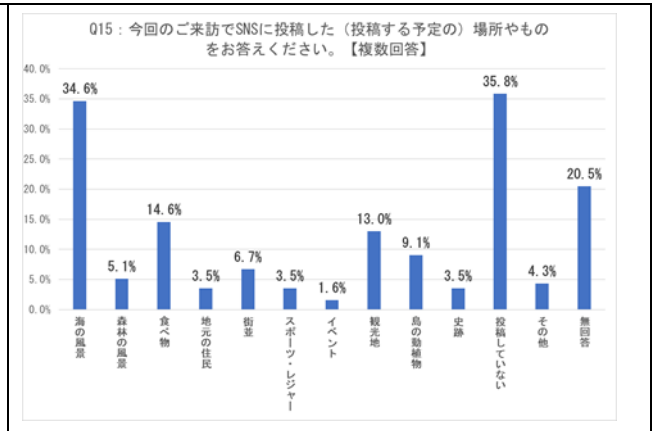
20. 情報発信

(Q15: 今回のご来訪で SNS に投稿した (投稿する予定の) 場所やものをお答えください。【複数回答】)

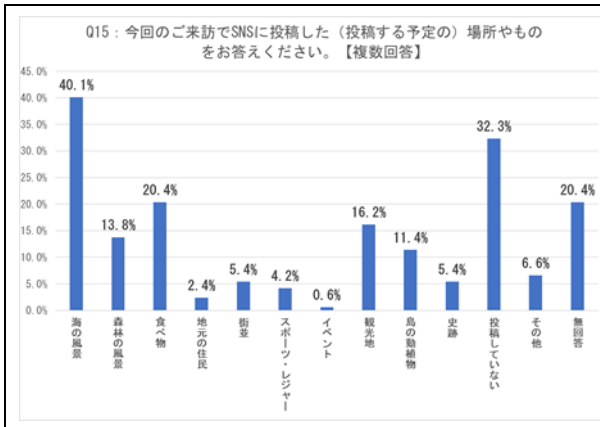
H29 (2017)



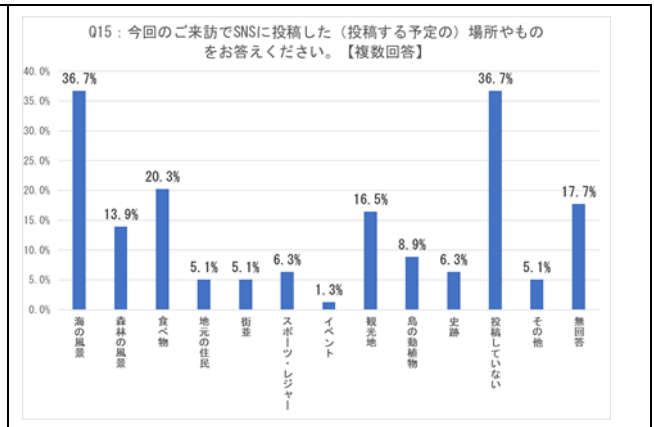
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

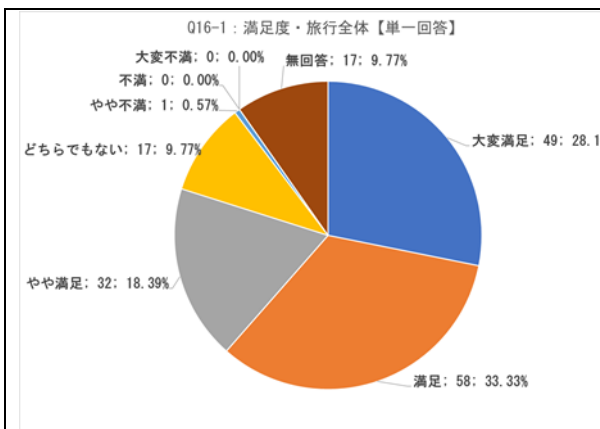


21. 満足度

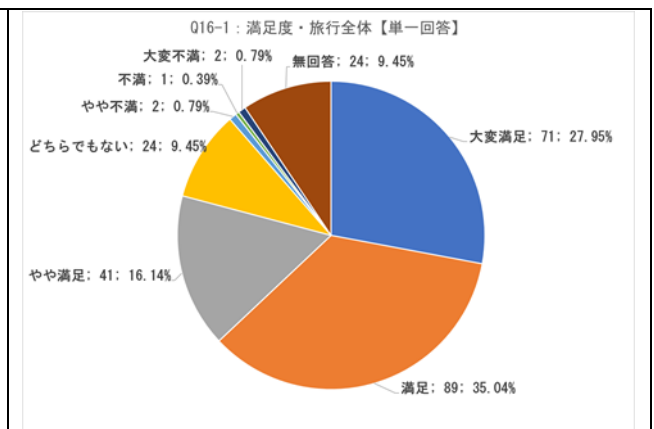
(Q16 今回のご来訪の満足度をお答えください。)

旅行全体

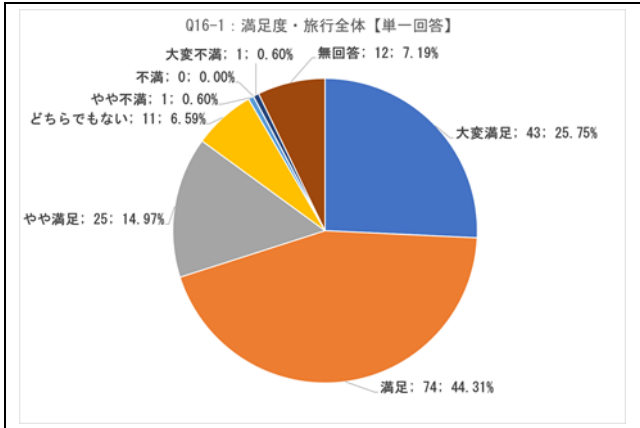
H29 (2017)



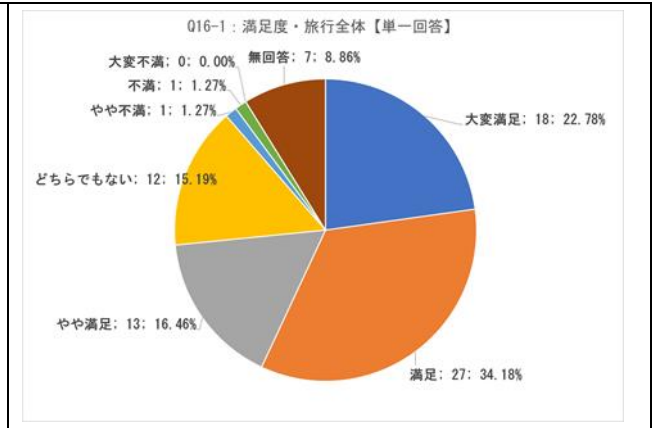
H30 (2018)



R1 (2019)



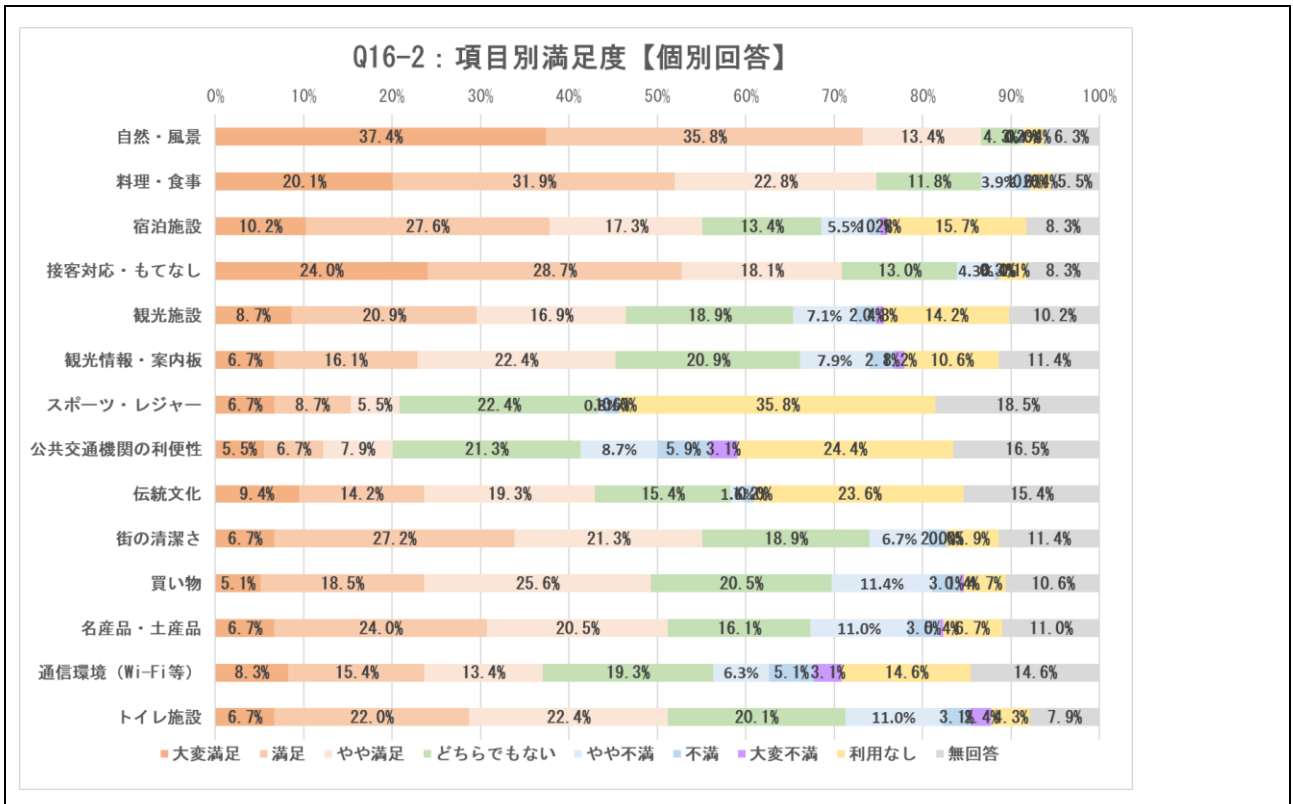
R2 (2020)



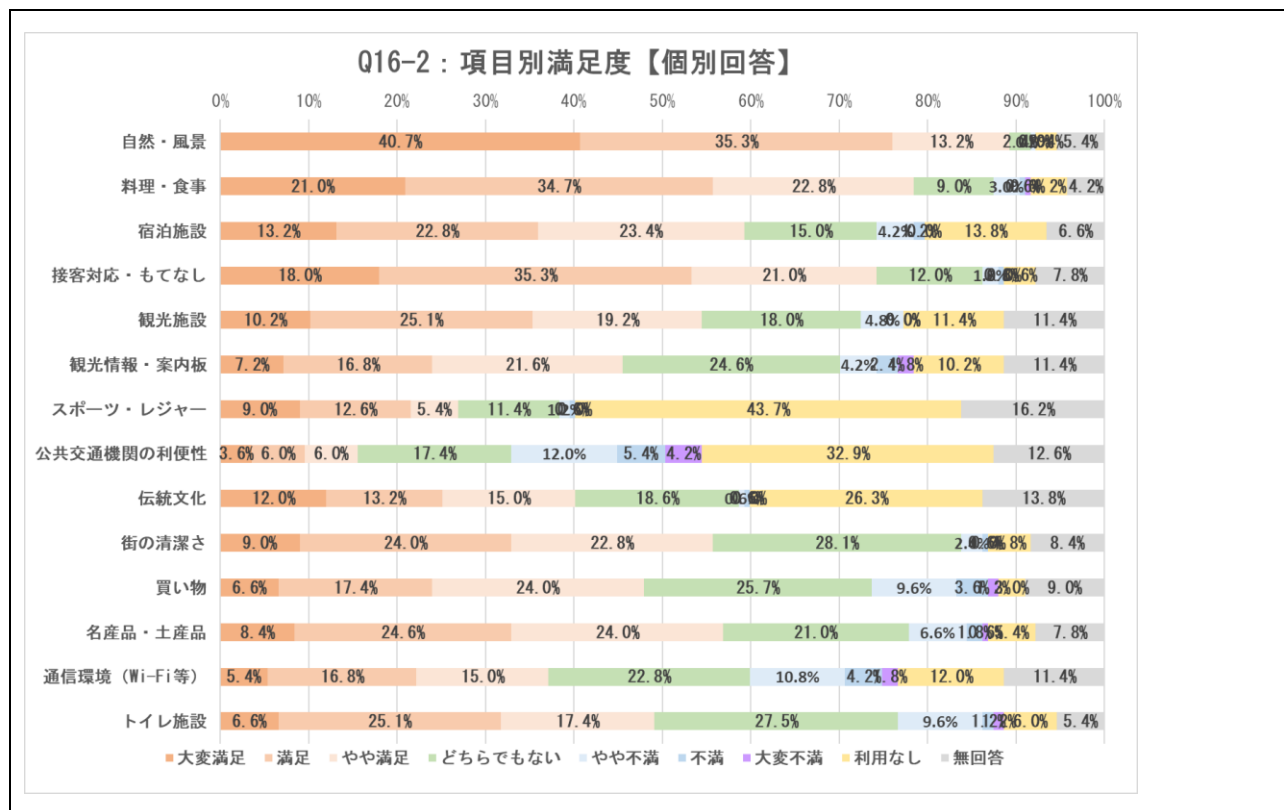
満足度の全体については、大変満足、満足、やや満足を足すと8割に及ぶ。

項目別

H30 (2018)



R1 (2019)



沖永良部島での自然・風景や料理・食事への満足度は、非常に高い。しかしながら、交通の利便性、通信環境 (Wi-Fi 等) は、不満が多い。

旅行全体および項目別を7段階評価 (大変満足：7、満足：6、やや満足：5、どちらでもない：4、やや不満：3、不満：2、大変不満：1、利用なし：0) で、平均評価を求めると、次のようになった。

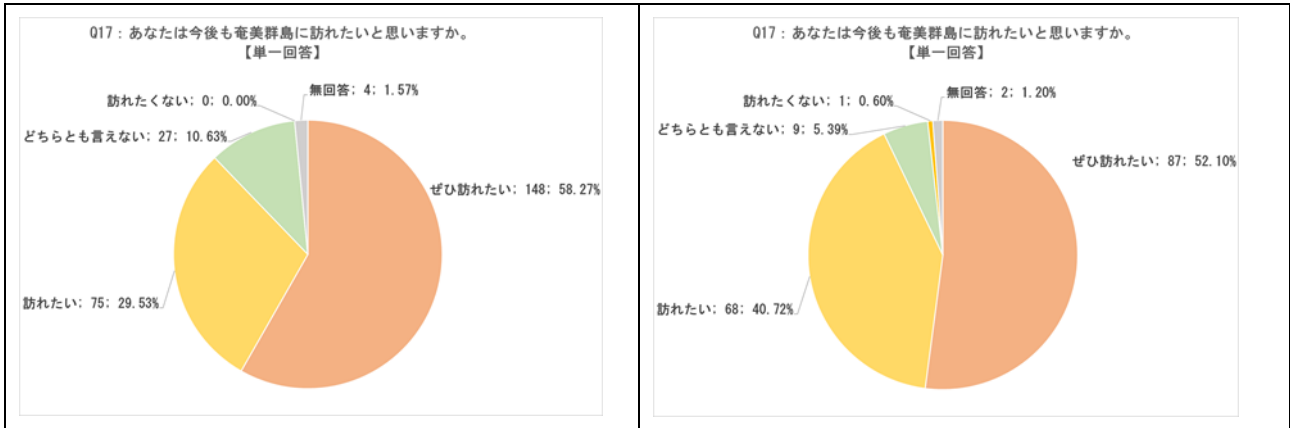
項目の満足度	2017年	2018年	2019年	2020年
0 旅行全体	5.87	5.83	5.92	5.64
1 自然・風景	6.04	6.00	6.07	6.22
2 料理・食事	5.24	5.38	5.38	5.14
3 宿泊施設	4.41	4.33	4.50	4.88
4 接客対応・もてなし	5.06	5.42	5.39	5.71
5 観光施設	4.53	4.15	4.56	4.65
6 観光情報・案内板	4.29	4.17	4.24	4.40
7 スポーツ・レジャー	2.86	2.72	2.57	3.48
8 公共交通機関の利便性	2.79	2.92	2.42	2.65
9 伝統文化	3.83	3.73	3.65	3.82
10 街の清潔さ	4.67	4.69	4.82	5.00
11 買い物	4.48	4.45	4.51	4.76
12 名産品・土産品	4.66	4.48	4.70	4.76
13 通信環境 (Wi-Fi等)	3.24	3.82	3.91	4.00
14 トイレ施設	4.31	4.49	4.51	4.72

22. 再来訪意向

(Q17 あなたは今後も奄美群島に訪れたいと思いますか。)

H30(2018)

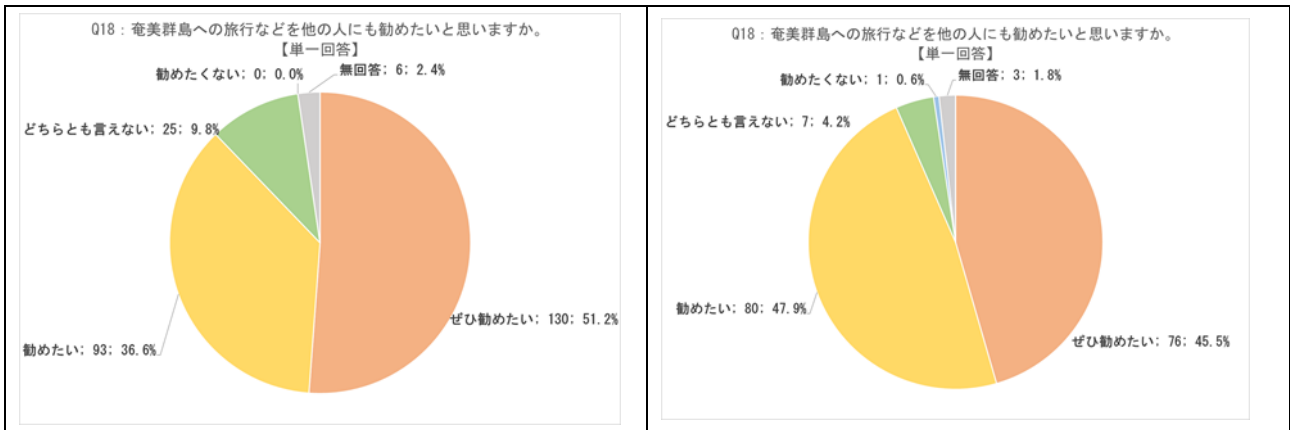
R1(2019)



(Q18 奄美群島への旅行などを他の人にも勧めたいと思いますか。)

H30(2018)

R1(2019)



満足度や再来訪意向等は、極めて高いが、年によって多少変わるようだ。

23. 再来訪意向

(Q19 来訪者の方⇒今回の来訪をとおして感じたご意見等がございましたらお聞かせください。

居住者の方⇒奄美群島の観光について、ご意見等がございましたらお聞かせください。)

自由記述のため、省略（電子データ参照）。なお、内容の参考となる属性や消費金額、満足度を併記した。

H29(2017) 回答数 120

H30(2018) 回答数 168

R1(2019) 回答数 122

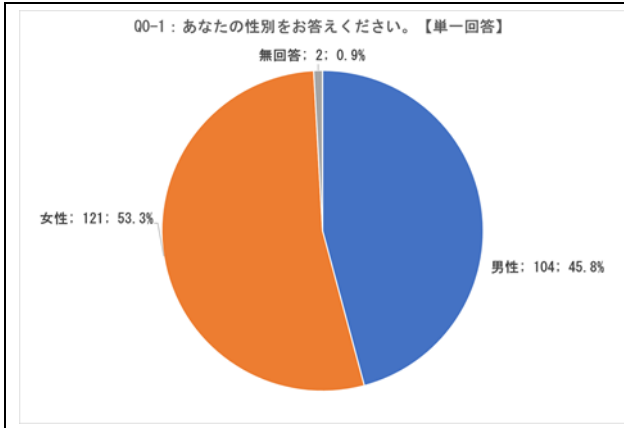
R2(2020) 回答数 55

5. 与論島

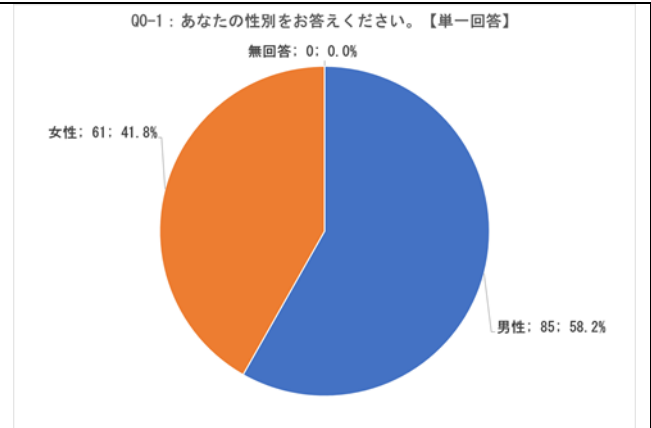
1. 回答者性別

(Q0-1 あなたの性別をお答えください。)

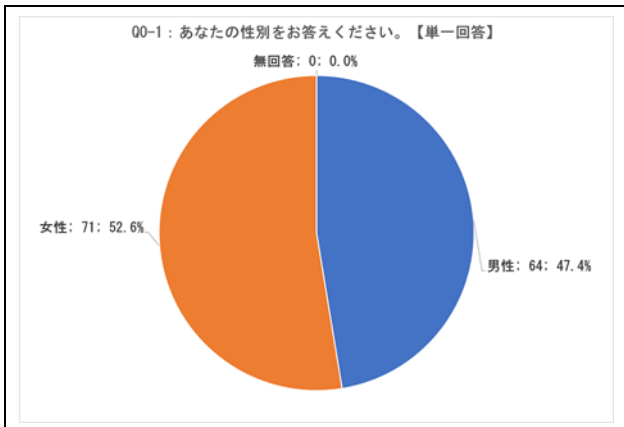
H29(2017)



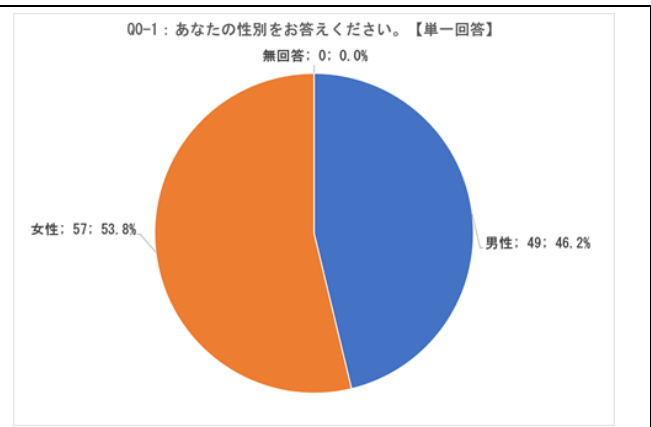
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)

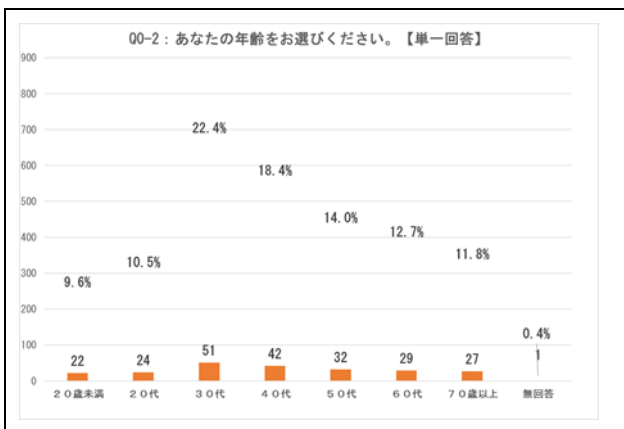


回答者の性別では、女性がやや多い。2018年は男性が多いが、母数が少ない可能性もある。

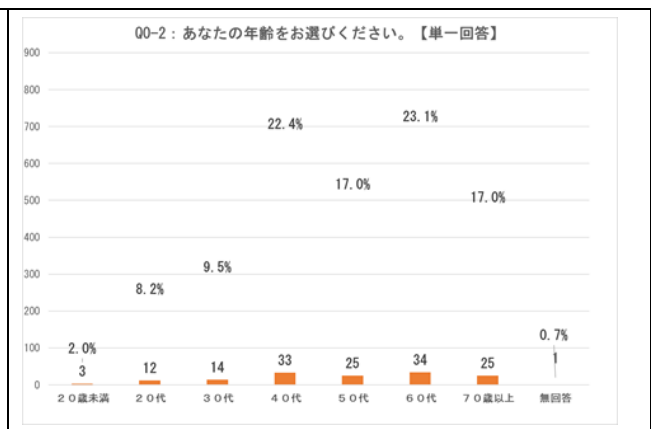
2. 回答者年齢

(Q0-2 あなたの年齢をお選びください。)

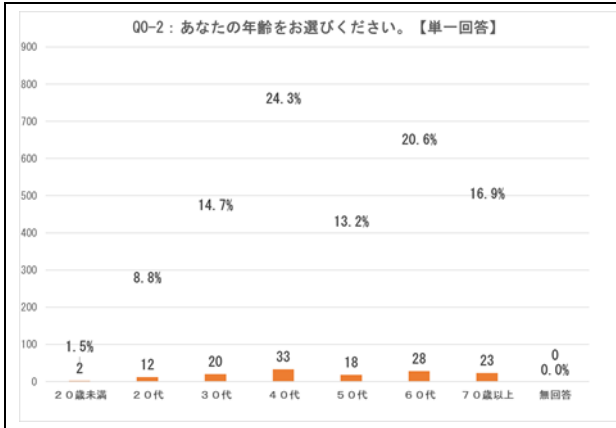
H29(2017)



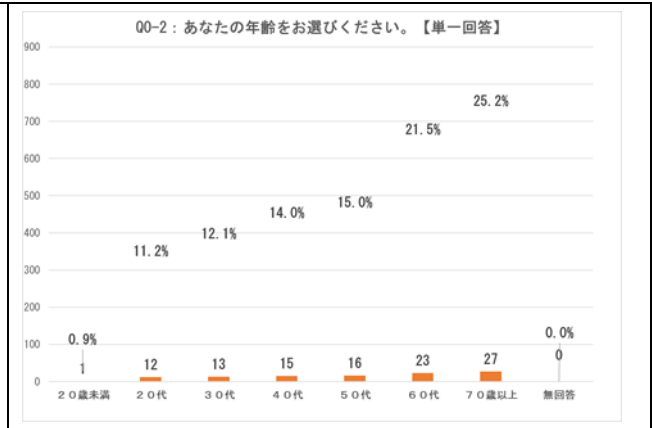
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

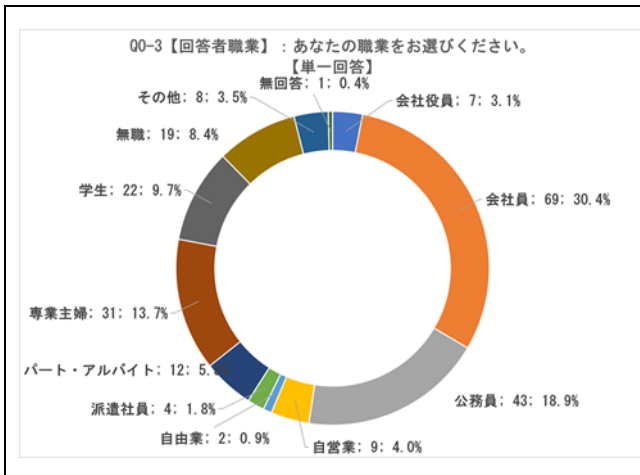


年齢については、30、40、50代が比較的多い。2020年に、70歳以上が一番多くなっているのは、コロナが関係しているかもしれない。

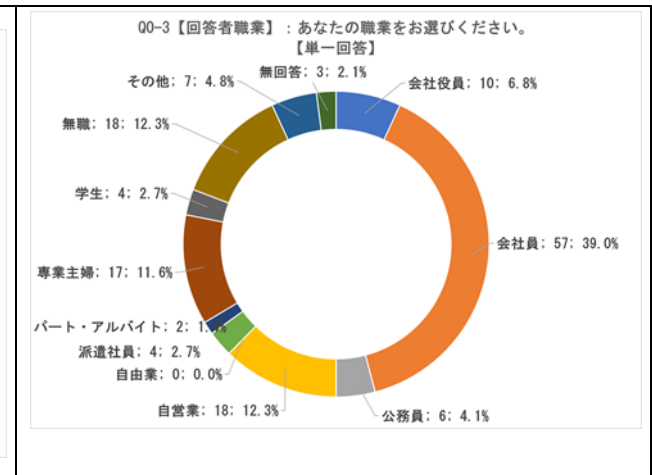
3. 回答者職業

(Q0-3 あなたの職業をお選びください。)

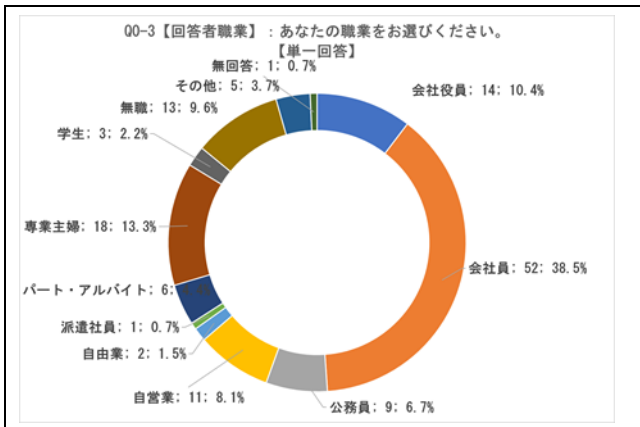
H29 (2017)



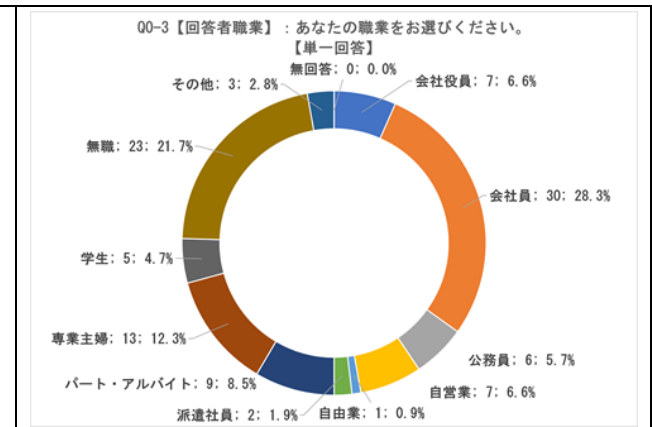
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

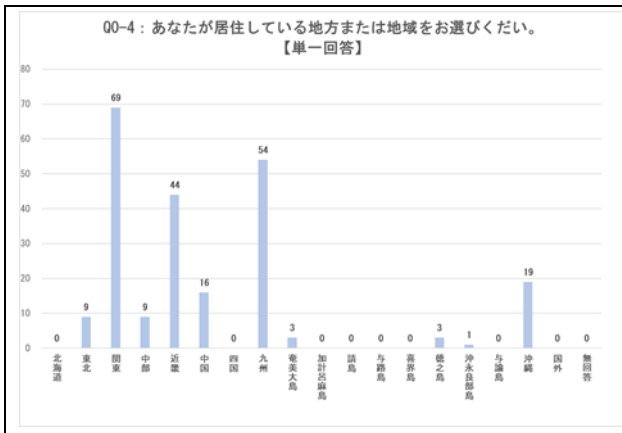


職業については、毎年ばらつきが大きい。会社員が常に多いが、年によっては公務員が多くなる年もある。主婦層が比較的多い。2020年は、無職が多くなっているが、コロナ禍で、70歳以上の方が割合として増えているためと思われる。

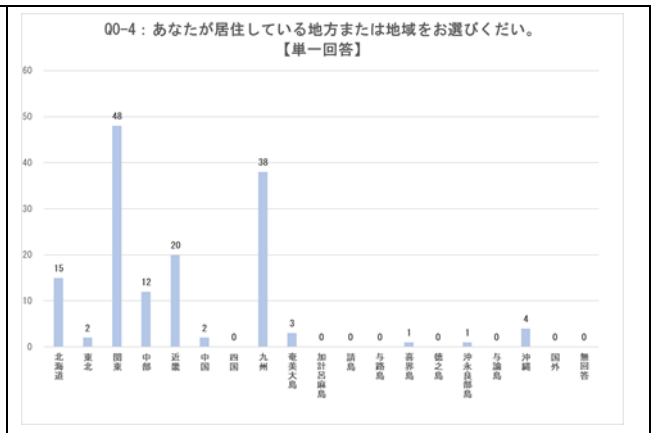
4. 回答者居住地

(Q0-4 あなたが居住している地方または地域をお選びください。)

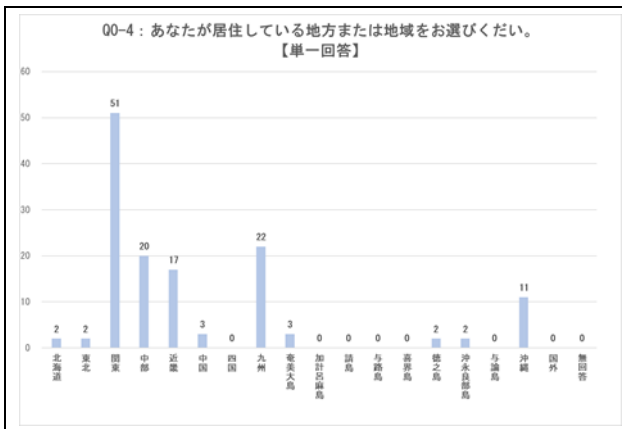
H29 (2017)



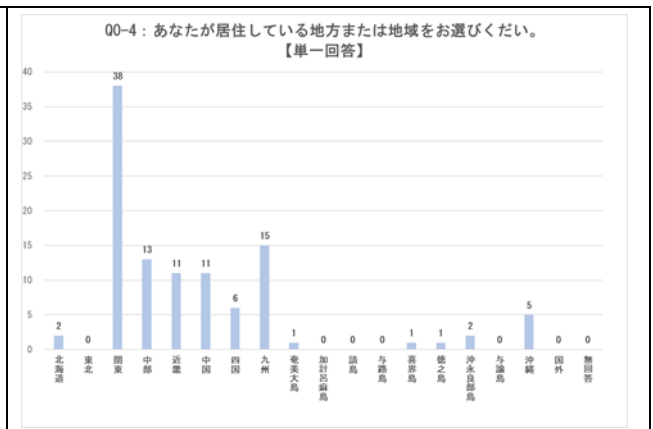
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

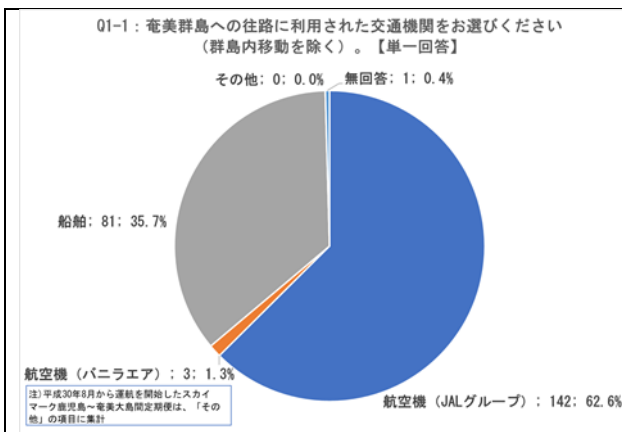


居住地については、時期に応じて変化するが、関東が一番多い。次いで、九州となっている。

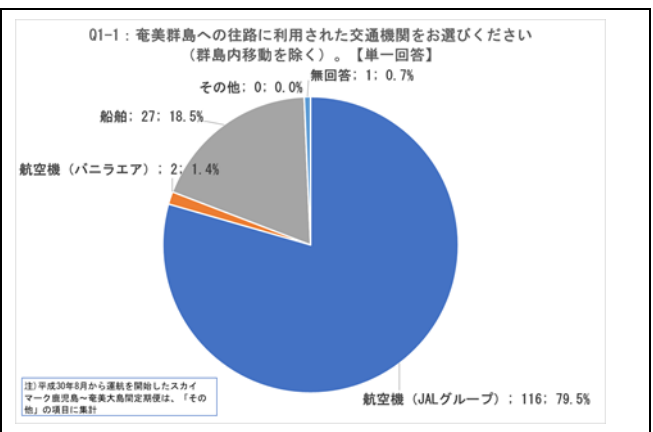
5. 往路交通手段

(Q1-1 奄美群島への往路に利用された交通機関をお選びください (群島内移動を除く。))

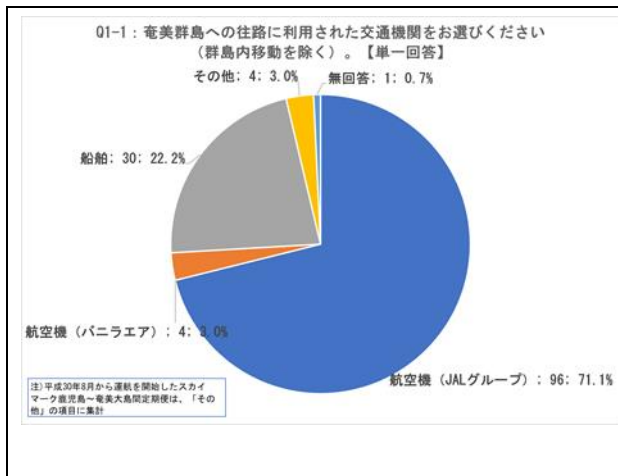
H29 (2017)



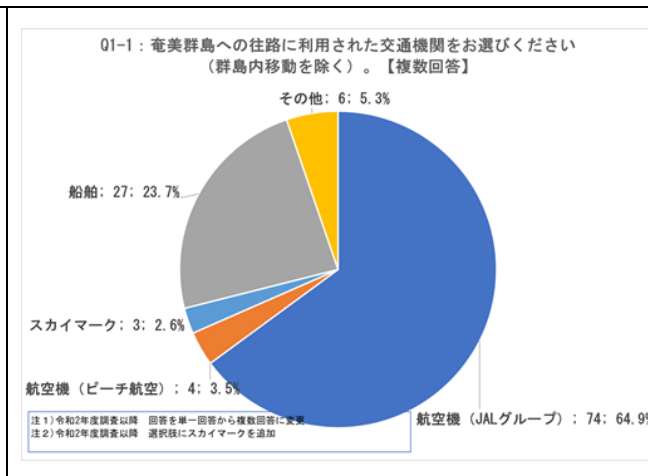
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



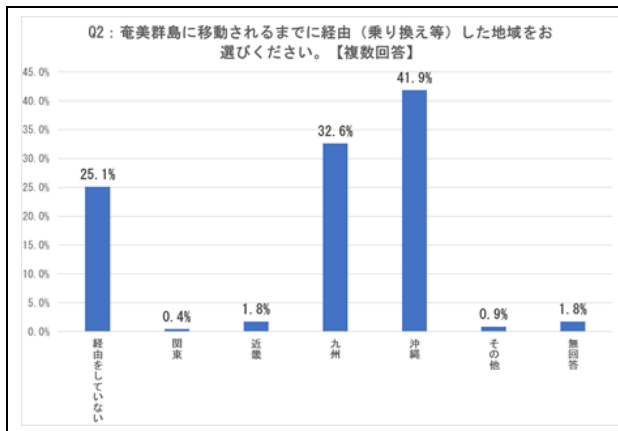
与論島への交通手段としては、多くが飛行機であるが、沖縄に近いこともあり、船舶の割合がかなり高い。

なお、復路も同様である (図省略)。

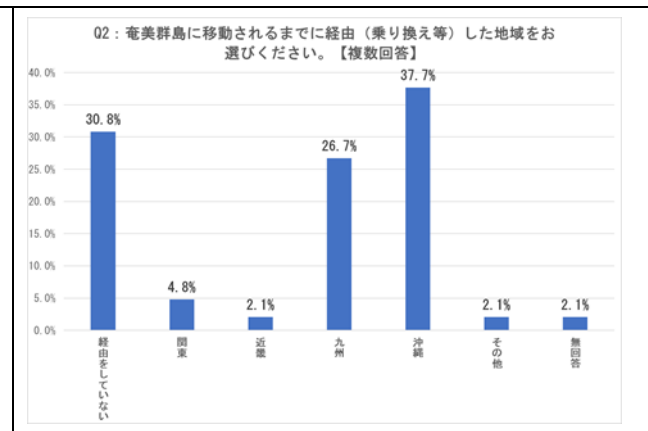
6. 渡航経由地

(Q2 奄美群島に移動されるまでに経由 (乗り換え等) した地域をお選びください。【複数回答】)

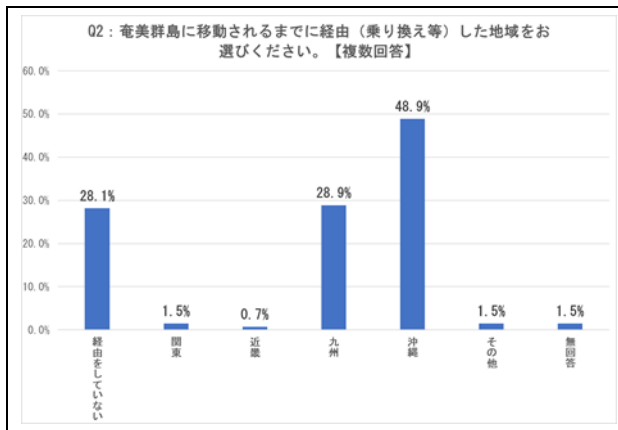
H29 (2017)



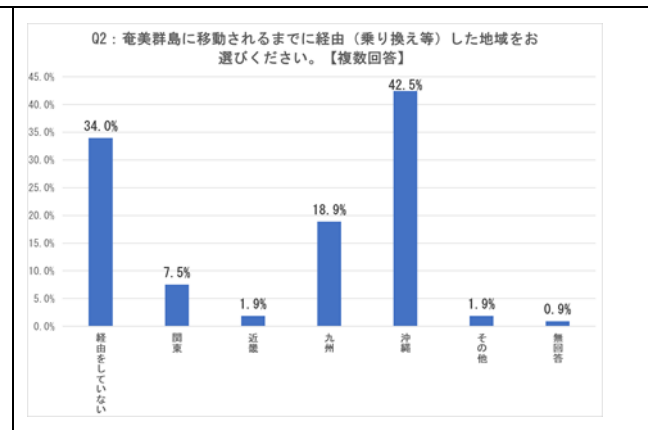
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

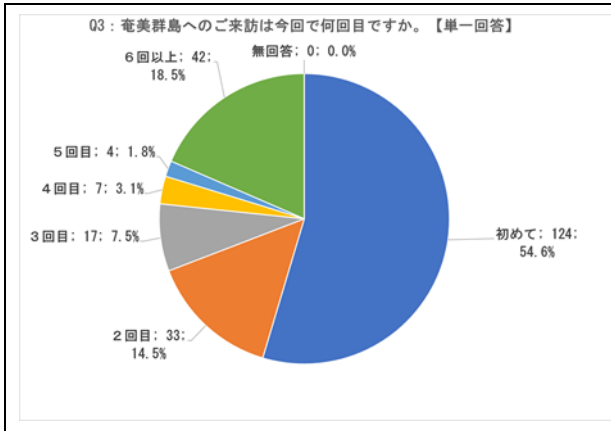


与論島には、経由地でみると、沖縄経由が非常に多いことがわかる。

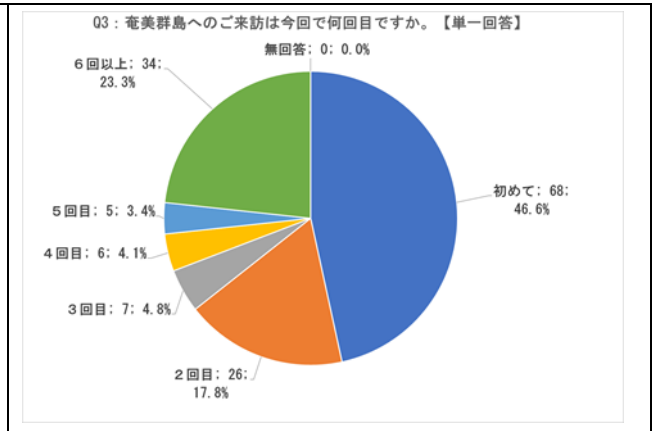
7. 来訪回数

(Q3 奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか。)

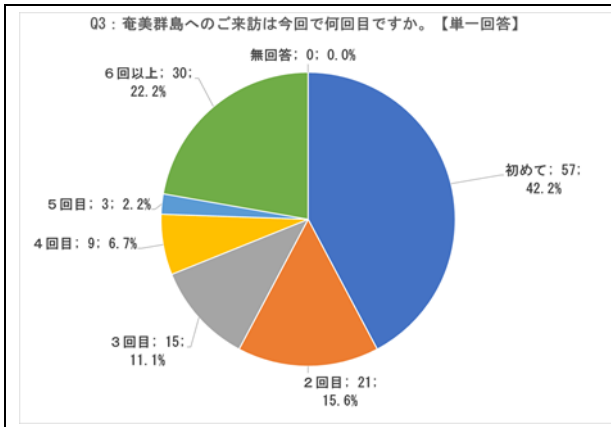
H29 (2017)



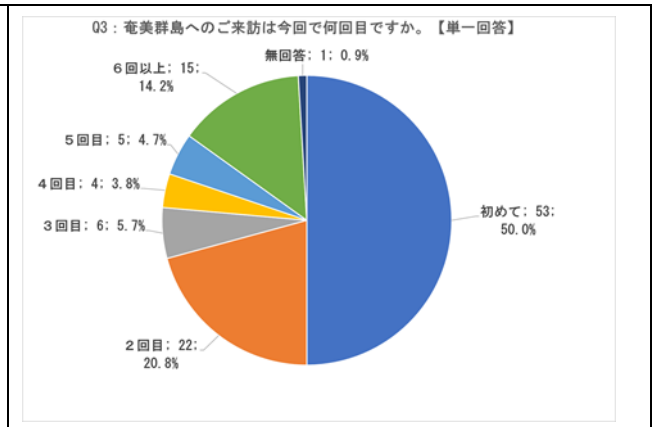
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

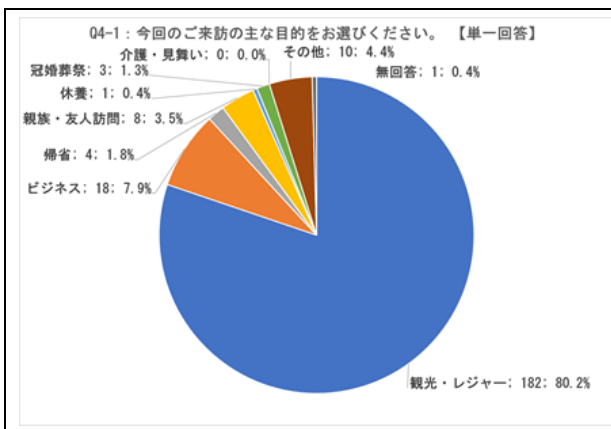


来訪回数としては、初めての人が半数近くいる。そして、2回目も多く、6回以上のリピーターと同じくらい多い。

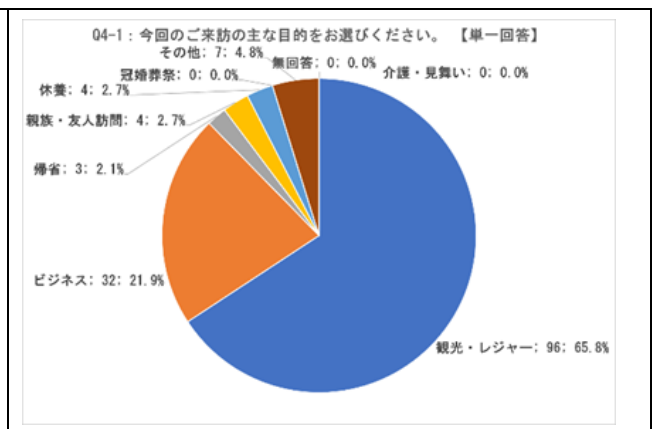
8. 来訪目的

(Q4-1 今回のご来訪の主な目的をお選びください。)

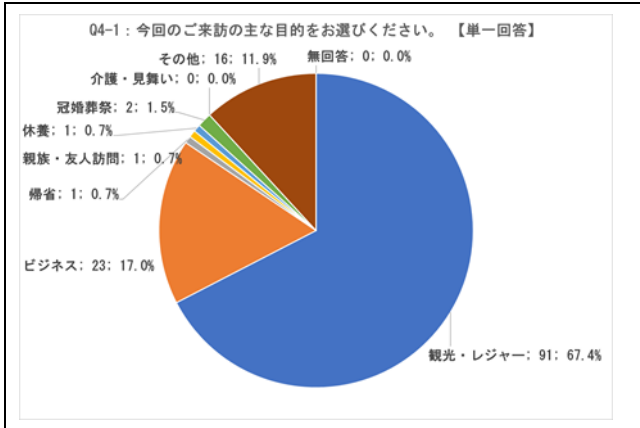
H29 (2017)



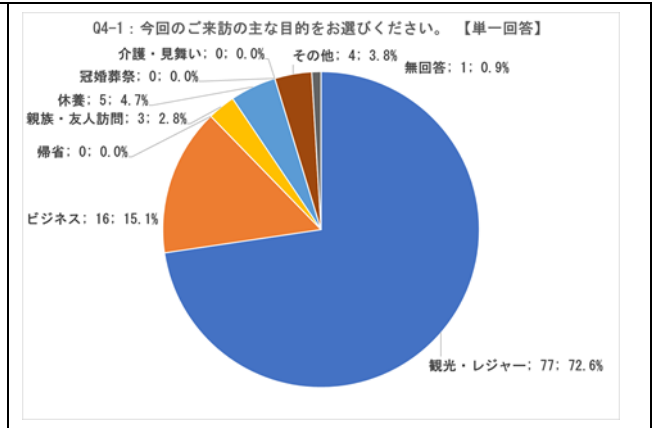
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

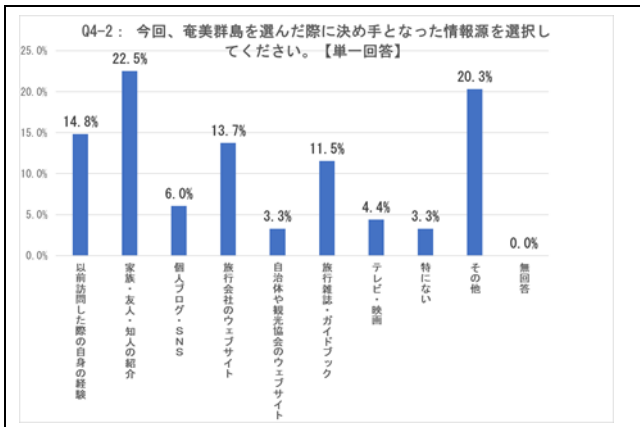


観光・レジャー目的が5島のなかでも特に高い。4年を通して一定程度のビジネス・帰省などがある。

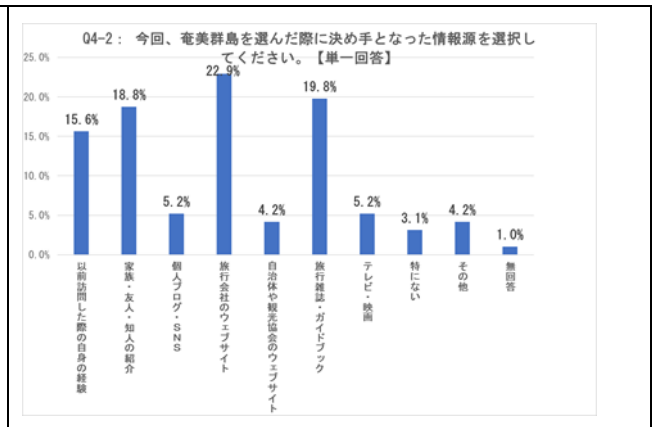
9. 情報源

(Q4-2 今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください。)

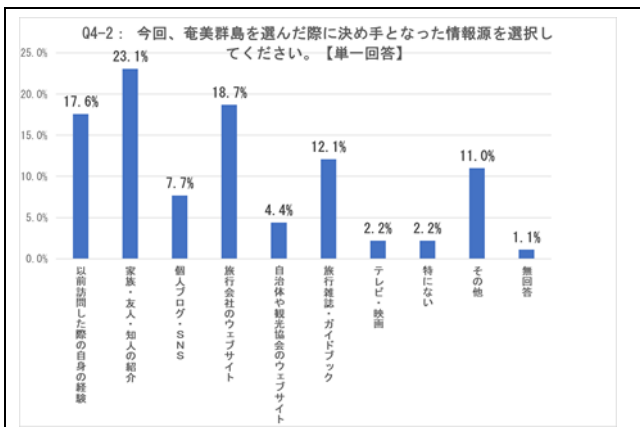
H29 (2017)



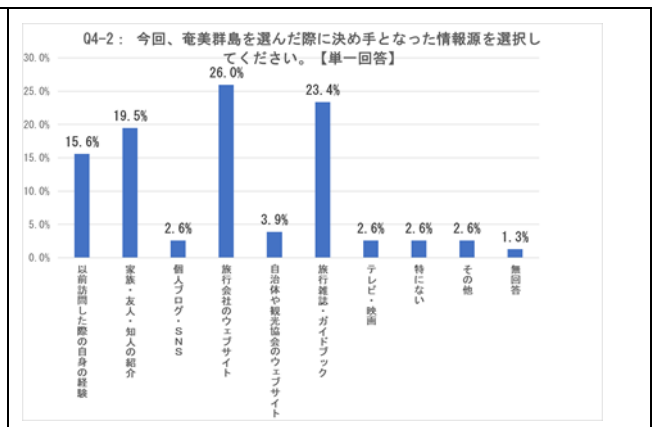
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

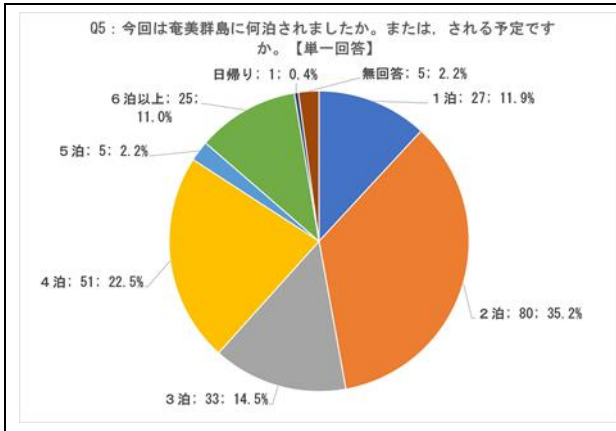


情報源としては、「家族・友人・知人の紹介」が多いが、「旅行会社のウェブサイト」も同様に多く使われている。

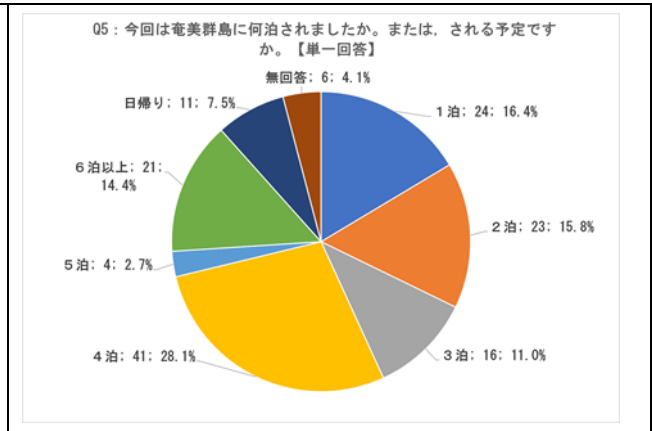
10. 宿泊日数

(Q5 今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか。)

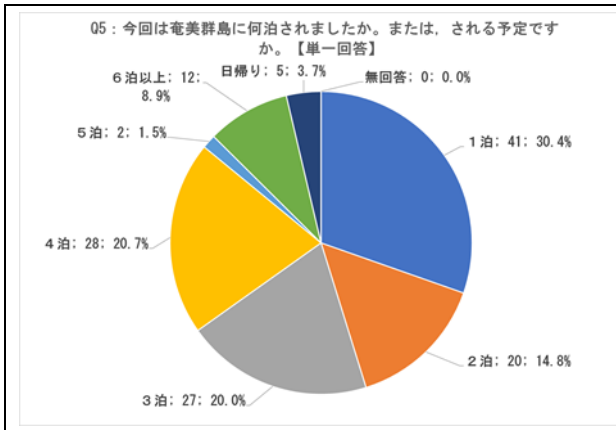
H29 (2017)



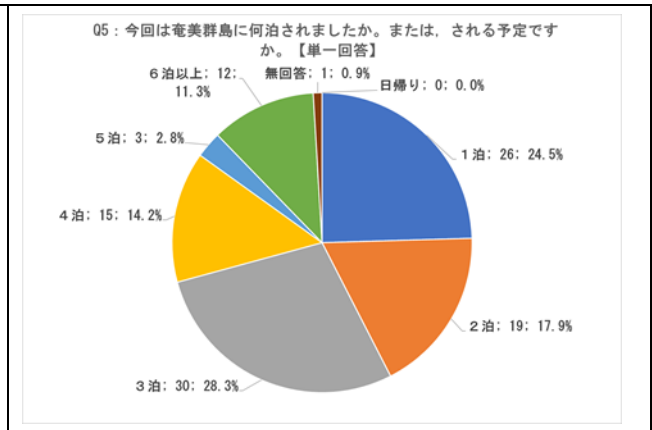
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

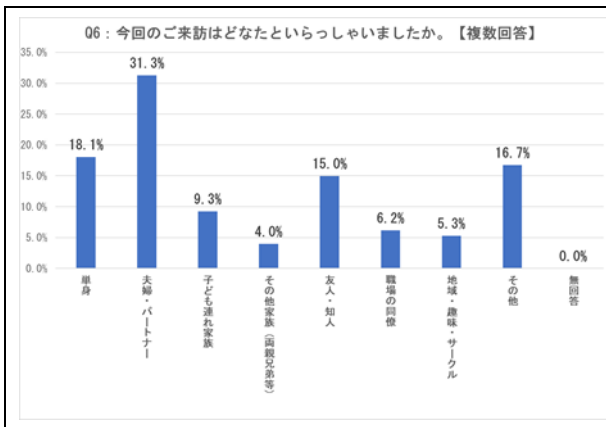


宿泊数については、まちまちである。4泊までは、それぞれ一定数ある。それ以上は、ビジネスの長期滞在かもしれない。

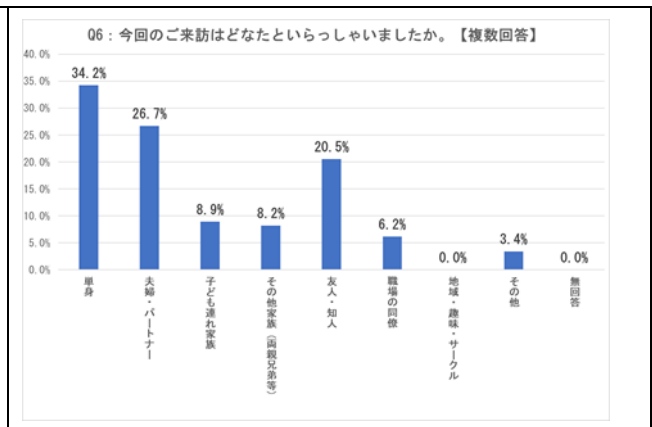
11. 同行者属性

(Q6 今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか。【複数回答】)

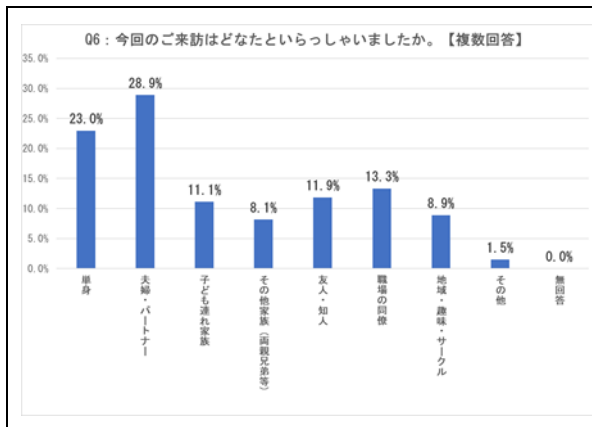
H29 (2017)



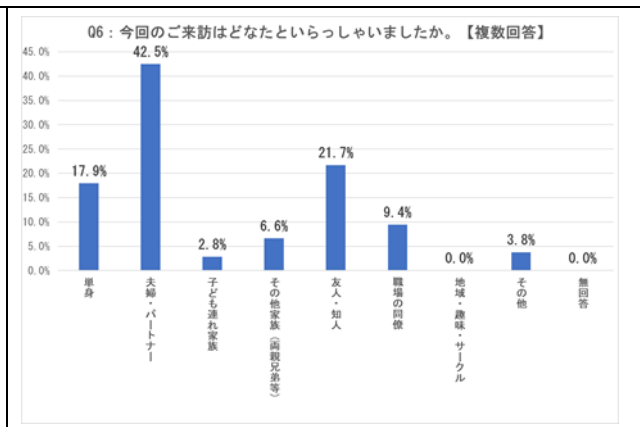
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

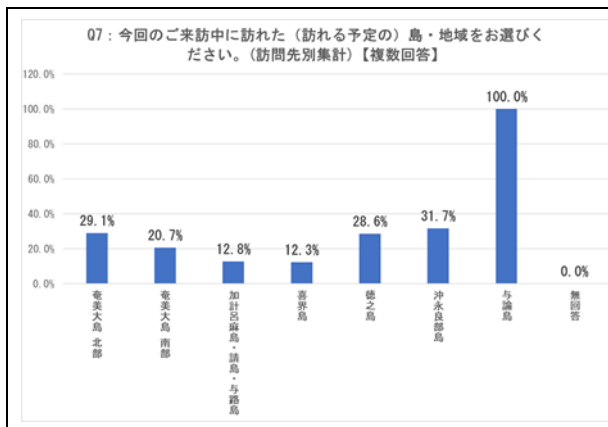


同行者属性については、「夫婦・パートナー」が多く、単身の場合もかなり多い。

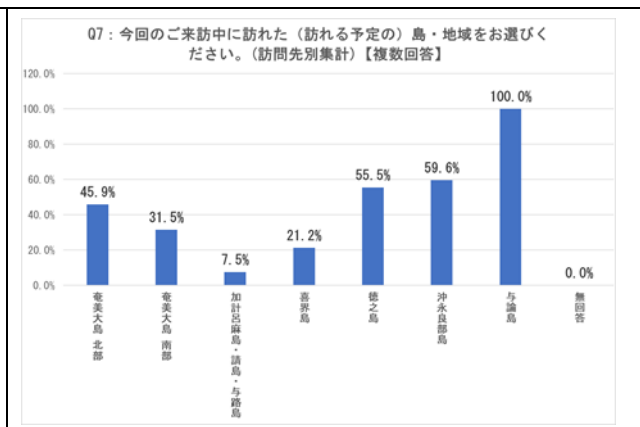
12. 群島内訪問先

(Q7 今回のご来訪中に訪れた (訪れる予定の) 島・地域をお選びください。【複数回答】)

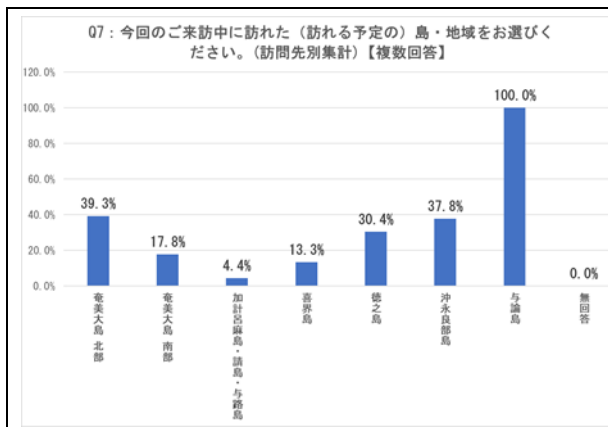
H29 (2017)



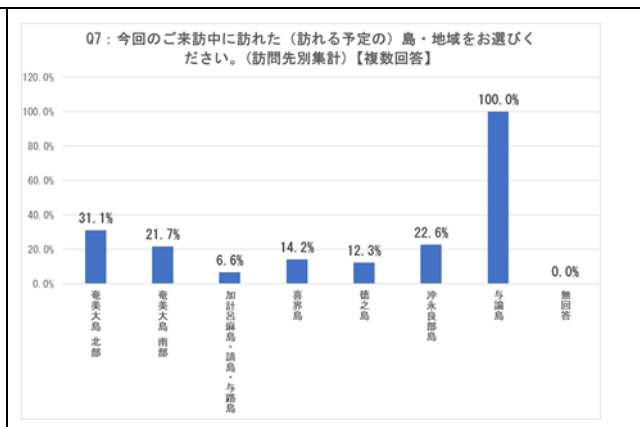
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

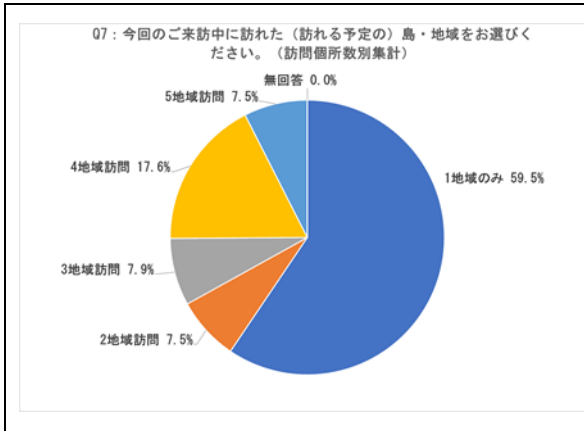


群島内訪問先としては、与論島だけでなく、奄美大島にも宿泊するか、徳之島や沖永良部島に宿泊するというケースもある。

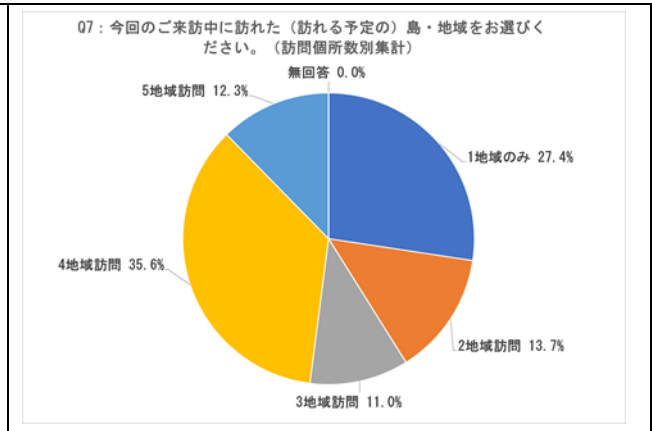
13. 訪問箇所数

(Q7 今回のご来訪中に訪れた(訪れる予定の)島・地域をお選びください。)

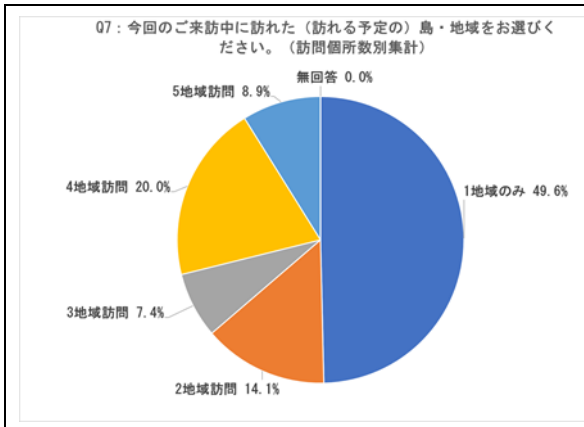
H29(2017)



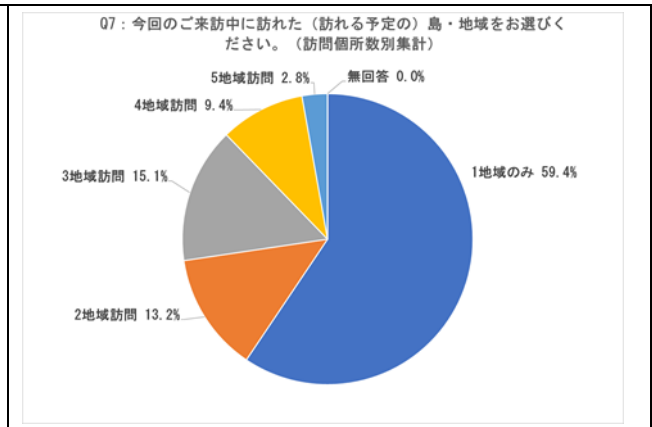
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



訪問箇所数としては、通常は、与論島だけであるが、一部は、奄美大島や他の島にも宿泊しているようである。2018に4地域となったのは、奄美大島を3地域とカウントしたか、この年から始まったアイランドホッピング事業が関連している可能性もある。

14. 印象場所、印象特産物・料理等

(Q8 今回の来訪で最も印象に残った場所(観光地等)を3つお答えください。)

(Q9 今回の来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください。)

Q8

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	プリシアリゾート	28	12.33%
2	サザンクロスセンター	19	8.37%
3	昇竜洞	12	5.29%
4	ヨロン駅	11	4.85%
5	犬の門蓋(インノジョウフタ)	10	4.41%

Q9

H29(2017)	複数回答(記述回答)	数	%
1	鶏飯	83	36.56%
2	もずく・もずく料理	77	33.92%
3	黒糖焼酎	52	22.91%
4	黒糖	21	9.25%
5	パパイヤ料理	19	8.37%

H30(2018)	複数回答（記述回答）	数	%
1	昇竜洞	19	13.01%
2	フーチャ	15	10.27%
3	海の景色	11	7.53%
4	犬の門蓋(インノジョウフタ)	10	6.85%
5	あやまる岬	6	4.11%

H30(2018)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	50	34.25%
2	黒糖焼酎	40	27.40%
3	もずく・もずく料理	38	26.03%
4	黒糖	17	11.64%
5	刺身	8	5.48%

R1(2109)	複数回答（記述回答）	数	%
1	昇竜洞	15	11.11%
2	海の景色	7	5.19%
3	ヨロン駅	7	5.19%
4	サザンクロスセンター	7	5.19%
5	プリシアリゾート	6	4.44%

R1(2109)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	50	37.04%
2	もずく・もずく料理	39	28.89%
3	黒糖焼酎	23	17.04%
4	モリンガ麺	15	11.11%
5	刺身	11	8.15%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	ヨロン駅	10	9.43%
2	あやまる岬	8	7.55%
3	昇竜洞	7	6.60%
4	フーチャ	7	6.60%
5	あやまる岬	6	4.11%

R2(2020)	複数回答（記述回答）	数	%
1	鶏飯	43	40.57%
2	もずく・もずく料理	29	27.36%
3	黒糖焼酎	18	16.98%
4	黒糖	7	6.60%
5	刺身	7	6.60%

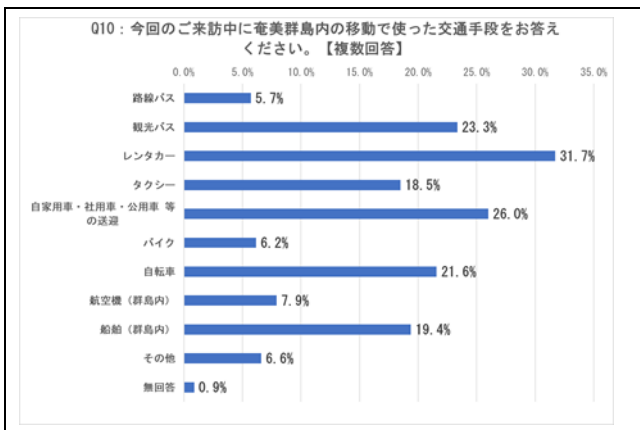
印象に残った場所としては、与論島としては、プリシアリゾート、サザンクロスセンター、海の景色といったところであろうか。別の島の記載も多い。

印象に残った特産物・料理等としては、奄美に共通のものが多く、ばらつきは少ない。

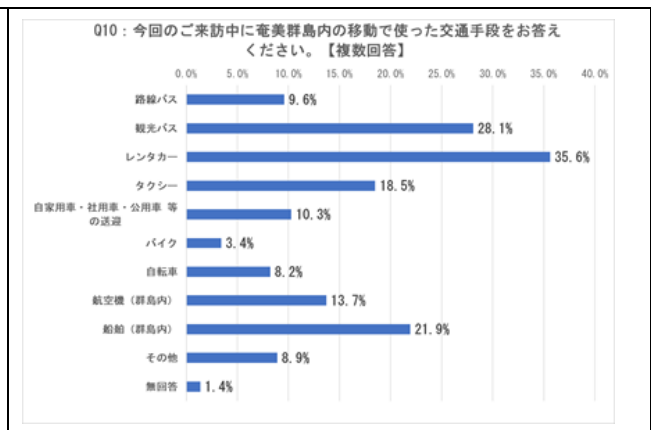
15. 群島内交通手段

(Q10 今回のご来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください。【複数回答】)

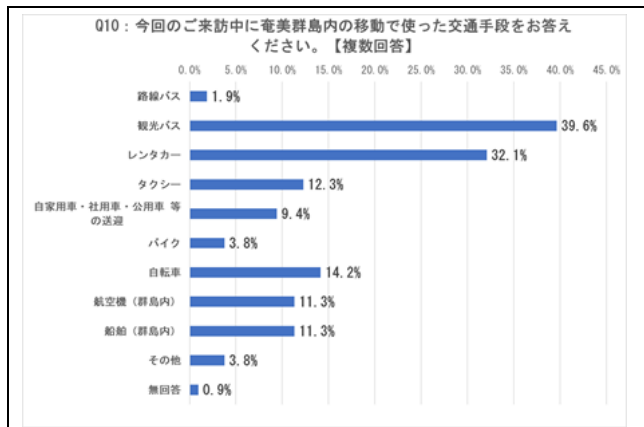
H29(2017)



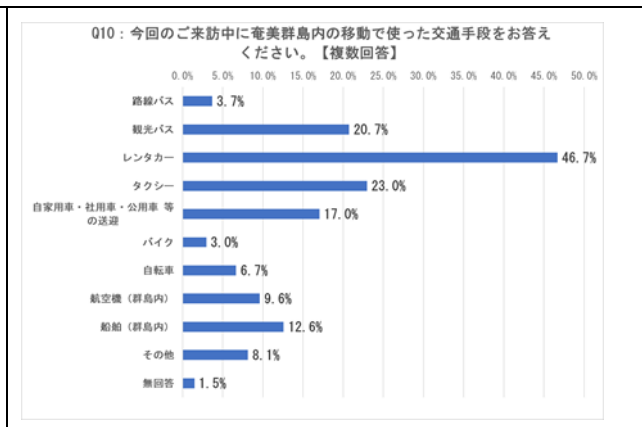
H30(2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



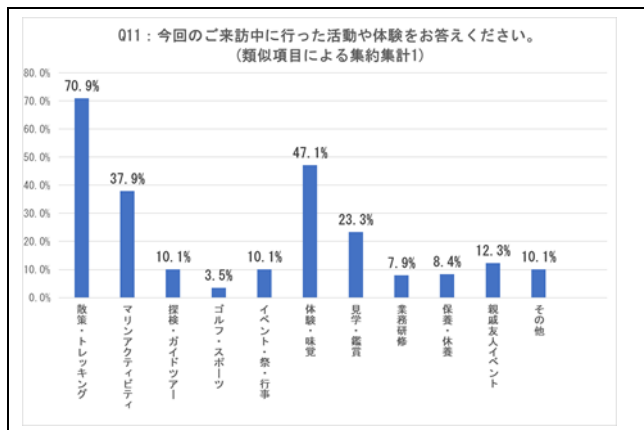
群島内交通手段としては、もちろんレンタカーが多いが、与論島では、観光バスや自転車といった回答も多く出ている。島内が狭いので自転車の利用が比較的多いことが伺われる。

16. 活動・体験

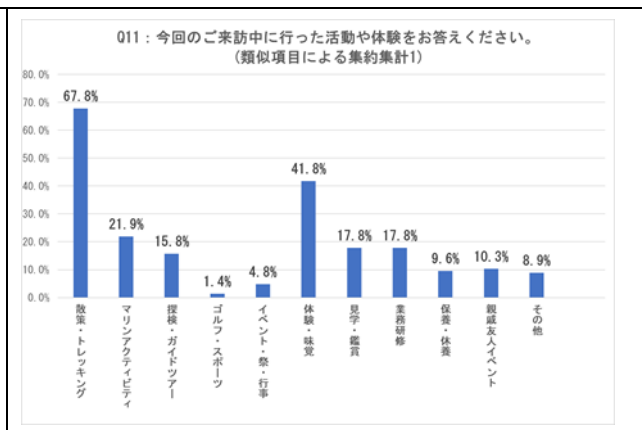
(Q11 今回のご来訪中に行った活動や体験をお答えください。)

※集約集計 (類似項目別)

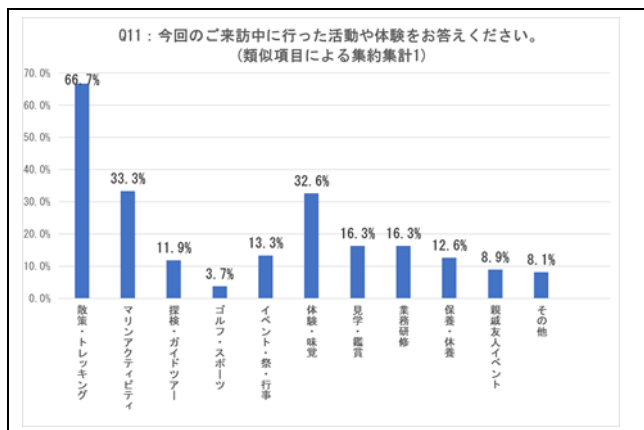
H29 (2017)



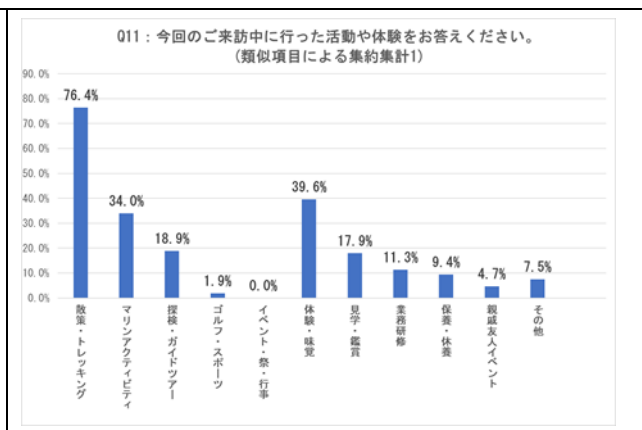
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



活動・体験については、設問をカテゴリーで集約したものを掲載する。

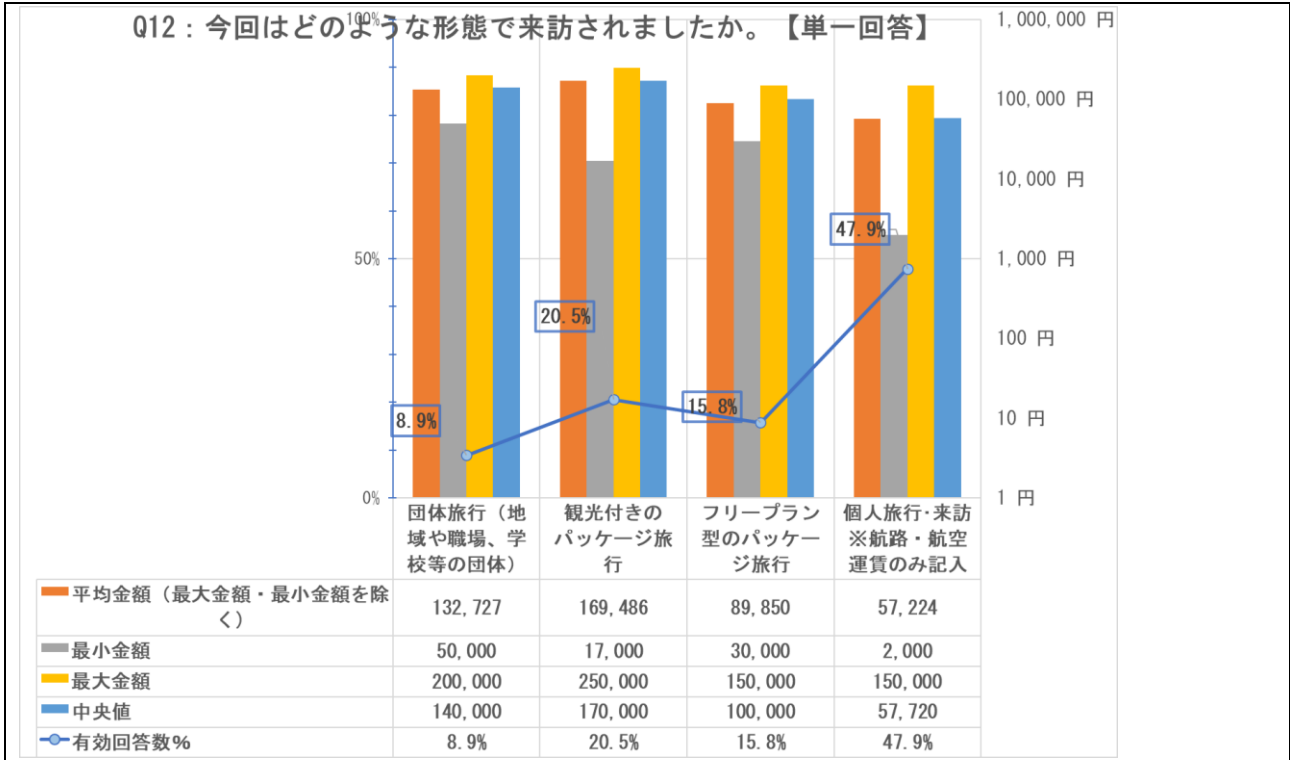
一番多いのは、「散策・トレッキング」であり、次に「体験・味覚」、その次に、「マリンアクティビティ」となっている。

17. 渡航形態と費用

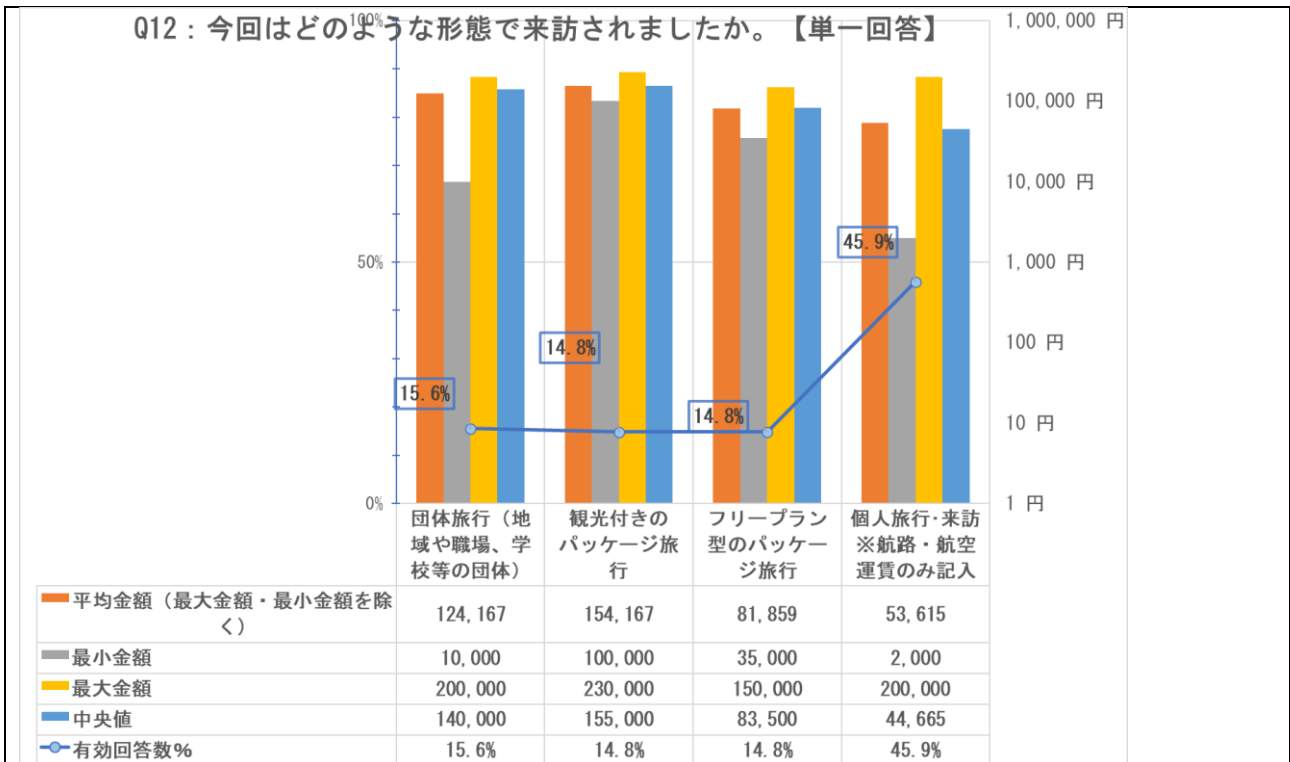
(Q12 今回はどのような形態で来訪されましたか。)

傾向は同じなので、H30(2018)とR1(2019)を取り上げる。

H30(2018)



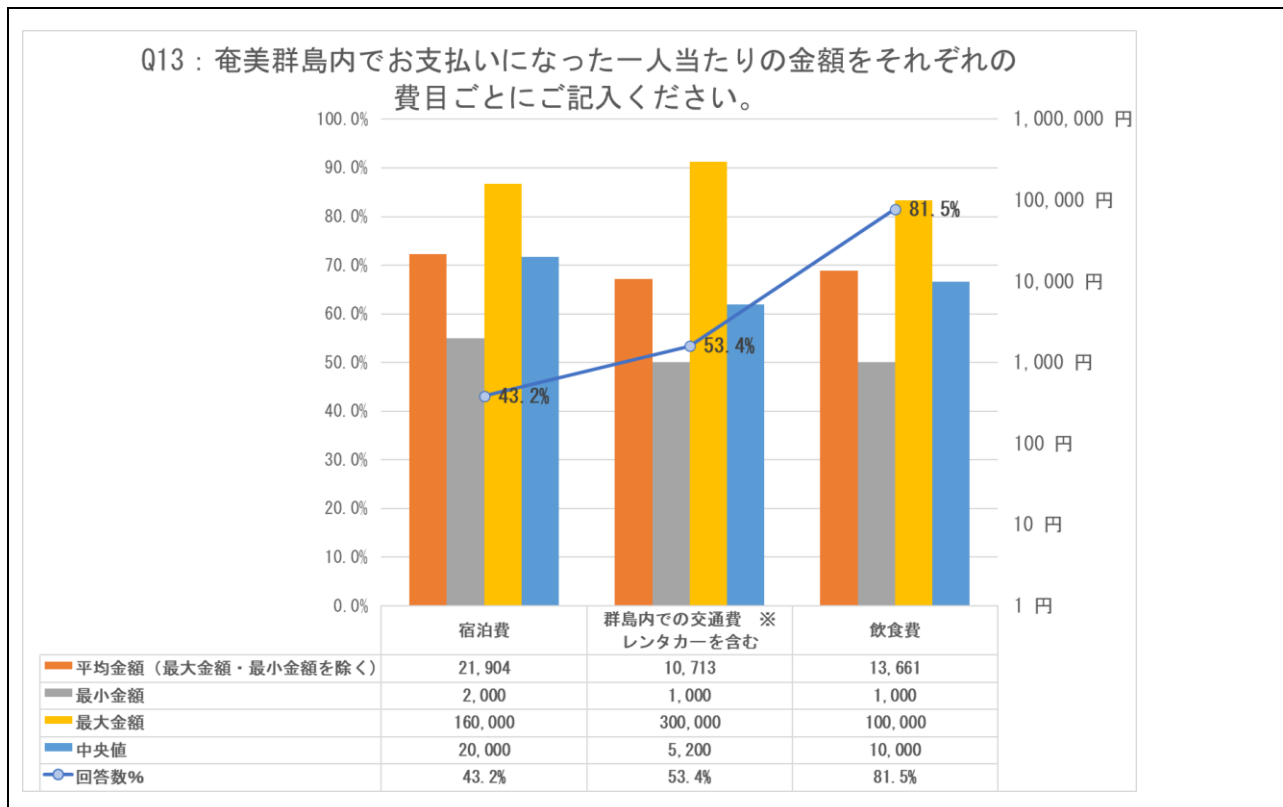
R1(2019)



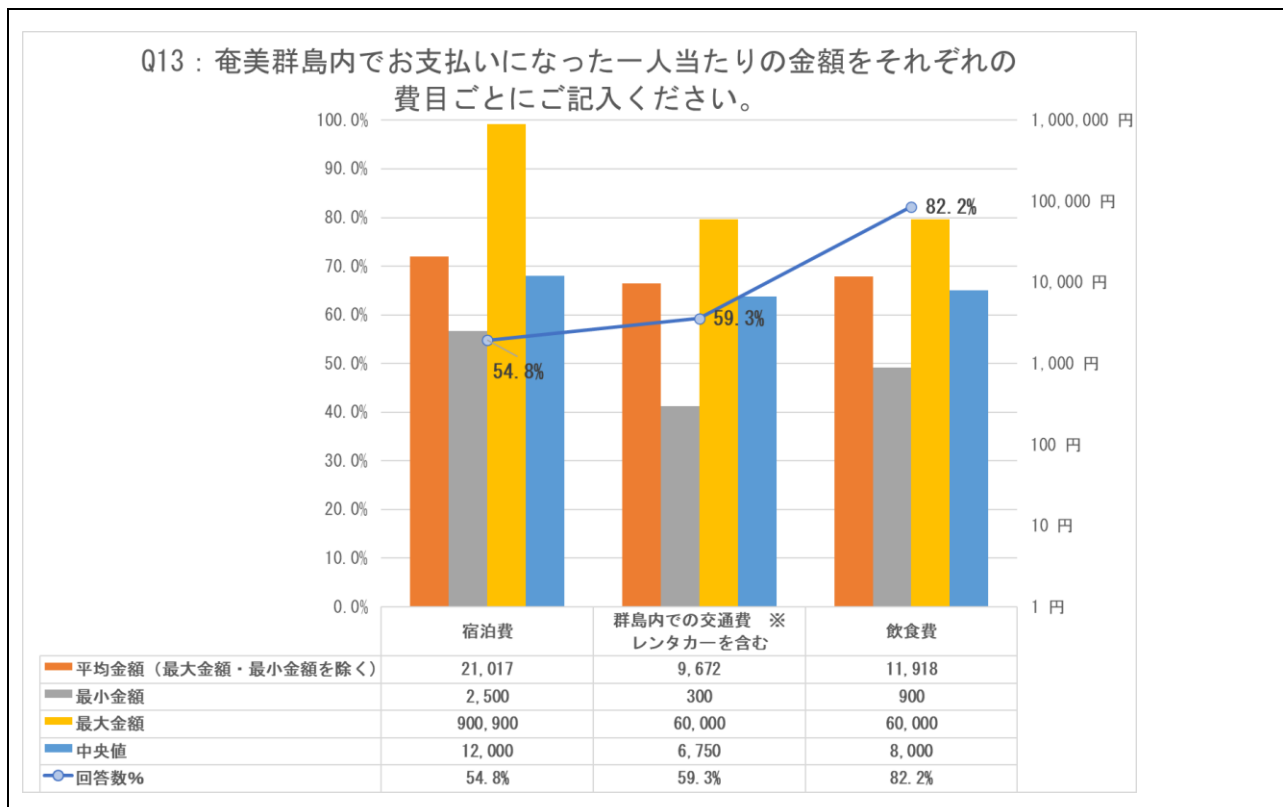
18. 滞在費用

(Q13 奄美群島内でお支払いになった一人当たりの金額をそれぞれの費目ごとにご記入ください。)

H30(2018)



R1(2019)



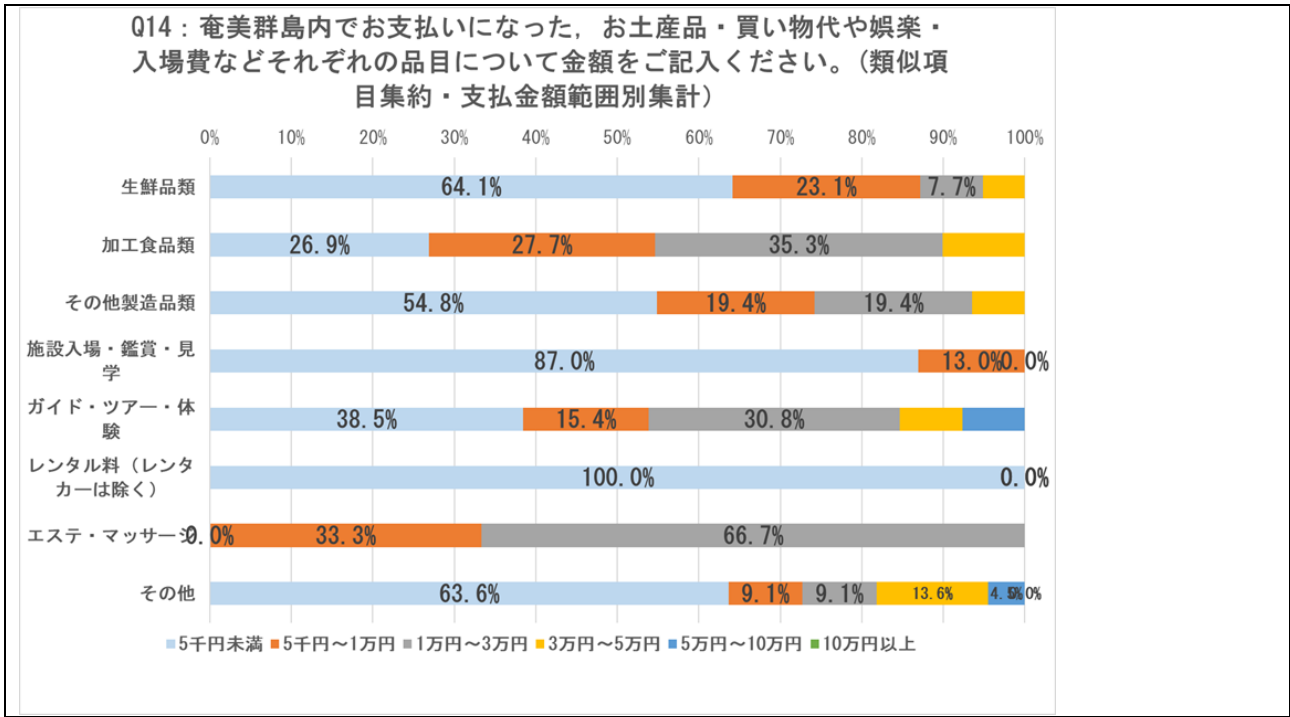
滞在費用は、宿泊費で2万円程度、交通費数千円、飲食費で、1万円強となっている。しかし、人によってばらつきがあり、多い人は、宿泊費で最大で90万円、飲食費で10万円となっている。

19. 活動・購買費用

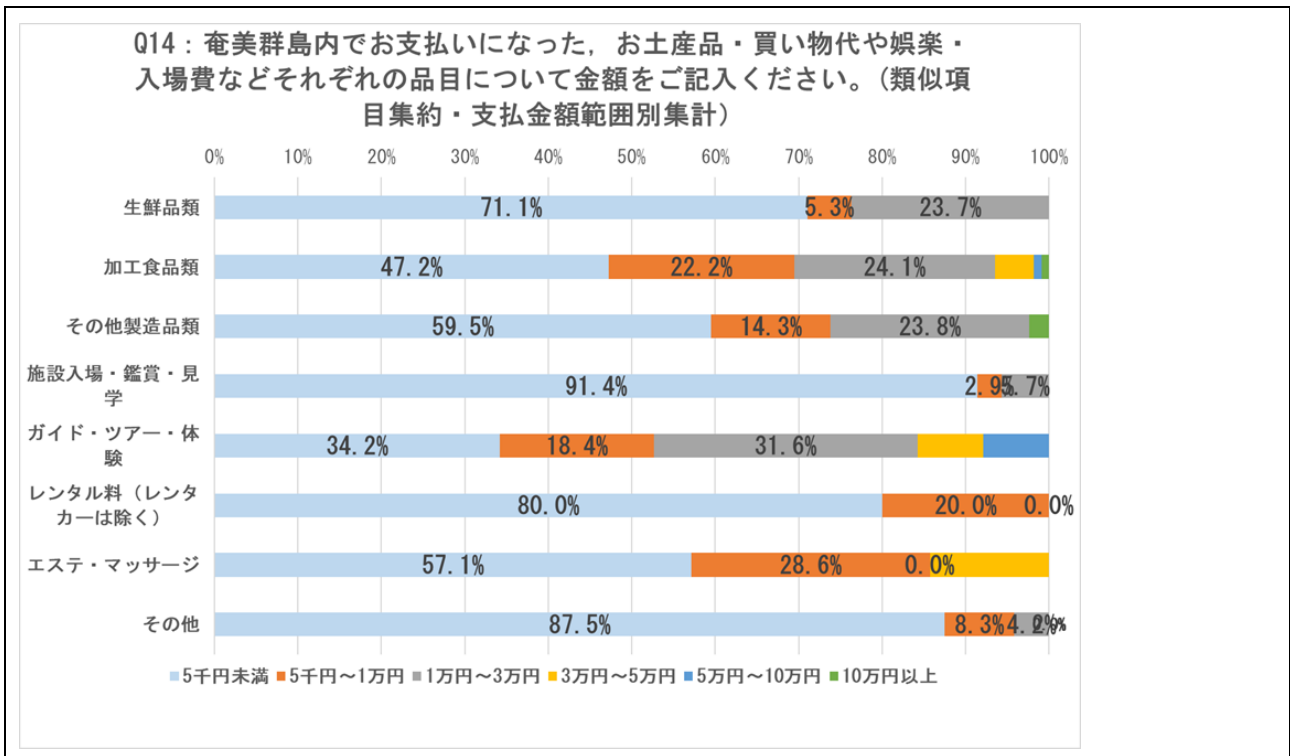
(Q14 奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。)

※集約集計 (類似項目・支払金額範囲別)

H30(2018)



R1(2019)



高額な消費をされる方もいるが、多くは、数千円規模の消費となっている。しかしその中でも、「ガイドツアー・体験」は、単価が高いため、別格と伺える。

Q15のSNSについては、海の風景が多い。あるいは、投稿しない、となっている。

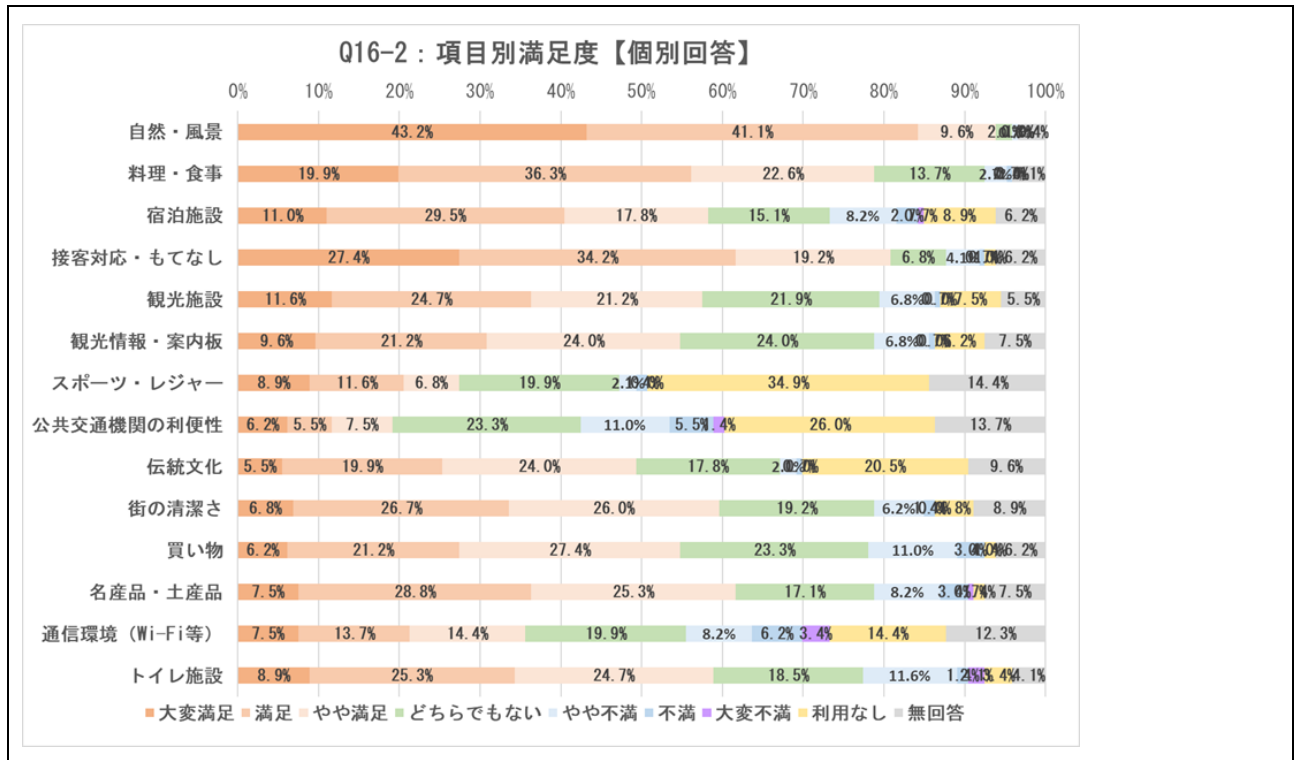
20. 満足度・項目別

(Q16 今回のご来訪の満足度をお答えください。)

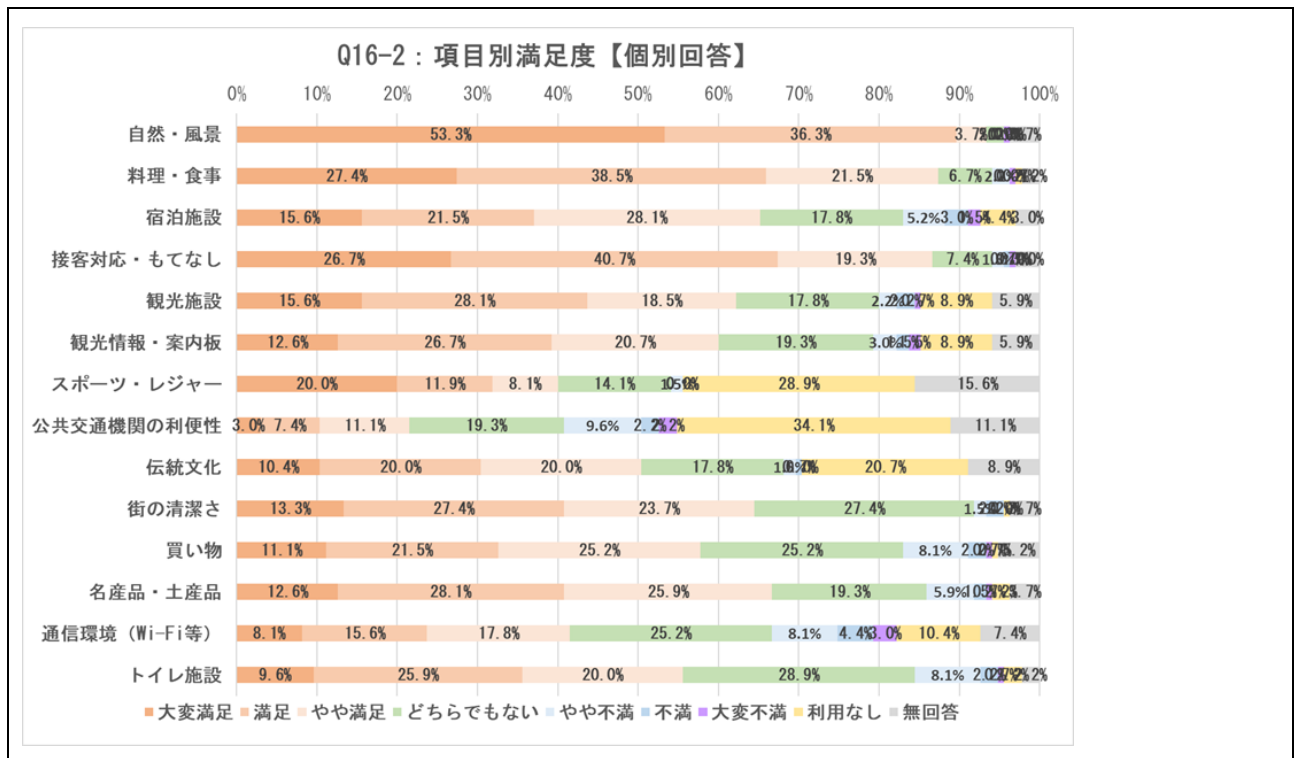
Q16 の満足度の全体については、大変満足、満足、やや満足を足すと9割に及ぶ。

項目別

H30(2018)



R1(2019)



与論島での自然・風景への満足度は、非常に高い。しかしながら、交通の利便性、通信環境 (Wi-Fi 等)

は、不満が多い。

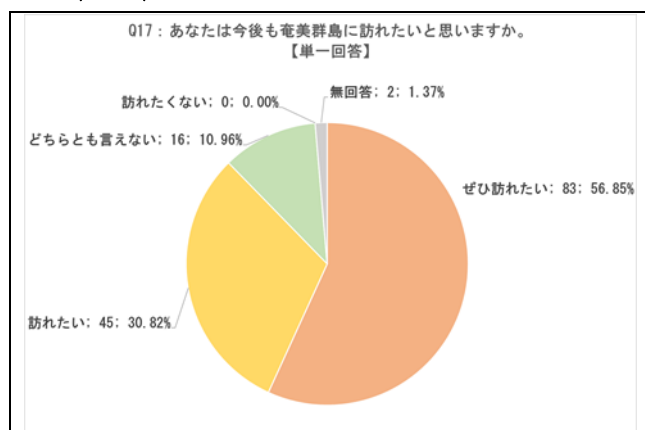
旅行全体および項目別を7段階評価（大変満足：7、満足：6、やや満足：5、どちらでもない：4、やや不満：3、不満：2、大変不満：1、利用なし：0）で、平均評価を求めると、次のようになった。

与論島 換算点数に基づく平均評価				
項目の満足度	2017年	2018年	2019年	2020年
0 旅行全体	6.25	5.97	6.16	6.05
1 自然・風景	6.47	6.28	6.43	6.37
2 料理・食事	5.77	5.57	5.77	5.48
3 宿泊施設	5.13	4.62	4.87	5.29
4 接客対応・もてなし	5.74	5.69	5.81	5.78
5 観光施設	4.92	4.71	4.82	5.04
6 観光情報・案内板	4.84	4.67	4.70	4.85
7 スポーツ・レジャー	3.82	2.98	3.70	4.09
8 公共交通機関の利便性	3.28	2.92	2.63	3.06
9 伝統文化	4.57	3.94	4.06	4.67
10 街の清潔さ	5.19	4.79	5.14	5.49
11 買い物	4.81	4.69	4.88	5.10
12 名産品・土産品	4.99	4.90	5.04	5.12
13 通信環境（Wi-Fi等）	3.54	3.73	4.06	3.99
14 トイレ施設	4.80	4.71	4.79	5.01

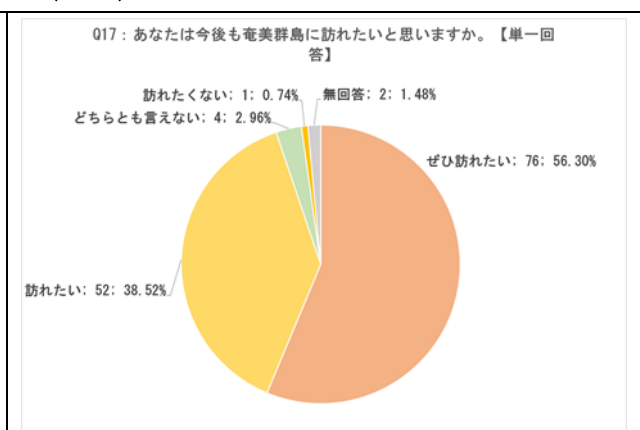
21. 再来訪意向

（Q17 あなたは今後も奄美群島に訪れたいと思いますか。）

H30 (2018)

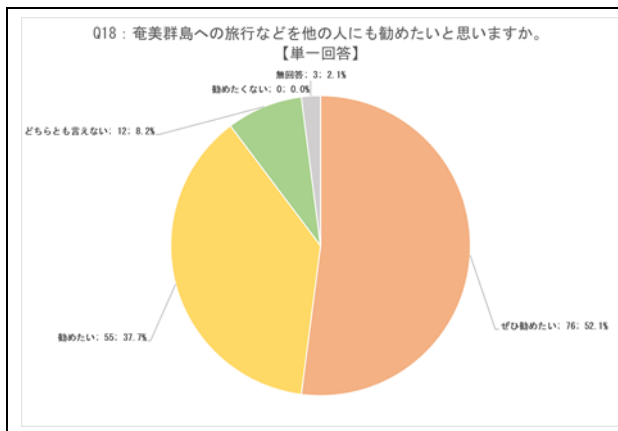


R1 (2019)

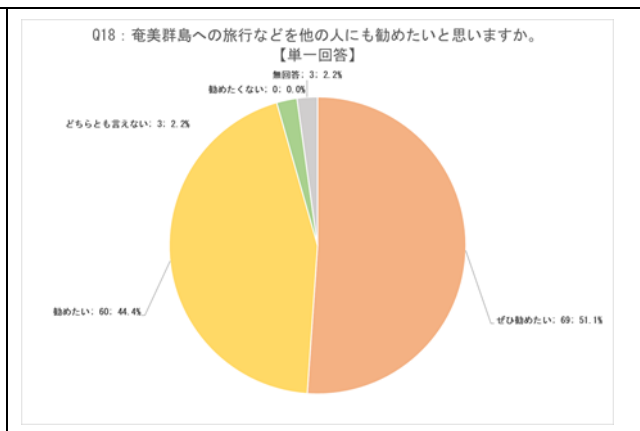


(Q18 奄美群島への旅行などを他の人にも勧めたいと思いますか。)

H30(2018)



R1(2019)



満足度や再来訪意向等は、極めて高いが、年によって多少変わるようだ。

22. 再来訪意向

(Q19 来訪者の方⇒今回の来訪をとおして感じたご意見等がございましたらお聞かせください。
居住者の方⇒奄美群島の観光について、ご意見等がございましたらお聞かせください。)

自由記述のため省略(電子データ参照)。なお、内容の参考となる属性や消費金額、満足度を併記した。

H29(2017) 回答数 172

H30(2018) 回答数 120

R1(2019) 回答数 101

R2(2020) 回答数 75

第2章 奄美群島観光振興基礎調査結果のクロス集計

1章での群島全体、および島ごとについては主要な項目についての集計のグラフ表示を行ったが、2章では、その結果を踏まえて、クロス集計を行い、より詳細な実態の把握を試みた。

2-1 クロス集計項目

クロス集計として、以下について試みた。

1. FSC と LCC の比較

①FSC（フルサービスキャリア）の利用者とLCC（ローコストキャリア）の利用者では、旅行への費用のかけ方や旅行行動に異なる点があると考えられるため、比較を行った。

②しかしながら、九州居住者の場合、奄美行きはLCCは利用できない。そこで、次に、奄美、九州居住者を除いたデータで、比較を行った。

2. 渡航費・滞在費・活動費の比較

①渡航費（Q12）、滞在費（Q13）、活動費（Q14）の集計を活用して、それぞれの支出額の比較を行うことで、一定の傾向があるのではないかと考えて、比較を行った。

②さらに、支出額の多寡での傾向をみるために、いくつか支払いレベルを分けて、図化した。

③次に、活動費（Q14）と滞在日数を活用して、一日当たりの支出額を求め、支払いレベルごとに人数を求めた。一日にどの程度消費するかの傾向を見るためである。

④それをもとに、支出額の少ない人（小：5000円未満）と多い人（大：1万円以上）との比較を行うことで、旅行行動の違いがでてくるのではないかと考えた。

⑤奄美居住者以外の滞在費と活動費から、奄美群島の域内に入る来訪者がもたらす消費額を求めることができるのではないかと考え、試算を行った。

3. 観光・レジャーにおいてはじめてとリピーターの違い

回答者の目的で一番多いのは、「観光・レジャー」であるが、それでは、その内訳はどうなっているのか。旅行行動をみる上で、はじめての来訪者と何度も来ているリピーターでは、旅行行動が異なると考えられ、その比較を行った。

4. 若い女性の傾向について

観光旅行では、流行をつくるのは若い女性であろう。若い女性の20代・30代に絞って、旅行行動の傾向を把握しようとした。

5. 長期滞在者

同様に、奄美群島への長期滞在者（4泊以上）についてもその傾向を把握しようとした。

2-2 FSC と LCC の比較

まず、最初に、JAL グループのような FSC（フルサービスキャリア）とピーチエアラインのような LCC（ローコストキャリア）の利用者では、行動パターンや支払金額が異なるのではないかという推論で、両者の比較を試みた。比較対象は、年 4 回のフルデータのある 2018 と 2019 で、FSC と LCC の比較とした。図化の場合、利用者の多い 2018 年を優先した。

1. 回答者性別



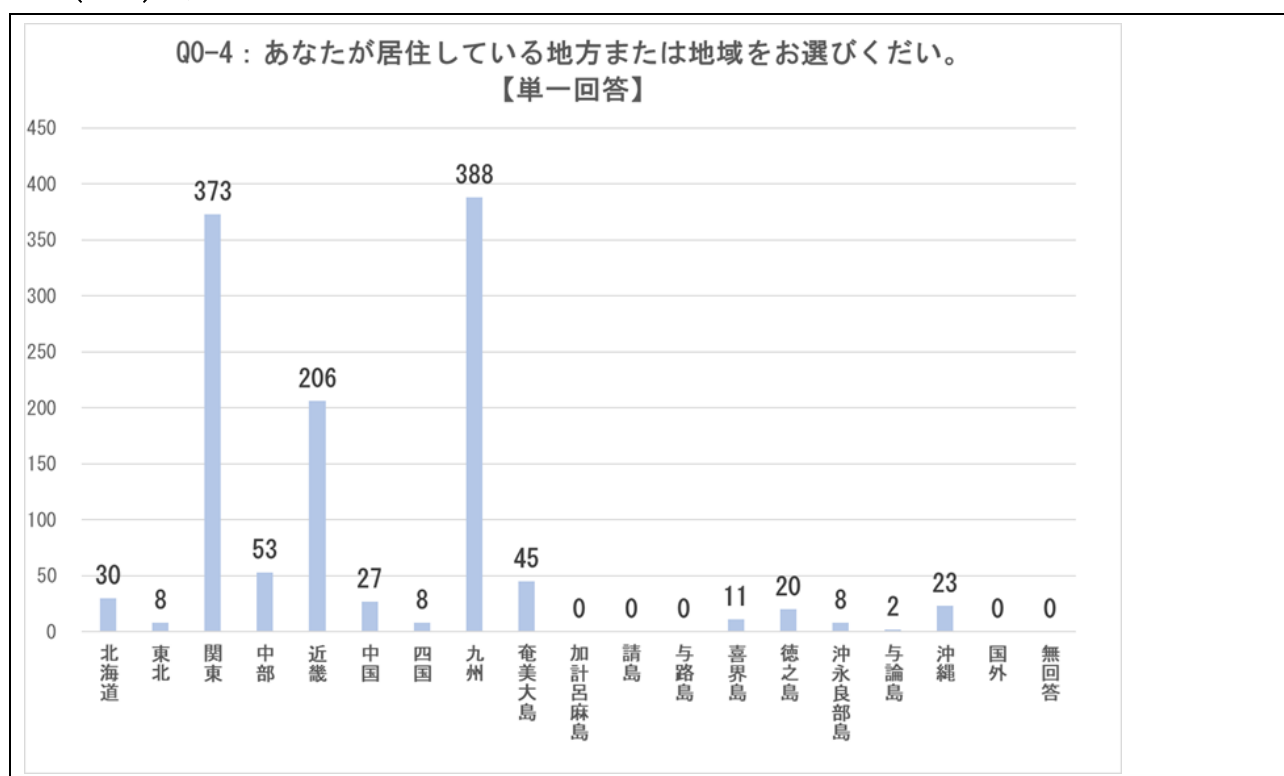
回答者の属性で、男女の利用者比較では、母数には大きな差はあるものの、FSCの方が、2018年57.4%、2019年58.9%と、男性利用者が多く、LCCでは、2018年39.3%、2019年47.1%で少ないということがわかる。

次に、年齢比較では、双方とも、40代、50代が多い。(図省略)

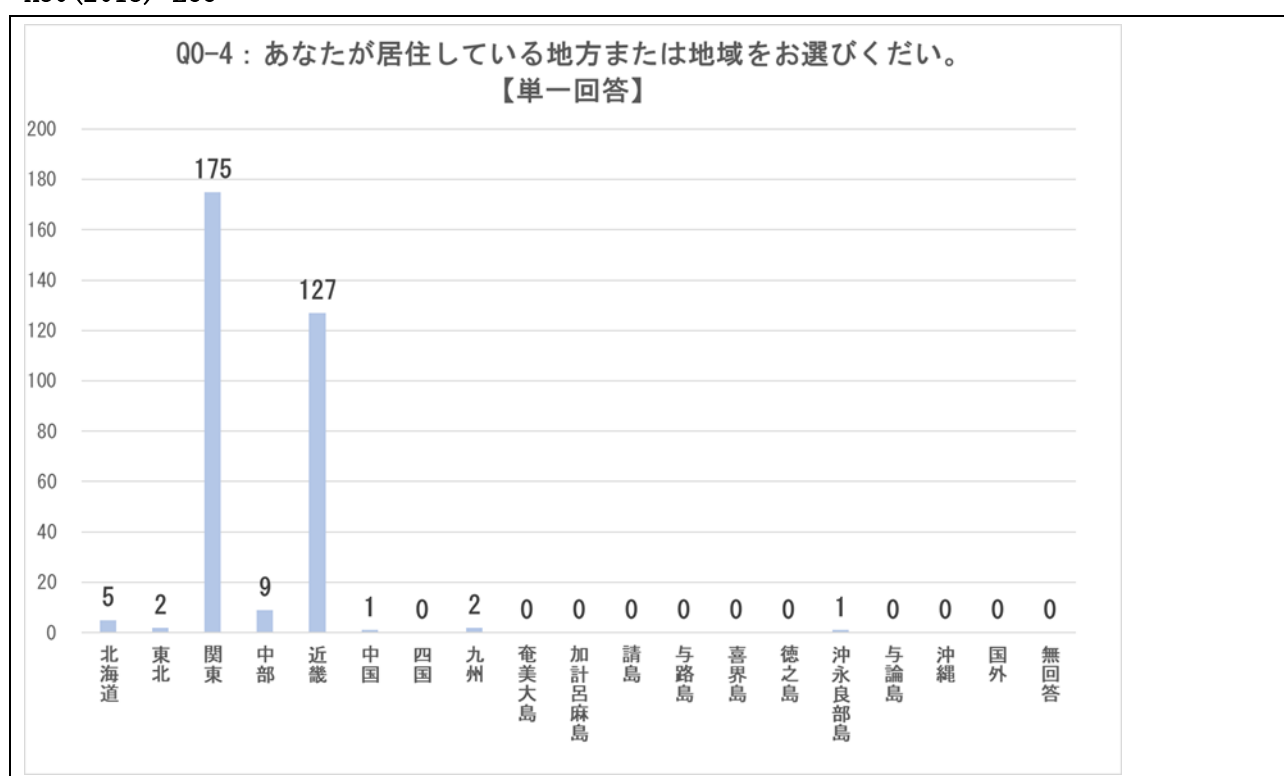
また、職業比較でも、それほど差はなかった。(図省略)

2. 回答者居住地

H30(2018) FSC



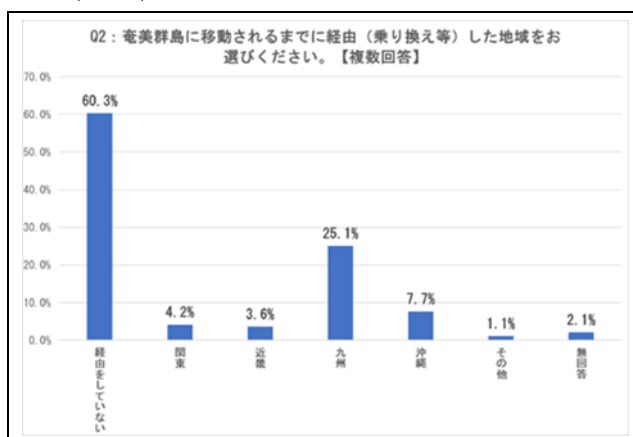
H30(2018) LCC



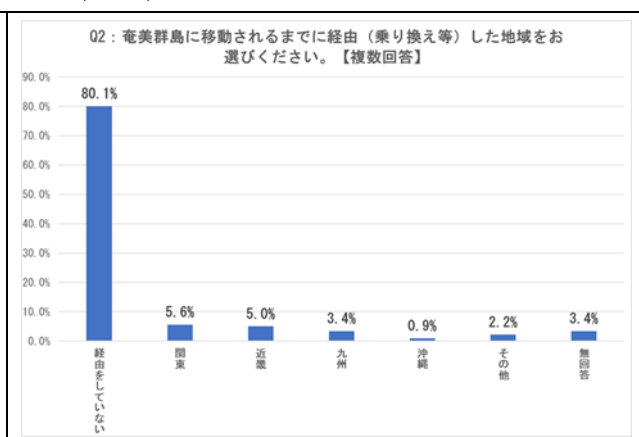
居住地の比較をみると、2018年FSCでは、九州が多く、次に関東、近畿、中部となっている。2019では、関東が一番多かった（図省略）。九州からのLCCはないため、FSCとLCCの違いを見る上では、除外して比較するのがベターかもしれない。

3. 運行経由地

H30(2018) FSC



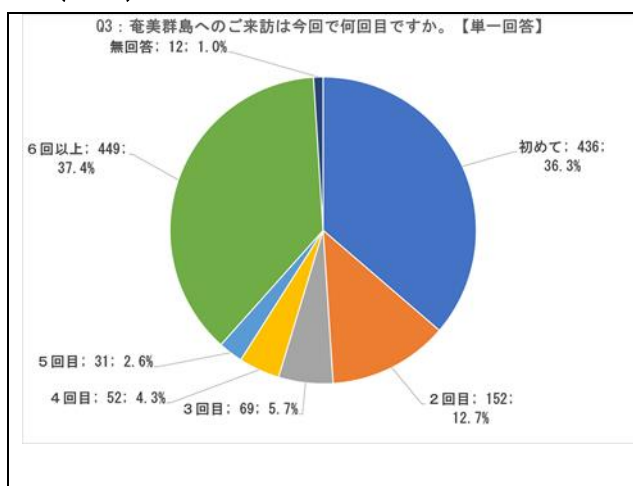
H30(2018) LCC



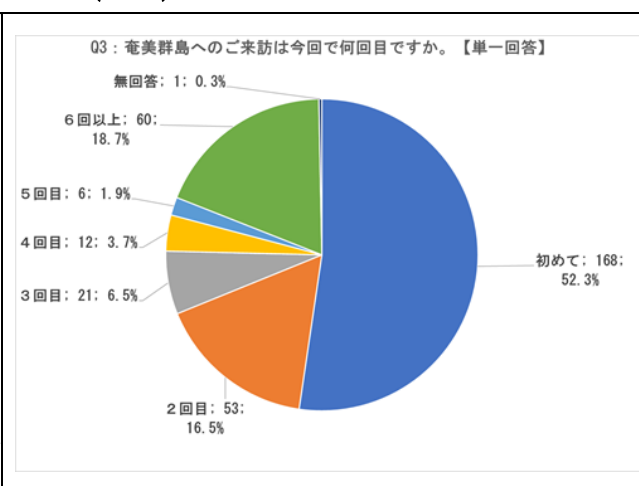
渡航経由地の比較については、FSC では九州経由および沖縄経由が一定数あるが、多くは直行である。LCC はもちろんほとんどが直行となっている。

4. 来訪回数

H30(2018)FSC



H30(2018)LCC

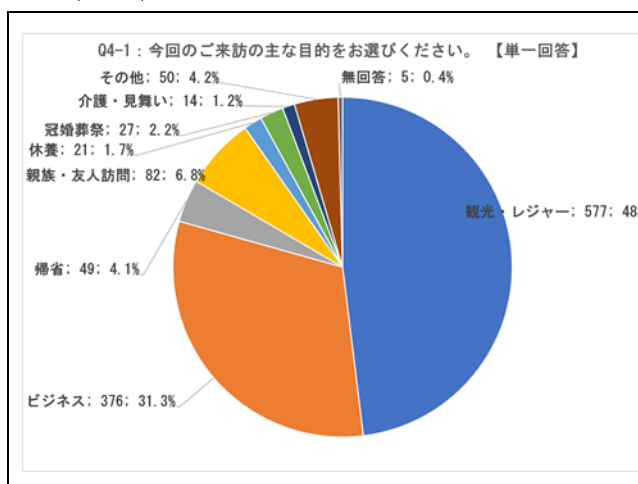


次に、来訪回数を見ると、FSC では、初めてが 36.3%、6 回以上が 37.4% と多い。他方、LCC では、初めてが 52.3% と半数を越える。6 回以上も 18.7% と次に多い。

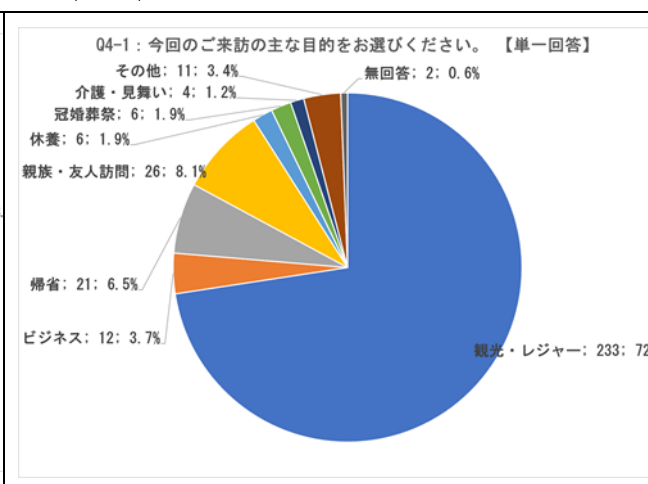
そこで、目的をみると、次のような結果となっている。

5. 来訪目的

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC



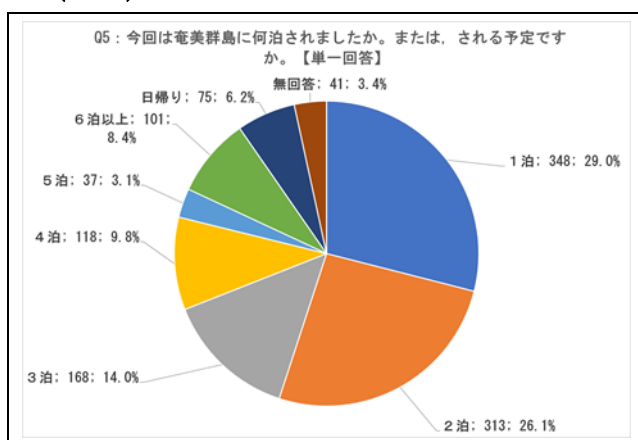
これを見ると、FSCで6回以上のかなりの部分は、ビジネスであることが推測される。

LCCでは、多くが「観光・レジャー」である。ビジネス客はほとんどいない。したがって、LCCの来訪回数6回以上は、リピーターと推測される。

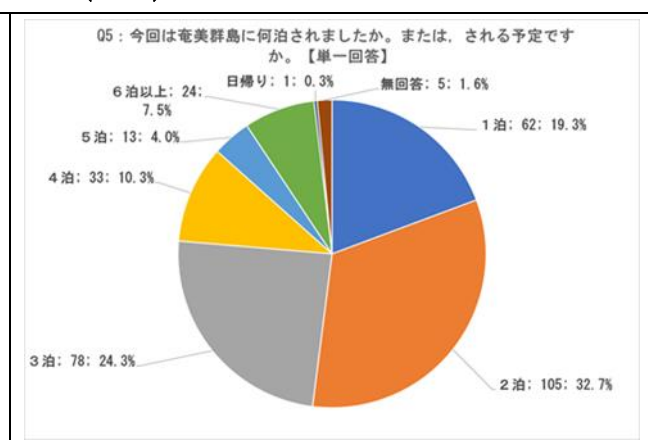
次の設問の情報源については、FSCとLCCで大きな相違はない。(図省略)

6. 宿泊日数

H30(2018) FSC



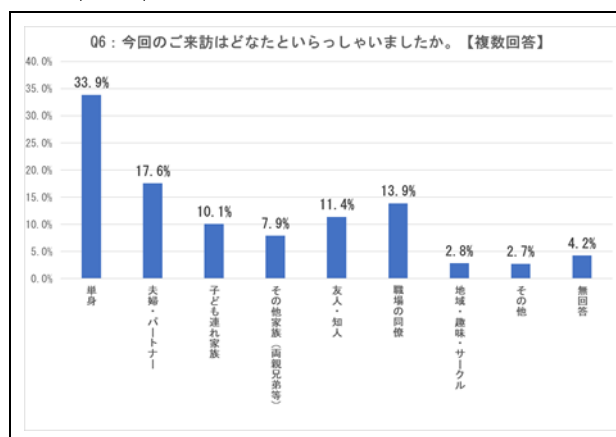
H30(2018) LCC



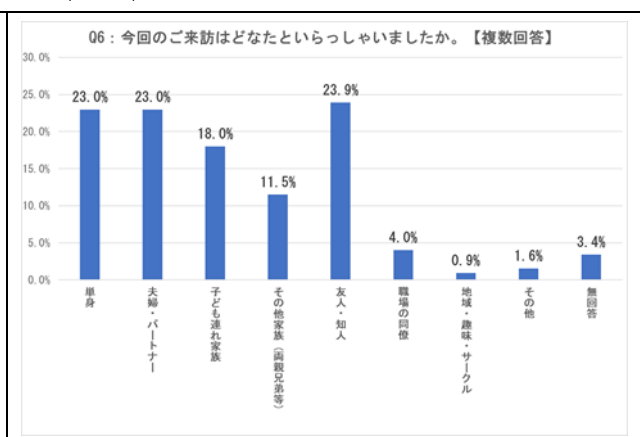
宿泊日数についてみると、FSCはビジネス客としての1, 2泊が多い。LCCは2, 3泊が多い傾向と見られる。

7. 同行者属性

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC



同行者の属性では、FSC では、「単身」が多く、次に、「夫婦・パートナー」、「職場の同僚」となっている。単身には、前述のデータから、ビジネス客が多く含まれていると思われる。一方、LCC では、「友人・知人」が多い、同規模で、「単身」、「夫婦・パートナー」となっている。他方、「職場の同僚」は少ない。なお、群島内訪問先では、LCC では、圧倒的に、奄美大島および加計呂麻島等が多い。一方、FSC では、各島への訪問先の実勢に近い数字と理解される。2019 年も同様の構成となっている（図省略）。

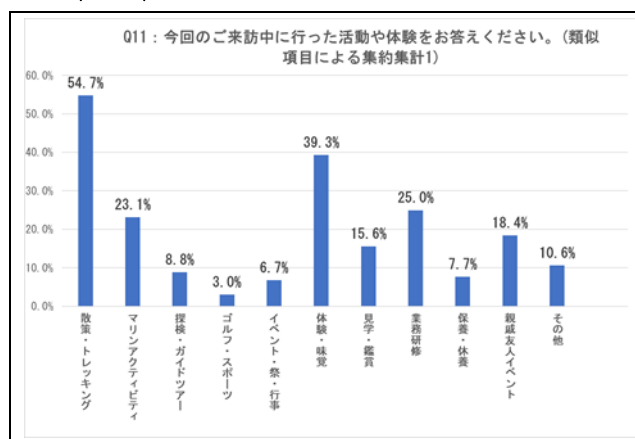
訪問先の箇所数は、FSC も LCC も多くが、1 地域となっている。

また、来訪中の郡内での移動の交通手段については、双方とも、ほとんどが「レンタカー」であった。加えて、FSC では、「観光バス」そして、「自家用車・社用車・公用車等の送迎」が高い。LCC では、「路線バス」が比較的多かった。

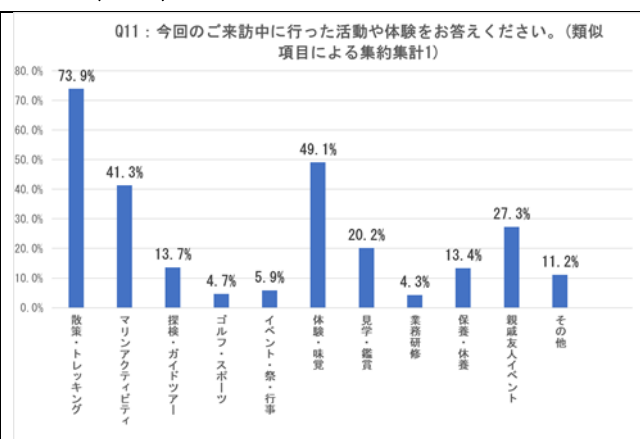
次に、「Q11 活動・体験」では、FSC、LCC ともに同じ傾向を示しているが、大きな違いは、FSC では、ビジネス目的の人が回答する「仕事・会議・研修」の数値が大きい。以下の図は、設問の活動、体験の項目を類似項目ごとに集約したものである。

8. 活動・体験（類似項目集約化）

H30(2018) FSC

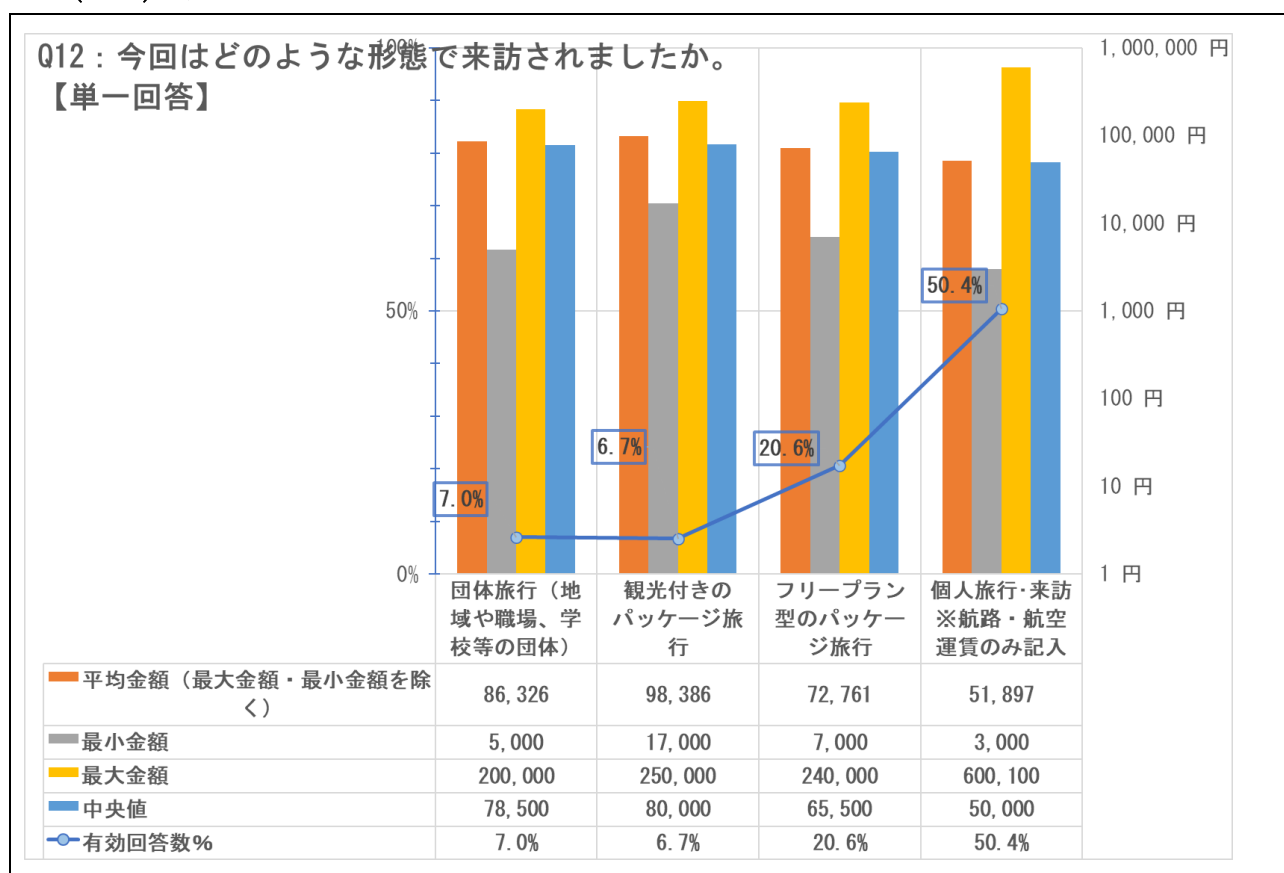


H30(2018) LCC

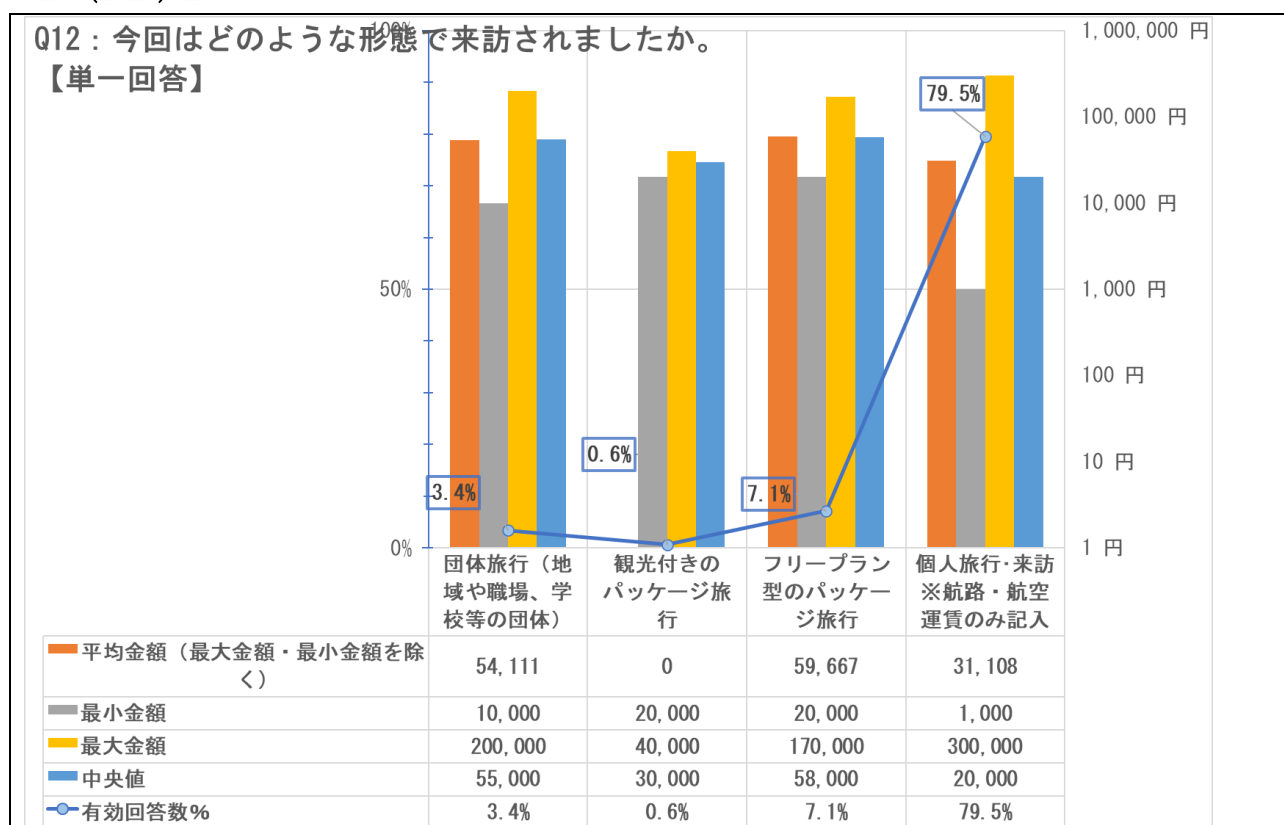


9. 渡航形態と費用

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC

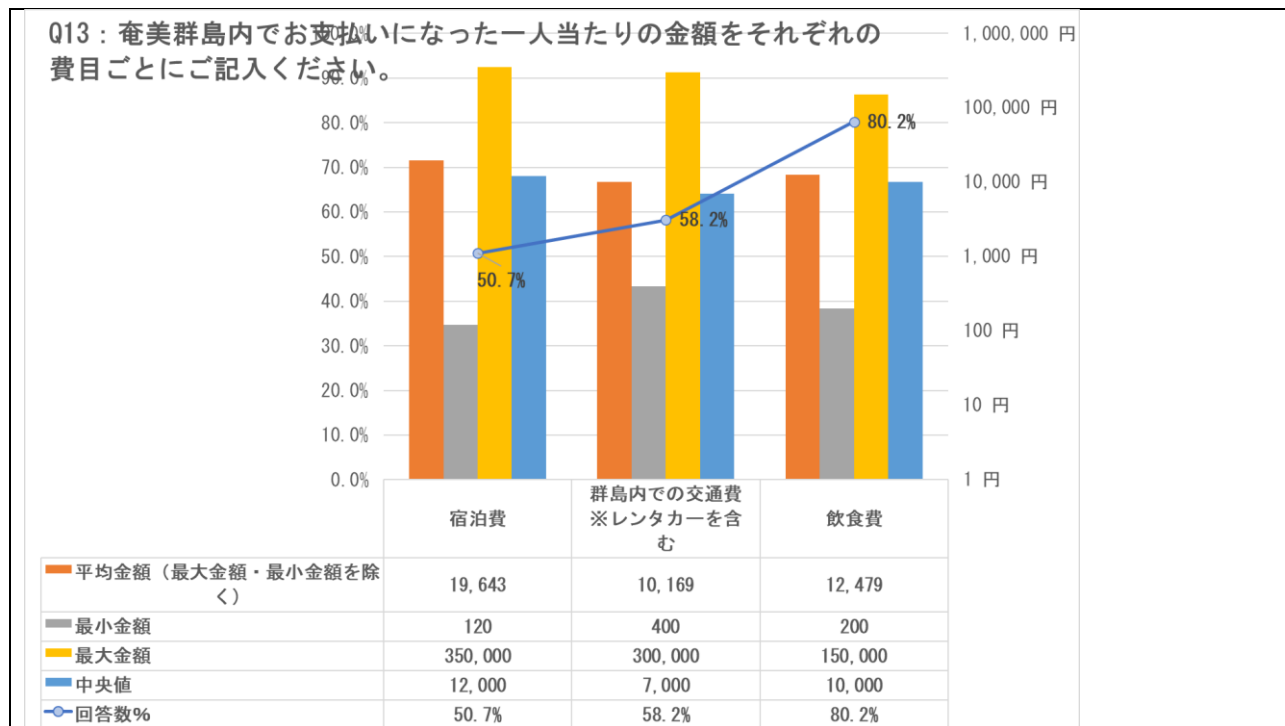


渡航形態と費用では、FSCもLCCもパッケージ型の団体旅行には人気がなく、フリープランや飛行機

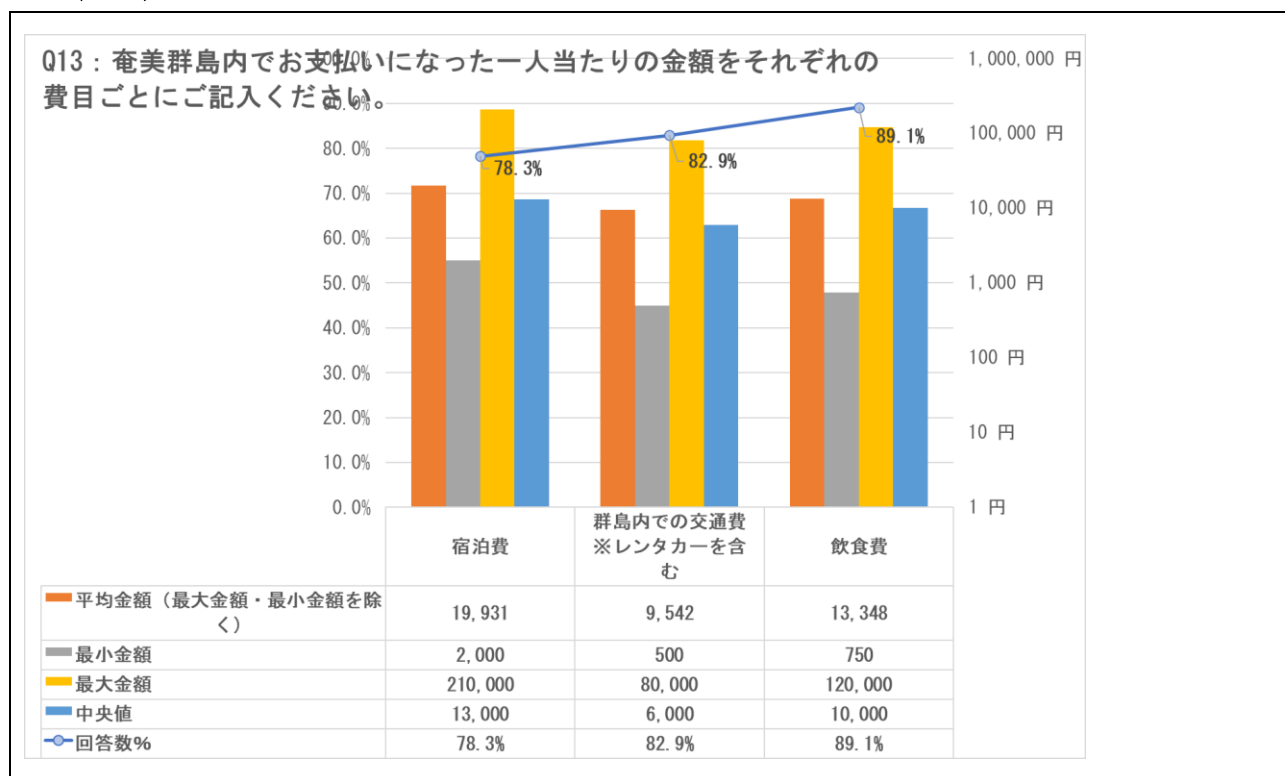
代のみが趨勢を占める。特に、LCC では、飛行機代だけがほとんどとなっている。金額としては、もちろん FSC が、中央値でも平均金額でも当然のことながら高い。

10. 滞在費用

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC

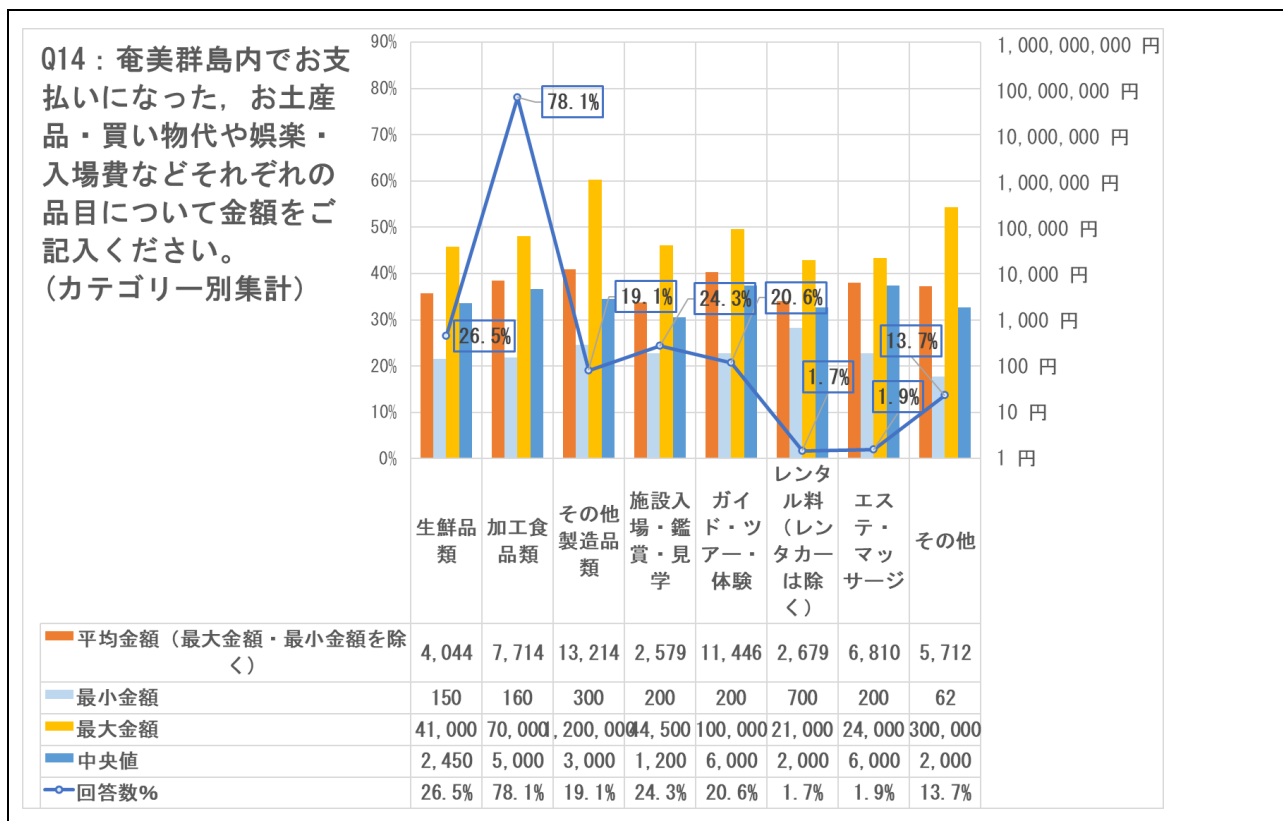


滞在費の FSC と LCC の比較では、平均金額では、大きな差になっていない。最大金額では、開きがある。

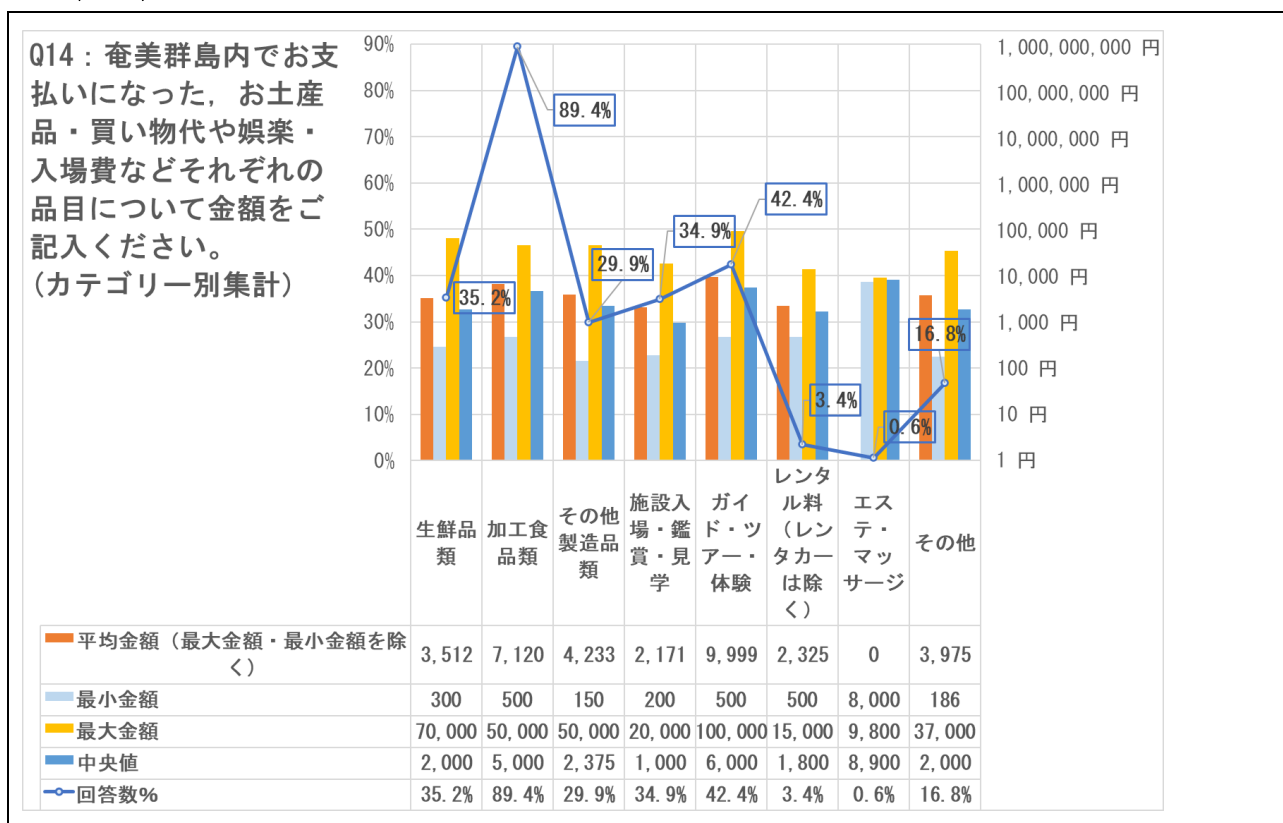
11. 活動・購買費用

※集約集計（カテゴリー別）

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC

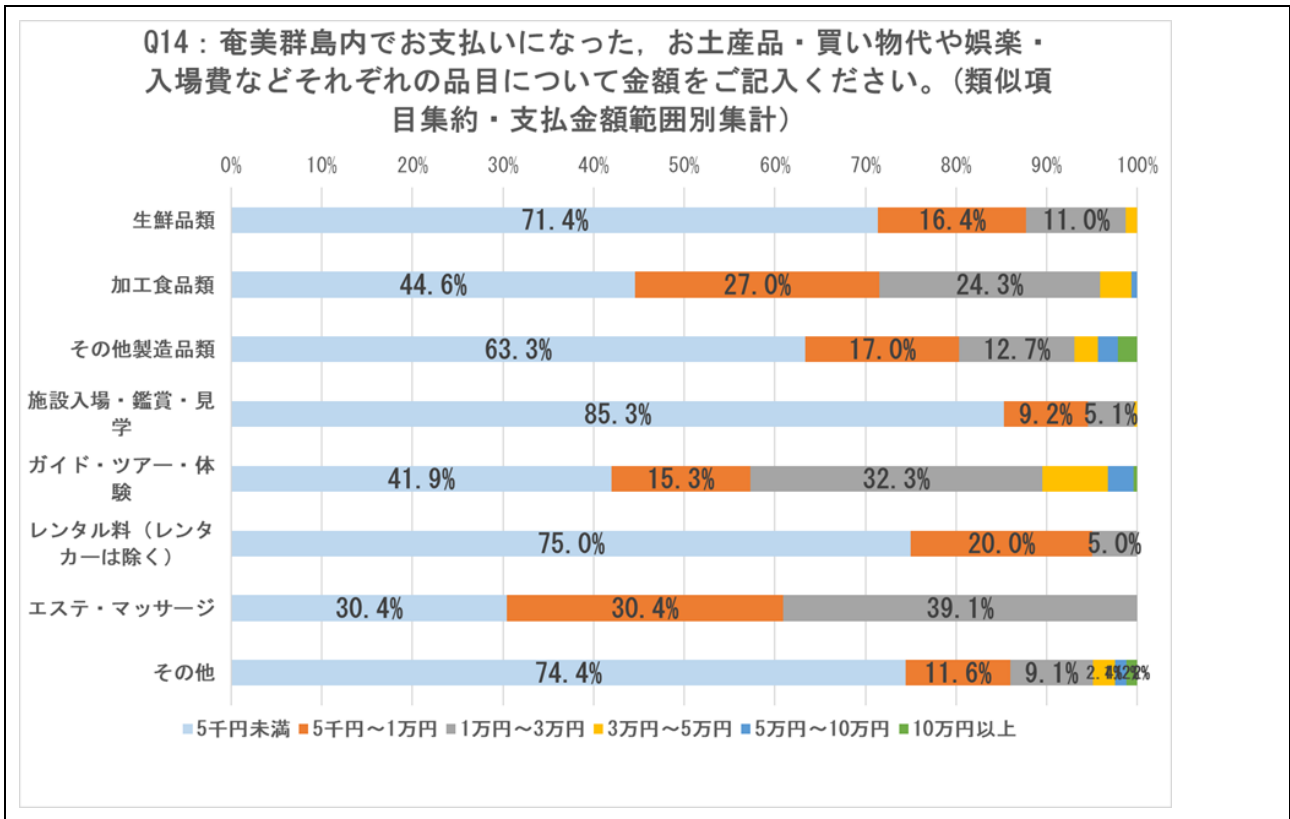


活動・購買費用としては、「加工食品類」への回答が多かった（土産物等）。FSCの方が、活動費・土

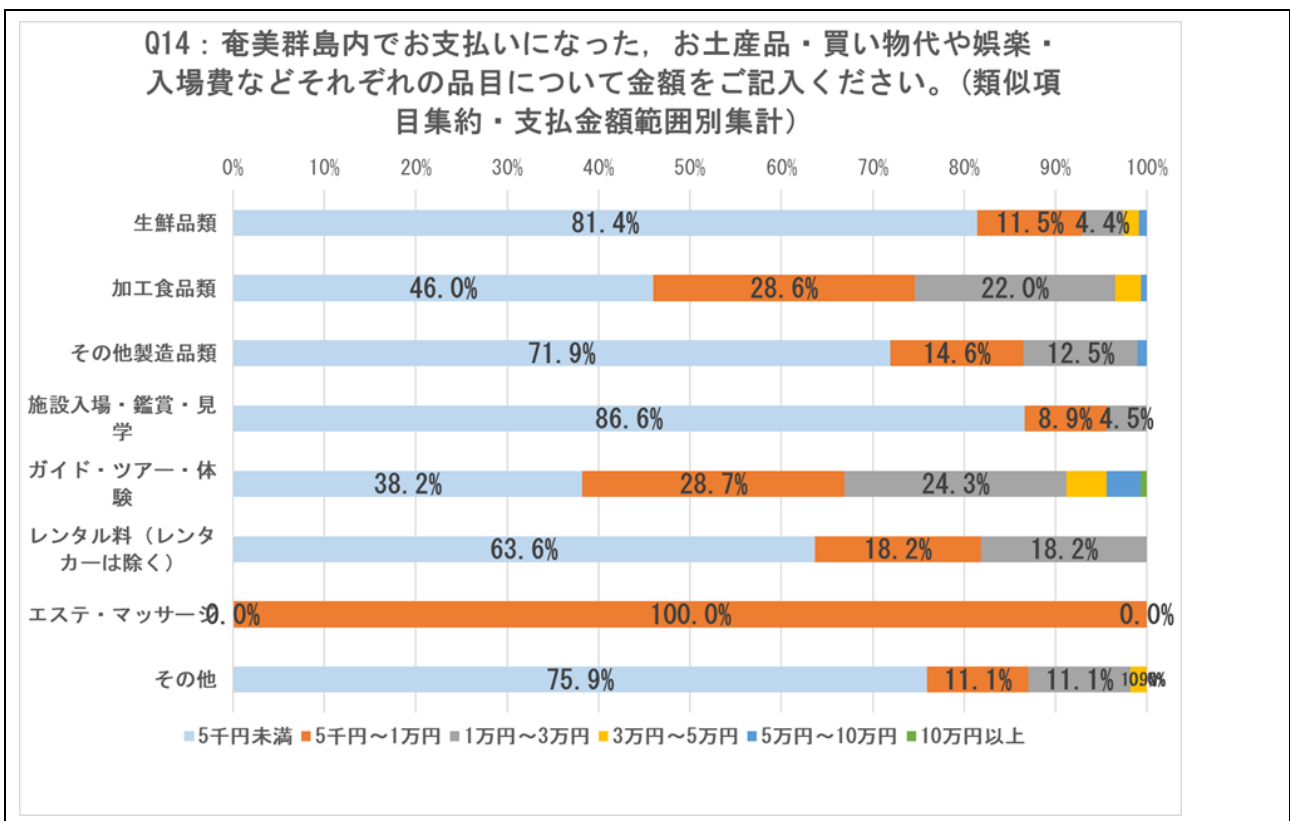
産物等、全てに渡ってLCCを上回っている。

※集約集計（類似項目、支払金額範囲別）

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC

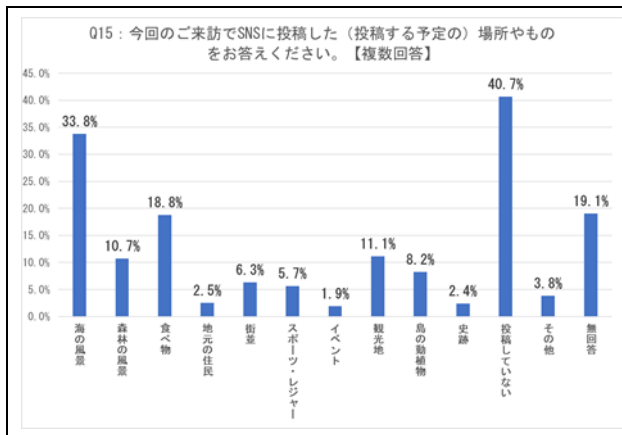


11の活動・購買費用の図を、支払金額を、5千円未満、5千円～1万円、1万円～5万円、5万円～

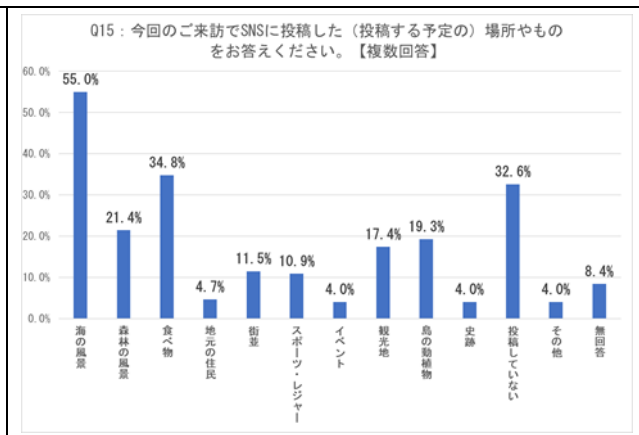
10万円、10万円以上とし、その構成割合を図化した。多くの活動や購入品目の費用は、5,000円未満であるが、「エステ・マッサージ」では、FSCではより高サービス利用が多いことが伺える。

12. 情報発信

H30(2018) FSC



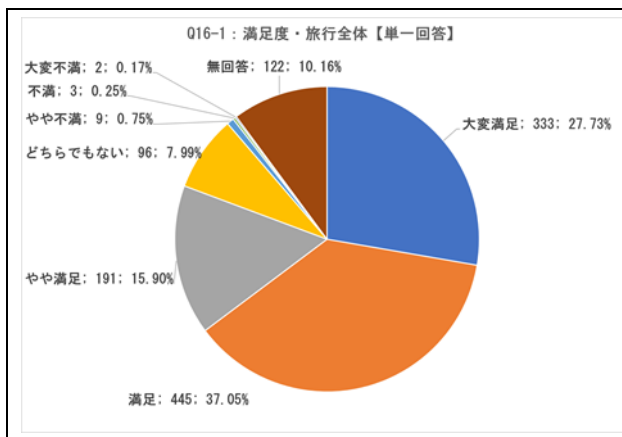
H30(2018) LCC



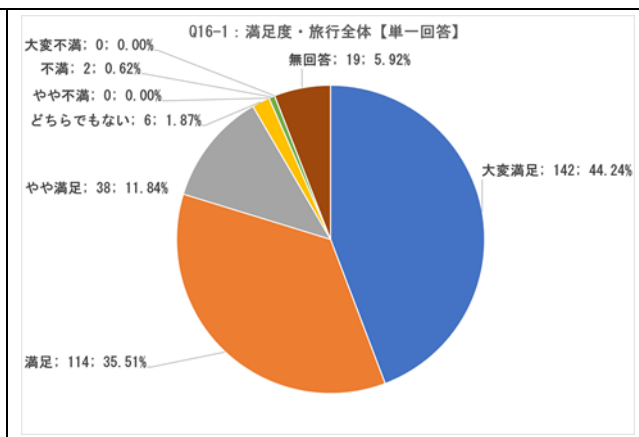
来訪でSNSへの投稿については、大きな相違はないと見える。双方とも、海の風景、食べ物に関心が高く、Facebook、twitter、ブログ、Instagram、LINE等に掲載されると思われる。他方で、FSCでは、「投稿しない」が多いが、これはビジネス客と推測される。

13. 満足度・旅行全体

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC



満足度について、まず旅行全体では、双方とも満足度は高い。とりわけ、LCCでは、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を合わせると、91.59%となり、全ての人々が満足されたという回答であった。これはR1(2019)でも同様で、92.26%ある(図省略)。他方、FSCでは、80.68%であり、「大変満足」が3割に留まっている。これは、ビジネス客の回答が含まれているからと推測される。

それ以外の満足度についても、FSCとLCCの傾向は同様で、LCCのほうが、総じて満足度が高い。特に、「自然・風景」、「料理・食事」、「宿泊施設」、「接客・もてなし」、「名産品・土産品」等で、評価が高い。(図省略)

他方、満足度の低いものは、「公共交通機関の利便性」が最も大きい。続いて、「通信環境(Wi-Fi等)」であった。(図省略)

最後の設問の再来訪意向、推薦意向であるが、これも双方ともに評価が高い。再来訪意向は、FSCで、

90.34%、LCC で、95.32%となっている。推薦意向では、FSC で 90.0%、LCC で 93.1%となっている。いずれも LCC の方が、意向が強かった。

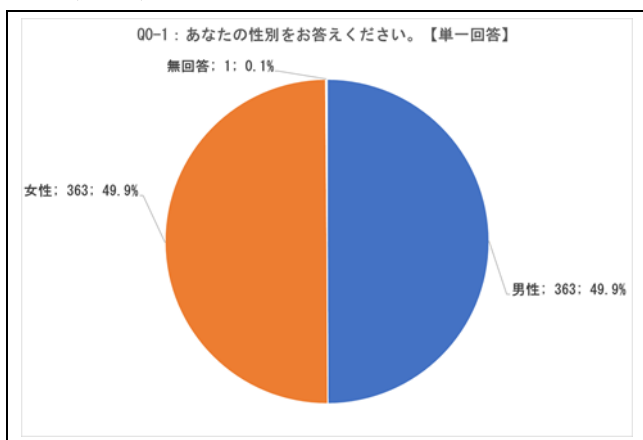
※奄美、九州居住者を除いた FSC と LCC の比較

2-2 で FSC と LCC の比較を述べてきたが、FSC には、九州居住者が、H30 (2018) 年で 388 人 (32.9%) となっているが、LCC は、フライトがないため九州居住者もゼロである。九州からの来訪者は、飛行機を選択できないため、FSC と LCC の比較を明確化するには、奄美、九州居住者を除いた数字で比較をすることで、飛行機による来訪者のパターンの相違が明確になる可能性がある。

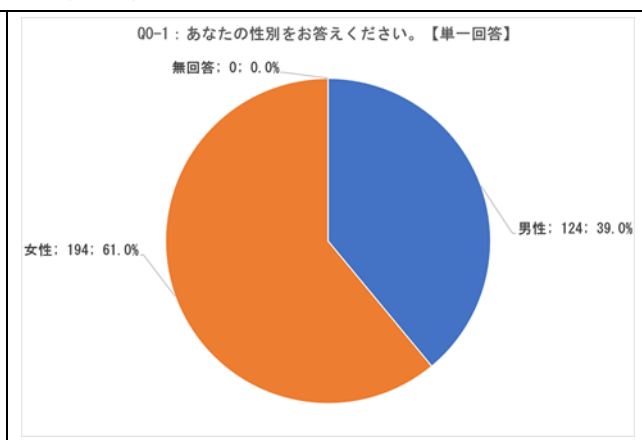
そこで、奄美、九州居住者を除いて、再集計をし、主だった項目について図化した。

1. 回答者性別

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC



居住地が、主として関東・近畿を回答した来訪者の比較となる。

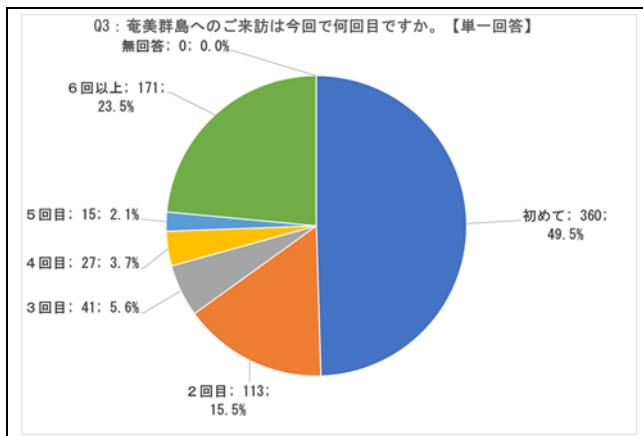
FSC では、男女半々。LCC では、女性が 6 割となった。女性は割安を好む傾向があるかもしれない。次の年齢についての傾向は、双方とも同様の傾向で、40 代、50 代が多い。(図省略)

職業では、FSC で、「パート・アルバイト」、「専業主婦」、「無職」の割合が、それぞれ、5.6→6.2%、9.4→12.7%、7.6→9.5%に増えた。

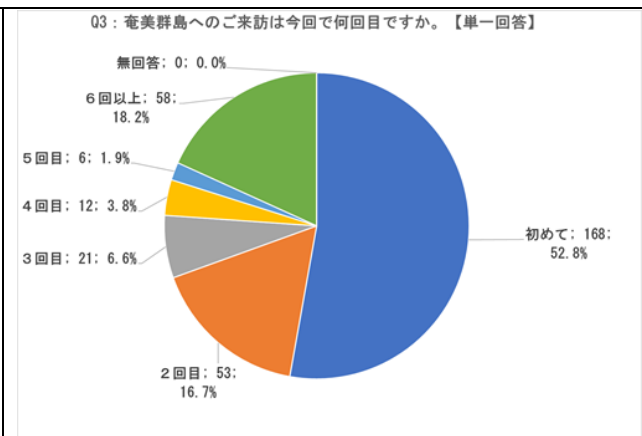
渡航経由地では、FSC では、直行便が多く、九州経由が続く。LCC では、直行便のみである。

2. 来訪回数

H30(2018) FSC



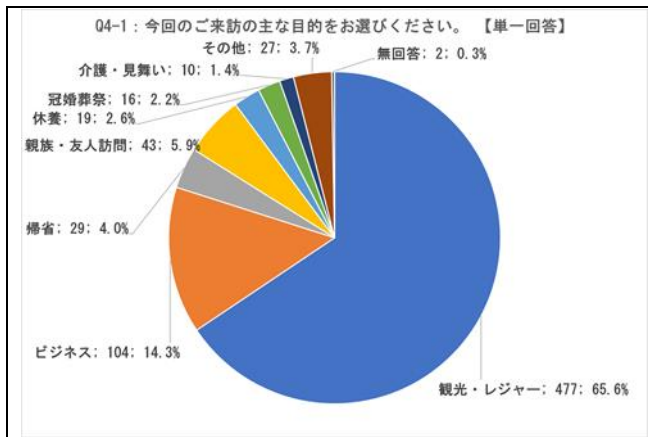
H30(2018) LCC



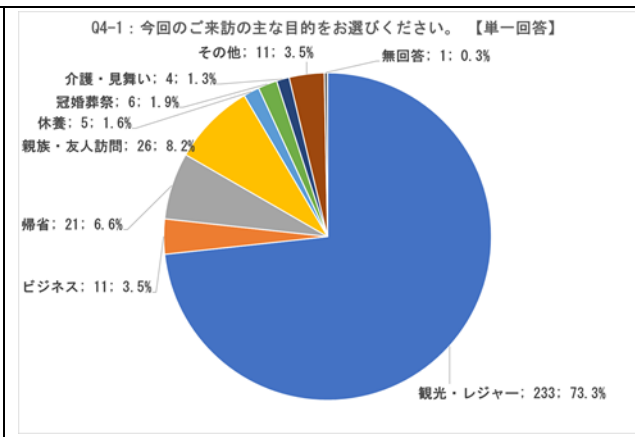
奄美、九州居住者を除いて、FSC と LCC と比較すると、どちらも同じような傾向であることがわかる。FSC では若干、6 回以上が多い。これは、関東、関西の居住者でビジネス利用の可能性がある。

3. 来訪目的

H30(2018) FSC



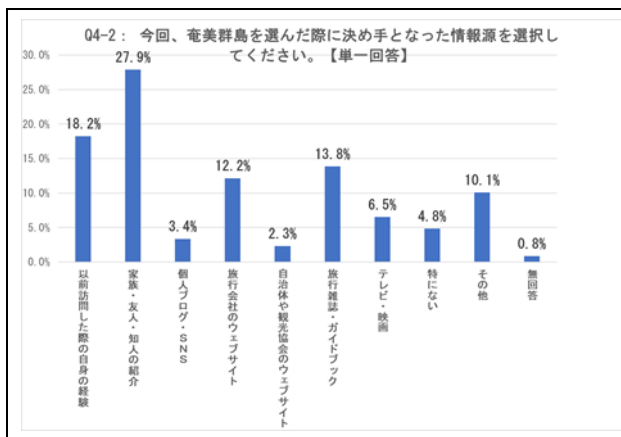
H30(2018) LCC



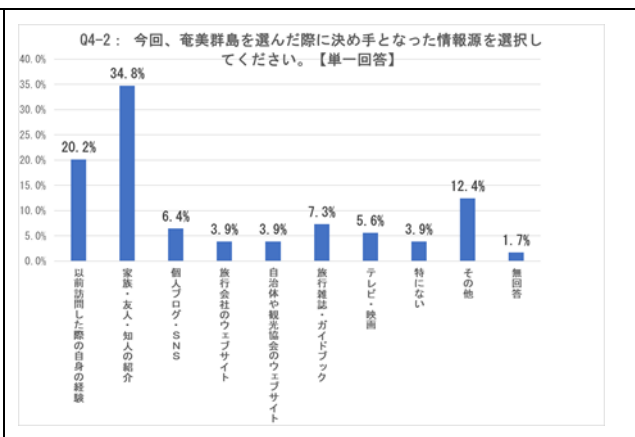
改めて、目的を比較すると、「観光・レジャー」が双方とも圧倒的に多い。大きく異なるのは、FSC で、ビジネス目的が、14.3%であるのに対し、LCC では、3.5%と極端に少ない。2の来訪回数の差は、ビジネス目的の差につながっていると考えられる。奄美に仕事で行くのに、LCC を使うことは少ない。

4. 情報源

H30(2018) FSC



H30(2018) LCC



次に、情報源であるが、この傾向は、変わっていない。双方とも多いのは、「家族・友人・知人の紹介」と「以前訪問した際の自身の経験」となっている。異なる部分は、FSC では、「旅行雑誌・ガイドブック」および「旅行会社のウェブサイト」の利用が比較的高いことであった。

次に、宿泊日数については、傾向に変化は見られない(図省略)。2018FSC で、ビジネス目的と考えられる「単身」が、33.9→28.0%、「職場の同僚」が13.9→8.5%へと低下した。

次に、群島内訪問先では、傾向は変わらない(図省略)。また群島内訪問先について同様であった。群島内交通手段についても、傾向は変わらなかった。

さらに、活動・体験についても、2018FSC で、「仕事・会議・研修」が、25.0→11.5%へと大きく減少した以外の傾向は変わらなかった。因みに、LCC は、3.4%であった。

次に、Q12 渡航形態と費用についても、傾向は変わらない。特徴的な点は、H30(2018)FSC で、「個人旅

行・来訪」において最大金額が、60万→30万となったこと。九州からの上客をリサーチする価値はあるかもしれない。

5. 滞在費用

Q13滞在費用

(※最大金額・最小金額を除く)

H30(2018) FSC	全体	回答数	中央値	平均金額※	最小金額	最大金額
宿泊費	1,202	610	12,000	19,643	120	350,000
群島内での交通費	1,202	700	7,000	10,169	400	300,000
飲食費	1,202	964	10,000	12,479	200	150,000
総額			29,000	42,291	720	800,000

H30(2018) LCC	全体	回答数	中央値	平均金額※	最小金額	最大金額
宿泊費	322	252	13,000	19,931	2000	210,000
群島内での交通費	322	267	6,000	9,542	500	80,000
飲食費	322	287	10,000	13,348	750	120,000
総額			29,000	42,822	3250	410,000

H30(2018) FSC奄美九州除	全体	回答数	中央値	平均金額※	最小金額	最大金額
宿泊費	727	315	15,000	25,003	120	350,000
群島内での交通費	727	387	7,000	10,318	400	300,000
飲食費	727	575	10,000	12,868	200	120,000
総額			32,000	48,188	720	770,000

H30(2018) LCC奄美九州除	全体	回答数	中央値	平均金額※	最小金額	最大金額
宿泊費	318	249	13,000	19,518	2000	210,000
群島内での交通費	318	265	6,000	9,402	500	80,000
飲食費	318	284	10,000	13,125	750	120,000
総額			29,000	42,045	3250	410,000

次のQ13滞在費用について、FSC・LCC及び奄美、九州除くFSC・LCCの宿泊費、交通費、飲食費を比較する。奄美、九州居住者を除くことで、FSCとLCCの違いがよりはっきりした。FSCと奄美、九州除くFSCとでは、宿泊費の平均金額が、H30(2018)の場合、19,643円から25,003円となった。

Q14活動・購買費用については、FSCにおいて、同様に、軒並み金額があがっている。

Q15情報発信についても、奄美、九州居住者を除くと、「海の風景」「食べ物」だけでなく、すべての項目でポイントが増加している。

Q16満足度・全体についても、無回答が減って、すべての満足回答は、80.68→86.38%と増加している。その他の項目の満足度も少しずつポイントを上げている。しかし、「公共交通機関の利便性」や「通信環境(Wi-Fi等)」への満足度は低いままである。

Q17の再来訪意向、Q18推薦意向では、大きく変わっていない。

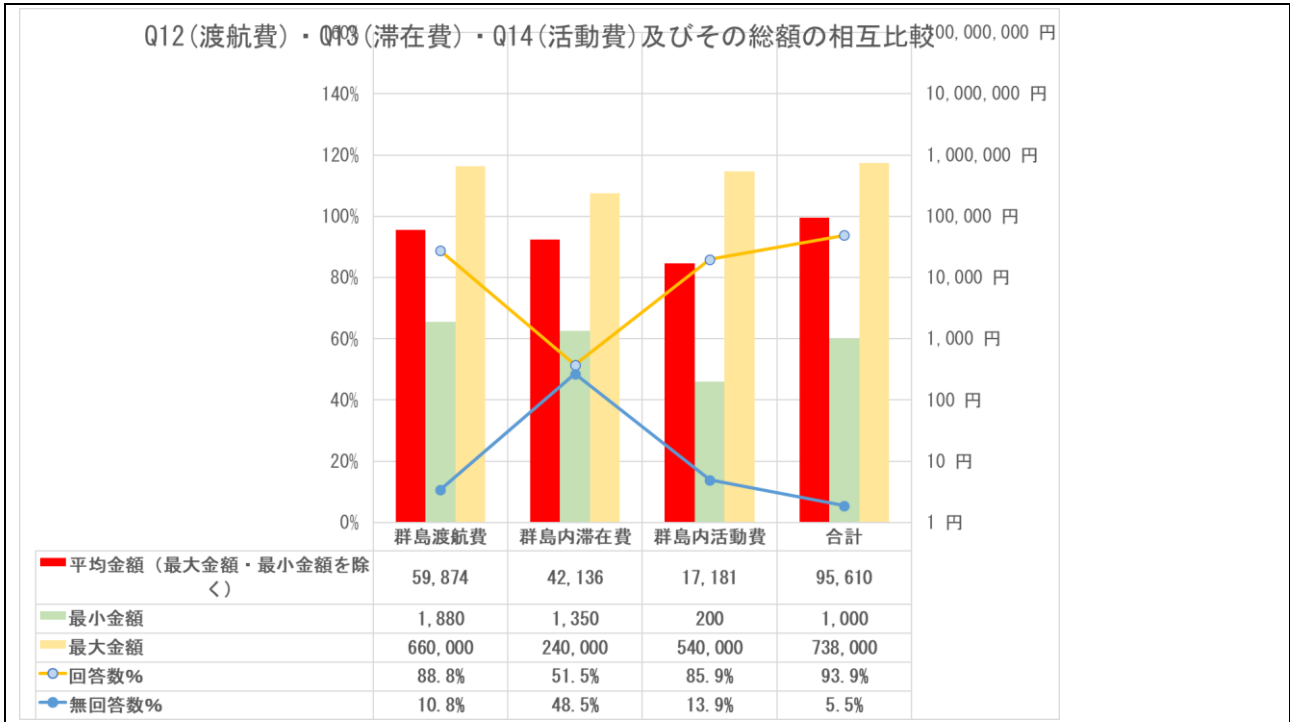
結果：FSCとLCC比較において、多くの客は「観光・レジャー」目的である。「ビジネス」客はFSC利用の個人・同僚である。観光資源への傾向に大きな差は見られない。FSCがすべての面で消費性向が高い。

2-3 渡航費・滞在費・活動費の比較

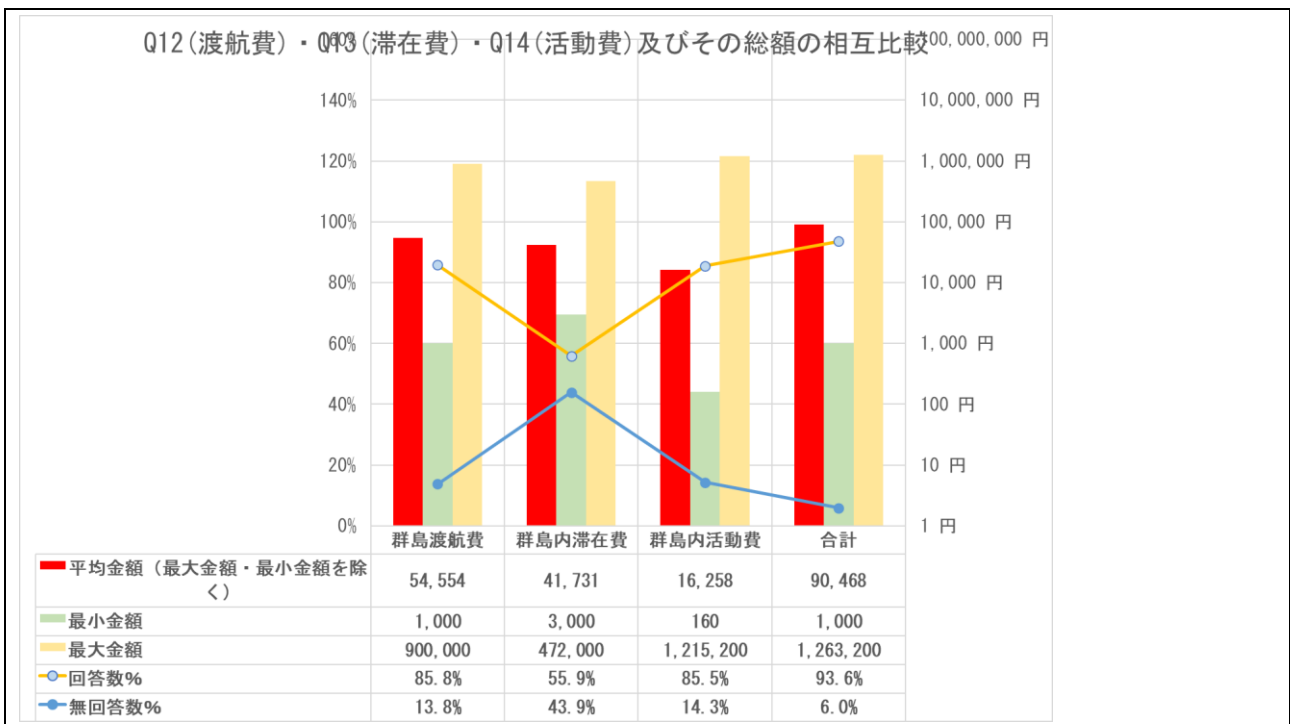
1. 全体比較

Q12を渡航費、Q13を滞在費、Q14を活動費と捉え、これらの関係および総額によって、来訪者のトレンドを掴むことができないかということで、図化を試みた。(注. 電子データでは、費用総合1、2)

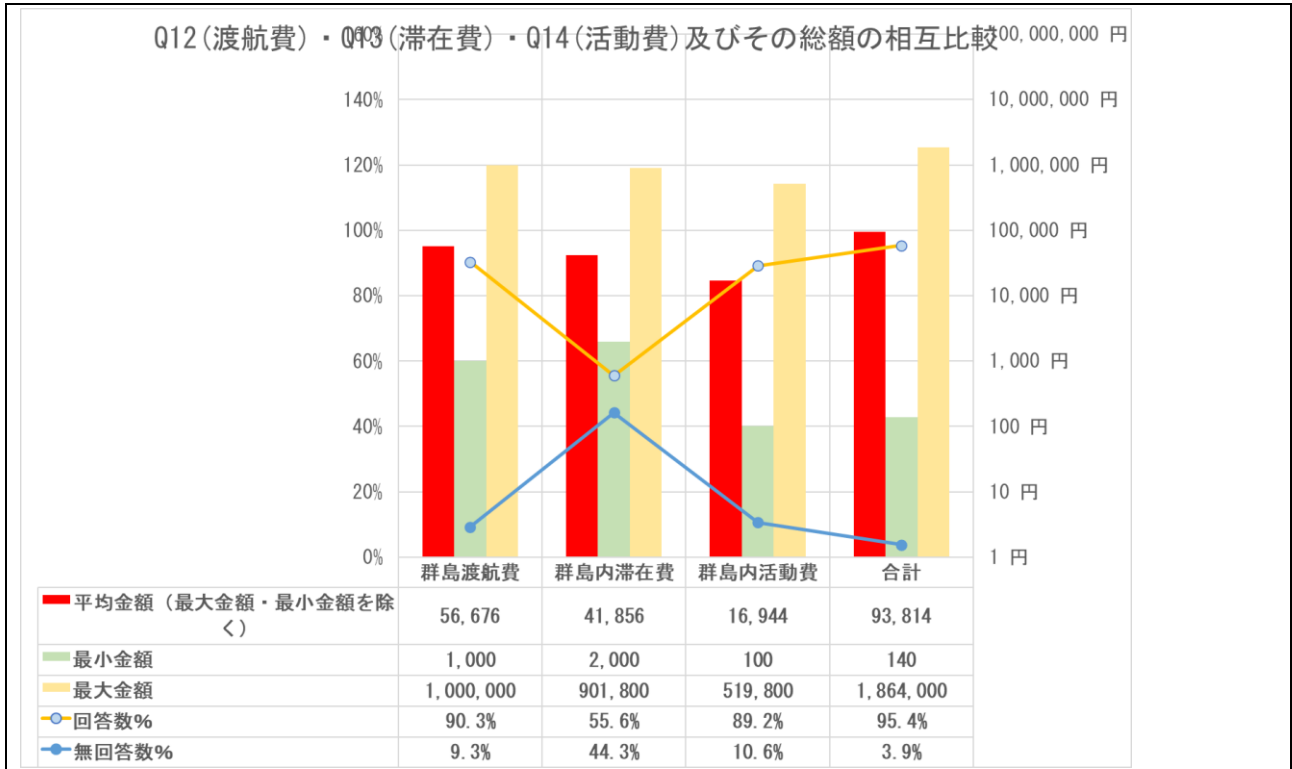
H29(2017)



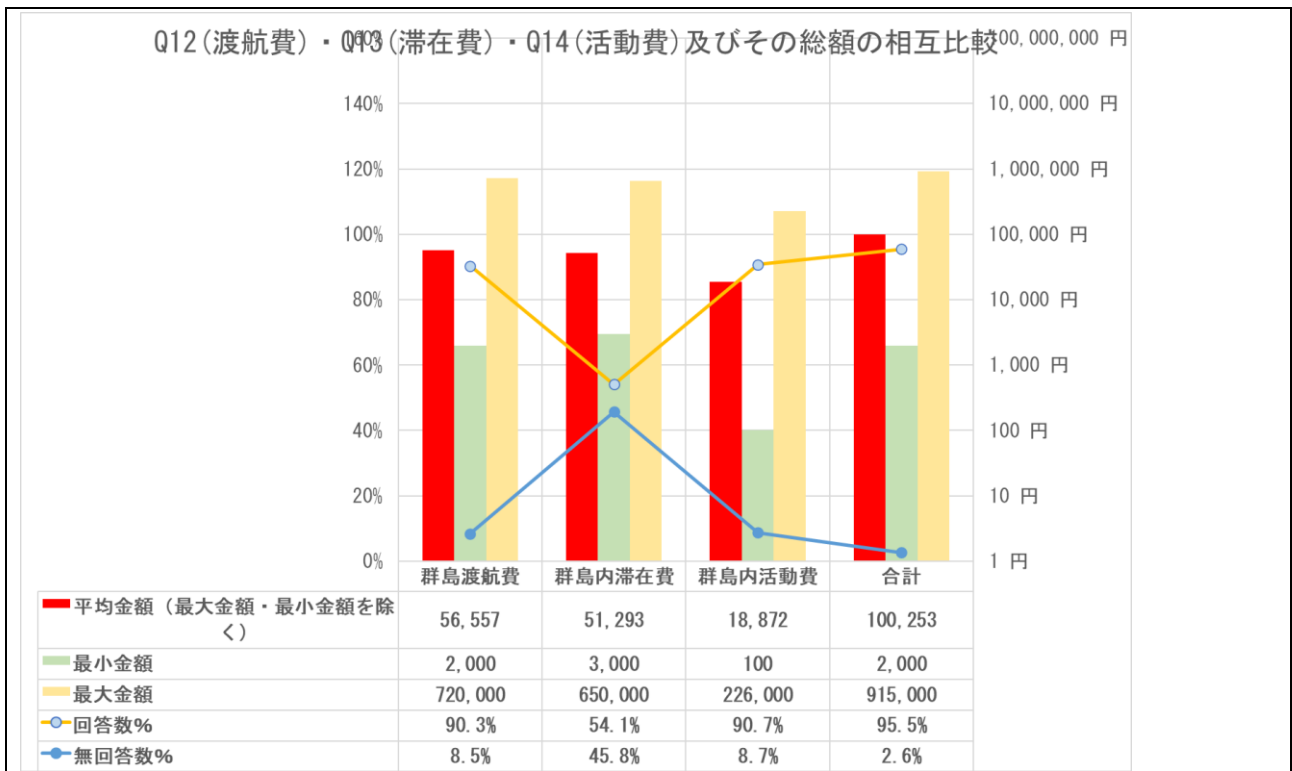
H30(2018)



R1 (2019)



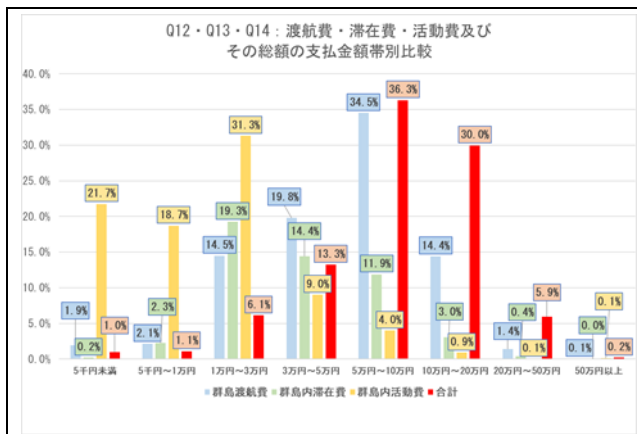
R2 (2020)



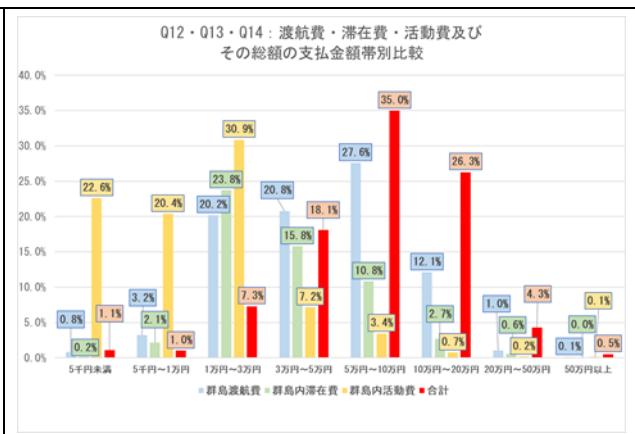
4年間を通してみると、渡航費・滞在費・活動費のバランスおよび総額は、大きな変化はない。若干、R2 (2020) 年は費用が高いが、コロナ禍での数字であり行動パターンが異なっている可能性がある。

次に、渡航費・滞在費・活動費の関係を、支払金額レベルでの図化を行った。総支払い、言い換えれば消費規模でみると、10万円弱が多く、次いで10~20万円の間にいることがわかる。

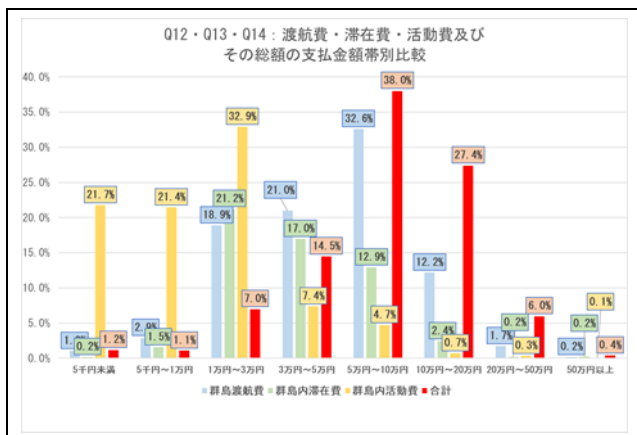
H29(2017)



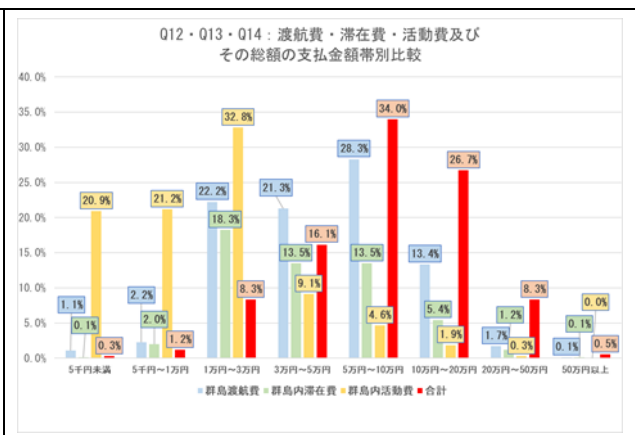
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



そこで、滞在費（青）や活動費（黄）が増えるような施策が期待されている。

2. 一日当たりの支出比較

設問項目の集計では、群島内滞在での支払金額（Q14）（活動費）しか確認できないため、滞日数で除して、一日当たりの金額（消費額）をだして、まとめたのが以下である。

5千円未満、5千～1万円、1～3万円、3～5万円、5～10万円、10～20万円、20～50万円、50万円以上で、回答した人数および割合を示した。

この結果から、一日の消費額は、5000円未満が多く、まとまったものでも1万円程度となった。

一日当たりの使用金額（Q14の金額を滞日数で除した値） 単位：千円

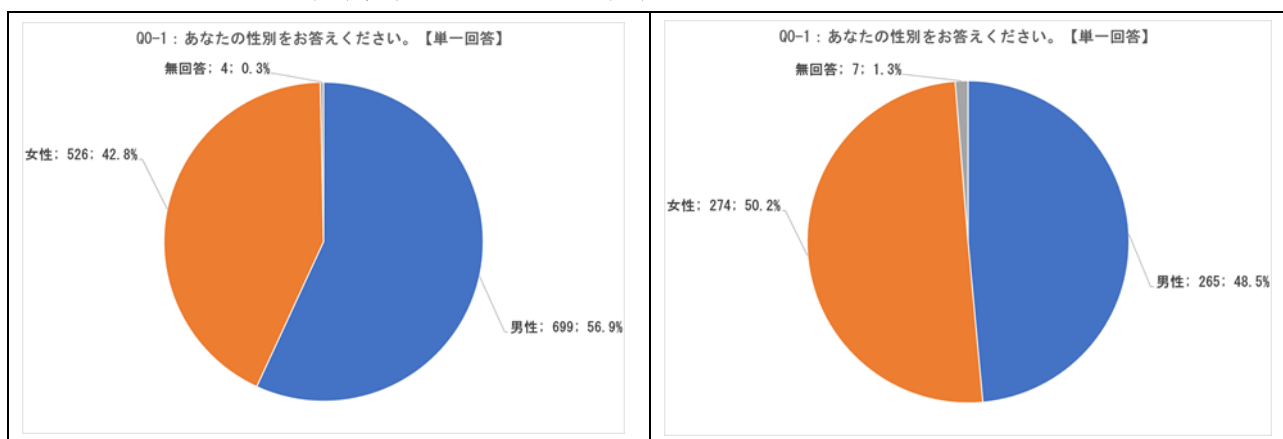
年度	5未満	5-10	10-30	30-50	50-100	100-200	200-500	500以上	合計(人)
H29(2017)	1,027	245	120	3	2	1	1	0	1,399
H30(2018)	1,229	302	146	10	2	1	1	1	1,692
R1(2019)	899	226	126	4	4	1	0	0	1,260
R2(2020)	491	162	78	8	1	0	0	0	740

年度	5未満	5-10	10-30	30-50	50-100	100-200	200-500	500以上	合計
H29(2017)	73%	18%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
H30(2018)	73%	18%	9%	1%	0%	0%	0%	0%	100%
R1(2019)	71%	18%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
R2(2020)	66%	22%	11%	1%	0%	0%	0%	0%	100%

訪問者数の多いH30(2018)年で、使用金額が、5千円未満（小）と1万円以上（大）での比較を行う。

1) 回答者性別

2018 左：5千円未満（小）、右：1万円以上（大）



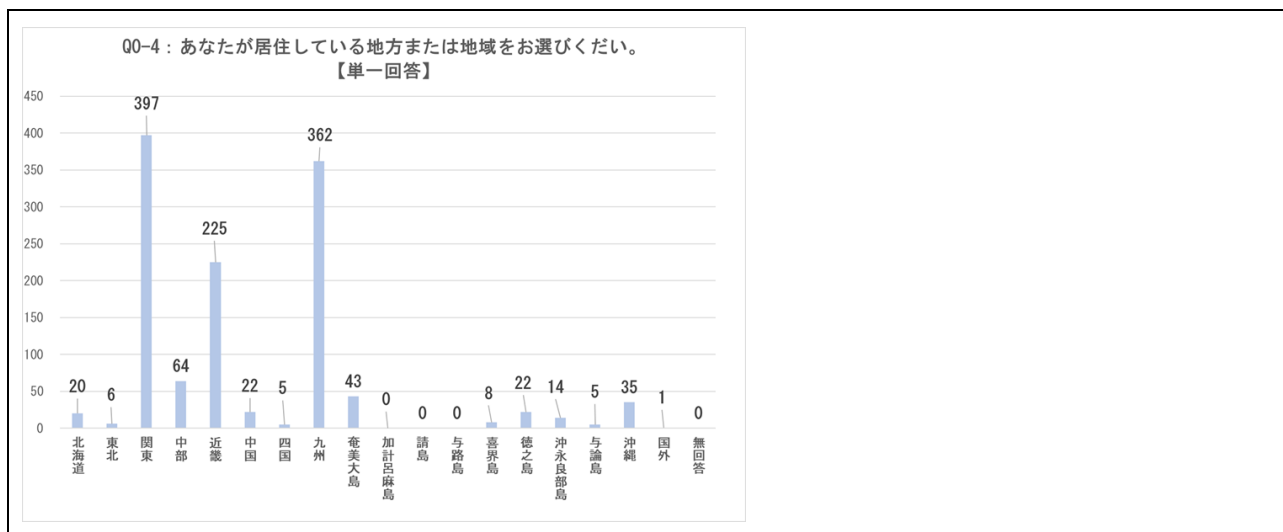
1日当たりの使用金額5千円未満では、男性がやや多い（56.9%）であった。

回答者年齢では、40、50代が多く、大きな相違はない。

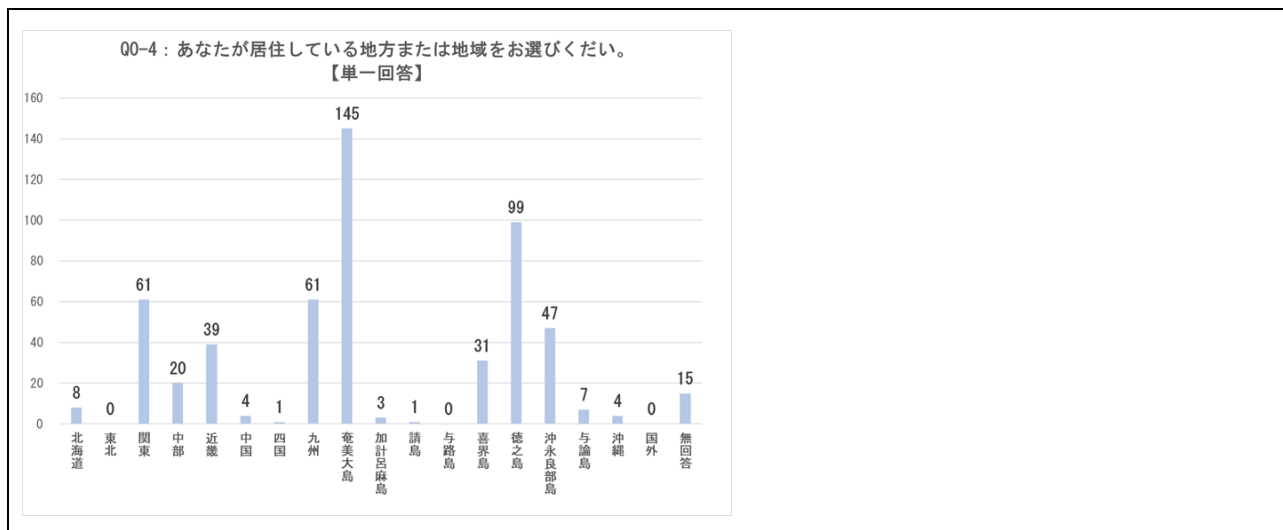
回答者職業では、会社員が、小：43.4%、大：28.4%と使用金額が減少している。

2) 回答者居住地

H30(2018) 5千円未満（小）



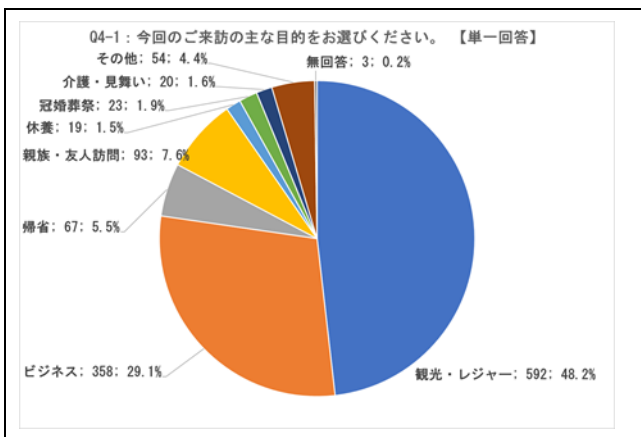
H30(2018) 1万円以上（大）



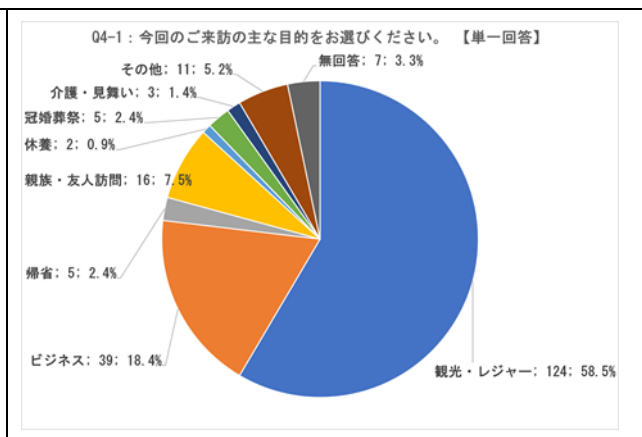
居住地をみると、小では、関東、九州、近畿が多い。大では、群島内の居住者が多い。群島内居住者の場合、近場であるがゆえに、消費額が大きいと推察される。

3) 来訪目的

H30(2018) 5千円未満 (小)



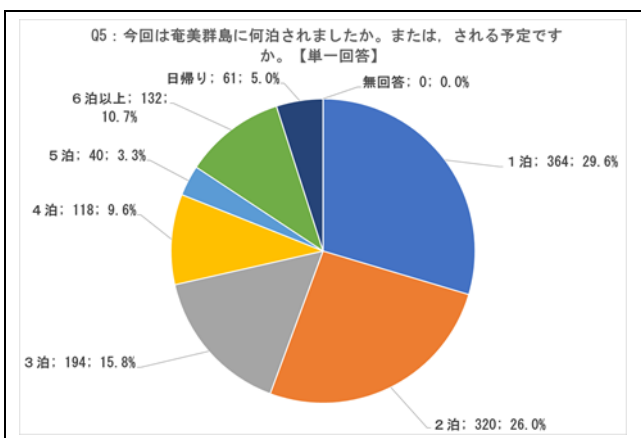
H30(2018) 1万円以上 (大)



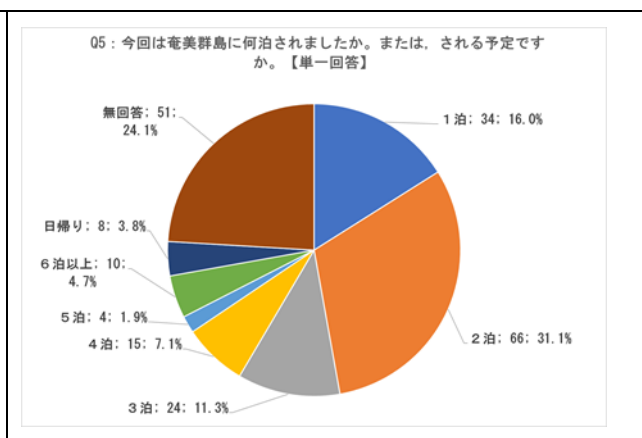
来訪目的では、(小) 5千円未満はビジネス目的客が多いことがわかる。仕事目的で消費額が少ないと伺われる。

4) 宿泊日数

H30(2018) 5千円未満 (小)



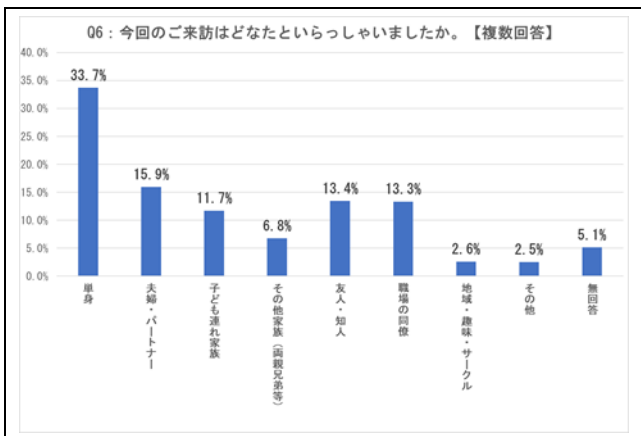
H30(2018) 1万円以上 (大)



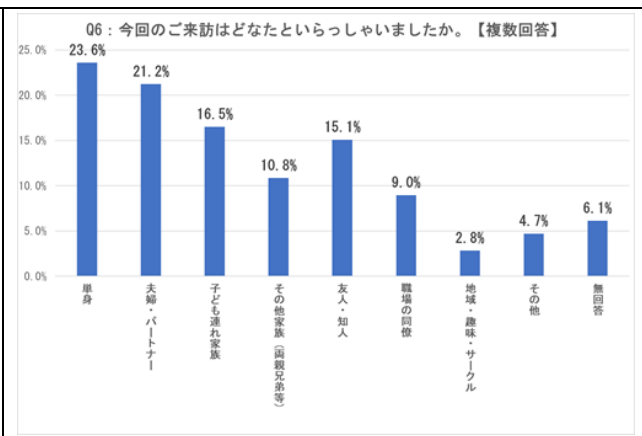
大では、無回答数が多い。予め宿泊数を決めていないことも考えられる。

5) 同行者属性

H30(2018) 5千円未満 (小)



H30(2018) 1万円以上 (大)



同行者属性をみると、小と大と比較をすると、大は、「夫婦・パートナー」、「子ども連れ家族」、「友人・知人」での割合が多いことがわかる。個人ではなく、グループで移動していることが伺える。

次に、来訪先の傾向は小と大では同じである。奄美大島が圧倒的に多い。次に徳之島、沖永良部島となっている。

Q10 群島内交通手段では、大（11.3%）が、小（5.5%）より船舶が多い。客層が、夫婦・家族・友人らが船で移動するパターンと推測される。

Q11 活動・体験では、小のほうでは、「親戚友人イベント」、「業務研修」が相対的に大きい。知り合いの集まりもしくは、仕事と推測される。

支出では、Q14 活動・購買費用で、大のほうで、最大金額 120 万円のその他製造品類、30 万円のその他が目立つ。前者は、大島紬のような製品、後者は、同様な高級品と考えられる。

その他の設問では、大きな違いは見受けられなかった。

3. 奄美群島外からの来訪者の平均消費額

最後に、奄美居住者を除いたデータを集計し、それを元に、奄美群島外からの来訪者全体の平均消費額を示しておく。また合わせて、鹿児島県観光統計から得た奄美群島への入域客数を示しておく。「2の一日当たりの支出比較」やこのデータにより、来訪者による年間消費額の推計も可能であろう。

奄美群島外来訪者による平均消費額

(※最大金額・最小金額を除く)

H29(2017)	全体	回答数	平均金額※	最小金額	最大金額
Q12	群島渡航費	1,223	62,018	2,000	660,000
Q13	群島内滞在費	691	44,037	1,350	240,000
Q14	群島内活動費	1,193	17,680	200	540,000
	合計	1,292	98,924	1,000	738,000
H30(2018)	全体	回答数	平均金額※	最小金額	最大金額
Q12	群島渡航費	1,411	56,630	1,000	900,000
Q13	群島内滞在費	897	43,265	3,000	472,000
Q14	群島内活動費	1,424	16,534	160	1,215,200
	合計	1,534	93,413	1,000	1,263,200
R1(2019)	全体	回答数	平均金額※	最小金額	最大金額
Q12	群島渡航費	1,117	58,254	1,000	1,000,000
Q13	群島内滞在費	682	42,803	2,000	901,800
Q14	群島内活動費	1,115	17,323	100	519,800
	合計	1,177	96,448	140	1,864,000
R2(2020)	全体	回答数	平均金額※	最小金額	最大金額
Q12	群島渡航費	653	58,427	3,000	720,000
Q13	群島内滞在費	385	53,261	3,000	650,000
Q14	群島内活動費	665	19,213	100	226,000
	合計	691	103,130	2,000	915,000

	客数			
	2017年	2018年	2019年	2020年
入込客	825,791	885,411	891,351	517,192
奄美大島	473,704	529,587	530,349	313,838
喜界島	60,567	60,418	59,634	37,036
徳之島	129,358	137,297	143,883	80,503
沖永良部島	88,958	89,045	90,959	51,936
与論島	73,204	69,064	66,526	33,879
入域客	619,533	678,121	680,558	383,953
奄美大島	389,491	448,436	449,138	260,256
喜界島	27,314	28,209	26,975	14,081
徳之島	86,374	86,577	87,311	46,737
沖永良部島	60,194	61,235	64,391	36,001
与論島	56,160	53,664	52,743	26,878
群島内移動	206,258	207,290	210,793	133,239

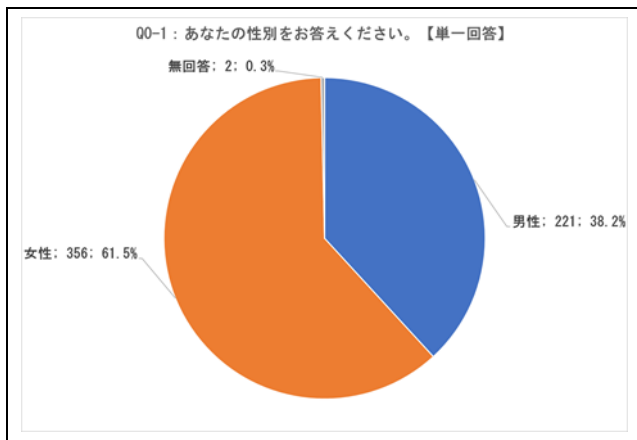
出典：鹿児島県HP・鹿児島県観光統計・奄美群島への入込客数・入域客数のうち入域客数を記載

2-4 「観光・レジャー」の「初めて」と「6回以上」の比較

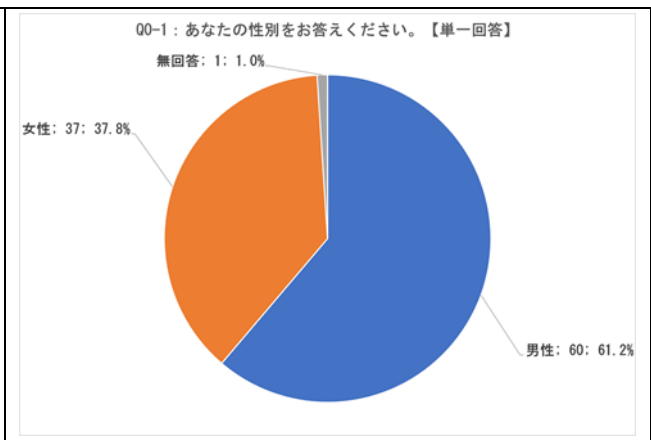
奄美群島には多くの方が観光目的で来訪しているが、設問の「観光・レジャー」目的と回答した来訪者は、H29(2017)年 44.9% (651人)、H30(2018)年 53.1% (925人)、R1(2019)年 52.6% (679人)、R2(2020)年 58.3% (441人)となっている。観光・レジャー目的の来訪者には、回数が増えるに従って活動や消費にも違いがでてくるのではないかとということで、来訪者の多い H30(2018)年での「始めて」とリピーターと考えられる「6回以上」の比較を行った。

1. 回答者性別

H30(2018)初めて



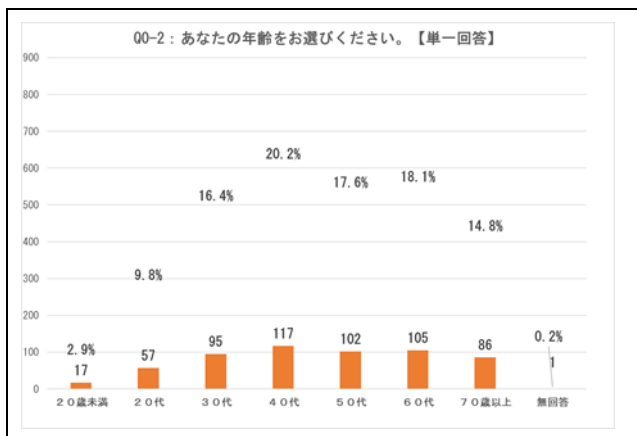
H30(2018)6回以上



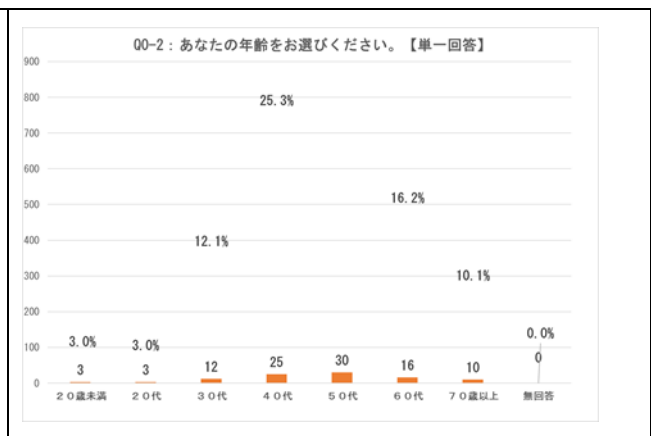
2018年で、「初めて」では、女性が圧倒的に多かった。しかしながら、「6回以上」では、逆に男性が優位であった。

2. 回答者年齢

H30(2018)初めて



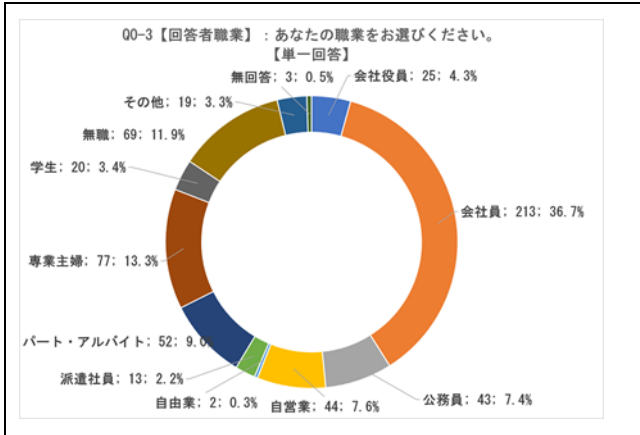
H30(2018)6回以上



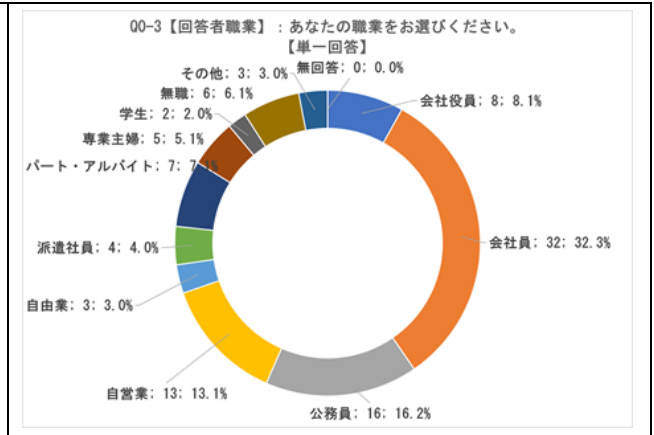
年齢では、40代、50代が双方とも多い。

3. 回答者職業

H30(2018)初めて



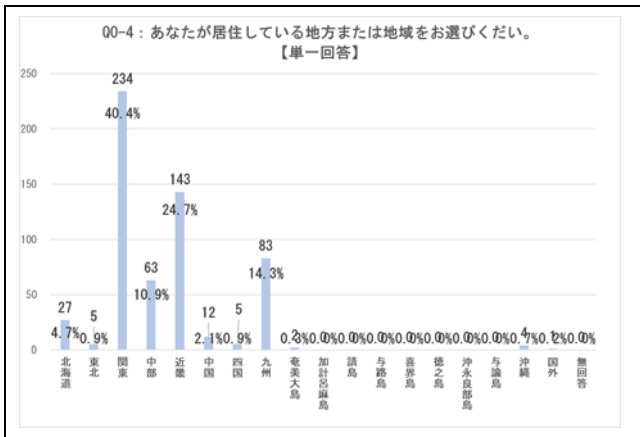
H30(2018) 6回以上



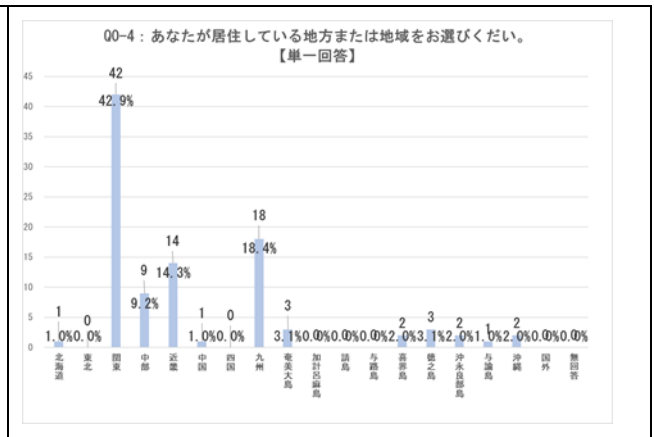
職業では、資金と時間に余裕があると思われる会社役員、公務員、自営業が、6回以上には割合が多い。

4. 回答者居住地

H30(2018)初めて



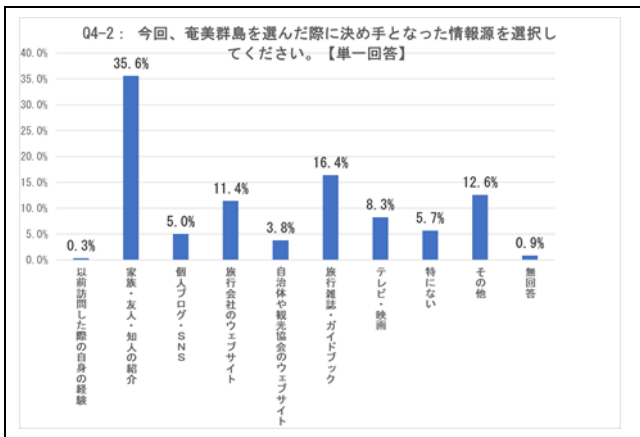
H30(2018) 6回以上



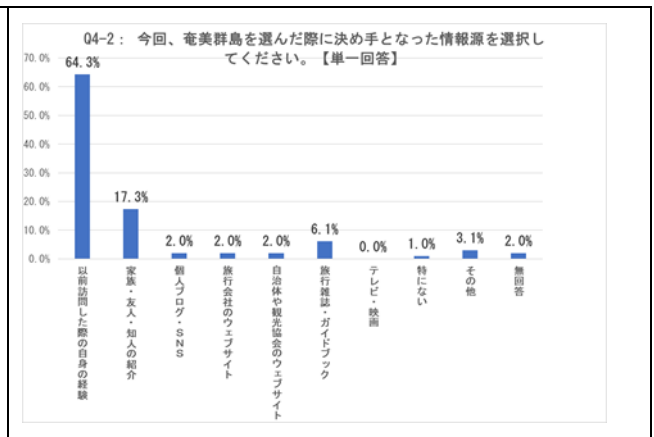
居住地域で見ると、全てにおいて関東が圧倒的に多い。初めてでは、近畿が次に多いが、リピーターとなると九州に多そうだ。

5. 情報源

H30(2018)初めて



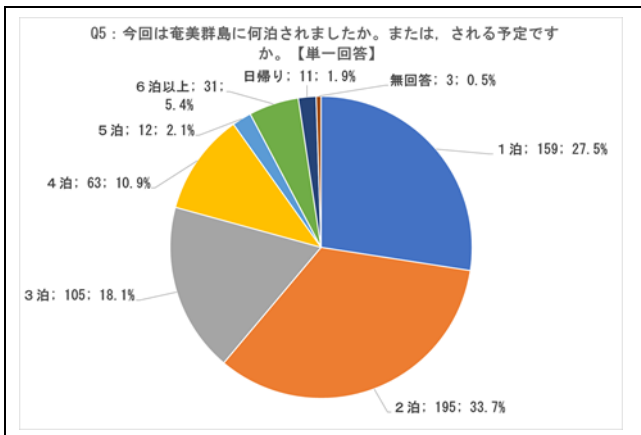
H30(2018) 6回以上



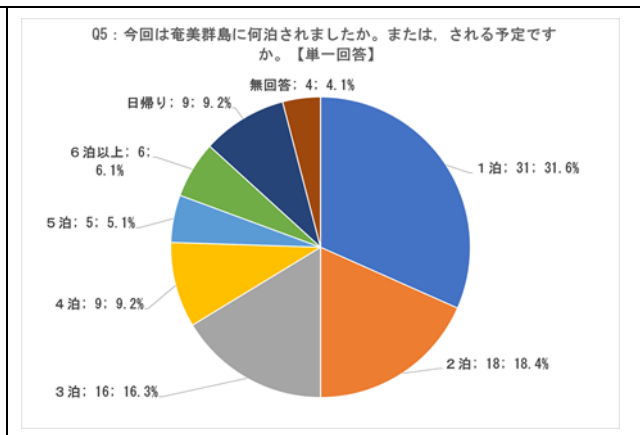
情報源としては、初めてでは、「家族・友人・知人の紹介」もしくは「旅行雑誌・ガイドブック」となるが、6回以上になれば、「自身の経験」が圧倒的に多い。

6. 宿泊日数

H30(2018)初めて



H30(2018) 6回以上

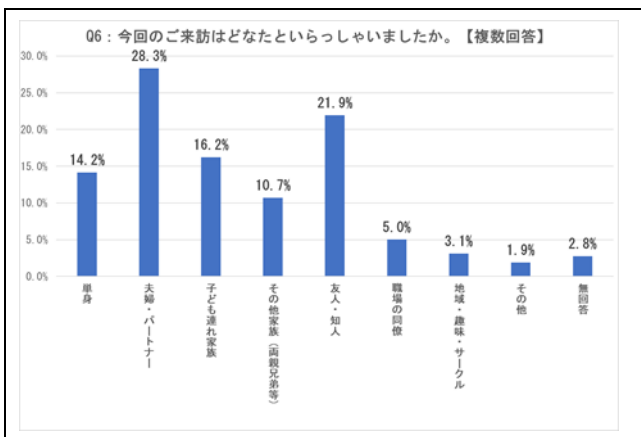


宿泊日数では、初めての場合、2泊が比較的多い。6回以上になると、1泊が比較的多い。

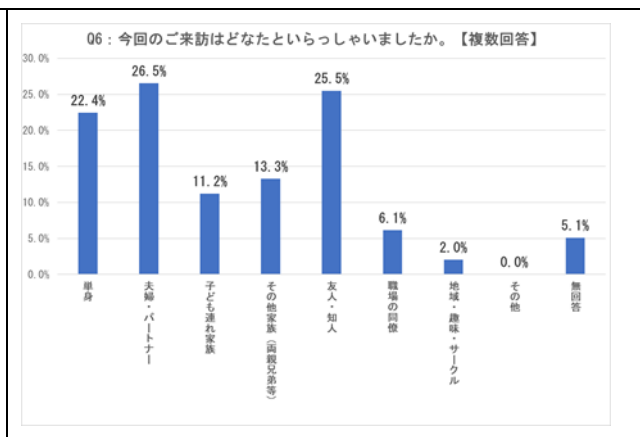
初めての場合、関東からなら、2泊、3泊と推測される。一方、九州なら、1泊の可能性も高い。6回以上で、1泊が多いということは、九州居住者が、1泊でリピートしている可能性が高い。

7. 同行者属性

H30(2018)初めて



H30(2018) 6回以上



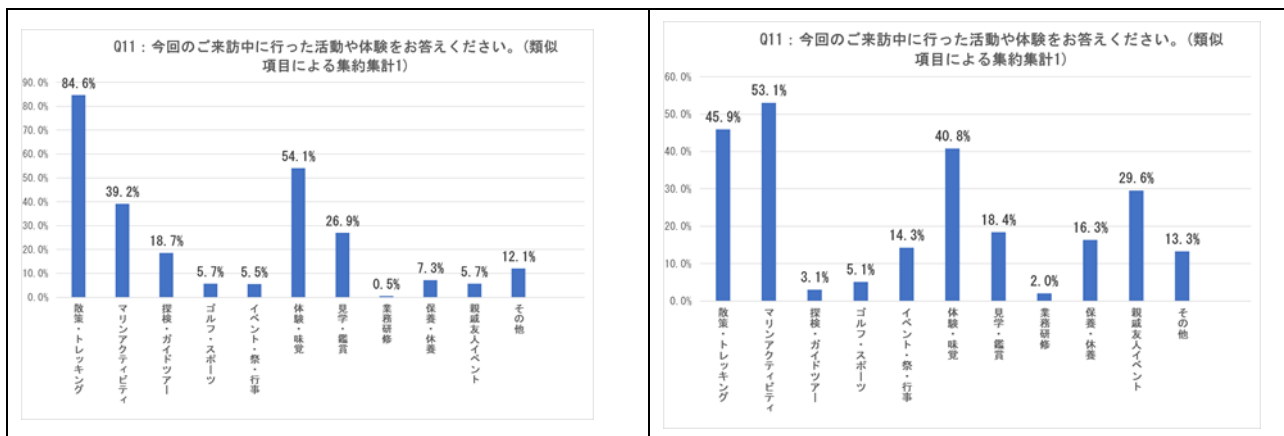
同行者属性では、初めてでは、「夫婦・パートナー」あるいは「友人・知人」が比較的多い。他方、6回以上では、やや「単身」が多いくらいで大きな変化は見られない。

また群島内の訪問先では、多くが奄美大島であることには変わりがない。訪問箇所数については、1地域が圧倒的に多い。群島内交通手段については、6回以上は、圧倒的に「レンタカー」が多く、一部、「自家用車等」、「路線バス」である。初めてでも、「レンタカー」が圧倒的に多いが、一部、「観光バス」、「路線バス」も利用されている。

8. 活動・体験

H30(2018)初めて

H30(2018)6回以上



活動・体験の集約集計を比較すると、異なる傾向が見えてくる。初めてでは、「散策・トレッキング」が多く、次に、「体験・味覚」となる。一方、6回以上になると、「マリナクティビティ」が一番多い。また、「親戚友人イベント」が多く、知り合いに会うことが想定される。それ以外は、初めてと同様の傾向である。

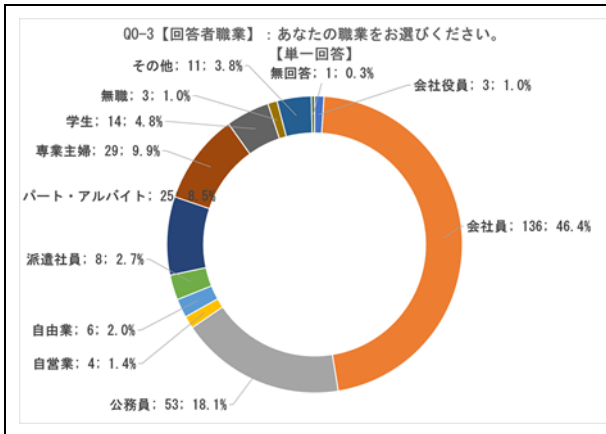
2-5 若い女性の傾向について

集計結果から、若い女性（20代、30代）に絞って、その観光行動について傾向を見た。

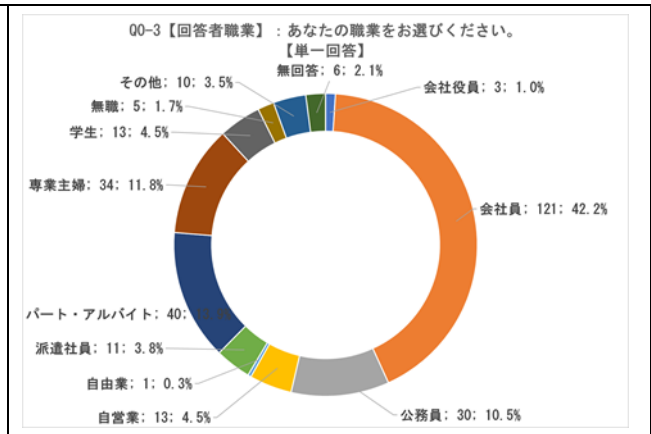
回答者数	H29(2017) 253人	H30(2018) 237人	R1(2019) 154人	R2(2020) 96人
------	----------------	----------------	---------------	--------------

1. 回答者職業

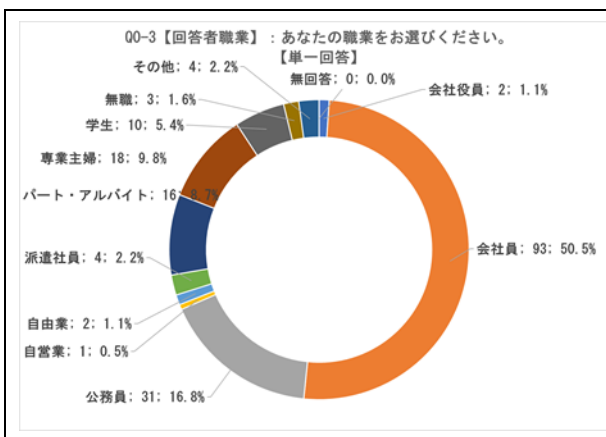
H29(2017)



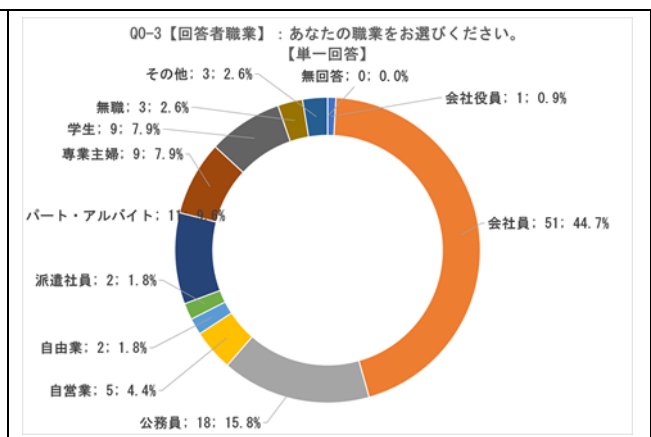
H30(2018)



R1(2019)



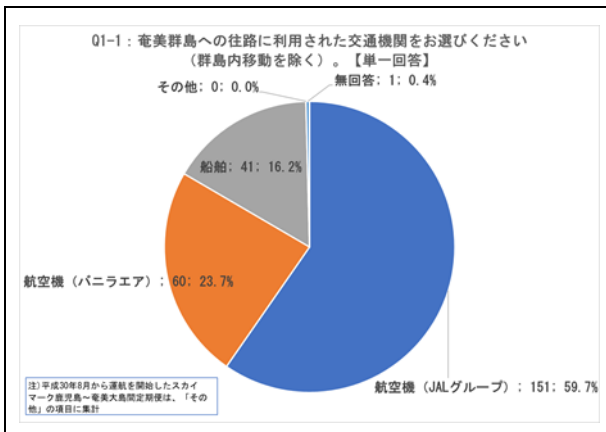
R2(2020)



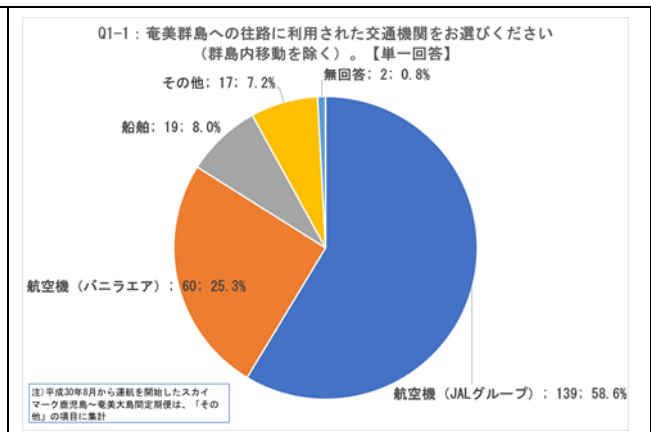
回答者の属性で、若い女性に絞ってみると、職業は、「会社員」もしくは「公務員」において6割程度を占める。次に、「パート・アルバイト」、「専業主婦」が続いている。

2. 往路交通手段

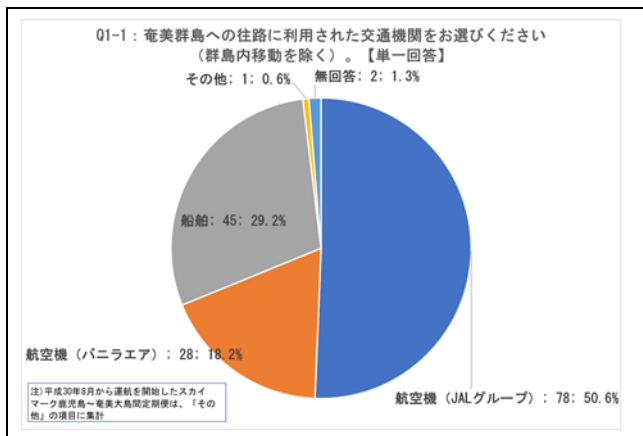
H29(2017)



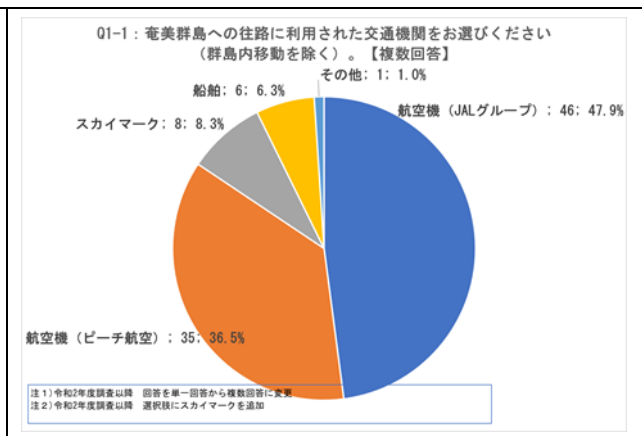
H30(2018)



R1 (2019)



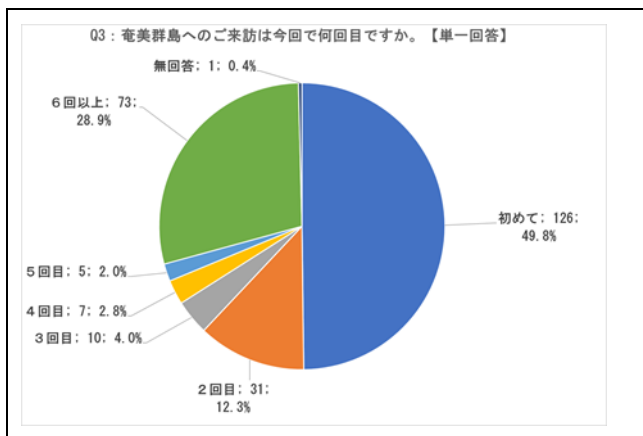
R2 (2020)



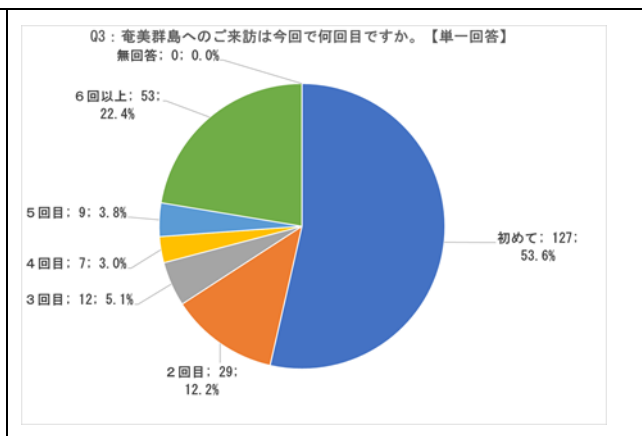
次に、往路交通手段についてみると、SFCが半数以上と多い。LCCも多い。船舶による場合も、年によっては多い。

3. 来訪回数

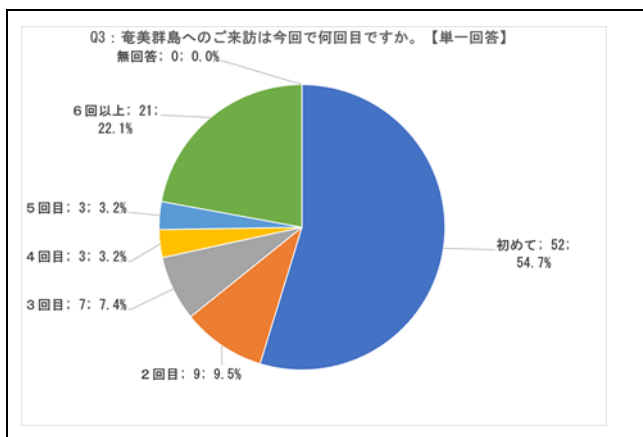
H29 (2017)



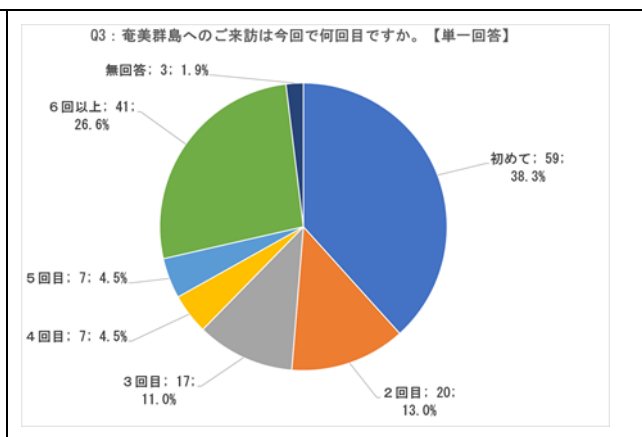
H30 (2018)



R1 (2019)



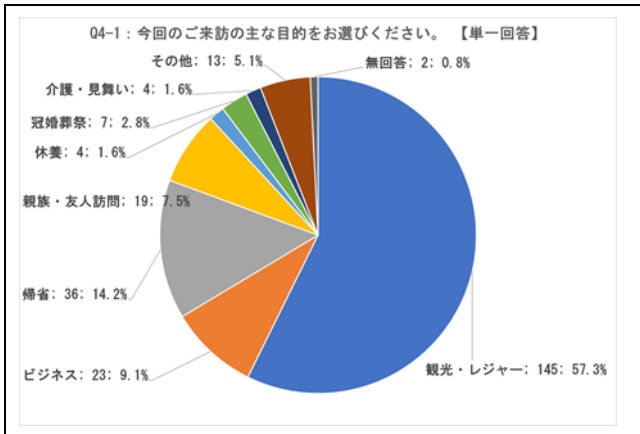
R2 (2020)



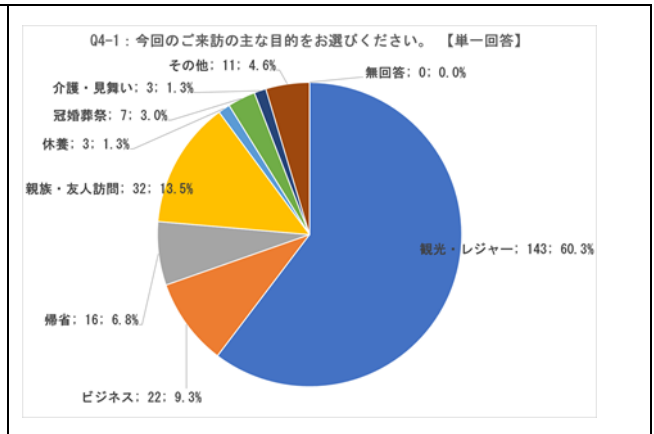
来訪回数については、大きな変化は見られない。「初めて」が多いが、リピーターも一定数いる。2020年は、コロナ禍のため「初めて」が減った形となっている。

4. 来訪目的

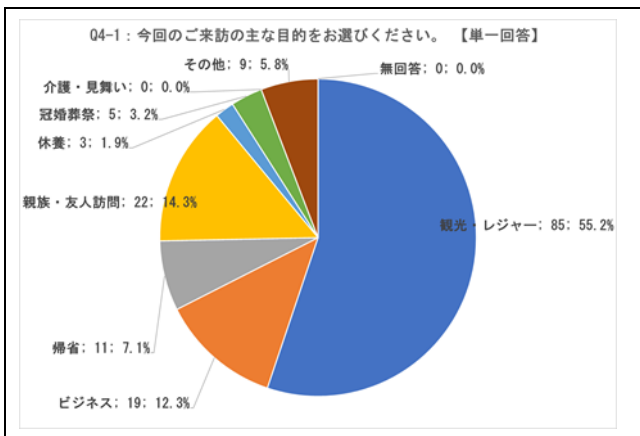
H29 (2017)



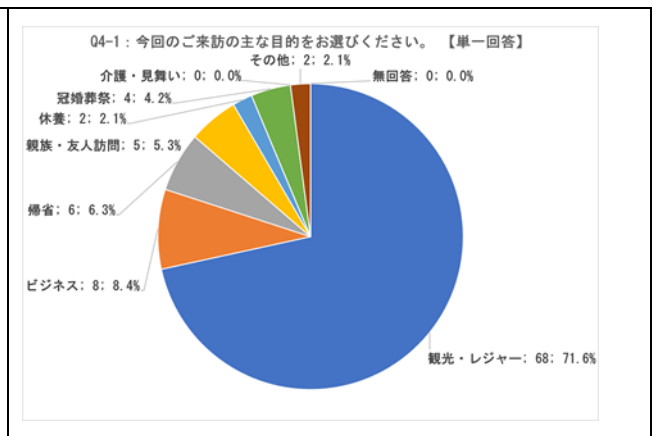
H30 (2018)



R1 (2019)



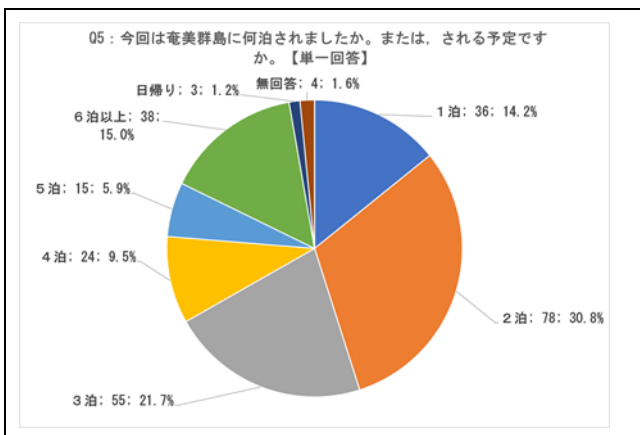
R2 (2020)



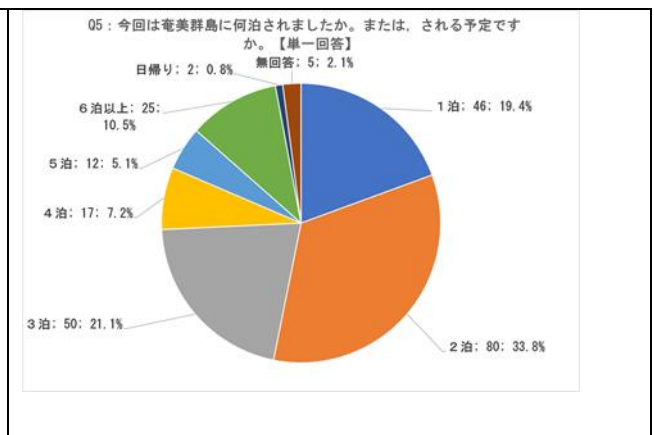
次に、目的については、「観光・レジャー」が半数以上を占める。「ビジネス」は一定程度いる。親族・友人関係あるいは帰省が、少なからず見られる。

5. 宿泊日数

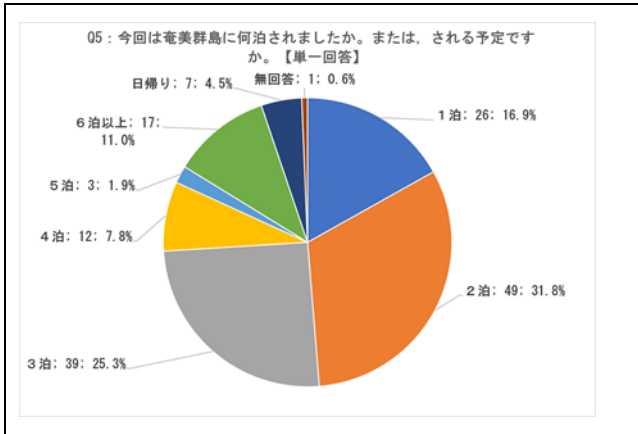
H29 (2017)



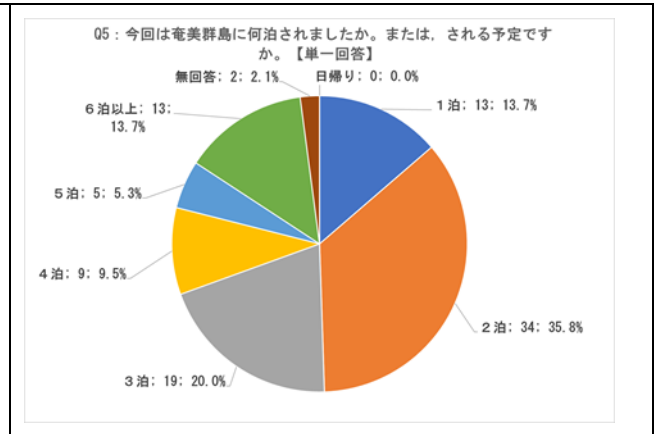
H30 (2018)



R1 (2019)



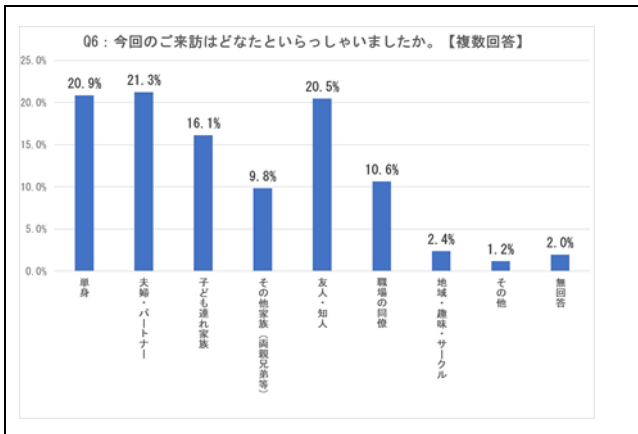
R2 (2020)



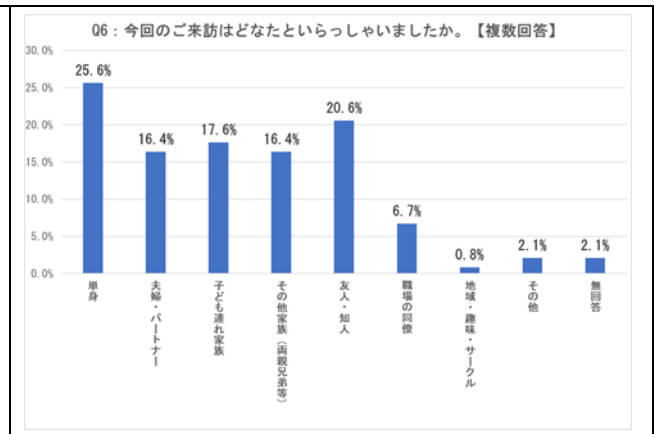
宿泊日数については、2、3泊が多いことがわかる。

6. 同行者属性

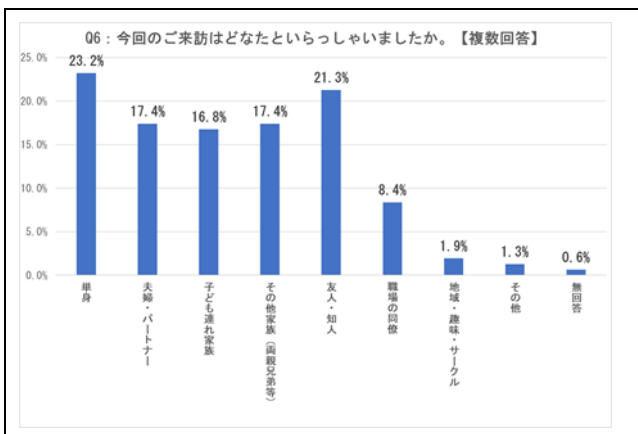
H29 (2017)



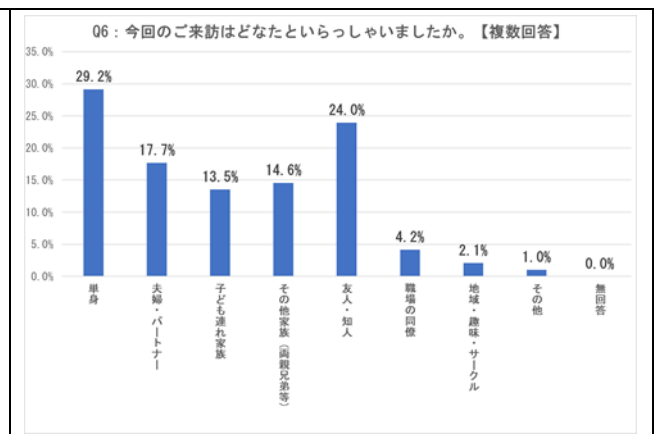
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



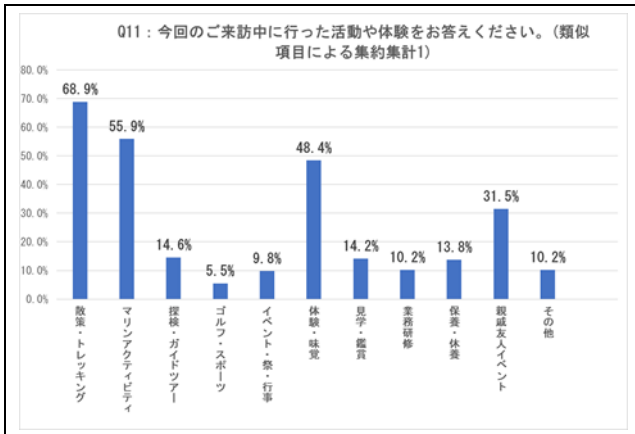
同行者属性については、特定の形態に偏ってはいない。

なお、訪問箇所数については、ほとんど1地域のみとなっている。

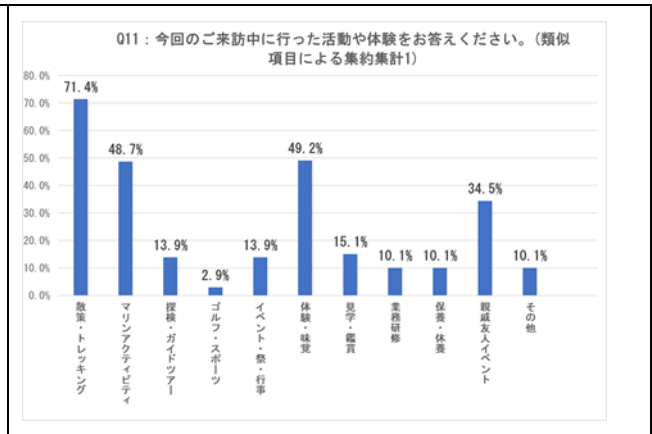
群島内交通手段については、6割を越えて、「レンタカー」となっている。「自家用車・社用車・公用車等の送迎」が次に多く、続いて「路線バス」となっている。

7. 活動・体験（集約集計）

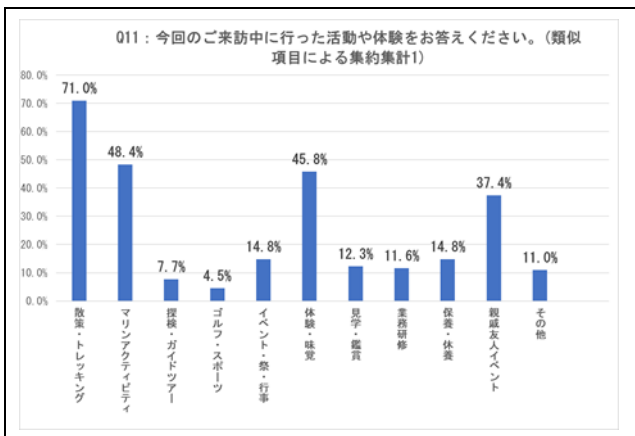
H29(2017)



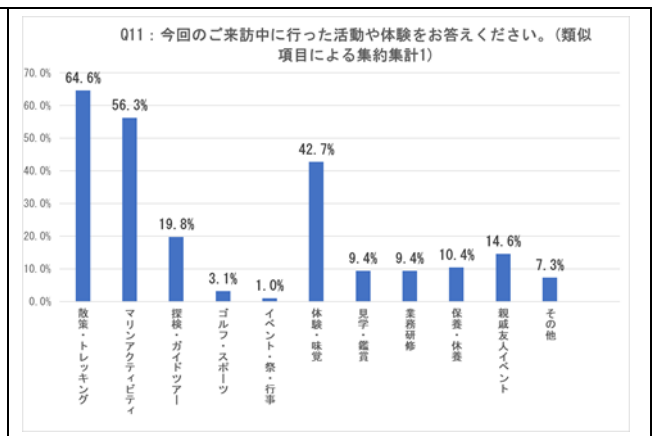
H30(2018)



R1(2019)



R2(2020)



活動体験については、特徴が見られる。集約した図化では、「散策・トレッキング」および「体験・味覚」が同様に多いが、「マリナクティビティ」が5割近くとなっていることが特徴といえる。また、「親戚友人イベント」が比較的高い。

支出額（活動・購買費用）については、大きな支出にはなっていない（図省略）。

Q15 情報発信については、海の風景、食べ物が多い。SNS 投稿しない人も3割程度にとどまる（図省略）。

Q16 満足度も非常に高いことがわかる（図省略）。

Q17 再来訪、Q18 推薦意向ともに、7割を超える「ぜひ訪れたい」となっている（図省略）。

結果：20、30代の若い女性の傾向をみると、会社員・公務員が多く、FSCが主だが、LCC利用者も多く、また船利用者もいる。観光目的がメインで、仕事の場合は少ない。宿泊は、2、3泊が主となっている。旅行は、一人かグループでしている。「散策・トレッキング」とともに、マリナクティビティが高いと言える。また、情報発信をし、満足度の高い人達と言えよう。

2-6 長期滞在者について

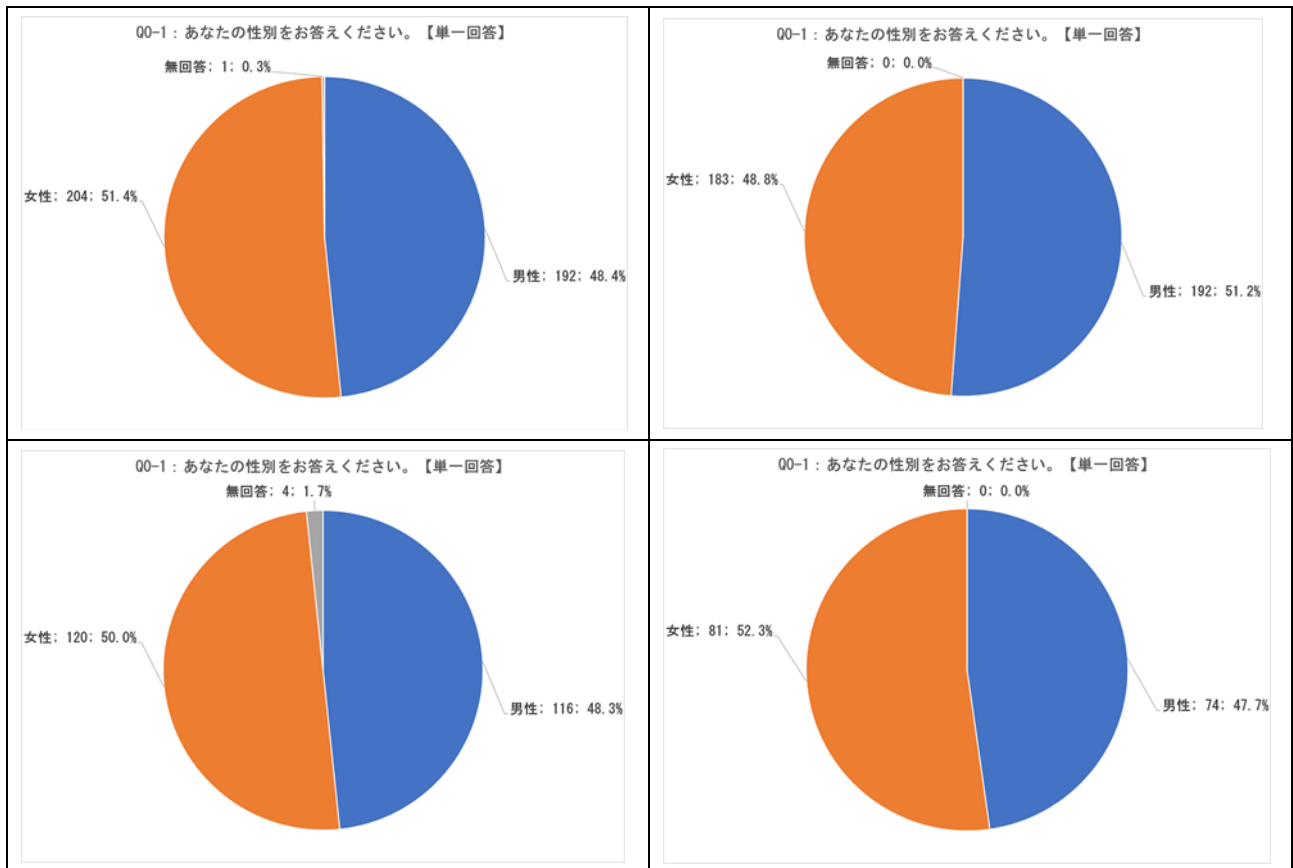
集計結果から、長期滞在者に絞って、その観光行動について傾向を確認した。
4泊以上の滞在者の図化を行った。

回答者数	2017 397人	2018 375人	2019 240人	2020 155人
------	-----------	-----------	-----------	-----------

1. 回答者性別

H29(2017)

H30(2018)

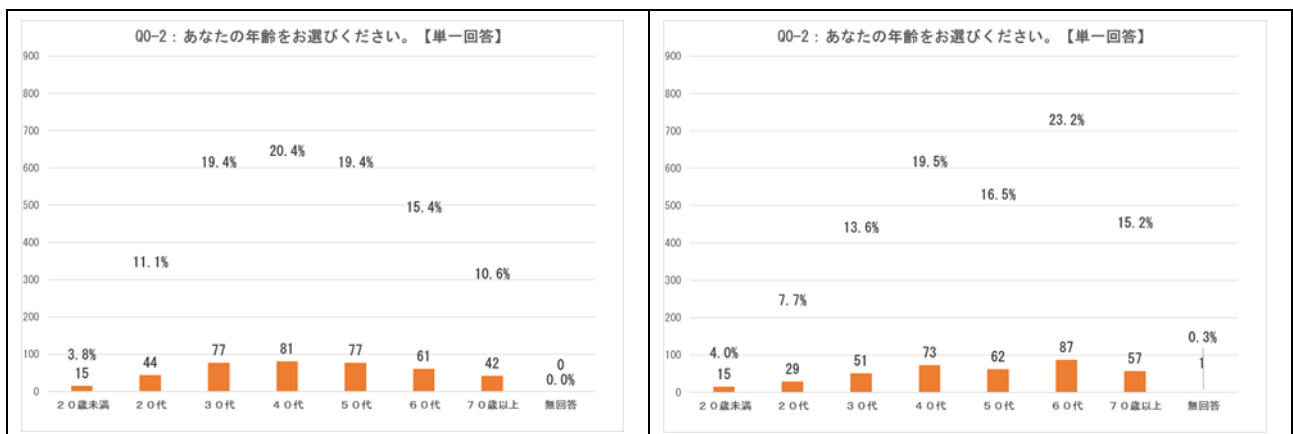


回答者の属性で、性別については、概ね半々である。

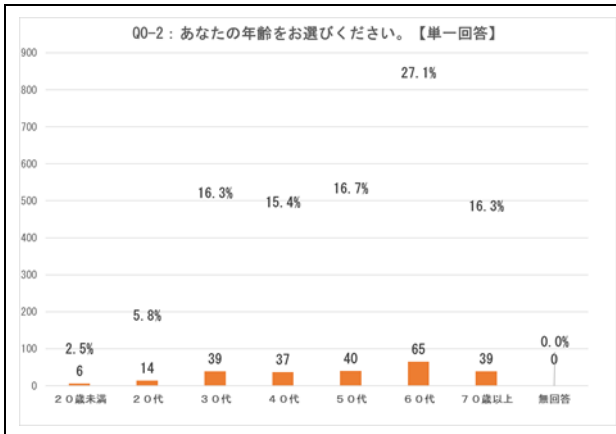
2. 回答者年齢

H29(2017)

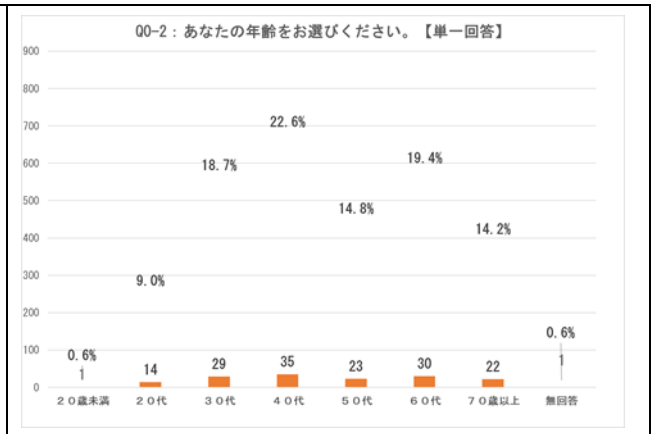
H30(2018)



R1 (2019)



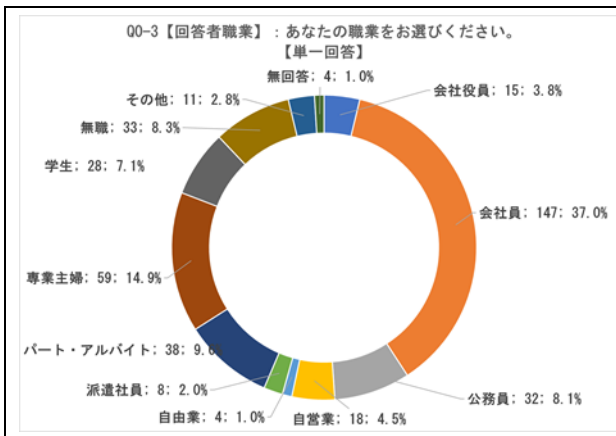
R2 (2020)



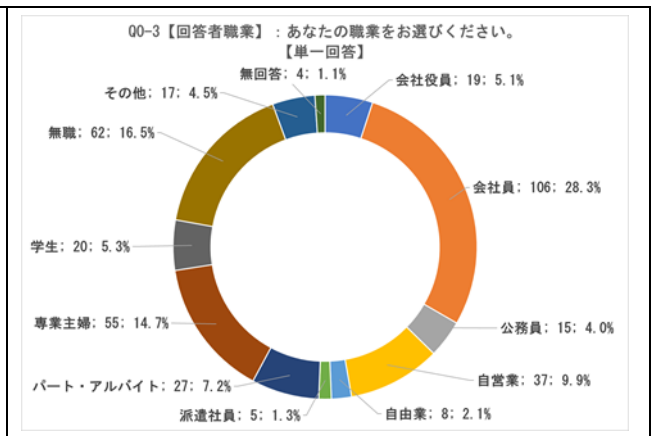
年齢については、比較的高齢層が多い割合となっている。

3. 回答者職業

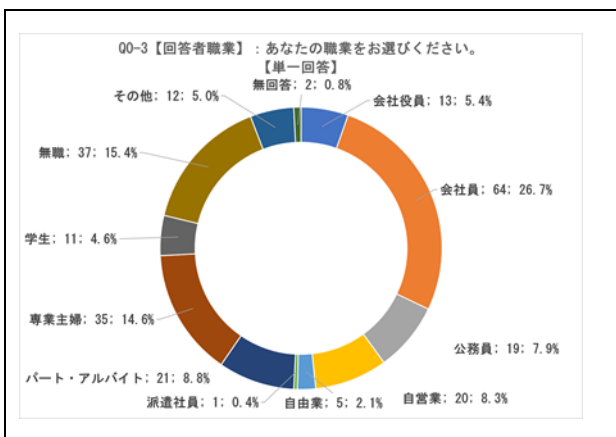
H29 (2017)



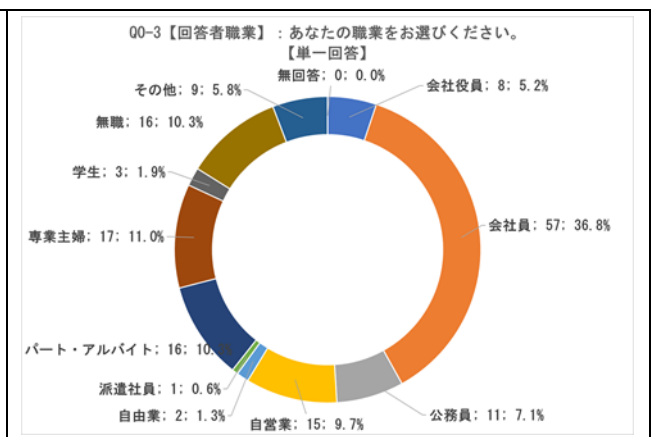
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

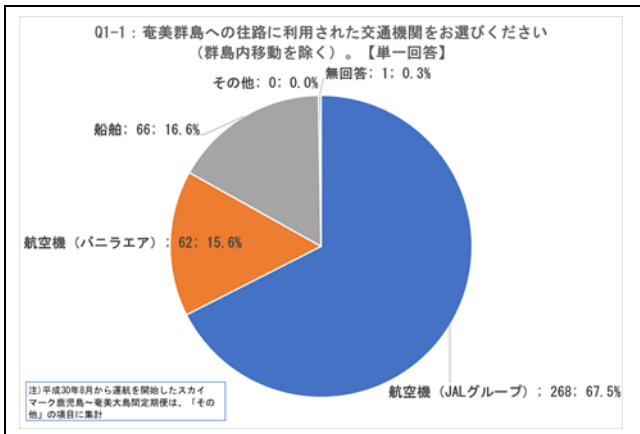


次に、職業を見ると、会社員が大きく減って、代わりに、無職（おそらく年金生活者）や主婦、パート・アルバイトが増えている。4泊以上となると、観光目的の通常の会社員や公務員は減少すると考えられる。

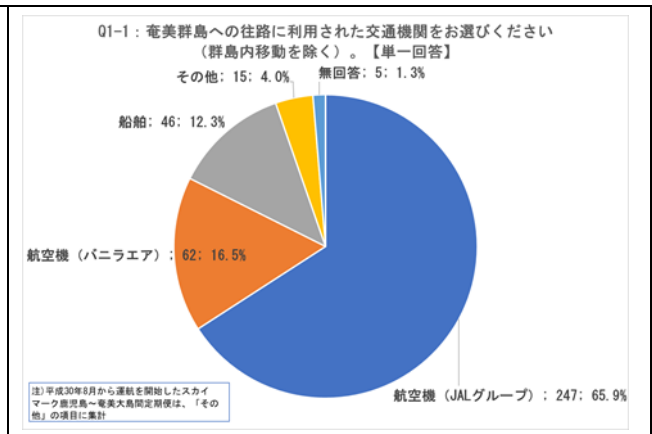
居住地としては、関東が多く、次に、九州、近畿と続いている。（図省略）

4. 往路交通手段

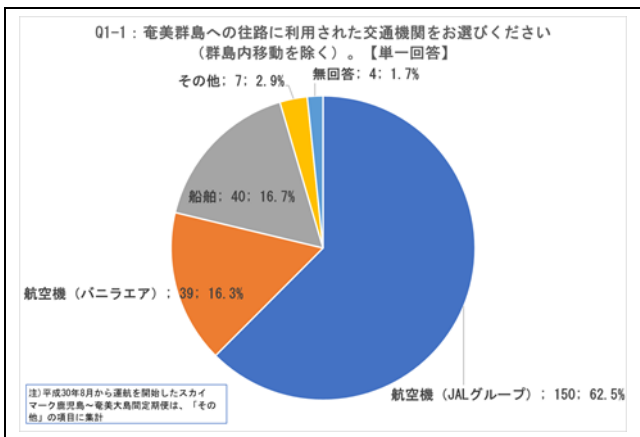
H29 (2017)



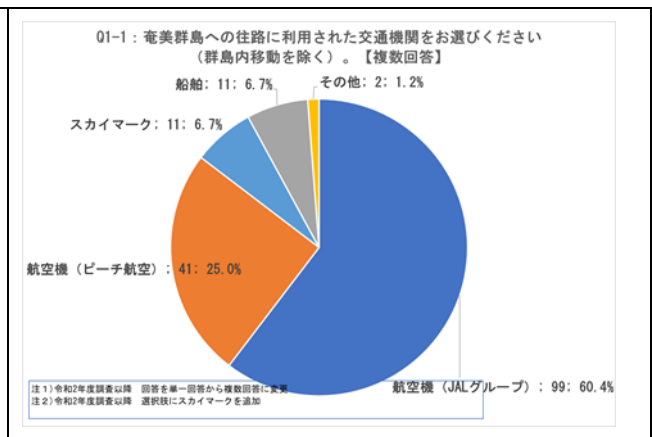
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)

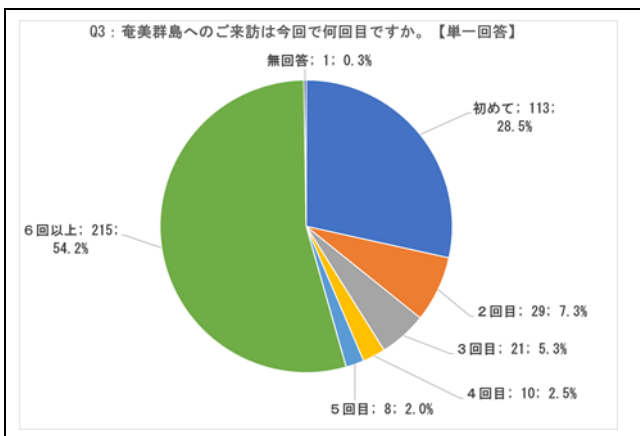


交通手段としては、FSCが多いが、船舶利用者が多いことが特徴と見られる。

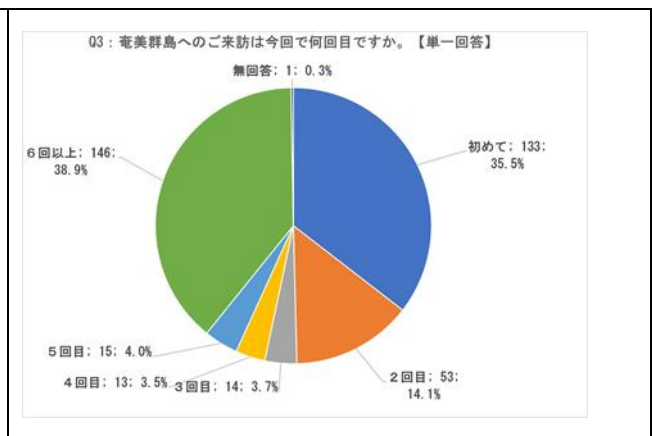
Q2の経由地については、「経由地なし」、「九州」、「沖縄」と続いている(図省略)。

5. 来訪回数

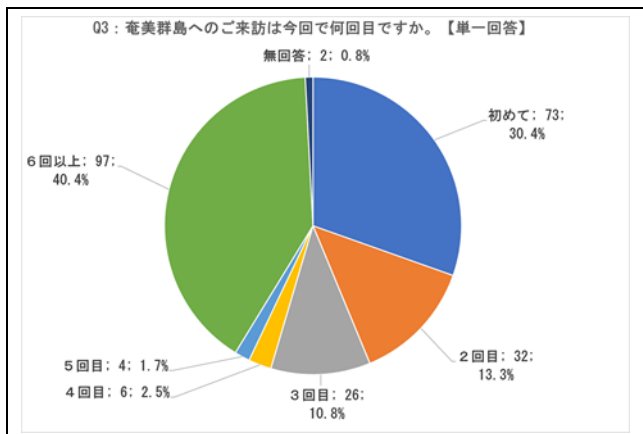
H29 (2017)



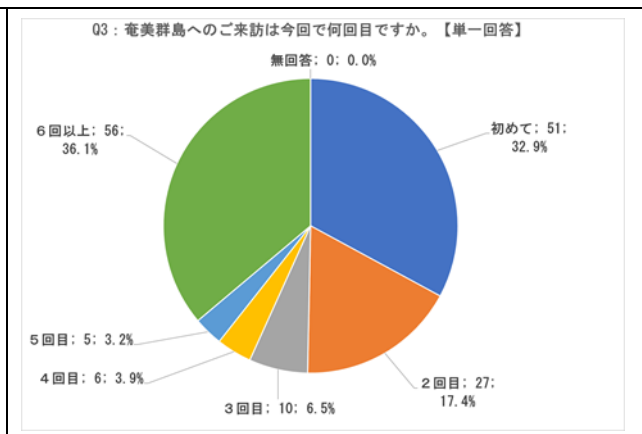
H30 (2018)



R1 (2019)



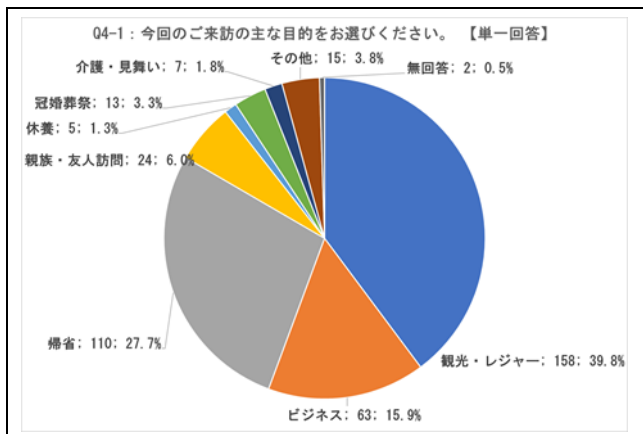
R2 (2020)



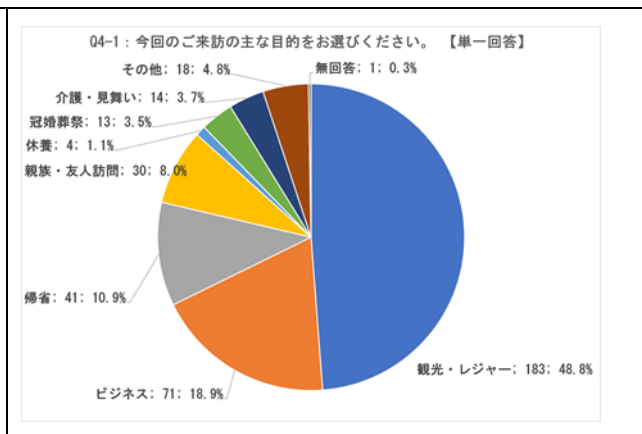
Q3 の来訪回数については、6回以上が一番多い。

6. 来訪目的

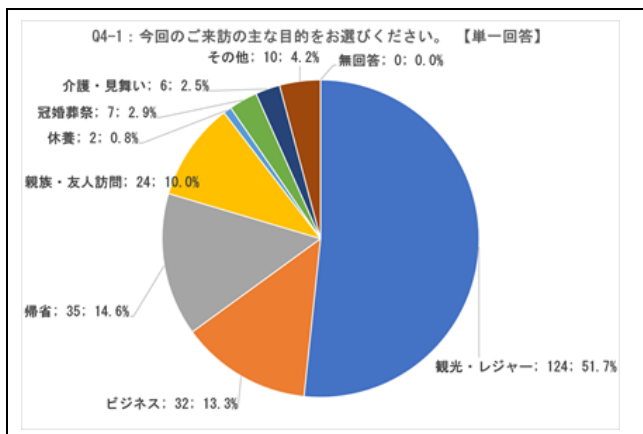
29 (2017)



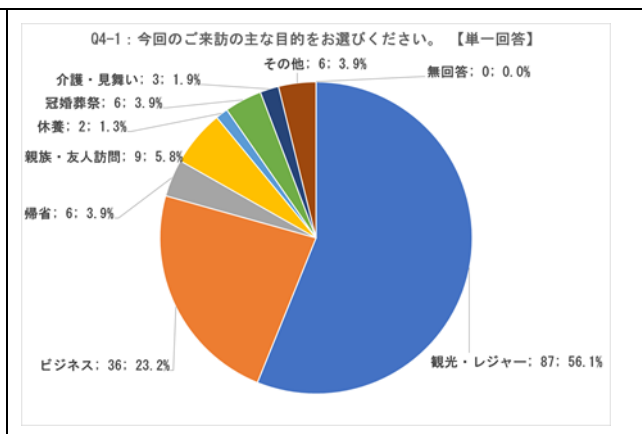
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



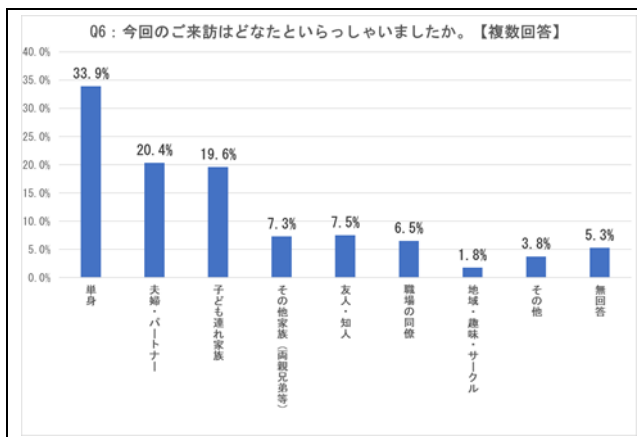
目的については、多くは、「観光・レジャー」であるが、特徴的なのは、「ビジネス」が次に大きい。それと同等に、「帰省」が多い。帰省および「ビジネス」が多いと、宿泊数も大きい。

情報源については、「自身の経験」もしくは「家族・友人・知人の紹介」が多い。次には、「旅行会社のウェブサイト」、「旅行雑誌・ガイドブック」という回答になっている。

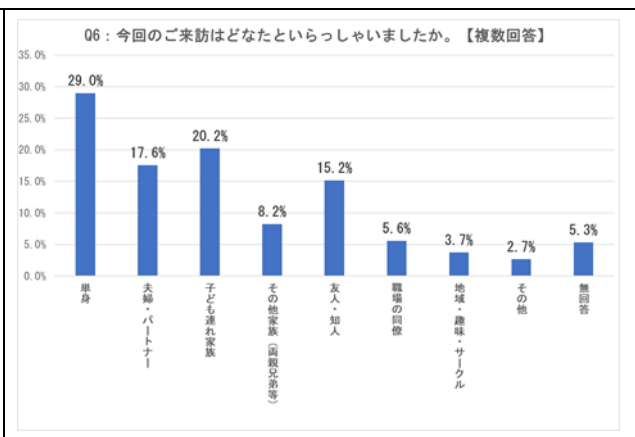
7. 同行者属性

同行者属性としては、30%程度が、単身で最も多かった。続いて、「夫婦・パートナー」及び「子ども連れ家族」となっている。

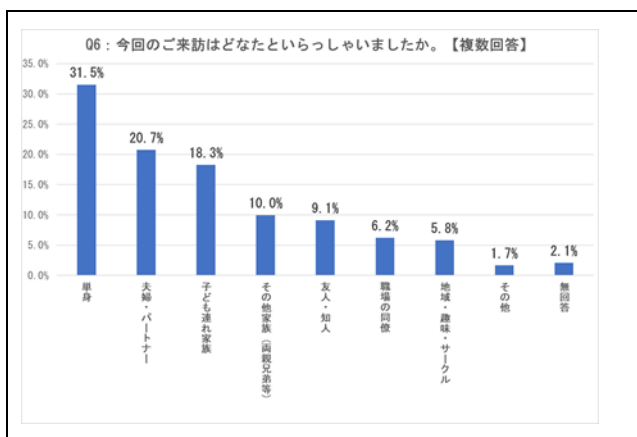
H29 (2017)



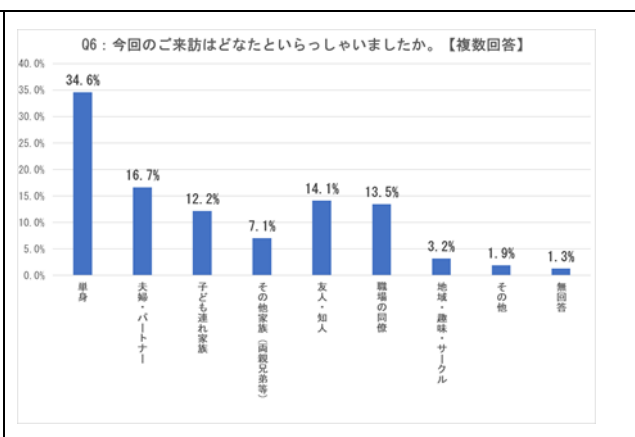
H30 (2018)



R1 (2019)



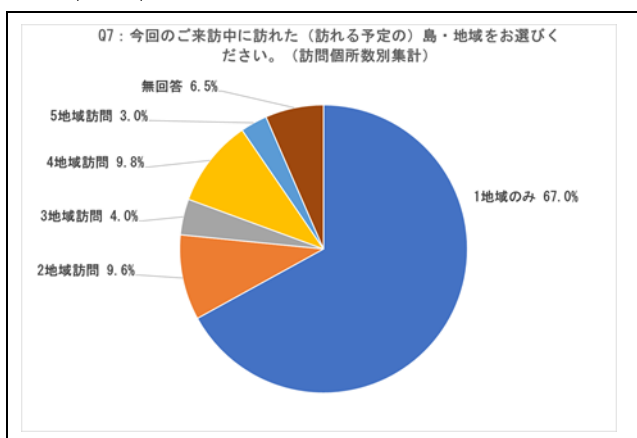
R2 (2020)



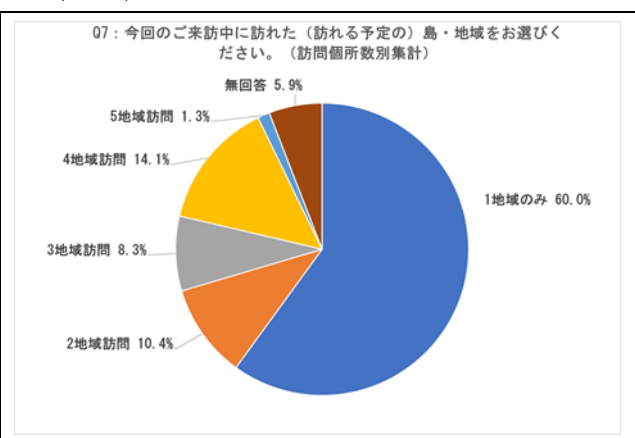
訪問先は、奄美大島が圧倒的に多い。徳之島、沖永良部島がそれに続いている。

8. 訪問箇所数

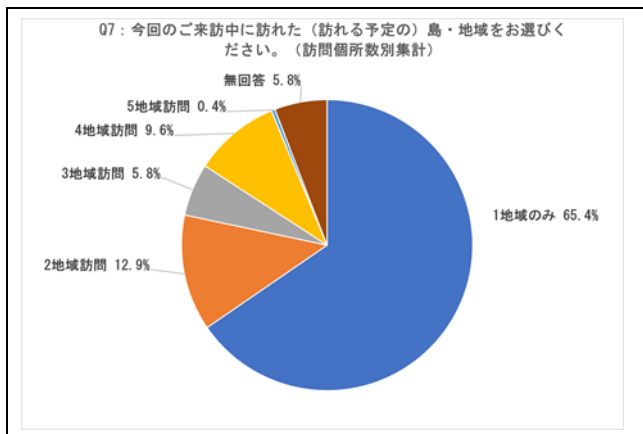
H29 (2017)



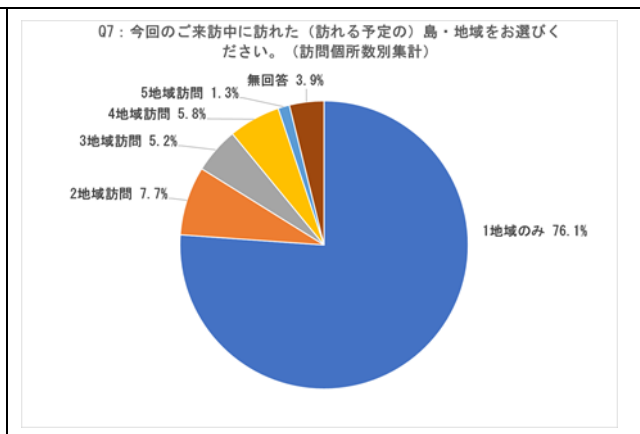
H30 (2018)



R1 (2019)



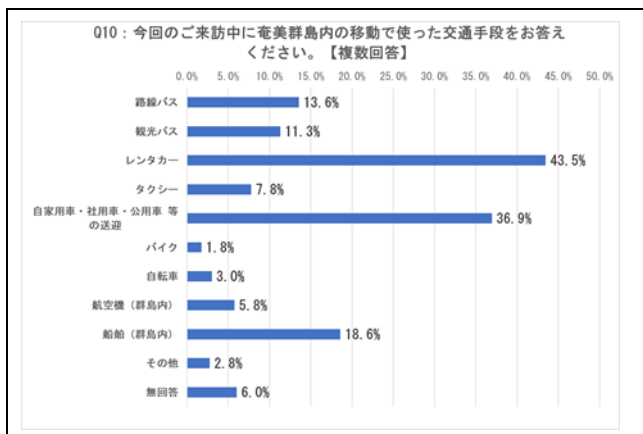
R2 (2020)



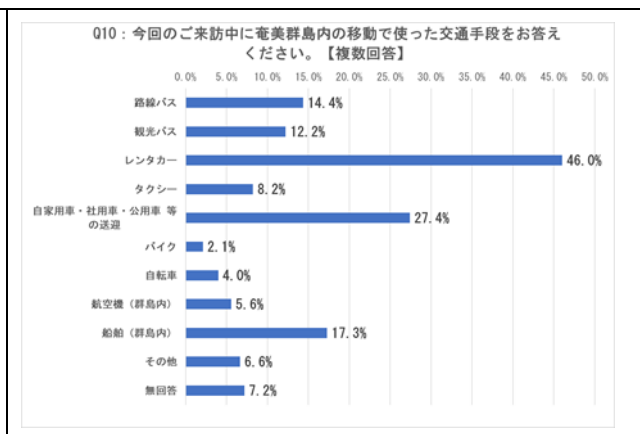
訪問箇所数については、1地域が半数以上ではあるが、4泊以上の場合、2地域以上の割合も高めとなっている。滞在日数が多いからであろう。

9. 群島内交通手段

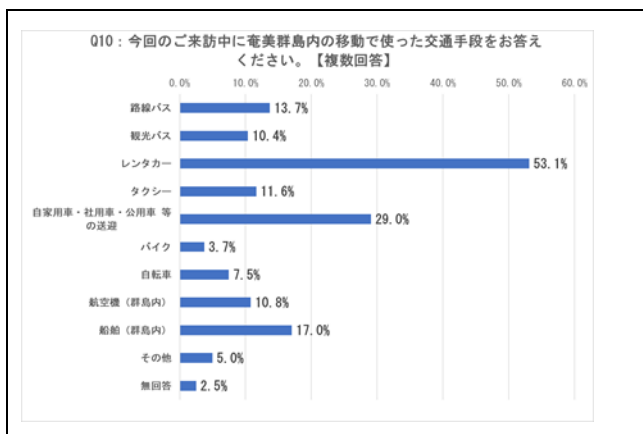
H29 (2017)



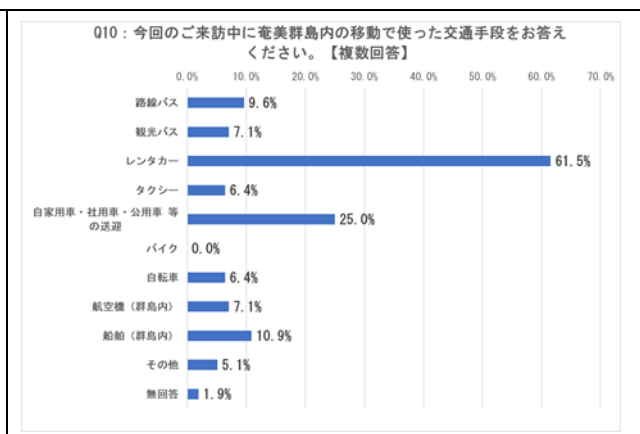
H30 (2018)



R1 (2019)



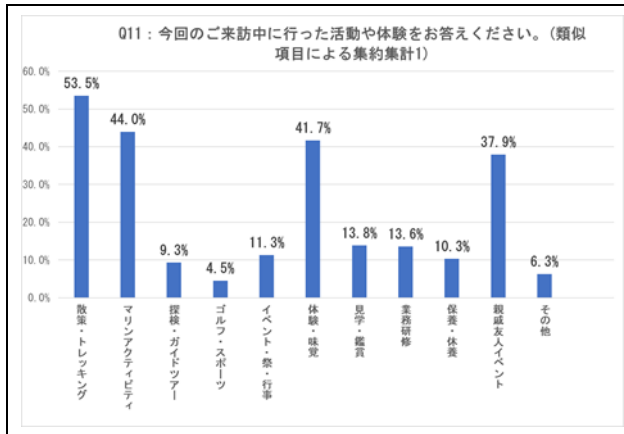
R2 (2020)



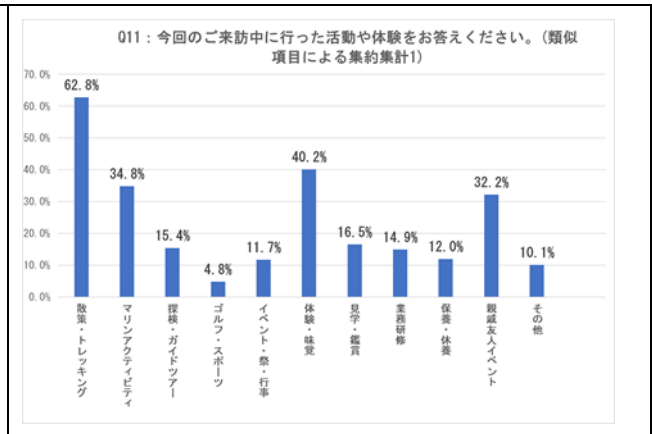
したがって、群島内交通手段として、レンタカーがもちろん多いが、船舶での移動がそれなりにあることがわかる。

10. 活動・体験

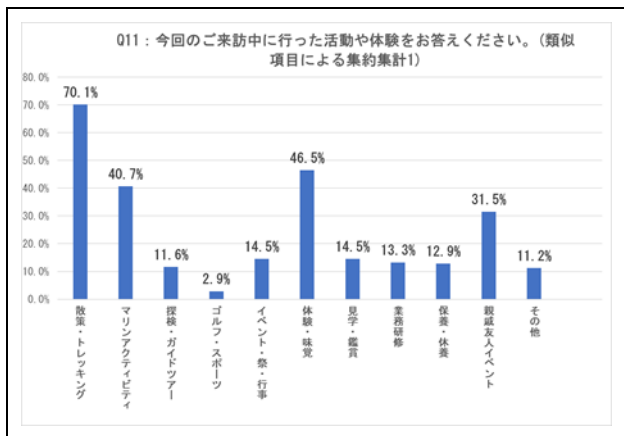
H29 (2017)



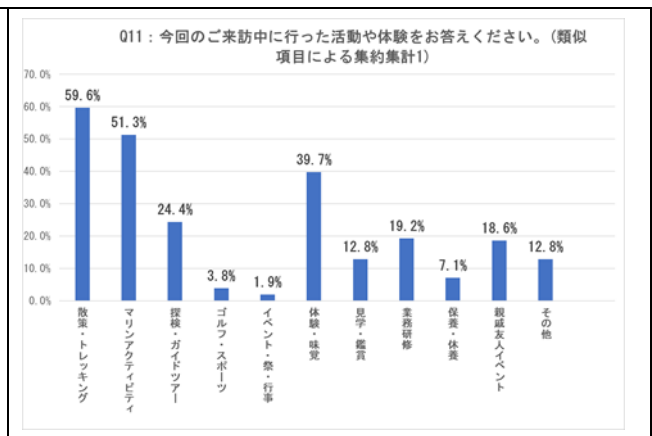
H30 (2018)



R1 (2019)



R2 (2020)



Q11の活動・体験では、「観光地めぐり」、「体験・味覚」に加えて、「マリナクティビティ」が高い。これは4泊以上としての傾向と考えられる。

さらに、帰省する人は、泊数が多くなると考えられるが、「親戚友人イベント」が高くなっていることから符合する。R2(2020)の帰省する人を見ると、例年から大きく落ち込んでいる(帰省R1(2019)14.6%→R2(2020)3.9%)これは、コロナ禍で帰省等が控えられた結果と考えられる。

Q15 情報発信としては、海の風景や食べ物が多い。投稿していない割合も多い。

Q16 満足度は、大変満足・満足・やや満足で、概ね8割が回答している。

結果：長期滞在者には、観光での滞在、ビジネスでの滞在、帰省等での滞在が考えられる。観光では夫婦や家族で複数地域滞在も想定される。ビジネスでは単身で、家族、夫婦・パートナーでは帰省などを含め来訪回数が増えている。

第3章 活用に向けた課題と留意点

3-1 設問項目、集計上の課題

本調査の分析にあたって気がついた点を列挙し、今後の取組改善の課題とする。

1. 紙回答の課題

- ・回答者の手書きミスがある（数字の間違い・勘違い、地名の勘違い等）、出やすい。
- ・回答内容を手入力する際に、転記ミス、読み間違いの可能性はある。

2. ウェブ回答の課題

- ・ミスは少ないが、回答自体が少ない。
- ・パソコン、スマホで入力しやすい工夫が求められる。

3. 選択肢の作り方

- ・調査票は、島別の記入ではないため、島別の集計には無理がある。島別に回答する設問を考慮する必要がある。
- ・観光政策に活用するための分析視点に基づく設問が必要である。

3-2 今後の活用にあたって

1. 未検討データの活用

本調査では、各島については訪問先データを集計したが、配布先データもあるので必要に応じて、比較検討することは可能である。また、来訪者が1地域と回答した場合に絞ったデータの集計での検討も可能である。また、回別でも集計をしているので、季節ごとの変化を確認することは可能である。

さらに、Q8,9の印象に残った場所、特産品・料理等については、自由回答のため用語を整理した上で、上位5位までの結果を掲載したが、回答には属性も表示しているため、観光資源の分析をすることは可能である。また、Q19の自由回答のキーワード分析から新たな傾向を掴むことも可能であろう。

また、奄美大島については、奄美大島北部・南部、加計呂麻島のデータを奄美大島で一括しているため、3地域別の分析は、実施していない。生データを元に別途集計することは可能である。

2. 従来の調査票による調査を継続することで、世界自然遺産での観光・環境政策にも活かせる。

年4回の一斉調査は、奄美群島の観光政策を立案する上で、貴重なデータである。この調査を継続していくことで、いずれ世界自然遺産の認定を受ければ、その比較も可能となるであろう。

世界自然遺産に認定されれば、一定期間は観光客等が増加するはずだが、その時の基礎データとなり、変化を把握することにより、観光政策への基礎資料となる。

その際には、今までの調査で、改善すべき項目を早急に検討する必要がある。

3. さらなる活用のために

調査票に加えて、自らの業務がアンケート設問の何処にリンクするのかを明確にして、定点観測を行うことも重要である。

もしも、対象者を増やして精度を高めることを希望するならば、奄美群島の観光や自然保護に関心の高い大学の研究室や研究機関との共同調査により、より対象を広げたデータ収集を継続することが考えられる。

もしも、一斉アンケートが困難となり、常時ウェブアンケートだけになった場合は、量的な把握はできず、定性的な把握だけになり、今までの4年間の調査結果との比較は困難になる。その際は、新たな設問によって、発見型の調査票を検討することも必要であろう。

4. 新たなデータ取得を検討する

世界自然遺産の認定と関連して、持続可能な保全と経済の循環をつくることが前提とするなら、毎年テーマをもって社会実験的な取り組みを行い、その結果の意見を消費者から得るという視点でデータを集めることも検討する必要があるだろう。

資料編

- ・調査票（奄美大島用サンプル）
- ・Q14 奄美群島全体の拡大図

注：奄美群島全体および奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島別の集計および各クロス集計の集計表は省略。集計データ・図化は別途電子データとしてDVDに収録。

※電子データ一覧（エクセルファイル、ワードファイル）

0. 作業方針関連ファイル

- 1) 作業方針等（含．報告書用作表）
- 2) 元データ（取扱注意）

1. 奄美群島の年度別集計データ

（群島全体、配布場所島別、訪問先島別、回別）

2. FSC、LCC 別の年度別集計データ

（+奄美、九州居住者を除いたデータ）

3. 観光・レジャーにおける「初めて」、「6回以上」の年度別集計データ

4. 渡航費・滞在費・活動費の比較データ

- 1) 全体比較（※1のエクセルファイルに含まれる）
- 2) 一日当たりの支出比較（5千円未満、5千円～1万円、1万円以上）
- 3) 奄美居住者を除いた集計データ

5. 20代及び30代女性の年度別集計データ

6. 長期滞在者（4泊以上）の年度別集計データ

- ・報告書データ（ワード、PDF）
- ・各種作表図

奄美群島観光振興基礎調査票（奄美大島用）

○ 最初に、性別、年齢、職業、居住地方・地域をお選びください。*（1つずつ○）

性別	① 男性		② 女性		
年齢	① 20歳未満	② 20代	③ 30代	④ 40代	⑤ 50代
	⑥ 60代	⑦ 70歳以上			
職業	① 会社役員	② 会社員	③ 公務員	④ 自営業	⑤ 自由業
	⑥ 派遣社員	⑦ パート・アルバイト		⑧ 専業主婦	⑨ 学生
	⑩ 無職	⑪ その他（ _____ ）			
居住地方・地域	① 北海道	② 東北	③ 関東	④ 中部	⑤ 近畿
	⑥ 中国	⑦ 四国	⑧ 九州	⑨ 奄美大島	⑩ 加計呂麻島
	⑪ 請島	⑫ 与路島	⑬ 喜界島	⑭ 徳之島	⑮ 沖永良部島
	⑯ 与論島	⑰ 沖繩	⑱ 国外（国名： _____ ）		

⇒ 「居住地方・地域」で「①～⑧、⑬～⑱」を選ばれた方は、「Q1」へお進みください。

⇒ 「居住地方・地域」で「⑨～⑫」を選ばれた方は、「Q19」へお進みください。

Q1. 奄美群島への往復に利用された交通機関をお選びください(群島内での移動は除く)。

*（「往路」「復路」で1つずつ○）

往路	① 航空機（JALグループ）	② 航空機（バニラエア）	③ 船舶
	④ その他（ _____ ）		
復路	① 航空機（JALグループ）	② 航空機（バニラエア）	③ 船舶
	④ その他（ _____ ）		

Q2. 奄美群島に移動されるまでに経由（乗り換え等）した地域をお選びください。*（複数回答可）

① 経由をしていない	② 関東	③ 近畿	④ 九州	⑤ 沖縄
⑥ その他（ _____ ）				

Q3. 奄美群島へのご来訪は今回で何回目ですか。*（1つ○）

① 初めて	② 2回目	③ 3回目	④ 4回目	⑤ 5回目
⑥ 6回以上				

Q4-1. 今回のご来訪の主な目的をお選びください。*（1つ○）

① 観光・レジャー	② ビジネス	③ 帰省	④ 親族・友人訪問
⑤ 休養	⑥ 冠婚葬祭	⑦ 介護・見舞い	⑧ その他（ _____ ）

⇒ 「① 観光・レジャー」を選ばれた方は、「Q4-2」へお進みください。

⇒ 「① 観光・レジャー」以外を選ばれた方は、「Q5」へお進みください。

Q4-2.（「① 観光・レジャー」を選ばれた方）

今回、奄美群島を選んだ際に決め手となった情報源を選択してください。*（1つ○）

① 以前訪問した際の自身の経験	② 家族・友人・知人の紹介	③ 個人ブログ・SNS
④ 旅行会社のウェブサイト	⑤ 自治体や観光協会のウェブサイト	⑥ 旅行雑誌・ガイドブック
⑦ テレビ・映画	⑧ 特になし	⑨ その他（ _____ ）

Q5. 今回は奄美群島に何泊されましたか。または、される予定ですか。*（1つ○）

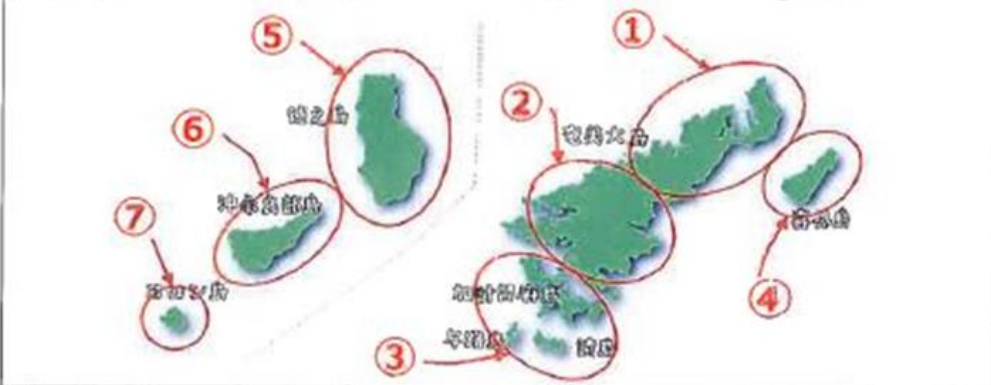
① 1泊	② 2泊	③ 3泊	④ 4泊	⑤ 5泊
⑥ 6泊以上				
⑦ 日帰り				

Q6. 今回のご来訪はどなたといらっしゃいましたか。* (複数回答可)

- ① 単身 ② 夫婦・パートナー ③ 子ども連れ家族 ④ その他家族 (両親兄弟等)
 ⑤ 友人・知人 ⑥ 職場の同僚 ⑦ 地域・趣味・サークル
 ⑧ その他 (_____)

Q7. 今回のご来訪中に訪れた (訪れる予定の) 島・地域をお選びください。* (複数回答可)

- ① 奄美大島 北部 ② 奄美大島 南部 ③ 加計呂麻島・請島・与路島
 ④ 喜界島 ⑤ 徳之島 ⑥ 沖永良部島 ⑦ 与論島



Q8. 今回のお来訪で最も印象に残った場所 (観光地等) を3つお答えください。

- 〈例〉 (百合が浜)
 ① (_____) ② (_____) ③ (_____)

Q9. 今回のお来訪で最も印象に残った特産品や料理等を3つお答えください。

- 〈例〉 (鶏飯)
 ① (_____) ② (_____) ③ (_____)

Q10. 今回のお来訪中に奄美群島内の移動で使った交通手段をお答えください。* (複数回答可)

- ① 路線バス ② 観光バス ③ レンタカー ④ タクシー
 ⑤ 自家用車・社用車・公用車 等の送迎 ⑥ バイク ⑦ 自転車
 ⑧ 航空機 (群島内) ⑨ 船舶 (群島内) ⑩ その他 (_____)

Q11. 今回のお来訪中に行った活動や体験をお答えください。* (複数回答可)

- ① 観光地めぐり ② ダイビング ③ サーフィン ④ 釣り
 ⑤ 海水浴 ⑥ その他マリネジャー ⑦ ケイビング ⑧ ゴルフ
 ⑨ グラウンドゴルフ ⑩ その他スポーツ ⑪ ガイドツアー ⑫ 自然散策
 ⑬ イベント・祭り ⑭ 伝統行事への参加 ⑮ 文化体験 (三味線・シマ唄 等)
 ⑯ 文化鑑賞 (観光施設・郷土資料館 等) ⑰ 集落めぐり ⑱ 郷土料理を堪能
 ⑲ 黒糖焼酎を堪能 ⑳ 仕事・会議・研修 ㉑ 保養・休養 ㉒ 親戚・親戚等の訪問
 ㉓ 友人・知人の訪問 ㉔ スポーツキャンプの見学 ㉕ その他 (_____)

Q12. 今回はどのような形態で来訪されましたか。下記から1つ選択し、1人あたりの費用をご記入ください。* (1つ選択し、記入)

- ① 団体旅行 (地域や職場、学校等の団体) → (1人あたりの費用 約 _____ 円)
 ② 観光付きのパッケージ旅行 → (1人あたりの費用 約 _____ 円)
 ③ フリープラン型のパッケージ旅行 → (1人あたりの費用 約 _____ 円)
 ④ 個人旅行・来訪 ※ 船路・航空運賃のみ記入 → (1人あたりの費用 約 _____ 円)
 個人旅行でマイレージポイントを利用された方はこちらにもチェックしてください。←

Q13. 奄美群島内でお支払いになった1人当たりの金額を、それぞれの費目ごとにご記入ください。なお、Q12の「団体旅行・パッケージ旅行」の費用に含まれているものを除きます。* (複数回答可)

① 宿泊費	(約 _____ 円)
② 群島内の交通費	(約 _____ 円) ※ レンタカーを含む
③ 飲食費	(約 _____ 円)

Q14. 奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費などそれぞれの品目について金額をご記入ください。なお、Q12の「団体旅行・パッケージ旅行」の費用に含まれているものを除きます。* (複数回答可)

	品目	1人あたりの支払金額		品目	1人あたりの支払金額
お土産品・買い物代	① 農産物 (果物・野菜・花等)	約 _____ 円	娯楽・入場費	⑪ 遊漁船 (釣り、ホエールウォッチング、グラスボート等)	約 _____ 円
	② 水産物 (鮮魚・魚介類等)	約 _____ 円		⑫ ダイビング	約 _____ 円
	③ お酒・飲料	約 _____ 円		⑬ サーフィン	約 _____ 円
	④ その他の食料品・菓子	約 _____ 円		⑭ ケイビング	約 _____ 円
	⑤ 伝統工芸品 (大島織・染め物等)	約 _____ 円		⑮ ガイドツアー	約 _____ 円
	⑥ その他製造品 (文具・玩具・キーホルダー等)	約 _____ 円		⑯ その他ガイド料・体験料 (シマ横・工芸体験・カヌー体験等)	約 _____ 円
娯楽・入場費	⑦ テーマパーク・レジャーランド等	約 _____ 円	その他	⑰ レンタル料 (レンタカーは除く)	約 _____ 円
	⑧ 観光学設・資料館・植物園等	約 _____ 円		⑱ エステ・マッサージ	約 _____ 円
	⑨ ゴルフ場・グラウンドゴルフ場等	約 _____ 円		⑲ 郵便・宅急便	約 _____ 円
	⑩ スポーツ観戦・コンサート等	約 _____ 円		⑳ その他	約 _____ 円

Q15. 今回のご来訪でSNSに投稿した (投稿する予定の) 場所やものをお答えください。* (複数回答可)

① 海の風景	② 森林の風景	③ 食べ物	④ 地元の住民
⑤ 街並	⑥ スポーツ・レジャー	⑦ イベント	⑧ 観光地
⑨ 島の動植物	⑩ 史跡	⑪ 投稿していない	
⑫ その他 (_____)			

Q16. 今回のご来訪の満足度をお答えください。* (複数回答可)

	大変満足	満足	やや満足	どちらでも ない	やや不満	不満	大変不満	利用なし
旅行全体	7	6	5	4	3	2	1	
自然・風景	7	6	5	4	3	2	1	0
料理・食事	7	6	5	4	3	2	1	0
宿泊施設	7	6	5	4	3	2	1	0
接客対応・もてなし	7	6	5	4	3	2	1	0
観光施設	7	6	5	4	3	2	1	0
観光情報・案内板	7	6	5	4	3	2	1	0
スポーツ・レジャー	7	6	5	4	3	2	1	0
公共交通機関の利便性	7	6	5	4	3	2	1	0
伝統文化	7	6	5	4	3	2	1	0
街の清潔さ	7	6	5	4	3	2	1	0
買い物	7	6	5	4	3	2	1	0
名産品・土産品	7	6	5	4	3	2	1	0
通信環境 (Wi-Fi等)	7	6	5	4	3	2	1	0
トイレ施設	7	6	5	4	3	2	1	0

Q17. あなたは今後も奄美群島を訪れたいと思いますか。* (1つ○)

① ぜひ訪れたい ② 訪れたい ③ どちらとも言えない ④ 訪れたくない

Q18. あなたは奄美群島への旅行等を他の人にも勧めたいと思いますか。* (1つ○)

① ぜひ勧めたい ② 勧めたい ③ どちらとも言えない ④ 勧めたくない

Q19. 来訪者の方 ⇒ 今回の来訪をとおして感じたご意見等がございましたらお聞かせください。

居住者の方 ⇒ 奄美群島の観光について、ご意見等がございましたらお聞かせください。

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

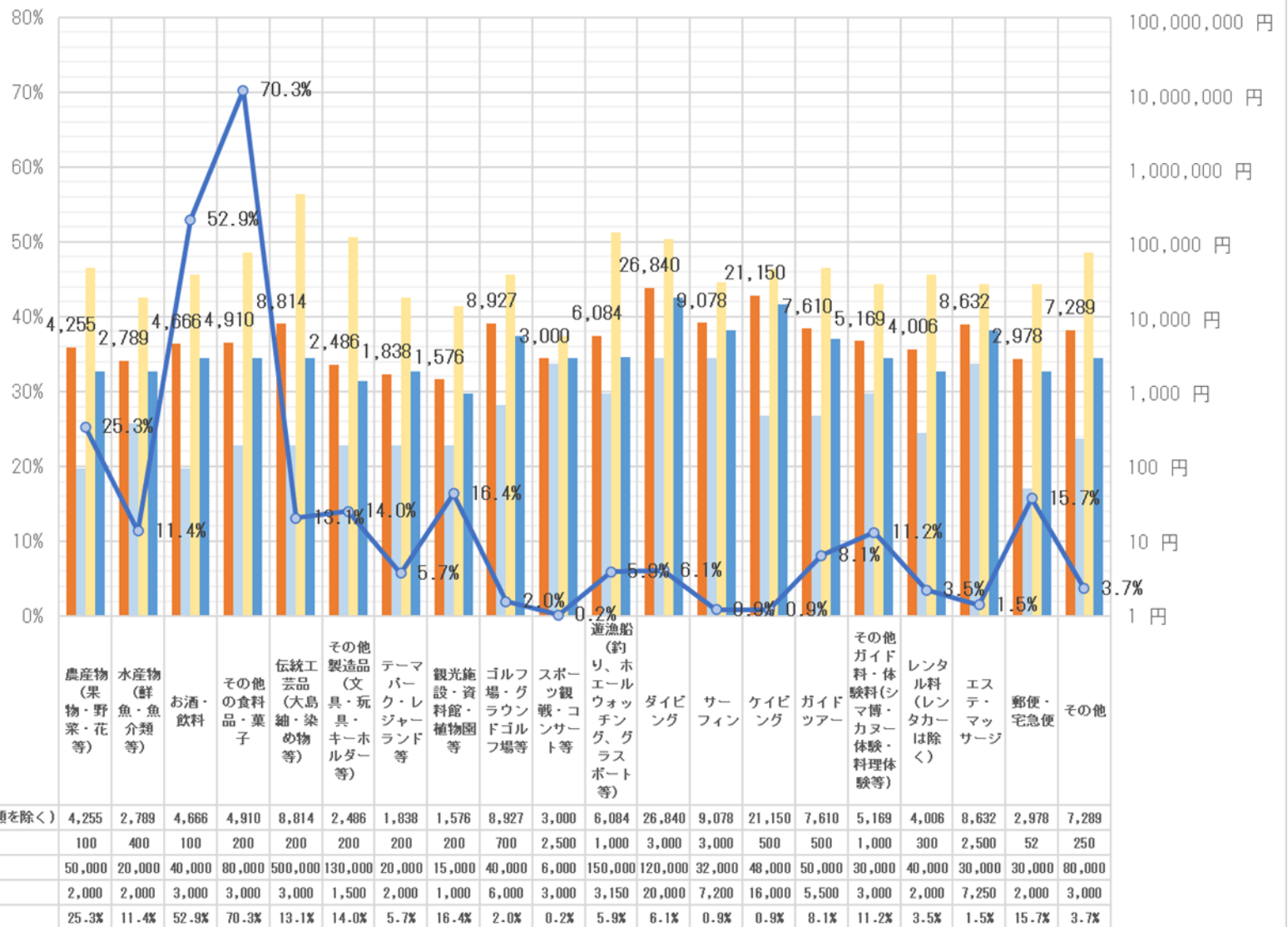
奄美群島特産品詰め合わせプレゼントに応募される方は、下記に送付先住所・氏名・電話番号をご記入ください。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

※いただきました個人情報は、商品の発送以外の目的には使用いたしません。

住 所			
氏 名		電話番号	

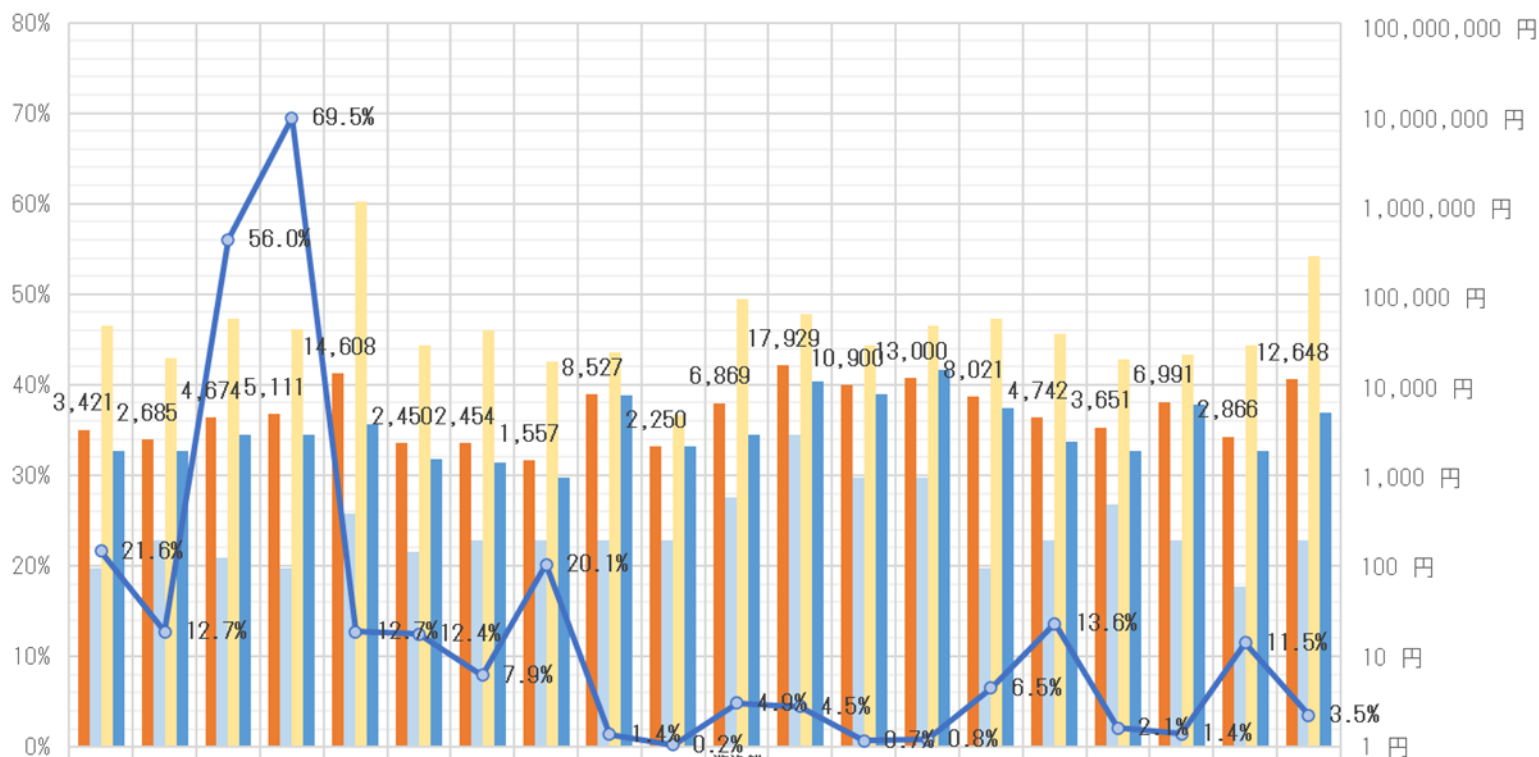
Q14：奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費など
それぞれの品目について金額をご記入ください。

H29(2017)奄美群島全体



Q14：奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費など
それぞれの品目について金額をご記入ください。

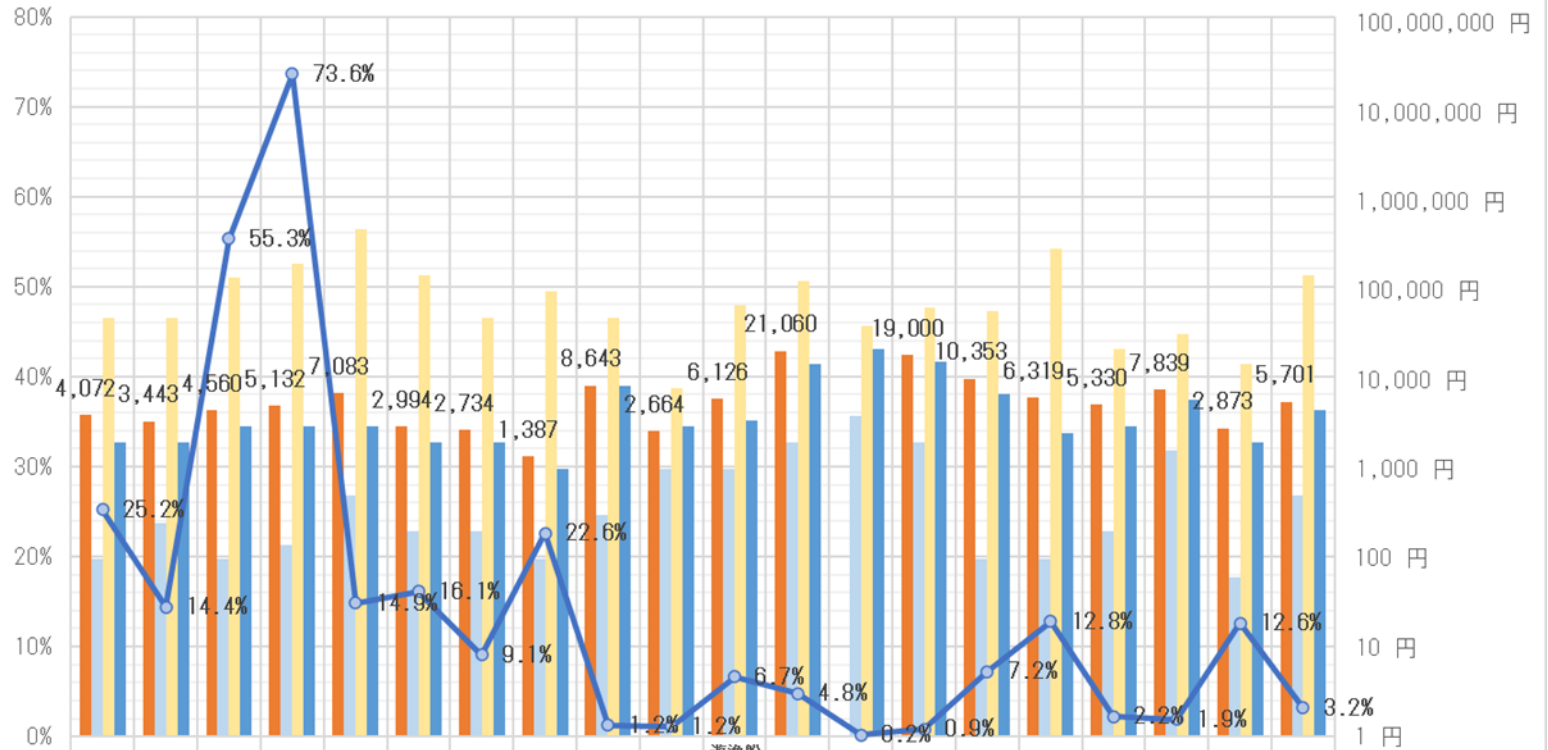
H30(2018)奄美群島全体



平均金額 (最大金額・最小金額を除く)	3,421	2,685	4,674	5,111	14,608	2,450	2,454	1,557	8,527	2,250	6,869	17,929	10,900	13,000	8,021	4,742	3,651	6,991	2,866	12,648
最小金額	100	200	130	100	400	150	200	200	200	200	600	3,000	1,000	1,000	100	200	500	200	62	200
最大金額	50,000	21,600	60,000	45,000	1,200,000	30,000	44,000	20,000	25,000	5,000	100,000	68,000	30,000	50,000	60,000	40,000	21,000	24,000	30,000	300,000
中央値	2,000	2,000	3,000	3,000	4,000	1,600	1,500	1,000	8,250	2,250	3,000	12,000	8,500	16,000	6,000	2,500	2,000	6,500	2,000	5,400
回答数%	21.6%	12.7%	56.0%	69.5%	12.7%	12.4%	7.9%	20.1%	1.4%	0.2%	4.9%	4.5%	0.7%	0.8%	6.5%	13.6%	2.1%	1.4%	11.5%	3.5%

Q14：奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費など
それぞれの品目について金額をご記入ください。

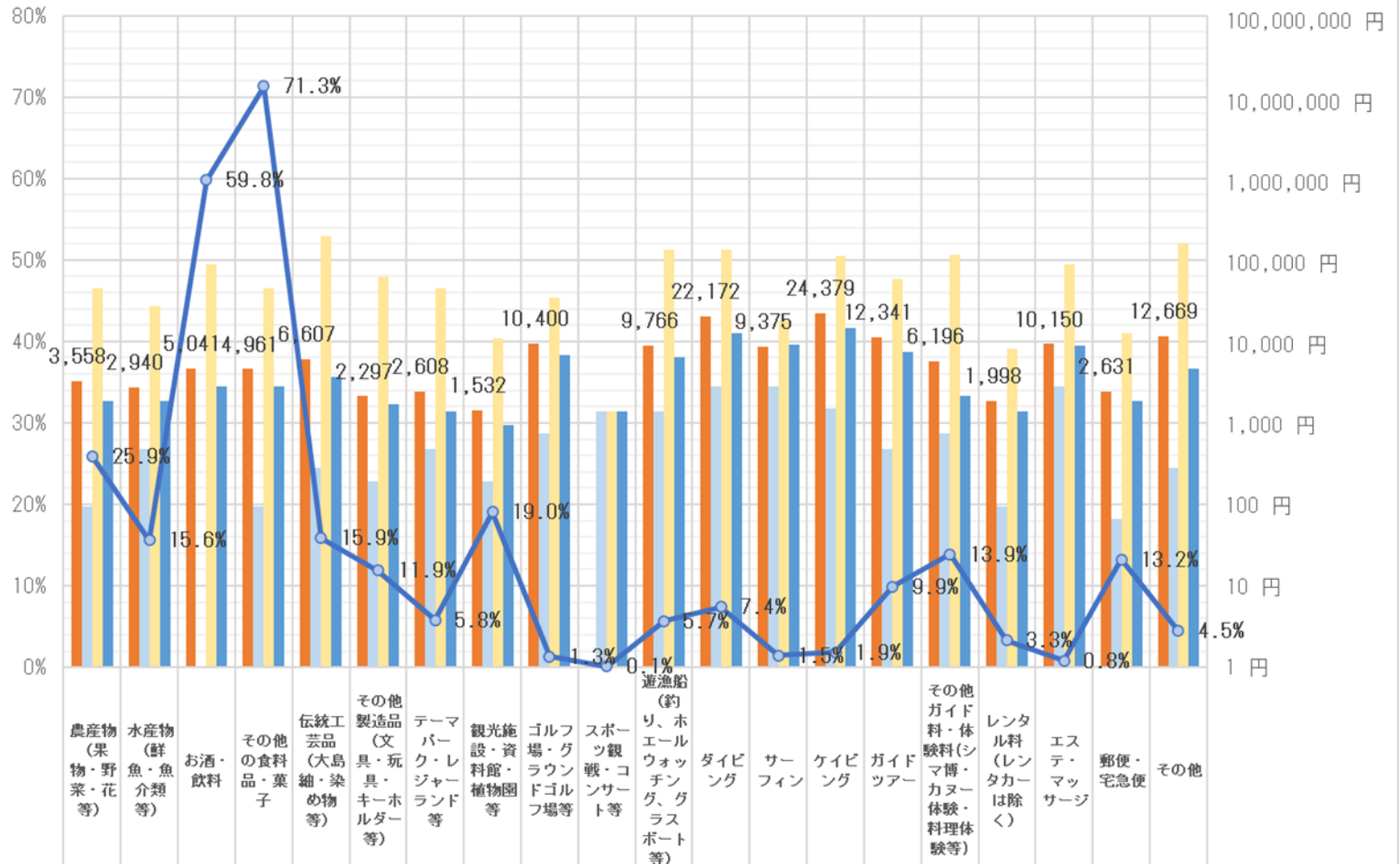
R1(2019)奄美群島全体



	農産物 (果 物・野 菜・花 等)	水産物 (鮮 魚・魚 介類 等)	お酒・ 飲料	その他 の食料 品・菓 子	伝統工 芸品 (大島 紬・染 め物 等)	その他 製造品 (文 具・玩 具・キ ャーホ ルダー 等)	テーマ パーク ・レジ ャンド 等	観光施 設・資 料館・ 植物園 等	ゴルフ 場・グ ラウンド ゴルフ 場等	スポーツ 観戦・コ ンサ ート等	遊漁船 (釣 り、ホ エール ウォッ チング 、グ ラスポ ート 等)	ダイビ ング	サー フィン	ケイビ ング	ガイド ツアー	その他 ガイド 料・体 験料(シ マ博・ カヌー 体験・ 料理体 験等)	レンタ ル料 (レン タカー は除 く)	エス テ・ マッ サージ	郵便・ 宅急便	その他
平均金額 (最大金額・最小金額を除く)	4,072	3,443	4,560	5,132	7,083	2,994	2,734	1,387	8,643	2,664	6,126	21,060	0	19,000	10,353	6,319	5,330	7,839	2,873	5,701
最小金額	100	250	100	140	500	200	200	100	310	1,000	1,000	2,000	4,000	2,000	100	100	200	1,600	62	510
最大金額	50,000	50,000	140,000	200,000	500,000	150,000	50,000	100,000	50,000	8,000	70,000	130,000	40,000	66,000	60,000	300,000	22,500	33,000	15,000	150,000
中央値	2,000	2,000	3,000	3,000	3,000	2,000	2,000	1,000	8,500	3,000	3,500	15,000	22,000	16,000	7,000	2,500	3,000	6,000	2,000	4,540
回答数%	25.2%	14.4%	55.3%	73.6%	14.9%	16.1%	9.1%	22.6%	1.2%	1.2%	6.7%	4.8%	0.2%	0.9%	7.2%	12.8%	2.2%	1.9%	12.6%	3.2%

Q14：奄美群島内でお支払いになった、お土産品・買い物代や娯楽・入場費など
それぞれの品目について金額をご記入ください。

R2(2020)奄美群島全体



品目	平均金額 (最大金額・最小金額を除く)	最小金額	最大金額	中央値	回答数%
農産物 (果物・野菜・花等)	3,558	100	50,000	2,000	25.9%
水産物 (鮮魚・魚介類等)	2,940	500	30,000	2,000	15.6%
お酒・飲料	5,041	0	100,000	3,000	59.8%
その他の食料品・菓子	4,961	100	50,000	3,000	71.3%
伝統工芸品 (大島紬・染め物等)	6,607	300	223,000	4,000	15.9%
その他製造品 (文具・玩具・キーホルダー等)	2,297	200	70,000	1,850	11.9%
テーマパーク・レジャーランド等	2,608	500	50,000	1,500	5.8%
観光施設・資料館・植物園等	1,532	200	12,000	1,000	19.0%
ゴルフ場・グラウンドゴルフ場等	10,400	800	38,000	7,500	1.3%
スポーツ観戦・コンサート等	0	1,500	1,500	1,500	0.1%
遊漁船 (釣り、ホエールウォッチング、グラスボート等)	9,766	1,500	150,000	7,000	5.7%
ダイビング	22,172	3,000	150,000	14,000	7.4%
サーフィン	9,375	3,000	20,000	10,000	1.5%
ケイビング	24,379	1,600	124,000	16,000	1.9%
ガイドツアー	12,341	500	65,000	8,000	9.9%
その他ガイド料・体験料 (シマ博・カヌー体験・料理体験等)	6,196	800	130,000	2,300	13.9%
レンタル料 (レンタカーは除く)	1,998	100	8,800	1,500	3.3%
エステ・マッサージ	10,150	3,000	100,000	9,800	0.8%
郵便・宅急便	2,631	70	14,000	2,000	13.2%
その他	12,669	300	180,000	5,000	4.5%

奄美群島振興開発基本調査回答票の集計及び分析業務 報告書

■発注者 一般社団法人奄美群島観光物産協会

〒894-0023 鹿児島県奄美市名瀬永田町 18-6

TEL : 0997-58-4888 (代表) FAX : 0997-52-9618

■委託先 一般財団法人日本地域開発センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-11-7 第二文成ビル

TEL : 03-3501-6856 FAX : 03-3501-6855

■発行年月 令和3年3月